

日 本 大 学 学 則

第 1 章 総 則

第 1 節 目的及び使命

第 1 条 本大学は、日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしない、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。

第 2 条 本大学は、広く知識を世界にもとめて、深遠な学術を研究し、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。

第 2 節 大学組織

第 3 条 本大学は、学部及び大学院をもって、これを組織する。

2 本大学の学部及び学科は、次のとおりである。

学 部 名	学 科 名
法 学 部	法 律 学 科 政 治 経 済 学 科 新 聞 学 科 経 営 法 学 科 公 共 政 策 学 科
文 理 学 部	哲 学 学 科 史 学 学 科 国 文 学 科 中 国 語 中 国 文 化 学 科 英 文 学 科 ド イ ツ 文 学 科 社 会 学 科 社 会 福 祉 学 科 教 育 学 科 体 育 学 科 心 理 学 科 地 理 学 科 地 球 科 学 科 数 学 学 科 情 報 科 学 科 物 理 学 科 生 命 科 学 科 化 学 学 科
経 済 学 部	経 済 学 科 産 業 経 営 学 科 金 融 公 共 経 済 学 科
商 学 部	商 業 学 科 経 営 学 科 会 計 学 科

芸術学部	写真学科 美術学科 文芸学科 放送学科	映画学科 音楽学科 演劇学科 デザイン学科
国際関係学部	国際総合政策学科	国際教養学科
危機管理学部	危機管理学科	
スポーツ科学部	競技スポーツ学科	
理工学部	土木工学科 建築学科 まちづくり工学科 精密機械工学科 電気工学科 応用情報工学科 物理学	交通システム工学科 海洋建築工学科 機械工学科 航空宇宙工学科 電子工学科 物質応用化学科 数学科
生産工学部	機械工学科 土木工学科 応用分子化学科 数理情報工学科 創生デザイン学科	電気電子工学科 建築工学科 マネジメント工学科 環境安全工学科
工学部	土木工学科 機械工学科 生命応用化学科	建築学科 電気電子工学科 情報工学科
医学部	医学科	
歯学部	歯学科	
松戸歯学部	歯学科	

生物資源科学部	バイオサイエンス学科	動物学科
	海洋生物学科	森林学科
	環境学科	アグリサイエンス学科
	食品開発学科	食品ビジネス学科
	国際共生学科	獣医保健看護学科
	獣医学科	生命農学科
	生命化学科	動物資源科学科
	森林資源科学科	海洋生物資源科学科
	生物環境工学科	食品生命学科
	国際地域開発学科	応用生物科学科
	くらしの生物学科	
薬学部	薬学科	

3 本大学の大学院研究科及び専攻は、次のとおりである。

博士課程（博士後期課程）・修士課程（博士前期課程）

研究科名	専攻名	
	博士前期課程 又は修士課程	博士後期課程 又は博士課程
法学研究科	公法学専攻	公法学専攻
	私法学専攻	私法学専攻
	政治学専攻	政治学専攻
新聞学研究科	新聞学専攻	新聞学専攻
文学研究科	哲学専攻	哲学専攻
	史学専攻	日本史専攻
	国文学専攻	外国史専攻
	中国学専攻	国文学専攻
	英文学専攻	中国学専攻
	ドイツ文学専攻	英文学専攻
	社会学専攻	ドイツ文学専攻

	教 育 学 専 攻 心 理 学 専 攻 人 文 地 理 学 専 攻	社 会 学 専 攻 教 育 学 専 攻 心 理 学 専 攻
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻 相 関 理 化 学 専 攻	地球情報数理科学専攻 相 関 理 化 学 専 攻
経済学研究科	経 済 学 専 攻	経 済 学 専 攻
商学研究科	商 学 専 攻 経 営 学 専 攻 会 計 学 専 攻	商 学 専 攻 経 営 学 専 攻 会 計 学 専 攻
芸術学研究科	文 芸 学 専 攻 映 像 芸 術 専 攻 造 形 芸 術 専 攻 音 楽 芸 術 専 攻 舞 台 芸 術 専 攻	芸 術 専 攻
国際関係研究科	国 際 関 係 研 究 専 攻	国 際 関 係 研 究 専 攻
危機管理学研究科	危 機 管 理 学 専 攻	
スポーツ科学研究科	ス ポ ー ツ 科 学 専 攻	
理工学研究科	土 木 工 学 専 攻 交 通 シ ス テ ム 工 学 専 攻 建 築 学 専 攻 海 洋 建 築 工 学 専 攻 ま ち づ く り 工 学 専 攻 機 械 工 学 専 攻 精 密 機 械 工 学 専 攻 航 空 宇 宙 工 学 専 攻 電 気 工 学 専 攻	土 木 工 学 専 攻 交 通 シ ス テ ム 工 学 専 攻 建 築 学 専 攻 海 洋 建 築 工 学 専 攻 ま ち づ く り 工 学 専 攻 機 械 工 学 専 攻 精 密 機 械 工 学 専 攻 航 空 宇 宙 工 学 専 攻 電 気 工 学 専 攻

	<p>電子工学専攻</p> <p>情報科学専攻</p> <p>物質応用化学専攻</p> <p>物理学専攻</p> <p>数学専攻</p> <p>地理学専攻</p> <p>量子理工学専攻</p>	<p>電子工学専攻</p> <p>情報科学専攻</p> <p>物質応用化学専攻</p> <p>物理学専攻</p> <p>数学専攻</p> <p>地理学専攻</p> <p>量子理工学専攻</p>
生産工学研究科	<p>機械工学専攻</p> <p>電気電子工学専攻</p> <p>土木工学専攻</p> <p>建築工学専攻</p> <p>応用分子化学専攻</p> <p>マネジメント工学専攻</p> <p>数理情報工学専攻</p>	<p>機械工学専攻</p> <p>電気電子工学専攻</p> <p>土木工学専攻</p> <p>建築工学専攻</p> <p>応用分子化学専攻</p> <p>マネジメント工学専攻</p> <p>数理情報工学専攻</p>
工学研究科	<p>土木工学専攻</p> <p>建築学専攻</p> <p>機械工学専攻</p> <p>電気電子工学専攻</p> <p>生命応用化学専攻</p> <p>情報工学専攻</p>	<p>土木工学専攻</p> <p>建築学専攻</p> <p>機械工学専攻</p> <p>電気電子工学専攻</p> <p>生命応用化学専攻</p> <p>情報工学専攻</p>
医学研究科		<p>生理系</p> <p>病理系</p> <p>社会医学系</p> <p>内科系</p> <p>外科系</p>
歯学研究科		歯学専攻
松戸歯学研究科		歯学専攻

生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻 生物資源利用科学専攻 応用生命科学専攻 生物環境科学専攻 生物資源経済学専攻	生物資源生産科学専攻 生物資源利用科学専攻 応用生命科学専攻 生物環境科学専攻 生物資源経済学専攻
獣医学研究科		獣医学専攻
薬学研究科		薬学専攻
総合社会情報研究科	国際情報専攻 文化情報専攻 人間科学専攻	総合社会情報専攻

専門職学位課程

研究科名	専攻名
法務研究科	法務専攻

4 第2項及び第3項に定める学部及び学科，大学院研究科の課程及び専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については，別表1に定める。

第3節 教職員及び教授会

第4条 本大学の教員を分けて教授・准教授・講師・助教及び助手とする。

2 教職員に関する規定は，別に定める。

第5条 本大学各学部に教授会を置き，専任教授全員，3名以内の専任准教授代表及び事務局長をもって，これを組織する。

第6条 教授会は，学部長が招集し，その議長となる。

第7条 教授会は，総会員の半数以上の出席によって成立する。

第8条 議長は，議事録を作成し，出席者中2名の署名押印を得るものとする。

第9条 教授会は，次の事項を審議し，学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- ① 学生の入学及び卒業に関すること。
- ② 学位の授与に関すること。
- ③ 前2号に掲げる事項のほか，教育研究に関する重要な事項で，教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項。

- 2 前項第3号の事項については、別に定める「学長裁定」による。
- 3 教授会は、第1項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について教育研究上の専門的な観点から審議し、並びに学長及び学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。なお、本大学の諸規程において教授会が審議することと定められている事項については、教授会はこれを審議し、意見を述べなければならない。
- 4 教授会の意見を集約する必要がある場合は、出席者の過半数によるものとする。

第10条 前条の教授会における審議とは、論議・検討することを意味し、決定権を含意するものではない。

第11条 教授会は、次の事項について報告を受けるものとする。

- ① 大学院に関すること。
- ② 学位論文の審査に関すること。
- ③ 当該学部の予算及び決算に関すること。
- ④ その他学長及び学部長が必要と認めたこと。

第4節 学生定員

第12条 本大学学部の学生定員は、次のとおりである。

第一部

学 部 名	学 科 名	毎年入 学定員	収容定員
法 学 部	法 律 学 科	533	2,132
	政 治 経 済 学 科	350	1,400
	新 聞 学 科	200	800
	経 営 法 学 科	200	800
	公 共 政 策 学 科	250	1,000
	計	1,533	6,132
	哲 学 科	88	352
	史 学 科	133	532
	国 文 学 科	133	532
	中 国 語 中 国 文 化 学 科	70	280
	英 文 学 科	133	532

文 理 学 部	ド イ ツ 文 学 科	80	320
	社 会 学 科	210	840
	社 会 福 祉 学 科	60	240
	教 育 学 科	120	480
	体 育 学 科	200	800
	心 理 学 科	130	520
	地 理 学 科	80	320
	地 球 科 学 科	80	320
	数 学 科	73	292
	情 報 科 学 科	80	320
	物 理 学 科	70	280
	生 命 科 学 科	70	280
	化 学 科	90	360
	計	1,900	7,600
経 济 学 部	経 济 学 科	916	3,664
	産 業 経 営 学 科	450	1,800
	金 融 公 共 経 济 学 科	200	800
		計	1,566
商 学 部	商 業 学 科	666	2,664
	経 営 学 科	350	1,400
	会 計 学 科	250	1,000
		計	1,266
芸 術 学 部	写 真 学 科	100	400
	映 画 学 科	150	600
	美 術 学 科	60	240
	音 楽 学 科	90	360
	文 芸 学 科	120	480
	演 劇 学 科	126	504

	放送学科	120	480
	デザイン学科	100	400
	計	866	3,464
国際関係学部	国際総合政策学科	383	1,532
	国際教養学科	283	1,132
	計	666	2,664
危機管理学部	危機管理学科	300	1,200
スポーツ科学部	競技スポーツ学科	300	1,200
理工学部	土木工学科	220	880
	交通システム工学科	120	480
	建築学科	250	1,000
	海洋建築工学科	120	480
	まちづくり工学科	100	400
	機械工学科	160	640
	精密機械工学科	140	560
	航空宇宙工学科	120	480
	電気工学科	160	640
	電子工学科	100	400
	応用情報工学科	100	400
	物質応用化学科	200	800
	物理学科	140	560
	数学科	100	400
	計	2,030	8,120
	機械工学科	198	792
	電気電子工学科	176	704
	土木工学科	198	792
	建築工学科	198	792

生産工学部	応用分子化学科	176	704
	マネジメント工学科	176	704
	数理情報工学科	154	616
	環境安全工学科	132	528
	創生デザイン学科	132	528
	計	1,540	6,160
工学部	土木工学科	160	640
	建築学科	190	760
	機械工学科	180	720
	電気電子工学科	180	720
	生命応用化学科	130	520
	情報工学科	190	760
	計	1,030	4,120
医学部	医学科	120	720
歯学部	歯学科	130	780
松戸歯学部	歯学科	130	780
生物資源科学部	バイオサイエンス学科	210	840
	動物学科	136	544
	海洋生物学科	146	584
	森林学科	120	480
	環境学科	130	520
	アグリサイエンス学科	140	560
	食品開発学科	146	584
	食品ビジネス学科	146	584
	国際共生学科	146	584
	獣医保健看護学科	80	320
	獣医学科	120	720
	生命農学科	0	0
	生命化学科	0	0

	動物資源科学科	0	0
	森林資源科学科	0	0
	海洋生物資源科学科	0	0
	生物環境工学科	0	0
	食品生命学科	0	0
	国際地域開発学科	0	0
	応用生物科学科	0	0
	くらしの生物学科	0	0
	計	1,520	6,320
薬学部	薬学科	244	1,464

第二部

法学部	法律学科	200	800
-----	------	-----	-----

(備考) 第一部は、昼間授業、第二部は、夜間授業とする。

2 本大学大学院研究科の学生定員は、次のとおりである。

博士課程（博士後期課程）・修士課程（博士前期課程）

研究科名	専攻名	毎年入学定員	収定員
法学研究科	公法学専攻（博士前期課程）	30	60
	私法学専攻（博士前期課程）	30	60
	政治学専攻（博士前期課程）	15	30
	公法学専攻（博士後期課程）	4	12
	私法学専攻（博士後期課程）	4	12
	政治学専攻（博士後期課程）	4	12
新聞学研究科	新聞学専攻（博士前期課程）	10	20
	新聞学専攻（博士後期課程）	3	9
	哲学専攻（博士前期課程）	10	20
	史学専攻（博士前期課程）	20	40
	国文学専攻（博士前期課程）	15	30
	中国学専攻（博士前期課程）	10	20
	英文学専攻（博士前期課程）	20	40
	ドイツ文学専攻（博士前期課程）	5	10

文学研究科	社会学専攻	(博士前期課程)	15	30
	教育学専攻	(博士前期課程)	10	20
	心理学専攻	(博士前期課程)	20	40
	人文地理学専攻	(修士課程)	20	40
	哲学専攻	(博士後期課程)	3	9
	日本史専攻	(博士後期課程)	3	9
	外国史専攻	(博士後期課程)	3	9
	国文学専攻	(博士後期課程)	3	9
	中国学専攻	(博士後期課程)	3	9
	英文学専攻	(博士後期課程)	3	9
	ドイツ文学専攻	(博士後期課程)	3	9
	社会学専攻	(博士後期課程)	3	9
	教育学専攻	(博士後期課程)	3	9
心理学専攻	(博士後期課程)	3	9	
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻	(博士前期課程)	12	24
	相関理化学専攻	(博士前期課程)	23	46
	地球情報数理科学専攻	(博士後期課程)	2	6
	相関理化学専攻	(博士後期課程)	2	6
経済学研究科	経済学専攻	(博士前期課程)	30	60
	経済学専攻	(博士後期課程)	6	18
商学研究科	商学専攻	(博士前期課程)	30	60
	経営学専攻	(博士前期課程)	30	60
	会計学専攻	(博士前期課程)	30	60
	商学専攻	(博士後期課程)	3	9
	経営学専攻	(博士後期課程)	5	15
	会計学専攻	(博士後期課程)	5	15
芸術学研究科	文芸学専攻	(博士前期課程)	20	40
	映像芸術専攻	(博士前期課程)	20	40
	造形芸術専攻	(博士前期課程)	15	30
	音楽芸術専攻	(博士前期課程)	10	20
	舞台芸術専攻	(博士前期課程)	10	20
	芸術専攻	(博士後期課程)	8	24

国際関係研究科	国際関係研究専攻 (博士前期課程)	10	20
	国際関係研究専攻 (博士後期課程)	3	9
危機管理学研究科	危機管理学専攻 (修士課程)	8	16
スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻 (修士課程)	8	16
理工学研究科	土木工学専攻 (博士前期課程)	40	80
	交通システム工学専攻 (博士前期課程)	20	40
	建築学専攻 (博士前期課程)	50	100
	海洋建築工学専攻 (博士前期課程)	30	60
	まちづくり工学専攻 (博士前期課程)	15	30
	機械工学専攻 (博士前期課程)	35	70
	精密機械工学専攻 (博士前期課程)	25	50
	航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	25	50
	電気工学専攻 (博士前期課程)	35	70
	電子工学専攻 (博士前期課程)	35	70
	情報科学専攻 (博士前期課程)	15	30
	物質応用化学専攻 (博士前期課程)	40	80
	物理学専攻 (博士前期課程)	25	50
	数学専攻 (博士前期課程)	20	40
	地理学専攻 (博士前期課程)	20	40
	量子理工学専攻 (博士前期課程)	20	40
	土木工学専攻 (博士後期課程)	5	15
	交通システム工学専攻 (博士後期課程)	5	15
	建築学専攻 (博士後期課程)	5	15
	海洋建築工学専攻 (博士後期課程)	5	15
	まちづくり工学専攻 (博士後期課程)	3	9
	機械工学専攻 (博士後期課程)	4	12
	精密機械工学専攻 (博士後期課程)	3	9
	航空宇宙工学専攻 (博士後期課程)	3	9
	電気工学専攻 (博士後期課程)	5	15
	電子工学専攻 (博士後期課程)	5	15
情報科学専攻 (博士後期課程)	4	12	

	物質応用化学専攻	(博士後期課程)	7	21
	物理学専攻	(博士後期課程)	5	15
	数学専攻	(博士後期課程)	5	15
	地理学専攻	(博士後期課程)	5	15
	量子理工学専攻	(博士後期課程)	5	15
生産工学研究科	機械工学専攻	(博士前期課程)	30	60
	電気電子工学専攻	(博士前期課程)	20	40
	土木工学専攻	(博士前期課程)	20	40
	建築工学専攻	(博士前期課程)	20	40
	応用分子化学専攻	(博士前期課程)	20	40
	マネジメント工学専攻	(博士前期課程)	20	40
	数理情報工学専攻	(博士前期課程)	10	20
	機械工学専攻	(博士後期課程)	3	9
	電気電子工学専攻	(博士後期課程)	3	9
	土木工学専攻	(博士後期課程)	3	9
	建築工学専攻	(博士後期課程)	3	9
	応用分子化学専攻	(博士後期課程)	3	9
	マネジメント工学専攻	(博士後期課程)	3	9
数理情報工学専攻	(博士後期課程)	3	9	
工学研究科	土木工学専攻	(博士前期課程)	20	40
	建築学専攻	(博士前期課程)	20	40
	機械工学専攻	(博士前期課程)	25	50
	電気電子工学専攻	(博士前期課程)	20	40
	生命応用化学専攻	(博士前期課程)	30	60
	情報工学専攻	(博士前期課程)	25	50
	土木工学専攻	(博士後期課程)	2	6
	建築学専攻	(博士後期課程)	2	6
	機械工学専攻	(博士後期課程)	2	6
	電気電子工学専攻	(博士後期課程)	2	6
	生命応用化学専攻	(博士後期課程)	2	6
	情報工学専攻	(博士後期課程)	2	6

医学研究科	生理系 (博士課程)	12	48
	病理系 (博士課程)	6	24
	社会医学系 (博士課程)	8	32
	内科系 (博士課程)	16	64
	外科系 (博士課程)	22	88
歯学研究科	歯学専攻 (博士課程)	30	120
松戸歯学研究科	歯学専攻 (博士課程)	30	120
生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻 (博士前期課程)	27	54
	生物資源利用科学専攻 (博士前期課程)	22	44
	応用生命科学専攻 (博士前期課程)	22	44
	生物環境科学専攻 (博士前期課程)	22	44
	生物資源経済学専攻 (博士前期課程)	22	44
	生物資源生産科学専攻 (博士後期課程)	6	18
	生物資源利用科学専攻 (博士後期課程)	5	15
	応用生命科学専攻 (博士後期課程)	5	15
	生物環境科学専攻 (博士後期課程)	5	15
	生物資源経済学専攻 (博士後期課程)	5	15
獣医学研究科	獣医学専攻 (博士課程)	6	24
薬学研究科	薬学専攻 (博士課程)	5	20
総合社会情報研究科	国際情報専攻 (博士前期課程)	30	60
	文化情報専攻 (博士前期課程)	30	60
	人間科学専攻 (博士前期課程)	30	60
	総合社会情報専攻 (博士後期課程)	9	27

専門職学位課程

法務研究科	法務専攻 (専門職学位課程)	60	180
-------	----------------	----	-----

第5節 学年・学期及び休業日

第13条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第14条 学期は、次のとおりとする。ただし、事情によって異なる場合がある。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から3月31日まで

第15条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日でも特に授業又は試験を行うことがある。

- ① 日曜日
- ② 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ③ 本学創立記念日（10月4日）
- ④ 春季休業 3月11日から3月31日まで
- ⑤ 夏季休業 7月11日から9月10日まで
- ⑥ 冬季休業 12月21日から翌年1月10日まで

2 休業日の変更及び臨時の休業日については、そのつどこれを定める。

第6節 入学・在学・転部・転科・転籍・休学・復学・留学・退学及び除籍

第16条 入学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

第17条 学部に入學できる者は、次の各号のいずれかに該当する資格を持ち、本大学の選抜試験に合格した者とする。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)
- ③ 外国において学校教育による12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- ⑦の2 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入學した者であつて、高等学校

卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

- ⑧ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑨ 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

2 前項の規定にかかわらず、高等学校に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本大学の定める分野において特に優れた資質を有すると認めるものであり、かつ、本大学の選抜試験に合格した者を入学させることができる。

第18条 入学を志願する者は、各学部所定の手続によって願い出るものとする。

第19条 入学の選抜試験に合格した者は、所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

第20条 修業年限とは、本大学の教育課程を修了するために必要な期間のことをいう。

2 在学年限とは、本大学において学生の身分を有することができる期間のことをいう。

3 修業年限は、最低4年とし、在学年限は、8年とする。

4 医学部・歯学部・松戸歯学部・生物資源科学部獣医学科及び薬学部の修業年限は、最低6年とし、在学年限は、12年とする。

5 前2項の規定にかかわらず、学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて在学年限の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

6 第3項の規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、本大学に3年以上在学した者（これに準ずる文部科学大臣の定める者を含む）が、卒業の要件として定める単位を優秀な成績で修得したと認める場合には、その卒業を認めることができる。ただし、第21条第2項第1号から第4号の資格で編入学した場合は、この規定による卒業は認められない。

第21条 編入学とは、他の種類の学校を卒業した者が、教育課程の一部を省いて途中から履修すべく本大学に入学することをいう。ただし、大学を卒業した者又は大学に1年以上在学した者が、教育課程の一部を省いて途中から履修すべく本大学に入学する場合も編入学とする。

2 学部に編入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する資格を持ち、本大学の編

入学試験に合格した者とする。ただし、定員に余裕があり、かつ在学生の学修に支障がないと認めた場合に限り、選考の上編入学を許可することがある。

- ① 短期大学（専門職短期大学、外国の短期大学及び我が国における外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を含む）を卒業した者
 - ② 高等専門学校を卒業した者
 - ③ 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者
 - ④ 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者
 - ⑤ 大学（専門職大学、外国の大学及び我が国における外国の大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（大学相当）日本校）を含む）を卒業した者
 - ⑥ 大学（専門職大学、外国の大学及び我が国における外国の大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（大学相当）日本校）を含む）に1年以上在学し、編入学できる学部等が定める単位数を修得している者
- 3 編入学を願い出た者については、学部等の所定の手続によって願い出るものとする。
 - 4 編入学の選抜試験に合格した者は、学部等の所定の期日までに手続を完了しなければならない。
 - 5 編入学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。
 - 6 編入学の年次は、2年次又は3年次とする。
 - 7 編入学者の在学年限は、許可された編入学年次に応じ、第20条第3項又は第4項に定める在学年限から編入学年次数を控除し、それに1を加えて得た年数とする。
 - 8 編入学者は、編入学年次の教育課程によって履修するものとする。
 - 9 編入学者の既修単位は、低年次配当科目を優先し、原則として2年次編入学者は、40単位、3年次編入学者は、70単位を基準とし、認定することができる。
 - 10 通信教育部における編入学については、別に定める規程による。

第22条 転部とは、所属する学部とは異なる学部（通信教育部内を含む）へ異動することをいう。なお、法学部における第一部及び第二部間の異動についても転部とする。

- 2 転科とは、所属する学部の異なる学科へ異動することをいう。
- 3 転籍とは、通信教育課程を有する学部において、同一学部の通学課程と通信教育課程の間を異動することをいう。ただし、通学課程と通信教育課程の間で異なる学部への異動については、転部とする。

- 4 転部・転科及び転籍できる者は、次の各号に該当する資格を持つものとする。ただし、定員に余裕があり、かつ、在学生の学修に支障がないと認めた場合に限り、選考の上、許可することがある。
 - ① 本大学に在学中の者で、転部・転科及び転籍できる学部等が定める単位数を修得しているもの
 - ② 人物及び在学中の成績が妥当な者
- 5 転部・転科及び転籍を願った者については、学部等の所定の手続によって願出のものとする。
- 6 転部・転科及び転籍の選考に合格した者は、学部等の所定の期日までに手続を完了しなければならない。
- 7 転部・転科及び転籍の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。
- 8 転部・転科及び転籍の年次は、2年次又は3年次とする。ただし、4年次への転籍（同一学科間）は、許可することができる。
- 9 転部・転科及び転籍した者の在学年限は、許可された転部・転科及び転籍年次に応じ、第20条第3項又は第4項に定める在学年限から転部・転科及び転籍が許可された年次数を控除し、それに1を加えて得た年数とする。
- 10 転部・転科及び転籍した者は、転部・転科及び転籍が許可された年次の教育課程によって履修するものとする。
- 11 転部・転科及び転籍した場合、既修の授業科目は、異動した課程の定める基準の範囲内において認定することができる。
- 12 通信教育部における転部・転科及び転籍については、別に定める規程による。

第23条 （削除）

第24条 （削除）

第25条 休学とは、病気その他やむを得ない事由により、3か月以上修学できない状態のことをいう。

- 2 復学とは、休学期間満了によって、再び修学することをいう。
- 3 休学しようとする者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で願出、その許可を得て原則として入学年度を除き、休学することができる。ただし、入学年度の後学期については、修学困難な事由の場合は認めることがある。
- 4 休学期間は、1学期又は1年とし、通算して在学年限の半数を超えることができない。

- 5 休学者は、その事由が解消された場合、保証人連署で願い出て、許可を得て復学することができる。
- 6 休学者は、学期の始めでなければ復学することができない。
- 7 休学期間は、在学年数に算入する。

第26条 (削除)

第27条 留学とは、本大学が教育上有益と認めるときは、休学することなく、外国の大学において、許可を得て一定期間修学することをいう。

- 2 留学の期間は、修業年数に算入する。

第28条 退学とは、在学の中途において在籍関係を解除することをいう。退学には、その手続により、次のものがある。

- ① 病気その他やむを得ない事由による、学生の意志に基づく願い出によるもの。ただし、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で退学願を提出して、許可を受けなければならない。
- ② 学生が死亡したことによる、保証人からの届出によるもの
- ③ 第30条に基づく除籍によるもの
- ④ 第76条及び第77条に基づく懲戒によるもの

- 2 第36条に基づく年度のGPAが1.50未満で、修学指導の結果、改善が見込まれないと判断した場合は、退学勧告を行う。

第29条 再入学とは、病気その他やむを得ない事由によって退学した者が、当該学部等に再び入学することをいう。

- 2 病気その他やむを得ない事由によって退学した者が、その事由が解消し、当該学部等に再入学を志望したときは、退学前に在籍していた学科の定員に余裕があり、かつ在学生の学修に支障がないと認めた場合に限り、選考の上再入学を許可することができる。この場合には、既修の授業科目の全部又は一部の再履修を命ずることがある。
- 3 再入学できる者は、次の各号に該当するものとする。

- ① 本大学に原則として1年以上在学し、再入学しようとする学部等が定める単位数を修得している者
- ② 病気その他やむを得ない事由で退学した者
- ③ 人物及び在学中の成績が妥当な者

- 4 除籍によって退学になった者については、事情勘案の上、前項に準じて再入学を認めることができる。

- 5 再入学の学科については、原則として退学時の学科とする。
- 6 再入学を願い出た者については、学部等の所定の手続によって願い出るものとする。
- 7 再入学の選考に合格した者は、学部等の所定の期日までに手続を完了しなければならない。
- 8 再入学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。
- 9 再入学の年次は、退学時の学年次を原則とするが、修得単位数等の事情により年次を下げても許可することができる。また、学年末の退学者については、修得単位数等の事情により年次を上げて入学を許可することができる。
- 10 再入学者の在学年限は、許可された再入学年次に応じ、第 20 条第 3 項又は第 4 項に定める在学年限から再入学年次数を控除し、それに 1 を加えて得た年数とする。ただし、医学部・歯学部・松戸歯学部・生物資源科学部獣医学科及び薬学部においては、在学年限を定めることができる。
- 11 再入学者は、再入学年次の教育課程によって履修するものとする。ただし、学則変更等の事情により再入学前の入学年度の教育課程によることができる。
- 12 退学前の既修単位は認定する。ただし、教育課程等の変更により、退学前の既修単位が認定されないことがある。
- 13 通信教育部における再入学については、別に定める規程による。

第 30 条 除籍とは、学生の帰すべき事由により在籍関係を強制的に解除し、退学させることをいう。

2 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍することができる。

- ① 故なくして学費の納付を怠った者
- ② 故なくして欠席が長期にわたる者
- ③ 在学年限を超えた者

第 31 条 (削除)

第 7 節 履修規定

第 32 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。また、教育上必要と認められる場合には、修得すべき単位の一部の修得について、これに相当する授業時間の履修をもって代えることができる。

- ① 講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で学部又は大学院研究

科が定める時間の授業をもって1単位とする。

② 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で学部又は大学院研究科が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術学部における個人指導による実技の授業については15時間の授業をもって1単位とする。

③ 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して学部又は大学院研究科が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第32条の2 前条に規定する講義、演習、実験、実習又は実技による授業は、文部科学大臣が別に定めるところによって、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第33条 教育職員の免許状を得ようとする者は、別に定める規定によって教職課程を履修しなければならない。

第34条 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって、これを定める。ただし、授業科目によっては、その他の方法で査定することができる。

2 試験には、平常試験・定期試験・追試験及び再試験がある。

① 平常試験とは、当該授業科目履修者を対象に授業科目担当教員が学期の途中に適宜行う試験のことをいう。

② 定期試験とは、当該授業科目履修者を対象に大学の定めた試験期間中に行う試験のことをいう。定期試験は学期末又は学年末に行う。

③ 追試験とは、やむを得ない事由のため定期試験を受けることのできなかった者のために行う試験のことをいう。

④ 再試験とは、受験の結果不合格となった者のために行う試験のことをいう。

3 追試験及び再試験は、当該学部において必要と認めるときに限り、これを行う。

第35条 修学についての所定の条件を備えていない者は、受験資格を失うことがある。

第36条 学業成績の判定は、S、A、B、C、D及びEの6種をもってこれを表し、S（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）、E（履修登録したが成績を示さなかったもの）をもって表し、S、A、B、Cを合格、D、Eを不合格とする。合格した授業科目については、所定の単位数が与えられる。

2 第1項の学業成績の学修結果を総合的に判断する指標として、総合平均点（Grade

Point Average, 以下「G P A」という)を用いることができる。

- 3 前項に定めるG P Aは、学業成績のうち、Sにつき4、Aにつき3、Bにつき2、Cにつき1、D及びEにつき0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、総履修単位数（P又はNとして表示された科目を除く）で除して算出する。G P Aは、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで有効とする。
- 4 第1項の規定にかかわらず、履修登録後、所定の中止手続を取ったものはP、修得単位として認定になったものはNと表示する。
- 5 G P A算出の対象科目は、卒業要件単位数に含まれる授業科目（単位認定科目としてNと表示された科目を除く）とする。
- 6 G P Aは、学期のG P A、年度のG P A及び入学時からの累積のG P Aとする。
- 7 通年科目は、学期のG P A算出の際には、後学期のG P Aに算入する。
- 8 授業科目を再履修した場合、累積のG P A算出の際には、直近の履修による学業成績及び単位数のみを算入するものとし、以前の学業成績及び単位数は算入しない。
- 9 試験において不正行為を行った場合は、処分を受けた条件に基づき、評価をE、評価点はなしとして取り扱う。

第37条 各学部を卒業するために必要な最低単位数は、第2章教育課程及び履修方法に定めるところによる。

- 2 学生が許可を受けて在籍する学部以外の学部で履修した授業科目の単位については、当該学生が在籍する学部の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 3 前項に定める授業科目の履修については、別に定める。
- 4 学生が許可を受けて他の大学、専門職大学、短期大学又は専門職短期大学で履修した授業科目の単位については、当該学生が在籍する学部の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 5 前項の規定は、学生が許可を受けて外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。
- 6 学生が許可を受けて行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修は、当該学生が在籍する学部の授業科目の履修とみなし、学

部の定めるところにより単位を与えることができる。

7 学生が本大学に入学する前に大学，専門職大学，短期大学又は専門職短期大学において履修した授業科目について修得した単位については，当該学生が在籍する学部の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

8 学生が本大学に入学する前に行った第6項に規定する学修は，当該学生が在籍する学部の授業科目の履修とみなし，学部の定めるところにより単位を与えることができる。

9 第2項，第4項，第5項及び第7項により修得したものとみなす単位並びに第6項及び第8項により与えることのできる単位は，合わせて60単位を超えない範囲で，卒業するために必要な単位数に算入することができる。

第37条の2 第32条の2に規定する授業によって修得した単位は，60単位を超えない範囲で，卒業するために必要な単位数に算入することができる。

第8節 卒業及び学士の学位

第38条 第20条に定めた修業年限に達し，所定の授業科目及び単位を修得し，卒業した者に学士の学位を授与する。

第39条 前条の学位に付記する専攻分野の名称は次のとおりとする。

学 部 名	学 科 名	専攻分野の名称	
法 学 部	法 律 学 科	法 学	
	政 治 経 済 学 科		
	新 聞 学 科		
	経 営 法 学 科		
文 理 学 部	公 共 政 策 学 科	文 学	
	哲 学 科		
	史 学 科		
	国 文 学 科		
	中 国 語 中 国 文 化 学 科		
	英 文 学 科		
	ド イ ツ 文 学 科		
	社 会 学 科		社 会 学
	社 会 福 祉 学 科		社 会 福 祉 学
	教 育 学 科		教 育 学
	体 育 学 科		体 育 学
心 理 学 科	心 理 学		
地 理 学 科	地 理 学		
地 球 科 学 科			

	数 情 物 生 化	報 理 命 科 学	学 学 学 学	科 科 科 科 科	理 学	
經 濟 学 部	經 産 金 融	濟 業 公 共	学 經 營 學 經 濟	学 学 学	經 濟 学	
商 学 部	商 經 会	業 營 計	学 学 学	学 学 学	商 学	
芸 術 学 部	写 映 美 音 文 演 放 デ	真 画 術 楽 芸 劇 送 ザ イ ン	学 学 学 学 学 学 学	学 学 学 学 学 学 学	芸 術	
国 際 関 係 学 部	国 国	際 際	綜 教 合 養 政 策 学 学	学 科 科	国 際 関 係	
危 機 管 理 学 部	危 機 管 理	学 学 学	学 科 科	学 学 学	危 機 管 理 学	
ス ポ ー ツ 科 学 部	競 技 ス ポ ー ツ	学 学 学	学 科 科	学 学 学	体 育 学	
理 工 学 部	土 交 建 海 ま 機 精 航 電 電 応 物	木 通 築 洋 ち 械 密 空 気 子 用 質	工 シ シ 建 洋 ち 械 密 空 気 子 用 質	学 ス テ ム 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学	学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学	工 学
	物 数	理 学	学 学	学 学	学 学	
	機 械	工 学	学 学	学 学		

生産工学部	電気電子工学 土木工学 建築工学 応用分子化学 マネジメント工学 数理情報工学 環境安全工学 創生デザイン学	工 学
工学部	土木工学 建築学 機械工学 電気電子工学 生命応用化学 情報工学	工 学
医学部	医学	医 学
歯学部	歯学	歯 学
松戸歯学部	歯学	歯 学
生物資源科学部	バイオサイエンス学 動物学 海洋生物学 森林学 環境学 アグリサイエンス学 食品開発学 食品ビジネス学 国際共生学 獣医保健看護学 生命農学 生命化学 動物資源科学 森林資源科学 海洋生物資源科学 生物環境工学 食品生命学 国際地域開発学 応用生物科学 くらしの生物学	生 物 資 源 学
	獣医学	獣 医 学

薬	学	部	薬	学	科	薬	学
---	---	---	---	---	---	---	---

第9節 学費及び貸給費

第40条 授業料その他所定の学費は、別表2の定めるところにより納付するものとする。

- 2 編入学・再入学・転部・転科及び転籍の学費の取扱いについては、別に定める。
- 3 休学及び留学を許可された学生の休学及び留学期間中の学費の取扱いについては、別に定める。

第41条 授業料を分納しようとする者は、事由を述べた書面により、保証人連署で願い出るものとする。

第42条 証明手数料等については別表3の定めるところにより納付するものとする。

第43条 既納の学費は、いかなる理由があっても返還しない。

第44条 停学を命ぜられた学生は、停学期間中も授業料を納付しなければならない。

第45条 学業人物ともに優秀な学生であって、学費支弁の方法のない者には、学費を減免し、又は貸与・給付することがある。

- 2 減免・貸給費については、別に定める。

第10節 委託生及び外国人留学生

第46条 国又は公共団体から、一定の在学期間と履修科目とを定めて、入学を願い出た者に対しては、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

第47条 委託生の入学資格については、第17条の規定を準用する。

第48条 委託生は、その履修した授業科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には、願い出によって単位取得証明書を与えることができる。

第49条 委託生として4年以上在学し、所属学部における所定の単位を修得した者には、学士の学位を授与する。

第50条 委託生の授業料その他本大学に納付するために必要な学費は、委託者から納付するものとする。

第51条 外国人留学生の入学・編入学及び再入学については、第6節の規定を準用する。ただし、特別に選考を行い入学を許可することができる。

- 2 外国人留学生については、学修の必要に応じて第2章に掲げる授業科目の一部に代え又はこれに加えて日本語科目及び日本事情に関する科目（以下「日本語科目等」という）を開設することができる。
- 3 前項に定める日本語科目等の授業科目については、当該学部の教授会がこれを審議する。
- 4 帰国生についても第1項及び第2項の規定を準用することができる。

第 52 条 委託生，外国人留学生に関して，本節各条に規定しない事項については，学部学生に関する規定を準用する。

第 11 節 科目等履修生・聴講生・特別聴講学生及び研究生

第 53 条 学部の授業科目中の 1 科目又は数科目の履修を希望する者に対して，科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生の出願手続等については，別に定める。

第 54 条 科目等履修生は，履修した授業科目について，試験を受けることができる。試験に合格した者には，所定の単位を与えることができる。

第 55 条 学部の授業科目中の 1 科目又は数科目の聴講を希望する者に対して，聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生の出願手続等については，別に定める。

第 56 条 国内又は国外の他の大学，専門職大学，短期大学又は専門職短期大学の学生が学部の授業科目の履修を希望するときは，特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生の出願手続等については，別に定める。

第 57 条 各学部において，特殊な事項に関する研究に従事しようとする者に対しては，研究生として入学を許可することがある。

2 研究生は，指導教員の個人指導を受けて研究に従事するものとする。

第 58 条 研究生として入学することができる者は，その学部において選考の上，適当と認められた者に限る。

第 59 条 研究生として入学を志願する者は，所定の出願書類に研究しようとする事項を記載して，学期の始めに願出するものとする。

第 60 条 研究生の在学年限は，1 年とする。ただし，事情によって期間の延長を願出することができる。

第 61 条 研究生は，指導教員及び担任教員の承諾を経て，学部の講義・演習及び実験等に出席することができる。

第 62 条 研究生として，相当の成績を示したと認められる者には研究証明書を与える。

第 63 条 研究生に関して，本節各条に規定しない事項については，学部学生に関する規定を準用する。

第12節 教職課程

第64条 本大学に，教職課程を置く。

- 2 教育職員の免許状を必要とする者は，教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び同法施行規則に基づき，本大学に設置する教職課程について，所定の単位を修得しなければならない。
- 3 教科及び教職に関する科目（各教科の指導法に関する科目，教諭の教育の基礎的理解に関する科目等）は，次のとおりである。

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
国 語 科 教 育 法 I	2	2		必修を含め，中学校36 単位以上，高等学校28 単位以上を履修しな ければならない。ただし， 高等学校（英語）は32 単位以上を履修しな ければならない。 各教科教育法につい ては，当該の1教科教育 法を必修するものとし る。 各教科教育法Ⅲ・Ⅳは， 中学校に必修。 ただし，中学校（社会） の場合は，社会科・地理 歴史科教育法Ⅰ，社会 科・地理歴史科教育法 Ⅱ，社会科・公民科教 育法Ⅰ及び社会科・公 民科教育法Ⅱを必修と する。 また，高等学校（地理 歴史）の場合は，社会 科・地理歴史科教育法 Ⅰ及び社会科・地理 歴史科教育法Ⅱを必修 とする。 また，高等学校（公民） の場合は，社会科・公 民科教育法Ⅰ及び社会 科・公民科教育法Ⅱを 必修とする。	
国 語 科 教 育 法 II	2	2			
国 語 科 教 育 法 III	2		2		
国 語 科 教 育 法 IV	2		2		
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2		2		
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2		2		
社会科・公民科教育法Ⅰ	2		2		
社会科・公民科教育法Ⅱ	2		2		
数 学 科 教 育 法 I	2	2			
数 学 科 教 育 法 II	2	2			
数 学 科 教 育 法 III	2		2		
数 学 科 教 育 法 IV	2		2		
理 科 教 育 法 I	2	2			
理 科 教 育 法 II	2	2			
理 科 教 育 法 III	2		2		
理 科 教 育 法 IV	2		2		
音 楽 科 教 育 法 I	2	2			

音楽科教育法Ⅱ	2	2		
音楽科教育法Ⅲ	2		2	
音楽科教育法Ⅳ	2		2	
美術科教育法Ⅰ	2	2		
美術科教育法Ⅱ	2	2		
美術科教育法Ⅲ	2		2	
美術科教育法Ⅳ	2		2	
保健体育科教育法Ⅰ	2	2		
保健体育科教育法Ⅱ	2	2		
保健体育科教育法Ⅲ	2		2	
保健体育科教育法Ⅳ	2		2	
英語科教育法Ⅰ	2	2		
英語科教育法Ⅱ	2	2		
英語科教育法Ⅲ	2	2		
英語科教育法Ⅳ	2	2		
中国語科教育法Ⅰ	2	2		
中国語科教育法Ⅱ	2	2		
中国語科教育法Ⅲ	2		2	
中国語科教育法Ⅳ	2		2	
ドイツ語科教育法Ⅰ	2	2		
ドイツ語科教育法Ⅱ	2	2		
ドイツ語科教育法Ⅲ	2		2	
ドイツ語科教育法Ⅳ	2		2	
宗教科教育法Ⅰ	2	2		
宗教科教育法Ⅱ	2	2		
宗教科教育法Ⅲ	2		2	
宗教科教育法Ⅳ	2		2	
技術科教育法Ⅰ	2	2		
技術科教育法Ⅱ	2	2		
技術科教育法Ⅲ	2	2		

技術科教育法Ⅳ	2	2			
工芸科教育法Ⅰ	2	2			
工芸科教育法Ⅱ	2	2			
書道科教育法Ⅰ	2	2			
書道科教育法Ⅱ	2	2			
情報科教育法Ⅰ	2	2			
情報科教育法Ⅱ	2	2			
農業科教育法Ⅰ	2	2			
農業科教育法Ⅱ	2	2			
工業科教育法Ⅰ	2	2			
工業科教育法Ⅱ	2	2			
商業科教育法Ⅰ	2	2			
商業科教育法Ⅱ	2	2			
水産科教育法Ⅰ	2	2			
水産科教育法Ⅱ	2	2			
教育原論	2		2	}	1科目選択必修
教育の理念と歴史	2		2		
現代教職論	2	2		}	1科目選択必修
教育制度論	2		2		
教育の社会学	2		2	}	1科目選択必修
発達と学習	2		2		
教育心理学	2		2		
特別支援教育概論	1	1			
教育課程論	2	2			
道徳教育の理論と方法*	2		2		中学校必修
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2			
教育方法・ICT活用論	2		2	}	1科目選択必修
教授学習論	2		2		
生徒指導・進路指導論	2	2			
教育相談	2	2			

※高等学校は、「大学が独自に設定する科目」の選択科目。

教育実習Ⅰ	4		4	} 1科目選択必修。 ただし、中学校は教育 実習Ⅰ必修。
教育実習Ⅱ	2		2	
教育実習事前・事後指導	1	1		
教職実践演習(中・高)	2	2		

第65条 本大学の学部において、取得できる教員免許状は、次の表に掲げるとおりとする。

1 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状

第一部

学部名	学科名	免許教科の種類	
		中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状
法学部	法律学科	社会	地理歴史 公民
	政治経済学科	社会	地理歴史 公民
	新聞学科	社会	地理歴史 公民
	経営法学科	社会	公民
	公共政策学科	社会	地理歴史 公民
文理学部	哲学科	社会 宗教	公民 宗教
	史学科	社会	地理歴史
	国文学科	国語	国語 書道
	中国語中国文化学科	国語 中国語	国語 中国語
	英文学科	英語	英語
	ドイツ文学科	ドイツ語	ドイツ語
	社会学科	社会	公民
	教育学科	社会	公民
	体育学科	保健体育	保健体育
	地理学科	社会 理科	地理歴史 理科
	地球科学科	理科	理科
	数学科	数学	数学
	情報科学科	数学	数学 情報
	物理学科	理科	理科
生命科学科	理科	理科	
化学科	理科	理科	

経済学部	経済学科 産業経営学科	社会 社会	地理歴史 公民 商業 公民 商業
商学部	商業学科 経営学科 会計学科		商業 商業 商業
芸術学部	美術学科 音楽学科 文芸学科 デザイン学科	美術 音楽 国語 美術	美術 工芸 音楽 国語 美術 工芸
国際関係学部	国際教養学科	英語	英語
理工学部	土木工学科 交通システム工学科 建築学科 海洋建築工学科 まちづくり工学科 機械工学科 精密機械工学科 航空宇宙工学科 電気工学科 電子工学科 応用情報工学科 物質応用化学科 物理学科 数学科	数学 理科 技術 数学 理科 技術 数学 理科 技術 技術 数学 理科 技術 数学 理科 技術 技術 数学 理科 技術 数学 理科 技術 技術 数学 理科 技術 技術 数学 理科 技術 理科 技術 数学 理科 数学	数学 理科 工業 数学 理科 工業 数学 理科 工業 工業 工業 数学 理科 工業 数学 理科 工業 工業 数学 理科 情報 工業 情報 工業 数学 情報 理科 工業 数学 理科 情報 数学 情報
生産工学部	機械工学科 電気電子工学科 土木工学科 建築工学科 応用分子化学科 マネジメント工学科 数理情報工学科 環境安全工学科	理科 理科 理科 理科 理科 数学 理科	理科 工業 理科 工業 理科 工業 理科 工業 理科 工業 工業 数学 情報 理科 工業

	創生デザイン学科	理科	理科 工業
工学部	土木工学科	技術	工業
	建築学科	技術	工業
	機械工学科	技術	工業
	電気電子工学科	技術	情報 工業
	生命応用化学科	理科	理科
	情報工学科	数学	数学 情報
生物資源科学部	バイオサイエンス学科	理科	理科 農業
	動物学科	理科	理科
	海洋生物学科	理科	理科 水産
	森林学科	理科	理科 農業
	環境学科	理科	理科
	アグリサイエンス学科	理科	理科 農業
	食品開発学科	理科	理科
	食品ビジネス学科	社会	公民 農業
	国際共生学科	社会	地理歴史 公民
	獣医保健看護学科	理科	理科
	獣医学科	理科	理科

第二部

法学部	法律学科	社会	地理歴史 公民
-----	------	----	---------

2 特別支援学校教諭一種免許状

学部名	学科名	免許状の特別支援教育領域
文理学部	教育学科	知的障害者 肢体不自由者 病弱者

第66条 前条の免許状は、所属学部によってその授業科目を限定されることなく、所定の単位の修得によってこれを授与されるものとする。

第67条 所定の単位の修得によって、2種以上の免許状を受けることができる。この場合、同一授業科目についての修得単位は相互の流用が認められる。

第68条 授業科目の種類によっては、教職課程によって修得した単位の若干を、学部において修得すべき単位数の中に入れることができる。

第69条 本大学に、2年以上在学して所定の単位を修得した者には、中学校教諭二種免許状が授与される。

第70条 本大学に、4年以上在学して学士の学位を有し、所定の単位を修得した者には、基礎資格及び修得単位に応じて中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状が授与される。

第71条 普通免許状を有する者で、本大学の所定の単位を修得した者は、基礎資格及び修得単位に応じて特別支援学校教諭一種免許状の授与を受けることができる。

第72条 本大学大学院に、2年以上在学して修士の学位を有し、所定の単位を修得した者には、中学校教諭専修免許状及び高等学校教諭専修免許状が授与される。

2 本大学大学院において、取得できる中学校教諭専修免許状及び高等学校教諭専修免許状の免許教科の種類は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科名	専攻名	免許教科の種類	
		中学校 専修免許状	高等学校 専修免許状
法学研究科	公法学専攻	社会	公民
	私法学専攻	社会	公民
	政治学専攻	社会	公民
新聞学研究科	新聞学専攻	社会	公民
文学研究科	哲学専攻	社会	公民
	史学専攻	社会	地理歴史
	国文学専攻	国語	国語
	中国学専攻	国語	国語
	英文学専攻	英語	英語
	ドイツ文学専攻	ドイツ語	ドイツ語
	社会学専攻	社会	公民
教育学専攻	社会 保健体育	公民 保健体育	
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻	数学 理科	数学 理科 情報
	相関理化学専攻	理科	理科
経済学研究科	経済学専攻	社会	公民 商業
商学研究科	商学専攻		商業
	経営学専攻		商業
	会計学専攻		商業
芸術学研究科	文芸学専攻	国語	国語
	造形芸術専攻	美術	美術 工芸

	音楽芸術専攻	音楽	音楽
理工学研究科	土木工学専攻 交通システム工学専攻 建築学専攻 海洋建築工学専攻 機械工学専攻 精密機械工学専攻 航空宇宙工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 情報科学専攻 物質応用化学専攻 物理学専攻 数学専攻 地理学専攻 量子理工学専攻	技術 技術 技術 技術 技術 理科 理科 数学 理科 社会 理科	工業 工業 工業 工業 工業 工業 工業 工業 情報 工業 情報 理科 工業 理科 数学 理科 地理歴史 理科
生産工学研究科	機械工学専攻 電気電子工学専攻 土木工学専攻 建築工学専攻 応用分子化学専攻 マネジメント工学専攻 数理情報工学専攻	理科 理科 理科 数学	理科 理科 工業 工業 理科 工業 数学
工学研究科	土木工学専攻 建築学専攻 機械工学専攻 電気電子工学専攻 生命応用化学専攻 情報工学専攻	技術 技術 理科 数学	工業 工業 工業 工業 理科 数学
生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻 生物資源利用科学専攻 応用生命科学専攻 生物環境科学専攻 生物資源経済学専攻	理科 理科 理科 理科 社会	理科 理科 理科 理科 公民

第73条 (削除)

第13節 通信教育

第74条 本大学に、通信教育の課程を置く。

2 通信教育に関する規程は、別に定める。

第14節 賞罰

第75条 人物及び学業成績が優秀な者には、授賞することがある。

2 授賞に関する規定は、別に定める。

第76条 学生が本大学の規則・命令に背き若しくは大学の秩序を乱し、又は学生としての本分に反する行為があった場合にはその情状によって懲戒を行うことがある。

第77条 懲戒は、退学・停学及び訓告の3種とする。

2 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

- ① 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- ② 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- ③ 正当の理由がなくて出席常でない者
- ④ 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

3 停学とは、一定期間、授業の受講及び施設設備の利用等を禁止し、その他の課外活動等についても禁止することをいう。

4 訓告とは、文書で戒めることをいう。

5 懲戒の手續に関する規定は、別に定める。

第15節 寄宿舍

第78条 寄宿舍に関する規定は、別に定める。

第2章 教育課程及び履修方法

第1節 法学部

第79条 法学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、科目区分ごとに履修方法に定めた単位数を含め、総計124単位以上を修得しなければならない。

なお、第64条第3項の教科及び教職に関する科目(各教科の指導法に関する科目、教諭の教育の基礎的理解に関する科目等)のうち次の授業科目については、10単位を限度に卒業に必要な総単位数に算入することができる。

現代教職論，教育原論，発達と学習，教育制度論，教育課程論，生徒指導・進路指導，教育相談

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

2 I群 共通科目 (各学科共通)

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
キャリア入門	2		2	2単位以上を修得しなければならない。	
キャリア・デザイン	2		2		
キャリア・デベロップメント	2		2		
インターンシップ	2		2		
コンピュータ・リテラシー	2		2		
日本大学の歴史	2		2		
共通科目特論	2		2		
社会貢献	1		1		
日本国憲法	2		2		

3 II群 総合科目 (各学科共通)

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
哲 学 I	2		2	20単位以上を修得しなければならない。	
哲 学 II	2		2		

論	理	学	I	2	2		
論	理	学	II	2	2		
倫	理	学	I	2	2		
倫	理	学	II	2	2		
宗	教	学	I	2	2		
宗	教	学	II	2	2		
日	本	文	学	I	2	2	
日	本	文	学	II	2	2	
世	界	の	文	学	I	2	2
世	界	の	文	学	II	2	2
芸	術	論	I	2	2		
芸	術	論	II	2	2		
日	本	の	前	近	代	I	2
日	本	の	前	近	代	II	2
日	本	の	近	現	代	I	2
日	本	の	近	現	代	II	2
ア	ジ	ア	の	歴	史	I	2
ア	ジ	ア	の	歴	史	II	2
西	洋	の	歴	史	I	2	2
西	洋	の	歴	史	II	2	2
社	会	思	想	の	歴	史	I
社	会	思	想	の	歴	史	II
科	学	の	歴	史	I	2	2
科	学	の	歴	史	II	2	2
社	会	学	I	2	2		
社	会	学	II	2	2		
文	化	人	類	学	I	2	2
文	化	人	類	学	II	2	2
地	理	学	I	2	2		
地	理	学	II	2	2		
環	境	論	I	2	2		
環	境	論	II	2	2		
教	育	学	I	2	2		

教 育 学	Ⅱ	2	2	
心 理 学	Ⅰ	2	2	
心 理 学	Ⅱ	2	2	
精 神 分 析 学		2	2	
自 然 人 類 学		2	2	
健 康 科 学	Ⅰ	2	2	
健 康 科 学	Ⅱ	2	2	
体 育 ス ポ ー ツ 科 学	Ⅰ	2	2	
体 育 ス ポ ー ツ 科 学	Ⅱ	2	2	
数 学	Ⅰ	2	2	
数 学	Ⅱ	2	2	
統 計 学	Ⅰ	2	2	
統 計 学	Ⅱ	2	2	
地 球 科 学	Ⅰ	2	2	
地 球 科 学	Ⅱ	2	2	
生 命 の 科 学	Ⅰ	2	2	
生 命 の 科 学	Ⅱ	2	2	
日 本 の 文 化	A	2	2	外国人留学生のみ履修 できる。
日 本 の 文 化	B	2	2	
日 本 の 社 会	A	2	2	
日 本 の 社 会	B	2	2	
日 本 の 自 然	A	2	2	
日 本 の 自 然	B	2	2	
総 合 講 座	A	2	2	
総 合 講 座	B	2	2	
社 会 文 化 論	A	2	2	
社 会 文 化 論	B	2	2	
思 想 文 化 論	A	2	2	
思 想 文 化 論	B	2	2	
文 章 表 現 演 習	Ⅰ	2	2	
文 章 表 現 演 習	Ⅱ	2	2	
教 養 演 習	A	2	2	
教 養 演 習	B	2	2	

4 III群 外国語科目 (各学科共通)

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英 語 A	1		1	外国語科目のうち、英語8単位以上、ドイツ語・フランス語・中国語の中から1か国語6単位以上、計14単位以上を修得しなければならない。 外国人留学生については、日本語8単位以上、英語・ドイツ語・フランス語・中国語の中から1か国語(母国語を除く)6単位以上、計14単位以上を修得しなければならない。また、スペイン語・韓国語・ロシア語は、母国語を除き履修できる。	
英 語 B	1		1		
英 語 C	1		1		
英 語 D	1		1		
英 語 E	1		1		
英 語 F	1		1		
英 語 G	1		1		
英 語 H	1		1		
人文系英語演習 A	1		1		
人文系英語演習 B	1		1		
社会系英語演習 A	1		1		
社会系英語演習 B	1		1		
英検／IELTS I A	1		1		
英検／IELTS I B	1		1		
英検／IELTS II A	1		1		
英検／IELTS II B	1		1		
英検／IELTS III A	1		1		
英検／IELTS III B	1		1		
英検／IELTS IV A	1		1		
英検／IELTS IV B	1		1		
T O E F L I A	1		1		
T O E F L I B	1		1		
T O E F L II A	1		1		
T O E F L II B	1		1		
T O E F L III A	1		1		
T O E F L III B	1		1		
T O E F L IV A	1		1		
T O E F L IV B	1		1		
T O E I C I A	1		1		

T O E I C I B	1	1		
T O E I C II A	1	1		
T O E I C II B	1	1		
T O E I C III A	1	1		
T O E I C III B	1	1		
T O E I C IV A	1	1		
T O E I C IV B	1	1		
Communication I A	1	1		
Communication I B	1	1		
Communication II A	1	1		
Communication II B	1	1		
Communication III A	1	1		
Communication III B	1	1		
Communication IV A	1	1		
Communication IV B	1	1		
R e a d i n g I A	1	1		
R e a d i n g I B	1	1		
R e a d i n g II A	1	1		
R e a d i n g II B	1	1		
R e a d i n g III A	1	1		
R e a d i n g III B	1	1		
W r i t i n g I A	1	1		
W r i t i n g I B	1	1		
W r i t i n g II A	1	1		
W r i t i n g II B	1	1		
W r i t i n g III A	1	1		
W r i t i n g III B	1	1		
國際研修（英） I A	1	1		
國際研修（英） I B	1	1		
國際研修（英） II	2	2		
國際研修（英） III	2	2		
國際研修（英） IV	2	2		
國際研修（英） V	2	2		

ドイツ語基礎表現A	1	1		
ドイツ語基礎表現B	1	1		
ドイツ語基礎文法A	1	1		
ドイツ語基礎文法B	1	1		
人文系ドイツ語演習A	1	1		
人文系ドイツ語演習B	1	1		
社会系ドイツ語演習A	1	1		
社会系ドイツ語演習B	1	1		
ドイツ語資格試験対策ⅠA	1	1		
ドイツ語資格試験対策ⅠB	1	1		
ドイツ語資格試験対策ⅡA	1	1		
ドイツ語資格試験対策ⅡB	1	1		
ドイツ語資格試験対策ⅢA	1	1		
ドイツ語資格試験対策ⅢB	1	1		
国際研修（独）ⅠA	1	1		
国際研修（独）ⅠB	1	1		
国際研修（独）Ⅱ	2	2		
国際研修（独）Ⅲ	2	2		
コミュニケーション（独）ⅠA	1	1		
コミュニケーション（独）ⅠB	1	1		
コミュニケーション（独）ⅡA	1	1		
コミュニケーション（独）ⅡB	1	1		
コミュニケーション（独）ⅢA	1	1		
コミュニケーション（独）ⅢB	1	1		
ライティング（独）ⅠA	1	1		
ライティング（独）ⅠB	1	1		
ライティング（独）ⅡA	1	1		
ライティング（独）ⅡB	1	1		
フランス語基礎表現A	1	1		
フランス語基礎表現B	1	1		
フランス語基礎文法A	1	1		
フランス語基礎文法B	1	1		
人文系フランス語演習A	1	1		
人文系フランス語演習B	1	1		

社会系フランス語演習A	1	1		
社会系フランス語演習B	1	1		
フランス語資格試験対策ⅠA	1	1		
フランス語資格試験対策ⅠB	1	1		
フランス語資格試験対策ⅡA	1	1		
フランス語資格試験対策ⅡB	1	1		
フランス語資格試験対策ⅢA	1	1		
フランス語資格試験対策ⅢB	1	1		
国際研修（仏）ⅠA	1	1		
国際研修（仏）ⅠB	1	1		
国際研修（仏）Ⅱ	2	2		
国際研修（仏）Ⅲ	2	2		
コミュニケーション（仏）ⅠA	1	1		
コミュニケーション（仏）ⅠB	1	1		
コミュニケーション（仏）ⅡA	1	1		
コミュニケーション（仏）ⅡB	1	1		
コミュニケーション（仏）ⅢA	1	1		
コミュニケーション（仏）ⅢB	1	1		
ライティング（仏）ⅠA	1	1		
ライティング（仏）ⅠB	1	1		
ライティング（仏）ⅡA	1	1		
ライティング（仏）ⅡB	1	1		
中国語基礎表現A	1	1		
中国語基礎表現B	1	1		
中国語基礎文法A	1	1		
中国語基礎文法B	1	1		
人文系中国語演習A	1	1		
人文系中国語演習B	1	1		
社会系中国語演習A	1	1		
社会系中国語演習B	1	1		
中国語資格試験対策ⅠA	1	1		
中国語資格試験対策ⅠB	1	1		
中国語資格試験対策ⅡA	1	1		

中国語資格試験対策ⅡB	1	1	
中国語資格試験対策ⅢA	1	1	
中国語資格試験対策ⅢB	1	1	
国際研修（中）ⅠA	1	1	
国際研修（中）ⅠB	1	1	
国際研修（中）Ⅱ	2	2	
国際研修（中）Ⅲ	2	2	
コミュニケーション（中）ⅠA	1	1	
コミュニケーション（中）ⅠB	1	1	
コミュニケーション（中）ⅡA	1	1	
コミュニケーション（中）ⅡB	1	1	
コミュニケーション（中）ⅢA	1	1	
コミュニケーション（中）ⅢB	1	1	
ライティング（中）ⅠA	1	1	
ライティング（中）ⅠB	1	1	
ライティング（中）ⅡA	1	1	
ライティング（中）ⅡB	1	1	
日本語ⅠA	1	1	外国人留学生のみ履修 できる。
日本語ⅠB	1	1	
日本語ⅡA	1	1	
日本語ⅡB	1	1	
日本語ⅢA	1	1	
日本語ⅢB	1	1	
日本語ⅣA	1	1	
日本語ⅣB	1	1	
スペイン語ⅠA	1	1	
スペイン語ⅠB	1	1	
スペイン語ⅡA	1	1	
スペイン語ⅡB	1	1	
韓国語ⅠA	1	1	
韓国語ⅠB	1	1	
韓国語ⅡA	1	1	

韓国語ⅡB	1		1		
国際研修(韓)	2		2		
ロシア語ⅠA	1		1		
ロシア語ⅠB	1		1		
ロシア語ⅡA	1		1		
ロシア語ⅡB	1		1		

5 IV群 体育・健康科目(各学科共通)

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
体育スポーツ実習A	1		1	2単位以上を修得しなければならない。 ただし、法律学科法曹コースを除く。	
体育スポーツ実習B	1		1		
体育スポーツ実習C	2		2		
体育スポーツ健康演習	1		1		

6 V群・VI群・VII群・VIII群 専門科目

I 法律学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
V群 専門基幹科目				法曹コースは、必修単位数30単位に加えて、 V群より、 憲法Ⅱ(統治機構) 行政法Ⅱ 民法Ⅱ(物権法) 民法Ⅲ(担保物権法) 民法Ⅳ(債権法総論) 民法Ⅴ(債権法各論) 家族法 商法Ⅱ(会社法Ⅱ) 民事訴訟法Ⅱ 刑法Ⅱ 刑事訴訟法Ⅱ を必修とし、36単位以上、 VI群より4単位以上、 VII群より、 憲法基礎演習 民法基礎演習 刑法基礎演習 を必修とし、14単位以上、 全学共通教育科目、V群及びVI群より4単位以上、 合計88単位以上を修得しなければならない。	
法学Ⅰ	2	2			
法学Ⅱ	2		2		
憲法Ⅰ(人権)	4	4			
憲法Ⅱ(統治機構)	4		4		
行政法Ⅰ	4	4			
行政法Ⅱ	4		4		
民法Ⅰ(民法総則)	4	4			
民法Ⅱ(物権法)	2		2		
民法Ⅲ(担保物権法)	2		2		
民法Ⅳ(債権法総論)	4		4		
民法Ⅴ(債権法各論)	4		4		
民法Ⅵ(親族法)	2		2		
民法Ⅶ(相続法)	2		2		
家族法	2		2		

商法Ⅰ（会社法Ⅰ）	4	4	<p>総合法コースは、必修単位数30単位に加えて、 V群より、 法学Ⅱ 憲法Ⅱ（統治機構） 行政法Ⅱ 民法Ⅱ（物権法） 民法Ⅲ（担保物権法） 民法Ⅳ（債権法総論） 民法Ⅴ（債権法各論） 民法Ⅵ（親族法） 民法Ⅶ（相続法） 商法Ⅱ（会社法Ⅱ） 商法Ⅲ（商取引法） 商法Ⅳ（支払システム法） 商法Ⅴ（保険法） 民事訴訟法Ⅱ 民事執行・保全法 刑法Ⅱ 刑事訴訟法Ⅱ のうちから8単位以上、 VI群より、 I類4単位以上、 II類4単位以上、 III類4単位以上、 VII群より、 公法演習（憲法）Ⅰ 公法演習（行政法）Ⅱ 民事法演習（要件事実）Ⅰ 民事法演習（判例演習）Ⅱ 民事法演習（会社法）Ⅲ 民事法演習（商法）Ⅳ 民事法演習（不動産・商業登記法）Ⅴ 民事法演習（民事手続法）Ⅵ 刑事法演習Ⅰ 刑事法演習Ⅱ 刑事法演習Ⅲ 刑事法演習Ⅳ ゼミナール のうちから8単位以上を含む 計14単位以上、 全学共通教育科目、V群及びVI群より22単位以上、 合計86単位以上を修得しなければならない。</p>
商法Ⅱ（会社法Ⅱ）	4	4	
商法Ⅲ（商取引法）	2	2	
商法Ⅳ（支払システム法）	2	2	
商法Ⅴ（保険法）	2	2	
民事訴訟法Ⅰ	4	4	
民事訴訟法Ⅱ	2	2	
民事執行・保全法	4	4	
刑法Ⅰ	4	4	
刑法Ⅱ	4	4	
刑事訴訟法Ⅰ	4	4	
刑事訴訟法Ⅱ	4	4	
VI群 専門展開科目			
I 類			
法哲学Ⅰ	2	2	
法哲学Ⅱ	2	2	
ローマ法Ⅰ	2	2	
ローマ法Ⅱ	2	2	
日本法制史Ⅰ	2	2	
日本法制史Ⅱ	2	2	
東洋法制史Ⅰ	2	2	
東洋法制史Ⅱ	2	2	
西洋法制史Ⅰ	2	2	
西洋法制史Ⅱ	2	2	
法思想史Ⅰ	2	2	
法思想史Ⅱ	2	2	
II 類			
外国法A（英米）Ⅰ	2	2	
外国法A（英米）Ⅱ	2	2	
外国法A（独仏・EU）Ⅰ	2	2	
外国法A（独仏・EU）Ⅱ	2	2	

外国法A（アジア）	2	2		
外国法B（英米）Ⅰ	2	2		
外国法B（英米）Ⅱ	2	2		
外国法B（独仏・EU）Ⅰ	2	2		
外国法B（独仏・EU）Ⅱ	2	2		
外国法B（アジア）	2	2		
Ⅲ 類				
税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）	2	2		
税法Ⅰ（基礎理論Ⅱ）	2	2		
税法ⅡA（所得税法）	2	2		
税法ⅡB（法人税法）	2	2		
税法ⅢA（資産税法）	2	2		
税法ⅢB（消費・諸税法）	2	2		
国際関係法〔公法系〕AⅠ	2	2		
国際関係法〔公法系〕AⅡ	2	2		
国際関係法〔公法系〕BⅠ	2	2		
国際関係法〔公法系〕BⅡ	2	2		
国際関係法〔私法系〕AⅠ	2	2		
国際関係法〔私法系〕AⅡ	2	2		
国際関係法〔私法系〕BⅠ	2	2		
国際関係法〔私法系〕BⅡ	2	2		
倒産法Ⅰ	2	2		
倒産法Ⅱ	2	2		
労働法Ⅰ	2	2		
労働法Ⅱ	2	2		
経済法Ⅰ	2	2		
経済法Ⅱ	2	2		
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅰ	2	2		
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅱ	2	2		
知的財産法B（意匠）	2	2		
知的財産法C（商標・不正競争）	2	2		
知的財産法D（著作権）Ⅰ	2	2		
知的財産法D（著作権）Ⅱ	2	2		

知的財産法E (関連条約) I	2	2		
知的財産法E (関連条約) II	2	2		
環 境 法	2	2		
IV 類				
地 方 自 治 法 I	2	2		
地 方 自 治 法 II	2	2		
比 較 憲 法 I	2	2		
比 較 憲 法 II	2	2		
経 済 刑 法 I	2	2		
経 済 刑 法 II	2	2		
少 年 法 I	2	2		
少 年 法 II	2	2		
刑 事 政 策 I	2	2		
刑 事 政 策 II	2	2		
法 医 学 I	2	2		
法 医 学 II	2	2		
経 済 行 政 法 I	2	2		
経 済 行 政 法 II	2	2		
社 会 保 障 法 I	2	2		
社 会 保 障 法 II	2	2		
金 融 商 品 取 引 法 I	2	2		
金 融 商 品 取 引 法 II	2	2		
金 融 法 I	2	2		
金 融 法 II	2	2		
法 律 外 国 語 A I	1	1		
法 律 外 国 語 A II	1	1		
法 律 外 国 語 B I	1	1		
法 律 外 国 語 B II	1	1		
ジェンダーと法 I	2	2		
ジェンダーと法 II	2	2		
消 費 者 法	2	2		
不 動 産 法	2	2		
政 治 学 原 論	2	2		

現代政治理論	2	2		
ミクロ経済学 I	2	2		
マクロ経済学 I	2	2		
国際経済論 I	2	2		
国際経済論 II	2	2		
VII群 専門演習関連科目				
憲法基礎演習	2	2		
民法基礎演習	2	2		
刑法基礎演習	2	2		
法学演習 A I	2	2		
法学演習 A II	2	2		
法学演習 B I	2	2		
法学演習 B II	2	2		
公法演習（憲法） I	4	4		
公法演習（行政法） II	4	4		
民事法演習（要件事実） I	4	4		
民事法演習（判例演習） II	4	4		
民事法演習（会社法） III	4	4		
民事法演習（商法） IV	4	4		
民事法演習（不動産・商業登記法） V	4	4		
民事法演習（民事手続法） VI	4	4		
刑事法演習 I	4	4		
刑事法演習 II	4	4		
刑事法演習 III	4	4		
刑事法演習 IV	4	4		
ゼミナール	8	8		
VIII群 教職課程教科専門科目				
日本史概論 I	2	2		
日本史概論 II	2	2		
東洋史概論 I	2	2		
東洋史概論 II	2	2		
西洋史概論 I	2	2		
西洋史概論 II	2	2		

人文地理学概論 I	2		2		
人文地理学概論 II	2		2		
自然地理学概論 I	2		2		
自然地理学概論 II	2		2		
地誌学概論 I	2		2		
地誌学概論 II	2		2		
哲学概論 I	2		2		
哲学概論 II	2		2		
倫理学概論 I	2		2		
倫理学概論 II	2		2		

II 政治経済学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
V群 専門基幹科目				必修単位数36単位を含め、合計76単位以上を修得しなければならない。	
I 類					
政治学 I	2	2		国際政治経済コースは、 VI群 I類より、 国際関係論 I 国際関係史 I 西洋政治史 I 西洋政治史 II を必修とし、 国際関係論 II 平和学 国際関係史 II 国際経済論 I 国際経済論 II 国際金融論 I 国際金融論 II アメリカ政治論 アメリカ経済論 ヨーロッパ政治論 I ヨーロッパ政治論 II ヨーロッパ経済論 アジア政治論 地域研究 アジア経済論 のうちから8単位以上、 計16単位以上、 II類～IV類より8単位以上、 V類より8単位以上、 VII群より8単位以上を修得しなければならない。	
政治学 II	2	2			
経済学 I	2	2			
経済学 II	2	2			
政治経済研究入門	2	2			
II 類					
国際政治学 I	2	2			
国際政治学 II	2	2			
III 類					
日本政治論 I	2	2			
日本政治論 II	2	2			
IV 類					
行政学 I	2	2			

行政学 II	2	2	
V 類			日本政治経済コースは、 VI群 I 類・III 類・IV 類より8単位以上、 II 類より、 日本政治史 I 日本政治史 II 日本政治思想史 I 経済史 を必修とし、 日本政治思想史 II 日本政治過程論 国会論 日本経済論 I 日本経済論 II のうちから8単位以上、 計16単位以上、 V 類より8単位以上、 VII 群より8単位以上を修得しなければならない。
政治学原論	2	2	
現代政治理論	2	2	
ミクロ経済学 I	2	2	
マクロ経済学 I	2	2	
VI群 専門展開科目			
I 類			
国際関係論 I	2	2	
国際関係論 II	2	2	
平和学	2	2	
国際関係史 I	2	2	
国際関係史 II	2	2	
国際経済論 I	2	2	地方行財政コースは、 VI群 I 類・II 類・IV 類より8単位以上、 III 類より、 地方自治論 I 公共経済学 I 地方財政論 I 地方財政論 II を必修とし、 地方自治論 II 公共選択論 公共経済学 II 経済政策論 地域開発論 産業立地論 のうちから8単位以上、 計16単位以上、 V 類より8単位以上、 VII 群より8単位以上を修得しなければならない。
国際経済論 II	2	2	
国際金融論 I	2	2	
国際金融論 II	2	2	
西洋政治史 I	2	2	
西洋政治史 II	2	2	
アメリカ政治論	2	2	
アメリカ経済論	2	2	
ヨーロッパ政治論 I	2	2	
ヨーロッパ政治論 II	2	2	
ヨーロッパ経済論	2	2	
アジア政治論	2	2	
地域研究	2	2	
アジア経済論	2	2	

II 類			政治経済理論コースは、 VI群
日本政治史 I	2	2	I類～III類より8単位以上、 IV類より、 西洋政治思想史 I 西洋政治思想史 II 比較政治学 財政学 I を必修とし、 比較政党論 政治制度論 政治社会学 選挙制度論 政治過程論 立法過程論 政治哲学 I 政治哲学 II 計量政治学 ミクロ経済学 II マクロ経済学 II 財政学 II 経済思想史 I 経済思想史 II 計量経済学 のうちから8単位以上、 計16単位以上、 V類より8単位以上、 VII群より8単位以上を修得しな ければならない。
日本政治史 II	2	2	
日本政治思想史 I	2	2	
日本政治思想史 II	2	2	
日本政治過程論	2	2	
国会論	2	2	
日本経済論 I	2	2	
日本経済論 II	2	2	
経済史	2	2	
III 類			
地方自治論 I	2	2	
地方自治論 II	2	2	
公共選択論	2	2	
公共経済学 I	2	2	
公共経済学 II	2	2	
地方財政論 I	2	2	
地方財政論 II	2	2	
経済政策論	2	2	
地域開発論	2	2	
産業立地論	2	2	
IV 類			
西洋政治思想史 I	2	2	

西洋政治思想史Ⅱ	2		2		
比較政治学	2		2		
比較政党論	2		2		
政治制度論	2		2		
政治社会学	2		2		
選挙制度論	2		2		
政治過程論	2		2		
立法過程論	2		2		
政治哲学Ⅰ	2		2		
政治哲学Ⅱ	2		2		
計量政治学	2		2		
ミクロ経済学Ⅱ	2		2		
マクロ経済学Ⅱ	2		2		
財政学Ⅰ	2		2		
財政学Ⅱ	2		2		
経済思想史Ⅰ	2		2		
経済思想史Ⅱ	2		2		
計量経済学	2		2		
V 類					
法学Ⅰ	2	2			
憲法A（人権）	2	2			
憲法B（統治機構）	2	2			
行政法Ⅰ	4		4		
行政法Ⅱ	4		4		
刑事法Ⅰ	2		2		
刑事法Ⅱ	2		2		
民法総則	2		2		
物権・担保物権法	2		2		
債権法総論	2		2		

債 権 法 各 論	2	2		
民法Ⅵ（親族法）	2	2		
民法Ⅶ（相続法）	2	2		
商法Ⅰ（会社法Ⅰ）	4	4		
国際関係法〔公法系〕AⅠ	2	2		
国際関係法〔公法系〕AⅡ	2	2		
地 方 自 治 法 Ⅰ	2	2		
地 方 自 治 法 Ⅱ	2	2		
Ⅶ群 専門演習関連科目				
政治経済演習Ⅰ	4	4		
政治経済演習Ⅱ	4	4		
ゼミナール	8	8		
Ⅷ群 教職課程教科専門科目				
日 本 史 概 論 Ⅰ	2	2		
日 本 史 概 論 Ⅱ	2	2		
東 洋 史 概 論 Ⅰ	2	2		
東 洋 史 概 論 Ⅱ	2	2		
西 洋 史 概 論 Ⅰ	2	2		
西 洋 史 概 論 Ⅱ	2	2		
人文地理学概論Ⅰ	2	2		
人文地理学概論Ⅱ	2	2		
自然地理学概論Ⅰ	2	2		
自然地理学概論Ⅱ	2	2		
地 誌 学 概 論 Ⅰ	2	2		
地 誌 学 概 論 Ⅱ	2	2		
哲 学 概 論 Ⅰ	2	2		
哲 学 概 論 Ⅱ	2	2		
倫 理 学 概 論 Ⅰ	2	2		

倫理学概論Ⅱ	2		2	
--------	---	--	---	--

Ⅲ 新聞学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
V群 専門基幹科目				必修単位数36単位を含め、合計72単位以上を修得しなければならない。	
I 類				VI群 I類より、 文章作法 社会調査 メディア調査 のうちから2単位以上、 メディアと社会 メディアと文化 情報の科学Ⅰ 政治コミュニケーション のうちから2単位以上、 東アジア・メディア研究 グローバル・コミュニケーション 地域社会とメディア のうちから2単位以上、 外国ジャーナリズム史 メディア史 日本ジャーナリズム史Ⅱ のうちから2単位以上、 ジャーナリズム倫理Ⅰ メディアと法Ⅱ コミュニケーション政策Ⅰ のうちから2単位以上、 メディア産業 出版研究 広告広報研究 放送研究 コンテンツ・ビジネス のうちから2単位以上、 計20単位以上、 II類より、 法学Ⅰ 法学Ⅱ のうちから4単位以上、 又は、 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 行政学Ⅰ 行政学Ⅱ のうちから4単位以上、 又は、 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 経営学Ⅰ 経営学Ⅱ のうちから4単位以上のいずれかを修得し、 計8単位以上、 VII群より8単位以上を修得しなければならない。	
新聞学入門	2	2			
新聞学基礎	2	2			
II 類					
メディアの世界	2	2			
メディア・テキストの基礎	2	2			
ニュース英語Ⅰ	2	2			
ニュース英語Ⅱ	2	2			
III 類					
コミュニケーション論	2	2			
コミュニケーションとインターネット	2	2			
メディアと歴史	2	2			
日本ジャーナリズム史Ⅰ	2	2			
ジャーナリズム論A	2	2			
ジャーナリズム論B	2	2			
マス・コミュニケーション論	2	2			
メディア・コミュニケーション論	2	2			
映像ジャーナリズム論	2	2			
メディアと法Ⅰ	2	2			

VI群 専門展開科目

I 類

文章作法	2	2
社会調査	2	2
メディア調査	2	2
メディアと社会	2	2
メディアと文化	2	2
情報の科学 I	2	2
政治コミュニケーション	2	2
東アジア・メディア研究	2	2
グローバル・コミュニケーション	2	2
地域社会とメディア	2	2
外国ジャーナリズム史	2	2
メディア史	2	2
日本ジャーナリズム史II	2	2
ジャーナリズム倫理 I	2	2
メディアと法 II	2	2
コミュニケーション政策 I	2	2
メディア産業	2	2
出版研究	2	2
広告広報研究	2	2
放送研究	2	2
コンテンツ・ビジネス	2	2
情報の科学 II	2	2

ジャーナリズム倫理Ⅱ	2		2		
コミュニケーション政策Ⅱ	2		2		
新聞学特論 A	2		2		
新聞学特論 B	2		2		
新聞学特論 C	2		2		
新聞学原書研究	2		2		
Ⅱ 類					
憲法 A (人権)	2	2			
憲法 B (統治機構)	2	2			
法学 I	2		2		
法学 II	2		2		
刑事法 I	2		2		
刑事訴訟法 I	4		4		
民法総則	2		2		
物権・担保物権法	2		2		
民事訴訟法 I	4		4		
商法 I (会社法 I)	4		4		
法情報学 I	2		2		
知的財産法 D (著作権) I	2		2		
政治学 I	2		2		
政治学 II	2		2		
行政学 I	2		2		
行政学 II	2		2		
政治学原論	2		2		

現代政治理論	2	2		
国際政治学Ⅰ	2	2		
国際政治学Ⅱ	2	2		
アジア政治論	2	2		
日本政治論Ⅰ	2	2		
日本政治史Ⅰ	2	2		
立法過程論	2	2		
地方自治論Ⅰ	2	2		
行政広報論	2	2		
経済学Ⅰ	2	2		
経済学Ⅱ	2	2		
経営学Ⅰ	2	2		
経営学Ⅱ	2	2		
ミクロ経済学Ⅰ	2	2		
マクロ経済学Ⅰ	2	2		
国際経済論Ⅰ	2	2		
国際経済論Ⅱ	2	2		
マーケティング論Ⅰ	2	2		
国際マーケティング論Ⅰ	2	2		
コーポレート・ファイナンス論Ⅰ	2	2		
VII群 専門演習関連科目				
新聞学演習Ⅰ	4	4		
新聞学演習Ⅱ	4	4		
ゼミナール	8	8		

Ⅷ群 教職課程教科専門科目					
日本史概論Ⅰ	2		2		
日本史概論Ⅱ	2		2		
東洋史概論Ⅰ	2		2		
東洋史概論Ⅱ	2		2		
西洋史概論Ⅰ	2		2		
西洋史概論Ⅱ	2		2		
人文地理学概論Ⅰ	2		2		
人文地理学概論Ⅱ	2		2		
自然地理学概論Ⅰ	2		2		
自然地理学概論Ⅱ	2		2		
地誌学概論Ⅰ	2		2		
地誌学概論Ⅱ	2		2		
哲学概論Ⅰ	2		2		
哲学概論Ⅱ	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		

Ⅳ 経営法学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅴ群 専門基幹科目					
法学Ⅰ	2	2		必修単位数22単位を含め、ビジネス法コースは合計78単位以上、国際法務コース及び知的財産コースは合計80単位以上を修得しなければならない。	
法学Ⅱ	2	2			
基礎経営法学	2	2		ビジネス法コースは、Ⅴ群より、 商法Ⅰ（会社法Ⅰ） マーケティング論Ⅰ	
憲法A（人権）	2	2			

憲法B（統治機構）	2	2	<p>マーケティング論Ⅱを必修とし、12単位以上、 VI群 I類より8単位以上、 II類より8単位以上、 V類より20単位以上、 VII群より8単位以上を修得しなければならない。</p>	
民法Ⅰ（民法総則）	4	4		
商法Ⅰ（会社法Ⅰ）	4	4		
民事訴訟法Ⅰ	4	4		
国際関係法〔私法系〕AⅠ	2	2		
国際関係法〔私法系〕AⅡ	2	2		
国際取引法AⅠ	2	2		
国際取引法AⅡ	2	2		
法律外国語AⅠ	1	1		
法律外国語AⅡ	1	1		
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅰ	2	2		<p>国際法務コースは、 V群より、 商法Ⅰ（会社法Ⅰ） 国際関係法（私法系）AⅠ 国際関係法（私法系）AⅡ 国際取引法AⅠ 国際取引法AⅡ 法律外国語AⅠ 法律外国語AⅡ を必修とし、14単位以上、 VI群 I類より10単位以上、 III類より16単位以上、 V類より10単位以上、 VII群より8単位以上を修得しなければならない。</p>
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅱ	2	2		
知的財産法B（意匠）	2	2		
知的財産法C（商標・不正競争）	2	2		
知的財産法D（著作権）Ⅰ	2	2		
知的財産法D（著作権）Ⅱ	2	2		
経営学Ⅰ	2	2		
経営学Ⅱ	2	2		
マーケティング論Ⅰ	2	2		
マーケティング論Ⅱ	2	2		
簿記論Ⅰ	2	2		
簿記論Ⅱ	2	2	<p>知的財産コースは、 V群より、 知的財産法A（特許・実用新案）Ⅰ 知的財産法A（特許・実用新案）Ⅱ 知的財産法B（意匠） 知的財産法C（商標・不正競争） 知的財産法D（著作権）Ⅰ 知的財産法D（著作権）Ⅱ を必修とし、12単位以上、 VI群 I類より8単位以上、 IV類より16単位以上、 V類より14単位以上、 VII群より8単位以上を修得しなければならない。</p>	
会計学Ⅰ	2	2		
会計学Ⅱ	2	2		
VI群 専門展開科目				
I 類				
民法Ⅱ（物権法）	2	2		
民法Ⅲ（担保物権法）	2	2		
民法Ⅳ（債権法総論）	4	4		
民法Ⅴ（債権法各論）	4	4		

民法Ⅵ（親族法）	2	2		
民法Ⅶ（相続法）	2	2		
商法Ⅲ（商取引法）	2	2		
商法Ⅳ（支払システム法）	2	2		
商法Ⅴ（保険法）	2	2		
民事執行・保全法	4	4		
刑事法Ⅰ	2	2		
刑事法Ⅱ	2	2		
国際関係法〔公法系〕AⅠ	2	2		
国際関係法〔公法系〕AⅡ	2	2		
Ⅱ 類				
労働法Ⅰ	2	2		
労働法Ⅱ	2	2		
企業法務Ⅰ	2	2		
企業法務Ⅱ	2	2		
経済行政法Ⅰ	2	2		
経済行政法Ⅱ	2	2		
経済法Ⅰ	2	2		
経済法Ⅱ	2	2		
金融商品取引法Ⅰ	2	2		
金融商品取引法Ⅱ	2	2		
金融法Ⅰ	2	2		
金融法Ⅱ	2	2		
税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）	2	2		
税法Ⅰ（基礎理論Ⅱ）	2	2		
税法ⅡA（所得税法）	2	2		
税法ⅡB（法人税法）	2	2		
税法ⅢA（資産税法）	2	2		
税法ⅢB（消費・諸税法）	2	2		
倒産法Ⅰ	2	2		
倒産法Ⅱ	2	2		
消費者法	2	2		
Ⅲ 類				

外国法A（英米）Ⅰ	2	2		
外国法A（英米）Ⅱ	2	2		
外国法A（独仏・EU）Ⅰ	2	2		
外国法A（独仏・EU）Ⅱ	2	2		
外国法A（アジア）	2	2		
外国法B（英米）Ⅰ	2	2		
外国法B（英米）Ⅱ	2	2		
外国法B（独仏・EU）Ⅰ	2	2		
外国法B（独仏・EU）Ⅱ	2	2		
外国法B（アジア）	2	2		
国際契約法Ⅰ	2	2		
国際契約法Ⅱ	2	2		
国際関係法〔私法系〕BI	2	2		
国際関係法〔私法系〕BII	2	2		
国際経済法Ⅰ	2	2		
国際経済法Ⅱ	2	2		
国際取引法BⅠ	2	2		
国際取引法BⅡ	2	2		
国際税法Ⅰ	2	2		
国際税法Ⅱ	2	2		
国際民事紛争処理法	2	2		
国際仲裁	2	2		
法律外国語BⅠ	1	1		
法律外国語BⅡ	1	1		
IV 類				
知的財産管理技能検定	2	2		
ビジネス著作権検定	2	2		
知的財産法E（関連条約）Ⅰ	2	2		
知的財産法E（関連条約）Ⅱ	2	2		
知的財産政策	2	2		
産学連携と知的財産	2	2		
イノベーションと知的財産	2	2		
産業技術と知財A（ICT・コンテンツ）Ⅰ	2	2		

産業技術と知財A (ICT・コンテンツ) II	2	2		
産業技術と知財B (機械・エネルギー)	2	2		
産業技術と知財C (バイオ・環境化学)	2	2		
産業技術と知財D (エレクトロニクス)	2	2		
知的財産英語	2	2		
V 類				
国際マーケティング論 I	2	2		
国際マーケティング論 II	2	2		
組織論 I	2	2		
組織論 II	2	2		
コーポレート・ガバナンス論 I	2	2		
コーポレート・ガバナンス論 II	2	2		
ファイナンス論 I	2	2		
ファイナンス論 II	2	2		
コーポレート・ファイナンス論 I	2	2		
コーポレート・ファイナンス論 II	2	2		
流通システム論 I	2	2		
流通システム論 II	2	2		
経営戦略論 I	2	2		
経営戦略論 II	2	2		
多国籍企業論 I	2	2		
多国籍企業論 II	2	2		
イノベーション・マネジメント I	2	2		
イノベーション・マネジメント II	2	2		
財務会計論 I	2	2		
財務会計論 II	2	2		
監査論 I	2	2		
監査論 II	2	2		
管理会計論 I	2	2		
管理会計論 II	2	2		
原価計算論 I	2	2		
原価計算論 II	2	2		
VI 類				

ミクロ経済学 I	2	2		
マクロ経済学 I	2	2		
国際経済論 I	2	2		
国際経済論 II	2	2		
国際金融論 I	2	2		
国際金融論 II	2	2		
コミュニケーション政策 I	2	2		
コミュニケーション政策 II	2	2		
人的資源管理論 I	2	2		
人的資源管理論 II	2	2		
労働事情	2	2		
経営情報システム論 I	2	2		
経営情報システム論 II	2	2		
VII群 専門演習関連科目				
経営法学演習 I	4	4		
経営法学演習 II	4	4		
ゼミナール	8	8		
VIII群 教職課程教科専門科目				
日本史概論 I	2	2		
日本史概論 II	2	2		
東洋史概論 I	2	2		
東洋史概論 II	2	2		
西洋史概論 I	2	2		
西洋史概論 II	2	2		
人文地理学概論 I	2	2		
人文地理学概論 II	2	2		
自然地理学概論 I	2	2		
自然地理学概論 II	2	2		
地誌学概論 I	2	2		
地誌学概論 II	2	2		
哲学概論 I	2	2		
哲学概論 II	2	2		
倫理学概論 I	2	2		

倫理学概論Ⅱ	2		2	
--------	---	--	---	--

V 公共政策学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
V群 専門基幹科目				必修単位数8単位を含め、行政職課程は合計80単位以上、公安・自治体コース及び公共・公益マネジメントコースは合計74単位以上を修得しなければならない。	
I 類				行政職課程は、 V群 I 類より、 行政学Ⅰ 行政学Ⅱ を必修とし、8単位以上、 II 類より、 地方自治論Ⅰ 地方自治論Ⅱ 行政管理論 行政組織論 行政広報論 政策過程論 政策評価論 政策法務論 比較行政論 公務員制度論 ソーシャル・キャピタル論 福祉契約論 公共経営論 社会情報システム論 のうちから8単位以上、 計14単位以上、 VI群 I 類より10単位以上、 II 類より、 行政管理研究 行政組織研究 行政広報研究 社会情報システム研究 のうちから2単位以上、 計8単位以上、 III 類より14単位以上、 IV 類より8単位以上、 VII 群より、 行政実務演習 を必修とし、計10単位以上を修得しなければならない。	
行政学Ⅰ	2		2		
行政学Ⅱ	2		2		
経営学Ⅰ	2		2		
経営学Ⅱ	2		2		
政治学Ⅰ	2		2		
政治学Ⅱ	2		2		
経済学Ⅰ	2		2		
経済学Ⅱ	2		2		
法学Ⅰ	2		2		
II 類					
公共政策論	2	2			
公共政策基礎演習	2	2			
地方自治論Ⅰ	2		2		
地方自治論Ⅱ	2		2		
社会保障論Ⅰ	2		2		
社会保障論Ⅱ	2		2		
社会政策論Ⅰ	2		2		
社会政策論Ⅱ	2		2		
現代行政論Ⅰ	2		2		
現代行政論Ⅱ	2		2		
会計学Ⅰ	2		2		
会計学Ⅱ	2		2		

人的資源管理論 I	2	2	
人的資源管理論 II	2	2	
経営情報システム論 I	2	2	公安・自治体コースは、 V群
経営情報システム論 II	2	2	I類より、 行政学 I 行政学 II 経営学 I 経営学 II
行政 管理 論	2	2	
行政 組織 論	2	2	のうちから4単位以上、 計8単位以上、
行政 広報 論	2	2	II類より、 地方自治論 I 地方自治論 II
政策 過程 論	2	2	社会保障論 I 社会保障論 II
政策 評価 論	2	2	社会政策論 I 社会政策論 II
政策 法務 論	2	2	現代行政論 I 現代行政論 II
比較 行政 論	2	2	会計学 I 会計学 II
公務員 制度 論	2	2	人的資源管理論 I 人的資源管理論 II
ソーシャル・キャピタル論	2	2	経営情報システム論 I 経営情報システム論 II
福祉 契約 論	2	2	のうちから8単位以上、 計14単位以上、
公共 経営 論	2	2	VI群 I類より、 都市政策 地域政策 警察政策 消防政策
経営 管理 論	2	2	のうちから4単位以上、 計10単位以上、
経営 組織 論	2	2	II類より、 社会情報システム研究 経営分析論
社会情報システム論	2	2	コーポレート・ファイナンス 論 II
労働 事情	2	2	のうちから2単位以上、 計8単位以上、
コーポレート・ファイナンス論 I	2	2	III類より12単位以上、 IV類より6単位以上、
VI群 専門展開科目			VII群より、 公共政策実践演習 I 公共政策実践演習 II 公共政策応用演習 I 公共政策応用演習 II
I 類			ゼミナール
福祉 政策	2	2	のうちから8単位以上を修得し なければならない。
教育 政策	2	2	
都市 政策	2	2	
地域 政策	2	2	

環 境 政 策	2	2	
農 業 政 策	2	2	
警 察 政 策	2	2	公共・公益マネジメントコースは、 V群
情 報 通 信 政 策	2	2	I類より、 経営学Ⅰ を必修とし、 行政学Ⅰ 行政学Ⅱ 経営学Ⅱ
運 輸 政 策	2	2	のうちから2単位以上、 計8単位以上、
観 光 政 策	2	2	II類より、 地方自治論Ⅰ 地方自治論Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 社会政策論Ⅰ 社会政策論Ⅱ 現代行政論Ⅰ 現代行政論Ⅱ
防 衛 政 策	2	2	現代行政論Ⅱ 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ
消 防 政 策	2	2	人的資源管理論Ⅰ 人的資源管理論Ⅱ 経営情報システム論Ⅰ 経営情報システム論Ⅱ ソーシャル・キャピタル論 福祉契約論 公共経営論 経営管理論 経営組織論 社会情報システム論 労働事情 コーポレート・ファイナンス論
II 類			
行 政 管 理 研 究	2	2	I のうちから8単位以上、 計14単位以上、
行 政 組 織 研 究	2	2	VI群 I類より10単位以上、 II類より、 社会情報システム研究 経営分析論 コーポレート・ファイナンス論
行 政 広 報 研 究	2	2	II のうちから2単位以上、 計8単位以上、
社会情報システム研究	2	2	III類より12単位以上、 IV類より6単位以上、 VII群より、 公共政策実践演習Ⅰ 公共政策実践演習Ⅱ 公共政策応用演習Ⅰ 公共政策応用演習Ⅱ ゼミナール
経 営 分 析 論	2	2	のうちから8単位以上を修得し なければならない。
コーポレート・ファイナンス論Ⅱ	2	2	
犯 罪 心 理 学	2	2	
政 策 研 究	2	2	
西洋社会福祉事業史	2	2	
日本社会福祉事業史	2	2	
III 類			
政 治 学 原 論	2	2	
現 代 政 治 理 論	2	2	
政 治 哲 学 Ⅰ	2	2	
日本政治思想史Ⅰ	2	2	

日本政治思想史Ⅱ	2	2		
西洋政治思想史Ⅰ	2	2		
西洋政治思想史Ⅱ	2	2		
日本政治史Ⅰ	2	2		
日本政治史Ⅱ	2	2		
西洋政治史Ⅰ	2	2		
西洋政治史Ⅱ	2	2		
政治制度論	2	2		
政治過程論	2	2		
日本政治過程論	2	2		
国際政治学Ⅰ	2	2		
国際政治学Ⅱ	2	2		
国際関係論Ⅰ	2	2		
国際関係論Ⅱ	2	2		
国際関係史Ⅰ	2	2		
国際関係史Ⅱ	2	2		
ミクロ経済学Ⅰ	2	2		
マクロ経済学Ⅰ	2	2		
経済思想史Ⅰ	2	2		
経済思想史Ⅱ	2	2		
経済史	2	2		
財政学Ⅰ	2	2		
財政学Ⅱ	2	2		
公共経済学Ⅰ	2	2		
公共経済学Ⅱ	2	2		
地方財政論Ⅰ	2	2		

地方財政論 II	2		2		
國際經濟論 I	2		2		
國際經濟論 II	2		2		
國際金融論 I	2		2		
國際金融論 II	2		2		
經濟政策論	2		2		
IV 類					
憲法 A (人權)	2	2			
憲法 B (統治機構)	2	2			
行政法 I	4		4		
行政法 II	4		4		
地方自治法 I	2		2		
地方自治法 II	2		2		
刑法 I	4		4		
刑法 II	4		4		
刑事政策 I	2		2		
刑事政策 II	2		2		
少年法 I	2		2		
少年法 II	2		2		
民法 I (民法總則)	4		4		
民法 II (物權法)	2		2		
民法 III (擔保物權法)	2		2		
民法 IV (債權法總論)	4		4		
民法 V (債權法各論)	4		4		
民法 VI (親族法)	2		2		
民法 VII (相續法)	2		2		

商法Ⅰ（会社法Ⅰ）	4	4		
商法Ⅲ（商取引法）	2	2		
商法Ⅳ（支払システム法）	2	2		
商法Ⅴ（保険法）	2	2		
国際関係法〔公法系〕AⅠ	2	2		
国際関係法〔公法系〕AⅡ	2	2		
税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）	2	2		
税法Ⅰ（基礎理論Ⅱ）	2	2		
経済行政法Ⅰ	2	2		
経済行政法Ⅱ	2	2		
経済法Ⅰ	2	2		
経済法Ⅱ	2	2		
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅰ	2	2		
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅱ	2	2		
知的財産法B（意匠）	2	2		
知的財産法C（商標・不正競争）	2	2		
社会保障法Ⅰ	2	2		
社会保障法Ⅱ	2	2		
法医学Ⅰ	2	2		
法医学Ⅱ	2	2		
労働法Ⅰ	2	2		
労働法Ⅱ	2	2		
VII群 専門演習関連科目				
行政実務演習	2	2		
公共政策実践演習Ⅰ	2	2		
公共政策実践演習Ⅱ	2	2		

公共政策応用演習 I	2	2		
公共政策応用演習 II	2	2		
ゼミナール	8	8		
VIII群 教職課程教科専門科目				
日本史概論 I	2	2		
日本史概論 II	2	2		
東洋史概論 I	2	2		
東洋史概論 II	2	2		
西洋史概論 I	2	2		
西洋史概論 II	2	2		
人文地理学概論 I	2	2		
人文地理学概論 II	2	2		
自然地理学概論 I	2	2		
自然地理学概論 II	2	2		
地誌学概論 I	2	2		
地誌学概論 II	2	2		
哲学概論 I	2	2		
哲学概論 II	2	2		
倫理学概論 I	2	2		
倫理学概論 II	2	2		

第80条 (削除)

第2節 文理学部

第81条 文理学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、科目区分ごとに履修方法で定めた単位数を含め、総計124単位以上を修得しなければならない。

なお、許可を得て修得した第64条第3項の教科及び教職に関する科目（各教科の指導法に関する科目、教諭の教育の基礎的理解に関する科目等）については、卒業に必要な総単位数に算入することができる（各教科教育法Ⅰ～Ⅳ、教育実習事前・事後指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ及び教職実践演習（中・高）を除く）。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2 総合教育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
総合Ⅰ群				総合Ⅰ群または総合Ⅱ群の区別なく、人文系科目、社会系科目、理学系科目のうちから、それぞれ2単位以上を含め、合計16単位以上を修得しなければならない。	
人文系科目					
哲学	2		2		
論理学	2		2		
倫理学	2		2		
美学	2		2		
宗教学	2		2		
歴史学	2		2		
考古学	2		2		
文学	2		2		
言語学	2		2		
民俗学	2		2		
社会系科目					
法学	2		2		
憲法	2		2		
社会学	2		2		
社会福祉学	2		2		
政治学	2		2		

経 済 学	2	2		
地 理 学	2	2		
教 育 学	2	2		
心 理 学	2	2		
身 体 科 学	2	2		
理 学 系 科 目				
数 学	2	2		
物 理 学	2	2		
化 学	2	2		
生 命 科 学	2	2		
地 球 科 学	2	2		
宇 宙 科 学	2	2		
統 計 学	2	2		
情 報 科 学	2	2		
科 学 史	2	2		
総 合 II 群				
人 文 系 科 目				
「生きる」ことの哲学	2	2		
現 代 思 想 論	2	2		
異文化間コミュニケーション論	2	2		
日本の歴史・社会・文化	2	2		
欧米の歴史・社会・文化	2	2		
アジアの歴史・社会・文化	2	2		
イスラム圏の歴史・社会・文化	2	2		
美 術 史	2	2		
演 劇 論	2	2		
映 像 文 化 論	2	2		
身 体 表 現 論	2	2		
音 楽 文 化 論	2	2		
言語学から見た世界	2	2		
社 会 系 科 目				
デジタル産業革命と社会の変容	2	2		
国民国家とグローバル資本主義	2	2		
戦 後 日 本 の 政 治	2	2		

経済発展と人口変動	2	2		
日常生活の中の経済学	2	2		
公と私の社会科学	2	2		
多文化共生社会を生きる	2	2		
少子化・高齢化社会を生きる	2	2		
メディア論	2	2		
ジェンダー論	2	2		
市民社会と法	2	2		
現代ビジネスと企業の社会的責任	2	2		
労働と労働者の権利	2	2		
国際法	2	2		
国際情勢	2	2		
国際経済論	2	2		
スポーツ文化論	2	2		
理学系科目				
人類の進化	2	2		
データと対話するための統計学	2	2		
身のまわりの生命現象	2	2		
環境と生命のつながり	2	2		
ゲノム改変と私たちの生活	2	2		
日本の自然と災害	2	2		
地球環境の変動と生命史	2	2		
身体 の 健康	2	2		
心 の 健康	2	2		
数学を楽しむ	2	2		
宇宙を理解する	2	2		
原子の世界	2	2		
現代社会を支える化学	2	2		
現代社会を支える科学技術	2	2		
情報とコミュニケーション	2	2		
情報と社会	2	2		
情報と数理	2	2		
総合 III 群				

プロジェクト教育科目			
総合研究 1	2	2	
総合研究 2	2	2	
総合研究 3	2	2	
総合研究 4	2	2	
総合研究 5	2	2	
総合研究 6	2	2	
総合研究 7	2	2	
総合研究 8	2	2	
キャリア教育科目			
キャリア・ストレスマネジメント	2	2	
キャリアデザイン	2	2	
インターンシップ	2	2	
国際教養科目			
(国際日本学)			
History of Japan 1	2	2	
History of Japan 2	2	2	
Japanese Society 1	2	2	
Japanese Society 2	2	2	
Japanese Literature 1	2	2	
Japanese Literature 2	2	2	
Japanese Culture 1	2	2	
Japanese Culture 2	2	2	
Environmental Geography of Japan 1	2	2	
Environmental Geography of Japan 2	2	2	
Japan in the World 1	2	2	
Japan in the World 2	2	2	
国際日本学入門 1	2	2	
国際日本学入門 2	2	2	
(アカデミック・ライティング)			
アカデミック・ライティング(日本語) 1	2	2	
アカデミック・ライティング(日本語) 2	2	2	
アカデミック・ライティング(英語) 1	2	2	

アカデミック・ライティング(英語) 2 (日本語教育関連科目)	2		2	
日本語教育学入門	2		2	
日本語教育のための文法 教材・教具論	2		2	
日本語教育実習	3		3	

3 外国語教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英 語 1	1		1	中国語中国文化学科においては中国語1～14, 14単位, 英文学科においては英語1～12, 12単位, ドイツ文学科においてはドイツ語1～12, 12単位を必修外国語として修得し, 選択外国語として必修外国語以外のいずれか1言語の中から4単位以上を修得しなければならない。 その他の学科においては開講科目の中からいずれか1言語もしくは2言語(各言語4単位以上)8単位以上を修得しなければならない。	
英 語 2	1		1		
英 語 3	1		1		
英 語 4	1		1		
英 語 5	1		1		
英 語 6	1		1		
英 語 7	1		1		
英 語 8	1		1		
英 語 9	1		1		
英 語 10	1		1		
英 語 11	1		1		
英 語 12	1		1		
実用英語検定 1	1		1	中国語中国文化学科及びドイツ文学科においては, 選択外国語として英語を選択した場合は, 英語1～4を修得しなければならない。また, 中国語中国文化学科及びドイツ文学科の外国人留学生は選択外国語として, 日本語(または日本語初級) 4単位以上を修得しなければならない。 英文学科の外国人留学生は選択外国語として, 日本語(または日本語初級) 4単位以上を修得しなければならない。	
実用英語検定 2	1		1		
T O E I C 1	1		1		
T O E I C 2	1		1		
T O E I C 3	1		1		
T O E I C 4	1		1		
T O E F L 1	1		1		
T O E F L 2	1		1		
I E L T S 1	1		1		
I E L T S 2	1		1		
通 訳 英 語	1		1		
ビ ジ ネ ス 英 語	1		1		

観 光 英 語	1	1	その他の学科においては、英語を選択した場合は、英語1～8（2言語選択の場合は英語1～4）を修得しなければならない。また、その他の学科の外国人留学生は日本語1～8（または日本語初級1～8）8単位以上を修得しなければならない。
英 文 翻 訳 法	1	1	
英文ライティング 1	1	1	
英文ライティング 2	1	1	
メディア・インターネット英語	1	1	
オ ー ラ ル 英 語 1	1	1	
オ ー ラ ル 英 語 2	1	1	
オ ー ラ ル 英 語 3	1	1	
オ ー ラ ル 英 語 4	1	1	
検 定 英 語 1	6	6	
検 定 英 語 2	4	4	
検 定 英 語 3	2	2	
ド イ ツ 語 1	1	1	
ド イ ツ 語 2	1	1	
ド イ ツ 語 3	1	1	
ド イ ツ 語 4	1	1	
ド イ ツ 語 5	1	1	
ド イ ツ 語 6	1	1	
ド イ ツ 語 7	1	1	
ド イ ツ 語 8	1	1	
ド イ ツ 語 9	1	1	
ド イ ツ 語 10	1	1	
ド イ ツ 語 11	1	1	
ド イ ツ 語 12	1	1	
ドイツ語コミュニケーション 1	1	1	
ドイツ語コミュニケーション 2	1	1	
ドイツ語コミュニケーション 3	1	1	
ドイツ語コミュニケーション 4	1	1	
ド イ ツ 語 講 読 1	1	1	
ド イ ツ 語 講 読 2	1	1	
ド イ ツ 語 講 読 3	1	1	
ド イ ツ 語 講 読 4	1	1	
ド イ ツ 語 検 定 1	6	6	

ドイツ語検定 2	4	4	
ドイツ語検定 3	2	2	
ドイツ語検定 4	2	2	
ドイツ語検定 5	2	2	
ドイツ語検定 6	4	4	
フランス語 1	1	1	
フランス語 2	1	1	
フランス語 3	1	1	
フランス語 4	1	1	
フランス語 5	1	1	
フランス語 6	1	1	
フランス語 7	1	1	
フランス語 8	1	1	
フランス語コミュニケーション 1	1	1	
フランス語コミュニケーション 2	1	1	
フランス語コミュニケーション 3	1	1	
フランス語コミュニケーション 4	1	1	
フランス語コミュニケーション 5	1	1	
フランス語コミュニケーション 6	1	1	
時事フランス語 1	1	1	
時事フランス語 2	1	1	
フランス語検定 1	6	6	
フランス語検定 2	4	4	
フランス語検定 3	2	2	
フランス語検定 4	2	2	
フランス語検定 5	2	2	
フランス語検定 6	4	4	
中国語 1	1	1	
中国語 2	1	1	
中国語 3	1	1	
中国語 4	1	1	
中国語 5	1	1	
中国語 6	1	1	

中国語	7	1	1
中国語	8	1	1
中国語	9	1	1
中国語	10	1	1
中国語	11	1	1
中国語	12	1	1
中国語	13	1	1
中国語	14	1	1
スペイン語	1	1	1
スペイン語	2	1	1
スペイン語	3	1	1
スペイン語	4	1	1
スペイン語	5	1	1
スペイン語	6	1	1
スペイン語	7	1	1
スペイン語	8	1	1
韓国語／朝鮮語	1	1	1
韓国語／朝鮮語	2	1	1
韓国語／朝鮮語	3	1	1
韓国語／朝鮮語	4	1	1
韓国語／朝鮮語	5	1	1
韓国語／朝鮮語	6	1	1
韓国語／朝鮮語	7	1	1
韓国語／朝鮮語	8	1	1
ロシア語	1	1	1
ロシア語	2	1	1
ロシア語	3	1	1
ロシア語	4	1	1
ロシア語	5	1	1
ロシア語	6	1	1
ロシア語	7	1	1
ロシア語	8	1	1

日本語初級 1	1		1	外国人留学生のみ 履修できる	
日本語初級 2	1		1		
日本語初級 3	1		1		
日本語初級 4	1		1		
日本語初級 5	1		1		
日本語初級 6	1		1		
日本語初級 7	1		1		
日本語初級 8	1		1		
日本語 1	1		1		
日本語 2	1		1		
日本語 3	1		1		
日本語 4	1		1		
日本語 5	1		1		
日本語 6	1		1		
日本語 7	1		1		
日本語 8	1		1		
ビジネス日本語 1	1		1		
ビジネス日本語 2	1		1		
海外語学研修	2		2		
海外文化交流	2		2		

4 基礎教育科目

I 健康・スポーツ教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
健康・スポーツ教育論	2	2		必修単位数3単位を修得しなければならない。	
健康・スポーツ教育実習1	1	1			
健康・スポーツ教育実習2	1		1		
健康・スポーツ教育実習3	1		1		
健康・スポーツ教育実習4	1		1		
健康・スポーツ教育実習5	1		1		

II コンピュータ科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
情報リテラシー	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
アカデミック ICT 基礎	2		2		

データ処理基礎	2		2		
情報倫理・情報セキュリティ	2		2		
プレゼンテーション法	2		2		
アルゴリズムとプログラミング基礎	2		2		
アルゴリズムとプログラミング応用	2		2		
ビッグデータサイエンス	2		2		
ICT機器活用法	2		2		
ネットワーク設計基礎(含演習)	3		3		
ネットワーク設計活用	2		2		
ネットワーク設計応用	2		2		
情報セキュリティ基盤構築基礎	2		2		
情報セキュリティ基盤構築応用	2		2		
次世代情報基盤構築基礎	2		2		
次世代情報基盤構築応用	2		2		
Windowsサーバー管理の基礎(含演習)	3		3		
サーバーの仮想化環境の構築(含演習)	3		3		

5 学科専門科目

I 哲学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
I 区分				必修単位数28単位を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2			
クリティカル・シンキング1	1	1			
クリティカル・シンキング2	1	1			
哲学概論	2	2			
哲学講究	2	2			
倫理学概論	2	2			
倫理学講究	2	2			
美学概論	2	2			
美学講究	2	2			
宗教学概論	2	2			
宗教学講究	2	2			
哲学基礎講読1	1		1		
哲学基礎講読2	1		1		

倫理学基礎講読	1	1	1	A群
倫理学基礎講読	2	1	1	
美学基礎講読	1	1	1	
美学基礎講読	2	1	1	
宗教学基礎講読	1	1	1	
宗教学基礎講読	2	1	1	
思想史	1	2	2	B群
思想史	2	2	2	
思想史	3	2	2	
思想史	4	2	2	
思想史	5	2	2	
思想史	6	2	2	
思想史	7	2	2	
思想史	8	2	2	
美学史	1	2	2	
美学史	2	2	2	
美学史	3	2	2	
美学史	4	2	2	
宗教史	1	2	2	
宗教史	2	2	2	
宗教史	3	2	2	
宗教史	4	2	2	
記号論理	1	2	2	
記号論理	2	2	2	
古典語・古典学	1	1	1	
古典語・古典学	2	1	1	
古典語・古典学	3	1	1	
古典語・古典学	4	1	1	
古典語・古典学	5	1	1	
古典語・古典学	6	1	1	
古典語・古典学	7	1	1	
古典語・古典学	8	1	1	

哲学演習	1	1	1
哲学演習	2	1	1
哲学演習	3	1	1
哲学演習	4	1	1
哲学演習	5	1	1
哲学演習	6	1	1
哲学演習	7	1	1
哲学演習	8	1	1
倫理学演習	1	1	1
倫理学演習	2	1	1
倫理学演習	3	1	1
倫理学演習	4	1	1
美学演習	1	1	1
美学演習	2	1	1
美学演習	3	1	1
美学演習	4	1	1
美学演習	5	1	1
美学演習	6	1	1
美学演習	7	1	1
美学演習	8	1	1
宗教学演習	1	1	1
宗教学演習	2	1	1
宗教学演習	3	1	1
宗教学演習	4	1	1
哲学課題研究	1	1	1
哲学課題研究	2	1	1
哲学課題研究	3	1	1
哲学課題研究	4	1	1
哲学課題研究	5	1	1
哲学課題研究	6	1	1
哲学課題研究	7	1	1
哲学課題研究	8	1	1
倫理学課題研究	1	1	1
倫理学課題研究	2	1	1

C群

倫理學課題研究 3	1	1	
倫理學課題研究 4	1	1	
倫理學課題研究 5	1	1	
倫理學課題研究 6	1	1	
美學課題研究 1	1	1	
美學課題研究 2	1	1	
美學課題研究 3	1	1	
美學課題研究 4	1	1	
美學課題研究 5	1	1	
美學課題研究 6	1	1	
宗教學課題研究 1	1	1	
宗教學課題研究 2	1	1	
宗教學課題研究 3	1	1	
宗教學課題研究 4	1	1	
宗教學課題研究 5	1	1	
宗教學課題研究 6	1	1	
哲學特殊講義 1	2	2	
哲學特殊講義 2	2	2	
哲學特殊講義 3	2	2	
哲學特殊講義 4	2	2	
哲學特殊講義 5	2	2	
哲學特殊講義 6	2	2	
哲學特殊講義 7	2	2	
哲學特殊講義 8	2	2	
倫理學特殊講義 1	2	2	
倫理學特殊講義 2	2	2	
倫理學特殊講義 3	2	2	
倫理學特殊講義 4	2	2	
倫理學特殊講義 5	2	2	
倫理學特殊講義 6	2	2	
倫理學特殊講義 7	2	2	
倫理學特殊講義 8	2	2	
美學特殊講義 1	2	2	D群
美學特殊講義 2	2	2	
美學特殊講義 3	2	2	

美学特殊講義	4	2		2	
美学特殊講義	5	2		2	
美学特殊講義	6	2		2	
美学特殊講義	7	2		2	
美学特殊講義	8	2		2	
宗教学特殊講義	1	2		2	
宗教学特殊講義	2	2		2	
宗教学特殊講義	3	2		2	
宗教学特殊講義	4	2		2	
宗教学特殊講義	5	2		2	
宗教学特殊講義	6	2		2	
宗教学特殊講義	7	2		2	
宗教学特殊講義	8	2		2	
教 理 学	1	2		2	
教 理 学	2	2		2	
卒 業 論 文	1	4	4		
卒 業 論 文	2	4	4		
II 区分					
日 本 史 概 説		2		2	
日 本 史 講 究		2		2	
東 洋 史 概 説		2		2	
東 洋 史 講 究		2		2	
西 洋 史 概 説		2		2	
西 洋 史 講 究		2		2	
地 理 学 概 論		2		2	
地 理 学 詳 論		2		2	
地 誌 学		2		2	
法 学 通 論		2		2	
国 際 法		2		2	
政 治 学 概 論		2		2	
国 際 情 勢		2		2	
社 会 学 概 論		2		2	
社 会 学 各 論		2		2	
經 济 学 概 論		2		2	

国 際 経 済 論	2		2	
-----------	---	--	---	--

II 史学科					
授 業 科 目	単 位 数	必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	履 修 方 法	備 考
I 区分				必修単位数12単位を修得しなければならない。	
学 問 の 扉	2	2		I 区分の選択単位数のうちA群から4単位, B群から8単位, C群から16単位, D群から2単位, E群から4単位, F群から8単位を含め, 合計54単位以上を修得しなければならない。	
史 学 概 論	2	2			
日本史研究法入門	2		2	A群	
東洋史研究法入門	2		2		
西洋史研究法入門	2		2		
考古学研究法入門	2		2		
日本史概説	2		2	B群	
日本史講究	2		2		
東洋史概説	2		2		
東洋史講究	2		2		
西洋史概説	2		2		
西洋史講究	2		2		
日本考古学概説 1	2		2		
日本考古学概説 2	2		2		
外国考古学概説 1	2		2		
外国考古学概説 2	2		2		
日本史特講 1	2		2		
日本史特講 2	2		2		
日本史特講 3	2		2		
日本史特講 4	2		2		
日本史特講 5	2		2		
日本史特講 6	2		2		
日本史特講 7	2		2		
日本史特講 8	2		2		
東洋史特講 1	2		2		
東洋史特講 2	2		2		

東洋史特講	3	2	2	C群
東洋史特講	4	2	2	
東洋史特講	5	2	2	
東洋史特講	6	2	2	
東洋史特講	7	2	2	
東洋史特講	8	2	2	
西洋史特講	1	2	2	
西洋史特講	2	2	2	
西洋史特講	3	2	2	
西洋史特講	4	2	2	
西洋史特講	5	2	2	
西洋史特講	6	2	2	
西洋史特講	7	2	2	
西洋史特講	8	2	2	
考古学特講	1	2	2	
考古学特講	2	2	2	
考古学特講	3	2	2	
考古学特講	4	2	2	
考古学特講	5	2	2	
考古学特講	6	2	2	
考古学特講	7	2	2	
考古学特講	8	2	2	
日本史基礎実習	1	1	1	D群
日本史基礎実習	2	1	1	
東洋史基礎実習	1	1	1	
東洋史基礎実習	2	1	1	
西洋史基礎実習	1	1	1	
西洋史基礎実習	2	1	1	
考古学基礎実習	1	1	1	
考古学基礎実習	2	1	1	
日本史研究実習	1	1	1	
日本史研究実習	2	1	1	
東洋史研究実習	1	1	1	

東洋史研究実習 2	1	1	E群
西洋史研究実習 1	1	1	
西洋史研究実習 2	1	1	
考古学研究実習 1	1	1	
考古学研究実習 2	1	1	
日本史料研究 1	2	2	
日本史料研究 2	2	2	
日本史料研究 3	2	2	
日本史料研究 4	2	2	
古文書・古記録学 1	2	2	
古文書・古記録学 2	2	2	
古文書・古記録学 3	2	2	
古文書・古記録学 4	2	2	
東洋史料文献研究 1	2	2	
東洋史料文献研究 2	2	2	
東洋史料文献研究 3	2	2	
東洋史料文献研究 4	2	2	
西洋史料文献研究 1	2	2	
西洋史料文献研究 2	2	2	
西洋史料文献研究 3	2	2	
西洋史料文献研究 4	2	2	
考古学方法論 1	2	2	
考古学方法論 2	2	2	
考古学方法論 3	2	2	
考古学方法論 4	2	2	
日本史ゼミナール 1	2	2	
日本史ゼミナール 2	2	2	
日本史ゼミナール 3	2	2	
日本史ゼミナール 4	2	2	
東洋史ゼミナール 1	2	2	
東洋史ゼミナール 2	2	2	
東洋史ゼミナール 3	2	2	
東洋史ゼミナール 4	2	2	

西洋史ゼミナール 1	2	2	F群
西洋史ゼミナール 2	2	2	
西洋史ゼミナール 3	2	2	
西洋史ゼミナール 4	2	2	
考古学ゼミナール 1	2	2	
考古学ゼミナール 2	2	2	
考古学ゼミナール 3	2	2	
考古学ゼミナール 4	2	2	
文化財ゼミナール 1	2	2	
文化財ゼミナール 2	2	2	
文化財ゼミナール 3	2	2	
文化財ゼミナール 4	2	2	
遺 跡 解 題 1	2	2	
遺 跡 解 題 2	2	2	
考古学実地研究 1	2	2	
考古学実地研究 2	2	2	
歴 史 民 俗 学 1	2	2	
歴 史 民 俗 学 2	2	2	
文 化 財 学 1	2	2	
文 化 財 学 2	2	2	
卒 業 論 文	8		
II 区分			
地 理 学 概 論	2	2	
地 理 学 詳 論	2	2	
人 文 地 理 学 概 論	2	2	
人 文 地 理 学 詳 論	2	2	
自 然 地 理 学 概 論	2	2	
自 然 地 理 学 詳 論	2	2	
地 誌 学	2	2	
法 学 通 論	2	2	
政 治 学 概 論	2	2	
経 済 学 概 論	2	2	
社 会 学 概 論	2	2	

社会学各論	2		2		
哲学概論	2		2		
哲学講究	2		2		
倫理学概論	2		2		
倫理学講究	2		2		
宗教学概論	2		2		
宗教学講究	2		2		

Ⅲ 国文学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
I 区分				必修単位数30単位を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2		} A群	
日本文学入門 1	2	2			
日本文学入門 2	2	2			
日本語学入門 1	2	2			
日本語学入門 2	2	2			
上代文学史	2		2		
中古文学史	2		2		
中世文学史	2		2		
近世文学史	2		2		
近代文学史	2		2		
現代文学史	2		2		
日本語史 1	2		2		
日本語史 2	2		2		
基礎演習 1	2	2			
基礎演習 2	2	2			
日本語文法論	2		2		
日本語文法史	2		2		
日本語音声学	2		2		
漢文学 1	2		2		
漢文学 2	2		2		
上代文学講義	2		2		
中古文学講義	2		2		
中世文学講義	2		2		

近世文学講義	2		2	} B群
近代文学講義	2		2	
現代文学講義	2		2	
現代日本語学講義 1	2		2	
現代日本語学講義 2	2		2	
文献日本語学講義	2		2	
神話・伝承研究	2		2	
詩歌研究	2		2	
物語研究	2		2	
芸能文化研究	2		2	
出版文化研究	2		2	
書物文化研究	2		2	
文献資料研究	2		2	
児童文学研究	2		2	
批評研究	2		2	
創作方法論（実習含む）	3		3	
書学	2		2	
文字文化研究	2		2	
現代日本語学の方法 1	2		2	
現代日本語学の方法 2	2		2	
文献日本語学の方法	2		2	
フィールドワーク 1	3		3	
フィールドワーク 2	3		3	
フィールドワーク 3	3		3	
応用研究 1	2		2	
応用研究 2	2		2	
応用研究 3	2		2	
応用研究 4	2		2	
応用研究 5	2		2	
特殊研究ゼミナール 1	2	2		
特殊研究ゼミナール 2	2	2		
特殊研究ゼミナール 3	2	2		
特殊研究ゼミナール 4	2	2		

卒業論文 1	4	4		
卒業論文 2	4	4		
II 区分				
文章表現法	2		2	
書法 1	1		1	
書法 2	1		1	
書道 (漢字)	1		1	
書道 (かな)	1		1	
書道 (創作)	1		1	
書道 (篆刻)	1		1	
書道史	2		2	
書論	2		2	
書の鑑賞	2		2	

IV 中国語中国文学文化学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
I 区分					
学問の扉	2	2		必修単位数10単位を修得しなければならない。 I 区分の選択単位数のうちA群から2単位, B群から3単位, C群又はD群から4単位, E群から2単位又はF群から8単位を含め, 合計48単位以上を修得しなければならない。	
中国学入門 1	2	2			
中国学入門 2	2	2			
中国学入門 3	2	2			
中国学入門 4	2	2			
中国古典文学概説 1	2		2		
中国古典文学概説 2	2		2		
中国現代文学概説 1	2		2		
中国現代文学概説 2	2		2		
中国古典文学研究 1	2		2		
中国古典文学研究 2	2		2		
中国現代文学研究 1	2		2		
中国現代文学研究 2	2		2		
中国古代思想概説	2		2		
中国現代思想概説	2		2		
中国社会学論 1	2		2		

中国 社会 論	2	2	2	
中国 文化 論	1	2	2	
中国 文化 論	2	2	2	
アジアの表象文化	1	2	2	
アジアの表象文化	2	2	2	
アジアの文化と社会	1	2	2	
アジアの文化と社会	2	2	2	
中国語情報処理	1	1	1	
中国語情報処理	2	1	1	
中国語情報処理	3	1	1	
中国語情報処理	4	1	1	
中国語学概説	1	2	2	
中国語学概説	2	2	2	
中国語スピーキング	1	1	1	A群
中国語スピーキング	2	1	1	
中国語リーディング	1	1	1	
中国語リーディング	2	1	1	
中国語ライティング	1	1	1	
中国語ライティング	2	1	1	
中国語リスニング	1	1	1	
中国語リスニング	2	1	1	
中国古典文学演習	1	1	1	
中国古典文学演習	2	1	1	
中国古典文学演習	3	1	1	
中国古典文学演習	4	1	1	
中国現代文学演習	1	1	1	
中国現代文学演習	2	1	1	
中国現代文学演習	3	1	1	
中国現代文学演習	4	1	1	
中国語学演習	1	1	1	
中国語学演習	2	1	1	
中国語学演習	3	1	1	
中国語学演習	4	1	1	

中国社会文化演習 1	1	1	B群
中国社会文化演習 2	1	1	
中国社会文化演習 3	1	1	
中国社会文化演習 4	1	1	
中国語スピーキング 3	1	1	
中国語スピーキング 4	1	1	
中国語リーディング 3	1	1	
中国語リーディング 4	1	1	
中国語ライティング 3	1	1	
中国語ライティング 4	1	1	
中国語リスニング 3	1	1	
中国語リスニング 4	1	1	
上級中国語 1	1	1	
上級中国語 2	1	1	
上級中国語 3	1	1	
上級中国語 4	1	1	
中国学特別研究 1	2	2	C群
中国学特別研究 2	2	2	
研究ゼミ 1	2	2	D群
研究ゼミ 2	2	2	
卒業特別研究 1	1	1	E群
卒業特別研究 2	1	1	
卒業ゼミ 1	4	4	F群
卒業ゼミ 2	4	4	
II 区分			
日本語学入門 1	2	2	
日本語学入門 2	2	2	
日本語音声学	2	2	
文章表現法	2	2	
日本文学入門 1	2	2	
日本文学入門 2	2	2	
上代文学史	2	2	
中古文学史	2	2	
中世文学史	2	2	

近世文学史	2		2		
近代文学史	2		2		
現代文学史	2		2		
書法 1	1		1		
書法 2	1		1		

V 英文学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学問の扉	2	2		必修単位数48単位を修得しなければならない。	
Academic English1	1	1			
Academic English2	1	1		選択単位数のうち、A群から4単位、B群から6単位、C群から4単位を含め、合計14単位以上を修得しなければならない。	
英語文学概説 1	2	2			
英語文学概説 2	2	2			
英語学概説 1	2	2			
英語学概説 2	2	2			
Academic English3	1	1			
Academic English4	1	1			
イギリス文学史 1	2	2			
イギリス文学史 2	2	2			
アメリカ文学史 1	2	2			
アメリカ文学史 2	2	2			
英文法 1	2	2			
英文法 2	2	2			
英語音声学 1	2	2			
英語音声学 2	2	2			
英米文学演習 1	1	1			
英米文学演習 2	1	1			
英語学演習 1	1	1			
英語学演習 2	1	1			
異文化間コミュニケーション概論 1	2		2		
異文化間コミュニケーション概論 2	2		2		
文学・文化批評理論 1	2		2		
文学・文化批評理論 2	2		2		

イギリス社会論	2		2	A群
アメリカ社会論	2		2	
英語史 1	2		2	
英語史 2	2		2	
Advanced Communication 1	1		1	
Advanced Communication 2	1		1	
イギリス文学史 3	2	2		
イギリス文学史 4	2	2		
英米詩演習 1	1		1	B群
英米詩演習 2	1		1	
英語圏文学演習 1	1		1	
英語圏文学演習 2	1		1	
英語意味論演習 1	1		1	
英語意味論演習 2	1		1	
英語統語論演習 1	1		1	
英語統語論演習 2	1		1	
TESOL 演習 1	1		1	
TESOL 演習 2	1		1	
英語コーパス演習 1	1		1	
英語コーパス演習 2	1		1	
エリザベス朝文学演習 1	1		1	
エリザベス朝文学演習 2	1		1	
ヴィクトリア朝文学演習 1	1		1	
ヴィクトリア朝文学演習 2	1		1	
現代イギリス文学演習 1	1		1	
現代イギリス文学演習 2	1		1	
19世紀アメリカ文学演習 1	1		1	
19世紀アメリカ文学演習 2	1		1	
現代アメリカ文学演習 1	1		1	
現代アメリカ文学演習 2	1		1	
応用言語学演習 1	1		1	
応用言語学演習 2	1		1	
卒業論文研究ゼミ 1	1	1		
卒業論文研究ゼミ 2	1	1		

イギリス文学特殊講義 1	2		2	} C群	
イギリス文学特殊講義 2	2		2		
アメリカ文学特殊講義 1	2		2		
アメリカ文学特殊講義 2	2		2		
英語学特殊講義 1	2		2		
英語学特殊講義 2	2		2		
卒業論文	8	8			

VI ドイツ文学科

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
学 問 の 扉	2	2		必修単位数22単位を修得しなければならない。	
ドイツ文学入門 1	2	2		選択単位数のうちA群又はB群から4単位、C群又はD群から4単位、E群又はF群から4単位、G群とH群からあわせて6単位又はK群から6単位、I群から8単位、II群から6単位、III群から3単位、IV群から3単位を含め、合計38単位以上を修得しなければならない。	
ドイツ文学入門 2	2	2			
ドイツ語学入門 1	2	2			
ドイツ語学入門 2	2	2			
ドイツ文学史講義 1	2		2	} A群	
ドイツ文学史講義 2	2		2		
ドイツ文学史講義 3	2		2	} B群	
ドイツ文学史講義 4	2		2		
ドイツ語学講義 1	2		2	} C群	
ドイツ語学講義 2	2		2		
ドイツ語学講義 3	2		2	} D群	
ドイツ語学講義 4	2		2		
ドイツ文化講義 1	2		2	} E群	
ドイツ文化講義 2	2		2		
ドイツ文化講義 3	2		2	} F群	
ドイツ文化講義 4	2		2		
ドイツ語基礎演習 1	1	1			
ドイツ語基礎演習 2	1	1			
ドイツ語基礎演習 3	1	1			
ドイツ語基礎演習 4	1	1			
ドイツ語表現演習 1	1	1			

ドイツ語表現演習 2	1	1		
ドイツ語コミュニケーション研究 1	2		2	
ドイツ語コミュニケーション研究 2	2		2	
ドイツ文学演習 1	1	1		
ドイツ文学演習 2	1	1		
ドイツ語学演習 1	1	1		
ドイツ語学演習 2	1	1		
ドイツ文化演習 1	1	1		
ドイツ文化演習 2	1	1		
ドイツ語表現演習 3	1		1	Ⅲ群
ドイツ語表現演習 4	1		1	Ⅳ群
ドイツ語表現演習インテンシヴ1	1		1	Ⅲ群
ドイツ語表現演習インテンシヴ2	1		1	Ⅳ群
卒業予備研究 1	2		2	} G群
卒業予備研究 2	2		2	
ドイツ語コミュニケーション研究 3	2		2	I群
ドイツ語コミュニケーション研究 4	2		2	Ⅱ群
ドイツ文学専門講義 1	2		2	I群
ドイツ文学専門講義 2	2		2	Ⅱ群
ドイツ文学専門講義 3	2		2	I群
ドイツ文学専門講義 4	2		2	Ⅱ群
ドイツ語学専門講義 1	2		2	I群
ドイツ語学専門講義 2	2		2	Ⅱ群
ドイツ語学専門講義 3	2		2	I群
ドイツ語学専門講義 4	2		2	Ⅱ群
ドイツ文化専門講義 1	2		2	I群
ドイツ文化専門講義 2	2		2	Ⅱ群
ドイツ文化専門講義 3	2		2	I群
ドイツ文化専門講義 4	2		2	Ⅱ群
ドイツ文学演習 3	1		1	Ⅲ群
ドイツ文学演習 4	1		1	Ⅳ群
ドイツ文学演習 5	1		1	Ⅲ群
ドイツ文学演習 6	1		1	Ⅳ群

ドイツ文学演習 7	1		1	Ⅲ群
ドイツ文学演習 8	1		1	Ⅳ群
ドイツ語学演習 3	1		1	Ⅲ群
ドイツ語学演習 4	1		1	Ⅳ群
ドイツ語学演習 5	1		1	Ⅲ群
ドイツ語学演習 6	1		1	Ⅳ群
ドイツ語学演習 7	1		1	Ⅲ群
ドイツ語学演習 8	1		1	Ⅳ群
ドイツ文化演習 3	1		1	Ⅲ群
ドイツ文化演習 4	1		1	Ⅳ群
ドイツ文化演習 5	1		1	Ⅲ群
ドイツ文化演習 6	1		1	Ⅳ群
ドイツ文化演習 7	1		1	Ⅲ群
ドイツ文化演習 8	1		1	Ⅳ群
ドイツ語表現演習 5	1		1	Ⅲ群
ドイツ語表現演習 6	1		1	Ⅳ群
ドイツ語表現演習インテンシヴ3	1		1	Ⅲ群
ドイツ語表現演習インテンシヴ4	1		1	Ⅳ群
卒業研究 1	1		1	} H群
卒業研究 2	1		1	
卒業論文	6		6	K群

Ⅶ 社会学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
I 区分					
I 入門科目					
学問の扉	2		2	I 区分の I 入門科目から必修単位数14単位を修得しなければならない。	
社会学概論	2	2			
社会学各論	2	2			
社会学の方法	2	2			
社会学入門 1	2	2			
社会学入門 2	2	2			
社会調査入門	2	2			
データ収集・分析法入門	2	2			

II 基本科目			I 区分のII 基本科目から必修単位数4単位を含め,16単位以上を修得しなければならない。
社会学史 1	2	2	
社会学史 2	2	2	
社会学演習	1		1
社会学応用演習	1		1
現代家族論	2		2
社会史	2		2
文化人類学	2		2
基礎統計学	2		2
初等多変量解析	2		2
質的分析法	2		2
社会思想の基礎	2		2
社会変動論	2		2
現代社会と社会学	2		2
マス・コミュニケーション論	2		2
マス・メディア論	2		2
社会問題論	2		2
都市と地域の社会学	2		2
企業と働き方の社会学	2		2
III 応用科目			I 区分のIII 応用科目から28単位以上を修得しなければならない。
(理論・学説科目群)			
現代社会学理論	2		2
知識社会学	2		2
社会思想の展開	2		2
歴史社会学	2		2
社会病理学	2		2
理論・学説名著講読 1	2		2
理論・学説名著講読 2	2		2
国際社会論	2		2
現代日本の社会構造	2		2
(文化・情報メディア科目群)			
日常生活文化論	2		2
社会情報論	2		2
民俗文化論	2		2

ジャーナリズム論	2	2		
流行の社会学	2	2		
メディアとファッションの社会学	2	2		
ビジュアル社会学	2	2		
社会心理学	2	2		
芸術社会学	2	2		
(実証・応用科目群)				
家族社会学	2	2		
福祉社会学	2	2		
経営戦略とビジネスモデルの社会学	2	2		
産業社会学	2	2		
災害社会学	2	2		
災害情報論	2	2		
環境社会学	2	2		
東京と東京人の社会学	2	2		
ネットワーク・サイエンス入門	2	2		
差別の社会学	2	2		
社会運動論	2	2		
データサイエンス入門	2	2		
(共通科目群)				
社会学特殊講義Ⅰ	2	2		
社会学特殊講義Ⅱ	2	2		
社会学特殊講義Ⅲ	2	2		
社会学特殊講義Ⅳ	2	2		
社会学特殊講義Ⅴ	2	2		
社会学総合特講Ⅰ	2	2		
社会学総合特講Ⅱ	2	2		
社会学総合特講Ⅲ	2	2		
(社会調査科目群)				
データ分析演習	2	2		
社会調査実習 1	2	2		
社会調査実習 2	2	2		

IV 完成科目				I 区分のIV 完成科目のうち、A群から8単位及びB群から4単位、又はA群から4単位、B群から4単位、C群4単位、又はC群4単位及び卒業論文 8単位のいずれかを選択して、合計12単位以上を修得しなければならない。
理論・学説特殊研究 I	2	2	}	A群
理論・学説特殊研究 II	2	2		
政治とジャーナリズム研究	2	2		
情報メディア特殊研究	2	2		
実証・応用特殊研究 I	2	2		
実証・応用特殊研究 II	2	2	}	B群
社会学特殊研究 I	2	2		
社会学特殊研究 II	2	2		
社会学特殊研究 III	2	2		
社会学特殊研究 IV	2	2		
社会学特殊研究 V	2	2	}	C群
ゼミナール 1	1	1		
ゼミナール 2	1	1		
ゼミナール 3	1	1		
ゼミナール 4	1	1		
卒業論文	8	8		
II 区分				
日本史概説	2	2		
日本史講究	2	2		
東洋史概説	2	2		
東洋史講究	2	2		
西洋史概説	2	2		
西洋史講究	2	2		
地理学概論	2	2		
地理学詳論	2	2		
地誌学	2	2		
法学通論	2	2		
国際法	2	2		
政治学概論	2	2		
国際情勢	2	2		
経済学概論	2	2		
国際経済論	2	2		

哲 学 概 論	2		2		
哲 学 講 究	2		2		
倫 理 学 概 論	2		2		
倫 理 学 講 究	2		2		
宗 教 学 概 論	2		2		
宗 教 学 講 究	2		2		

VIII 社会福祉学科

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
共通科目群				必修単位数32単位を修得しなければならない。 選択単位数から31単位以上を修得しなければならない。	*社会福祉士国家試験受験資格を希望する者は、社会福祉士指定科目を修得すること。
学 問 の 扉	2	2			
ソーシャルワークの基盤と専門職	2	2			
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	2			
社会福祉概論 1	2	2			
社会福祉概論 2	2	2			
福祉社会実践基礎講義 1	2	2			
福祉社会実践基礎講義 2	2	2			
福祉マネジメント論	2	2			
社会保障論 1	2	2			
社会保障論 2	2	2			
社会福祉基礎科目群(講義)					
児 童 福 祉 論	2		2		
障 害 者 福 祉 論	2		2		
高 齢 者 福 祉 論	2		2		
公 的 扶 助 論	2		2		
地域福祉の理論と方法 1	2		2		
地域福祉の理論と方法 2	2		2		
社会理論と社会システム	2		2		
ソーシャルワークコース科目群(講義)					
心理学理論と心理的支援	2		2		
人体の構造と機能及び疾病	2		2		
社会福祉調査法	2		2		
保健医療サービス論	2		2		

ソーシャルワークの理論と方法 1	2	2		
ソーシャルワークの理論と方法 2	2	2		
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) 1	2	2		
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) 2	2	2		
社会福祉経営論	2	2		
権利擁護と成年後見制度	2	2		
福祉政策論	2	2		
ソーシャルワークコース科目群 (演習・実習)				
ソーシャルワーク演習	1	1		
ソーシャルワーク演習 (専門) 1	1	1		
ソーシャルワーク演習 (専門) 2	1	1		
ソーシャルワーク演習 (専門) 3	1	1		
ソーシャルワーク演習 (専門) 4	1	1		
ソーシャルワーク実習指導 1	1	1		
ソーシャルワーク実習指導 2	1	1		
ソーシャルワーク実習指導 3	1	1		
ソーシャルワーク実習 1	6	6		
ソーシャルワーク実習 2	2	2		
スクールソーシャルワーク科目群				
スクールソーシャルワーク論	2	2		
スクールソーシャルワーク演習	1	1		
スクールソーシャルワーク実習指導	2	2		
精神保健学	2	2		
スクールソーシャルワーク実習	2	2		
福祉産業系科目群				
福祉社会フィールドワーク 1	1	1		
福祉社会フィールドワーク 2	1	1		
産業福祉インターンシップ 1	1	1		
産業福祉インターンシップ 2	1	1		
社会的企業論	2	2		
福祉公務員系科目群				
福祉法学基礎	2	2		
社会福祉法制	2	2		

福祉政策運営管理	2		2		
地方行財政	2		2		
司法福祉論	2		2		
福祉専門研究/福祉教養科目群					
児童福祉制度論	2		2		
障害者の理解	2		2		
高齢者ソーシャルワーク	2		2		
高齢者福祉制度論	2		2		
介護演習	1		1		
養護原理	2		2		
家庭支援論	2		2		
社会福祉調査演習	1		1		
精神障害者の福祉と生活	2		2		
コミュニティワーク推進研究	2		2		
社会事業史	2		2		
国際社会福祉	2		2		
統合学習					
ゼミナール 1	1	1			
ゼミナール 2	1	1			
ゼミナール 3	1	1			
ゼミナール 4	1	1			
卒業論文	8	8			

Ⅸ 教育学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
I 区分				必修単位数30単位を修得しなければならない。	
学問の扉	2		2		
教育学基礎論 1	2	2			
教育学基礎論 2	2	2			
外国教育史	2	2			
教育の理念と歴史	2	2			
日本教育史	2	2			
教育の文化史	2	2			

教育心理学	2	2		
教育と社会変動	2	2		
教育の社会学	2	2		
教育社会学と現代教育	2	2		
教育学演習 1	1	1		
教育学演習 2	1	1		
教育学演習 3	1	1		
教育学演習 4	1	1		
教育人間学	2		2	
教育思想論	2		2	
教育課程論	2		2	
教授学習論	2		2	
教育制度論	2		2	
教育行政論	2		2	
教育経営論	2		2	
教育法規論	2		2	
中等教育論	2		2	
高等教育論	2		2	
現代教職論	2		2	
道徳教育の理論と方法	2		2	
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2		2	
教育相談	2		2	
生徒指導・進路指導論	2		2	
生涯学習論	2		2	
社会教育論	2		2	
地域教育論	2		2	
青少年教育論	2		2	
社会教育経営論 1	2		2	
社会教育経営論 2	2		2	
比較教育論	2		2	
国際理解教育論	2		2	
アジアの教育	2		2	
ヨーロッパの教育思想	2		2	

ヨーロッパの教育制度	2		2	
アメリカの教育	2		2	
教育とメディア	2		2	
授業開発論	2		2	
教育と産業社会	2		2	
教育と開発	2		2	
環境教育論	2		2	
ジェンダーと教育	2		2	
幼児教育論	2		2	
障害児教育論	2		2	
発達と認知	2		2	
野外教育論(含実習)1	2		2	
野外教育論(含実習)2	2		2	
教育学特殊講義1	2		2	
教育学特殊講義2	2		2	
教育学特殊講義3	2		2	
教育学特殊講義4	2		2	
卒業論文	6	6		
教育学研究法1	2		2	
教育学研究法2	2		2	
II 区分				
特別支援教育総論	2		2	
特別ニーズ教育の原理と歴史	2		2	
知的障害者の心理・生理・病理	2		2	
肢体不自由者の心理・生理・病理	2		2	
病弱者の心理・生理・病理	2		2	
知的障害教育論	2		2	
肢体不自由教育論	2		2	
病弱教育論	2		2	
国際特別ニーズ教育論	2		2	
特別支援教育課程論	2		2	
特別支援教育演習	1		1	
発達障害者の心理・生理・病理	2		2	

発達障害教育論	2		2		
視覚障害教育総論	1		1		
聴覚障害教育総論	1		1		
教育実習(特別支援学校)事前・事後指導	1		1		
教育実習(特別支援学校)	2		2		
Ⅲ区分					
日本史概説	2		2		
日本史講究	2		2		
東洋史概説	2		2		
東洋史講究	2		2		
西洋史概説	2		2		
西洋史講究	2		2		
地理学概論	2		2		
地理学詳論	2		2		
地誌学	2		2		
法学通論	2		2		
国際法	2		2		
政治学概論	2		2		
国際情勢	2		2		
社会学概論	2		2		
社会学各論	2		2		
経済学概論	2		2		
国際経済論	2		2		
哲学概論	2		2		
哲学講究	2		2		
倫理学概論	2		2		
倫理学講究	2		2		
宗教学概論	2		2		
宗教学講究	2		2		

X 体育学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学問の扉	2		2	必修単位数 16 単位を修得しなければならない。	
体育学概論	2	2			

解剖学	2	2		選択単位数のうち A 群から 1 単位, B 群から 1 単位, C 群から 2 単位, D 群から 1 単位, E 群から 4 単位, F 群から 4 単位又は G 群から 8 単位を含め, 合計 52 単位以上を修得しなければならない。
機能解剖学	2		2	
生理学	2	2		
保健学概論	2		2	
発育発達論	2		2	
衛生学及び公衆衛生学	2		2	
スポーツ運動学	2		2	
トレーニング理論	2		2	
運動生理学(基礎)	2	2		
運動生理学(応用)	2	2		
スポーツ社会学	2		2	
スポーツプロモーション論	2		2	
体力測定法	2		2	
測定評価	2		2	
スポーツ心理学	2		2	
スポーツメンタルマネジメント	2		2	
スポーツ教育学	2		2	
学校保健管理論	2		2	
学校保健教育論	2		2	
スポーツバイオメカニクス	2		2	
スポーツ栄養学	2		2	
体育・スポーツ史	2		2	
体育・スポーツ制度及び行政	2		2	
体育経営管理	2		2	
スポーツ医学(内科)	2		2	
スポーツ医学(外科)	2		2	
救急処置	2		2	
安全教育	2		2	
コーチング論(原論)	2		2	
コーチング論(判定スポーツ)	2		2	
コーチング論(評定スポーツ)	2		2	
コーチング論(測定スポーツ)	2		2	
スポーツリハビリテーション	2		2	
オリンピック・パラリンピック論	2		2	
アダプテッドスポーツ論	2		2	

スポーツ実習（水泳）	1	1	A群
スポーツ実習（器械運動）	1	1	
スポーツ実習（陸上競技）	1	1	
スポーツ実習（剣道）	1	1	B群
スポーツ実習（柔道）	1	1	
スポーツ実習（ダンス）	1	1	
スポーツ実習（創作ダンス）	1	1	
スポーツ実習（バスケットボール）	1	1	C群
スポーツ実習（バレーボール）	1	1	
スポーツ実習（サッカー）	1	1	
スポーツ実習（テニス）	1	1	
スポーツ実習（ラグビー）	1	1	
スポーツ実習（ハンドボール）	1	1	
スポーツ実習（卓球）	1	1	
スポーツ実習（バドミントン）	1	1	
野外実習（アイススポーツ）	1	1	D群
野外実習（スノースポーツ）	1	1	
野外実習（オーシャンスポーツ）	1	1	
野外実習（キャンプ）	1	1	
スポーツ方法論（水泳）	2	2	E群
スポーツ方法論（体操競技・器械運動）	2	2	
スポーツ方法論（陸上競技）	2	2	
スポーツ方法論（バスケットボール）	2	2	
スポーツ方法論（バレーボール）	2	2	
スポーツ方法論（サッカー）	2	2	
スポーツ方法論（テニス）	2	2	
スポーツ方法論（剣道）	2	2	
スポーツ方法論（柔道）	2	2	
スポーツ方法論（ダンス）	2	2	
スポーツ指導法（水泳）	2	2	
スポーツ指導法（サッカー）	2	2	
スポーツ指導法（柔道）	2	2	
スポーツ指導法（ダンス）	2	2	

体育学基礎演習 1	2	2			
体育学基礎演習 2	2	2			
トレーニング演習	2		2		
スポーツ社会学演習	2		2		
運動生理学演習	2		2		
スポーツ心理学演習	2		2		
測定評価演習	2		2		
スポーツバイオメカニクス演習	2		2		
スポーツ運動学演習	2		2		
スポーツ栄養学演習	2		2		
スポーツ教育学演習	2		2		
学校保健演習	2		2		
保健体育科授業実践演習(教材研究)	2		2		
保健体育科授業実践演習(模擬授業)	2		2		
スポーツ医学演習	2		2		
スポーツリハビリテーション演習	2		2		
インターンシップ 1	2		2		
インターンシップ 2	2		2		
インターンシップ 3	2		2		
インターンシップ 4	2		2		
ゼミナール	2	2			
卒業研究 1	2		2	} F群	
卒業研究 2	2		2		
卒業論文	8		8	G群	

X I 心理学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学問の扉	2	2		必修単位数32単位を修得しなければならない。	
心理学概論 1	2	2			
心理学概論 2	2	2		選択単位数のうちA群から18単位以上、B群から14単位以上、C群から1単位、D群から1単位を含め、合計34単位以上を修得しなければならない。	
心理学統計法 1	2	2			
心理学統計法 2	2	2			
心理学研究法	2	2			
心理調査概説	2	2			

心理的アセスメント	2	2		
行動心理学概論	2	2		
臨床心理学概論	2	2		
発達心理学	2		2	A群
社会・集団・家族心理学A(社会心理学)	2		2	
社会・集団・家族心理学B(家族心理学)	2		2	
感情・人格心理学A(パーソナリティ心理学)	2		2	
感情・人格心理学 B(感情心理学)	2		2	
知覚・認知心理学	2		2	
学習・言語心理学	2		2	
神経・生理心理学	2		2	
司法・犯罪心理学	2		2	
産業・組織心理学	2		2	
教育・学校心理学	2		2	
精神疾患とその治療	2		2	
臨床心理学特講	2		2	
カウンセリング特講	2		2	
心理面接特講	2		2	
心理検査法特講	2		2	
認知心理学特講	2		2	
社会心理学特講	2		2	B群
生理心理学特講	2		2	
環境心理学特講	2		2	
健康心理学特講	2		2	
臨床社会心理学特講	2		2	
老年心理学特講	2		2	
心理学研究	2	2		
心理学ゼミ 1	2	2		
心理学ゼミ 2	2	2		
心理学ゼミ 3	2	2		

心理学ゼミ 4	2	2			
心理学実験	1	1			
心理情報処理実習 1	1	1			
心理情報処理実習 2	1		1	}	C群
心理検査法実習	1		1		
認知心理学実験	1		1		
生理心理学実験	1		1		
社会心理学実験・実習	1		1		
環境心理学実験・実習	1		1		
行動心理学実験・実習	1		1		
臨床心理学実習	1		1	}	D群
心理調査法実習	1		1		
心理演習 B	1		1		
卒業論文	8		8		

[公認心理師に関する科目]

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
公認心理師の職責	2		2	許可を得て履修することができる。なお、卒業に必要な単位数に含まない。	
人体の構造と機能及び疾病	2		2		
関係行政論 A	2		2		
関係行政論 B	2		2		
健康・医療心理学	2		2		
福祉心理学	2		2		
障害者・障害児心理学	2		2		
心理学的支援法 A	2		2		
心理学的支援法 B	2		2		
心理演習 A	1		1		

授業科目	授業時間数	必修時間数	選択時間数	履修方法	備考
心理実習	80		80	許可を得て履修することができる。	

X II 地理学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
I 区分				必修単位数38単位を修得しなければならない。	
学 問 の 扉	2	2		I 区分の選択単位数のうちA群から6単位を含め、合計36単位以上を修得しなければならない。	
自然地理学の基礎	2	2			
人文地理学の基礎	2	2			
日 本 地 誌	2	2			
地理統計の基礎	2		2		
地 形 学	2	2			
地理情報システム(含実習)	2	2			
気 候 学	2	2			
地 図 学	2	2			
経 済 地 理 学	2	2			
社 会 地 理 学	2	2			
文 化 地 理 学	2	2			
地理学課題研究 1	2	2			
地理学課題研究 2	2	2			
地理学卒業研究 1	4	4			
地理学卒業研究 2	4	4			
地 形 学 実 験	1		1		
気 候 学 実 験	1		1		
野外調査法(含実習)	2	2			
ア ジ ア 地 誌	2		2		} A群
ヨ ー ロ ッ パ 地 誌	2		2		
ア メ リ カ 地 誌	2		2		
オ セ ア ニ ア 地 誌	2		2		
ア フ リ カ 地 誌	2		2		
自 然 災 害 論	2		2		
地 域 政 策 論	2		2		
観 光 地 理 学	2		2		
農 業 地 理 学	2		2		
工 業 地 理 学	2		2		
都 市 地 理 学	2		2		

商業地理学	2		2	
歴史地理学	2		2	
農山村再生論	2		2	
都市空間論	2		2	
マーケティング論	2		2	
地域景観論	2		2	
人文地理学特別講義 1	2		2	
人文地理学特別講義 2	2		2	
ツーリズム論	2		2	
人間環境論	2		2	
現代人口論	2		2	
エスニック論	2		2	
リモートセンシング(含実習)	2		2	
地理情報科学	2		2	
地域分析法(含実習)	2	2		
GIS分析法(含実習)	2		2	
応用空間分析法(含実習)	2		2	
測 量 学	2		2	
測量学実習	1		1	
環境地質学	2		2	
自然資源論	2		2	
気候変動論	2		2	
地形営力論	2		2	
生物地理学	2		2	
生態史論	2		2	
自然地理学特別講義 1	2		2	
自然地理学特別講義 2	2		2	
環境地理学実験	1		1	
II 区分				
日本史概説	2		2	
日本史講究	2		2	

東洋史概説	2		2		
東洋史講究	2		2		
西洋史概説	2		2		
西洋史講究	2		2		
法学通論	2		2		
政治学概論	2		2		
社会学概論	2		2		
社会学各論	2		2		
経済学概論	2		2		
哲学概論	2		2		
哲学講究	2		2		
倫理学概論	2		2		
倫理学講究	2		2		
宗教学概論	2		2		
宗教学講究	2		2		
物理学概論 1	2		2		
物理学概論 2	2		2		
化学概論 1	2		2		
化学概論 2	2		2		
生物学概論 1	2		2		
生物学概論 2	2		2		
理科実験（物理）	1		1		
理科実験（化学）	1		1		
理科実験（生物）	1		1		

X III 地球科学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
I 区分				必修単位数24単位を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2		I 区分の選択単位数のうち、講義演習群から46単位以上、実験群から3単位以上の合計49単位以上を修得しなければならない。	
地球科学概論 1	2	2			
地球科学概論 2	2	2			
地球科学概論 3	2	2			

基礎數學	2	2	講義演習群
基礎物理學	2	2	
基礎化學	2	2	
物理數學	2	2	
氣圈科學	2	2	
水圈科學	2	2	
地圈科學	2	2	
環境化學	2	2	
地球物理學 1	2	2	
地球物理學 2	2	2	
火山學	2	2	
岩石・鈷物學	2	2	
地球環境統計學	2	2	
古生物・古生態學	2	2	
環境地球科學	2	2	
海洋科學	2	2	
技術者英語 1	2	2	
技術者英語 2	2	2	
地球科學特講 1	2	2	
地球科學特講 2	2	2	
環境氣候學	2	2	
陸水學	2	2	
物質移行科學	2	2	
同位體地球科學	2	2	
測地學	2	2	
地殼力學	2	2	
火山地質學	2	2	
地殼形成論	2	2	
氣象力學	2	2	
環境生物學	2	2	
第四紀學	2	2	
恐竜學	2	2	
日本列島形成史	2	2	

地球史	2		2	
地質情報科学	2		2	
地震学	2		2	
自然災害科学	2		2	
堆積学	2		2	
地球科学デザイン論1	2		2	
地球科学デザイン論2	2		2	
フィールド調査法	2		2	
固体地球科学基礎実験1	1	1		実験群
流体地球科学基礎実験1	1	1		
固体地球科学基礎実験2	1		1	
流体地球科学基礎実験2	1		1	
気圏科学実習1	1		1	
気圏科学実習2	1		1	
地圏科学実験1	1		1	
地圏科学実験2	1		1	
古環境・古生態学実験	1		1	
水圏科学実験	1		1	
環境化学実験	1		1	
地球物理学実験	1		1	
固体地球物質科学実験	1		1	
測地学実習	1		1	
地球科学調査研究法1	2	2		
地球科学調査研究法2	2	2		
卒業テーマ演習1	1	1		
卒業テーマ演習2	1	1		
卒業テーマ研究1	4	4		
卒業テーマ研究2	4	4		
II 区分				
物理学概論1	2		2	
物理学概論2	2		2	
化学概論1	2		2	
化学概論2	2		2	
生物学概論1	2		2	

生物学概論 2	2		2		
理科実験 (物理)	1		1		
理科実験 (化学)	1		1		
理科実験 (生物)	1		1		
理科実験 (地学)	1		1		

XIV 数学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学問の扉	2	2		必修単位数30単位を修得しなければならない。	
線形代数1 (含演習)	3	3			
線形代数2 (含演習)	3	3		選択単位数から35単位以上を修得しなければならない。	
微分積分学1 (含演習)	3	3			
微分積分学2 (含演習)	3	3			
コンピュータ基礎	2	2			
命題と論理	2	2			
数学講究 1	3	3			
数学講究 2	3	3			
数学研究 1	2	2			
数学研究 2	4	4			
解析入門	2		2		
数学序論 1	2		2		
数学序論 2	2		2		
初等整数論	2		2		
線形空間論 (含演習)	3		3		
微分積分学統論 (含演習)	3		3		
多変数微分積分学	2		2		
集合と写像 (含演習)	3		3		
距離と位相	2		2		
プログラミング入門	2		2		
数理統計 (含演習)	3		3		
群論入門	2		2		

環 論	2		2		
ガロア理論	2		2		
曲線と曲面	2		2		
幾何構造	2		2		
無限次元線形空間論	2		2		
複素解析学	2		2		
数学教育学概論	2		2		
数学教育実践論	2		2		
常微分方程式入門	2		2		
力学系入門	2		2		
関数空間論	2		2		
ホモロジー論	2		2		
多様体論	2		2		
確率論	2		2		

X V 情報科学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
I 区分				必修単位数20単位を修得しなければならない。	
学 問 の 扉	2	2			
情 報 科 学 実 習 1	1	1			
情 報 科 学 実 習 2	1	1			
基礎プログラミング 1	2	2			
基礎プログラミング 2	2	2			
情 報 処 理 入 門 1	2		2	} A群	
情 報 処 理 入 門 2	2		2		
基礎線形代数 1	2		2		
基礎線形代数 2	2		2		
基礎微分積分 1	2		2		
基礎微分積分 2	2		2		
情 報 科 学 実 習 3	1	1			
情 報 科 学 実 習 4	1	1			

実践プログラミング 1	2		2	B群
実践プログラミング 2	2		2	
オブジェクト指向プログラミング入門	2		2	
Web プログラミング	2		2	
マルチメディア表現	2		2	
データ科学 1	2		2	
コンピューティング 1	2		2	
線形代数 1	2		2	
線形代数 2	2		2	
解析学 1	2		2	
解析学 2	2		2	
代数学	2		2	
離散数学	2		2	
確率論	2		2	
情報科学講究 1	2	2		
情報科学講究 2	2	2		
オブジェクト指向プログラミング	2		2	C群
発展プログラミング	2		2	
情報可視化	2		2	
デジタルコンテンツ	2		2	
マルチメディア情報処理	2		2	
ヒューマンインタフェース	2		2	
データ構造	2		2	
アルゴリズム	2		2	
オートマトンと形式言語	2		2	
論理と計算	2		2	
データベース	2		2	
データ科学 2	2		2	
コンピューティング 2	2		2	
情報理論 1	2		2	
情報理論 2	2		2	
数理計画	2		2	
幾何学	2		2	
暗号理論	2		2	

情報科学研究 1	2	2		
情報科学研究 2	4	4		
II 区分				
情報と職業	2		2	
情報と社会	2		2	
情報とコミュニケーション	2		2	
Windows サーバー管理の基礎(含演習)	3		3	
サーバーの仮想化環境の構築(含演習)	3		3	
ネットワーク設計基礎(含演習)	3		3	
ネットワーク設計活用	2		2	
情報セキュリティ基盤構築基礎	2		2	
次世代情報基盤構築基礎	2		2	

XVI 物理学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
I 区分					
力学入門	2	2		必修単位数66単位を修得しなければならない。 I 区分の選択単位数から12単位以上を修得しなければならない。	
力学 1	2	2			
電磁気学入門	2	2			
線形代数 1	2	2			
線形代数 2	2	2			
微分・積分 1	2	2			
微分・積分 2	2	2			
物理学概論 1	2	2			
物理学概論 2	2	2			
化学概論 1	2		2		
化学概論 2	2		2		
生物学概論 1	2		2		
生物学概論 2	2		2		
地学概論 1	2		2		
地学概論 2	2		2		
基礎物理実験 A	1	1			
基礎物理実験 B	1	1			

物理数学 1	2	2		
物理数学 2	2	2		
物理学演習 1	2	2		
物理学演習 2	2	2		
熱力学	2	2		
力学 2	2	2		
量子力学入門	2	2		
電磁気学 1	2	2		
電磁気学 1 演習	1	1		
電磁気学 2	2	2		
電磁気学 2 演習	1	1		
物性物理学入門	2	2		
振動と波動	2	2		
物理実験 A	1	1		
物理実験 B	1	1		
数値計算入門 1	2		2	
数値計算入門 2	2		2	
統計力学 1	2	2		
統計力学 1 演習	1	1		
統計力学 2	2	2		
統計力学 2 演習	1	1		
量子力学 1	2	2		
量子力学 1 演習	1	1		
量子力学 2	2	2		
量子力学 2 演習	1	1		
電磁気学 3	2		2	
物理数学 3	2		2	
解析力学	2		2	
相対性理論	2		2	
物性物理学 1	2		2	
物性物理学 2	2		2	
連続体力学	2		2	
生物物理学	2		2	

計 算 物 理 学	2		2		
発 展 物 理 実 験 A	1	1			
発 展 物 理 実 験 B	1	1			
超 伝 導 の 科 学	2		2		
量 子 光 学	2		2		
原 子 核 と 素 粒 子	2		2		
量 子 力 学 3	2		2		
宇 宙 物 理 学	2		2		
特 別 研 究 A	3	3			
特 別 研 究 B	3	3			
II 区分					
理 科 実 験 (化 学)	1		1		
理 科 実 験 (生 物)	1		1		
理 科 実 験 (地 学)	1		1		

XVII 生命科学科					
授 業 科 目	単 位 数	必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	履 修 方 法	備 考
I 区分					
学 問 の 扉	2	2		必修単位数57単位を修得しなければならない。 I 区分の選択単位数のうち、A群から18単位以上、B群から2単位以上の合計20単位以上を修得しなければならない。	
生 命 科 学 概 論 1	2	2			
生 命 科 学 概 論 2	2	2			
基 礎 数 学 1	2	2			
基 礎 数 学 2	2	2			
基 礎 物 理 1	2	2			
基 礎 物 理 2	2	2			
基 礎 化 学 1	2	2			
基 礎 化 学 2	2	2			
生 化 学 1	2	2			
生 化 学 2	2	2			
分 子 生 物 学 1	2	2			
分 子 生 物 学 2	2	2			
細 胞 生 物 学 1	2	2			
細 胞 生 物 学 2	2	2			

遺 伝 学 1	2	2		
遺 伝 学 2	2	2		
微 生 物 学	2	2		
進 化 系 統 学	2	2		
生 態 学 1	2	2		
生 態 学 2	2	2		
生体エネルギー科学	2		2	A群
生 体 計 測 学	2		2	
生 体 情 報 学 1	2		2	
生 体 情 報 学 2	2		2	
細胞内ダイナミクス	2		2	
脳 神 経 科 学	2		2	
生 物 物 理 学	2		2	
発 生 生 物 学 1	2		2	
発 生 生 物 学 2	2		2	
生 命 医 科 学 1	2		2	
生 命 医 科 学 2	2		2	
光 生 物 学	2		2	
植 物 分 子 科 学	2		2	
構 造 生 物 学	2		2	
構 造 生 物 学 演 習	1		1	
免 疫 学	2		2	
保 全 生 態 学	2		2	
生 物 統 計 学 基 礎	2	2		
生 物 統 計 学 実 践	2		2	
生命科学データ処理	1	1		
プログラミング入門	1		1	A群
生命科学特別講義 1(バイオテクノロジー)	2		2	
生命科学特別講義 2(食品科学)	2		2	
生命科学特別講義 3(健康美容科学)	2		2	
基 礎 科 学 実 験 1	1	1		
基 礎 科 学 実 験 2	1	1		

生命科学基礎実験 1	1	1		} B群	
生命科学基礎実験 2	1	1			
生命科学実験 1	1		1		
生命科学実験 2	1		1		
生命科学実験 3	1		1		
生命科学専門実験 1	1		1		
生命科学専門実験 2	1		1		
特別研究 1	4	4			
特別研究 2	4	4			
II 区分					
地学概論 1	2		2		
地学概論 2	2		2		
理科実験(物理)	1		1		
理科実験(化学)	1		1		
理科実験(生物)	1		1		
理科実験(地学)	1		1		

XVIII 化学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
I 区分					
基礎化学	2	2		必修単位数52単位を修得しなければならない。 I 区分の選択単位数のうち、A群から4単位、B群から6単位、C群から2単位を含め、合計24単位以上を修得しなければならない。	
無機化学 1(原子・分子の構造と性質)	2	2			
無機化学 2(金属・イオン固体と酸化還元)	2	2			
有機化学 1(有機分子の基礎と構造)	2	2			
有機化学 2(有機分子の反応性)	2	2			
物理化学 1(量子論入門)	2	2			
分析化学 1(データ処理・化学平衡の基礎)	2	2			
基礎化学実験	1	1			
化学実験	1	1			
無機化学 3(酸塩基と錯体化学)	2	2			
有機化学 3(有機分子の官能基と変換)	2	2			
物理化学 2(反応速度論)	2	2			

物理化学 3(熱力学)	2	2		
分析化学 2(分離・検出の基礎)	2	2		
分析化学 3(バイオ分析・機器分析の基礎)	2	2		
生物化学 1(基礎)	2	2		
生物化学 2(生体分子の構造と機能)	2	2		
無機・分析化学実験(含演習)	2	2		
有機化学実験(含演習)	2	2		
最前線の化学	2	2		
機器・物理化学実験(含演習)	4	4		
生物化学実験(含演習)	2	2		
化学特別研究 1(卒業研究)	4	4		
化学特別研究 2(卒業研究)	4	4		
学問の扉	2		2	A群
化学の情報技術	2		2	
化学英語	2		2	
発展無機化学	2		2	
有機反応化学	2		2	
化学数学	2		2	
機器分析化学	2		2	
周期表の化学	2		2	B群
元素の化学	2		2	
応用無機化学	2		2	
有機構造化学	2		2	
有機合成化学	2		2	
有機応用化学	2		2	
分光化学	2		2	
量子化学	2		2	
固体化学	2		2	
資源化学	2		2	
無機分析化学	2		2	
環境化学	2		2	
物質代謝学	2		2	
エネルギー代謝学	2		2	

発展無機化学特論	2		2	C群	
展開無機化学特論	2		2		
応用無機化学特論	2		2		
発展有機化学特論	2		2		
展開有機化学特論	2		2		
応用有機化学特論	2		2		
発展物理化学特論	2		2		
展開物理化学特論	2		2		
応用物理化学特論	2		2		
基礎分析化学特論	2		2		
応用分析化学特論	2		2		
生物化学特論	2		2		
II区分					
物理学概論 1	2		2		
物理学概論 2	2		2		
化学概論 1	2		2		
化学概論 2	2		2		
生物学概論 1	2		2		
生物学概論 2	2		2		
地学概論 1	2		2		
地学概論 2	2		2		
理科実験(物理)	1		1		
理科実験(化学)	1		1		
理科実験(生物)	1		1		
理科実験(地学)	1		1		

6 選択コース科目 (各学科共通)

I 教職コース					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
[大学が独自に設定する科目]				許可を得て履修することができる。また、修得した場合、卒業に必要な総単位数に算入することができる。	
社会教育論	2		2	教育学科は、「社会教育論」及び「教育法規論」を履修できない。	
教育と福祉	2		2		
教育法規論	2		2		
教職特別講義	2		2		

Ⅱ 司書教諭コース					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
学校経営と学校図書館	2		2	許可を得て履修することができる。また、修得した場合、卒業に必要な総単位数に算入することができる。	
学校図書館メディアの構成	2		2		
学習指導と学校図書館	2		2		
読書と豊かな人間性	2		2		
情報メディアの活用	2		2		

Ⅲ 司書コース					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
図書館情報学概論	2		2	許可を得て履修することができる。また、修得した場合、卒業に必要な総単位数に算入することができる。	
図書館サービス概論	2		2		
情報資源組織論	2		2		
図書館情報資源概論	2		2		
図書館基礎特論	2		2		
情報サービス論	2		2		
情報サービス演習 1	1		1		
情報サービス演習 2	1		1		
図書館情報資源特論	2		2		
情報資源組織演習 1	1		1		
情報資源組織演習 2	1		1		
図書館制度・経営論	2		2		
図書館情報技術論	2		2		
図書館サービス特論	2		2		

Ⅳ 学芸員コース					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
博物館概論	2		2	許可を得て履修することができる。また、修得した場合、卒業に必要な総単位数に算入することができる。	
博物館経営論	2		2		
博物館資料論	2		2		
博物館情報・メディア論	2		2		

博物館資料保存論 1	2		2		
博物館資料保存論 2	2		2		
博物館展示論	2		2		
博物館実習 1 (学内)	1		1		
博物館実習 2 (学内)	1		1		
博物館実習 3 (見学)	1		1		
博物館実習 4 (館務)	1		1		
博物館教育論	2		2		

V 社会教育主事コース

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
社会教育演習 1	1		1	許可を得て履修することができる。また、修得した場合、卒業に必要な総単位数に算入することができる。	
社会教育演習 2	1		1		
社会教育課題研究 1	1		1		
社会教育課題研究 2	1		1		
生涯学習支援論 1	2		2		
生涯学習支援論 2	2		2		
社会教育実習	1		1		

第3節 経済学部

第82条 経済学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、科目区分ごとに履修方法で定めた単位数を含め、総計124単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

2 総合教育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
日 本 語 表 記	2		2	選択単位数20単位以上を修得しなければならない。	
哲 学 A	2		2		
哲 学 B	2		2		
倫 理 学 A	2		2		
倫 理 学 B	2		2		
日 本 史 A	2		2		
日 本 史 B	2		2		
外 国 史 A	2		2		
外 国 史 B	2		2		
古 典 文 学 A	2		2		
古 典 文 学 B	2		2		
近 現 代 文 学 A	2		2		
近 現 代 文 学 B	2		2		
日 本 語 表 現 I	2		2		
日 本 語 表 現 II	2		2		
日 本 の 文 化 A	2		2		
日 本 の 文 化 B	2		2		
日 本 国 憲 法	2		2		
法 学 A	2		2		
法 学 B	2		2		
社 会 学 A	2		2		

社会学 B	2	2	
政治学 A	2	2	
政治学 B	2	2	
地理学 A	2	2	
地理学 B	2	2	
心理学 A	2	2	
心理学 B	2	2	
文化人類学 A	2	2	
文化人類学 B	2	2	
日本の社会 A	2	2	
日本の社会 B	2	2	
物理学 A	2	2	
物理学 B	2	2	
生物学 A	2	2	
生物学 B	2	2	
科学史 A	2	2	
科学史 B	2	2	
地球科学 A	2	2	
地球科学 B	2	2	
日本の科学技術 A	2	2	} 外国人留学生のみ履修 できる。
日本の科学技術 B	2	2	
現代思想論	2	2	
メディア文化論	2	2	
ジェンダー論	2	2	
国際関係論	2	2	
生命科学	2	2	
地域と文化 A	2	2	
地域と文化 B	2	2	
スポーツ科学論	2	2	
教養研究 (一)	4	4	
教養研究 (二)	4	4	
研究論文	4	4	
キャリア形成論	2	2	

特 論	A	2		2	
特 論	B	2		2	
海 外 特 研	A	2		2	
海 外 特 研	B	2		2	
海 外 特 研	C	2		2	
海 外 特 研	D	2		2	
海 外 特 研	E	2		2	

3 外国語科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
I 英語科目				外国語科目のうち、英語科目は、必修単位数 10 単位、第二外国語科目は、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語のいずれか 1 か国語を選択し、各外国語の入門、基礎、総合の 6 単位、合計 16 単位以上を修得しなければならない。 ただし、外国人留学生は、上記の履修方法によらず、 日本語 A 日本語 B 日本語 C 日本語 D の 8 単位を必修とし、5 専門教育科目の選択単位数 8 単位を含め、合計 16 単位以上を修得しなければならない。	
A 基盤英語					
英語リーディング・ライティング	2	2			
英語コミュニケーション	2	2			
英語ワークショップ A	1	1			
英語ワークショップ B	1	1			
B キャリア形成英語					
TOEIC ワークショップ A	2	2			
TOEIC ワークショップ B	1	1			
TOEIC ワークショップ C	1	1			
ビジネス英語 A	1		1		
ビジネス英語 B	1		1		
メディア英語 A	1		1		
メディア英語 B	1		1		
C アカデミック英語					
英語特殊研究 A	1		1		
英語特殊研究 B	1		1		
D 資格試験英語					
T O E F L A	2		2		
T O E F L B	2		2		
TOEIC Advanced A	1		1		
TOEIC Advanced B	1		1		
II 外国人留学生用外国語科目					

日 本 語 A	2	2	} 外国人留学生のみ履修 できる。
日 本 語 B	2	2	
日 本 語 C	2	2	
日 本 語 D	2	2	
Ⅲ 第二外国語科目			
入 門 ド イ ツ 語	2	2	
基 礎 ド イ ツ 語	2	2	
総 合 ド イ ツ 語	2	2	
コミュニケーションドイツ語	2	2	
メディアドイツ語	2	2	
入 門 フ ラ ン ス 語	2	2	
基 礎 フ ラ ン ス 語	2	2	
総 合 フ ラ ン ス 語	2	2	
コミュニケーションフランス語	2	2	
メディアフランス語	2	2	
入 門 中 国 語	2	2	
基 礎 中 国 語	2	2	
総 合 中 国 語	2	2	
コミュニケーション中国語	2	2	
メディア中国語	2	2	
入 門 ス ペ イ ン 語	2	2	
基 礎 ス ペ イ ン 語	2	2	
総 合 ス ペ イ ン 語	2	2	
コミュニケーションスペイン語	2	2	
メディアスペイン語	2	2	
Ⅳ その他			
海 外 語 学 研 究 I	2	2	
海 外 語 学 研 究 II	2	2	
海 外 語 学 研 究 III	2	2	
海 外 語 学 研 究 IV	2	2	

4 保健体育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
---------	-----	------------	------------	---------	-----

健康・スポーツの基礎	2	2		必修単位数 2 単位を修得しなければならない。
ス ポ ー ツ A	1		1	
ス ポ ー ツ B	1		1	

5 専門教育科目

I 経済学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A群				A群～C群のうちから、必修単位数8単位を含め、合計60単位以上(国際コースは合計80単位以上)を修得しなければならない。	
基礎ミクロ経済学	4	4			
基礎マクロ経済学	4	4			
経済学入門	2		2	理論・政策プログラムは、A群より、	
基礎数理	2		2	日本経済論 I	
経済分析入門	2		2	日本経済論 II	
日本経済論 I	2		2	経済史 A	
日本経済論 II	2		2	経済史 B	
経済史 A	2		2	B群より、	
経済史 B	2		2	行動経済学 I	
経済特殊講義 A	2		2	行動経済学 II	
経済特殊講義 B	2		2	現代マクロ経済学 A	
				現代マクロ経済学 B	
				企業経済学 I	
				企業経済学 II	
				経済学方法論 A	
				経済学方法論 B	
				国際経済論 A	
				国際経済論 B	
				国際貿易論 I	
				国際貿易論 II	
B群				金融論 A	
行動経済学 I	2		2	金融論 B	
行動経済学 II	2		2	地方財政論 A	
現代マクロ経済学 A	2		2	地方財政論 B	
現代マクロ経済学 B	2		2	ミクロ経済学 A	
企業経済学 I	2		2	ミクロ経済学 B	
企業経済学 II	2		2	マクロ経済学 A	
経済学方法論 A	2		2	マクロ経済学 B	
経済学方法論 B	2		2	経済学史 I	
国際経済論 A	2		2	経済学史 II	
国際経済論 B	2		2	経済思想史 I	
国際貿易論 I	2		2	経済思想史 II	
国際貿易論 II	2		2	比較経済体制論 A	
				比較経済体制論 B	
				産業組織論 A	
				産業組織論 B	
				日本経済史 A	
				日本経済史 B	
				欧米経済史 A	
				欧米経済史 B	
				経済政策論 I	
				経済政策論 II	
				アメリカ経済論 I	
				アメリカ経済論 II	
				新興経済論 A	
				新興経済論 B	
				中国経済論 A	

金融論	A	2	2	中国経済論	B
金融論	B	2	2	経済開発論	A B
地方財政論	A	2	2	財政学	A B
地方財政論	B	2	2	租税論	A B
ミクロ経済学	A	2	2	国際金融論	A B
ミクロ経済学	B	2	2	国際金融政策論	A B
マクロ経済学	A	2	2	社会政策論	A B
マクロ経済学	B	2	2	労働経済論	I II
Microeconomics		2	2	労働経済保障論	II A B
Macroeconomics		2	2	社会保障論	A B
経済学史	I	2	2	人口経済論	A B
経済学史	II	2	2	人口経済学	A B
経済思想史	I	2	2	公共経済学	A B
経済思想史	II	2	2	经济法	A B
比較経済体制論	A	2	2	アジエ	A B
比較経済体制論	B	2	2	アジエ	A B
産業組織論	A	2	2	地域経済論	A B
産業組織論	B	2	2	地域経済学	A B
日本経済史	A	2	2	近代経済学	I B
日本経済史	B	2	2	ゲーム理論	I II
欧米経済史	A	2	2	ゲーム理論	II
欧米経済史	B	2	2	アジエ	A B
経済政策論	I	2	2	アジエ	A B
経済政策論	II	2	2	ヨーロッパ	I II
農業経済論	A	2	2	ヨーロッパ	I II
農業経済論	B	2	2	組織と情報	A B
Japanese Economy	A	2	2	組織と情報	A B
Japanese Economy	B	2	2	地域社会論	A B
アメリカ経済論	I	2	2	地域社会論	A B
アメリカ経済論	II	2	2	中級ミクロ経済学	I II
新興経済論	A	2	2	中級マクロ経済学	I II
新興経済論	B	2	2	中級マクロ経済学	I II
				交通経済論	A B
				交通経済論	B
				群より,	
				ICTリテラシー	A
				ICTリテラシー	B
				基礎統計	I
				基礎統計	II
				経済数学	I
				経済数学	II
				システム管理	A
				システム管理	B
				統計学	I
				統計学	II
				計量経済学	I
				計量経済学	II
				経済統計学	I
				経済統計学	II
				中級経済数学	I
				中級経済数学	II
				社会データ	A
				社会データ	B
				応用計量	I
				応用計量	II

中国経済論	A	2	2	2	留学専門講義 I
中国経済論	B	2	2	2	留学専門講義 II
経済開発論	A	2	2	2	留学専門講義 III
経済開発論	B	2	2	2	留学専門講義 IV
経済地理学	A	2	2	2	留学専門講義 V
経済地理学	B	2	2	2	留学専門講義 VI
財政学	A	2	2	2	留学専門講義 VII
財政学	B	2	2	2	留学専門講義 VIII
租税論	A	2	2	2	ののうちから 24 単位以上を取 得しななければならない。 更に、C 群より、 専門研究 (一) 又は 2 総合教育科目より、 教養研究 (一) ののうちから 4 単位以上 を修得しななければならない。 ただし、国際コースは除く。
租税論	B	2	2	2	産業・生活プログラムは、 A 群より、 日本経済論 I 日本経済論 II 経済史 A 経済史 B B 群より、 行動経済学 I 行動経済学 II 現代マクロ経済学 A 現代マクロ経済学 B 企業経済学 I 企業経済学 II 国際経済論 A 国際経済論 B 国際貿易論 I 国際貿易論 II 金融論 A 金融論 B ミクロ経済学 A ミクロ経済学 B マクロ経済学 A マクロ経済学 B 産業組織論 A 産業組織論 B 経済政策論 I 経済政策論 II 農業経済論 A 農業経済論 B アメリカ経済論 I アメリカ経済論 II 新興経済論 A 新興経済論 B 中国経済論 A 中国経済論 B 経済開発論 A 経済開発論 B 経済地理学 A 経済地理学 B 財政学 A 財政学 B 租税論 A 租税論 B 国際金融論 A 国際金融論 B 国際金融政策論 A 国際金融政策論 B 国際金融政策論 A
国際金融論	A	2	2	2	
国際金融論	B	2	2	2	
金融政策論	A	2	2	2	
金融政策論	B	2	2	2	
社会政策論	A	2	2	2	
社会政策論	B	2	2	2	
労働経済論	I	2	2	2	
労働経済論	II	2	2	2	
社会保障論	A	2	2	2	
社会保障論	B	2	2	2	
人口経済論	A	2	2	2	
人口経済論	B	2	2	2	
公共経済学	A	2	2	2	
公共経済学	B	2	2	2	
法と経済学	A	2	2	2	
法と経済学	B	2	2	2	
環境経済論	I	2	2	2	
環境経済論	II	2	2	2	
社会保障法	A	2	2	2	
社会保障法	B	2	2	2	
アジア経済論	A	2	2	2	
アジア経済論	B	2	2	2	

都市問題論 A	2	2	政策論 B I II
都市問題論 B	2	2	労働経済論 A 労働経済論 B
地域環境論 A	2	2	社会保障論 A 社会保障論 B
地域環境論 B	2	2	人口経済論 A 人口経済論 B
地域経済論 A	2	2	公共経済学 A 公共経済学 B
地域経済論 B	2	2	公法と経済学 B 環境経済論 I 環境経済論 II
近代経済学史 A	2	2	アジア経済論 A アジア経済論 B
近代経済学史 B	2	2	都市問題論 A 都市問題論 B
ゲーム理論 I	2	2	地域環境論 A 地域環境論 B
ゲーム理論 II	2	2	地域経済論 A 地域経済論 B
アジア経済史 A	2	2	ゲーム理論 I ゲーム理論 II
アジア経済史 B	2	2	ヨーロッパ経済論 I ヨーロッパ経済論 II
ヨーロッパ経済論 I	2	2	地域システム論 A 地域システム論 B
ヨーロッパ経済論 II	2	2	組織と情報の経済学 A 組織と情報の経済学 B
地域システム論 A	2	2	地域社会学 A 地域社会学 B
地域システム論 B	2	2	中小企業論 A 中小企業論 B
組織と情報の経済学 A	2	2	中級ミクロ経済学 I 中級ミクロ経済学 II
組織と情報の経済学 B	2	2	中級マクロ経済学 I 中級マクロ経済学 II
地域社会学 A	2	2	家族社会学 A 交通経済論 A
地域社会学 B	2	2	交通経済論 B 公共経営論
中小企業論 A	2	2	C 群より, ICT リテラシー A ICT リテラシー B
中小企業論 B	2	2	基礎統計 I 基礎統計 II
中級ミクロ経済学 I	2	2	経済数学 I 経済数学 II
中級ミクロ経済学 II	2	2	システム管理論 A システム管理論 B
中級マクロ経済学 I	2	2	統計学 I 統計学 II
中級マクロ経済学 II	2	2	計量経済学 I 計量経済学 II
家族社会学	2	2	経済統計学 I 経済統計学 II
交通経済論 A	2	2	中級経済数学 I 中級経済数学 II
交通経済論 B	2	2	社会データ科学 A 社会データ科学 B
公共経営論	2	2	応用計量経済学 I 応用計量経済学 II
International Economics A	2	2	のうちから 24 単位以上を 修得しなければならない。 更に, C 群より,
International Economics B	2	2	専門研究 (一) 又は 2 総合教育科目より,

Economic Development A	2	2	教養研究 (一)
Economic Development B	2	2	のうちから 4 単位以上を修得しなければならない。ただし、国際コースは除く。
Global Economy A	2	2	国際経済・地域経済プログラムは、
Global Economy B	2	2	A 群より、
Global Economy C	2	2	日本経済論 I
Global Economy D	2	2	日本経済論 II
Japanese Business A	2	2	経済史 A
Japanese Business B	2	2	経済史 B
英語セミナー A	1	1	B 群より、
英語セミナー B	1	1	行動経済学 I
英語セミナー C	1	1	行動経済学 II
英語セミナー D	1	1	行動経済学 I
英語特殊演習 A	1	1	行動経済学 II
英語特殊演習 B	1	1	企業経済学 I
英語実践演習 A	1	1	企業経済学 II
英語実践演習 B	1	1	経済学方法論 A
英語インテンシブ・リーディング A	1	1	経済学方法論 B
英語インテンシブ・リーディング B	1	1	国際経済論 A
英語インテンシブ・リスニング A	1	1	国際経済論 B
英語インテンシブ・リスニング B	1	1	国際貿易論 I
Overseas Study	2	2	国際貿易論 II
英語エッセイ・ライティング A	1	1	金融論 A
英語エッセイ・ライティング B	1	1	金融論 B
英語ビジネス・コミュニケーション A	1	1	地方財政論 A
英語ビジネス・コミュニケーション B	1	1	地方財政論 B
留学のための英語 LRA	1	1	地方財政論 A
留学のための英語 LRB	1	1	地方財政論 B
留学のための英語 SWA	1	1	ミクロ経済学 A
留学のための英語 SWB	1	1	ミクロ経済学 B
Special Topics in Economics A	2	2	マクロ経済学 A
Special Topics in Economics B	2	2	マクロ経済学 B
Special Topics in Economics C	2	2	経済学史 I
			経済学史 II
			経済思想史 I
			経済思想史 II
			比較経済体制論 A
			比較経済体制論 B
			日本経済史 A
			日本経済史 B
			欧米経済史 A
			欧米経済史 B
			経済政策論 I
			経済政策論 II
			農業経済論 A
			農業経済論 B
			アメリカ経済論 I
			アメリカ経済論 II
			新興経済論 A
			新興経済論 B
			中国経済論 A
			中国経済論 B
			中国経済開発論 A
			中国経済開発論 B
			経済地理学 A
			経済地理学 B
			財政学 A
			財政学 B
			国際金融論 A
			国際金融論 B
			労働経済論 I
			労働経済論 II
			社会保障論 A
			社会保障論 B
			人口経済論 A
			人口経済論 B
			環境経済論 I
			環境経済論 II

Special Topics in Economics D	2	2	アジア経済論 A
Special Topics in Economics E	2	2	アジア経済論 B
Special Topics in Economics F	2	2	都市問題論 A
C群			都市問題論 B
ICT リテラシー A	2	2	地域環境論 A
ICT リテラシー B	2	2	地域環境論 B
基礎統計 I	2	2	地域経済論 A
基礎統計 II	2	2	地域経済論 B
経済数学 I	2	2	近代経済学史 A
経済数学 II	2	2	近代経済学史 B
システム管理論 A	2	2	ゲーム理論 I
システム管理論 B	2	2	ゲーム理論 II
統計学 I	2	2	アジア経済史 A
統計学 II	2	2	アジア経済史 B
計量経済学 I	2	2	ヨーロッパ経済論 I
計量経済学 II	2	2	ヨーロッパ経済論 II
経済統計学 I	2	2	地域システム論 A
経済統計学 II	2	2	地域システム論 B
中級経済数学 I	2	2	組織と情報の経済学 A
中級経済数学 II	2	2	組織と情報の経済学 B
社会データ科学 A	2	2	地域社会論 A
社会データ科学 B	2	2	地域社会論 B
応用計量経済学 I	2	2	中小企業論 A
応用計量経済学 II	2	2	中小企業論 B
民法 A	2	2	家族社会学
民法 B	2	2	交通経済論 A
商法（総則等） A	2	2	交通経済論 B
商法（総則等） B	2	2	交通経済論 C
会社法 A	2	2	C群より、
会社法 B	2	2	ICT リテラシー A
労働法 A	2	2	ICT リテラシー B
労働法 B	2	2	基礎統計 I
			基礎統計 II
			経済数学 I
			経済数学 II
			システム管理論 A
			システム管理論 B
			統計学 I
			統計学 II
			計量経済学 I
			計量経済学 II
			経済統計学 I
			経済統計学 II
			中級経済数学 I
			中級経済数学 II
			社会データ科学 A
			社会データ科学 B
			応用計量経済学 I
			応用計量経済学 II
			のうちから 24 単位以上を 修得しなければならない。 更に、C群より、 専門研究（一） 又は 2 総合教育科目より、 教養研究（一） のうちから 4 単位以上 を修得しなければならない。 ただし、国際コースは除く。
			国際コースは、 英語セミナー A 英語セミナー B 英語セミナー C 英語セミナー D を必修とし、4 単位、 Microeconomics

租 税 法 I	2	2	Macroeconomics
租 税 法 II	2	2	Japanese Economy A
留 学 専 門 講 義 I	2	2	Japanese Economy B
留 学 専 門 講 義 II	2	2	International Economics
留 学 専 門 講 義 III	2	2	A
留 学 専 門 講 義 IV	2	2	International Economics
留 学 専 門 講 義 V	1	1	B
留 学 専 門 講 義 VI	1	1	Economic Development A
留 学 専 門 講 義 VII	1	1	Economic Development B
留 学 専 門 講 義 VIII	1	1	Global Economy A
総 合 講 座 A	2	2	Global Economy B
総 合 講 座 B	2	2	Global Economy C
専 門 研 究 (一)	4	4	Global Economy D
専 門 研 究 (二)	4	4	Japanese Business A
卒 業 論 文	6	6	Japanese Business B
D群			Special Topics in
日 本 史 概 説 I	2	2	Economics A
日 本 史 概 説 II	2	2	Special Topics in
外 国 史 概 説 I	2	2	Economics B
外 国 史 概 説 II	2	2	Special Topics in
人 文 地 理 学 概 論 I	2	2	Economics C
人 文 地 理 学 概 論 II	2	2	Special Topics in
自 然 地 理 学 概 論 I	2	2	Economics D
自 然 地 理 学 概 論 II	2	2	Special Topics in
地 誌 学 I	2	2	Economics E
地 誌 学 II	2	2	Special Topics in
法 律 学 概 論 I	2	2	Economics F
法 律 学 概 論 II	2	2	のうちから 20 単位以上,
国 際 政 治 論 I	2	2	英語特殊演習 A
国 際 政 治 論 II	2	2	英語特殊演習 B
哲 学 概 論 I	2	2	英語実践演習 A
哲 学 概 論 II	2	2	英語実践演習 B
			英語インテンシブ・リー
			ディング A
			英語インテンシブ・リー
			ディング B
			英語インテンシブ・リス
			ニング A
			英語インテンシブ・リス
			ニング B
			Overseas Study
			英語エッセイ・ライティング
			A
			英語エッセイ・ライティング
			B
			英語ビジネス・コミュニ
			ケーション A
			英語ビジネス・コミュニ
			ケーション B
			留学のための英語 LRA
			留学のための英語 LRB
			留学のための英語 SWA
			留学のための英語 SWB
			のうちから 12 単位以上, 計
			36 単位以上を修得しなけれ
			ばならない。
			更に, C群より,
			専門研究 (一)
			又は 2 総合教育科目より,
			教養研究 (一)
			のうちから 4 単位以上を修
			得しなければならない。

倫理学概論 I	2		2		
倫理学概論 II	2		2		
職業指導 I	2		2		
職業指導 II	2		2		
情報処理実習 I	1		1		
情報処理実習 II	1		1		

II 産業経営学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				A群～C群のうちから、必修単位数8単位を含め、合計60単位以上を修得しなければならない。	
基礎ミクロ経済学	4	4			
基礎マクロ経済学	4		4		
経営学	4	4		経営・マーケティングプログラムは、A群より	
現代企業論 A	2		2	基礎マクロ経済学 現代企業論 A	
現代企業論 B	2		2	現代企業論 B	
経営史 A	2		2	経営史 A	
経営史 B	2		2	経営史 B	
会計学 I	2		2	会計学 I	
会計学 II	2		2	会計学 II	
基礎簿記 I	2		2	基礎簿記 I	
基礎簿記 II	2		2	基礎簿記 II	
経営時事問題 A	2		2	経営時事問題 A	
経営時事問題 B	2		2	経営時事問題 B	
経営戦略論 A	2		2	B群より、 経営戦略論 A	
経営戦略論 B	2		2	経営戦略論 B	
経営管理論 A	2		2	経営管理論 A	
経営管理論 B	2		2	経営管理論 B	
経営組織論 A	2		2	経営組織論 A	
経営組織論 B	2		2	経営組織論 B	
マーケティング論 I	2		2	マーケティング論 I	
マーケティング論 II	2		2	マーケティング論 II	
生産管理論 A	2		2	生産管理論 A	
生産管理論 B	2		2	生産管理論 B	
経営財務論 A	2		2	経営財務論 A	
経営財務論 B	2		2	経営財務論 B	
管理会計論 A	2		2	管理会計論 A	
管理会計論 B	2		2	管理会計論 B	
経営情報論 I	2		2	経営情報論 I	
経営情報論 II	2		2	経営情報論 II	
マルチメディア論 A	2		2	マルチメディア論 A	
マルチメディア論 B	2		2	マルチメディア論 B	
国際経営論 A	2		2	国際経営論 A	
国際経営論 B	2		2	国際経営論 B	
国際経済論 A	2		2	国際経済論 A	
国際経済論 B	2		2	国際経済論 B	
消費者行動論 A	2		2	消費者行動論 A	
消費者行動論 B	2		2	消費者行動論 B	
流通経済論 A	2		2	流通経済論 A	
流通経済論 B	2		2	流通経済論 B	
B群					
経営戦略論 A	2		2		
経営戦略論 B	2		2		
経営管理論 A	2		2		
経営管理論 B	2		2		
経営組織論 A	2		2		
経営組織論 B	2		2		

マーケティング論 I	2	2	企業分析論 A
マーケティング論 II	2	2	企業分析論 B
生産管理論 A	2	2	リソースマネジメント論 A
生産管理論 B	2	2	リソースマネジメント論 B
経営財務論 A	2	2	人的資源管理論 I
経営財務論 B	2	2	人的資源管理論 II
管理会計論 A	2	2	産業・組織心理学 A
管理会計論 B	2	2	産業・組織心理学 B
経営情報論 I	2	2	中小企業論 A
経営情報論 II	2	2	中小企業論 B
マルチメディア論 A	2	2	多国籍企業論 A
マルチメディア論 B	2	2	多国籍企業論 B
国際経営論 A	2	2	ロジステイクス論 A
国際経営論 B	2	2	ロジステイクス論 B
国際経済論 A	2	2	国際マーケティング論 A
国際経済論 B	2	2	国際マーケティング論 B
消費者行動論 A	2	2	広告コミュニケーション論 A
消費者行動論 B	2	2	広告コミュニケーション論 B
流通経済論 A	2	2	ブランド論 A
流通経済論 B	2	2	ブランド論 B
財務会計論 A	2	2	現代産業論 A
財務会計論 B	2	2	現代産業論 B
中級簿記 A	2	2	のうちから 24 単位以上を修得しなければならぬ。
中級簿記 B	2	2	更に, C 群より,
原価計算論 A	2	2	専門研究 (一)
原価計算論 B	2	2	又は 2 総合教育科目より,
証券市場論 A	2	2	教養研究 (一)
証券市場論 B	2	2	のうちから 4 単位以上を修得しなければならぬ。
金融論 A	2	2	会計・ファイナンスプログラムは,
金融論 B	2	2	A 群より,
企業分析論 A	2	2	基礎マクロ経済学
企業分析論 B	2	2	現代企業論 A
			現代企業論 B
			経営史 A
			経営史 B
			会計学 I
			会計学 II
			基礎簿記 I
			基礎簿記 II
			経営時事問題 A
			経営時事問題 B
			B 群より,
			経営戦略論 A
			経営戦略論 B
			経営管理論 A
			経営管理論 B
			経営組織論 A
			経営組織論 B
			マーケティング論 I
			マーケティング論 II
			生産管理論 A
			生産管理論 B
			経営財務論 A
			経営財務論 B
			管理会計論 A
			管理会計論 B
			経営情報論 I
			経営情報論 II
			マルチメディア論 A
			マルチメディア論 B
			財務会計論 A
			財務会計論 B

リスクマネジメント論A	2	2	中級簿記 A
リスクマネジメント論B	2	2	中級簿記 B
人的資源管理論 I	2	2	原価計算論 A
人的資源管理論 II	2	2	原価計算論 B
産業・組織心理学A	2	2	証券市場論 A
産業・組織心理学B	2	2	証券市場論 B
中小企業論 A	2	2	金融論 A
中小企業論 B	2	2	金融論 B
多国籍企業論 A	2	2	企業分析論 A
多国籍企業論 B	2	2	企業分析論 B
ロジスティクス論A	2	2	リスクマネジメント論 A
ロジスティクス論B	2	2	リスクマネジメント論 B
国際マーケティング論A	2	2	国際会計論 A
国際マーケティング論B	2	2	国際会計論 B
広告コミュニケーション論A	2	2	公会計論
広告コミュニケーション論B	2	2	監査論 A
ブランド論 A	2	2	監査論 B
ブランド論 B	2	2	金融工学 I
現代産業論 A	2	2	金融工学 II
現代産業論 B	2	2	C群より、
国際会計論 A	2	2	租税法 I
国際会計論 B	2	2	租税法 II
公会計論	2	2	のうちから 24 単位以上を修得しなければならない。
監査論 A	2	2	更に、C群より、
監査論 B	2	2	専門研究 (一)
金融工学 I	2	2	又は 2 総合教育科目より、
金融工学 II	2	2	教養研究 (一)
C群			のうちから 4 単位以上を修得しなければならない。
ICTリテラシーA	2	2	
ICTリテラシーB	2	2	
基礎統計 I	2	2	
基礎統計 II	2	2	

経 済 数 学 I	2	2		
経 済 数 学 II	2	2		
シ ス テ ム 管 理 論 A	2	2		
シ ス テ ム 管 理 論 B	2	2		
統 計 学 I	2	2		
統 計 学 II	2	2		
計 量 経 済 学 I	2	2		
計 量 経 済 学 II	2	2		
経 済 統 計 学 I	2	2		
経 済 統 計 学 II	2	2		
中 級 経 済 数 学 I	2	2		
中 級 経 済 数 学 II	2	2		
社 会 デ ー タ 科 学 A	2	2		
社 会 デ ー タ 科 学 B	2	2		
応 用 計 量 経 済 学 I	2	2		
応 用 計 量 経 済 学 II	2	2		
民 法 A	2	2		
民 法 B	2	2		
商 法 (総 則 等) A	2	2		
商 法 (総 則 等) B	2	2		
会 社 法 A	2	2		
会 社 法 B	2	2		
労 働 法 A	2	2		
労 働 法 B	2	2		
租 税 法 I	2	2		
租 税 法 II	2	2		
留 学 専 門 講 義 I	2	2		
留 学 専 門 講 義 II	2	2		
留 学 専 門 講 義 III	2	2		
留 学 専 門 講 義 IV	2	2		
留 学 専 門 講 義 V	1	1		
留 学 専 門 講 義 VI	1	1		

留学専門講義 VII	1	1		
留学専門講義 VIII	1	1		
総合講座 A	2	2		
総合講座 B	2	2		
専門研究 (一)	4	4		
専門研究 (二)	4	4		
卒業論文	6	6		
D群				
日本史概説 I	2	2		
日本史概説 II	2	2		
外国史概説 I	2	2		
外国史概説 II	2	2		
人文地理学概論 I	2	2		
人文地理学概論 II	2	2		
自然地理学概論 I	2	2		
自然地理学概論 II	2	2		
地誌学 I	2	2		
地誌学 II	2	2		
法学概論 I	2	2		
法学概論 II	2	2		
国際政治論 I	2	2		
国際政治論 II	2	2		
哲学概論 I	2	2		
哲学概論 II	2	2		
倫理学概論 I	2	2		
倫理学概論 II	2	2		
職業指導 I	2	2		
職業指導 II	2	2		
情報処理実習 I	1	1		
情報処理実習 II	1	1		

Ⅲ 金融公共経済学科					
授 業 科 目	単位数	必修単位数	選択単位数	履 修 方 法	備 考
A群				A群～C群のうちから、必修単位数10単位を含め、合計60単位以上を修得しなければならない。	
基礎ミクロ経済学	4	4			
基礎マクロ経済学	4	4			
金融公共分析手法入門Ⅰ	2	2		公共経済プログラムは、B群より、	
B群				ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B	
行動経済学Ⅰ	2		2	日本経済論Ⅰ	
行動経済学Ⅱ	2		2	日本経済論Ⅱ	
現代マクロ経済学A	2		2	金融公共分析手法入門Ⅱ	
現代マクロ経済学B	2		2	経済データ分析Ⅰ 経済データ分析Ⅱ	
ゲーム理論Ⅰ	2		2	中級ミクロ経済学Ⅰ	
ゲーム理論Ⅱ	2		2	中級ミクロ経済学Ⅱ	
金融論A	2		2	公共経済学A 公共経済学B	
金融論B	2		2	財政学A 財政学B	
地方財政論A	2		2	経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ	
地方財政論B	2		2	都市問題論A 都市問題論B	
ミクロ経済学A	2		2	社会保障論A 社会保障論B	
ミクロ経済学B	2		2	交通経済論A 交通経済論B	
マクロ経済学A	2		2	法と経済学A 法と経済学B	
マクロ経済学B	2		2	法と経営論 公共政策企画論	
日本経済論Ⅰ	2		2	C群より、	
日本経済論Ⅱ	2		2	計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ	
金融公共分析手法入門Ⅱ	2		2	応用計量経済学Ⅰ 応用計量経済学Ⅱ	
経済データ分析Ⅰ	2		2	のうちから20単位以上を修得しなければならない。	
経済データ分析Ⅱ	2		2	更に、C群より、	
財務会計論A	2		2	専門研究(一)	
財務会計論B	2		2	又は2 総合教育科目より、	
中級ミクロ経済学Ⅰ	2		2	教養研究(一)	
中級ミクロ経済学Ⅱ	2		2	のうちから4単位以上を修得しなければならない。	
組織と情報の経済学A	2		2	金融プログラムは、B群より、	
				金融論A 金融論B ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 金融公共分析手法入門Ⅱ 経済データ分析Ⅰ 経済データ分析Ⅱ 財務会計論A 財務会計論B	

組織と情報の経済学B	2	2	中級ミクロ経済学 I
企業経済学 I	2	2	中級ミクロ経済学 II
企業経済学 II	2	2	企業経済学 I
公共経済学 A	2	2	企業経済学 II
公共経済学 B	2	2	金融システム論 I
財政学 A	2	2	金融システム論 II
財政学 B	2	2	金融市場論 I
経済政策論 I	2	2	金融市場論 II
経済政策論 II	2	2	企業金融論 I
都市問題論 A	2	2	企業金融論 II
都市問題論 B	2	2	管理会計論 A
社会保障論 A	2	2	管理会計論 B
社会保障論 B	2	2	金融工学 I
交通経済論 A	2	2	金融工学 II
交通経済論 B	2	2	クレジットリスクマネジメント I
法と経済学 A	2	2	クレジットリスクマネジメント II
法と経済学 B	2	2	ファイナンシャルエコノミクス I
公共経営論	2	2	ファイナンシャルエコノミクス II
公共政策企画論	2	2	C群より、
金融システム論 I	2	2	計量経済学 I
金融システム論 II	2	2	計量経済学 II
金融市場論 I	2	2	応用計量経済学 I
金融市場論 II	2	2	応用計量経済学 II
企業金融論 I	2	2	のうちから 20 単位以上を
企業金融論 II	2	2	修得しなければならない。
管理会計論 A	2	2	更に、C群より、
管理会計論 B	2	2	専門研究 (一)
金融工学 I	2	2	又は 2 総合教育科目より、
金融工学 II	2	2	教養研究 (一)
クレジットリスクマネジメント I	2	2	のうちから 4 単位以上
クレジットリスクマネジメント II	2	2	を修得しなければならない。
ファイナンシャルエコノミクス I	2	2	

フィナンシャルエコノミクスⅡ	2	2		
証券市場論 A	2	2		
証券市場論 B	2	2		
国際金融論 A	2	2		
国際金融論 B	2	2		
金融政策論 A	2	2		
金融政策論 B	2	2		
C群				
ICTリテラシー A	2	2		
ICTリテラシー B	2	2		
基礎統計 I	2	2		
基礎統計 II	2	2		
経済数学 I	2	2		
経済数学 II	2	2		
システム管理論 A	2	2		
システム管理論 B	2	2		
統計学 I	2	2		
統計学 II	2	2		
計量経済学 I	2	2		
計量経済学 II	2	2		
経済統計学 I	2	2		
経済統計学 II	2	2		
中級経済数学 I	2	2		
中級経済数学 II	2	2		
社会データ科学 A	2	2		
社会データ科学 B	2	2		
応用計量経済学 I	2	2		
応用計量経済学 II	2	2		
民法 A	2	2		
民法 B	2	2		
商法 (総則等) A	2	2		
商法 (総則等) B	2	2		

会 社 法 A	2	2		
会 社 法 B	2	2		
劳 働 法 A	2	2		
劳 働 法 B	2	2		
租 税 法 I	2	2		
租 税 法 II	2	2		
留 学 専 門 講 義 I	2	2		
留 学 専 門 講 義 II	2	2		
留 学 専 門 講 義 III	2	2		
留 学 専 門 講 義 IV	2	2		
留 学 専 門 講 義 V	1	1		
留 学 専 門 講 義 VI	1	1		
留 学 専 門 講 義 VII	1	1		
留 学 専 門 講 義 VIII	1	1		
総 合 講 座 A	2	2		
総 合 講 座 B	2	2		
専 門 研 究 (一)	4	4		
専 門 研 究 (二)	4	4		
卒 業 論 文	6	6		
D群				
日 本 史 概 説 I	2	2		
日 本 史 概 説 II	2	2		
外 国 史 概 説 I	2	2		
外 国 史 概 説 II	2	2		
人 文 地 理 学 概 論 I	2	2		
人 文 地 理 学 概 論 II	2	2		
自 然 地 理 学 概 論 I	2	2		
自 然 地 理 学 概 論 II	2	2		
地 誌 学 I	2	2		
地 誌 学 II	2	2		
法 律 学 概 論 I	2	2		
法 律 学 概 論 II	2	2		

國際政治論 I	2		2		
國際政治論 II	2		2		
哲學概論 I	2		2		
哲學概論 II	2		2		
倫理學概論 I	2		2		
倫理學概論 II	2		2		
職業指導 I	2		2		
職業指導 II	2		2		
情報處理實習 I	1		1		
情報處理實習 II	1		1		

第4節 商学部

第83条 商学部における各学科の授業科目，その単位数及び履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法に定めた単位数を含め，総計124単位を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自 主 創 造 の 基 礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日 本 を 考 え る	2		2		

2 総合科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
哲 学 A	2		2	20単位以上を修得しなければならない。	
哲 学 B	2		2		
論 理 学 A	2		2		
論 理 学 B	2		2		
倫 理 学 A	2		2		
倫 理 学 B	2		2		
宗 教 学	2		2		
歴 史 学 A	2		2		
歴 史 学 B	2		2		
文 章 表 現 A	2		2		
文 章 表 現 B	2		2		
文 学 A	2		2		
文 学 B	2		2		
文 学 史 A	2		2		
文 学 史 B	2		2		
日 本 文 化 論 A	2		2		
日 本 文 化 論 B	2		2		
日 本 国 憲 法	2		2		
法 学	2		2		
社 会 学 A	2		2		

社 会 学	B	2	2		
政 治 学	A	2	2		
政 治 学	B	2	2		
地 理 学	A	2	2		
地 理 学	B	2	2		
文 化 人 類 学		2	2		
教 育 学	A	2	2		
教 育 学	B	2	2		
数 学	A	2	2		
数 学	B	2	2		
統 計 学		2	2		
心 理 学	A	2	2		
心 理 学	B	2	2		
科 学 技 術 史	A	2	2		
科 学 技 術 史	B	2	2		
環 境 と 生 態	A	2	2		
環 境 と 生 態	B	2	2		
地 球 科 学	A	2	2		
地 球 科 学	B	2	2		
生 物 科 学	A	2	2		
生 物 科 学	B	2	2		
健 康 と ス ポ ー ツ		2	2		
異文化コミュニケーション	A	2	2		
異文化コミュニケーション	B	2	2		
総 合 研 究	A	2	2		
総 合 研 究	B	2	2		
総 合 研 究	C	2	2		
総 合 研 究	D	2	2		
総 合 科 目 特 殊 講 義	A	2	2		
総 合 科 目 特 殊 講 義	B	2	2		

3 外国語科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英 語	1	1	1	英語1～8の8科目8単位を 修得し、さらに、ドイツ語 1～6、フランス語1～6、ス ペイン語1～6、中国語1～6 及び韓国語／朝鮮語1～6 のうち、いずれか1か国語6 単位を修得しなければならない。 （日本語1～8は外国人留 学生のみ履修できる） 外国人留学生は、日本語1 ～8の8科目8単位を修得 し、さらに、英語（英語が 母語の場合はドイツ語、フ ランス語、スペイン語、中 国語及び韓国語／朝鮮語 のうちいずれか1か国語）1 ～6の6科目6単位を修得し なければならない。	
英 語	2	1	1		
英 語	3	1	1		
英 語	4	1	1		
英 語	5	1	1		
英 語	6	1	1		
英 語	7	1	1		
英 語	8	1	1		
日 本 語	1	1	1		
日 本 語	2	1	1		
日 本 語	3	1	1		
日 本 語	4	1	1		
日 本 語	5	1	1		
日 本 語	6	1	1		
日 本 語	7	1	1		
日 本 語	8	1	1		
ド イ ツ 語	1	1	1		
ド イ ツ 語	2	1	1		
ド イ ツ 語	3	1	1		
ド イ ツ 語	4	1	1		
ド イ ツ 語	5	1	1		
ド イ ツ 語	6	1	1		
フ ラ ン ス 語	1	1	1		
フ ラ ン ス 語	2	1	1		
フ ラ ン ス 語	3	1	1		
フ ラ ン ス 語	4	1	1		
フ ラ ン ス 語	5	1	1		
フ ラ ン ス 語	6	1	1		
ス ペ イ ン 語	1	1	1		

ス ペ イ ン 語 2	1	1		
ス ペ イ ン 語 3	1	1		
ス ペ イ ン 語 4	1	1		
ス ペ イ ン 語 5	1	1		
ス ペ イ ン 語 6	1	1		
中 国 語 1	1	1		
中 国 語 2	1	1		
中 国 語 3	1	1		
中 国 語 4	1	1		
中 国 語 5	1	1		
中 国 語 6	1	1		
韓 国 語 / 朝 鮮 語 1	1	1		
韓 国 語 / 朝 鮮 語 2	1	1		
韓 国 語 / 朝 鮮 語 3	1	1		
韓 国 語 / 朝 鮮 語 4	1	1		
韓 国 語 / 朝 鮮 語 5	1	1		
韓 国 語 / 朝 鮮 語 6	1	1		
英 会 話 A	1	1		
英 会 話 B	1	1		
英 会 話 C	1	1		
英 会 話 D	1	1		
英 会 話 E	1	1		
英 会 話 F	1	1		
ド イ ツ 語 会 話 A	1	1		
ド イ ツ 語 会 話 B	1	1		
フ ラ ン ス 語 会 話 A	1	1		
フ ラ ン ス 語 会 話 B	1	1		
ス ペ イ ン 語 会 話 A	1	1		
ス ペ イ ン 語 会 話 B	1	1		
中 国 語 会 話 A	1	1		
中 国 語 会 話 B	1	1		

韓国語／朝鮮語会話A	1		1		
韓国語／朝鮮語会話B	1		1		

4 スポーツ科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
ス ポ ー ツ A	1	1		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
ス ポ ー ツ B	1	1			

5 専門教育科目

I 商業学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【専門基礎科目】				必修単位数8単位を含め、合計74単位以上を修得しなければならない。	
商 学 入 門 1	2	2		専門基礎科目として、 商学入門2 経営学入門2 会計学入門2 経済学入門2 ビジネス法務入門 金融入門 経済・ビジネス数学入門 ビジネス統計入門 キャリアデザイン入門 コンピュータリテラシーA コンピュータリテラシーB 簿記論1 のうちから、8単位以上を修得しなければならない。	
経 営 学 入 門 1	2	2			
会 計 学 入 門 1	2	2			
経 済 学 入 門 1	2	2			
商 学 入 門 2	2		2		
経 営 学 入 門 2	2		2		
会 計 学 入 門 2	2		2		
経 済 学 入 門 2	2		2		
ビ ジ ネ ス 法 務 入 門	2		2		
金 融 入 門	2		2		
経 済 ・ ビ ジ ネ ス 数 学 入 門	2		2		
ビ ジ ネ ス 統 計 入 門	2		2		
キ ャ リ ア デ ザ イン 入 門	2		2		
コ ン ピ ュ ー タ リ テ ラ シ ー A	2		2		

コンピュータリテラシーB	2	2	
簿記論 1	4	4	
【専門科目】			専門科目のうち、学科所属科目として、
マーケティング論	4	4	マーケティング論
ブランド・マネジメント	2	2	ブランド・マネジメント
サービス・マーケティング	2	2	サービス・マーケティング
エリア・マーケティング	2	2	エリア・マーケティング
デジタル・マーケティング	2	2	デジタル・マーケティング
消費者行動論 A	2	2	消費者行動論A
消費者行動論 B	2	2	消費者行動論B
消費論	2	2	消費論
電子商取引	2	2	電子商取引
マーケティング・リサーチ	2	2	マーケティング・リサーチ
広告コミュニケーションA	2	2	広告コミュニケーションA
広告コミュニケーションB	2	2	広告コミュニケーションB
ビジネス統計	2	2	ビジネス統計
ソーシャル・マーケティング	2	2	ソーシャル・マーケティング
グローバル・マーケティングA	2	2	グローバル・マーケティングA
グローバル・マーケティングB	2	2	グローバル・マーケティングB
戦略マーケティングA	2	2	戦略マーケティングA
戦略マーケティングB	2	2	戦略マーケティングB
観光マーケティングA	2	2	観光マーケティングA
観光マーケティングB	2	2	観光マーケティングB
マーケティング管理A	2	2	マーケティング管理A
マーケティング管理B	2	2	マーケティング管理B
			流通システム論A
			流通システム論B
			物流論
			国際ビジネスA
			国際ビジネスB
			貿易論1
			貿易論2
			貿易政策A
			貿易政策B
			MarketingA
			MarketingB
			ミクロ経済学A
			ミクロ経済学B
			マクロ経済学A
			マクロ経済学B
			国際商業史A
			国際商業史B
			近代経済史A
			近代経済史B
			政治経済学A
			政治経済学B
			金融論A
			金融論B
			金融史
			国際金融論A
			国際金融論B
			国際経済学A
			国際経済学B
			アジア経済論A
			アジア経済論B
			社会保障論A
			社会保障論B
			Global Business A
			Global Business B
			民法A (総則・物権)
			民法B (債権法)
			商法A (企業取引法)
			商法B (会社法)
			行政法1
			行政法2
			経済法

国際金融論 B	2	2	ソーシャル・マーケティング グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB
国際経済学 A	2	2	戦略マーケティングA 戦略マーケティングB
国際経済学 B	2	2	観光マーケティングA 観光マーケティングB
アジア経済論 A	2	2	消費者法 マーケティング管理A マーケティング管理B
アジア経済論 B	2	2	流通システム論A 流通システム論B
社会保障論 A	2	2	物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB
社会保障論 B	2	2	貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B
Global Business A	1	1	経済法 MarketingA MarketingB
Global Business B	1	1	ミクロ経済学A ミクロ経済学B
民法A（総則・物権）	4	4	経営管理論A 経営管理論B
民法B（債権法）	4	4	経営戦略論A 経営戦略論B
商法A（企業取引法）	4	4	経営組織論A 経営組織論B
商法B（会社法）	4	4	経営史A 経営史B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B
行政法 1	2	2	データ解析1 データ解析2 グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB
行政法 2	2	2	比較経営論A 比較経営論B
経済法	2	2	経営心理学A 経営心理学B
消費者法	2	2	アントルプルナーシップ論 知的財産権 のうちから18単位以上を修得 しなければならない。
税法 A	2	2	
税法 B	2	2	
紛争処理法	2	2	グローバル・ビジネスコース は、学科所属として修得した授 業科目の単位を除いて、
労働法	2	2	マーケティング論 サービス・マーケティング デジタル・マーケティング
国際取引法	2	2	電子商取引 マーケティング・リサーチ
事業承継法	2	2	グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB
金融機関論 A	2	2	観光マーケティングA 観光マーケティングB
金融機関論 B	2	2	消費者法 流通システム論A 流通システム論B
マネー論	2	2	物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1

金融数学	2	2	貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 経済法
保険論 A	2	2	Marketing A Marketing B
保険論 B	2	2	ミクロ経済学A ミクロ経済学B
金融商品取引法	2	2	マクロ経済学A マクロ経済学B
証券市場論 A	2	2	国際商業史A 国際商業史B
証券市場論 B	2	2	近代経済史A 近代経済史B
リスク・マネジメントA	2	2	政治経済学A 政治経済学B
リスク・マネジメントB	2	2	金融論A 金融論B
損害保険論 A	2	2	金融史 国際金融論A
損害保険論 B	2	2	国際金融論B 国際経済学A
生命保険論 A	2	2	国際経済学B アジア経済論A
生命保険論 B	2	2	アジア経済論B 社会保障論A
経済統計学 A	2	2	社会保障論B Global Business A
経済統計学 B	2	2	Global Business B 民法A (総則・物権)
財政学 A	2	2	民法B (債権法) 商法A (企業取引法)
財政学 B	2	2	商法B (会社法) 行政法1
サービス経済論 A	2	2	行政法2 税法A
サービス経済論 B	2	2	税法B 紛争処理法
経済地理学 A	2	2	労働法 国際取引法
経済地理学 B	2	2	事業承継法 金融商品取引法
日本経済論 A	2	2	経済統計学A 経済統計学B
日本経済論 B	2	2	Finance & Economy A Finance & Economy B
公共経済学 A	2	2	経営史A 経営史B
公共経済学 B	2	2	ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B
経済政策 A	2	2	データ解析1 データ解析2
			グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB
			比較経営論A 比較経営論B
			アントルブルナーシップ論 知的財産権
			Management A Management B
			Entrepreneurship A Entrepreneurship B
			財務会計論1 国際会計論A
			国際会計論B Accounting A
			Accounting B のうちから18単位以上を修得 しなければならない。

経済政策	B	2	2	金融エコーノミーコースは、学科 所属として修得した授業科目 の単位を除いて、
産業組織論	A	2	2	電子商取引
産業組織論	B	2	2	ミクロ経済学A
経済学説史	A	2	2	ミクロ経済学B
経済学説史	B	2	2	マクロ経済学A
労働経済論	A	2	2	マクロ経済学B
労働経済論	B	2	2	近代経済史A
Finance & Economy	A	1	1	近代経済史B
Finance & Economy	B	1	1	政治経済学A
経営管理論	A	2	2	政治経済学B
経営管理論	B	2	2	金融論A
経営戦略論	A	2	2	金融論B
経営戦略論	B	2	2	金融史
経営組織論	A	2	2	国際金融論A
経営組織論	B	2	2	国際金融論B
経営史	A	2	2	国際経済学A
経営史	B	2	2	国際経済学B
ベンチャービジネス論A		2	2	アジア経済論A
ベンチャービジネス論B		2	2	アジア経済論B
データ解析 1		2	2	社会保障論A
データ解析 2		2	2	社会保障論B
グローバル・マネジメントA		2	2	金融機関論A
グローバル・マネジメントB		2	2	金融機関論B
比較経営論 A		2	2	マネー論
比較経営論 B		2	2	金融数学
				保険論A
				保険論B
				金融商品取引法
				証券市場論A
				証券市場論B
				リスク・マネジメントA
				リスク・マネジメントB
				損害保険論A
				損害保険論B
				生命保険論A
				生命保険論B
				経済統計学A
				経済統計学B
				財政学A
				財政学B
				サービス経済論A
				サービス経済論B
				経済地理学A
				経済地理学B
				日本経済論A
				日本経済論B
				公共経済学A
				公共経済学B
				経済政策A
				経済政策B
				産業組織論A
				産業組織論B
				経済学説史A
				経済学説史B
				労働経済論A
				労働経済論B
				Finance & Economy A
				Finance & Economy B
				コーポレート・ファイナンスA
				コーポレート・ファイナンスB
				ベンチャー・ファイナンス
				のうちから18単位以上を修得 しなければならない。

経営心理学 A	2	2	<p>マネジメントコースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、</p> <p>マーケティング論 デジタル・マーケティング ビジネス統計 グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB マーケティング管理A マーケティング管理B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 国際取引法 事業承継法 リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 経営史A 経営史B グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B Management A Management B コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB 人的資源管理論A 人的資源管理論B 企業倫理A 企業倫理B 企業形態論 生産管理論A 生産管理論B 非営利組織経営学A 非営利組織経営学B 環境経営論 経営学説史 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 経営監査論A 経営監査論B</p> <p>のうちから18単位以上を修得しなければならない。</p>
経営心理学 B	2	2	
アントルプルナーシップ論	2	2	
知的財産権	2	2	
Management A	1	1	
Management B	1	1	
コーポレート・ファイナンスA	2	2	
コーポレート・ファイナンスB	2	2	
ベンチャー・ファイナンス	2	2	
人的資源管理論 A	2	2	
人的資源管理論 B	2	2	
企業倫理 A	2	2	
企業倫理 B	2	2	
企業形態論	2	2	
生産管理論 A	2	2	
生産管理論 B	2	2	
非営利組織経営学A	2	2	
非営利組織経営学B	2	2	
環境経営論	2	2	
経営学説史	2	2	
中小企業論 A	2	2	
中小企業論 B	2	2	
中小企業経営論	2	2	
中小企業政策論	2	2	
テクノロジー・マネジメントA	2	2	

テクノロジー・マネジメントB	2	2	事業創造コースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
情報ネットワーク論A	2	2	マーケティング論
情報ネットワーク論B	2	2	ブランド・マネジメント
情報システム	2	2	デジタル・マーケティング
データサイエンス	2	2	電子商取引
コンピュータ・システム	2	2	ビジネス統計
プログラミング	2	2	ソーシャル・マーケティング
マルチメディア論A	2	2	戦略マーケティングA
マルチメディア論B	2	2	戦略マーケティングB
情報倫理	2	2	金融論A
情報社会と職業	2	2	金融論B
経営情報システムA	2	2	民法A (総則・物権)
経営情報システムB	2	2	民法B (債権法)
オペレーションズ・リサーチ1	2	2	商法A (企業取引法)
オペレーションズ・リサーチ2	2	2	商法B (会社法)
情報システム分析論	2	2	税法A
情報システム設計論	2	2	税法B
Entrepreneurship A	1	1	労働法
Entrepreneurship B	1	1	事業承継法
簿記論	2	4	証券市場論A
簿記論	3	4	証券市場論B
			リスク・マネジメントA
			リスク・マネジメントB
			労働経済論A
			労働経済論B
			経営管理論A
			経営管理論B
			経営戦略論A
			経営戦略論B
			経営組織論A
			経営組織論B
			ベンチャービジネス論A
			ベンチャービジネス論B
			データ解析1
			データ解析2
			比較経営論A
			比較経営論B
			経営心理学A
			経営心理学B
			アントルプルナーシップ論
			知的財産権
			コーポレート・ファイナンスA
			コーポレート・ファイナンスB
			ベンチャー・ファイナンス
			人的資源管理論A
			人的資源管理論B
			企業形態論
			生産管理論A
			生産管理論B
			中小企業論A
			中小企業論B
			中小企業経営論
			中小企業政策論
			テクノロジー・マネジメントA
			テクノロジー・マネジメントB
			情報ネットワーク論A
			情報ネットワーク論B
			情報システム
			データサイエンス
			コンピュータ・システム
			プログラミング
			マルチメディア論A
			マルチメディア論B
			情報倫理
			情報社会と職業
			経営情報システムA
			経営情報システムB
			オペレーションズ・リサーチ1
			オペレーションズ・リサーチ2
			情報システム分析論
			情報システム設計論
			Entrepreneurship A
			Entrepreneurship B
			財務会計論1

簿記論	4	4	4	原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 経営監査論A 経営監査論B
財務会計論 1	1	4	4	
財務会計論 2	2	2	2	のうちから18単位以上を修得しなければならない。
財務会計論 3	3	2	2	
原価計算論 1	1	4	4	
原価計算論 2	2	2	2	アカウンティングコースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
原価計算論 3	3	2	2	ビジネス統計 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B
会計監査論 1	1	4	4	金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B
会計監査論 2	2	2	2	データ解析1 データ解析2
会計監査論 3	3	2	2	コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB
管理会計論 A	A	2	2	情報ネットワーク論A 情報ネットワーク論B
管理会計論 B	B	2	2	情報システム データサイエンス
財務諸表分析論 1	1	2	2	経営情報システムA 経営情報システムB
財務諸表分析論 2	2	2	2	財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B
会計実践演習		2	2	財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習
制度会計論		4	4	簿記論2 制度会計論
コンピュータ会計論		2	2	コンピュータ会計論
税務会計論 A	A	2	2	税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1
税務会計論 B	B	2	2	会計学説史A 会計学説史B
会計学説史 A	A	2	2	国際会計論A 国際会計論B
会計学説史 B	B	2	2	環境会計論 経営監査論A 経営監査論B
国際会計論 A	A	2	2	非営利組織会計論 Accounting A Accounting B
国際会計論 B	B	2	2	のうちから18単位以上を修得しなければならない。

環境会計論	2	2	<p>会計専門職コースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジネス統計 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B 金融商品取引法 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 生産管理論A 生産管理論B 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 簿記論2 制度会計論 税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 簿記論3 簿記論4 会計学説史A 会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B 経営監査論A 経営監査論B 財務会計論2 財務会計論3 原価計算論2 原価計算論3 会計監査論2 会計監査論3 所得税法 消費税法 非営利組織会計論 Accounting A Accounting B <p>のうちから18単位以上を修得しなければならない。</p> <p>上記履修方法で定める単位数以外に、専門基礎科目及び専門科目から18単位以上を修得しなければならない。</p>
経営監査論 A	2	2	
経営監査論 B	2	2	
非営利組織会計論	2	2	
所得税法	2	2	
消費税法	2	2	
Accounting A	1	1	
Accounting B	1	1	
外国書講読 A	1	1	
外国書講読 B	1	1	
職業指導	4	4	
特殊講義 A	2	2	
特殊講義 B	2	2	
特殊講義 C	2	2	
プロジェクト研究 A	2	2	
プロジェクト研究 B	2	2	
プロジェクト研究 C	2	2	
プロジェクト研究 D	2	2	
ゼミナール 1	2	2	
ゼミナール 2	2	2	
ゼミナール 3	2	2	
ゼミナール 4	2	2	
卒業論文	6	6	

II 経営学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【専門基礎科目】				必修単位数8単位を含め、合計74単位以上を修得しなければならない。	
商 学 入 門 1	2	2			
経 営 学 入 門 1	2	2		専門基礎科目として、 商学入門2 経営学入門2 会計学入門2 経済学入門2 ビジネス法務入門	
会 計 学 入 門 1	2	2		金融入門	
経 済 学 入 門 1	2	2		経済・ビジネス数学入門	
商 学 入 門 2	2		2	ビジネス統計入門	
経 営 学 入 門 2	2		2	キャリアデザイン入門	
会 計 学 入 門 2	2		2	コンピュータリテラシーA	のうちから、8単位以上を修得 しなければならない。
経 済 学 入 門 2	2		2	コンピュータリテラシーB	
ビ ジ ネ ス 法 務 入 門	2		2	簿記論1	
金 融 入 門	2		2		
経 済 ・ ビ ジ ネ ス 数 学 入 門	2		2		
ビ ジ ネ ス 統 計 入 門	2		2		
キ ャ リ ア デ ザ イン 入 門	2		2		
コ ン プ ュ ー タ リ テ ラ シ ー A	2		2		
コ ン プ ュ ー タ リ テ ラ シ ー B	2		2		
簿 記 論 1	4		4		
【専門科目】				専門科目のうち、学科所属科目 として、	
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	4		4	経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B	
ブ ラ ン ド ・ マ ネ ジ メ ン ト	2		2	経営組織論A 経営組織論B	
サ ー ビ ス ・ マ ー ケ テ ィ ン グ	2		2	経営史A 経営史B	
エ リ ア ・ マ ー ケ テ ィ ン グ	2		2	ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B	
デ ジ タ ル ・ マ ー ケ テ ィ ン グ	2		2	データ解析1 データ解析2	
消 費 者 行 動 論 A	2		2	グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB	
消 費 者 行 動 論 B	2		2	比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B	

消 費 論	2	2	アントルプルナーシップ論 知的財産権 Management A Management B
電 子 商 取 引	2	2	コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB ベンチャー・ファイナンス
マーケティング・リサーチ	2	2	人的資源管理論A 人的資源管理論B
広告コミュニケーションA	2	2	企業倫理A 企業倫理B
広告コミュニケーションB	2	2	企業形態論 生産管理論A 生産管理論B
ビ ジ ネ ス 統 計	2	2	非営利組織経営学A 非営利組織経営学B
ソーシャル・マーケティング	2	2	環境経営論 経営学説史
グローバル・マーケティングA	2	2	中小企業論A 中小企業論B
グローバル・マーケティングB	2	2	中小企業経営論 中小企業政策論 テクノロジー・マネジメントA テクノロジー・マネジメントB
戦略マーケティングA	2	2	情報ネットワーク論A 情報ネットワーク論B
戦略マーケティングB	2	2	情報システム データサイエンス コンピュータ・システム プログラミング
観光マーケティングA	2	2	マルチメディア論A マルチメディア論B
観光マーケティングB	2	2	情報倫理 情報社会と職業
マーケティング管理A	2	2	経営情報システムA 経営情報システムB
マーケティング管理B	2	2	オペレーションズ・リサーチ1 オペレーションズ・リサーチ2 情報システム分析論 情報システム設計論
流通システム論A	2	2	Entrepreneurship A Entrepreneurship B
流通システム論B	2	2	から22単位以上を修得しなければならぬ。
物 流 論	4	4	
国 際 ビ ジ ネ ス A	2	2	マーケティングコースは、学科 所属として修得した授業科目 の単位を除いて、
国 際 ビ ジ ネ ス B	2	2	マーケティング論 ブランド・マネジメント サービス・マーケティング エリア・マーケティング デジタル・マーケティング
貿 易 論	1	2	消費者行動論A 消費者行動論B
貿 易 論	2	2	消費論 電子商取引
貿 易 政 策 A	2	2	マーケティング・リサーチ 広告コミュニケーションA 広告コミュニケーションB
貿 易 政 策 B	2	2	ビジネス統計 ソーシャル・マーケティング グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB
Marketing A	1	1	戦略マーケティングA 戦略マーケティングB

Marketing B	1	1	観光マーケティングA 観光マーケティングB
ミクロ経済学 A	2	2	消費者法 マーケティング管理A マーケティング管理B
ミクロ経済学 B	2	2	流通システム論A 流通システム論B 物流論
マクロ経済学 A	2	2	国際ビジネスA 国際ビジネスB
マクロ経済学 B	2	2	貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 経済法
国際商業史 A	2	2	Marketing A Marketing B
国際商業史 B	2	2	ミクロ経済学A ミクロ経済学B
近代経済史 A	2	2	経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B
近代経済史 B	2	2	経営史A 経営史B
政治経済学 A	2	2	ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B
政治経済学 B	2	2	データ解析1 データ解析2 グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB
金融論 A	2	2	比較経営論A 比較経営論B
金融論 B	2	2	経営心理学A 経営心理学B
金融史	2	2	アントルプルナーシップ論 知的財産権 のうちから18単位以上を修得しなければならない。
国際金融論 A	2	2	
国際金融論 B	2	2	グローバル・ビジネスコース は、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
国際経済学 A	2	2	マーケティング論 サービス・マーケティング デジタル・マーケティング
国際経済学 B	2	2	電子商取引 マーケティング・リサーチ
アジア経済論 A	2	2	グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB
アジア経済論 B	2	2	観光マーケティングA 観光マーケティングB
社会保障論 A	2	2	消費者法 流通システム論A 流通システム論B
社会保障論 B	2	2	物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB
Global Business A	1	1	貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B
Global Business B	1	1	経済法 Marketing A Marketing B
民法A（総則・物権）	4	4	ミクロ経済学A ミクロ経済学B

民法B（債権法）	4	4	マクロ経済学A マクロ経済学B
商法A（企業取引法）	4	4	国際商業史A 国際商業史B 近代経済史A 近代経済史B
商法B（会社法）	4	4	政治経済学A 政治経済学B
行政法 1	2	2	金融論A 金融論B 金融史
行政法 2	2	2	国際金融論A 国際金融論B
経済法	2	2	国際経済学A 国際経済学B
消費者法	2	2	アジア経済論A アジア経済論B
税法 A	2	2	社会保障論A 社会保障論B
税法 B	2	2	Global Business A Global Business B
紛争処理法	2	2	民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法）
労働法	2	2	行政法1 行政法2
国際取引法	2	2	税法A 税法B
事業承継法	2	2	紛争処理法 労働法
金融機関論 A	2	2	国際取引法 事業承継法
金融機関論 B	2	2	金融商品取引法
マネー論	2	2	経済統計学A 経済統計学B
金融数学	2	2	Finance & Economy A Finance & Economy B
保険論 A	2	2	経営史A 経営史B
保険論 B	2	2	ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B
金融商品取引法	2	2	データ解析1 データ解析2
証券市場論 A	2	2	グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB
証券市場論 B	2	2	比較経営論A 比較経営論B
リスク・マネジメントA	2	2	アントルプルナーシップ論 知的財産権
リスク・マネジメントB	2	2	Management A Management B
損害保険論 A	2	2	Entrepreneurship A Entrepreneurship B
損害保険論 B	2	2	財務会計論1 国際会計論A 国際会計論B
			Accounting A Accounting B
			のうちから18単位以上を修得しなければならない。

生命保険論 A	2	2	金融エ
生命保険論 B	2	2	ノミ
経済統計学 A	2	2	コー
経済統計学 B	2	2	スは、
財政学 A	2	2	学科
財政学 B	2	2	所
サービス経済論 A	2	2	属
サービス経済論 B	2	2	とし
経済地理学 A	2	2	て修
経済地理学 B	2	2	得し
日本経済論 A	2	2	た授
日本経済論 B	2	2	業科
公共経済学 A	2	2	目の
公共経済学 B	2	2	単
経済政策 A	2	2	位を
経済政策 B	2	2	除い
産業組織論 A	2	2	て、
産業組織論 B	2	2	マ
経済学説史 A	2	2	ケ
経済学説史 B	2	2	テ
労働経済論 A	2	2	ィ
労働経済論 B	2	2	ン
Finance & Economy A	1	1	グ
Finance & Economy B	1	1	論

金融エ
所ノ
属ミ
とし
てコ
修ス
得は、
た学
業科
目の
単
位を
除い
て、
マ
ケ
テ
ィ
ン
グ
論
デ
ジ
タル
・
マ
ケ
テ
ィ
ン
グ

経営管理論 A	2	2	ビジネス統計
経営管理論 B	2	2	グローバル・マーケティングA
経営戦略論 A	2	2	グローバル・マーケティングB
経営戦略論 B	2	2	戦略マーケティングA
経営組織論 A	2	2	戦略マーケティングB
経営組織論 B	2	2	マーケティング管理A
経営史 A	2	2	マーケティング管理B
経営史 B	2	2	物流論
ベンチャービジネス論A	2	2	国際ビジネスA
ベンチャービジネス論B	2	2	国際ビジネスB
データ解析 1	2	2	貿易論1
データ解析 2	2	2	貿易論2
グローバル・マネジメントA	2	2	貿易政策A
グローバル・マネジメントB	2	2	貿易政策B
比較経営論 A	2	2	国際取引法
比較経営論 B	2	2	事業承継法
経営心理学 A	2	2	リスク・マネジメントA
経営心理学 B	2	2	リスク・マネジメントB
アントルプルナーシップ論	2	2	経営管理論A
知的財産権	2	2	経営管理論B
Management A	1	1	経営戦略論A
Management B	1	1	経営戦略論B
コーポレート・ファイナンスA	2	2	経営組織論A
コーポレート・ファイナンスB	2	2	経営組織論B
ベンチャー・ファイナンス	2	2	経営史A
人的資源管理論 A	2	2	経営史B
			グローバル・マネジメントA
			グローバル・マネジメントB
			比較経営論A
			比較経営論B
			経営心理学A
			経営心理学B
			Management A
			Management B
			コーポレート・ファイナンスA
			コーポレート・ファイナンスB
			人的資源管理論A
			人的資源管理論B
			企業倫理A
			企業倫理B
			企業形態論
			生産管理論A
			生産管理論B
			非営利組織経営学A
			非営利組織経営学B
			環境経営論
			経営学説史
			財務会計論1
			原価計算論1
			管理会計論A
			管理会計論B
			財務諸表分析論1
			財務諸表分析論2
			会計実践演習
			簿記論2
			経営監査論A
			経営監査論B
			のうちから18単位以上を修得しなければならない。
			事業創造コースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
			マーケティング論
			ブランド・マネジメント
			デジタル・マーケティング
			電子商取引
			ビジネス統計

人的資源管理論 B	2	2	ソーシャル・マーケティング
企業倫理 A	2	2	戦略マーケティングA
企業倫理 B	2	2	戦略マーケティングB
企業形態論	2	2	金融論A
生産管理論 A	2	2	金融論B
生産管理論 B	2	2	民法A (総則・物権)
非営利組織経営学 A	2	2	民法B (債権法)
非営利組織経営学 B	2	2	商法A (企業取引法)
環境経営論	2	2	商法B (会社法)
経営学説史	2	2	税法A
中小企業論 A	2	2	税法B
中小企業論 B	2	2	労働法
中小企業経営論	2	2	事業承継法
中小企業政策論	2	2	証券市場論A
テクノロジー・マネジメントA	2	2	証券市場論B
テクノロジー・マネジメントB	2	2	リスク・マネジメントA
情報ネットワーク論A	2	2	リスク・マネジメントB
情報ネットワーク論B	2	2	労働経済論A
情報システム	2	2	労働経済論B
データサイエンス	2	2	経営管理論A
コンピュータ・システム	2	2	経営管理論B
プログラミング	2	2	経営戦略論A
マルチメディア論A	2	2	経営戦略論B
マルチメディア論B	2	2	経営組織論A
情報倫理	2	2	経営組織論B
情報社会と職業	2	2	ベンチャービジネス論A
			ベンチャービジネス論B
			データ解析1
			データ解析2
			比較経営論A
			比較経営論B
			経営心理学A
			経営心理学B
			アントルプルナーシップ論
			知的財産権
			コーポレート・ファイナンスA
			コーポレート・ファイナンスB
			ベンチャー・ファイナンス
			人的資源管理論A
			人的資源管理論B
			企業形態論
			生産管理論A
			生産管理論B
			中小企業論A
			中小企業論B
			中小企業経営論
			中小企業政策論
			テクノロジー・マネジメントA
			テクノロジー・マネジメントB
			情報ネットワーク論A
			情報ネットワーク論B
			情報システム
			データサイエンス
			コンピュータ・システム
			プログラミング
			マルチメディア論A
			マルチメディア論B
			情報倫理
			情報社会と職業
			経営情報システムA
			経営情報システムB
			オペレーションズ・リサーチ1
			オペレーションズ・リサーチ2
			情報システム分析論
			情報システム設計論
			Entrepreneurship A
			Entrepreneurship B
			財務会計論1
			原価計算論1
			管理会計論A
			管理会計論B
			財務諸表分析論1
			財務諸表分析論2

経営情報システム A	2	2	会計実践演習 簿記論2
経営情報システム B	2	2	経営監査論A 経営監査論B のうちから18単位以上を修得しなければならない。
オペレーションズ・リサーチ1	2	2	
オペレーションズ・リサーチ2	2	2	アカウントティングコースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
情報システム分析論	2	2	ビジネス統計 民法A (総則・物権) 民法B (債権法) 商法A (企業取引法) 商法B (会社法) 税法A 税法B
情報システム設計論	2	2	金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B データ解析1 データ解析2
Entrepreneurship A	1	1	コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB
Entrepreneurship B	1	1	情報ネットワーク論A 情報ネットワーク論B 情報システム データサイエンス
簿記論 2	4	4	経営情報システムA 経営情報システムB 財務会計論1 原価計算論1
簿記論 3	4	4	管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2
簿記論 4	4	4	会計実践演習 簿記論2 制度会計論 コンピュータ会計論
財務会計論 1	4	4	税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 会計学説史A
財務会計論 2	2	2	会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B
財務会計論 3	2	2	環境会計論 経営監査論A 経営監査論B 非営利組織会計論
原価計算論 1	4	4	Accounting A Accounting B のうちから18単位以上を修得しなければならない。
原価計算論 2	2	2	会計専門職コースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
原価計算論 3	2	2	ビジネス統計 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B
会計監査論 1	4	4	民法A (総則・物権) 民法B (債権法)
会計監査論 2	2	2	商法A (企業取引法) 商法B (会社法)
会計監査論 3	2	2	税法A 税法B 金融商品取引法

管 理 会 計 論 A	2	2	2	経営管理論A
管 理 会 計 論 B	2	2	2	経営管理論B
財 務 諸 表 分 析 論 1	2	2	2	経営戦略論A
財 務 諸 表 分 析 論 2	2	2	2	経営戦略論B
会 計 実 践 演 習	2	2	2	経営組織論A
制 度 会 計 論	4	4	4	経営組織論B
コ ン ピ ュ ー タ 会 計 論	2	2	2	生産管理論A
税 務 会 計 論 A	2	2	2	生産管理論B
税 務 会 計 論 B	2	2	2	財務会計論1
会 計 学 説 史 A	2	2	2	原価計算論1
会 計 学 説 史 B	2	2	2	管理会計論A
国 際 会 計 論 A	2	2	2	管理会計論B
国 際 会 計 論 B	2	2	2	財務諸表分析論1
環 境 会 計 論	2	2	2	財務諸表分析論2
経 営 監 査 論 A	2	2	2	簿記論2
経 営 監 査 論 B	2	2	2	制度会計論
非 営 利 組 織 会 計 論	2	2	2	税務会計論A
所 得 税 法	2	2	2	税務会計論B
消 費 税 法	2	2	2	会計監査論1
A c c o u n t i n g A	1	1	1	簿記論3
A c c o u n t i n g B	1	1	1	簿記論4
外 国 書 講 読 A	1	1	1	会計学説史A
外 国 書 講 読 B	1	1	1	会計学説史B
職 業 指 導	4	4	4	国際会計論A
特 殊 講 義 A	2	2	2	国際会計論B
				経営監査論A
				経営監査論B
				財務会計論2
				財務会計論3
				原価計算論2
				原価計算論3
				会計監査論2
				会計監査論3
				所得税法
				消費税法
				非営利組織会計論
				Accounting A
				Accounting B
				のうちから18単位以上を修得 しなければならない。
				上記履修方法で定める単位数 以外に、専門基礎科目及び専門 科目から18単位以上を修得し なければならない。

特 殊 講 義 B	2		2		
特 殊 講 義 C	2		2		
プロジェクト研究 A	2		2		
プロジェクト研究 B	2		2		
プロジェクト研究 C	2		2		
プロジェクト研究 D	2		2		
ゼ ミ ナ ー ル 1	2		2		
ゼ ミ ナ ー ル 2	2		2		
ゼ ミ ナ ー ル 3	2		2		
ゼ ミ ナ ー ル 4	2		2		
卒 業 論 文	6		6		

Ⅲ 会計学科					
授 業 科 目	単 位 数	必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	履 修 方 法	備 考
【専門基礎科目】				必修単位数8単位を含め、合計74単位以上を修得しなければならない。	
商 学 入 門 1	2	2		専門基礎科目として、 商学入門2 経営学入門2 会计学入門2 経済学入門2 ビジネス法務入門 金融入門 経済・ビジネス数学入門 ビジネス統計入門 キャリアデザイン入門 コンピュータリテラシーA コンピュータリテラシーB 簿記論1 のうちから、8単位以上を修得しなければならない。	
経 営 学 入 門 1	2	2			
会 計 学 入 門 1	2	2			
経 済 学 入 門 1	2	2			
商 学 入 門 2	2		2		
経 営 学 入 門 2	2		2		
会 計 学 入 門 2	2		2		
経 済 学 入 門 2	2		2		
ビ ジ ネ ス 法 務 入 門	2		2		
金 融 入 門	2		2		
経 済 ・ ビ ジ ネ ス 数 学 入 門	2		2		

ビジネス統計入門	2	2	
キャリアデザイン入門	2	2	
コンピュータリテラシーA	2	2	
コンピュータリテラシーB	2	2	
簿記論 1	4	4	
【専門科目】			専門科目のうち、学科所属科目として、
マーケティング論	4	4	簿記論2 簿記論3 簿記論4
ブランド・マネジメント	2	2	財務会計論1 財務会計論2 財務会計論3
サービス・マーケティング	2	2	原価計算論1 原価計算論2 原価計算論3
エリア・マーケティング	2	2	会計監査論1 会計監査論2 会計監査論3
デジタル・マーケティング	2	2	管理会計論A 管理会計論B
消費者行動論 A	2	2	財務諸表分析論1 財務諸表分析論2
消費者行動論 B	2	2	会計実践演習 制度会計論
消費論	2	2	コンピュータ会計論
電子商取引	2	2	税務会計論A 税務会計論B
マーケティング・リサーチ	2	2	会計学説史A 会計学説史B
広告コミュニケーションA	2	2	国際会計論A 国際会計論B
広告コミュニケーションB	2	2	環境会計論
ビジネス統計	2	2	経営監査論A 経営監査論B
ソーシャル・マーケティング	2	2	非営利組織会計論
グローバル・マーケティングA	2	2	所得税法 消費税法
グローバル・マーケティングB	2	2	Accounting A Accounting B
戦略マーケティングA	2	2	から22単位以上を修得しなければならない。
戦略マーケティングB	2	2	マーケティングコースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
観光マーケティングA	2	2	マーケティング論 ブランド・マネジメント サービス・マーケティング エリア・マーケティング デジタル・マーケティング 消費者行動論A 消費者行動論B 消費論 電子商取引 マーケティング・リサーチ 広告コミュニケーションA 広告コミュニケーションB

観光マーケティングB	2	2	ビジネス統計
マーケティング管理A	2	2	ソーシャル・マーケティング
マーケティング管理B	2	2	グローバル・マーケティングA
流通システム論A	2	2	グローバル・マーケティングB
流通システム論B	2	2	戦略マーケティングA
物流論	4	4	戦略マーケティングB
国際ビジネスA	2	2	観光マーケティングA
国際ビジネスB	2	2	観光マーケティングB
貿易論1	2	2	消費者法
貿易論2	2	2	マーケティング管理A
貿易政策A	2	2	マーケティング管理B
貿易政策B	2	2	流通システム論A
Marketing A	1	1	流通システム論B
Marketing B	1	1	物流論
ミクロ経済学A	2	2	国際ビジネスA
ミクロ経済学B	2	2	国際ビジネスB
マクロ経済学A	2	2	貿易論1
マクロ経済学B	2	2	貿易論2
国際商業史A	2	2	貿易政策A
国際商業史B	2	2	貿易政策B
近代経済史A	2	2	経済法
近代経済史B	2	2	Marketing A
政治経済学A	2	2	Marketing B
政治経済学B	2	2	ミクロ経済学A
金融論A	2	2	ミクロ経済学B
			経営管理論A
			経営管理論B
			経営戦略論A
			経営戦略論B
			経営組織論A
			経営組織論B
			経営史A
			経営史B
			ベンチャービジネス論A
			ベンチャービジネス論B
			データ解析1
			データ解析2
			グローバル・マネジメントA
			グローバル・マネジメントB
			比較経営論A
			比較経営論B
			経営心理学A
			経営心理学B
			アントルプルナーシップ論
			知的財産権
			のうちから18単位以上を修得しなければならない。
			グローバル・ビジネスコースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
			マーケティング論
			サービス・マーケティング
			デジタル・マーケティング
			電子商取引
			マーケティング・リサーチ
			グローバル・マーケティングA
			グローバル・マーケティングB
			観光マーケティングA
			観光マーケティングB
			消費者法
			流通システム論A
			流通システム論B
			物流論
			国際ビジネスA
			国際ビジネスB
			貿易論1
			貿易論2
			貿易政策A
			貿易政策B

金融論 B	2	2	経済法
金融史	2	2	Marketing A
国際金融論 A	2	2	Marketing B
国際金融論 B	2	2	ミクロ経済学A
国際経済学 A	2	2	ミクロ経済学B
国際経済学 B	2	2	マクロ経済学A
アジア経済論 A	2	2	マクロ経済学B
アジア経済論 B	2	2	国際商業史A
社会保障論 A	2	2	国際商業史B
社会保障論 B	2	2	近代経済史A
Global Business A	1	1	近代経済史B
Global Business B	1	1	政治経済学A
民法A（総則・物権）	4	4	政治経済学B
民法B（債権法）	4	4	金融論A
商法A（企業取引法）	4	4	金融論B
商法B（会社法）	4	4	金融史
行政法 1	2	2	国際金融論A
行政法 2	2	2	国際金融論B
経済法	2	2	国際経済学A
消費者法	2	2	国際経済学B
税法 A	2	2	アジア経済論A
税法 B	2	2	アジア経済論B
紛争処理法	2	2	社会保障論A
労働法	2	2	社会保障論B
国際取引法	2	2	Global Business A
事業承継法	2	2	Global Business B
			民法A（総則・物権）
			民法B（債権法）
			商法A（企業取引法）
			商法B（会社法）
			行政法1
			行政法2
			税法A
			税法B
			紛争処理法
			労働法
			国際取引法
			事業承継法
			金融商品取引法
			経済統計学A
			経済統計学B
			Finance & Economy A
			Finance & Economy B
			経営史A
			経営史B
			ベンチャービジネス論A
			ベンチャービジネス論B
			データ解析1
			データ解析2
			グローバル・マネジメントA
			グローバル・マネジメントB
			比較経営論A
			比較経営論B
			アントルプルナーシップ論
			知的財産権
			Management A
			Management B
			Entrepreneurship A
			Entrepreneurship B
			財務会計論1
			国際会計論A
			国際会計論B
			Accounting A
			Accounting B
			のうちから18単位以上を修得しなければならない。

金融機関論 A	2	2	<p>金融エコノミーコースは、学科 所属として修得した授業科目 の単位を除いて、 電子取引 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 近代経済史A 近代経済史B 政治経済学A 政治経済学B 金融論A 金融論B 金融史 国際金融論A 国際金融論B 国際経済学A 国際経済学B アジア経済論A アジア経済論B 社会保障論A 社会保障論B 金融機関論A 金融機関論B マネー論 金融数学 保険論A 保険論B 金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 損害保険論A 損害保険論B 生命保険論A 生命保険論B 経済統計学A 経済統計学B 財政学A 財政学B サービス経済論A サービス経済論B 経済地理学A 経済地理学B 日本経済論A 日本経済論B 公共経済学A 公共経済学B 経済政策A 経済政策B 産業組織論A 産業組織論B 経済学説史A 経済学説史B 労働経済論A 労働経済論B Finance & Economy A Finance & Economy B コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB ベンチャー・ファイナンス のうちから18単位以上を修得 しなければならない。</p>
金融機関論 B	2	2	
マネー論	2	2	
金融数学	2	2	
保険論 A	2	2	
保険論 B	2	2	
金融商品取引法	2	2	
証券市場論 A	2	2	
証券市場論 B	2	2	
リスク・マネジメントA	2	2	
リスク・マネジメントB	2	2	
損害保険論 A	2	2	
損害保険論 B	2	2	
生命保険論 A	2	2	
生命保険論 B	2	2	
経済統計学 A	2	2	
経済統計学 B	2	2	
財政学 A	2	2	
財政学 B	2	2	
サービス経済論 A	2	2	
サービス経済論 B	2	2	
経済地理学 A	2	2	
経済地理学 B	2	2	
日本経済論 A	2	2	

日本経済論	B	2	2	マネジメントコースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
公共経済学	A	2	2	マーケティング論
公共経済学	B	2	2	デジタル・マーケティング
経済政策	A	2	2	ビジネス統計
経済政策	B	2	2	グローバル・マーケティングA
産業組織論	A	2	2	グローバル・マーケティングB
産業組織論	B	2	2	戦略マーケティングA
経済学説史	A	2	2	戦略マーケティングB
経済学説史	B	2	2	マーケティング管理A
労働経済論	A	2	2	マーケティング管理B
労働経済論	B	2	2	物流論
Finance & Economy	A	1	1	国際ビジネスA
Finance & Economy	B	1	1	国際ビジネスB
経営管理論	A	2	2	貿易論1
経営管理論	B	2	2	貿易論2
経営戦略論	A	2	2	貿易政策A
経営戦略論	B	2	2	貿易政策B
経営組織論	A	2	2	国際取引法
経営組織論	B	2	2	事業承継法
経営史	A	2	2	リスク・マネジメントA
経営史	B	2	2	リスク・マネジメントB
ベンチャービジネス論A	A	2	2	経営管理論A
ベンチャービジネス論B	B	2	2	経営管理論B
データ解析 1	1	2	2	経営戦略論A
データ解析 2	2	2	2	経営戦略論B
				経営組織論A
				経営組織論B
				経営史A
				経営史B
				グローバル・マネジメントA
				グローバル・マネジメントB
				比較経営論A
				比較経営論B
				経営心理学A
				経営心理学B
				Management A
				Management B
				コーポレート・ファイナンスA
				コーポレート・ファイナンスB
				人的資源管理論A
				人的資源管理論B
				企業倫理A
				企業倫理B
				企業形態論
				生産管理論A
				生産管理論B
				非営利組織経営学A
				非営利組織経営学B
				環境経営論
				経営学説史
				財務会計論1
				原価計算論1
				管理会計論A
				管理会計論B
				財務諸表分析論1
				財務諸表分析論2
				会計実践演習
				簿記論2
				経営監査論A
				経営監査論B
				のうちから18単位以上を修得しなければならない。

グローバル・マネジメントA	2	2	事業創造コースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、
グローバル・マネジメントB	2	2	マーケティング論
比較経営論 A	2	2	ブランド・マネジメント
比較経営論 B	2	2	デジタル・マーケティング
経営心理学 A	2	2	電子商取引
経営心理学 B	2	2	ビジネス統計
アントルプルナーシップ論	2	2	ソーシャル・マーケティング
知的財産権	2	2	戦略マーケティングA
Management A	1	1	戦略マーケティングB
Management B	1	1	金融論A
コーポレート・ファイナンスA	2	2	金融論B
コーポレート・ファイナンスB	2	2	民法A (総則・物権)
ベンチャー・ファイナンス	2	2	民法B (債権法)
人的資源管理論 A	2	2	商法A (企業取引法)
人的資源管理論 B	2	2	商法B (会社法)
企業倫理 A	2	2	税法A
企業倫理 B	2	2	税法B
企業形態論	2	2	労働法
生産管理論 A	2	2	事業承継法
生産管理論 B	2	2	証券市場論A
非営利組織経営学 A	2	2	証券市場論B
非営利組織経営学 B	2	2	リスク・マネジメントA
環境経営論	2	2	リスク・マネジメントB
経営学説史	2	2	労働経済論A
中小企業論 A	2	2	労働経済論B
中小企業論 B	2	2	経営管理論A
			経営管理論B
			経営戦略論A
			経営戦略論B
			経営組織論A
			経営組織論B
			ベンチャービジネス論A
			ベンチャービジネス論B
			データ解析1
			データ解析2
			比較経営論A
			比較経営論B
			経営心理学A
			経営心理学B
			アントルプルナーシップ論
			知的財産権
			コーポレート・ファイナンスA
			コーポレート・ファイナンスB
			ベンチャー・ファイナンス
			人的資源管理論A
			人的資源管理論B
			企業形態論
			生産管理論A
			生産管理論B
			中小企業論A
			中小企業論B
			中小企業経営論
			中小企業政策論
			テクノロジー・マネジメントA
			テクノロジー・マネジメントB
			情報ネットワーク論A
			情報ネットワーク論B
			情報システム
			データサイエンス
			コンピュータ・システム
			プログラミング
			マルチメディア論A
			マルチメディア論B
			情報倫理
			情報社会と職業
			経営情報システムA
			経営情報システムB
			オペレーションズ・リサーチ1
			オペレーションズ・リサーチ2

中小企業経営論	2	2	情報システム分析論 情報システム設計論 Entrepreneurship A Entrepreneurship B
中小企業政策論	2	2	財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B
テクノロジー・マネジメントA	2	2	財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2
テクノロジー・マネジメントB	2	2	経営監査論A 経営監査論B
情報ネットワーク論A	2	2	ののうちから18単位以上を修得 しなければならない。
情報ネットワーク論B	2	2	
情報システム	2	2	
データサイエンス	2	2	
コンピュータ・システム	2	2	アカウンティングコースは、学 科所属として修得した授業科 目の単位を除いて、 ビジネス統計
プログラミング	2	2	民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法）
マルチメディア論A	2	2	税法A 税法B
マルチメディア論B	2	2	金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B
情報倫理	2	2	データ解析1 データ解析2 コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB
情報社会と職業	2	2	情報ネットワーク論A 情報ネットワーク論B 情報システム
経営情報システムA	2	2	データサイエンス 経営情報システムA 経営情報システムB
経営情報システムB	2	2	財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B
オペレーションズ・リサーチ1	2	2	財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習
オペレーションズ・リサーチ2	2	2	簿記論2 制度会計論 コンピュータ会計論
情報システム分析論	2	2	税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 会計学説史A 会計学説史B
情報システム設計論	2	2	国際会計論A 国際会計論B 環境会計論
Entrepreneurship A	1	1	経営監査論A 経営監査論B
Entrepreneurship B	1	1	非営利組織会計論 Accounting A Accounting B
簿記論	2	4	ののうちから18単位以上を修得 しなければならない。

簿記論	3	4	4	<p>会計専門職コースは、学科所属として修得した授業科目の単位を除いて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジネス統計 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 民法A (総則・物権) 民法B (債権法) 商法A (企業取引法) 商法B (会社法) 税法A 税法B 金融商品取引法 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 生産管理論A 生産管理論B 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 簿記論2 制度会計論 税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 簿記論3 簿記論4 会計学説史A 会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B 経営監査論A 経営監査論B 財務会計論2 財務会計論3 原価計算論2 原価計算論3 会計監査論2 会計監査論3 所得税法 消費税法 非営利組織会計論 Accounting A Accounting B <p>のうちから18単位以上を修得しなければならない。</p> <p>上記履修方法で定める単位数以外に、専門基礎科目及び専門科目から18単位以上を修得しなければならない。</p>
簿記論	4	4	4	
財務会計論	1	4	4	
財務会計論	2	2	2	
財務会計論	3	2	2	
原価計算論	1	4	4	
原価計算論	2	2	2	
原価計算論	3	2	2	
会計監査論	1	4	4	
会計監査論	2	2	2	
会計監査論	3	2	2	
管理会計論	A	2	2	
管理会計論	B	2	2	
財務諸表分析論	1	2	2	
財務諸表分析論	2	2	2	
会計実践演習		2	2	
制度会計論		4	4	
コンピュータ会計論		2	2	
税務会計論	A	2	2	
税務会計論	B	2	2	
会計学説史	A	2	2	
会計学説史	B	2	2	

国際会計論 A	2		2		
国際会計論 B	2		2		
環境会計論	2		2		
経営監査論 A	2		2		
経営監査論 B	2		2		
非営利組織会計論	2		2		
所得税法	2		2		
消費税法	2		2		
Accounting A	1		1		
Accounting B	1		1		
外国書講読 A	1		1		
外国書講読 B	1		1		
職業指導	4		4		
特殊講義 A	2		2		
特殊講義 B	2		2		
特殊講義 C	2		2		
プロジェクト研究 A	2		2		
プロジェクト研究 B	2		2		
プロジェクト研究 C	2		2		
プロジェクト研究 D	2		2		
ゼミナール 1	2		2		
ゼミナール 2	2		2		
ゼミナール 3	2		2		
ゼミナール 4	2		2		
卒業論文	6		6		

第5節 芸術学部

第84条 芸術学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な単位数は、科目区分ごとに履修方法で定めた単位数（第Ⅲ群の科目を除く）を含め、総計124単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

2 第Ⅰ群 芸術教養課程科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
芸術教養科目				芸術教養科目は、14単位以上を修得しなければならない。	
知の探究Ⅰ	2		2		
知の探究Ⅱ	2		2		
ロゴスの探究Ⅰ	2		2		
ロゴスの探究Ⅱ	2		2		
エチカの探究Ⅰ	2		2		
エチカの探究Ⅱ	2		2		
歴史と文化	2		2		
文学の世界Ⅰ	2		2		
文学の世界Ⅱ	2		2		
法と政治	2		2		
日本国憲法	2		2		
社会現象の解読Ⅰ	2		2		
社会現象の解読Ⅱ	2		2		
芸術文化の経済Ⅰ	2		2		
芸術文化の経済Ⅱ	2		2		
人間の心理Ⅰ	2		2		
人間の心理Ⅱ	2		2		

芸術と心理 I	2	2		
芸術と心理 II	2	2		
数学的思考の探究 I	2	2		
数学的思考の探究 II	2	2		
情報 I	2	2		
情報 II	2	2		
自然科学 I	2	2		
自然科学 II	2	2		
自然の探究 I	2	2		
自然の探究 II	2	2		
言葉のしくみ	2	2		
美学 I	2	2		
美学 II	2	2		
美学 III	2	2		
美学 IV	2	2		
芸術学 I	2	2		
芸術学 II	2	2		
芸術学 III	2	2		
芸術学 IV	2	2		
芸術の思想と表現 I	2	2		
芸術の思想と表現 II	2	2		
音楽と情報	2	2		
芸術文化と福祉	2	2		
色彩の基礎	2	2		
モード論	2	2		
日本の芸能史	2	2		
民俗芸能文化論	2	2		
アートと教育	2	2		
シナリオ分析	2	2		
メディア・リテラシー I	2	2		

メディア・リテラシーⅡ	2	2		
東アジア世界の考古学Ⅰ	2	2		
東アジア世界の考古学Ⅱ	2	2		
形 象 文 化 論	2	2		
表 演 芸 術 論	2	2		
メ デ ィ ア 芸 術 論	2	2		
芸 術 理 論 研 究	2	2		
芸 術 特 殊 研 究	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅰ	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅱ	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅲ	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅳ	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅴ	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅵ	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅶ	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅷ	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅸ	2	2		
芸 術 総 合 講 座 Ⅹ	2	2		
芸 術 と 身 体	1	1		
芸 術 理 論 演 習 Ⅰ	1	1		
芸 術 理 論 演 習 Ⅱ	1	1		
芸 術 批 評 演 習 Ⅰ	1	1		
芸 術 批 評 演 習 Ⅱ	1	1		
芸 術 リ サ ー チ 演 習 Ⅰ	1	1		
芸 術 リ サ ー チ 演 習 Ⅱ	1	1		
Culture and Society	1	1		
外国語科目				
英 語 Ⅰ	1	1		
英 語 Ⅱ	1	1		
英 語 Ⅲ	1	1		

英	語	IV	1	1			
英	語	V	1	1			
英	語	VI	1	1			
英	語	VII	1	1			
英	語	VIII	1	1			
ド	イ	ツ	語	I	1	1	
ド	イ	ツ	語	II	1	1	
ド	イ	ツ	語	III	1	1	
ド	イ	ツ	語	IV	1	1	
ド	イ	ツ	語	V	1	1	
ド	イ	ツ	語	VI	1	1	
ド	イ	ツ	語	VII	1	1	
ド	イ	ツ	語	VIII	1	1	
フ	ラ	ン	ス	語	I	1	1
フ	ラ	ン	ス	語	II	1	1
フ	ラ	ン	ス	語	III	1	1
フ	ラ	ン	ス	語	IV	1	1
フ	ラ	ン	ス	語	V	1	1
フ	ラ	ン	ス	語	VI	1	1
フ	ラ	ン	ス	語	VII	1	1
フ	ラ	ン	ス	語	VIII	1	1
イ	タ	リ	ア	語	I	1	1
イ	タ	リ	ア	語	II	1	1
イ	タ	リ	ア	語	III	1	1
イ	タ	リ	ア	語	IV	1	1
イ	タ	リ	ア	語	V	1	1
イ	タ	リ	ア	語	VI	1	1
イ	タ	リ	ア	語	VII	1	1
イ	タ	リ	ア	語	VIII	1	1
中	国	語	I	1	1		

中国語 II	1	1
中国語 III	1	1
中国語 IV	1	1
中国語 V	1	1
中国語 VI	1	1
中国語 VII	1	1
中国語 VIII	1	1
日本語 I	1	1
日本語 II	1	1
日本語 III	1	1
日本語 IV	1	1
日本語 V	1	1
日本語 VI	1	1
日本語 VII	1	1
日本語 VIII	1	1
応用英語 I	1	1
応用英語 II	1	1
応用英語 III	1	1
応用英語 IV	1	1
応用英語 V	1	1
応用英語 VI	1	1
応用英語 VII	1	1
応用英語 VIII	1	1
実践ドイツ語 I	1	1
実践ドイツ語 II	1	1
実践ドイツ語 III	1	1
実践ドイツ語 IV	1	1
実践フランス語 I	1	1
実践フランス語 II	1	1
実践フランス語 III	1	1

実践フランス語Ⅳ	1		1	
実践イタリア語Ⅰ	1		1	
実践イタリア語Ⅱ	1		1	
実践中国語Ⅰ	1		1	
実践中国語Ⅱ	1		1	
実践日本語Ⅰ	1		1	} 外国人留学生のみ履修 できる。
実践日本語Ⅱ	1		1	
韓国語Ⅰ	1		1	
韓国語Ⅱ	1		1	
スペイン語Ⅰ	1		1	
スペイン語Ⅱ	1		1	
ラテン語Ⅰ	1		1	
ラテン語Ⅱ	1		1	
海外語学研修Ⅰ	2		2	
海外語学研修Ⅱ	2		2	
海外語学研修Ⅲ	1		1	
海外語学研修Ⅳ	1		1	
検定英語	2		2	
検定ドイツ語	2		2	
検定フランス語	2		2	
検定イタリア語	2		2	
検定中国語	2		2	
保健体育科目				
健康・スポーツ科学	2	2		
体育実技Ⅰ	1	1		
体育実技Ⅱ	1		1	
体育実技Ⅲ	1		1	
体育実技Ⅳ	1		1	
体育実技Ⅴ	1		1	
体育実技Ⅵ	1		1	

3 第Ⅱ群 (学科別授業科目)

I 写真学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 理論・歴史部門				必修単位数46単位を含め、 合計58単位以上を修得し なければならない。 写真作家作品研究Ⅰ～Ⅵ のうちから6単位以上を修 得しなければならない。 所属学科以外の学科別授 業科目は、指定された科目 のみ履修することができる。	
写 真 芸 術 学 Ⅰ	2	2			
写 真 芸 術 学 Ⅱ	2	2			
写 真 史 Ⅰ	2	2			
写 真 史 Ⅱ	2	2			
イメージングプロセス論Ⅰ	2	2			
イメージングプロセス論Ⅱ	2	2			
写 真 光 学	2	2			
カメラメカニズム	2		2		
写真色彩学概論	2	2			
写 真 印 刷	2		2		
B 研究部門					
写真作家作品研究Ⅰ	2		2		
写真作家作品研究Ⅱ	2		2		
写真作家作品研究Ⅲ	2		2		
写真作家作品研究Ⅳ	2		2		
写真作家作品研究Ⅴ	2		2		
写真作家作品研究Ⅵ	2		2		
写真表現研究Ⅰ	2		2		
写真表現研究Ⅱ	2		2		
写真表現研究Ⅲ	2		2		
写真表現研究Ⅳ	2		2		
写真表現研究Ⅴ	2		2		
写真表現研究Ⅵ	2		2		
写真表現研究Ⅶ	2		2		
写真表現研究Ⅷ	2		2		
写真特別講座Ⅰ	2		2		
写真特別講座Ⅱ	2		2		
C 表現技術部門					
写 真 技 術 Ⅰ	2		2		

写真技術Ⅱ	2		2	
写真技術Ⅲ	2		2	
写真技術Ⅳ	2		2	
写真技術Ⅴ	2		2	
写真技術Ⅵ	2		2	
写真表現Ⅰ	4		4	
写真表現Ⅱ	2		2	
写真表現Ⅲ	2		2	
写真表現Ⅳ	2		2	
写真表現Ⅴ	2		2	
写真表現Ⅵ	2		2	
インターンシップ	2		2	
写真基礎演習Ⅰ	6	6		
写真基礎演習Ⅱ	6	6		
写真基礎演習Ⅲ	4	4		
ゼミナール	4	4		
論文・制作特殊研究	2	2		
卒業論文・制作	8	8		

Ⅱ 映画学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論・歴史部門				必修単位数18単位を含め、合計58単位以上を修得しなければならない。	
映画芸術学Ⅰ	2	2			
映画芸術学Ⅱ	2	2			
映画と諸芸術Ⅰ	2		2	映像表現・理論コースは、映像表現・理論Ⅰ～Ⅱを必修とする。	
映画と諸芸術Ⅱ	2		2	監督コースは、映画演出Ⅰ～Ⅱを必修とする。	
映像概論	2		2	撮影・録音コースは、映画技術Ⅰ～Ⅱを必修とする。	
映像心理学Ⅰ	2		2	演技コースは、映画演技基礎Ⅰ～Ⅱを必修とする。	
映像心理学Ⅱ	2		2		
日本映画史Ⅰ	2	2			
日本映画史Ⅱ	2		2	所属学科以外の学科別授	

外国映画史 I	2	2		業科目は, 指定された科目のみ履修することができる。
外国映画史 II	2		2	
外国映画史 III	2		2	
外国映画史 IV	2		2	
映画理論基礎	2		2	
前衛映画史 I	2		2	
前衛映画史 II	2		2	
ドキュメンタリー映画史 I	2		2	
ドキュメンタリー映画史 II	2		2	
B 研究部門				
シナリオ論 I	2	2		
シナリオ論 II	2		2	
映画作品研究 I	2		2	
映画作品研究 II	2		2	
映画鑑賞批評 I	2		2	
映画鑑賞批評 II	2		2	
作品批評演習 I	2		2	
作品批評演習 II	2		2	
映画文献研究 I	2		2	
映画文献研究 II	2		2	
映画特講 I	2		2	
映画特講 II	2		2	
映画特講 III	2		2	
映画特講 IV	2		2	
映画特講 V	2		2	
映画特講 VI	2		2	
映画特講 VII	2		2	
映画特講 VIII	2		2	
映画特講 IX	2		2	
映画特講 X	2		2	
映像企画発想論 I	2		2	
映像企画発想論 II	2		2	
映像メディア論 I	2		2	

映像メディア論Ⅱ	2	2		
映画ビジネスⅠ	2	2		
映画ビジネスⅡ	2	2		
映画ビジネスⅢ	2	2		
映画ビジネスⅣ	2	2		
映像特別講座Ⅰ	2	2		
映像特別講座Ⅱ	2	2		
C 表現技術部門				
映像表現・理論Ⅰ	3	3		
映像表現・理論Ⅱ	3	3		
映像表現・理論Ⅲ	3	3		
映像表現・理論Ⅳ	3	3		
映像表現・理論Ⅴ	3	3		
映像表現・理論Ⅵ	3	3		
映画基礎演習Ⅰ	1	1		
映画基礎演習Ⅱ	1	1		
映画演出論Ⅰ	2	2		
映画演出論Ⅱ	2	2		
映画演技論Ⅰ	2	2		
映画演技論Ⅱ	2	2		
映画音楽Ⅰ	2	2		
映画音楽Ⅱ	2	2		
映画技術論Ⅰ	2	2		
映画技術論Ⅱ	2	2		
センシトメトリーⅠ	2	2		
センシトメトリーⅡ	2	2		
映画演技研究Ⅰ	1	1		
映画演技研究Ⅱ	1	1		
音響基礎	2	2		
電気基礎	2	2		
映画批評研究Ⅰ	2	2		
映画批評研究Ⅱ	2	2		
映画理論演習	2	2		

シナリオ創作 I	1	1		
シナリオ創作 II	1	1		
シナリオ基礎	2	2		
シナリオ演習 I	2	2		
シナリオ演習 II	2	2		
映画演出 I	3	3		
映画演出 II	3	3		
映画演出 III	4	4		
映画演出 IV	4	4		
映画演出 V	4	4		
映画演出 VI	4	4		
映画演出基礎 I	2	2		
映画演出基礎 II	2	2		
演技指導演習 I	2	2		
演技指導演習 II	2	2		
映画演技基礎 I	1	1		
映画演技基礎 II	1	1		
映画演技実習 I	1	1		
映画演技実習 II	1	1		
映画演技実習 III	1	1		
映画演技実習 IV	1	1		
発声 I	1	1		
発声 II	1	1		
発声 III	1	1		
発声 IV	1	1		
発声 V	1	1		
発声 VI	1	1		
音楽 I	1	1		
音楽 II	1	1		
音楽 III	1	1		
音楽 IV	1	1		
音楽 V	1	1		
音楽 VI	1	1		

日	舞	I	1	1
日	舞	II	1	1
日	舞	III	1	1
日	舞	IV	1	1
日	舞	V	1	1
日	舞	VI	1	1
洋	舞	I	1	1
洋	舞	II	1	1
洋	舞	III	1	1
洋	舞	IV	1	1
洋	舞	V	1	1
洋	舞	VI	1	1
映 画 技 術 基 礎	I	2	2	
映 画 技 術 基 礎	II	2	2	
映 画 技 術	I	3	3	
映 画 技 術	II	3	3	
映 画 技 術	III	4	4	
映 画 技 術	IV	4	4	
映 画 技 術	V	4	4	
映 画 技 術	VI	4	4	
撮 影 研 究	I	2	2	
撮 影 研 究	II	2	2	
映 画 編 集		2	2	
録 音 研 究	I	2	2	
録 音 研 究	II	2	2	
映 像 技 術 基 礎		2	2	
映 像 メ デ ィ ア 演 習		2	2	
映 像 メ デ ィ ア 実 習		2	2	
ア ニ メ ー シ ョ ン	I	2	2	
ア ニ メ ー シ ョ ン	II	2	2	
ア ニ メ ー シ ョ ン 研 究	I	2	2	
ア ニ メ ー シ ョ ン 研 究	II	2	2	
メ デ ィ ア ア ー ト 概 論		2	2	

メディアアート演習	2		2		
C G I 演習 I	2		2		
C G I 演習 II	2		2		
制作演習 I	1		1		
制作演習 II	1		1		
制作演習 III	1		1		
制作演習 IV	1		1		
総合制作演習 I	1		1		
総合制作演習 II	1		1		
映画技術演習	1		1		
映画撮影演習	2		2		
卒業論文・制作・研究	8	8			

Ⅲ 美術学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 理論・歴史部門				A 理論・歴史部門 B 研究部門 C 表現技術部門 より 必修単位数11単位を含め、 合計58単位以上を修得し なければならない。	
美術学 I	2		2		
美術学 II	2		2		
解剖学	2		2		
美術史概論 I	2		2	コース共通で 美術史概論 I～IV のうちから4単位以上、	
美術史概論 II	2		2	西洋美術史 I～II 日本美術史 I～II 東洋美術史 I～II	
美術史概論 III	2		2	のうちから8単位以上、 美術作品研究 I～IV	
美術史概論 IV	2		2	のうちから4単位以上を修 得しなければならない。	
西洋美術史 I	2		2		
西洋美術史 II	2		2		
日本美術史 I	2		2		
日本美術史 II	2		2	絵画(絵画)コースは、絵画 I～VIIIを必修とする。	
東洋美術史 I	2		2	絵画(版画)コースは、版画 I～VIIIを必修とする。	
東洋美術史 II	2		2		
B 研究部門					
美的構成研究 I	2		2	彫刻コースは、コース共通	

美的構成研究Ⅱ	2		2	<p>で彫刻基礎Ⅰ～Ⅱ, 彫刻応用Ⅰ～Ⅱを必修とする。彫刻(彫刻)コースは, 彫刻Ⅰ～Ⅳを必修とする。彫刻(地域芸術)コースは, 地域芸術Ⅰ～Ⅳを必修とする。</p> <p>D 教職教科部門 は卒業に必要な単位数より除く。</p> <p>所属学科以外の学科別授業科目は, 指定された科目のみ履修することができる。</p>
版画概論Ⅰ	2		2	
版画概論Ⅱ	2		2	
美術作品研究Ⅰ	2		2	
美術作品研究Ⅱ	2		2	
美術作品研究Ⅲ	2		2	
美術作品研究Ⅳ	2		2	
美術特別講座Ⅰ	2		2	
美術特別講座Ⅱ	2		2	
古美術研究Ⅰ	2		2	
古美術研究Ⅱ	2		2	
美術特別研究Ⅰ	2		2	
美術特別研究Ⅱ	2		2	
C 表現技術部門				
デザイン	1	1		
彫刻基礎Ⅰ	2		2	
彫刻基礎Ⅱ	5		5	
彫刻Ⅰ	5		5	
彫刻Ⅱ	5		5	
彫刻Ⅲ	5		5	
彫刻Ⅳ	5		5	
彫刻応用Ⅰ	5		5	
彫刻応用Ⅱ	5		5	
地域芸術Ⅰ	5		5	
地域芸術Ⅱ	5		5	
地域芸術Ⅲ	5		5	
地域芸術Ⅳ	5		5	
絵画Ⅰ	2		2	
絵画Ⅱ	5		5	
絵画Ⅲ	5		5	
絵画Ⅳ	5		5	
絵画Ⅴ	5		5	

絵画	VI	5		5	
絵画	VII	5		5	
絵画	VIII	5		5	
版画	I	2		2	
版画	II	5		5	
版画	III	5		5	
版画	IV	5		5	
版画	V	5		5	
版画	VI	5		5	
版画	VII	5		5	
版画	VIII	5		5	
版画基礎		1	1		
彫塑		1	1		
卒業論文・制作		8	8		
D 教職教科部門					
デザイン論		2		2	
図学		2		2	
映像メディア研究		1		1	
美術教材研究Ⅰ		2		2	
美術教材研究Ⅱ		2		2	
工芸演習		2		2	

IV 音楽学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論・歴史部門				必修単位数16単位を含め、合計58単位以上を修得しなければならない。	
音楽学Ⅰ	2	2		作曲・理論コースは、コース共通で 音楽形式学Ⅱ 和声Ⅰ～Ⅱ 副科ピアノⅠ～Ⅳ 副科声楽Ⅰ～Ⅱ 合唱Ⅰ～Ⅱ ソルフェージュⅠ～Ⅳ	
音楽学Ⅱ	2	2			
音楽学Ⅲ	2		2		
音楽学Ⅳ	2		2		
音楽概論	2		2		
音楽形式学Ⅰ	2	2			
音楽形式学Ⅱ	2		2		

音楽教育学 I	2	2	を必修とする。
音楽教育学 II	2	2	作曲・理論(作曲)コースは、
音 声 学	2	2	作曲論
作曲論	2	2	記譜法
演奏論 I	2	2	作曲 I ~ VI
演奏論 II	2	2	和声 III ~ IV
音楽史 I	2	2	フーガ I ~ II
音楽史 II	2	2	編曲法 I ~ II
音楽史 III	2	2	を必修とする。
音楽史 IV	2	2	作曲・理論(理論)コースは、
音楽史 V	2	2	音楽学 III ~ IV
B 研究部門			音楽文献原典講読 I
音楽教育研究 I	2	2	ゼミナール I ~ II
音楽教育研究 II	2	2	プロジェクト I ~ II
音楽教育研究 III	2	2	を必修とし、
音楽教育研究 IV	2	2	音楽作品研究
音楽教育研究 V	2	2	音楽作品分析
音楽教育研究 VI	2	2	日本の伝統音楽研究
情報音楽基礎 I	2	2	民族音楽研究
情報音楽実践 I	2	2	のうちから、4単位以上を
情報音楽基礎 II	2	2	修得しなければならない。
情報音楽実践 II	2	2	音楽教育コースは、
情報音楽基礎 III	2	2	音楽形式学 II
情報音楽実践 III	2	2	音楽教育学 I ~ II
情報音楽基礎 IV	2	2	和声 I ~ II
情報音楽実践 IV	2	2	副科ピアノ I ~ IV
音楽療法研究 I	2	2	副科声楽 I ~ II
音楽療法研究 II	2	2	合唱 I ~ IV
音楽作品研究	2	2	ソルフェージュ I ~ IV
音楽作品分析	2	2	ゼミナール I ~ II
日本の伝統音楽研究	2	2	を必修とする。
民族音楽研究	2	2	声楽コースは、
			音楽形式学 II
			和声 I ~ II
			副科ピアノ I ~ IV
			声楽 I ~ VI
			合唱 I ~ IV
			オペラ I ~ IV
			ソルフェージュ I ~ IV
			を必修とする。
			ピアノコースは、
			音楽形式学 II

ジャズ研究	2	2	演奏論Ⅰ～Ⅱ
ポピュラー音楽研究	2	2	和声Ⅰ～Ⅱ
記譜法	2	2	ピアノⅠ～Ⅵ
歌曲研究Ⅰ	2	2	副科声楽Ⅰ～Ⅱ
歌曲研究Ⅱ	2	2	合唱Ⅰ～Ⅱ
ミュージカル概論	2	2	ソルフェージュⅠ～Ⅳ
音楽マネジメント	2	2	を必修とする。
吹奏楽研究	2	2	弦管打楽コースは、コース
音楽文献原典講読Ⅰ	2	2	共通で
音楽文献原典講読Ⅱ	2	2	音楽形式学Ⅱ
音楽キャリア論	2	2	和声Ⅰ～Ⅱ
古楽概論	2	2	副科ピアノⅠ～Ⅳ
C 表現技術部門			副科声楽Ⅰ～Ⅱ
作曲Ⅰ	2	2	合唱Ⅰ～Ⅱ
作曲Ⅱ	2	2	オーケストラⅠ～Ⅵ
作曲Ⅲ	2	2	室内楽Ⅰ～Ⅳ
作曲Ⅳ	2	2	ソルフェージュⅠ～Ⅱ
作曲Ⅴ	2	2	を必修とする。
作曲Ⅵ	2	2	弦管打楽(弦楽)コースは
作曲Ⅶ	2	2	弦楽器Ⅰ～Ⅵ
作曲Ⅷ	2	2	室内楽Ⅴ～Ⅵ
副科作曲Ⅰ	1	1	を必修とする。
副科作曲Ⅱ	1	1	弦管打楽(管打楽)コースは
副科作曲Ⅲ	1	1	管打楽器Ⅰ～Ⅵ
副科作曲Ⅳ	1	1	吹奏楽Ⅰ～Ⅵ
和声Ⅰ	1	1	を必修とする。
和声Ⅱ	1	1	情報音楽コースは、
和声Ⅲ	1	1	情報音楽基礎Ⅰ～Ⅳ
和声Ⅳ	1	1	キーボード・ハーモニーⅠ
和声Ⅴ	1	1	ボーカル・トレーニングⅠ
和声Ⅵ	1	1	デジタルコンテンツ制作Ⅰ
フーガⅠ	1	1	ゼミナールⅠ～Ⅱ
			プロジェクトⅠ～Ⅳ
			を必修とする。
			所属学科以外の学科別授
			業科目は、指定された科目
			のみ履修することができる。

フ	一	ガ	II	1	1		
編	曲	法	I	1	1		
編	曲	法	II	1	1		
ピ	ア	ノ	I	2	2		
ピ	ア	ノ	II	2	2		
ピ	ア	ノ	III	2	2		
ピ	ア	ノ	IV	2	2		
ピ	ア	ノ	V	2	2		
ピ	ア	ノ	VI	2	2		
ピ	ア	ノ	VII	2	2		
ピ	ア	ノ	VIII	2	2		
副	科	ピ	ア	ノ	I	1	1
副	科	ピ	ア	ノ	II	1	1
副	科	ピ	ア	ノ	III	1	1
副	科	ピ	ア	ノ	IV	1	1
副	科	ピ	ア	ノ	V	1	1
副	科	ピ	ア	ノ	VI	1	1
特	殊	鍵	盤	楽	器	I	1
特	殊	鍵	盤	楽	器	II	1
特	殊	鍵	盤	楽	器	III	1
特	殊	鍵	盤	楽	器	IV	1
伴	奏	法				I	1
伴	奏	法				II	1
伴	奏	法				III	1
伴	奏	法				IV	1
声		楽				I	2
声		楽				II	2
声		楽				III	2
声		楽				IV	2
声		楽				V	2
声		楽				VI	2
声		楽				VII	2
声		楽				VIII	2

副科声乐	声乐	声乐	声乐	I	1	1
副科声乐	声乐	声乐	声乐	II	1	1
副科声乐	声乐	声乐	声乐	III	1	1
副科声乐	声乐	声乐	声乐	IV	1	1
副科声乐	声乐	声乐	声乐	V	1	1
副科声乐	声乐	声乐	声乐	VI	1	1
合唱	合唱	合唱	合唱	I	1	1
合唱	合唱	合唱	合唱	II	1	1
合唱	合唱	合唱	合唱	III	1	1
合唱	合唱	合唱	合唱	IV	1	1
合唱	合唱	合唱	合唱	V	1	1
合唱	合唱	合唱	合唱	VI	1	1
合唱	合唱	合唱	合唱	VII	1	1
合唱	合唱	合唱	合唱	VIII	1	1
声乐	声乐	声乐	声乐	I	1	1
声乐	声乐	声乐	声乐	II	1	1
声乐	声乐	声乐	声乐	III	1	1
声乐	声乐	声乐	声乐	IV	1	1
声乐	声乐	声乐	声乐	V	1	1
声乐	声乐	声乐	声乐	VI	1	1
弦乐	弦乐	弦乐	弦乐	I	2	2
弦乐	弦乐	弦乐	弦乐	II	2	2
弦乐	弦乐	弦乐	弦乐	III	2	2
弦乐	弦乐	弦乐	弦乐	IV	2	2
弦乐	弦乐	弦乐	弦乐	V	2	2
弦乐	弦乐	弦乐	弦乐	VI	2	2
弦乐	弦乐	弦乐	弦乐	VII	2	2
弦乐	弦乐	弦乐	弦乐	VIII	2	2
副科弦乐	副科弦乐	副科弦乐	副科弦乐	I	1	1
副科弦乐	副科弦乐	副科弦乐	副科弦乐	II	1	1
副科弦乐	副科弦乐	副科弦乐	副科弦乐	III	1	1
副科弦乐	副科弦乐	副科弦乐	副科弦乐	IV	1	1
管打乐	管打乐	管打乐	管打乐	I	2	2

管打楽器	II	2	2
管打楽器	III	2	2
管打楽器	IV	2	2
管打楽器	V	2	2
管打楽器	VI	2	2
管打楽器	VII	2	2
管打楽器	VIII	2	2
副科管打楽器	I	1	1
副科管打楽器	II	1	1
副科管打楽器	III	1	1
副科管打楽器	IV	1	1
オケストラ	I	1	1
オケストラ	II	1	1
オケストラ	III	1	1
オケストラ	IV	1	1
オケストラ	V	1	1
オケストラ	VI	1	1
オケストラ	VII	1	1
オケストラ	VIII	1	1
吹奏楽	I	1	1
吹奏楽	II	1	1
吹奏楽	III	1	1
吹奏楽	IV	1	1
吹奏楽	V	1	1
吹奏楽	VI	1	1
吹奏楽	VII	1	1
吹奏楽	VIII	1	1
室内楽	I	1	1
室内楽	II	1	1
室内楽	III	1	1
室内楽	IV	1	1
室内楽	V	1	1
室内楽	VI	1	1

室内楽 VII	1	1		
室内楽 VIII	1	1		
ピアノデュオ I	2	2		
ピアノデュオ II	2	2		
ピアノデュオ III	2	2		
ピアノデュオ IV	2	2		
キーボード・ハーモニー I	1	1		
キーボード・ハーモニー II	1	1		
ボーカル・トレーニング I	1	1		
ボーカル・トレーニング II	1	1		
デジタルコンテンツ制作 I	2	2		
デジタルコンテンツ制作 II	2	2		
ソルフェージュ I	1	1		
ソルフェージュ II	1	1		
ソルフェージュ III	1	1		
ソルフェージュ IV	1	1		
ソルフェージュ V	1	1		
ソルフェージュ VI	1	1		
指揮法演習 I	1	1		
指揮法演習 II	1	1		
音楽教材演習 I	1	1		
音楽教材演習 II	1	1		
教育用楽器等合奏法 I	1	1		
教育用楽器等合奏法 II	1	1		
音楽療法演習 I	1	1		
音楽療法演習 II	1	1		
音楽療法実習 I	1	1		
音楽療法実習 II	1	1		
ゼミナール I	1	1		
ゼミナール II	1	1		
ゼミナール III	1	1		
ゼミナール IV	1	1		
音楽共同制作	1	1		

プロジェクトⅠ	1		1	
プロジェクトⅡ	1		1	
プロジェクトⅢ	1		1	
プロジェクトⅣ	1		1	
卒業論文・演奏・作品	8	8		

V 文芸学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 理論・歴史部門				A 理論・歴史部門 B 研究部門 C 表現技術部門 より、 必修単位数 24 単位を含 め、合計 58 単位以上を修 得しなければならない。	
言語学Ⅰ	2		2		
言語学Ⅱ	2		2		
海外文芸史Ⅰ	2		2		
海外文芸史Ⅱ	2		2		
海外文芸史Ⅲ	2		2	D 教職教科部門 は卒業に必要な単位数よ り除く。	
海外文芸史Ⅳ	2		2		
古典文学史Ⅰ	2		2		
古典文学史Ⅱ	2		2		
現代文学史Ⅰ	2		2		
現代文学史Ⅱ	2		2		
日本文化史Ⅰ	2		2		
日本文化史Ⅱ	2		2		
思想の歴史	2		2		
思想の座標	2		2		
文芸入門講座Ⅰ	2		2		
文芸入門講座Ⅱ	2		2		
B 研究部門					
作家作品論Ⅰ	2		2		
作家作品論Ⅱ	2		2		
小説論Ⅰ	2		2		
小説論Ⅱ	2		2		
文芸創作論Ⅰ	2		2		
文芸創作論Ⅱ	2		2		

文芸創作論 III	2	2		
文芸創作論 IV	2	2		
伝記論 I	2	2		
伝記論 II	2	2		
文芸批評論 I	2	2		
文芸批評論 II	2	2		
エッセイ研究 I	2	2		
エッセイ研究 II	2	2		
児童文学論 I	2	2		
児童文学論 II	2	2		
現代詩研究 I	2	2		
現代詩研究 II	2	2		
詩歌論 I	2	2		
詩歌論 II	2	2		
シナリオ研究 I	2	2		
シナリオ研究 II	2	2		
幻想小説論	2	2		
S F 小説論 I	2	2		
S F 小説論 II	2	2		
ミステリー小説論	2	2		
口承文芸論 I	2	2		
口承文芸論 II	2	2		
ノンフィクション論 I	2	2		
ノンフィクション論 II	2	2		
マンガ論 I	2	2		
マンガ論 II	2	2		
ジャーナリズム論 I	2	2		
ジャーナリズム論 II	2	2		
メディア論 I	2	2		
メディア論 II	2	2		
出版文化論 I	2	2		
出版文化論 II	2	2		
翻訳文学論 I	2	2		

翻 訳 文 学 論 II	2		2	
雜 誌 研 究 I	2		2	
雜 誌 研 究 II	2		2	
文 芸 特 講 I	2		2	
文 芸 特 講 II	2		2	
文 芸 特 講 III	2		2	
文 芸 特 講 IV	2		2	
文 芸 特 講 V	2		2	
文 芸 特 講 VI	2		2	
文 芸 特 講 VII	2		2	
文 芸 特 講 VIII	2		2	
原 典 講 読 I	1		1	
原 典 講 読 II	1		1	
原 典 講 読 III	1		1	
原 典 講 読 IV	1		1	
文 芸 特 別 講 座 I	2		2	
文 芸 特 別 講 座 II	2		2	
C 表現技術部門				
文 芸 研 究 I	4	4		
文 芸 研 究 II	4	4		
文 芸 研 究 III	4	4		
文 芸 研 究 IV	4	4		
表現領域拡張講座 I	2		2	
表現領域拡張講座 II	2		2	
編 集 研 究 I	2		2	
編 集 研 究 II	2		2	
文芸情報処理演習 I	1		1	
文芸情報処理演習 II	1		1	
D T P 演 習 I	1		1	
D T P 演 習 II	1		1	
D T P 演 習 III	1		1	
D T P 演 習 IV	1		1	
マ ン ガ 演 習 I	1		1	

マンガ演習Ⅱ	1		1		
卒業論文・作品	8	8			
D 教職教科部門					
国語学Ⅰ	2		2		
国語学Ⅱ	2		2		
国文学Ⅰ	2		2		
国文学Ⅱ	2		2		
漢文学Ⅰ	2		2		
漢文学Ⅱ	2		2		
漢文学史Ⅰ	2		2		
漢文学史Ⅱ	2		2		
書道Ⅰ	2		2		
書道Ⅱ	2		2		

VI 演劇学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論・歴史部門					
演劇概論Ⅰ	2	2		必修単位数16単位を含め、合計58単位以上を修得しなければならない。 コース共通でゼミナールⅠ～Ⅵのうちから2単位以上を修得しなければならない。 舞台構想コースは、 劇作演習 演出演習 音響演習 舞台監督演習 企画制作演習 のうちから1単位以上、 演技コースは演技演習、 舞台美術コースは、 舞台美術演習 舞台照明演習 のうちから1単位以上、 舞踊(日舞)コースは日本舞踊演習、 舞踊(洋舞)コースは西洋	
演劇概論Ⅱ	2	2			
演劇学	2		2		
舞踊学	2		2		
劇場論Ⅰ	2		2		
劇場論Ⅱ	2		2		
戯曲論	2		2		
演出論	2		2		
演技論	2		2		
舞踊論Ⅰ	2		2		
舞踊論Ⅱ	2		2		
演劇教育論	2		2		
演劇史Ⅰ	2	2			
演劇史Ⅱ	2	2			
演劇史Ⅲ	2		2		

演劇史	IV	2	2	舞踊演習, を修得しなければならない。 所属学科以外の学科別授 業科目は,指定された科目 のみ履修することができる。
演劇史	V	2	2	
舞踊史	I	2	2	
舞踊史	II	2	2	
B 研究部門				
応用演劇研究		2	2	
演劇批評研究		2	2	
古典演劇研究	I	2	2	
古典演劇研究	II	2	2	
現代演劇研究	I	2	2	
現代演劇研究	II	2	2	
作家作品研究	I	2	2	
作家作品研究	II	2	2	
舞台美術研究		2	2	
舞台照明研究		2	2	
舞台技術研究	I	2	2	
舞台技術研究	II	2	2	
企画制作研究	I	2	2	
企画制作研究	II	2	2	
演劇特殊研究	I	2	2	
演劇特殊研究	II	2	2	
演劇特殊研究	III	2	2	
演劇特殊研究	IV	2	2	
演劇特殊研究	V	2	2	
演劇特殊研究	VI	2	2	
演劇特殊研究	VII	2	2	
演劇特殊研究	VIII	2	2	
C 表現技術部門				
演劇基礎演習		1	1	
戯曲講読演習		1	1	
劇作演習		1	1	
演出演習		1	1	
音響演習		1	1	

舞 台 監 督 演 習	1	1		
企 画 制 作 演 習	1	1		
演 技 演 習	2	2		
舞 台 美 術 演 習	1	1		
舞 台 照 明 演 習	1	1		
日 本 舞 踊 演 習	2	2		
西 洋 舞 踊 演 習	2	2		
演 劇 教 育 演 習	1	1		
舞 台 扮 装 演 習	1	1		
応 用 演 劇 演 習	1	1		
特 殊 演 習 I	1	1		
特 殊 演 習 II	1	1		
特 殊 演 習 III	1	1		
特 殊 演 習 IV	1	1		
劇 作 実 習 I	2	2		
劇 作 実 習 II	2	2		
演 出 実 習 I	2	2		
演 出 実 習 II	2	2		
音 響 実 習 I	2	2		
音 響 実 習 II	2	2		
舞 台 監 督 実 習 I	2	2		
舞 台 監 督 実 習 II	2	2		
企 画 制 作 実 習 I	2	2		
企 画 制 作 実 習 II	2	2		
演 技 実 習 I	2	2		
演 技 実 習 II	2	2		
演 技 実 習 III	2	2		
舞 台 美 術 実 習 I	2	2		
舞 台 美 術 実 習 II	2	2		
舞 台 美 術 実 習 III	2	2		
舞 台 照 明 実 習 I	2	2		
舞 台 照 明 実 習 II	2	2		
舞 台 照 明 実 習 III	2	2		

日本舞踊実習Ⅰ	2		2	
日本舞踊実習Ⅱ	2		2	
日本舞踊実習Ⅲ	2		2	
西洋舞踊実習Ⅰ	2		2	
西洋舞踊実習Ⅱ	2		2	
西洋舞踊実習Ⅲ	2		2	
演劇特殊実習Ⅰ	2		2	
演劇特殊実習Ⅱ	2		2	
演劇特殊実習Ⅲ	1		1	
演劇特殊実習Ⅳ	1		1	
舞踊特殊実習Ⅰ	2		2	
舞踊特殊実習Ⅱ	2		2	
上演実習Ⅰ	2		2	
上演実習Ⅱ	2		2	
総合実習Ⅰ	3		3	
総合実習Ⅱ	3		3	
劇場実習	3		3	
ゼミナールⅠ	2		2	
ゼミナールⅡ	2		2	
ゼミナールⅢ	2		2	
ゼミナールⅣ	2		2	
ゼミナールⅤ	2		2	
ゼミナールⅥ	2		2	
卒業ゼミナール	2		2	
卒業研究	8	8		

Ⅶ 放送学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論・歴史部門				必修単位数14単位を含め、合計58単位以上を修得しなければならない。	
放送概論Ⅰ	2		2		
放送概論Ⅱ	2		2	テレビ制作Ⅰ	
ラジオ史Ⅰ	2		2	ラジオ制作Ⅰ	

ラジオ史 II	2	2	映像技術 I
テレビ史 I	2	2	音響技術 I
テレビ史 II	2	2	CM I
放送制度論	2	2	脚本 I
放送契約論	2	2	アナウンス I
メディア研究 I	2	2	のうちから1単位以上,
メディア研究 II	2	2	テレビ制作 II～III
メディア研究 III	2	2	ラジオ制作 II～III
メディア研究 IV	2	2	映像技術 II～III
メディア研究 V	2	2	音響技術 II～III
メディア研究 VI	2	2	CM II～III
メディア研究 VII	2	2	脚本 II～III
電気概論 I	2	2	アナウンス II～III
電気概論 II	2	2	のうちから2単位以上,
B 研究部門			テレビ制作 IV～V
テレビの編成	2	2	ラジオ制作 IV～V
ラジオの編成	2	2	映像技術 IV～V
制作技術研究 I	2	2	音響技術 IV～V
制作技術研究 II	2	2	CM IV～V
広告とマーケティング戦略 I	2	2	脚本 IV～V
広告とマーケティング戦略 II	2	2	アナウンス IV～V
放送作品研究 I	2	2	のうちから2単位以上を修得しなければならない。
放送作品研究 II	2	2	所属学科以外の学科別授業科目は, 指定された科目のみ履修することができる。
放送作品研究 III	2	2	
放送作品研究 IV	2	2	
放送作品研究 V	2	2	
放送作品研究 VI	2	2	
放送作品研究 VII	2	2	
放送作品研究 VIII	2	2	
放送作品研究 IX	2	2	
放送作品研究 X	2	2	
放送作品研究 XI	2	2	
放送作品研究 XII	2	2	

音響心理学 I	2		2		
音響心理学 II	2		2		
ゼミナール I	2	2			
ゼミナール II	2	2			
C 表現技術部門					
放送脚本論 I	2		2		
放送脚本論 II	2		2		
ラジオ演出論 I	2		2		
ラジオ演出論 II	2		2		
テレビ演出論 I	2		2		
テレビ演出論 II	2		2		
ドキュメンタリーの演出 I	2		2		
ドキュメンタリーの演出 II	2		2		
テレビドラマの表現 I	2		2		
テレビドラマの表現 II	2		2		
放送表現と人権 I	2		2		
放送表現と人権 II	2		2		
放送美術論 I	2		2		
放送美術論 II	2		2		
放送広告論 I	2		2		
放送広告論 II	2		2		
放送報道論 I	2		2		
放送報道論 II	2		2		
放送技術概論 I	2		2		
放送技術概論 II	2		2		
音響技術論 I	2		2		
音響技術論 II	2		2		
音響技術論 III	2		2		
音響技術論 IV	2		2		
映像技術論 I	2		2		
映像技術論 II	2		2		
映像技術論 III	2		2		
映像技術論 IV	2		2		

映像制作演習	1	1		
音響制作演習	1	1		
企画演習	1		1	
テレビ制作 I	1		1	
ラジオ制作 I	1		1	
映像技術 I	1		1	
音響技術 I	1		1	
C M I	1		1	
脚本 I	1		1	
アナウンス I	1		1	
テレビ制作 II	1		1	
テレビ制作 III	1		1	
ラジオ制作 II	1		1	
ラジオ制作 III	1		1	
映像技術 II	1		1	
映像技術 III	1		1	
音響技術 II	1		1	
音響技術 III	1		1	
C M II	1		1	
C M III	1		1	
脚本 II	1		1	
脚本 III	1		1	
アナウンス II	1		1	
アナウンス III	1		1	
テレビ制作 IV	1		1	
テレビ制作 V	1		1	
ラジオ制作 IV	1		1	
ラジオ制作 V	1		1	
映像技術 IV	1		1	
映像技術 V	1		1	
音響技術 IV	1		1	
音響技術 V	1		1	

C	M	IV	1		1		
C	M	V	1		1		
脚	本	IV	1		1		
脚	本	V	1		1		
ア	ナ	ウ	ン	ス	IV	1	
ア	ナ	ウ	ン	ス	V	1	
番組企画構成演習	I		1		1		
番組企画構成演習	II		1		1		
番組企画構成演習	III		1		1		
番組企画構成演習	IV		1		1		
コピーライティング	I		1		1		
コピーライティング	II		1		1		
照	明	演	習	I	1		
照	明	演	習	II	1		
ニ	ュ	ー	ス	分	析	I	1
ニ	ュ	ー	ス	分	析	II	1
ニ	ュ	ー	ス	分	析	III	1
ニ	ュ	ー	ス	分	析	IV	1
取	材	調	査	演	習	I	1
取	材	調	査	演	習	II	1
卒	業	研	究		8	8	

Ⅷ デザイン学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 理論・歴史部門				必修単位数30単位を含め、 合計58単位以上を修得し なければならない。	
デ ザ イ ン 論 I	2	2			
デ ザ イ ン 論 II	2	2			
美 術 学 I	2		2	日本建築史 西洋建築史 デザイン史Ⅰ～Ⅲ	
美 術 学 II	2		2	のうちから2単位以上、 デザイン論Ⅲ～Ⅵ	
美 術 史 概 論	2		2	建築デザイン論	
工 芸 概 論	2		2	のうちから2単位以上、 タイポグラフィ論	
日 本 建 築 史	2		2	エルゴノミックデザイン論	

西洋建築史	2		2	マテリアル
デザイン史 I	2		2	メカトロニクス概論
デザイン史 II	2		2	デザインマネージメント論 I
デザイン史 III	2		2	のうちから2単位以上、
デザイン論 III	2		2	ドローイング II
デザイン論 IV	2		2	製図 II
デザイン論 V	2		2	マテリアル&コンストラクション
デザイン論 VI	2		2	のうちから2単位以上を修得しなければならない。
建築デザイン論	2		2	所属学科以外の学科別授業科目は、指定された科目のみ履修することができる。
B 研究部門				
タイポグラフィ論	2		2	
エルゴノミックデザイン論	2		2	
マテリアル	2		2	
メカトロニクス概論	2		2	
デザインマネージメント論 I	2		2	
デザインマネージメント論 II	2		2	
環境論 I	2		2	
環境論 II	2		2	
プランニング I	2		2	
プランニング II	2		2	
力学	2		2	
ストラクチャー I	2		2	
ストラクチャー II	2		2	
構法概論	2		2	
建築生産論	2		2	
建築設備	2		2	
建築法規	2		2	
図学 I	2		2	
図学 II	2		2	
デザイン特別講座 I	2	2		
デザイン特別講座 II	2		2	
建築一般構造	2		2	
C 表現技術部門				

(ベーシックデザインⅠ)				
ドローイングⅠ	2	2		
ドローイングⅡ	2		2	
製 図 Ⅰ	2	2		
製 図 Ⅱ	2		2	
カラー&コンポジション	2	2		
スタイル&フォーム	2	2		
マテリアル&コンストラクション	2		2	
デザインフィールドワークショップ	2	2		
ベーシックデザインワークショップ	2	2		
(ベーシックデザインⅡ)				
コンピュータ基礎	2		2	
ビジュアル基礎	2		2	
メディア基礎	2		2	
タイポグラフィックデザイン	2		2	
イラストレーション	2		2	
エディトリアルデザイン	2		2	
ライフデザインⅠ	2		2	
ライフデザインⅡ	2		2	
フォトグラフィ	2		2	
アーキテクチュアルドローイング	2		2	
プレゼンテーションテクニックⅠ	2		2	
プレゼンテーションテクニックⅡ	2		2	
C A D Ⅰ	2		2	
C A D Ⅱ	2		2	
(ビジュアルコミュニケーションデザイン)				
グラフィックデザインⅠ	2		2	
グラフィックデザインⅡ	2		2	
グラフィックデザインⅢ	2		2	
グラフィックデザインⅣ	2		2	
グラフィックデザインⅤ	2		2	
グラフィックデザインⅥ	2		2	
グラフィックデザインⅦ	2		2	

グラフィックデザインⅧ	2	2		
コミュニケーションデザインⅠ	2	2		
コミュニケーションデザインⅡ	2	2		
コミュニケーションデザインⅢ	2	2		
コミュニケーションデザインⅣ	2	2		
コミュニケーションデザインⅤ	2	2		
コミュニケーションデザインⅥ	2	2		
コミュニケーションデザインⅦ	2	2		
(プロダクトデザイン)				
プロダクトデザインⅠ	2	2		
プロダクトデザインⅡ	2	2		
プロダクトデザインⅢ	2	2		
プロダクトデザインⅣ	2	2		
プロダクトデザインⅤ	2	2		
プロダクトデザインⅥ	2	2		
プロダクトデザインⅦ	2	2		
プロダクトデザインⅧ	2	2		
プロダクトデザインⅨ	2	2		
(スペース・アーキテクチャデザイン)				
スペースデザインⅠ	2	2		
スペースデザインⅡ	2	2		
スペースデザインⅢ	2	2		
スペースデザインⅣ	2	2		
アーキテクチャデザインⅠ	2	2		
アーキテクチャデザインⅡ	2	2		
アーキテクチャデザインⅢ	2	2		
アーキテクチャデザインⅣ	2	2		
アーキテクチャデザインⅤ	2	2		
アーキテクチャデザインⅥ	2	2		
(ソーシャルデザイン)				
総合演習	2	2		
インターンシップ	2	2		
デザインゼミナール	4	4		

卒業論文・制作	8	8		
---------	---	---	--	--

Ⅸ 共通専門教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
連携型プロジェクトⅠ	2		2		
連携型プロジェクトⅡ	2		2		
連携型プロジェクトⅢ	2		2		

4 第Ⅲ群（各学科共通）

① 学芸員課程科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
博物館概論	2		2	許可を得て履修することができる。	
博物館資料論	2		2		
博物館経営論	2		2		
博物館展示論	2		2		
博物館教育論	2		2		
博物館情報・メディア論	2		2		
生涯学習概論	2		2		
博物館資料保存論	2		2		
博物館実習Ⅰ	2		2		
博物館実習Ⅱ	1		1		

② 司書教諭課程科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学校経営と学校図書館	2		2	許可を得て履修することができる。	
学校図書館メディアの構成	2		2		
学習指導と学校図書館	2		2		
読書と豊かな人間性	2		2		
情報メディアの活用	2		2		

③ 司書課程科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生涯学習概論	2		2	許可を得て履修することができる。	
図書館概論	2		2		

図書館制度・経営論	2		2	
図書館情報技術論	2		2	
図書館サービス概論	2		2	
情報サービス論	2		2	
児童サービス論	2		2	
情報サービス演習	2		2	
図書館情報資源概論	2		2	
情報資源組織論	2		2	
情報資源組織演習	2		2	
図書館基礎特論	1		1	
図書館総合演習	1		1	

第6節 国際関係学部

第85条 国際総合政策学科及び国際教養学科における授業科目及び単位数並びに履修方法は、次のとおりである。各学科とも履修方法に指定された単位数，所属学科の必修科目及び選択必修科目のほか，国際関係学部の開講科目（教職課程科目（大学が独自に設定する科目）及び日本語教員養成科目を除く）の中から履修した単位を含め，124単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2 基礎科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
キャリアデザイン	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	

3 総合教育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
哲 学	2		2	総合教育科目は，20単位以上を修得しなければならない。	
倫 理 学	2		2		
歴 史 学	2		2	その他，選択科目として，総合教育科目，外国語科目，健康スポーツ科目，専門教育科目，学部共通科目の中から22単位以上を修得しなければならない。	
文 化 人 類 学	2		2		
心 理 学	2		2		
芸 術	2		2		
世 界 の 宗 教	2		2		
世 界 の 言 語	2		2		
文 学	2		2		
社 会 学	2		2		
法 学	2		2		
日 本 国 憲 法	2		2		
政 治 学	2		2		
経 済 学	2		2		
商 学	2		2		
経 営 学	2		2		

ジェンダーと社会	2		2		
数理の世界	2		2		
生命の科学	2		2		
情報論	2		2		
調査統計論	2		2		
科学思想史	2		2		

4 外国語科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英 語 I	2		2	外国語科目は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・韓国語・日本語（外国人留学生のみ）の中からいずれか1外国語を選択し8単位以上を修得しなければならない（ただし、母語を除く）。 その他、選択科目として、総合教育科目、外国語科目、健康スポーツ科目、専門教育科目、学部共通科目の中から22単位以上を修得しなければならない。	
英 語 II	2		2		
英 語 III	2		2		
英 語 IV	2		2		
ド イ ツ 語 I	2		2		
ド イ ツ 語 II	2		2		
ド イ ツ 語 III	2		2		
ド イ ツ 語 IV	2		2		
フ ラ ン ス 語 I	2		2		
フ ラ ン ス 語 II	2		2		
フ ラ ン ス 語 III	2		2		
フ ラ ン ス 語 IV	2		2		
中 国 語 I	2		2		
中 国 語 II	2		2		
中 国 語 III	2		2		
中 国 語 IV	2		2		
ス ペ イ ン 語 I	2		2		
ス ペ イ ン 語 II	2		2		
ス ペ イ ン 語 III	2		2		
ス ペ イ ン 語 IV	2		2		
韓 国 語 I	2		2		
韓 国 語 II	2		2		
韓 国 語 III	2		2		
韓 国 語 IV	2		2		

日 本 語 I	2		2	} 留学生のみ履修できる。	
日 本 語 II	2		2		
日 本 語 III	2		2		
日 本 語 IV	2		2		

5 健康スポーツ科目 (各学科共通)

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
スポーツ科学と健康	2		2		
ス ポ ー ツ 総 合	1		1		

6 専門基礎科目 (各学科共通)

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
国 際 関 係 論 入 門	2	2		専門基礎科目は、必修科目 8単位を修得しなければならない。	
国 際 文 化 論 入 門	2	2			
日 本 近 現 代 史	2	2			
世 界 近 現 代 史	2	2			

7 専門教育科目

I 国際総合政策学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
コース専門基礎科目				専門教育科目のうち、必修 科目を含めて62単位以上 を修得しなければならない。	
国際関係論 I (理論)	2	2			
国 際 法 概 論	2		2	国際関係コース, 国際ビジ ネスコース, グローバルス タディコース, グローバル 観光コースのいずれかを 履修しなければならない。	
国 際 政 治 学	2		2		
国 際 協 力 論	2		2		
国 際 経 済 学	2		2		
財 務 管 理 論	2		2		
組 織 論	2		2		
地球環境と持続可能な開発	2		2		
国 際 時 事 問 題	2		2		
異文化コミュニケーション論	2		2		
比 較 文 化 論	2		2		
社 会 学 概 論	2		2		
コース専門科目				コース専門基礎科目のう ち、国際関係コースは、必 修科目を含めて国際法概 論、国際政治学、国際協力 論の中から4単位以上を修 得しなければならない。国 際ビジネスコースは、必修 科目を含めて国際経済学、	

国 際 法	4	4	財務管理論, 組織論の中から4単位以上を修得しなければならない。
平 和 学 I	4	4	グローバル
国 際 関 係 史	4	4	スタディコースは, 必修科目を含めて地球環境と持続可能な開発, 国際時事問題,
日 本 外 交 論	4	4	比較文化論, 社会学概論の中から4単位以上を修得しなければならない。
安 全 保 障 論	4	4	グローバル観光コースは, 必修科目を含めて地球環境と持続可能な開発, 異文化コミュニケーション論, 比較文化論, 社会学概論の中から4単位以上を修得しなければならない。
戦 略 論	4	4	
国 際 関 係 論 II	4	4	国際関係コースは, 国際法, 国際関係史, 日本外交論, 国際関係論II, 国際連合論, 国際政治史, 地域統合論, 国際機構論, 国際ジャーナリズム論, 国際関係私法, 国際関係学特別研究の中から16単位以上, 平和学I, 安全保障論, 戦略論, 紛争研究, 平和学II, 日本の平和と安全保障の中から8単位以上, NGO/NPO論, 国際技術協力論, 地方自治論, ボランティア援助技術, 国際人事管理論, 行政学の中から4単位以上, 国際人口移動論, メディアと社会, 都市社会学の中から4単位以上を修得し, 上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。
国 際 連 合 論	4	4	
国 際 政 治 史	4	4	
地 域 統 合 論	4	4	
国 際 機 構 論	4	4	
国際ジャーナリズム論	4	4	
国 際 関 係 私 法	4	4	
紛 争 研 究	4	4	
平 和 学 II	4	4	
日本の平和と安全保障	4	4	
国際関係学特別研究	4	4	
証 券 市 場 論	4	4	
企 業 論	4	4	
簿 記 論	4	4	
ベンチャービジネス論	4	4	
情報メディアリテラシー	4	4	
経 済 学 原 論	4	4	
経 営 学 原 論	4	4	
経 営 法 務	4	4	
現 代 経 済 社 会	4	4	
金 融 論	4	4	
財 政 学	4	4	
租 税 論	4	4	
都 市 経 済 学	4	4	
経 済 学 特 別 研 究	4	4	
流 通 経 済 学	4	4	国際ビジネスコースは, 簿記論, 経済学原論, 経営学原論, 経営法務, 金融論, 国際金融論, 会計学,

経営情報論	4	4	マーケティング論の中から
国際貿易論	4	4	16単位以上、証券市場論、
国際金融論	4	4	企業論、ベンチャービジネス論、
会計学	4	4	現代経済社会、財政学、
マーケティング論	4	4	租税論、都市経済学、
経営学特別研究	4	4	経済学特別研究、流通経済学、
情報システム理論と演習	3	3	国際貿易論、経営学特別研究、
プログラミング	1	1	ビジネス・インテリジェンス、
Webデザインと技術	3	3	食品流通論の中から12単位以上、
ビジネス統計演習	1	1	情報メディアリテラシー、
ビジネス・インテリジェンス	4	4	経営情報論、情報システム理論と演習、
国際経営論	2	2	プログラミング、Webデザインと技術、
N G O / N P O 論	4	4	ビジネス統計演習、国際経営論の中から4単位以上を
開発教育論	4	4	修得し、上記同コース専門基礎科目並びに同コース
国際技術協力論	4	4	専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。
社会開発論	4	4	
地方自治論	4	4	グローバルスタディコースは、
開発経済論	4	4	開発教育論、社会開発論、
ボランティア援助技術	4	4	開発経済論、交流マネジメント論、
交流マネジメント論	4	4	開発人類学、地域開発論、
開発人類学	4	4	資源エネルギー論の中から12単位以上、
国際人事管理論	4	4	地球環境問題、環境社会学、
地域開発論	4	4	環境倫理、都市環境論、
世界の食文化	4	4	国際環境法規の中から8単位以上、
食品流通論	4	4	国際ジャーナリズム論、
社会福祉論	4	4	世界の食文化、社会福祉論、
資源エネルギー論	4	4	フィールドワーク、
地球環境問題	4	4	国際人口移動論、
環境社会学	4	4	メディアと社会、
環境倫理	4	4	エスノグラフィー論の中から8
都市環境論	4	4	単位以上を修得し、上記同
国際環境法規	4	4	コース専門基礎科目並び
フィールドワーク	4	4	に同コース専門科目から
			合計44単位以上を修得し
			なければならない。
			グローバル観光コースは、
			国際観光経営論、
			国際観光開発論、
			国際観光政策、
			国際観光文化論、
			観光法規 I、

国際人口移動論	4	4	<p>観光法規Ⅱ，観光地理Ⅰ（国内），観光地理Ⅱ（海外），観光実務Ⅰ（国内），観光実務Ⅱ（海外）の中から14単位以上，世界の食文化，コミュニティ論，行政学，文化政策論，地域振興論，観光概論，ホスピタリティ論，旅行事業論，宿泊事業論，観光交通論，伊豆観光文化論の中から14単位以上，交流マネジメント論，イスラム文化，アメリカ文化，ヨーロッパ文化史，中国文化史の中から4単位以上を修得し，上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。</p> <p>その他，選択科目として，総合教育科目，外国語科目，健康スポーツ科目，専門教育科目，学部共通科目の中から22単位以上を修得しなければならない。</p>
メディアと社会	4	4	
都市社会学	4	4	
エスノグラフィー論	4	4	
コミュニティ論	4	4	
行政学	4	4	
文化政策論	4	4	
地域振興論	4	4	
国際観光経営論	4	4	
国際観光開発論	4	4	
国際観光政策	4	4	
国際観光文化論	4	4	
観光法規Ⅰ	2	2	
観光法規Ⅱ	2	2	
観光地理Ⅰ（国内）	2	2	
観光地理Ⅱ（海外）	2	2	
観光実務Ⅰ（国内）	2	2	
観光実務Ⅱ（海外）	2	2	
観光概論	2	2	
ホスピタリティ論	2	2	
旅行事業論	2	2	
宿泊事業論	2	2	
観光交通論	2	2	
伊豆観光文化論	2	2	
イスラム文化	4	4	
アメリカ文化	4	4	
ヨーロッパ文化史	4	4	
中国文化史	4	4	
全コース共通専門科目			
地域研究			
地域研究（アメリカⅠ）	2	2	
地域研究（アメリカⅡ）	2	2	
地域研究（ヨーロッパⅠ）	2	2	

地域研究(ヨーロッパⅡ)	2		2	
地域研究(ヨーロッパⅢ)	2		2	
地域研究(ヨーロッパⅣ)	2		2	
地域研究(アジアⅠ)	2		2	
地域研究(アジアⅡ)	2		2	
地域研究(アジアⅢ)	2		2	
地域研究(中東)	2		2	
地域研究(アフリカ)	2		2	
地域研究(特別研究)	2		2	
国際交流(外国語実習)	2		2	
ティーチング・インターンシップ	2		2	
海外実地研究	1		1	
演習				
ゼミナールⅠ	1		1	演習は、必修1単位を修得しなければならない。
ゼミナールⅡ	1		1	
ゼミナールⅢ	1		1	
ライフデザイン	1	1		
インターンシップ	2		2	
卒業論文	4		4	
情報				
情報処理Ⅰ	1		1	
情報処理Ⅱ	1		1	
情報処理Ⅲ	1		1	
観光外国語				
観光英語Ⅰ	1		1	
観光英語Ⅱ	1		1	
観光英語Ⅲ	1		1	
観光ドイツ語Ⅰ	1		1	
観光ドイツ語Ⅱ	1		1	
観光フランス語Ⅰ	1		1	
観光フランス語Ⅱ	1		1	
観光中国語Ⅰ	1		1	
観光中国語Ⅱ	1		1	

観光スペイン語 I	1	1		
観光スペイン語 II	1	1		
観光韓国語 I	1	1		
観光韓国語 II	1	1		
ジャパNSTADIEES				
日本政治	2	2		
日本経済	2	2		
日本史	2	2		
日本宗教思想	2	2		
日本文学史	2	2		
日本文化	2	2		
日本社会	2	2		
Japan Studies I (宗教・思想)	2	2		
Japan Studies II (日本文学)	2	2		
Japan Studies III (文化史)	2	2		
Japan Studies IV (日本社会)	2	2		
Japan Studies V (経済)	2	2		
Japan Studies VI (政治)	2	2		
Japan Studies VII (スペシャルレクチャー)	2	2		
Japan Studies VIII (スペシャルレクチャー)	2	2		
専門外国語				
英語 V	1	1		
英語 VI	1	1		
英語 VII	1	1		
英語 VIII	1	1		
英語ディスカッション・ディベート	1	1		
英語文献講読 I	1	1		
英語文献講読 II	1	1		
ドイツ語 V	1	1		
ドイツ語 VI	1	1		
ドイツ語 VII	1	1		
ドイツ語 VIII	1	1		
ドイツ語文献講読 I	1	1		

ドイツ語文献講読Ⅱ	1		1	
フランス語Ⅴ	1		1	
フランス語Ⅵ	1		1	
フランス語Ⅶ	1		1	
フランス語Ⅷ	1		1	
フランス語文献講読Ⅰ	1		1	
フランス語文献講読Ⅱ	1		1	
中国語Ⅴ	1		1	
中国語Ⅵ	1		1	
中国語Ⅶ	1		1	
中国語Ⅷ	1		1	
中国語文献講読Ⅰ	1		1	
中国語文献講読Ⅱ	1		1	
スペイン語Ⅴ	1		1	
スペイン語Ⅵ	1		1	
スペイン語Ⅶ	1		1	
スペイン語Ⅷ	1		1	
スペイン語文献講読Ⅰ	1		1	
スペイン語文献講読Ⅱ	1		1	
韓国語Ⅴ	1		1	
韓国語Ⅵ	1		1	
韓国語Ⅶ	1		1	
韓国語Ⅷ	1		1	
韓国語文献講読Ⅰ	1		1	
韓国語文献講読Ⅱ	1		1	
日本語Ⅴ	2		2	} 留学生のみ履修できる。
日本語Ⅵ	2		2	
日本語Ⅶ	2		2	
特定言語初級	2		2	
特定言語中級	2		2	
特定言語上級	2		2	
複言語Ⅰ	1		1	
複言語Ⅱ	1		1	

II 国際教養学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
コース専門基礎科目				専門教育科目のうち、必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。	
国 際 文 化 論	2	2			
比 較 文 化 論	2		2		
異文化コミュニケーション論	2		2		
社 会 学 概 論	2		2	国際文化コース，国際コミュニケーションコース，	
地球環境と持続可能な開発	2		2	グローバルスタディコース，グローバル観光コース	
国 際 時 事 問 題	2		2	のいずれかを履修しなければならない。	
コース専門科目					
日米比較文化論	4		4	コース専門基礎科目のうち、国際文化コース及び国際コミュニケーション	
日欧比較文化論	4		4	コースは、必修科目を含めて比較文化論，異文化コミュニケーション論，社会	
日中比較文化論	4		4	学概論の中から4単位以上を修得しなければならない。グローバルスタディ	
現 代 思 想	4		4	コースは、必修科目を含めて比較文化論，社会学概論，地球環境と持続可能な	
文 化 記 号 論	4		4	開発，国際時事問題の中から4単位以上を修得しなければならない。グローバル	
宗 教 文 化	4		4	観光コースは、必修科目を含めて比較文化論，社会学概論，比較文化論，異文化	
イスラム文化	4		4	コミュニケーション論，社会学概論，地球環境と持続可能な開発の中から4単位	
アメリカ文化	4		4	以上を修得しなければならない。	
ヨーロッパ文化史	4		4		
中国文化史	4		4		
サブカルチャー論	4		4		
芸術表現論	4		4		
比較文学論	4		4		
英語文学論	2		2		
英語文学論演習	1		1		
現代言語学	4		4		
英米言語文化研究	4		4	国際文化コースは、日米比較文化論，日欧比較文化論，日中比較文化論，現代	
ヨーロッパ言語文化研究	4		4	思想，宗教文化，芸術表現論の中から4単位以上，イスラム文化，アメリカ文	
批評理論	4		4	化，ヨーロッパ文化史，中国文化史の中から4単位以上，比較文学論，英語	
漢字文化論	4		4	文学論，英語文学論演習，	
日本言語文化研究	4		4		
フィールドワーク	4		4		
国際人口移動論	4		4		

メディアと社会	4	4	<p>現代言語学, 英米言語文化研究, ヨーロッパ言語文化研究, 漢字文化論, 日本語文化研究の中から4単位以上, 文化記号論, サブカルチャー論, 批評理論, カルチュラルスタディーズ, 表象文化論の中から4単位以上を修得し, 上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。</p> <p>国際コミュニケーションコースは, フィールドワーク, メディアと社会, 都市社会学, 社会福祉論, 現代社会学理論, 人権論, 開発教育論, 社会心理学の中から4単位以上, 国際人口移動論, エスノグラフィー論, 親族と婚姻論の中から4単位を修得し, 上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。</p> <p>グローバルスタディコースは, 開発教育論, 社会開発論, 開発経済論, 交流マネジメント論, 開発人類学, 地域開発論, 資源エネルギー論の中から12単位以上, 地球環境問題, 環境社会学, 都市環境論, 環境倫理, 国際環境法規の中から8単位以上, フィールドワーク, 国際人口移動論, メディアと社会, 社会福祉論, エスノグラフィー論, 国際ジャーナリズム論, 世界の食文化の中から8単位以上を修得し, 上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計</p>
都市社会学	4	4	
社会福祉論	4	4	
現代社会学理論	4	4	
エスノグラフィー論	4	4	
人権論	4	4	
開発教育論	4	4	
社会心理学	4	4	
親族と婚姻論	4	4	
カルチュラルスタディーズ	4	4	
表象文化論	4	4	
英語リーディング	2	2	
英語ライティング	2	2	
英語コミュニケーションⅠ	2	2	
英語コミュニケーションⅡ	2	2	
英語学	2	2	
英語音声学	2	2	
英文法	2	2	
英作文	2	2	
英語発達史	2	2	
ビジネス英語Ⅰ	1	1	
ビジネス英語Ⅱ	1	1	
英語翻訳法	2	2	
英語通訳法	2	2	
社会開発論	4	4	
開発経済論	4	4	
交流マネジメント論	4	4	
開発人類学	4	4	
地域開発論	4	4	
資源エネルギー論	4	4	
地球環境問題	4	4	
環境社会学	4	4	
都市環境論	4	4	
環境倫理	4	4	

国際環境法規	4	4	44単位以上を修得しなければならない。
国際ジャーナリズム論	4	4	
世界の食文化	4	4	グローバル観光コースは、国際観光経営論, 国際観光開発論, 国際観光政策, 国際観光文化論, 観光法規Ⅰ, 観光法規Ⅱ, 観光地理Ⅰ(国内), 観光地理Ⅱ(海外), 観光実務Ⅰ(国内), 観光実務Ⅱ(海外)の中から14単位以上, 世界の食文化, コミュニティ論, 行政学, 文化政策論, 地域振興論, 観光概論, ホスピタリティ論, 旅行事業論, 宿泊事業論, 観光交通論, 伊豆観光文化論の中から14単位以上, イスラム文化, アメリカ文化, ヨーロッパ文化史, 中国文化史, 交流マネジメント論の中から4単位以上を修得し, 上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。
コミュニティ論	4	4	
行政学	4	4	
文化政策論	4	4	
地域振興論	4	4	
国際観光経営論	4	4	
国際観光開発論	4	4	
国際観光政策	4	4	
国際観光文化論	4	4	
観光法規Ⅰ	2	2	
観光法規Ⅱ	2	2	
観光地理Ⅰ(国内)	2	2	
観光地理Ⅱ(海外)	2	2	
観光実務Ⅰ(国内)	2	2	
観光実務Ⅱ(海外)	2	2	
観光概論	2	2	
ホスピタリティ論	2	2	
旅行事業論	2	2	
宿泊事業論	2	2	
観光交通論	2	2	
伊豆観光文化論	2	2	
全コース共通専門科目			
地域研究			
地域研究(アメリカⅠ)	2	2	地域研究は, 6単位以上を修得しなければならない。
地域研究(アメリカⅡ)	2	2	
地域研究(ヨーロッパⅠ)	2	2	
地域研究(ヨーロッパⅡ)	2	2	
地域研究(ヨーロッパⅢ)	2	2	
地域研究(ヨーロッパⅣ)	2	2	
地域研究(アジアⅠ)	2	2	
地域研究(アジアⅡ)	2	2	

地域研究（アジアⅢ）	2		2	
地域研究（中東）	2		2	
地域研究（アフリカ）	2		2	
地域研究（特別研究）	2		2	
国際交流（外国語実習）	2		2	
ティーチング・インターンシップ	2		2	
海外実地研究	1		1	
演習				
ゼミナールⅠ	1		1	演習は、必修1単位を修得しなければならない。
ゼミナールⅡ	1		1	
ゼミナールⅢ	1		1	
ライフデザイン	1	1		
インターンシップ	2		2	
卒業論文	4		4	
情報				
情報処理Ⅰ	1		1	
情報処理Ⅱ	1		1	
情報処理Ⅲ	1		1	
観光外国語				
観光英語Ⅰ	1		1	
観光英語Ⅱ	1		1	
観光英語Ⅲ	1		1	
観光ドイツ語Ⅰ	1		1	
観光ドイツ語Ⅱ	1		1	
観光フランス語Ⅰ	1		1	
観光フランス語Ⅱ	1		1	
観光中国語Ⅰ	1		1	
観光中国語Ⅱ	1		1	
観光スペイン語Ⅰ	1		1	
観光スペイン語Ⅱ	1		1	
観光韓国語Ⅰ	1		1	
観光韓国語Ⅱ	1		1	
ジャパNSTAディーズ				
日本政治	2		2	

日 本 経 済	2	2		
日 本 史	2	2		
日 本 宗 教 思 想	2	2		
日 本 文 学 史	2	2		
日 本 文 化	2	2		
日 本 社 会	2	2		
Japan Studies I (宗教・思想)	2	2		
Japan Studies II (日本文学)	2	2		
Japan Studies III (文化史)	2	2		
Japan Studies IV (日本社会)	2	2		
Japan Studies V (経済)	2	2		
Japan Studies VI (政治)	2	2		
Japan Studies VII (スペシャルレクチャー)	2	2		
Japan Studies VIII (スペシャルレクチャー)	2	2		
専門外国語				
英 語 V	1	1		
英 語 VI	1	1		
英 語 VII	1	1		
英 語 VIII	1	1		
英語ディスカッション・ディベート	1	1		
英語文献講読 I	1	1		
英語文献講読 II	1	1		
ド イ ツ 語 V	1	1		
ド イ ツ 語 VI	1	1		
ド イ ツ 語 VII	1	1		
ド イ ツ 語 VIII	1	1		
ドイツ語文献講読 I	1	1		
ドイツ語文献講読 II	1	1		
フ ラ ン ス 語 V	1	1		
フ ラ ン ス 語 VI	1	1		
フ ラ ン ス 語 VII	1	1		
フ ラ ン ス 語 VIII	1	1		
フランス語文献講読 I	1	1		
フランス語文献講読 II	1	1		

中国語 V	1		1	
中国語 VI	1		1	
中国語 VII	1		1	
中国語 VIII	1		1	
中国語文献講読 I	1		1	
中国語文献講読 II	1		1	
スペイン語 V	1		1	
スペイン語 VI	1		1	
スペイン語 VII	1		1	
スペイン語 VIII	1		1	
スペイン語文献講読 I	1		1	
スペイン語文献講読 II	1		1	
韓国語 V	1		1	
韓国語 VI	1		1	
韓国語 VII	1		1	
韓国語 VIII	1		1	
韓国語文献講読 I	1		1	
韓国語文献講読 II	1		1	
日本語 V	2		2	} 留学生のみ履修できる。
日本語 VI	2		2	
日本語 VII	2		2	
特定言語 初級	2		2	
特定言語 中級	2		2	
特定言語 上級	2		2	
複言語 I	1		1	
複言語 II	1		1	

8 学部共通科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
スポーツ交流					
スポーツ科学	2		2		
スポーツと社会	2		2		
スポーツ指導論	2		2		
レクリエーション論	2		2		

資格外国語						
資格英語Ⅰ	1		1			
資格英語Ⅱ	1		1			
資格英語Ⅲ	1		1			
資格英語Ⅳ	1		1			
資格ドイツ語Ⅰ	1		1			
資格ドイツ語Ⅱ	1		1			
資格フランス語Ⅰ	1		1			
資格フランス語Ⅱ	1		1			
資格中国語Ⅰ	1		1			
資格中国語Ⅱ	1		1			
資格スペイン語Ⅰ	1		1			
資格スペイン語Ⅱ	1		1			
資格韓国語Ⅰ	1		1			
資格韓国語Ⅱ	1		1			
留学生用演習						
日本語演習Ⅰ	2		2	} 留学生のみ履修できる。		
日本語演習Ⅱ	2		2			
日本語演習Ⅲ	2		2			
日本語演習Ⅳ	2		2			
日本語演習Ⅴ	2		2			
特別教育						
学際研究Ⅰ	2		2			
学際研究Ⅱ	2		2			
特殊講義Ⅰ	2		2			
特殊講義Ⅱ	2		2			

9 教職課程科目（大学が独自に設定する科目）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
教育実践体験研究Ⅰ	2		2		
教育実践体験研究Ⅱ	2		2		
学校インターンシップ	2		2		
学校安全	2		2		

10 日本語教員養成科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
日 本 語 教 育 概 論	2		2		
日 本 語 文 法 I	2		2		
日 本 語 文 法 II	2		2		
日 本 語 教 授 法 (理 論)	2		2		
日 本 語 教 授 法 (応 用)	2		2		
日 本 語 音 声 学	2		2		
日 本 語 語 彙 論	2		2		
日 本 語 教 育 実 習	2		2		
日 本 語 教 育 検 定 演 習	1		1		

第7節 危機管理学部

第86条 危機管理学部危機管理学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、科目区分ごとに履修方法に定めた単位数を含め、合計124単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2 総合教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 総合科目				必修単位数6単位を含め、合計28単位以上を修得しなければならない。 C外国語科目については、英語Ⅰ～Ⅷの8単位、外国人留学生は日本語Ⅰ～Ⅷの8単位を修得しなければならない。	
生活と法	2		2		
哲学	1	2	2		
哲学	2	2	2		
論理学	1	2	2		
論理学	2	2	2		
倫理学	1	2	2		
倫理学	2	2	2		
宗教学	1	2	2		
宗教学	2	2	2		
歴史学	1	2	2		
歴史学	2	2	2		
近代史	1	2	2		
近代史	2	2	2		
文学	1	2	2		
文学	2	2	2		
文章表現	1	2	2		
文章表現	2	2	2		
教育学	1	2	2		
教育学	2	2	2		

社 会 学	1	2	2		
社 会 学	2	2	2		
政 治 学	1	2	2		
政 治 学	2	2	2		
経 済 学	1	2	2		
経 済 学	2	2	2		
地 理 学	1	2	2		
地 理 学	2	2	2		
心 理 学	1	2	2		
心 理 学	2	2	2		
文 化 人 類 学	1	2	2		
文 化 人 類 学	2	2	2		
数 学	1	2	2		
数 学	2	2	2		
統 計 学	1	2	2		
統 計 学	2	2	2		
科 学 技 術 史	1	2	2		
科 学 技 術 史	2	2	2		
地 球 科 学	1	2	2		
地 球 科 学	2	2	2		
健 康 の 科 学	1	2	2		
健 康 の 科 学	2	2	2		
救 急 処 置 法		2	2		
教 養 特 殊 講 義	1	2	2		
教 養 特 殊 講 義	2	2	2		
教 養 特 殊 講 義	3	2	2		
教 養 特 殊 講 義	4	2	2		
教 養 特 殊 講 義	5	2	2		
教 養 特 殊 講 義	6	2	2		
B 基礎教育科目					
I アカデミック・スキル科目					

アカデミック・スキルズ	2	2		
II コンピュータ科目				
コンピュータ・情報リテラシー	1	1		
III 健康・スポーツ科目				
スポーツ実技1	1	1		
スポーツ実技2	1		1	
スポーツ実技3	1		1	
スポーツ講義	2	2		
C 外国語科目				
I 英語科目				
英語 I	1		1	
英語 II	1		1	
英語 III	1		1	
英語 IV	1		1	
英語 V	1		1	
英語 VI	1		1	
英語 VII	1		1	
英語 VIII	1		1	
II 外国人留学生用科目				
日本語 I	1		1	
日本語 II	1		1	
日本語 III	1		1	
日本語 IV	1		1	
日本語 V	1		1	
日本語 VI	1		1	
日本語 VII	1		1	
日本語 VIII	1		1	
III 拡張外国語科目				
中国語 I	1		1	
中国語 II	1		1	
中国語 III	1		1	

中	国	語	IV	1		1	
韓	国	語	I	1		1	
韓	国	語	II	1		1	
韓	国	語	III	1		1	
韓	国	語	IV	1		1	
英	語	演	習	1	1	1	
英	語	演	習	2	1	1	
英	語	演	習	3	1	1	
英	語	演	習	4	1	1	

3 専門基幹科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
法 学 概 論	2	2		必修単位数12単位のほか、	
危機管理学概論(レジリエンス)	2	2		インテリジェンス	
リスクマネジメント	2	2		ロジスティクス	
リスクコミュニケーション	2	2		セキュリティ	
行政リスクガバナンス	2	2		ヒューマンエラー	
企業リスクガバナンス	2	2		憲法と人権	
インテリジェンス	2		2	立憲主義と統治	
ロジスティクス	2		2	行政法と行政過程Ⅰ	
セキュリティ	2		2	行政法と行政過程Ⅱ	
ヒューマンエラー	2		2	犯罪と法Ⅰ	
憲 法 と 人 権	2		2	民事法Ⅰ	
立 憲 主 義 と 統 治	2		2	民事法Ⅱ	
行政法と行政過程Ⅰ	2		2	民事法Ⅲ	
行政法と行政過程Ⅱ	2		2	企業組織と法	
犯 罪 と 法 Ⅰ	2		2	企業統治と法	
民 事 法 Ⅰ	2		2	企業取引と法	
民 事 法 Ⅱ	2		2	民事手続と法	
民 事 法 Ⅲ	2		2	情報技術と社会	
企 業 組 織 と 法	2		2	リスクファイナンスⅠ	
企 業 統 治 と 法	2		2	リスクファイナンスⅡ	
企 業 取 引 と 法	2		2	より12単位以上を含め、	
民 事 手 続 と 法	2		2	合計30単位以上を修得し	
行 政 学	2		2	なければならない。	
経 営 学	2		2		
会 計 学	2		2		
社 会 心 理 学	2		2		
経 済 法	2		2		
外 国 法	2		2		
国際自然・環境論	2		2		
日 本 思 想 論	2		2		

比較宗教・文化論	2		2		
情報技術と社会	2		2		
リスクファイナンスⅠ	2		2		
リスクファイナンスⅡ	2		2		

4 専門展開科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 共通学修科目				必修単位数12単位を含め、 合計56単位以上を修得し なければならない。	
社会調査論	2		2		
ボランティア論	2		2		
国際関係論	2		2		
感染症対策論	2		2		
専門英語コミュニケーション1	1		1		
専門英語コミュニケーション2	1		1		
専門英語プレゼンテーション1	1		1		
専門英語プレゼンテーション2	1		1		
事業継続論(BCP・BCM)	2		2		
観光リスクマネジメント	2		2		
国際地域研究1	2		2		
国際地域研究2	2		2		
キャリア・デザインⅠ	2		2		
キャリア・デザインⅡ	2		2		
危機管理特殊講義1	2		2		
危機管理特殊講義2	2		2		
危機管理特殊講義3	2		2		
危機管理特殊講義4	2		2		
危機管理特殊講義5	2		2		
危機管理特殊講義6	2		2		
危機管理実践研究1	2		2		
危機管理実践研究2	2		2		
危機管理実践研究3	2		2		
危機管理実践研究4	2		2		
海外実地研修	2		2		

B 領域科目			計44単位以上を修得しなければならない。
I 災害マネジメント領域科目			
災害対策論	2	2	
災害情報論	2	2	
自然災害論	2	2	
災害と法	2	2	
大規模事故論	2	2	
地域防災論	2	2	
災害史	2	2	
消防救急論	2	2	
事故責任法制	2	2	
原子力と安全	2	2	
復旧・復興論	2	2	
II パブリックセキュリティ領域科目			
社会安全政策論	2	2	
刑事司法手続 I	2	2	
犯罪と法 II	2	2	
国民保護	2	2	
犯罪心理学	2	2	
刑事司法手続 II	2	2	
被害者学	2	2	
少年法	2	2	
法医学	2	2	
経済刑法	2	2	
インテリジェンスコミュニティ	2	2	
テロリズム論	2	2	
犯罪と捜査	2	2	
警察行政	2	2	
インフラセキュリティ	2	2	
III グローバルセキュリティ領域科目			
安全保障論1(国際安全保障)	2	2	グローバルセキュリティ領域科目を主専攻に選択した場合は、 国際法 国際政治学 のうちから2単位以上、
国際政治学	2	2	
国際法	2	2	

防 衛 法 制	2		2	グローバルセキュリティ領域科目から14単位以上、副専攻に選択した領域科目から10単位以上、その他の各領域からそれぞれ4単位以上、さらに、専門展開科目から10単位以上、計44単位以上を修得しなければならない。	
安全保障論2(国家安全保障)	2		2		
ス ト ラ テ ジ ー	2		2		
国際人権・人道法	2		2		
国際化と国境管理	2		2		
外 交 史	2		2		
防 衛 政 策	2		2		
平 和 構 築 論	2		2		
IV 情報セキュリティ領域科目					情報セキュリティ領域科目を主専攻に選択した場合は、 情報法 情報倫理 のうちから2単位以上、 情報セキュリティ領域科目から14単位以上、 副専攻に選択した領域科目から10単位以上、 その他の各領域からそれぞれ4単位以上、 さらに、専門展開科目から10単位以上、 計44単位以上を修得しなければならない。
情 報 法	2		2		
情 報 管 理 論	2		2		
メディアコミュニケーション論	2		2		
サイバーセキュリティ論	2		2		
情 報 倫 理	2		2		
ジャーナリズム論	2		2		
情 報 技 術	2		2		
プライバシーと法	2		2		
知財セキュリティ論	2		2		
デジタル・フォレンジック	2		2		
企 業 広 報 論	2		2		
C 統合学修科目					
基 礎 ゼ ミ	2	2			
ゼ ミ ナ ー ル I	2	2			
ゼ ミ ナ ー ル II	2	2			
ゼ ミ ナ ー ル III	2	2			
ゼ ミ ナ ー ル IV	2	2			
ゼ ミ ナ ー ル V	2	2			

第8節 スポーツ科学部

第87条 スポーツ科学部競技スポーツ学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、科目区分ごとに履修方法に定められた単位数を含め、合計124単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2 総合教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 総合科目				必修単位数4単位を含め、合計28単位以上を修得しなければならない。 C外国語科目については、英語Ⅰ～Ⅷの8単位、外国人留学生は日本語Ⅰ～Ⅷの8単位を修得しなければならない。	
生 活 と 法	2		2		
哲 学	1	2	2		
哲 学	2	2	2		
論 理 学	1	2	2		
論 理 学	2	2	2		
倫 理 学	1	2	2		
倫 理 学	2	2	2		
宗 教 学	1	2	2		
宗 教 学	2	2	2		
歴 史 学	1	2	2		
歴 史 学	2	2	2		
近 代 史	1	2	2		
近 代 史	2	2	2		
文 学	1	2	2		
文 学	2	2	2		
文 章 表 現	1	2	2		
文 章 表 現	2	2	2		
教 育 学	1	2	2		
教 育 学	2	2	2		
社 会 学	1	2	2		
社 会 学	2	2	2		

政治学	1	2		2	
政治学	2	2		2	
経済学	1	2		2	
経済学	2	2		2	
地理学	1	2		2	
地理学	2	2		2	
心理学	1	2		2	
心理学	2	2		2	
文化人類学	1	2		2	
文化人類学	2	2		2	
数学	1	2		2	
数学	2	2		2	
統計学	1	2		2	
統計学	2	2		2	
科学技術史	1	2		2	
科学技術史	2	2		2	
地球科学	1	2		2	
地球科学	2	2		2	
健康の科学	1	2		2	
健康の科学	2	2		2	
救急処置法		2		2	
教養特殊講義	1	2		2	
教養特殊講義	2	2		2	
教養特殊講義	3	2		2	
教養特殊講義	4	2		2	
教養特殊講義	5	2		2	
教養特殊講義	6	2		2	
B 基礎教育科目					
I コンピュータ科目					
コンピュータ・情報リテラシー	1		1		
II 健康・スポーツ科目					
スポーツ実技	1	1	1		
スポーツ実技	2	1		1	

スポーツ実技3	1		1	
スポーツ講義	2	2		
C 外国語科目				
I 英語科目				
英語 I	1		1	
英語 II	1		1	
英語 III	1		1	
英語 IV	1		1	
英語 V	1		1	
英語 VI	1		1	
英語 VII	1		1	
英語 VIII	1		1	
II 外国人留学生用科目				
日本語 I	1		1	
日本語 II	1		1	
日本語 III	1		1	
日本語 IV	1		1	
日本語 V	1		1	
日本語 VI	1		1	
日本語 VII	1		1	
日本語 VIII	1		1	
III 拡張外国語科目				
中国語 I	1		1	
中国語 II	1		1	
中国語 III	1		1	
中国語 IV	1		1	
韓国語 I	1		1	
韓国語 II	1		1	
韓国語 III	1		1	
韓国語 IV	1		1	
英語演習 1	1		1	
英語演習 2	1		1	
英語演習 3	1		1	
英語演習 4	1		1	

3 専門科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 実習科目				必修単位数10単位を含め、合計80単位以上を修得しなければならない。	
競技スポーツ実習Ⅰ	1		1		
競技スポーツ実習Ⅱ	1		1		
競技スポーツ実習Ⅲ	1		1	A実習科目について、計10単位以上を修得しなければならない。	
競技スポーツ実習Ⅳ	1		1		
競技スポーツ習得実習Ⅰ	1		1		
競技スポーツ習得実習Ⅱ	1		1	B基礎科目について、必修単位数8単位を含め、計16単位以上を修得しなければならない。	
競技スポーツ習得実習Ⅲ	1		1		
競技スポーツ習得実習Ⅳ	1		1		
競技スポーツ方法実習Ⅰ	1		1	C共通科目について、必修単位数2単位を含め、計16単位以上を修得しなければならない。	
競技スポーツ方法実習Ⅱ	1		1		
競技スポーツ方法実習Ⅲ	1		1	アスリートコースは、	
競技スポーツ方法実習Ⅳ	1		1	Dコース科目	
スポーツトレーニング実習Ⅰ	1		1	I アスリート科目の	
スポーツトレーニング実習Ⅱ	1		1	a群から2単位以上、	
スポーツトレーニング実習Ⅲ	1		1	b群から2単位以上、	
スポーツトレーニング実習Ⅳ	1		1	c群から2単位以上、	
トレーニングキャンプマネジメント実習Ⅰ	1		1	d群から2単位以上、	
トレーニングキャンプマネジメント実習Ⅱ	1		1	a群、b群、c群、d群のうちから2単位以上の計10単位以上を修得しなければならない。	
トレーニングキャンプマネジメント実習Ⅲ	1		1		
トレーニングキャンプマネジメント実習Ⅳ	1		1	スポーツサポートコースは、	
				Dコース科目	
				II スポーツサポート科目の	
B 基礎科目				a群から4単位以上、	
競技スポーツ原論	2	2		b群から4単位以上、	
トレーニング学原論	2	2		a群、b群のうちから2単位以上の計10単位以上を修得しなければならない。	
スポーツの法と倫理	2		2		
近代スポーツ史	2		2	Eゼミナール・卒業演習・卒業研究・卒業論文については、	
スポーツ生理学の基礎	2		2	a群から4単位以上、	
スポーツ医学の基礎	2		2	b群から4単位又は8単位以上の計8単位又は12単位以上修得しなければならない。	
機能解剖学の基礎	2		2		
コーチング学原論	2	2			
スポーツ運動学原論	2	2			

スポーツ栄養学の基礎	2		2		
スポーツ心理学の基礎	2		2		
バイオメカニクスの基礎	2		2		
コーチングのための健康管理の基礎	2		2		
スポーツ社会学の基礎	2		2		
C 共通科目					
コーチング学研究法演習	2	2			
試合論	2		2		
スポーツ生化学	2		2		
メンタルマネジメント	2		2		
トレーニング計画論	2		2		
アダプテッド・スポーツ	2		2		
スポーツ生理学演習	2		2		
スポーツ社会学演習	2		2		
スポーツ運動学演習	2		2		
メンタルマネジメント演習	2		2		
トレーニング計画論演習	2		2		
タレントの発掘と育成	2		2		
スポーツ栄養学演習	2		2		
バイオメカニクス演習	2		2		
コーチング学演習	2		2		
スポーツ医学演習	2		2		
アダプテッド・スポーツ演習	2		2		
アンチドーピング論	2		2		
スポーツとメディア	2		2		
スポーツ観察演習Ⅰ	2		2		
スポーツ観察演習Ⅱ	2		2		
スポーツ観察演習Ⅲ	2		2		
スポーツ観察演習Ⅳ	2		2		
コーチング基礎演習Ⅰ	2		2		
コーチング基礎演習Ⅱ	2		2		
コーチング実践演習Ⅰ	2		2		
コーチング実践演習Ⅱ	2		2		
コーチング統合演習Ⅰ	2		2		

コーチング統合演習Ⅱ	2	2	
スポーツキャリアデザインⅠ	2	2	
スポーツキャリアデザインⅡ	2	2	
スポーツ・インターンシップ1	2	2	
スポーツ・インターンシップ2	2	2	
スポーツビジネス論	2	2	
スポーツマーケティング論	2	2	
オリンピック・パラリンピック論	2	2	
海外実地研修	2	2	
スポーツビジネス論演習	2	2	
D コース科目			
I アスリート科目			
技術トレーニング論	2	2	} a群
体力トレーニング論	2	2	
戦術トレーニング論	2	2	
測定競技論	2	2	} b群
判定競技論	2	2	
評定競技論	2	2	
技術トレーニング論演習	2	2	} c群
体力トレーニング論演習	2	2	
戦術トレーニング論演習	2	2	
測定競技論演習	2	2	} d群
判定競技論演習	2	2	
評定競技論演習	2	2	
II スポーツサポート科目			
スポーツ制度・行政	2	2	} a群
スポーツ経営管理	2	2	
アスレチックリハビリテーション	2	2	
スポーツ測定評価	2	2	
チームマネジメント論	2	2	

スポーツマッサージ演習	2	2	}	b群
アスレチックリハビリテーション演習	2	2		
コーチングのための栄養学	2	2		
スポーツ測定評価演習	2	2		
チームマネジメント論演習	2	2		
スポーツマネジメント演習Ⅰ	2	2		
スポーツマネジメント演習Ⅱ	2	2	}	a群
E ゼミナール・卒業演習・卒業研究・卒業論文				
競技スポーツ専門演習Ⅰ	2	2		
競技スポーツ専門演習Ⅱ	2	2		
ゼミナールⅠ	2	2		
ゼミナールⅡ	2	2		
競技スポーツ専門演習Ⅲ	2	2	}	b群
競技スポーツ専門演習Ⅳ	2	2		
卒業研究	4	4		
卒業論文	8	8		

第9節 理工学部

第88条 理工学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、科目区分ごとに履修方法で定めた単位数（第88条第5号の学芸員課程科目を除く）を含め、126単位以上を修得しなければならない。

なお、第64条第3項の教科及び教職に関する科目（各教科の指導法に関する科目、教諭の教育の基礎的理解に関する科目等）の「現代教職論」について、修得した単位を教養教育科目に算入することができる。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2 教養教育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(多文化と社会の理解)				16単位以上を修得しなければならない。	
倫 理 学	2		2	多文化と社会の理解から6単位以上、心と身体 の表現から4単位以上、 科学・技術のリテラシー から4単位以上を修得し なければならない。	
歴 史 学	2		2		
文 学	2		2		
法 学	2		2		
社 会 学	2		2		
経 済 学	2		2		
日 本 国 憲 法	2		2		
ド イ ツ 語 I	1		1		
ド イ ツ 語 II	1		1		
フ ラ ン ス 語 I	1		1		
フ ラ ン ス 語 II	1		1		
中 国 語 I	1		1		
中 国 語 II	1		1		
こ と ば と 文 化	2		2		
日 本 の 文 化	2		2		
日 本 語 I	1		1		外国人留学生のみ履修 できる。
日 本 語 II	1		1		

(心と身体の表現)					
哲 学	2		2		
日本語表現の基礎	1		1		
クリティカル・シンキング	1		1		
感性芸術学	2		2		
心理学	2		2		
スポーツⅠ	1	1			
スポーツⅡ	1		1		
スポーツⅢ	1		1		
健康の科学	1		1		
(科学・技術のリテラシー)					
技術者倫理	2		2		
科学技術と人間	2		2		
科学技術と経済	2		2		
知的財産権論	2		2		
科学技術史	2		2		
現代物理学	2		2		
地球環境化学	2		2		
自然環境論	2		2		
地理学	2		2		
日本の科学技術	2		2		外国人留学生のみ履修できる。
(総合・ゼミナール)					
総合講座	2		2		
教養基礎ゼミナール	1		1		

3 基礎教育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(グローバルスキル分野)					
英 語 I A	1	1		必修単位数4単位を含 め、合計22単位以上を修 得しなければならない。	
英 語 I B	1	1		グローバルスキル分野 から7単位以上を修得し なければならない。	
英 語 II A	1	1		英語ⅢA	
英 語 II B	1	1		英語ⅢB	

英 語 III A	1	1	English Communication I
英 語 III B	1	1	English Communication II
English Communication I	1	1	のうちから2単位以上を修得しなければならない。
English Communication II	1	1	英語特殊講義A
英語特殊講義 A	1	1	英語特殊講義B
英語特殊講義 B	1	1	のうちから1単位以上を修得しなければならない。
(基礎科学分野 数学系)			
関 数 論 I	2	2	基礎科学分野から、数学系、物理学系、化学系から各2単位以上を含めて、14単位以上を修得しなければならない。
関 数 論 II	2	2	
微 分 方 程 式 I	2	2	土木工学科は、関数論 I、関数論 II、微分方程式 I、微分方程式 II、微分積分学 I、微分積分学 II、線形代数学 I、線形代数学 IIのうちから4単位以上を修得しなければならない。また、力と運動の物理学 I、力と運動の物理学 II、基礎物理学実験のうちから4単位以上を修得しなければならない。
微 分 方 程 式 II	2	2	
微 分 積 分 学 I	2	2	
微 分 積 分 学 II	2	2	
線 形 代 数 学 I	2	2	
線 形 代 数 学 II	2	2	
数 理 統 計 学 I	2	2	
数 理 統 計 学 II	2	2	
数 学 演 習 I	1	1	交通システム工学科は、微分積分学 I、微分積分学 II、線形代数学 I、物理学 Iを必修とする。
数 学 演 習 II	1	1	
(基礎科学分野 物理学系)			
熱とエントロピーの物理学	2	2	機械工学科は、微分積分学 I、線形代数学 Iを必修とする。
電気と磁気の物理学	2	2	
物 理 学 I	2	2	
物 理 学 II	2	2	
力と運動の物理学 I	2	2	
力と運動の物理学 II	2	2	
物 理 学 I 演 習	1	1	精密機械工学科は、微分積分学 I、微分積分学 II、線形代数学 I、線形代数学 II、物理学 I、物理学 IIを必修とする。
物 理 学 II 演 習	1	1	
力と運動の物理学 I 演習	1	1	
力と運動の物理学 II 演習	1	1	
基礎物理学実験	2	2	航空宇宙工学科は、基礎物理学実験を必修とする。
(基礎科学分野 化学系)			

基礎化学実験	2		2	
物質の構造と状態	2		2	
物質の変化と性質	2		2	電気工学科は、関数論Ⅰ、微分方程式Ⅰ、微分方程式Ⅱ、微分積分学Ⅰ、微分積分学Ⅱ、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、数学演習Ⅰのうちから8単位以上を修得しなければならない。また、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、物理学Ⅰ演習、物理学Ⅱ演習のうちから2単位以上を修得しなければならない。
材料化学	2		2	物理学科は、基礎物理学実験、物理学Ⅰ、物理学Ⅰ演習を必修とする。

4 専門教育科目

I 土木工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数18単位を含め、合計86単位以上を修得しなければならない。	
土木工学インセンティブ	2	2			
土木工学キャリアデザイン	1	1		データの解析	
力学の基礎Ⅰ及び演習	3	3		土木工学のための統計分析	
力学の基礎Ⅱ及び演習	3	3		プログラミングⅠ	
土木工学特別講義	2		2	プログラミングⅡ	のうちから6単位以上を修得しなければならない。
測量学Ⅰ	2		2	応用力学Ⅰ	
測量実習Ⅰ	1	1		応用力学Ⅰ演習	
測量学Ⅱ	2		2	応用力学Ⅱ	
測量実習Ⅱ	1	1		応用力学Ⅱ演習	
災害と土木の歴史	2		2	建設材料	
データの解析	2		2	コンクリート工学	
建設材料	2		2	コンクリート構造設計	
デザイン基礎・演習	2		2	コンクリート構造設計演習	
コンクリート工学	2		2	材料力学	
コンクリート構造設計	2		2	材料力学演習	のうちから14単位以上を修得しなければならない。
コンクリート構造設計演習	1		1		

応用力学 I	2	2	
応用力学 I 演習	1	1	
応用力学 II	2	2	地盤力学 I 地盤力学 I 演習
応用力学 II 演習	1	1	地盤力学 II 地盤力学 II 演習
材料力学	2	2	地盤工学 I
材料力学演習	1	1	のうちから6単位以上を修得しなければならない。
水理学 I	2	2	水理学 I 水理学 I 演習
水理学 I 演習	1	1	水理学 II
水理学 II	2	2	水理学 II 演習
水理学 II 演習	1	1	応用水理学 河川環境工学
応用水理学	2	2	のうちから8単位以上を修得しなければならない。
河川環境工学	2	2	
地盤力学 I	2	2	構造力学及び演習
地盤力学 I 演習	1	1	地盤工学 II
地盤力学 II	2	2	応用水理学演習
地盤力学 II 演習	1	1	海岸環境工学
地盤工学 I	2	2	設計システム論
マネジメント概論	2	2	橋の力学とデザイン
土木計画の基礎	2	2	まちづくり事業論
都市計画	2	2	水質環境学及び演習
交通計画	2	2	空間情報処理
地球環境学	2	2	地震工学
環境汚染学	2	2	環境地盤工学
上下水道工学	2	2	海岸施設の設計と管理
上下水道工学演習	1	1	社会資本マネジメント
土木工学のための統計分析	2	2	資源循環学
プログラミング I	2	2	応用生態工学
プログラミング II	2	2	砂防防災工学
景観・デザイン	2	2	道路工学
			インフラ工学
			のうちから10単位以上を修得しなければならない。
			デザイン基礎・演習
			景観・デザイン
			プロジェクトスタディ I
			プロジェクトスタディ II
			のうちから6単位以上を修得しなければならない。
			材料実験
			構造実験
			土質実験
			水理実験
			水質実験
			のうち

			材料実験 土質実験 から1単位以上を含めて2単 位以上を修得しなければな らない。
プロジェクトスタディⅠ	2		2
ゼミナール	1		1
設計システム論	2		2
橋の力学とデザイン	2		2
構造力学及び演習	3		3
応用水理学演習	1		1
海岸環境工学	2		2
地盤工学Ⅱ	2		2
水質環境学及び演習	3		3
まちづくり事業論	2		2
プロジェクトスタディⅡ	2		2
空間情報処理	2		2
インターンシップ	1		1
地震工学	2		2
海岸施設の設計と管理	2		2
環境地盤工学	2		2
社会資本マネジメント	2		2
資源循環学	2		2
応用生態工学	2		2
砂防防災工学	2		2
道路工学	2		2
インフラ工学	2		2
材料実験	1		1
土質実験	1		1
水理実験	1		1
構造実験	1		1
水質実験	1		1
土木工学総合演習	1	1	
卒業研究	6	6	
(B群)			

代 数 学 I	2		2	
代 数 学 II	2		2	
幾 何 学 I	2		2	
幾 何 学 II	2		2	
物 理 学 概 論	2		2	
化 学 概 論	2		2	
生 物 学 概 論	2		2	
生 物 学 実 験	1		1	
地 学 概 論	2		2	
地 学 実 験	1		1	
木 材 加 工	2		2	
木 材 加 工 実 習	2		2	
金 属 加 工	2		2	
金 属 加 工 実 習	2		2	
機 械 (含 実 習)	2		2	
電 気 (含 実 習)	2		2	
栽 培 (含 実 習)	2		2	
工 業 概 論	2		2	
職 業 指 導 I	2		2	
職 業 指 導 II	2		2	

II 交通システム工学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(A群)				A群から必修単位数61単位 を含め,合計86単位以上を 修得しなければならない。	
交通システム工学インセンティブ	2	2			
交通システム工学キャリアデザイン	1	1			
環 境 ・ 技 術 者 倫 理	2	2			
国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 I	2		2		
国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 II	2		2		
数 理 統 計 学	2	2			
プ ロ グ ラ ミ ン グ	2		2		
				【エンジニアリングコース】は 構造力学 I 構造力学演習 道路工学 地盤・基礎構造 コンクリート構造 橋梁及び鋼構造演習 の6科目11単位を必修と する。	

多変量解析	2		2	地盤材料実験 鋼・コンクリート実験 舗装材料実験 のうちから2科目4単位以上を修得しなければならない。
製図・デザイン基礎Ⅰ	2	2		
製図・デザイン基礎Ⅱ	2	2		
測量学	2	2		
測量実習	4	4		
交通総論	2	2		
交通施設計画概論	2	2		
交通流理論	2	2		
交通システム計画	2	2		
観光交通論	2		2	
オペレーションズ・リサーチ	2	2		
交通制御	2		2	
システム工学	2		2	
交通需要予測	1		1	
交通経済学	2		2	
交通事業論	2		2	
交通現象解析	2	2		
交通安全	2		2	
交通生理・心理学	2		2	
ロジスティクス概論	2		2	
都市計画	2	2		
交通情報工学	2	2		
景観デザイン工学	2		2	
プロジェクトマネジメント	2		2	
情報処理	1	1		
空間情報工学	2	2		
交通環境工学	2	2		
ユニバーサルデザイン	2		2	
技術者のための会計学	2		2	
国際開発援助論	2		2	
情報通信システム	2		2	
交通環境解析	2	2		
マーケティング・リサーチ	2		2	
				【マネジメントコース】 は、 観光交通論 交通経済学 交通事業論 ロジスティクス概論 プロジェクトマネジメント 技術者のための会計学 国際開発援助論 マーケティング・リサーチ の8科目16単位を必修とする。

都市衛生・防災	2		2	
基礎力学Ⅰ	2	2		
基礎力学Ⅱ	2	2		
構造力学Ⅰ	2		2	
構造力学Ⅱ	2		2	
構造力学演習	1		1	
水理学	2	2		
建設材料	2	2		
道路工学	2		2	
地盤力学	2	2		
地盤材料実験	2		2	
鋼・コンクリート実験	2		2	
舗装材料実験	2		2	
鉄道工学	2		2	
空港・港湾工学	2		2	
地盤・基礎構造	2		2	
コンクリート構造	2		2	
橋梁及び鋼構造演習	2		2	
舗装工学	2		2	
ゼミナール	2	2		
交通システムプロジェクト演習	2	2		
交通システム工学総合演習	1	1		
卒業研究	6	6		
(B群)				
代数学Ⅰ	2		2	
代数学Ⅱ	2		2	
幾何学Ⅰ	2		2	
幾何学Ⅱ	2		2	
物理学概論	2		2	
化学概論	2		2	
生物学概論	2		2	
生物学実験	1		1	
地学概論	2		2	

地 学 実 験	1		1		
木 材 加 工	2		2		
木 材 加 工 実 習	2		2		
金 属 加 工	2		2		
金 属 加 工 実 習	2		2		
機 械 (含 実 習)	2		2		
電 気 (含 実 習)	2		2		
栽 培 (含 実 習)	2		2		
工 業 概 論	2		2		
職 業 指 導 I	2		2		
職 業 指 導 II	2		2		

Ⅲ 建築学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(A群)				A群から必修単位数49単位 を含め,合計86単位以上を 修得しなければならない。	
建築学インセンティブ	2	2			
建築学キャリアデザイン	1	1			
デ ザ イ ン 基 礎 I	2	2			
デ ザ イ ン 基 礎 II	2	2			
建 築 設 計 I	2	2			
建 築 設 計 II	2	2			
建 築 設 計 III	2	2			
建 築 設 計 IV	2		2		
デザインワークショップ	1		1		
建 築 計 画 I	2	2			
建 築 計 画 II	2		2		
建 築 設 計 論 I	2		2		
建 築 設 計 論 II	2		2		
ユニバーサルデザイン	2		2		
ランドスケープデザイン	2		2		
建築デザインと歴史	2		2		

建	築	史	I	2	2			
建	築	史	II	2		2		
建	築	史	III	2		2		
建	築	史	IV	2		2		
保	存	修	復	論	2		2	
都	市	計	画	I	2	2		
都	市	計	画	II	2		2	
都	市	計	画	III	2		2	
住	環	境	計	画	2		2	
建	築	法	規	2	2			
行	政	法	規	2		2		
建	築	計	画	特別	講	義	2	
環	境	工	学	I	2	2		
環	境	工	学	II	2		2	
環	境	工	学	III	2		2	
環	境	工	学	IV	2		2	
環	境	工	学	演	習	I	1	1
環	境	工	学	演	習	II	1	1
建	築	設	備	I	2	2		
建	築	設	備	II	2		2	
建	築	設	備	III	2		2	
環	境	設	備	特別	講	義	2	
初	等	構	造	力	学	2		2
構	造	力	学	I	2	2		
構	造	力	学	II	2		2	
構	造	力	学	III	2		2	
構	造	力	学	IV	2		2	
構	造	力	学	演	習	I	1	1
構	造	力	学	演	習	II	1	1
構	造	力	学	演	習	III	1	1
構	造	力	学	演	習	IV	1	1
応	用	力	学	I	2	2		
応	用	力	学	II	2		2	

応用力学演習Ⅰ	1		1	
応用力学演習Ⅱ	1		1	
鉄筋コンクリート構造Ⅰ	2	2		
鉄筋コンクリート構造Ⅱ	2		2	
鋼構造	2	2		
建築基礎構造	2		2	
振動工学	2		2	
対地震構造	2		2	
構造設計	3		3	
建築構造特別講義	2		2	
建築材料Ⅰ	2	2		
建築材料Ⅱ	2		2	
建築構法Ⅰ	2		2	
建築構法Ⅱ	2		2	
建築施工	2	2		
建築積算・生産管理	2		2	
コンストラクションワークショップ	1		1	
建築基礎実験	1	1		
建築実験Ⅰ	1	1		
建築実験Ⅱ	1	1		
建築実験Ⅲ	1	1		
建築実験Ⅳ	1	1		
建築情報処理Ⅰ	1		1	
建築情報処理Ⅱ	1		1	
建築情報処理Ⅲ	1		1	
建築学の実践	2		2	
建築学総合演習	1	1		
卒業研究・設計	6	6		
(B群)				
代数学Ⅰ	2		2	
代数学Ⅱ	2		2	
幾何学Ⅰ	2		2	
幾何学Ⅱ	2		2	

物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論	2		2		
地学実験	1		1		
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
電気（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導 I	2		2		
職業指導 II	2		2		

IV 海洋建築工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数53単位を含め、合計86単位以上を修得しなければならない。	
海洋建築工学インセンティブ	2	2			
海洋建築工学キャリアデザイン	1	1			
海洋建築工学キャリアスタディ	1		1		
海と建築	2	2			
応用数学及び演習	3		3		
情報基礎	1	1			
情報システム概論	1		1		
コンピュータプログラミング	1		1		
海洋建築実験 I A	1	1			
海洋建築実験 I B	1	1			
海洋建築実験 II A	1	1			

海洋建築実験ⅡB	1	1		
海洋建築実験Ⅲ	2	2		
基礎海洋学	2		2	
海洋及び環境計測	2		2	
海洋環境工学Ⅰ	2	2		
海洋環境工学Ⅱ	2		2	
海洋環境アセスメント	2		2	
海洋流体力学及び演習	3		3	
水波工学及び演習	3	3		
沿岸域工学及び演習	3		3	
建築環境工学	2	2		
建築設備	2	2		
ベーシックデザイン演習	2	2		
デザイン演習Ⅰ	2	2		
デザイン演習Ⅱ	2	2		
デザイン演習Ⅲ	2		2	
建築計画Ⅰ	2	2		
建築計画Ⅱ	2	2		
建築計画Ⅲ	2		2	
建築計画及び演習	3		3	
親水空間計画	2		2	
ウォーターフロント計画Ⅰ	2		2	
ウォーターフロント計画Ⅱ	2		2	
海洋施設計画	2		2	
建築デザイン史	2		2	
建築法規	2	2		
海洋空間計画と関連法規	2		2	
防災安全工学	2		2	
海洋資源と開発技術	2		2	
力学基礎	2		2	
構造力学及び演習Ⅰ	3	3		
構造力学及び演習Ⅱ	3	3		
構造力学及び演習Ⅲ	3	3		

構造力学及び演習Ⅳ	3		3	
建築構造及び材料Ⅰ	2		2	
建築構造及び材料Ⅱ	2		2	
建築施工法	2	2		
海洋建築の材料と施工法	2		2	
コンクリート構造及び演習	3		3	
鋼構造及び演習	3		3	
地盤環境工学	2		2	
構造解析	2		2	
振動工学	2		2	
海洋建築物の構造計画	2		2	
浮体工学及び演習	3		3	
ゼミナール	2		2	
総合演習	2	2		
海洋建築工学総合演習	1	1		
卒業研究	6	6		
(B群)				
木材加工	2		2	
木材加工実習	2		2	
金属加工	2		2	
金属加工実習	2		2	
機械(含実習)	2		2	
電気(含実習)	2		2	
栽培(含実習)	2		2	
工業概論	2		2	
職業指導Ⅰ	2		2	
職業指導Ⅱ	2		2	

Ⅴ まちづくり工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
まちづくり工学インセンティブ	2	2		必修単位数29単位を含め、合計86単位以上を修得しなければならない。	
まちづくり工学キャリアデザイン	1	1			

まちづくり工学概論	2	2		基礎力学Ⅰ
まちづくりと職能	2	2		基礎力学Ⅱ
インターンシップ	2		2	構造力学Ⅰ
まちづくり技術の実践	2		2	構造力学Ⅱ
コンピュータ演習	1		1	まちづくり関連法規
基礎力学Ⅰ	2		2	建築計画Ⅰ
基礎力学Ⅱ	2		2	都市計画Ⅰ
構造力学Ⅰ	2		2	都市デザイン
構造力学Ⅱ	2		2	都市・地域防災論
地盤力学	2		2	景観原論
水理学	2		2	観光原論
交通総論	2		2	福祉のまちづくり
まちづくり関連法規	2		2	まちづくりワーク
デザイン基礎	1	1		ショップⅡ
建築デザイン演習	2	2		のうちから22単位以上
景観デザイン演習	2	2		を修得しなければなら
都市・地域デザイン演習	2		2	ない。
まちづくり人間科学演習	1		1	
福祉環境実験	2	2		
住宅・都市のユニバーサルデザイン演習	2		2	
測量学	2		2	
測量実習Ⅰ	2	2		
測量実習Ⅱ	2	2		
都市環境学概論	2		2	
建築計画Ⅰ	2		2	
建築計画Ⅱ	2		2	
都市計画Ⅰ	2		2	
都市計画Ⅱ	2		2	
社会基盤デザイン	2		2	
都市デザイン	2		2	
都市・地域防災論	2		2	
景観原論	2		2	

景観まちづくり論	2		2	
グリーンランドスケープ	2		2	
観光原論	2		2	
観光まちづくり論	2		2	
福祉のまちづくり	2		2	
ユニバーサルデザイン	2		2	
地域健康づくり論	2		2	
住宅・都市のユニバーサルデザイン	2		2	
歴史・文化とまちづくり	2		2	
まちづくりワークショップI	2	2		
まちづくりワークショップII	2		2	
宅地建物学	2		2	
建築構法I	2		2	
建築構法II	2		2	
建築生産	2		2	
建築物の設備	2		2	
都市環境計画	2		2	
建設材料学	2		2	
国土・地域計画	2		2	
まちづくり事業・制度論	2		2	
ウォーターフロント計画	2		2	
建設マネジメント	2		2	
上下水道工学	2		2	
流域管理工学	2		2	
空間情報処理	2		2	
ゼミナール	2	2		
工業総論	2		2	
工業職業指導I	2		2	
工業職業指導II	2		2	
まちづくり工学総合演習	1	1		
卒業研究	6	6		

VI 機械工学科

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(A 群)				A群から必修単位数40単位を含め、合計86単位以上を修得しなければならない。	
機械工学インセンティブ	2	2			
機械工学キャリアデザイン	1	1			
機 械 工 作 実 習 A	2	2		機械力学Ⅲ 材料力学Ⅱ 材料力学Ⅲ	
機 械 工 作 実 習 B	2	2		のうちから2単位以上を修得しなければならない。	
機 械 工 学 実 験 I A	2	2			
機 械 工 学 実 験 I B	2	2		流体力学Ⅱ 流体力学Ⅲ	
機 械 工 学 実 験 II A	2	2		熱力学Ⅱ 熱力学Ⅲ	
機 械 工 学 実 験 II B	2	2		のうちから4単位以上を修得しなければならない。	
機 械 設 計 製 図 I A	2	2		機械工作法Ⅰ 機械工作法Ⅱ	
機 械 設 計 製 図 I B	2	2		機械要素Ⅰ 機械要素Ⅱ	
機 械 設 計 製 図 II A	2	2		機械の材料	
機 械 設 計 製 図 II B	2	2		のうちから6単位以上を修得しなければならない。	
C A D / C A M	2		2	メカニクス基礎 コンピュータプログラミングⅠ	
機 械 力 学 I	2	2		コンピュータプログラミングⅡ	
機 械 力 学 II	2	2		電気の基礎Ⅰ 電気の基礎Ⅱ	
機 械 力 学 III	2		2	エンジニアリングアナリシス 計測工学	
材 料 力 学 I	2	2		のうちから6単位以上を修得しなければならない。	
材 料 力 学 II	2		2		
材 料 力 学 III	2		2		
流 体 力 学 I	2	2			

流 体 力 学 II	2		2		
流 体 力 学 III	2		2		
熱 力 学 I	2	2			
熱 力 学 II	2		2		
熱 力 学 III	2		2		
機 械 工 作 法 I	2		2		
機 械 工 作 法 II	2		2		
機 械 要 素 I	2		2		
機 械 要 素 II	2		2		
機 械 の 材 料	2		2		
メカニクス基礎	2		2		
コンピュータプログラミングI	2		2		
コンピュータプログラミングII	2		2		
電 気 の 基 礎 I	2		2		
電 気 の 基 礎 II	2		2		
エンジニアリングアナリシス	2		2		
計 測 工 学	2		2		
機械力学・材料力学演習 A	1		1		
機械力学・材料力学演習 B	1		1		
流体力学・熱力学演習 A	1		1		
流体力学・熱力学演習 B	1		1		
振 動 工 学	2		2		
動 的 シ ス テ ム	2		2		

制 御 工 学 I	2		2		
制 御 工 学 II	2		2		
ロ ボ ッ ト 工 学	2		2		
自 動 車 運 動 力 学	2		2		
先 進 自 動 車 シ ス テ ム	2		2		
弾 性 学 I	2		2		
弾 性 学 II	2		2		
軽 量 構 造 力 学	2		2		
F E M 構 造 解 析	2		2		
流 体 工 学 I	2		2		
流 体 工 学 II	2		2		
数 値 熱 流 体 工 学	2		2		
伝 熱 工 学	2		2		
熱 流 体 工 学	2		2		
内 燃 機 関	2		2		
ガ ス タ ー ビ ン	2		2		
機 械 加 工 学	2		2		
工 作 機 械	2		2		
塑 性 と 加 工	2		2		
生 産 シ ス テ ム	2		2		
機 械 工 学 特 殊 講 義	2		2		
機 械 工 学 総 合 演 習	1	1			
卒 業 研 究	6	6			

(B群)					
代 数 学 I	2		2		
代 数 学 II	2		2		
幾 何 学 I	2		2		
幾 何 学 II	2		2		
物 理 学 概 論	2		2		
化 学 概 論	2		2		
生 物 学 概 論	2		2		
生 物 学 実 験	1		1		
地 学 概 論	2		2		
地 学 実 験	1		1		
木 材 加 工	2		2		
木 材 加 工 実 習	2		2		
電 気 (含 実 習)	2		2		
栽 培 (含 実 習)	2		2		
工 業 概 論	2		2		
職 業 指 導 I	2		2		
職 業 指 導 II	2		2		

V II 精密機械工学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(A群)					
精密機械工学インセンティブ	2	2		A群から必修単位数20単位を含め, 合計86単位以上を修得しなければならない。	
精密機械工学キャリアデザイン	1	1			

微分方程式の基礎 I	2		2	微分方程式の基礎 I
微分方程式の基礎 II	2		2	微分方程式の基礎 II
関数論の基礎 I	2		2	関数論の基礎 I
関数論の基礎 II	2		2	関数論の基礎 II
精密機械工学リテラシ	2		2	精密機械工学リテラシ
コンピュータプログラミング	2		2	コンピュータプログラミング
工業数学	2		2	工業数学
工作実習実験 I	1	1		のうちから8単位以上を修得しなければならない。
工作実習実験 II	1	1		工業力学 I
機械実験 I	1	1		工業力学 II
機械実験 II	1	1		材料力学 I
電気電子実験 I	1	1		材料力学 II
電気電子実験 II	1	1		流体力学
機械設計製図 I A	1	1		熱力学
機械設計製図 I B	1	1		のうちから8単位以上を修得しなければならない。
機械設計製図 II A	1	1		電磁気学 I
機械設計製図 II B	1	1		電磁気学 II
工業力学 I	2		2	電気回路 I
工業力学 II	2		2	電気回路 II
材料力学 I	2		2	アナログ回路
材料力学 II	2		2	デジタル回路
流体力学	2		2	のうちから8単位以上を修得しなければならない。
熱力学	2		2	機械計測
工業熱力学	2		2	制御工学 I
流体工学	2		2	制御工学 II
電磁気学 I	2		2	制御システム
電磁気学 II	2		2	測定値計算法
電気回路 I	2		2	ロボット工学 I
電気回路 II	2		2	のうちから8単位以上を修得しなければならない。
アナログ回路	2		2	機械要素
デジタル回路	2		2	機構学
機械計測	2		2	機械加工学 I
制御工学 I	2		2	機械加工学 II
				材料学
				機械材料
				のうちから8単位以上を修得しなければならない。

制 御 工 学 II	2		2	
制 御 シ ス テ ム	2		2	
測 定 値 計 算 法	2		2	
ロ ボ ッ ト 工 学 I	2		2	
ロ ボ ッ ト 工 学 II	2		2	
機 械 要 素	2		2	
機 構 学	2		2	
機 械 加 工 学 I	2		2	
機 械 加 工 学 II	2		2	
材 料 学	2		2	
機 械 材 料	2		2	
振 動 工 学	2		2	
マイクロマシニング	2		2	
光 工 学	2		2	
デ ジ タ ル 制 御	2		2	
半 導 体 工 学	2		2	
コ ン ピ ュ ー タ 工 学	2		2	
メ カ ト ロ ニ ク ス	2		2	
コ ン ピ ュ ー タ シ ミ ュ レ ー シ ョ ン	2		2	
コ ン ピ ュ ー タ グ ラ フ ィ ク ス	2		2	
人 工 知 能	2		2	
人 間 工 学	2		2	
シ ス テ ム 工 学	2		2	
工 学 解 析 の 方 法 I	2		2	
工 学 解 析 の 方 法 II	2		2	
特 別 講 義	2		2	
精 密 機 械 工 学 総 合 演 習	1	1		
卒 業 研 究	6	6		
(B群)				
代 数 学 I	2		2	
代 数 学 II	2		2	
幾 何 学 I	2		2	
幾 何 学 II	2		2	

物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論	2		2		
地学実験	1		1		
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械(含実習)	2		2		
電気(含実習)	2		2		
栽培(含実習)	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

VⅢ 航空宇宙工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数38単位を含め、合計86単位以上を修得しなければならない。	
航空宇宙工学インセンティブ	2	2			
航空宇宙工学キャリアデザイン	1	1			
基礎製図Ⅰ	2	2		工業数学Ⅰ 工業数学Ⅱ 工業数学Ⅲ 工業数学Ⅳ	
基礎製図Ⅱ	2	2		のうちから4単位以上を修得しなければならない。	
設計製図Ⅰ	2	2			
設計製図Ⅱ	2	2		コンピュータプログラミングⅠ コンピュータプログラミングⅡ	
航空宇宙工学実験Ⅰ	4	4		航空宇宙力学シミュレーション	
航空宇宙工学実験ⅡA	2	2		のうちから2単位以上を修得しなければならない。	

航空宇宙工学実験ⅡB	2	2	
力学の基礎演習	1	1	
工業数学Ⅰ	2	2	工業力学Ⅱ及び演習
工業数学Ⅱ	2	2	制御工学Ⅰ
工業数学Ⅲ	2	2	飛行力学Ⅰ
工業数学Ⅳ	2	2	宇宙機力学Ⅰ
コンピュータプログラミングⅠ	1	1	材料力学Ⅱ及び演習
コンピュータプログラミングⅡ	1	1	航空宇宙材料Ⅰ
航空宇宙力学シミュレーション	1	1	航空機構造力学
電気の基礎	2	2	振動工学
電子回路	2	2	熱力学Ⅱ及び演習
信号処理	2	2	伝熱工学Ⅰ
機械要素及び工作法	2	2	反応性流体力学
システム工学	2	2	流体力学Ⅱ及び演習
宇宙機設計	2	2	航空力学Ⅰ
航空機構造設計製図	2	2	粘性流体力学
機体生産技術	2	2	のうちから20単位以上を修得しなければならない。
工業力学Ⅰ及び演習	3	3	
工業力学Ⅱ及び演習	3	3	
制御工学Ⅰ	2	2	
制御工学Ⅱ	2	2	
制御工学Ⅲ	2	2	
飛行力学Ⅰ	2	2	

飛行力学Ⅱ	2		2	
宇宙機力学Ⅰ	2		2	
宇宙機力学Ⅱ	2		2	
材料力学Ⅰ及び演習	3	3		
材料力学Ⅱ及び演習	3		3	
材料力学Ⅲ	2		2	
航空宇宙材料Ⅰ	2		2	
航空宇宙材料Ⅱ	2		2	
航空機構造力学	2		2	
振動工学	2		2	
熱力学と流体力学の基礎	2		2	
熱力学Ⅰ及び演習	3	3		
熱力学Ⅱ及び演習	3		3	
伝熱工学Ⅰ	2		2	
伝熱工学Ⅱ	2		2	
ジェットエンジン	2		2	
反応性流体力学	2		2	
ロケットエンジン	2		2	
流体力学Ⅰ及び演習	3	3		
流体力学Ⅱ及び演習	3		3	
航空力学Ⅰ	2		2	
航空力学Ⅱ	2		2	
粘性流体力学	2		2	

圧縮性流体力学	2		2		
空力設計法	2		2		
航空宇宙工学工房演習Ⅰ	1		1		
航空宇宙工学工房演習Ⅱ	1		1		
航空宇宙工学工房演習Ⅲ	1		1		
航空宇宙工学工房演習Ⅳ	1		1		
航空宇宙工学工房演習Ⅴ	1		1		
航空宇宙工学特殊講義	2		2		
航空宇宙工学総合演習	1	1			
卒業研究	6	6			
(B群)					
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械(含実習)	2		2		
電気(含実習)	2		2		
栽培(含実習)	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅸ 電気工学科

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(A群)					A群から必修単位数25単位を含め、合計86単位以上を修得しなければならない。
電気工学インセンティブ	2	2			
電気工学キャリアデザイン	1	1			
電気工学のための数学	2		2	電気工学のための数学	
電気回路の基礎	2		2	電気回路の基礎	
電 磁 気 の 基 礎	2		2	電磁気の基礎	
電 気 計 測	2		2	電気計測	
エレクトロニクス計測	2		2	エレクトロニクス計測	
回路の過渡応答	2		2	回路の過渡応答	
回路とシステムの基礎	2		2	回路とシステムの基礎	
コンピュータプログラミング	1		1	コンピュータプログラミング	
コンピュータシミュレーションI	1		1	コンピュータシミュレーションI	
コンピュータシミュレーションII	1		1	コンピュータシミュレーションII	
電気回路 I 及び演習	3		3	電気回路 I 及び演習	
電気回路 II 及び演習	3		3	電気回路 II 及び演習	
電磁気学 I 及び演習	3		3	電磁気学 I 及び演習	
電磁気学 II 及び演習	3		3	電磁気学 II 及び演習	
電気工学基礎実験	2	2			
電気工学実験 I	2	2			
電気電子工学実験	2	2			
電気工学実験 II	2	2			
回路デザイン実験	2	2			
電気工学実験 III	2	2			
電気工学ものづくり実験	2		2		
電 気 機 器 I	2		2		
電 気 機 器 II	2		2		
電 力 機 器	2		2		
パワーエレクトロニクス	2		2		

電気機器設計	2	2		
送配電工学Ⅰ	2	2		
送配電工学Ⅱ	2	2		
発電電工学Ⅰ	2	2		
発電電工学Ⅱ	2	2		
制御の基礎	2	2		
制御工学	2	2		
電気法規及び施設管理	2	2		
情報の基礎	2	2		
情報エントロピーの科学	2	2		
情報工学	2	2		
情報ネットワーク	2	2		
通信工学	2	2		
ワイヤレスコミュニケーション	2	2		
電磁波の基礎	2	2		
電磁波工学	2	2		
画像処理	2	2		
音響工学	2	2		
超音波工学	2	2		
通信法規	2	2		
物性の基礎	2	2		
半導体デバイスの基礎	2	2		
電子デバイス	2	2		
電気材料	2	2		
先端材料工学	2	2		
放電プラズマ応用	2	2		
電子回路Ⅰ	2	2		
電子回路Ⅱ	2	2		
デジタル回路	2	2		
電子回路CAD	2	2		
オプトロニクス	2	2		
エレクトロケミストリ	2	2		

特 別 講 義	2	2		
電気工学ゼミナール	1	1		
電気工学総合演習	1	1		
卒 業 研 究	6	6		
(B群)				
代 数 学 I	2	2		
代 数 学 II	2	2		
幾 何 学 I	2	2		
幾 何 学 II	2	2		
情報社会及び情報倫理	2	2		
情報通信ネットワーク I	2	2		
情報通信ネットワーク II	2	2		
情 報 と 職 業	2	2		
物 理 学 概 論	2	2		
化 学 概 論	2	2		
生 物 学 概 論	2	2		
生 物 学 実 験	1	1		
地 学 概 論	2	2		
地 学 実 験	1	1		
木 材 加 工	2	2		
木 材 加 工 実 習	2	2		
金 属 加 工	2	2		
金 属 加 工 実 習	2	2		
機 械 (含 実 習)	2	2		
栽 培 (含 実 習)	2	2		
工 業 概 論	2	2		
職 業 指 導 I	2	2		
職 業 指 導 II	2	2		

X 電子工学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考

(A 群)			A 群から必修単位数 43 単位を含め、合計 86 単位以上を修得しなければならない。
電子工学インセンティブ	2	2	
電子工学キャリアデザイン	1	1	
電子工学実験 I	4	4	
電子工学実験 II	4	4	
電子工学実験 III	4	4	
電子工学実験 IV	2	2	
回路理論 I	2	2	
回路理論 II	2	2	
電子回路 I	2	2	
電子回路 II	2	2	
電磁気学 I 及び演習	3	3	
電磁気学 II 及び演習	3	3	
回路理論のための基礎数学	2	2	
電磁気学のための基礎数学	2	2	
エレクトロニクス工作	1	1	
過渡現象	2	2	
分布定数回路	2	2	
回路合成	2	2	
アナログ集積回路基礎	2	2	
アナログ集積回路	2	2	
デジタル回路	2	2	
集積回路工学	2	2	
集積回路デザイン	2	2	
制御工学	2	2	
ロボット工学	2	2	
電気計測	2	2	
電子計測システム	2	2	
光・電子応用計測	2	2	
基礎電子物性	2	2	
電子物性工学	2	2	
量子力学基礎	2	2	
量子物性工学	2	2	

半導体デバイス工学	2		2	
半導体物性工学	2		2	
光・電子機能マテリアル	2		2	
光・電子機能デバイス	2		2	
信号理論基礎	2		2	
デジタル信号処理	2		2	
通信システム基礎	2		2	
無線通信システム	2		2	
電磁波工学	2		2	
アンテナ・電波伝搬	2		2	
光通信工学	2		2	
電磁波応用	2		2	
超高周波工学	2		2	
通信法規	2		2	
コンピュータリテラシ	1		1	
計算機ソフトウェア及び演習	3		3	
論理回路	2		2	
数値計算法	2		2	
計算機アーキテクチャ	2		2	
情報理論基礎	2		2	
プログラミング応用	1		1	
情報ネットワーク基礎	2		2	
ネットワークシステム	2		2	
システム工学	2		2	
生体情報工学	2		2	
ゼミナール	1	1		
電子工学総合演習	1	1		
卒業研究	6	6		
(B群)				
情報社会及び情報倫理	2		2	
情報通信ネットワークⅠ	2		2	
情報通信ネットワークⅡ	2		2	
情報と職業	2		2	

木 材 加 工	2		2		
木 材 加 工 実 習	2		2		
金 属 加 工	2		2		
金 属 加 工 実 習	2		2		
機 械 (含 実 習)	2		2		
栽 培 (含 実 習)	2		2		
工 業 概 論	2		2		
職 業 指 導 I	2		2		
職 業 指 導 II	2		2		

X I 応用情報工学科					
授 業 科 目	単 位 数	必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	履 修 方 法	備 考
応用情報工学インセンティブ	2	2		必修単位数33単位を含 め、合計86単位以上を修 得しなければならない。	
応用情報工学キャリアデザイン	1	1			
情 報 基 礎 演 習 I	1		1		
情 報 基 礎 演 習 II	1		1		
論 理 回 路	2		2		
計 算 機 工 学 I	2		2		
計 算 機 工 学 II	2		2		
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2		2		
オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム	2		2		
回 路 理 論 I	2	2			
回 路 理 論 II	2	2			
C プログラミング及び演習	3	3			
オブジェクト指向プログラミング	2		2		
Java プログラミング	2		2		

電 気 物 理	2		2		
情 報 数 学	2	2			
離 散 数 学	2	2			
応 用 数 学	2	2			
オ ー ト マ ト ン	2		2		
数 値 解 析	2		2		
数 値 計 算 法	2		2		
信 号 理 論	2		2		
情 報 理 論	2		2		
マ ネ ジ メ ン ト 工 学	2		2		
交 通 情 報 シ ス テ ム	2		2		
環 境 情 報	2		2		
デ ー タ 構 造 と アル ゴ リ ズ ム 及 び 演 習	3		3		
人 工 知 能	2		2		
デ ー タ ベ ー ス	2		2		
デ ー タ マ イ ニ ン グ	2		2		
応 用 統 計	2		2		
画 像 処 理	2		2		
パ タ ー ン 認 識	2		2		
シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 工 学	2		2		
マ ル チ メ デ ィ ア	2		2		
コ ン ピ ュ ー タ グ ラ フ ィ ッ ク ス	2		2		
情 報 セ キ ュ リ テ ィ 基 礎	2		2		

情報ネットワーク基礎	2		2		
ネットワークシステム	2		2		
通信システム基礎	2		2		
情報通信システム	2		2		
特殊無線概論	2		2		
組込回路Ⅰ	2		2		
組込回路Ⅱ	2		2		
組込システムⅠ	2		2		
組込システムⅡ	2		2		
情報デバイス	2		2		
制御理論	2		2		
システム工学	2		2		
デジタル信号処理	2		2		
計測システム	2		2		
オプトエレクトロニクス	2		2		
ロボット工学	2		2		
情報工学実験Ⅰ	2	2			
情報工学実験Ⅱ	4	4			
情報工学実験Ⅲ	4	4			
代数概論Ⅰ	2		2		
代数概論Ⅱ	2		2		
幾何概論Ⅰ	2		2		
幾何概論Ⅱ	2		2		

情報社会と倫理	2		2		
情報職業論	2		2		
プロジェクト実習	2		2		
キャリアデザイン入門	1		1		
インターンシップ	1		1		
応用情報工学総合演習	1	1			
卒業研究	6	6			

X II 物質応用化学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数40単位を含め、合計86単位以上を修得しなければならない。	
物質応用化学インセンティブ	2	2			
物質応用化学キャリアデザイン	1	1			
化学実験	2	2			
コンピュータ解析	2		2		
基礎物理化学	2	2			
物理化学Ⅰ	2		2		
物理化学Ⅱ	2		2		
化学熱力学	2		2		
量子化学	2		2		
量論化学工学Ⅰ	2		2		
量論化学工学Ⅱ	2		2		
物質分離工学	2		2		
流動・伝熱操作	2		2		
環境化学Ⅰ	2		2		
環境化学Ⅱ	2		2		
エネルギー環境工学	2		2		
化学安全工学	2		2		

基礎無機化学	2	2		
無機化学Ⅰ	2		2	
無機化学Ⅱ	2		2	
無機固体化学	2		2	
無機材料物性	2		2	
セラミックス化学	2		2	
金属化学	2		2	
分析化学Ⅰ	2		2	
分析化学Ⅱ	2		2	
機器分析	2		2	
基礎有機化学	2	2		
有機化学Ⅰ	2		2	
有機化学Ⅱ	2		2	
有機合成化学	2		2	
分子構造決定法	2		2	
有機機能化学	2		2	
高分子科学	2		2	
高分子合成化学	2		2	
高分子物性	2		2	
高分子材料	2		2	
基礎生命科学	2	2		
生命科学Ⅰ	2		2	
生命科学Ⅱ	2		2	
生命科学Ⅲ	2		2	
分子生物学	2		2	
バイオマテリアル	2		2	
生命有機化学Ⅰ	2		2	
生命有機化学Ⅱ	2		2	
生活の生命科学	2		2	
専門化学実験Ⅰ	3	3		
専門化学実験Ⅱ	3	3		
専門化学実験Ⅲ	3	3		
専門化学実験Ⅳ	3	3		

専門化学実験 V	3	3		
専門化学実験 VI	3	3		
研究基礎実験	2	2		
特別実験	4		4	
物質応用化学総合演習	1	1		
化学プレゼンテーション	2	2		
卒業研究	4	4		
(B群)				
物理学概論	2		2	
生物学概論	2		2	
生物学実験	1		1	
地学概論	2		2	
地学実験	1		1	
木材加工	2		2	
木材加工実習	2		2	
金属加工	2		2	
金属加工実習	2		2	
機械(含実習)	2		2	
電気(含実習)	2		2	
栽培(含実習)	2		2	
工業概論	2		2	
職業指導 I	2		2	
職業指導 II	2		2	

X III 物理学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数40単位を含め、合計86単位以上を修得しなければならない。	
物理学インセンティブ	2	2			
物理学キャリアデザイン	1	1			
微分方程式論 I	2		2	物理数学Ⅲ 解析力学	

微分方程式論Ⅱ	2		2	電磁気学Ⅲ 原子物理学 量子力学Ⅱ 熱力学 統計物理学Ⅱ 物理学実験Ⅲ 物理学プロジェクト実験 数式・画像処理 計算機演習 のうちから16単位以上を修得しなければならない。
複素関数論	2		2	
数理統計の基礎Ⅰ	2		2	
数理統計の基礎Ⅱ	2		2	
物理数学Ⅰ	2	2		
物理数学Ⅱ	2	2		
物理数学Ⅲ	2		2	
物理数学演習	2	2		
力学Ⅰ	2	2		
力学Ⅱ	2	2		
解析力学	2		2	
力学演習	2	2		
電磁気学Ⅰ	2	2		
電磁気学Ⅱ	2	2		
電磁気学Ⅲ	2		2	
電磁気学演習	2	2		
原子物理学	2		2	
量子力学Ⅰ	2	2		
量子力学Ⅱ	2		2	
量子力学Ⅲ	2		2	
量子力学演習	2	2		
熱力学	2		2	
統計物理学Ⅰ	2	2		

統計物理学Ⅱ	2		2		
統計物理学Ⅲ	2		2		
統計物理学演習	2	2			
光 学	2		2		
相 対 論	2		2		
流 体 力 学	2		2		
物 性 物 理 学 I	2		2		
物 性 物 理 学 II	2		2		
相 対 論 的 量 子 力 学	2		2		
高エネルギー物理学	2		2		
プラズマ物理学	2		2		
核 融 合 科 学	2		2		
宇 宙 物 理 学	2		2		
天 文 学	2		2		
生 物 物 理 学	2		2		
科 学 史	2		2		
物 理 学 実 験 I	2	2			
物 理 学 実 験 II	2	2			
物 理 学 実 験 III	2		2		
物理学プロジェクト実験	2		2		
物 理 実 験 学	2		2		
回 路 理 論	2		2		
制 御 理 論	2		2		

電 子 回 路	2		2		
計 測 物 理 学	2		2		
コンピュータリテラシ	1		1		
計 算 機 基 礎	2		2		
ネットワーク基礎論	2		2		
数式・画像処理	2		2		
アルゴリズムとプログラミングI	2		2		
アルゴリズムとプログラミングII	2		2		
コンピュータシミュレーション	2		2		
計 算 物 理 学	2		2		
計 算 機 演 習	2		2		
情報システム論	2		2		
物理学特殊講義	2		2		
物理学総合演習	1	1			
ゼ ミ ナ ー ル	2	2			
卒 業 研 究	4	4			
(B群)					
代 数 学 I	2		2		
代 数 学 II	2		2		
幾 何 学 I	2		2		
幾 何 学 II	2		2		
情報社会及び情報倫理	2		2		
情報通信ネットワーク I	2		2		

情報通信ネットワークⅡ	2		2		
情報と職業	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論	2		2		
地学実験	1		1		

XIV 数学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数42単位を含め、合計86単位以上を修得しなければならない。	
数学インセンティブ	2	2			
数学キャリアデザイン	1	1			
代数学幾何学A	4	4		代数学及び演習A	
代数学幾何学B	4	4		代数学及び演習B	
代数学幾何学C	4	4		幾何学及び演習A	
代数学幾何学D	4	4		幾何学及び演習B	
微分積分学A	4	4		解析学及び演習A	
微分積分学B	4	4		解析学及び演習B	
微分積分学C	4	4		複素解析学及び演習A	
微分積分学D	4	4		複素解析学及び演習B	
数学入門A	2		2	数値解析学及び演習A	
数学入門B	2		2	数値解析学及び演習B	
数学入門C	2		2	のうちから3科目9単位以上を修得しなければならない。	
数学入門D	2		2		
代数学入門A	2		2		
代数学入門B	2		2		
代数学及び演習A	3		3		

代数学及び演習B	3	3		
現代代数学 I	2	2		
現代代数学 II	2	2		
幾何学及び演習A	3	3		
幾何学及び演習B	3	3		
現代幾何学 I	2	2		
現代幾何学 II	2	2		
解析学入門 A	2	2		
解析学入門 B	2	2		
解析学及び演習A	3	3		
解析学及び演習B	3	3		
複素解析学及び演習A	3	3		
複素解析学及び演習B	3	3		
現代解析学 I	2	2		
現代解析学 II	2	2		
数理統計学 A	2	2		
数理統計学 B	2	2		
確率統計 A	2	2		
確率統計 B	2	2		
コンピュータ概論A	2	2		
コンピュータ概論B	2	2		
ソフトウェア概論A	4	4		
ソフトウェア概論B	4	4		
数理情報論理学A	2	2		
数理情報論理学B	2	2		
数値解析学及び演習A	3	3		
数値解析学及び演習B	3	3		
アルゴリズム数理A	2	2		
アルゴリズム数理B	2	2		
情報通信ネットワーク論A	2	2		
情報通信ネットワーク論B	2	2		
離散数学 A	2	2		
離散数学 B	2	2		

コンピュータグラフィックス論A	2		2		
コンピュータグラフィックス論B	2		2		
教 育 数 学	2		2		
数 学 総 合 研 究	2		2		
数 学 総 合 演 習	1	1			
ゼ ミ ナ ー ル	2	2			
卒 業 研 究	4	4			
(B群)					
情報社会及び情報倫理	2		2		
情 報 と 職 業	2		2		

5 学芸員課程科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
生涯学習概論	2		2	学芸員課程科目は,許可を受けて履修することができる。	
博物館概論	2		2		
博物館経営論	2		2		
博物館資料論	2		2		
博物館資料保存論	2		2		
博物館展示論	2		2		
博物館教育論	2		2		
博物館情報・メディア論	2		2		
博物館実習A（見学）	1		1		
博物館実習B（実務）	1		1		
博物館実習C（館園）	1		1		

第10節 生産工学部

第89条 生産工学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、科目区分ごとに履修方法に定めた単位数を含め、総計128単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2 教養基盤科目

①学科共通科目及び②学科別基盤科目から必修科目を含め、合計38単位以上を修得しなければならない。

①学科共通科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
教養科目				必修単位数17単位, 選択単位数は, 教養科目から8単位以上, 基盤科目から2単位以上を含め, 合計38単位以上を修得しなければならない。 機械工学科, 電気電子工学科, 応用分子化学科, 応用化学システムコース, マネジメント工学科, 数理情報工学科, シミュレーション・データサイエンスコース, 数理情報工学科メディアデザインコース, 環境安全工学科, 創生デザイン学科は, 化学 の2単位を必修とし, 科学基礎論 教養探求 芸術と文学 歴史学 心理学 のうちから4単位以上, 比較文化論 政治経済論 社会学 法学 国際関係論	
科学基礎論	2		2		
教養探求	2		2		
芸術と文学	2		2		
歴史学	2		2		
心理学	2		2		
比較文化論	2		2		
政治経済論	2		2		
社会学	2		2		
法学	2		2		
国際関係論	2		2		
体育	1	1			
総合科目	2		2		
国際コミュニケーション科目					
英語 I	1	1			
英語 II	1	1			
イングリッシュスキルA	1	1			
イングリッシュスキルB	1	1			

イングリッシュスキルC	1		1	総合科目
イングリッシュスキルD	1		1	のうちから4単位以上、計10単位以上を修得しなければならない。
英語コミュニケーション基礎	1		1	
英語コミュニケーション応用I	1		1	土木工学科は、
英語コミュニケーション応用II	1		1	科学基礎論
初習外国語	1		1	イングリッシュスキルC
日本語表現法	1		1	イングリッシュスキルD
日本の言葉	1		1	微分積分学II
基盤科目				物理学II
数学系				の6単位を必修とし、
微分積分学I	2	2		芸術と文学
微分積分学II	2		2	歴史学
線形代数学	2	2		心理学
確率統計	2		2	のうちから2単位以上、
微分方程式	2		2	比較文化論
物理系				政治経済論
物理学I	2	2		社会学
物理学II	2		2	法学
物理科学概論	2		2	国際関係論
化学・生物系				総合科目
化学	2		2	のうちから4単位以上、計12単位以上を修得しなければならない。
応用化学	2		2	建築工学科は、
生物環境科学	2		2	科学基礎論
実技系				イングリッシュスキルC
科学基礎実験A	1	1		イングリッシュスキルD
科学基礎実験B	1	1		物理学II
工学基盤実験A	1	1		化学
工学基盤実験B	1	1		の8単位を必修とし、
科学系				芸術と文学
基礎科学演習	1		1	歴史学
物理数学演習	1		1	心理学
計算科学基礎	2		2	のうちから2単位以上、
情報系				比較文化論
				政治経済論
				社会学
				法学
				国際関係論
				総合科目
				のうちから4単位以上、計14単位以上を修得しなければならない。
				応用分子化学科国際化学技術者コースは、
				科学基礎論
				イングリッシュスキルC
				イングリッシュスキルD
				微分積分学II
				確率統計
				物理学II

情報リテラシー	2	2		生物環境科学 の12単位を必修とし、 芸術と文学 歴史学 心理学	
横断科目					
生産工学とSDGs	2	2		歴史学 心理学	
エンジニアリングスキル	2	2		のうちから2単位以上、 比較文化論	
工学基盤演習	1	1		政治経済論	
グローバル・ビジネスエンジニアリングI	1	1		社会学	
グローバル・ビジネスエンジニアリングII	1	1		法学	
グローバル・ビジネスエンジニアリングIII	1	1		国際関係論 総合科目	
技術と経営	1	1		のうちから4単位以上、計 18単位以上を修得しな ければならない。	
事業継承者・企業家の実務I	1	1		数理情報工学科コンピュー タサイエンスコースは、 科学基礎論	
事業継承者・企業家の実務II	1	1		イングリッシュスキルC イングリッシュスキルD	
ロボットデザイン入門	1	1		微分積分学II	
ロボットデザイン基礎I	1	1		確率統計	
ロボットデザイン基礎II	1	1		化学	
ロボットデザイン実践I	1	1		生物環境科学 の12単位を必修とし、 芸術と文学	
ロボットデザイン実践II	1	1		歴史学 心理学	
つくりかたマップ	1	1		のうちから2単位以上、 比較文化論	
なんでも作るジム	1	1		政治経済論	
チャレンジ・ハッカソン	1	1		社会学	
教職課程科目				法学	
日本国憲法	2	2		国際関係論 総合科目	
健康と運動の科学	2	2		のうちから4単位以上、計 18単位以上を修得しな ければならない。	
教育と福祉	2	2			
教育法規	2	2			
教職特別講義	2	2			

②学科別基盤科目

I 機械工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
地学概論	2		2		

物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
地学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
化学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導 I	2		2		
職業指導 II	2		2		

II 電気電子工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
地学概論	2		2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
地学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
化学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導 I	2		2		
職業指導 II	2		2		

III 土木工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
地学概論	2		2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
地学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		

化学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導 I	2		2		
職業指導 II	2		2		

IV 建築工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
地学概論	2		2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
地学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
化学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導 I	2		2		
職業指導 II	2		2		

V 応用分子化学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
地学概論	2		2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
地学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
化学実験 (コンピュータ活用を含む)	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導 I	2		2		

職業指導Ⅱ	2		2	
-------	---	--	---	--

VI マネジメント工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

VII 数理情報工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
情報と職業	2		2		

VIII 環境安全工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
地学概論	2		2		
物理学実験(コンピュータ活用を含む)	2		2		
生物学実験(コンピュータ活用を含む)	2		2		
地学実験(コンピュータ活用を含む)	2		2		
化学実験(コンピュータ活用を含む)	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

IX 創生デザイン学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
物理学概論	2		2		

化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
地学概論	2		2		
物理学実験(コンピュータ活用を含む)	2		2		
生物学実験(コンピュータ活用を含む)	2		2		
地学実験(コンピュータ活用を含む)	2		2		
化学実験(コンピュータ活用を含む)	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導 I	2		2		
職業指導 II	2		2		

3 生産工学系科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生産工学の基礎	2	2		必修単位数15単位以上を含め、合計20単位以上を修得しなければならない。 機械工学科, 電気電子工学科, 土木工学科, 建築工学科, 応用分子化学科応用化学システムコース, 数理情報工学科シミュレーション・データサイエンスコース, 数理情報工学科メディアデザインコース, 環境安全工学科, 創生デザイン学科は, プロジェクト演習 を必修とする。 応用分子化学科国際技術者コースは, エンジニアリングプロジェクト演習 を必修とする。 マネジメント工学科は, プロジェクト演習 生産管理 を必修とする。 数理情報工学科コンピュータサイエンスコースは, プロジェクト演習 産業関連法規 を必修とする。	
キャリアデザイン	2	2			
キャリアデザイン演習	1	1			
データサイエンス	2	2			
プロジェクト演習	1		1		
エンジニアリングプロジェクト演習	1		1		
生産実習	4	4			
SD コミュニケーション	2		2		
安全工学	2		2		
生産管理	2		2		
産業関連法規	2		2		
経営管理	2	2			
技術者倫理	2	2			
生産工学特別講義	2		2		

4 専門教育科目

I 機械工学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
材料力学 I 及び演習	3	3		必修単位数38単位を含め、 合計68単位以上を修得し なければならない。また、 上記単位数に他学科の専 門教育科目を6単位まで算 入することができる。	
材 料 力 学 II	2		2		
有 限 要 素 法	2		2	自動車コースは、 軽量構造力学 エネルギー変換工学 軽量材料 自動車工学 のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
軽 量 構 造 力 学	2		2		
航 空 機 力 学	2		2	自動車コースは、 軽量構造力学 エネルギー変換工学 軽量材料 自動車工学 のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
機械力学 I 及び演習	3	3			
機 械 力 学 II	2		2	航空宇宙コースは、 軽量構造力学 航空機力学 航空宇宙推進機 軽量材料 航空宇宙工学 のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
機 械 振 動 工 学	2		2		
基 礎 製 図 製 作	3	3		航空宇宙コースは、 軽量構造力学 航空機力学 航空宇宙推進機 軽量材料 航空宇宙工学 のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
機 械 要 素	2		2		
実 験 計 画 法	2		2	航空宇宙コースは、 軽量構造力学 航空機力学 航空宇宙推進機 軽量材料 航空宇宙工学 のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
マ シ ン ツ ー ル	2		2		
流体力学 I 及び演習	3	3		ロボット・機械創造コース は、 マシンツール 機械構造材料 ロボット工学 II デザイン工学 ロボット工学 I のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
流 体 力 学 II	2		2		
熱 流 体 解 析	2		2	ロボット・機械創造コース は、 マシンツール 機械構造材料 ロボット工学 II デザイン工学 ロボット工学 I のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
熱力学 I 及び演習	3	3			
熱 力 学 II	2		2	ロボット・機械創造コース は、 マシンツール 機械構造材料 ロボット工学 II デザイン工学 ロボット工学 I のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
伝 熱 工 学	2		2		
内 燃 機 関	2		2	ロボット・機械創造コース は、 マシンツール 機械構造材料 ロボット工学 II デザイン工学 ロボット工学 I のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
エネルギー変換工学	2		2		
航 空 宇 宙 推 進 機	2		2	ロボット・機械創造コース は、 マシンツール 機械構造材料 ロボット工学 II デザイン工学 ロボット工学 I のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
機 械 加 工 学 A	2		2		
機 械 加 工 学 B	2		2	ロボット・機械創造コース は、 マシンツール 機械構造材料 ロボット工学 II デザイン工学 ロボット工学 I のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
機 械 加 工 学 概 論	2	2			
機 械 材 料	2	2		ロボット・機械創造コース は、 マシンツール 機械構造材料 ロボット工学 II デザイン工学 ロボット工学 I のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
軽 量 材 料	2		2		
機 械 構 造 材 料	2		2	ロボット・機械創造コース は、 マシンツール 機械構造材料 ロボット工学 II デザイン工学 ロボット工学 I のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
3次元グラフィックス演習	2	2			
要 素 製 図 製 作	3	3		ロボット・機械創造コース は、 マシンツール 機械構造材料 ロボット工学 II デザイン工学 ロボット工学 I のうちから6単位以上を修 得しなければならない。	
機 械 設 計 製 図 I A	1	1			

機械設計製図 I B	1	1			
機械設計製図 II A	1	1			
機械設計製図 II B	1	1			
基礎工学実験	2	2			
機械工学実験	2	2			
実践ものづくり I	1		1		
実践ものづくり II	1		1		
電気・電子工学	2		2		
計測工学	2		2		
制御工学 I	2		2		
制御工学 II	2		2		
ロボット工学 II	2		2		
人間・機械システム	2		2		
自動車工学	2		2		
デザイン工学	2		2		
システムモデリング演習	2		2		
プログラミング演習	2		2		
ロボット工学 I	2		2		
航空宇宙工学	2		2		
ゼミナール	1		1		
CAD/CAE 演習	2		2		
卒業研究 1	3	3			
卒業研究 2	3	3			

II 電気電子工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電磁気学及び演習 I	2	2		必修単位数27単位を含め、合計68単位以上を修得しなければならない。	
電磁気学及び演習 II	2	2			
電磁気学及び演習 III	2		2		電磁気学及び演習 III
電磁気学及び演習 IV	2		2		電磁気学及び演習 IV
回路理論及び演習 I	2	2			回路理論及び演習 III
回路理論及び演習 II	2	2			回路理論及び演習 IV
回路理論及び演習 III	2		2		電子回路 I
					電子回路 II
				電気数学 I	

回路理論及び演習Ⅳ	2		2	電気数学Ⅱ
電気電子計測Ⅰ	2	2		情報理論
電気電子計測Ⅱ	2		2	科学技術欧文技法
電子回路Ⅰ	2		2	電気電子工学特別講義
電子回路Ⅱ	2		2	電気電子設計Ⅰ
伝送路システム	2		2	電気電子設計Ⅱ
電気数学Ⅰ	2		2	のうちから13単位以上, 修得しなければならない。
電気数学Ⅱ	2		2	エネルギーシステムコースは,
電気電子材料	2		2	電磁気学及び演習Ⅲ
電気機器Ⅰ	2		2	電磁気学及び演習Ⅳ
電気機器Ⅱ	2		2	回路理論及び演習Ⅲ
パワーエレクトロニクス	2		2	回路理論及び演習Ⅳ
高電圧プラズマ工学	2		2	電気電子計測Ⅱ
電力発生工学	2		2	電子回路Ⅰ
電力輸送工学	2		2	電子回路Ⅱ
照明工学	2		2	電気数学Ⅰ
電気化学	2		2	電気数学Ⅱ
電気法規及び施設管理	2		2	電気電子材料
論理デジタル回路	2		2	電気機器Ⅰ
プログラミング及び演習	2	2		電気機器Ⅱ
コンピュータシステム	2		2	パワーエレクトロニクス
非破壊検査工学	2		2	高電圧プラズマ工学
情報理論	2		2	電力発生工学
光通信システム	2		2	電力輸送工学
デジタル信号処理	2		2	照明工学
制御工学	2		2	電気化学
アンテナ・伝搬工学	2		2	電気法規及び施設管理
情報通信工学	2		2	論理デジタル回路
通信機器・通信システム	2		2	コンピュータシステム
電気音響工学	2		2	非破壊検査工学
通信法規	2		2	情報理論
電気電子設計製図	2		2	デジタル信号処理
				制御工学
				電気音響工学
				電気電子設計製図
				生産工学実習A
				生産工学実習B
				過渡現象
				科学技術欧文技法
				電気電子工学特別講義
				電気電子設計Ⅰ
				電気電子設計Ⅱ
				数値計算法
				情報管理
				ロボットテクノロジー
				のうちから41単位以上を修得しなければならない。
				また, 上記単位数に他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。

電気電子工学実験ⅠA	1	1	eコミュニケーションコースは、 電磁気学及び演習Ⅲ 電磁気学及び演習Ⅳ 回路理論及び演習Ⅲ 回路理論及び演習Ⅳ 電気電子計測Ⅱ 電子回路Ⅰ 電子回路Ⅱ 伝送路システム 電気数学Ⅰ 電気数学Ⅱ 電気電子材料 論理デジタル回路 コンピュータシステム 情報理論 光通信システム デジタル信号処理 制御工学 アンテナ・伝搬工学 情報通信工学 通信機器・通信システム 通信法規 電気電子設計製図 生産工学実習A 生産工学実習B 過渡現象 科学技術欧文技法 ナノテクノロジー 電気電子工学特別講義 電気電子設計Ⅰ 電気電子設計Ⅱ 数値計算法 情報管理 半導体デバイス工学 ロボットテクノロジー 応用情報処理 イメージテクノロジー のうちから41単位以上を 修得しなければならない。 また、上記単位数に他学科 の専門教育科目を6単位ま で算入することができる。
電気電子工学実験ⅠB	1	1	
生産工学実習A	1	1	
生産工学実習B	1	1	
過渡現象	2	2	
科学技術欧文技法	1	1	
電気電子工学実験ⅡA	1	1	
電気電子工学実験ⅡB	1	1	
電気電子工学実験ⅢA	1	1	
電気電子工学実験ⅢB	1	1	
電気電子工学実験ⅣA	1	1	
電気電子工学実験ⅣB	1	1	
ナノテクノロジー	2	2	
ゼミナール	1	1	
電気電子工学特別講義	1	1	
電気電子設計Ⅰ	1	1	
電気電子設計Ⅱ	1	1	
数値計算法	2	2	
情報管理	2	2	
半導体デバイス工学	2	2	
ロボットテクノロジー	2	2	
応用情報処理	2	2	
イメージテクノロジー	2	2	
卒業研究 1	3	3	
卒業研究 2	3	3	

Ⅲ 土木工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
土木工学基礎及び演習Ⅰ	3	3		必修単位数44単位を含め、 合計68単位以上を修得し なければならない。	
土木工学基礎及び演習Ⅱ	3	3			
土木材料学	2		2	土木材料学	

土木生産製図	1	1		応用測量学
土木CAD演習	1	1		地盤工学
構造力学及び演習Ⅰ	3	3		施工技術
構造力学及び演習Ⅱ	3	3		土木計測及び解析法
水理学及び演習Ⅰ	3	3		鉄筋コンクリート工学
水理学及び演習Ⅱ	3	3		河川工学
コンクリート工学	2	2		橋梁工学
土木設計製図Ⅰ	2	2		海岸港湾工学
土木設計製図Ⅱ	2	2		環境工学
測量学	2	2		道路工学
応用測量学	2		2	都市システム工学
測量実習	2	2		構造工学
応用測量実習	2		2	地震・防災工学
地盤工学	2		2	火薬学
施工技術	2		2	水環境浄化システム
土木計測及び解析法	2		2	資源再生工学
土質力学及び演習Ⅰ	3	3		メンテナンス工学
土質力学及び演習Ⅱ	3	3		テクニカルイングリッシュⅠ
鉄筋コンクリート工学	2		2	テクニカルイングリッシュⅡ
河川工学	2		2	国際建設情報
橋梁工学	2		2	のうちから20単位以上、
海岸港湾工学	2		2	構造・コンクリート実験
環境工学	2		2	土工・衛生実験
道路工学	2		2	土質・道路実験
都市システム工学	2		2	のうちから4単位以上、計
構造工学	2		2	24単位以上を修得しな
地震・防災工学	2		2	ければならない。
火薬学	2		2	

水環境浄化システム	2		2	
資源再生工学	2		2	
メンテナンス工学	2		2	
ジオインフォマティクス	1		1	
ゼミナール	1	1		
土木技術演習	1		1	
構造・コンクリート実験	2		2	
水工・衛生実験	2		2	
土質・道路実験	2		2	
卒業研究 1	3	3		
卒業研究 2	3	3		
テクニカルイングリッシュⅠ	2		2	
テクニカルイングリッシュⅡ	2		2	
国際建設情報	2		2	
土木工学演習	1	1		

IV 建築工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
建築設計ⅠA	1	1		必修単位数45単位を含め、 合計68単位以上を修得し なければならない。 特別演習Ⅰ 建築材料Ⅱ 建築施工Ⅱ 住居学 建築デザインⅡ 建築計画Ⅱ 鉄骨構造 構造設計 建築環境工学Ⅱ 建築設備Ⅱ 建築史Ⅱ 建築教養 建築マネジメント 特別演習Ⅱ 特別演習Ⅲ のうちから 17 単位以上、	
建築設計ⅠB	1	1			
建築設計ⅠC	1	1			
特別演習Ⅰ	1		1		
建築設計ⅡA	1	1			
建築設計ⅡB	1	1			
建築構造力学Ⅰ	3	3			
一般構法	1	1			
建築設計ⅢA	1	1			
建築設計ⅢB	1	1			

スタジオ演習Ⅰ	2		2	スタジオ演習Ⅰ スタジオ演習Ⅱ スタジオ演習Ⅲ スタジオ演習Ⅳ スタジオ演習Ⅴ スタジオ演習Ⅵ のうちから6単位以上,計 23単位以上を修得しな ければならない。
スタジオ演習Ⅱ	2		2	
スタジオ演習Ⅲ	2		2	
スタジオ演習Ⅳ	2		2	
スタジオ演習Ⅴ	2		2	
スタジオ演習Ⅵ	2		2	
建築実験	2	2		
建築構造力学Ⅱ	3	3		
建築応用力学	2	2		
建築材料Ⅰ	2	2		
建築材料Ⅱ	2		2	
建築計画Ⅰ	2	2		
建築環境工学Ⅰ	2	2		
建築法規	2	2		
建築施工Ⅰ	2	2		
建築施工Ⅱ	2		2	
建築史Ⅰ	2	2		
住居学	2		2	
建築デザインⅡ	2		2	
建築計画Ⅱ	2		2	
鉄筋コンクリート構造	2	2		
鉄骨構造	2		2	
構造設計	2		2	
建築環境工学Ⅱ	2		2	
建築設備Ⅰ	2	2		
建築設備Ⅱ	2		2	
建築デザインⅠ	2	2		

都市地域計画	2	2		
建築史Ⅱ	2		2	
建築教養	2		2	
建築マネジメント	2		2	
建築コンピュータ演習	1	1		
特別演習Ⅱ	1		1	
特別演習Ⅲ	1		1	
卒業研究1	3	3		
卒業研究2	3	3		

V 応用分子化学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
応用化学システム入門	2		2	必修単位数9単位を含め、 合計68単位以上を修得し なければならない。 応用化学システムコース は、 化学プロセス演習 卒業研究演習 卒業研究1 卒業研究2 の10単位を必修とし、 化学熱力学 化学動力学 化学工学Ⅰ 化学工学Ⅱ 分離プロセス工学 のうちから4単位以上、 無機資源化学 有機資源化学 グリーン・サステイナブル・ケミストリー のうちから2単位以上、 応用化学システム入門 無機化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 基礎無機化学 基礎有機化学 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 基礎物理化学	
無機化学Ⅰ	2		2		
無機化学Ⅱ	2		2		
基礎無機化学	2		2		
基礎有機化学	2		2		
有機化学Ⅰ	2		2		
有機化学Ⅱ	2		2		
基礎物理化学	2		2		
化学熱力学	2		2		
量子化学	2		2		
触媒反応工学	2		2		
分析化学Ⅰ	2		2		
分析化学Ⅱ	2		2		
化学動力学	2		2		

化学工学 I	2		2	化学熱力学 触媒反応工学
化学工学 II	2		2	分析化学 I 分析化学 II
無機材料工学	2		2	化学動力学 化学工学 I 化学工学 II
高分子材料工学	2		2	無機材料工学 高分子材料工学
分析化学実習	3	3		生物化学 無機資源化学 有機資源化学
物性化学実習	3	3		高分子化学 分子構造解析学
創造化学実習	3	3		界面化学 有機化学 III
化学プロセス実習	3		3	分離プロセス工学 生物工学
卒業研究演習	1		1	分子生物学 工業電気化学
生物化学	2		2	グリーン・サステイナブル・ケミストリー 分析化学 III
無機資源化学	2		2	生体高分子化学 のうちから40単位以上、 情報技術演習
有機資源化学	2		2	化学系工学リテラシー 技術英語 I
高分子化学	2		2	技術英語 II のうちから3単位以上、計 59単位以上を修得しな ければならない。上記単 位数に、他学科の専門 教育科目を6単位まで 算入することができる。
情報技術演習	1		1	
分子構造解析学	2		2	
界面化学	2		2	
有機化学 III	2		2	
分離プロセス工学	2		2	国際化学技術者コースは、 量子化学 情報技術演習
生物工学	2		2	化学系工学リテラシー 物理化学序論
分子生物学	2		2	無機化学序論 有機化学序論
工業電気化学	2		2	化工熱力学 無機化学各論
グリーン・サステイナブル・ケミストリー	2		2	有機反応化学 I 分析化学
分析化学 III	2		2	機器分析化学 化学数学
生体高分子化学	2		2	生物有機化学 化学工学量論
化学系工学リテラシー	1		1	移動現象 反応速度論
技術英語 I	1		1	無機固体化学 有機反応化学 II
技術英語 II	1		1	有機機器分析

卒業研究 1	3	3	<p>化学プロセスデザイン実験 エンジニアリング・デザイン型卒業研究演習 化学プロセスデザイン 基礎技術英語 技術英語表現 エンジニアリング・デザイン型卒業研究1 エンジニアリング・デザイン型卒業研究2 の51単位を必修とし、 無機材料工学 無機資源化学 有機資源化学 生物工学 分子生物学 グリーン・サステイナブル・ケミストリー 高分子化学総論 高分子工学 電気化学 有機合成化学 分離工学 プロセス工学 界面・コロイド化学 のうちから8単位以上、計 59単位以上を修得しなければならぬ。</p>
卒業研究 2	3	3	
物理化学序論	2	2	
無機化学序論	2	2	
有機化学序論	2	2	
化工熱力学	2	2	
無機化学各論	2	2	
有機反応化学 I	2	2	
分析化学	2	2	
機器分析化学	2	2	
化学数学	2	2	
生物有機化学	2	2	
化学工学量論	2	2	
移動現象	2	2	
反応速度論	2	2	
無機固体化学	2	2	
有機反応化学 II	2	2	
有機機器分析	2	2	
高分子化学総論	2	2	
高分子工学	2	2	
電気化学	2	2	
有機合成化学	2	2	
分離工学	2	2	
プロセス工学	2	2	
界面・コロイド化学	2	2	
化学プロセスデザイン実験	4	4	
エンジニアリング・デザイン型卒業研究演習	2	2	
化学プロセスデザイン	2	2	

基礎技術英語	1		1	
技術英語表現	1		1	
エンジニアリング・デザイン型卒業研究1	3		3	
エンジニアリング・デザイン型卒業研究2	3		3	

VI マネジメント工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
マネジメント工学総論	2	2		必修単位数32単位を含め、合計68単位以上を修得しなければならない。また、上記単位数に、他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。 ビジネスマネジメントコースは、 経営戦略 デジタルマーケティング サプライチェーンマネジメント の6単位を必修とし、 顧客・販売戦略 ビジネスイングリッシュ 管理会計 経営法規 工学基礎 情報科学 改善マネジメント論 リスクマネジメント イノベーション・ケーススタディ プロジェクトマネジメント 商品企画開発 環境マネジメント ビジネスと人工知能 情報システム 品質工学 在庫・物流管理 経営統計 基礎製図学 生産工学概論 のうちから24単位以上、計30単位以上を修得しなければならない。 経営システムコースは、 人間工学 オペレーションズリサーチ 機械学習 デザインエンジニアリング	
経営情報論	2	2			
品質管理	2	2			
人的資源管理	2	2			
アカウンティング	2	2			
経営戦略	2		2		
販売流通管理	2	2			
デジタルマーケティング	2		2		
顧客・販売戦略	2		2		
ビジネスイングリッシュ	2		2		
管理会計	2		2		
経営法規	2		2		
工学基礎	2		2		
情報科学	2		2		
生産技術	2		2		
人間工学	2		2		
改善マネジメント論	2		2		
サプライチェーンマネジメント	2		2		

リスクマネジメント	2	2	信頼性工学
イノベーション・ケーススタディ	2	2	経営統計
プロジェクトマネジメント	2	2	の12単位を必修とし、
商品企画開発	2	2	経営戦略
環境マネジメント	2	2	デジタルマーケティング
オペレーションズリサーチ	2	2	ビジネスイングリッシュ
ビジネスと人工知能	2	2	工学基礎
機械学習	2	2	情報科学
意思決定論	2	2	生産技術
人間-機械システム	2	2	プロジェクトマネジメント
情報処理基礎	2	2	商品企画開発
デザインエンジニアリング	2	2	意思決定論
社会シミュレーション	2	2	人間-機械システム
情報システム	2	2	情報処理基礎
信頼性工学	2	2	社会シミュレーション
品質工学	2	2	情報システム
システム方法論	2	2	品質工学
データベースシステム	2	2	システム方法論
在庫・物流管理	2	2	データベースシステム
経営統計	2	2	基礎製図学
フードサプライシステム	2	2	生産工学概論
海外市場展開	2	2	のうちから18単位以上, 計
ホスピタリティマネジメント	2	2	30単位以上を修得しなければならぬ。
			フードマネジメントコースは、
			経営戦略
			サプライチェーンマネジメント
			イノベーション・ケーススタディ
			フードサプライシステム
			の8単位を必修とし、
			デジタルマーケティング
			顧客・販売戦略
			ビジネスイングリッシュ
			管理会計
			工学基礎
			情報科学
			人間工学
			改善マネジメント論
			商品企画開発
			環境マネジメント
			オペレーションズリサーチ
			ビジネスと人工知能
			機械学習
			情報システム
			品質工学
			データベースシステム
			在庫・物流管理
			経営統計
			海外市場展開
			ホスピタリティマネジメント
			基礎製図学
			生産工学概論

基礎製図学	2		2	のうちから22単位以上, 計30単位以上を修得しなければならない。
生産工学概論	2		2	
マネジメント工学実験Ⅰ	2	2		
マネジメント工学実験Ⅱ	2	2		
コンピュータ演習Ⅰ	2	2		
コンピュータ演習Ⅱ	2	2		
マネジメント工学実習Ⅰ	2	2		
マネジメント工学実習Ⅱ	2	2		
ゼミナールⅠ	1	1		
ゼミナールⅡ	1	1		
卒業研究 1	3	3		
卒業研究 2	3	3		

Ⅶ 数理情報工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
モデリング&デザイン	2		2	必修単位数19単位を含め, 合計68単位以上を修得しなければならない。シミュレーション・データサイエンスコース及びメディアデザインコースは, 上記単位数に, 他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。 シミュレーション・データサイエンスコースは, モデリング&デザイン 数値シミュレーション 機械学習 数理計画法 数理情報システム実験 の9単位を必修とし, 線形空間論 応用解析学 確率統計解析	
線形空間論	2		2		
カオスと情報処理	2		2		
システム解析	2		2		
応用解析学	2		2		
幾何学	2		2		
グラフィックス幾何学	2		2		
確率統計解析	2		2		
多変量データ解析	2		2		
数値シミュレーション	2		2		

コンピュータアーキテクチャー	2		2	コンピュータアーキテクチャー
アルゴリズムとデータ構造	2	2		オペレーティングシステム
オペレーティングシステム	2		2	ソフトウェア工学概論
U N I X 演 習	1		1	人工知能
ソフトウェア工学概論	2		2	ソフトウェア構築及び演習
人 工 知 能	2		2	オートマトン
ソフトウェア構築及び演習	3		3	計算論
オ ー ト マ ト ン	2		2	情報ネットワーク
計 算 論	2		2	情報セキュリティ
機 械 学 習	2		2	プログラミング及び演習Ⅱ
離 散 数 学	2	2		オブジェクト指向及び演習
情報ネットワーク	2		2	データベースシステム
情報セキュリティ	2		2	コンパイラ
プログラミング及び演習Ⅰ	3	3		情報理論
プログラミング及び演習Ⅱ	3		3	メディア信号処理
オブジェクト指向及び演習	3		3	数理プログラミング
数 理 計 画 法	2		2	情報化社会と情報倫理
データベースシステム	2		2	のうちから23単位以上、
コ ン パ イ ラ	2		2	カオスと情報処理
情 報 理 論	2		2	システム解析
情報メディア	2		2	幾何学
メディア信号処理	2		2	多変量データ解析
計 測 と 制 御	2		2	計測と制御
ダイナミックス	2		2	ダイナミックス
数理プログラミング	2		2	組合せ最適化
組合せ最適化	2		2	コンピュータグラフィックス
コンピュータグラフィックス	2		2	複雑系と創発
				のうちから10単位以上、
				UNIX演習
				アルゴリズムとデータ構造演習
				のうちから1単位以上、計
				43単位以上を修得しなければならぬ。
				メディアデザインコースは、
				CGデザイン及び演習
				ヒューマンインタフェース
				デジタル画像設計論
				ゲームプログラミング及び演習
				Webデザイン
				の12単位を必修とし、
				線形空間論
				応用解析学
				確率統計解析
				コンピュータアーキテクチャー
				オペレーティングシステム
				ソフトウェア工学概論
				人工知能
				ソフトウェア構築及び演習
				オートマトン
				計算論
				情報ネットワーク
				情報セキュリティ
				プログラミング及び演習Ⅱ
				オブジェクト指向及び演習

複雑系と創発	2		2	データベースシステム コンパイラ
アルゴリズムとデータ構造演習	1		1	情報理論 メディア信号処理
ゼミナール III	1	1		数理プログラミング 情報化社会と情報倫理
ゼミナール IV	1	1		のうちから26単位以上, グラフィックス幾何学 メディアと社会
数理情報システム実験	1		1	コンピュータアニメーション マルチメディアデータ論
情報化社会と情報倫理	2		2	のうちから4単位以上, UNIX演習
コンピュータ概論	2	2		アルゴリズムとデータ構造演習 のうちから1単位以上, 計 43単位以上を修得しなければ ならない。
CGデザイン及び演習	3		3	
ヒューマンインタフェース	2		2	コンピュータサイエンス コースは,
デジタル画像設計論	2		2	コンピュータアーキテクチャー UNIX演習
メディアと社会	2		2	ソフトウェア工学概論 ソフトウェア構築及び演習
ゲームプログラミング及び演習	3		3	情報ネットワーク 情報セキュリティ
Webデザイン	2		2	プログラミング及び演習 II オブジェクト指向及び演習
コンピュータアニメーション	2		2	数理計画法 アルゴリズムとデータ構造演習
マルチメディアデータ論	2		2	の21単位を必修とし, オペレーティングシステム
ゼミナール I	1	1		人工知能 オートマトン
ゼミナール II	1	1		計算論 機械学習
卒業研究 1	3	3		データベースシステム コンパイラ
卒業研究 2	3	3		情報理論 情報メディア
形式論理	2		2	ヒューマンインタフェース 形式論理
プログラミング言語論	2		2	プログラミング言語論 のうちから22単位以上,
インターネットプログラミング	2		2	線形空間論 カオスと情報処理 確率統計解析 数値シミュレーション 組合せ最適化 コンピュータグラフィックス 情報化社会と情報倫理 インターネットプログラミング のうちから6単位以上, 計 49単位以上修得しなければ ならない。

Ⅷ 環境安全工学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
景観まちづくり工学	2		2	必修単位数21単位を含め、 合計68単位以上を修得し なければならない。また、 上記単位数に、他学科の専 門教育科目を6単位まで算 入することができる。	
エネルギー利用科学	2		2		
有機化学および演習	3		3		
図学および製図	2		2	有機化学および演習 構造力学および演習 流体力学および演習 物理化学および演習	
環境無機化学	2		2	のうちから6単位以上、 景観まちづくり工学 図学および製図	
構造力学および演習	3		3	環境無機化学 メカトロニクス	
環境エネルギー概論	2	2		材料化学 分析化学	
熱エネルギー概論	2		2	エネルギー資源工学 環境物質マネジメント	
流体力学および演習	3		3	設計工学 物質安全工学	
メカトロニクス	2		2	環境バイオ科学 環境分析学	
材 料 化 学	2		2	ライフサイクルアセスメント ランドサーベイ	
電気エネルギー概論	2		2	環境材料工学 材料力学	
地 域 デ ザ イ ン	2		2	のうちから16単位以上、計 22単位以上修得しなけれ ばならない。	
分 析 化 学	2		2		
物理化学および演習	3		3	環境安全コースは、 環境生態工学 コンストラクションマネジメント	
国 土 情 報 学	2		2	の4単位を必修とし、 地域デザイン 国土情報学	
環境安全工学実験Ⅰ	2	2		防災工学 環境アセスメント	
環境安全工学実験Ⅱ	2	2		水圏環境工学 環境衛生工学	
インターナショナルコミュニケーションⅠ	1	1		地盤力学 アセットマネジメント	
エネルギー変換システム	2		2	環境マネジメント	
制御とプログラム	2		2	のうちから10単位以上、計 14単位以上を修得しなけ ればならない。	
エネルギー資源工学	2		2		

環境物質マネジメント	2		2	<p>環境エネルギーコースは、 熱エネルギー概論 電気エネルギー概論 の4単位を必修とし、 エネルギー利用科学 エネルギー変換システム 制御とプログラム サステナブルエネルギー工学 エネルギーネットワーク エネルギー機器工学 エネルギーキャリア 省エネルギー工学 計測とデータ解析 のうちから10単位以上、計 14単位以上を修得しなけ ればならない。</p>
サステナブルエネルギー工学	2		2	
エネルギーネットワーク	2		2	
設 計 工 学	2		2	
物 質 安 全 工 学	2		2	
環 境 バ イ オ 科 学	2		2	
防 災 工 学	2		2	
環 境 分 析 学	2		2	
環 境 生 態 工 学	2		2	
ライフサイクルアセスメント	2		2	
環境アセスメント	2		2	
水 圏 環 境 工 学	2		2	
環 境 衛 生 工 学	2		2	
環 境 安 全 概 論	2	2		
エネルギー機器工学	2		2	
サステナブルエンジニアリング概論	2	2		
ラ ン ド サ ー ベ イ	2		2	
地 盤 力 学	2		2	
環 境 材 料 工 学	2		2	
エネルギーキャリア	2		2	
省エネルギー工学	2		2	
材 料 力 学	2		2	
計測とデータ解析	2		2	
コンストラクションマネジメント	2		2	
アセットマネジメント	2		2	
ゼ ミ ナ ー ル III	1	1		

ゼミナールⅣ	1	1		
サステイナブルハイレベルゼミナール	1		1	
インターナショナルコミュニケーションⅡ	1		1	
ゼミナールⅠ	1	1		
ゼミナールⅡ	1	1		
環境マネジメント	2		2	
卒業研究 1	3	3		
卒業研究 2	3	3		

Ⅸ 創生デザイン学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
創生デザイン概論	2	2		必修単位数42単位を含め、合計68単位以上を修得しなければならない。また、上記単位数に、他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。	
デザイン思想史	2	2			
デザイン実験	2		2	プロダクトデザインコースは、 デザイン実験 デザイン心理 プログラミング応用 サステイナブルデザイン ユニバーサルデザイン コンピューショナルデザイン 材料力学演習 製品工学 製品生産 商品企画とブランディング エルゴノミクスデザイン 製品設計 構造力学 データアナリシス 照明デザイン ソーシャルデザイン インテリアデザイン 感性工学 サウンドスケープ CAE のうちから20単位以上を修得しなければならない。	
色彩・明視	2	2			
デザイン心理	2		2		
プログラミング応用	2		2		
サステイナブルデザイン	2		2		
ユニバーサルデザイン	2		2		
人間工学	2	2			
コンピューショナルデザイン	2		2		
材料力学演習	2		2		
製品工学	2		2		
製品生産	2		2		
商品企画とブランディング	2		2		
エルゴノミクスデザイン	2		2		

デザイン材料	2	2	空間デザインコースは、 デザイン実験 デザイン心理 プログラミング応用 サステイナブルデザイン ユニバーサルデザイン コンピュータショナルデザイン 材料力学演習 商品企画とブランディング エルゴノミクスデザイン 構造力学 データアナリシス 空間構法 空間計画 照明デザイン 空間設計 ソーシャルデザイン インテリアデザイン 感性工学 サウンドスケープ CAE のうちから20単位以上を 修得しなければならない。
製品設計	2	2	
構造力学	2	2	
インタラクションデザイン	2	2	
データアナリシス	2	2	
空間構法	2	2	
空間計画	2	2	
照明デザイン	2	2	
空間設計	2	2	
ソーシャルデザイン	2	2	
図学	2	2	
プログラミング基礎	2	2	
インテリアデザイン	2	2	
感性工学	2	2	
サウンドスケープ	2	2	
デザインコミュニケーション演習	2	2	
インフォグラフィックス演習	2	2	
デザイン基礎製図	2	2	
プロトタイピング演習	2	2	
デザイン思考演習	2	2	
デザイン製図Ⅰ	2	2	
デザインスタジオⅠ	2	2	
デザイン製図Ⅱ	2	2	
デザインスタジオⅡ	2	2	
創生プロジェクト演習	1	1	
ゼミナール A	1	1	

ゼミナール B	1		1		
C A E	2		2		
C A D 演習	2	2			
卒業研究 1	3	3			
卒業研究 2	3	3			

第11節 工学部

第90条 工学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、科目区分ごとに履修方法で定めた単位数を含め、土木工学科・機械工学科・生命応用化学科・情報工学科は126単位以上、建築学科は127単位以上、電気電子工学科は125単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自 主 創 造 の 基 礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日 本 を 考 え る	2		2		

2 教養科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
日 本 語 表 現 法	2		2	8単位以上を修得しなければならない。	
哲 学 I	2		2		
哲 学 II	2		2		
心 理 学 I	2		2		
心 理 学 II	2		2		
日 本 国 憲 法	2		2		
経 済 学 I	2		2		
経 済 学 II	2		2		
日 本 の 文 化	2		2		外国人留学生のみ履修できる。

3 外国語科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英 語 A I	1	1		必修単位数8単位以上を修得しなければならない。	
英 語 A II	1	1			
英 語 A III	1	1			
英 語 A IV	1	1			
英 語 B I	1	1			
英 語 B II	1	1			
英 語 B III	1	1			
英 語 B IV	1	1			
英 語 C I	1		1		

英 語 C II	1		1	} 外国人留学生のみ履修できる。
技 術 英 語	1		1	
基 礎 日 本 語 I	1		1	
基 礎 日 本 語 II	1		1	
日 本 語 講 読 I	1		1	
日 本 語 講 読 II	1		1	

4 体育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
体 育 ・ ス ポ ー ツ I	1	1		必修単位数2単位以上を修得しなければならない。	
体 育 ・ ス ポ ー ツ II	1	1			
健 康 ・ ス ポ ー ツ 概 論	2		2		

5 自然科学科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
工 科 系 数 学 I 及 び 演 習	3	3		必修単位数7単位以上を修得しなければならない。	
工 科 系 数 学 II	2		2	土木工学科は、 化学Iを必修とし、必修単位数9単位を含む15単位以上を修得しなければならない。	
工 科 系 数 学 III	2		2		
工 科 系 数 学 IV	2		2	建築学科は、 必修単位数7単位を含む11単位以上を修得しなければならない。	
工 科 系 数 学 V	2		2	機械工学科は、 工 科 系 数 学 II 工 科 系 数 学 III 工 科 系 数 学 IV 化 学 I 化 学 実 験 及 び 演 習 を必修とし、必修単位数を含む17単位以上を修得しなければならない。	
工 科 系 数 学 VI	2		2		
工 科 系 数 学 VII	2		2		
物 理 学 I	2	2		電気電子工学科は、 工 科 系 数 学 IV 工 科 系 数 学 V 物 理 学 III 化 学 I 化 学 実 験 及 び 演 習 を必修とし、必修単位数を含む17単位以上を修得しなければならない。	
物 理 学 II	2		2		
物 理 学 III	2		2	生命応用化学科は、 工 科 系 数 学 IV 化 学 I 化 学 II 化 学 実 験 及 び 演 習 を必修とし、必修単位数15単位を含む19単位以上を修得しなければならない。	
物 理 学 IV	2		2		
物 理 学 実 験 及 び 演 習	2	2			
化 学 I	2		2		
化 学 II	2		2		
化 学 実 験 及 び 演 習	2		2		

			情報工学科は、 工科系数学Ⅱ 工科系数学Ⅳ 工科系数学Ⅴ 工科系数学Ⅵ 工科系数学Ⅶ を必修とし、必修単位数17単位を含む19単位以上を修得しなければならない。
--	--	--	--

6 専門教育科目

履修方法に基づき、必修科目を含めて所属学科のA群から、土木工学科は80単位以上、建築学科は構造・材料系が88単位以上、計画・環境系が89単位以上、機械工学科は70単位以上、電気電子工学科・生命応用化学科・情報工学科は78単位以上を修得しなければならない。

なお、B群については、10単位を限度として卒業に必要な総単位数に算入することができる（ただし、栽培、工業概論、職業指導Ⅰ、職業指導Ⅱを除く）。

I 専門共通科目					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
ロハス工学入門	2	2		必修単位数12単位以上を修得しなければならない。	
技術者倫理	2	2			
ゼミナール	2	2			
卒業研究	6	6			

II 土木工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				必修単位数42単位に加え、製図及び基礎CAD 社会環境デザイン・スキルズ 空間情報学 建設マネジメント及び施工法のうちから6単位以上、 構造実験 水理実験 水質実験 のうちから4単位以上を修得しなければならない。 社会基盤デザインコースは、 生物と環境の共生概論 構造材料学 交通工学 基礎プログラミング及び演習	
基礎力学及び演習	3	3			
土木基礎力学及び演習	3	3			
コンピュータリテラシー	1	1			
土木基礎数学	2	2			
構造解析学Ⅰ及び演習	3	3			
構造解析学Ⅱ及び演習	3	3			
地盤工学Ⅰ及び演習	3	3			
地盤工学Ⅱ及び演習	3	3			
水理学Ⅰ及び演習	3	3			

水理学Ⅱ及び演習	3	3		土木史及び景観学
統計学	2		2	道路工学
測量学Ⅰ	2		2	河川・流域工学
測量学Ⅱ	2		2	社会基盤保全工学
空間情報学	2		2	海岸・港湾工学
測量実習Ⅰ	1	1		地震リスクマネジメント工学
測量実習Ⅱ	1	1		のうちから12単位以上を 修得しなければならない。
火薬学	2		2	環境デザインコースは、
製図及び基礎CAD	2		2	生物と環境の共生概論
社会環境デザイン・スキルズ	2		2	環境評価論
建設マネジメント及び施工法	2		2	基礎プログラミング及び演習
地震リスクマネジメント工学	2		2	土木史及び景観学
構造材料学	2		2	水資源工学
基礎プログラミング及び演習	3		3	道路工学
材料実験	2	2		河川・流域工学
土質実験	2	2		社会基盤保全工学
鋼構造学	2	2		環境地盤工学
コンクリート構造学及び演習	3	3		地震リスクマネジメント工学
社会基盤保全工学	2		2	のうちから12単位以上を 修得しなければならない。
構造実験	2		2	
環境地盤工学	2		2	
道路工学	2		2	
河川・流域工学	2		2	
海岸・港湾工学	2		2	
水理実験	2		2	
環境評価論	2		2	
交通工学	2		2	
社会基盤計画学	2	2		
土木史及び景観学	2		2	
下水道工学	2	2		
社会基盤概論	2		2	
水質実験	2		2	

水 資 源 工 学	2		2		
生物と環境の共生概論	2		2		
プレゼミナール	1		1		
B群					
木 材 加 工 I	2		2		
木 材 加 工 II	2		2		
金 属 加 工	2		2		
機 械 工 学	2		2		
機 械 加 工 概 論	2		2		
電 気 工 学	2		2		
電 子 回 路 概 論	2		2		
栽 培	2		2		
工 業 概 論	2		2		
職 業 指 導 I	2		2		
職 業 指 導 II	2		2		

Ⅲ 建築学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A群				必修単位数51単位を修得しなければならない。	
建 築 計 画 概 論	2	2			
住 宅 計 画	2	2		構造・材料系は、	
建 築 計 画 I	2	2		構造力学Ⅲ及び演習	
建 築 計 画 II	2		2	木質構造設計法	
福 祉 環 境 学	2		2	鉄筋コンクリート構造	
建 築 設 計 製 図 I	2	2		鋼構造	
建 築 設 計 製 図 II	2	2		建築基礎構造	
建 築 設 計 演 習 I	2	2		の11単位を必修とし、	
建 築 設 計 演 習 II	2	2		建築計画Ⅱ	
建 築 設 計 演 習 III	2		2	建築造形演習	
建 築 設 計 演 習 IV	2		2	都市計画Ⅰ	
建 築 設 計	2	2		日本建築史	
建 築 造 形 演 習	2		2	建築環境工学Ⅱ	
				建築設備Ⅱ	
				構造力学Ⅳ	
				鉄筋コンクリート構造設計法	
				鋼構造設計法	
				建築振動学	

インテリアデザイン	2		2	建築材料学Ⅱ
人間環境デザイン工学	2		2	建築材料科学
都市計画Ⅰ	2		2	建築施工Ⅱ
都市計画Ⅱ	2		2	建築情報処理演習Ⅱ
西洋建築史	2	2		建築情報処理演習Ⅲ
日本建築史	2		2	のうちから14単位以上を 修得しなければならない。
近代建築史	2		2	計画・環境系は、
建築環境・設備概論	2	2		建築計画Ⅱ
建築環境工学Ⅰ	2	2		建築設計演習Ⅲ
建築環境工学Ⅱ	2		2	建築設計演習Ⅳ
建築設備Ⅰ	2	2		インテリアデザイン
建築設備Ⅱ	2		2	都市計画Ⅰ
建築構造・材料概論	2	2		日本建築史
建築構法Ⅰ	2	2		の12単位を必修とし、
建築構法Ⅱ	2	2		福祉環境学
構造力学Ⅰ及び演習	3	3		建築造形演習
構造力学Ⅱ及び演習	3	3		人間環境デザイン工学
構造力学Ⅲ及び演習	3		3	都市計画Ⅱ
構造力学Ⅳ	2		2	近代建築史
応用力学Ⅰ及び演習	3	3		建築環境工学Ⅱ
応用力学Ⅱ及び演習	3	3		建築設備Ⅱ
木質構造設計法	2		2	木質構造設計法
鉄筋コンクリート構造	2		2	鉄筋コンクリート構造
鉄筋コンクリート構造設計法	2		2	鋼構造
鋼構造	2		2	建築基礎構造
鋼構造設計法	2		2	建築材料学Ⅱ
建築基礎構造	2		2	建築情報処理演習Ⅱ
建築振動学	2		2	建築情報処理演習Ⅲ
建築材料実験	1	1		のうちから14単位以上を 修得しなければならない。
建築材料学Ⅰ	2	2		
建築材料学Ⅱ	2		2	
建築材料科学	2		2	

建 築 施 工 I	2	2		
建 築 施 工 II	2		2	
建築情報処理演習 I	1	1		
建築情報処理演習 II	2		2	
建築情報処理演習 III	2		2	
建 築 実 験	1	1		
建 築 関 連 法 規	2	2		
建 築 企 画	2		2	
特 別 講 義	2		2	
インターンシップ	2		2	
B 群				
木 材 加 工 I	2		2	
木 材 加 工 II	2		2	
金 属 加 工	2		2	
機 械 工 学	2		2	
機 械 加 工 概 論	2		2	
電 気 工 学	2		2	
電 子 回 路 概 論	2		2	
栽 培	2		2	
工 業 概 論	2		2	
職 業 指 導 I	2		2	
職 業 指 導 II	2		2	

IV 機械工学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 群					
材料力学 I 及び演習	3	3		必修単位数33単位に加え、 材料力学Ⅱ及び演習 機械力学Ⅱ及び演習 熱力学Ⅱ及び演習 流れの力学Ⅱ及び演習 のうちから6単位以上を修 得しなければならない。 エネルギーエンジニアリ ングコースは、 エネルギー工学 伝熱工学	
材料力学Ⅱ及び演習	3		3		
機械力学Ⅰ及び演習	3	3			
機械力学Ⅱ及び演習	3		3		
熱力学Ⅰ及び演習	3	3			
熱力学Ⅱ及び演習	3		3		

流れの力学Ⅰ及び演習	3	3	流体力学 の6単位を必修とする。
流れの力学Ⅱ及び演習	3		3
機械工学リテラシー	2	2	メカニカルインテリジェ ンスコースは、
確率・統計	2		2
生体工学	2		2
機械要素設計	2	2	システム制御工学 CAD/CAM ロボット工学 の6単位を必修とする。
材料加工	2	2	モビリティソリューション コースは、
マテリアルプロセッシング	2		2
機械材料	2	2	トライボロジー 航空宇宙工学 自動車工学 の6単位を必修とする。
計測工学	2		2
材料の強度	2		2
コンピュータプログラミング入門	2		2
計算力学	2		2
CAD / CAM	2		2
電気・電子工学概論	2		2
流体力学	2		2
企業実習	1		1
機械工作実習	1	1	
機械工学実験Ⅰ	2	2	
機械工学実験Ⅱ	2	2	
基礎製図	2	2	
機械製図	2	2	
機械設計製図	2	2	
冷凍空調工学	2		2
流体機械	2		2
航空宇宙工学	2		2
自動車工学	2		2
システム制御工学	2		2
伝熱工学	2		2
エネルギー工学	2		2
トライボロジー	2		2
ヒューマンダイナミクス	2		2
ロボット工学	2		2

ロハス工学	2	2			
B群					
木材加工 I	2		2		
木材加工 II	2		2		
金属加工	2		2		
電気工学	2		2		
電子回路概論	2		2		
栽培	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導 I	2		2		
職業指導 II	2		2		

V 電気電子工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				必修単位数30単位を修得しなければならない。	
情報リテラシー	1	1			
電磁気学 I 及び演習	3	3		電子情報通信コースは、	
電磁気学 II 及び演習	3	3		確率・統計	
電気回路 I 及び演習	3	3		電子回路 II	
電気回路 II 及び演習	3	3		デジタル回路	
基礎プログラミング及び演習	2	2		半導体デバイス	
確率・統計	2		2	電気電子材料	
電気回路 III	2		2	電気機器 I	
電子回路 I	2	2		電波法及び電気通信事業法	
電子回路 II	2		2	通信工学	
デジタル回路	2		2	電磁波工学	
電気電子計測 I	2	2		光量子エレクトロニクス	
電気電子計測 II	2	2		電波電子応用	
電気電子製作実習	1	1		電気音響工学	
半導体デバイス	2		2	応用プログラミング及び演習	
電気電子材料	2		2	電気電子設計製図	
電気機器 I	2		2	コンピュータ工学	
				情報通信ネットワーク	
				信号処理	
				組込みシステム	
				のうちから28単位以上を修得しなければならない。	
				電気エネルギーコースは、	
				確率・統計	
				電気回路 III	
				電子回路 II	
				半導体デバイス	

電 気 機 器 Ⅱ	2		2	電気電子材料
パワーエレクトロニクス	2		2	電気機器Ⅰ
電 力 工 学 Ⅰ	2		2	電気機器Ⅱ
電 力 工 学 Ⅱ	2		2	パワーエレクトロニクス
電 力 応 用	2		2	電力工学Ⅰ
電気法規及び施設管理	2		2	電力工学Ⅱ
電波法及び電気通信事業法	2		2	電力応用
通 信 工 学	2		2	電気法規及び施設管理
電 磁 波 工 学	2		2	制御工学
企 業 実 習	1		1	応用プログラミング及び演習
光量子エレクトロニクス	2		2	電気電子設計製図
電 波 電 子 応 用	2		2	コンピュータ工学
電 気 音 響 工 学	2		2	信号処理
制 御 工 学	2		2	組込みシステム
応用プログラミング及び演習	2		2	のうちから28単位以上を
電気電子基礎実験Ⅰ	1	1		修得しなければならない。
電気電子基礎実験Ⅱ	1	1		
エレクトロニクス実験	2	2		
エネルギー機器実験	2	2		
電気電子設計製図	2		2	
コンピュータ工学	2		2	
情報通信ネットワーク	2		2	
信 号 処 理	2		2	
組 込 み シ ス テ ム	2		2	
電気電子工学入門	2	2		
B群				
木 材 加 工 Ⅰ	2		2	
木 材 加 工 Ⅱ	2		2	
金 属 加 工	2		2	
機 械 工 学	2		2	
栽 培	2		2	
工 業 概 論	2		2	
職 業 指 導 Ⅰ	2		2	

職業指導Ⅱ	2		2		
アルゴリズム概論	2		2		
情報システム概論Ⅰ	2		2		
情報工学と職業	2		2		

Ⅵ 生命応用化学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				必修単位数32単位に加え、34単位以上を修得しなければならない。	
環境科学	2		2		
分析化学	2	2			
無機化学Ⅰ	2	2			
無機化学Ⅱ	2	2			
物理化学	2	2			
有機化学Ⅰ	2	2			
有機化学Ⅱ	2	2			
化学工学量論	2	2			
移動現象論	2		2		
無機反応化学	2		2		
生命化学Ⅰ	2	2			
生命化学Ⅱ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅰ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅱ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅲ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅳ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅴ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅵ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅶ	2	2			
機器分析化学	2		2		
分子構造解析	2		2		
生命無機化学	2		2		
有機合成化学	2		2		
光機能化学	2		2		

化学情報処理	2		2		
バイオインフォマティクス	2		2		
化学統計学	2		2		
化学熱力学	2		2		
物性化学	2		2		
電気化学	2		2		
生体物質化学	2		2		
生化学	2		2		
生物反応工学	2		2		
細胞生物学	2		2		
有機材料化学	2		2		
高分子合成化学	2		2		
無機材料化学	2		2		
高分子材料	2		2		
分離工学	2		2		
分子生物学	2		2		
ケミカルバイオロジー	2		2		
B群					
化学概論	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	1		1		

VII 情報工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群					
コンピュータ入門及び演習	3	3		必修単位数32単位に加え、 大規模ソフトウェア開発法及び演習 ネットワーク管理技術及び演習 コンピュータビジョン及び演習 デジタル形状処理及び演習 のうちから3単位以上、 コンピュータグラフィックス演習	
プログラミング入門及び演習	3	3			
プログラミングの基礎及び演習	3	3			

コミュニケーションスキル	2	2		
ヒューマンインターフェースと音声	2		2	
情報処理演習Ⅰ	1		1	
情報処理演習Ⅱ	1		1	
企業実習	1		1	
デジタル形状処理及び演習	3		3	
環境と情報	2		2	
Webコンテンツ及び演習	3		3	
コンピュータグラフィックス演習	1		1	
データベース応用演習	1		1	
組み込みシステム開発応用演習	1		1	
人工知能応用演習	1		1	
B群				
代数学Ⅰ	2		2	
代数学Ⅱ	2		2	
幾何学Ⅰ	2		2	
幾何学Ⅱ	2		2	
幾何学Ⅲ	2		2	

第12節 医学部

第91条 医学部における授業科目及び授業時間数、単位数並びに履修方法は、次のとおりである。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自 主 創 造 の 基 礎	2		2		
日 本 を 考 え る	2		2		

2 一般教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(I 群)					
A 人文社会科学系				I 群A人文社会科学系，B自然科学系，C総合科学系のうちから，2科目4単位以上を修得しなければならない。	
医系人文科学入門	2		2		
医系社会科学入門	2		2		
B 自然科学系					
生体分子科学	2		2	I 群D国際文化学系のうちから，1科目1単位以上を修得しなければならない。	
生体理工学	2		2		
数理科学	2		2		
基礎生物学	2		2		
C 総合科学系					
学際的研究	2		2		
D 国際文化学系					
ドイツ語	1		1		
韓国語	1		1		
中国語	1		1		
フランス語	1		1		
(II 群)					
A 人文社会科学系					
生命倫理学	2	2			
医療法学	2	2			
健康・身体教育学	1	1			
スポーツトレーニング	1	1			
情報科学	2	2			

臨床心理学	1	1		
行動科学	2	2		
B 自然科学系				
自然科学実習・演習	2	2		
医系生物学	3	3		
数学・生物統計学	2	2		
C 総合科学系				
医学序論	2	2		
数理生命科学基礎	2	2		
D 国際文化学系				
英語	1	1	1	
英語	2	2	2	
英語	3	2	2	
英語	4	2	2	
英語	5	2	2	

3 専門教育科目

授業科目	授業時間数	必修時間数	選択時間数	履修方法	備考
医学英語	10	10			
解剖学Ⅰ（含実習）	88	88			
解剖学Ⅱ（含実習）	135	135			
生理学Ⅰ	22	22			
生理学Ⅱ（含実習）	87	87			
生化学Ⅰ（含実習）	22	22			
生化学Ⅱ（含実習）	67	67			
薬理学（含実習）	61	61			
微生物学（含実習）	52	52			
免疫学（含実習）	22	22			
病理学（含実習）	75	75			
発生生殖医学	22	22			
臨床医学総論	70	70			
呼吸器・胸壁・縦隔	105	105			
心臓・脈管	140	140			
消化器・腹壁・腹膜	175	175			

血液・腫瘍	70	70		
神経・運動器	140	140		
内分泌・代謝・栄養・乳腺	105	105		
アレルギー・膠原病	35	35		
腎・泌尿器・生殖器	175	175		
先天異常・周産期・成長・発達	70	70		
精神医学	70	70		
救急医療	35	35		
皮膚・頭頸部	140	140		
感染性疾患	105	105		
公衆衛生学	45	45		
衛生学	22	22		
法医学	22	22		
医療管理学	22	22		
社会医学演習	70	70		
clinical skills training1	196	196		
clinical skills training2	56	56		
自由選択医学研究 1	140	140		
自由選択医学研究 2	33		33	

4 臨床実習

授業科目	授業時間数	必修時間数	選択時間数	履修方法	備考
初期 clinical clerkship	420	420			
clinical clerkship1	420	420			
clinical clerkship2	455	455			
clinical clerkship3	343	343			
地域中核病院実習	35	35			
社会医学臨床実習	35	35			
選択臨床実習	735	735			

第13節 歯学部

第92条 歯学部における授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は各科目区分より総計196単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2			
日本を考える	2		2		

2 教養科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
歯科医師として求められる基本的な資質					
歯科医学入門 1	1	1			
歯科医学入門 2	1	1			
英 語 1	1	1			
英 語 2	1	1			
英 語 3	1	1			
スポーツ健康科学 1	1	1			
スポーツ健康科学 2	1	1			
歯科臨床早期見学実習	1	1			
歯科臨床見学実習	1	1			
歯科臨床体験実習	1	1			
プロフェッショナリズムと行動科学	1	1			
プロフェッショナリズム	1	1			
医療コミュニケーション学	1	1			
研 究 の 実 践	1		1		
生涯学習とキャリアデザイン	1	1			
最先端歯科医療学	1	1			
歯科医学を学ぶための基礎					
物 理 学 1	2	2			
物 理 学 2	2	2			
化 学	5	5			

生 物 学	5	5		
医 療 統 計 学	1	1		
デ-ータサイエンス	1	1		

3 専門科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
全身管理					
生 理 学 1	3	3			
生 理 学 2	2	2			
生 化 学 1	1	1			
生 化 学 2	2	2			
生 化 学 3	1	1			
薬 理 学 1	3	3			
薬 理 学 2	4	4			
歯科麻酔学 1	1	1			
歯科麻酔学 2	1	1			
社会と歯学					
衛 生 学 1	2	2			
衛 生 学 2	2	2			
社会歯科学 1	2	2			
社会歯科学 2	1	1			
法 医 学	2	2			
口腔と顎顔面疾患の治療					
解 剖 学 (骨)	1	1			
解 剖 学 (筋)	1	1			
解 剖 学 (内臓)	1	1			
解 剖 学 (神経)	1	1			
解剖学(脈管・感覚器)	1	1			
人体解剖学実習	2	2			
歯 の 解 剖 学	2	2			
組 織 ・ 発 生 学	4	4			
口 腔 組 織 学	3	3			
病 理 学 1	2	2			
病 理 学 2	2	2			

口腔外科学 1	3	3		
口腔外科学 2	3	3		
診療の基本				
歯科放射線学 1	1	1		
歯科放射線学 2	2	2		
口腔内科学 1	1	1		
口腔内科学 2	1	1		
診 査 診 断 学	1	1		
歯と歯周組織の治療				
感染症免疫学 1	3	3		
感染症免疫学 2	3	3		
保存修復学 1	2	2		
保存修復学 2	2	2		
歯内療法学 1	2	2		
歯内療法学 2	2	2		
歯周病学 1	2	2		
歯周病学 2	2	2		
歯質と歯の欠損治療				
歯科理工学 1	2	2		
歯科理工学 2	3	3		
顎口腔機能学	1	1		
冠橋義歯補綴学 1	2	2		
冠橋義歯補綴学 2	3	3		
部分床義歯補綴学 1	2	2		
部分床義歯補綴学 2	2	2		
全部床義歯補綴学 1	1	1		
全部床義歯補綴学 2	2	2		
口腔インプラント学	1	1		
小児歯科・矯正歯科治療				
小児歯科学 1	2	2		
小児歯科学 2	1	1		
歯科矯正学	2	2		
歯科矯正学実習	1	1		

スペシャルニーズデンティストリー					
高齢者歯科学	1	1			
有病者歯科学	1	1			
摂食機能療法学	1	1			
隣接医学 1	1	1			
隣接医学 2	1	1			
隣接医学 3	1	1			
歯科治療の多様化	1	1			
総合科目					
総括講義 1	7	7			
総括講義 2	12	12			
総括講義 3	15	15			
診療参加型臨床実習	20	20			
7 ^ト バソト診療参加型臨床実習	2		2		

第14節 松戸歯学部

第93条 松戸歯学部における授業科目及び単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、履修方法に指定された単位を含め、197単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2	2			

2 教養科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
歯科医学へのとびら	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
世界を考える	2	2			
ドイツ文学	2		2	ドイツ文学	
美学	2		2	美学	
心理学	2		2	心理学	
人類学	2		2	人類学	
法学	2		2	法学	
科学哲学	2		2	科学哲学	
スポーツの生理学・心理学	2		2	スポーツの生理学・心理学	
生命の文化誌	2		2	生命の文化誌	のうちから、4単位以上を修得しなければならない。
多様性文化論	2		2	多様性文化論	

3 外国語科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英語 1	3	3		必修単位数6単位を修得しなければならない。	
英語 2	1	1			
英語 3	1	1			
英語 4	1	1			

4 保健体育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
保健体育	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	

5 準備教育科目(○印は演習・実験・実習又は実技を含む)

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
○物 理 学	4	4		必修単位数13単位を修得しなければならない。	
○生 命 科 学	6	6			
数 学	3	3			

6 専門科目(○印は演習・実験・実習又は実技を含む)

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
<医療行動科学領域>				必修単位数164単位を修得しなければならない。	
医 療 行 動 科 学 1	2	2			
医 療 行 動 科 学 2	2	2			
医 療 行 動 科 学 3	2	2			
医 療 行 動 科 学 4	2	2			
<基礎歯科医学領域>					
○解 剖 学	7	7			
○歯 の 解 剖 学	2	2			
○組 織 ・ 発 生 学	6	6			
○生 理 学	5	5			
○生 化 学	4	4			
薬 理 学 1	1	1			
○薬 理 学 2	3	3			
○微 生 物 ・ 免 疫 学	4	4			
○病 理 学	2	2			
○口 腔 病 理 学	3	3			
○歯 科 材 料 学 1	3	3			
歯 科 材 料 学 2	1	1			
<社会歯科医学領域>					
衛 生 ・ 公 衆 衛 生 学	1	1			
社 会 歯 科 学	1	1			
医 療 統 計 学	1	1			
○口 腔 衛 生 学	3	3			
<臨床歯科医学領域>					
栄 養 学	1	1			

○放射線学	4	4		
○歯科保存学 1	7	7		
○歯科保存学 2	6	6		
○歯科補綴学 1	10	10		
○歯科補綴学 2	4	4		
口腔顎顔面外科学	4	4		
○歯科麻酔学	2	2		
○小児歯科学	4	4		
○歯科矯正学	3	3		
障害者歯科学	1	1		
高齢者歯科学	1	1		
<総合医学領域>				
総合医学	5	5		
<総合歯科医学領域>				
歯科医学総合講義 1	2	2		
歯科医学総合講義 2	2	2		
歯科医学総合講義 3	2	2		
歯科医学総合講義 4	5	5		
歯科医学総合講義 5	6	6		
歯科医学総合講義 6	22	22		
<臨床実習領域>				
臨床実習	15	15		
課題別臨床実習	3	3		

第15節 生物資源科学部

第94条 生物資源科学部における各学科（バイオサイエンス学科，動物学科，海洋生物学科，森林学科，環境学科，アグリサイエンス学科，食品開発学科，食品ビジネス学科，国際共生学科，獣医保健看護学科，獣医学科）の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法に定めた単位数（学芸員課程科目を除く）を含め，総計124単位以上を，ただし獣医学科については184単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

2 教養教育科目（各学科共通）

全学共通教育科目及び教養教育科目のうちから必修科目を含めて，30単位以上（獣医保健看護学科及び獣医学科は24単位以上）を修得しなければならない。

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
言語系科目					
英 語 I A	1	1		バイオサイエンス学科は基礎化学，基礎生物学，データサイエンスの基礎，動物学科は基礎生物学，環境学科は基礎化学，基礎生物学，アグリサイエンス学科は基礎化学，基礎生物学，獣医保健看護学科は基礎生物学，総合生物学，獣医学科は基礎生物学，総合生物学を必修とする。 言語系科目のうち，外国人留学生は母語を履修することはできない。英語を母語とする外国人留学生は，英語 I A，英語 I B，英語 II A，英語 II B，英語 III A，英語 III B，英語 IV A，英語 IV Bを除いた科目から8単位以上を修得しなければならない。	
英 語 I B	1	1			
英 語 II A	1	1			
英 語 II B	1	1			
英 語 III A	1	1			
英 語 III B	1	1			
英 語 IV A	1	1			
英 語 IV B	1	1			
初級ドイツ語文法A	1		1		
初級ドイツ語文法B	1		1		
初級ドイツ語講読A	1		1		
初級ドイツ語講読B	1		1		
初級ドイツ語会話A	1		1		
初級ドイツ語会話B	1		1		
中級ドイツ語講読A	1		1		

中級ドイツ語講読B	1	1	また、日本語Ⅰ、日本語Ⅱは外国人留学生のみ履修できる。
検定ドイツ語A	1	1	
検定ドイツ語B	1	1	国際共生学科においては、言語系科目のうち、英語以外の外国語の中から一つ選択し、初級文法A・初級文法B及び初級会話A・初級会話Bの4単位を修得しなければならない。
初級フランス語文法A	1	1	
初級フランス語文法B	1	1	
初級フランス語会話A	1	1	
初級フランス語会話B	1	1	
初級スペイン語文法A	1	1	
初級スペイン語文法B	1	1	
初級スペイン語会話A	1	1	
初級スペイン語会話B	1	1	
初級中国語文法A	1	1	
初級中国語文法B	1	1	
初級中国語会話A	1	1	
初級中国語会話B	1	1	
中級中国語文法	1	1	
中級中国語会話	1	1	
初級韓国語文法A	1	1	
初級韓国語文法B	1	1	
初級韓国語会話A	1	1	
初級韓国語会話B	1	1	
日本語Ⅰ	1	1	
日本語Ⅱ	1	1	
人文・社会系科目			
日本語表現の基礎	2	2	
日本の文学	2	2	
哲学入門	2	2	
哲学の現在	2	2	
倫理学入門	2	2	
倫理学の現在	2	2	
心理学入門	2	2	
行動心理学	2	2	

個性の心理学	2	2		
文化人類学入門	2	2		
環境の文化人類学	2	2		
比較文化論	2	2		
比較芸術論	2	2		
法学入門	2	2		
日本国憲法	2	2		
社会学入門	2	2		
政治学入門	2	2		
政治と現代社会	2	2		
経済学入門	2	2		
経済と現代社会	2	2		
地理学入門	2	2		
歴史学入門	2	2		
社会学の現在	2	2		
現代社会と福祉	2	2		
世界の歴史	2	2		
日本の歴史	2	2		
地理学の現在	2	2		
自然系科目				
物理学入門	2	2		
基礎力学	2	2		
基礎化学	2	2		
基礎生物学	2	2		
基礎地球科学	2	2		
統計学入門	2	2		
推計学入門	2	2		
解析学	2	2		
線形代数	2	2		
物理学演習	1	1		
総合生物学	2	2		
総合化学	2	2		

総合地球科学	2		2		
健康・スポーツ系科目					
スポーツ実技Ⅰ	1	1			
スポーツ実技Ⅱ	1		1		
スポーツ実技Ⅲ	1		1		
スポーツ実技Ⅳ	1		1		
スポーツ科学	2		2		
総合系科目					
データサイエンスの基礎	2		2		
情報科学	2		2		
科学史	2		2		
科学技術と社会	2		2		
地球環境を考える	2		2		
生命倫理	2		2		
ボランティア論	1		1		

3 基礎専門科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
海外フィールド実習	1		1		

4 専門教育科目

基礎専門科目及び専門教育科目のうちから必修科目を含めて、94単位以上（獣医保健看護学科は100単位以上、獣医学科は160単位以上）を修得しなければならない。また、許可を得て他学科設置の専門教育科目を修得した者については、20単位を超えない範囲で所属学科の専門教育科目の選択科目を修得したものとみなす。

I バイオサイエンス学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
専門基礎領域					
アクティブラーニング・PBL科目					
バイオサイエンス入門	2	2			
バイオサイエンス体験	2	2			
バイオサイエンス演習Ⅰ	1		1		

バイオサイエンス演習Ⅱ	1		1	
バイオサイエンス演習Ⅲ	1		1	
バイオサイエンス演習Ⅳ	1		1	
バイオサイエンス英語Ⅰ	1		1	
バイオサイエンス英語Ⅱ	1		1	
バイオ英語プレゼンテーションⅠ	1		1	
バイオ英語プレゼンテーションⅡ	1		1	
専門共通コア科目				
細胞生物学	2	2		バイオサイエンス解析法Ⅰ バイオサイエンス解析法Ⅱ バイオサイエンス解析法Ⅲ のうちから2単位を選択必修とする。
有機化学	2	2		
分子生物学	2	2		
バイオサイエンス概論	2	2		
微生物学	2	2		
生物の有機化学	2	2		
ゲノム生物学	2	2		
生命とバイオの倫理	2	2		
分析化学	2		2	
生体分子の構造解析	2		2	
AIと生命情報科学	2		2	
バイオサイエンス解析法Ⅰ	2		2	
バイオサイエンス解析法Ⅱ	2		2	
バイオサイエンス解析法Ⅲ	2		2	
バイオインフォマティクス	2		2	
分子間相互作用学	2		2	
生物統計解析学	2		2	
革新的バイオ産業の創出	2		2	
食品衛生学	2		2	
専門科目				
栄養科学	2	2		
分子栄養学	2	2		
タンパク質と酵素の科学	2	2		
ケミカルバイオロジー	2	2		

DNAテクノロジー	2	2		
植物の細胞生理	2	2		
微生物生理学	2	2		
病態生化学	2	2		
バイオサイエンス研究Ⅰ	3	3		
バイオサイエンス研究Ⅱ	3	3		
実験系科目				
栄養と健康科学実験Ⅰ	1	1	1	「栄養と健康科学実験Ⅰ，発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅰ，微生物と植物実験Ⅰ」，「栄養と健康科学実験Ⅱ，発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅱ，微生物と植物実験Ⅱ」，「栄養と健康科学実験Ⅲ，発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅲ，微生物と植物実験Ⅲ」から，各1単位を選択必修とする。
発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅰ	1	1	1	
微生物と植物実験Ⅰ	1	1	1	
栄養と健康科学実験Ⅱ	1	1	1	
発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅱ	1	1	1	
微生物と植物実験Ⅱ	1	1	1	
栄養と健康科学実験Ⅲ	1	1	1	
発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅲ	1	1	1	
微生物と植物実験Ⅲ	1	1	1	
専門応用領域				
栄養・健康科学系科目				
栄養と健康科学	2	2	2	
人体と生命の科学	2	2	2	
食と健康科学	2	2	2	
代謝生化学	2	2	2	
栄養機能学	2	2	2	
アレルギーの科学	2	2	2	
サプリメントと薬理学	2	2	2	
スポーツと健康科学	2	2	2	
インダストリーと栄養	2	2	2	
発酵・ケミカルバイオロジー系科目				
バイオマスを知る	2	2	2	
分子創生の科学	2	2	2	
発酵科学	2	2	2	
バイオマスを活かす	2	2	2	

生理活性物質の科学	2	2		
バイオマス発酵学	2	2		
創薬科学	2	2		
天然物化学	2	2		
サステイナブルイノベーション	2	2		
医薬と化粧品化学	2	2		
微生物・植物系科目				
微生物遺伝学	2	2		
遺伝子とゲノムの情報学	2	2		
植物細胞分子生物学	2	2		
微生物機能利用学	2	2		
インダストリーと微生物	2	2		
植物と微生物の相互作用	2	2		
オミクス解析学	2	2		
エピジェネティクスとゲノム編集	2	2		
植物免疫学	2	2		
植物のシグナル伝達	2	2		
スマートセルインダストリー	2	2		
植物の機能と制御	2	2		
広域基礎科目				
生物資源科学概論	2	2		
生物学概論Ⅰ	2	2		
生物学概論Ⅱ	2	2		
物理学概論Ⅰ	2	2		
物理学概論Ⅱ	2	2		
化学概論Ⅰ	2	2		
化学概論Ⅱ	2	2		
生物学実験	2	2		
職業指導	4	4		
化学実験	2	2		
物理学実験	2	2		
地学概論Ⅰ	2	2		

地 学 概 論 II	2		2	
地 学 実 験	2		2	

II 動物学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
基盤領域					
最 新 の 動 物 学	2	2		フィールド調査実習 動物自然史博物館実習 動物学応用実験 保全生物学実習 のうちから1単位以上を選択 必修とする。	
動 物 の 多 様 性	2	2			
動 物 細 胞 生 物 学	2	2			
生 化 学	2	2			
動 物 遺 伝 学	2	2			
動 物 生 理 学	2	2			
動 物 形 態 学	2	2			
動 物 系 統 分 類 学	2	2			
動 物 学 基 礎 実 験 I	1	1			
分 子 生 物 学	2	2			
哺 乳 類 ・ 鳥 類 学	2	2			
昆 虫 体 系 学	2	2			
動 物 学 基 礎 実 験 II	1	1			
両 生 類 ・ 爬 虫 類 学	2	2			
基 礎 栄 養 学	2	2			
動 物 組 織 学	2	2			
動 物 科 学 論 文 講 読	1	1			
生 物 統 計 学	2	2			
動 物 の 福 祉 と 倫 理	2	2			
応用領域					
動物生命史系科目					
動 物 行 動 学	2		2		
動 物 生 態 学	2		2		
フ ィ ー ル ド 生 態 調 査 法	2		2		
動 物 自 然 史 博 物 学	2		2		

応用昆虫学	2	2	
海岸生物学	2	2	
フィールド調査実習	1	1	
動物学史	2	2	
古動物学	2	2	
動物自然史博物館実習	1	1	
動物地理学	2	2	
動物生命科学系科目			
動物発生学	2	2	
免疫生物学	2	2	
微生物学	2	2	
実験動物学	2	2	
生殖生物学	2	2	
応用免疫学	2	2	
動物学応用実験	1	1	
神経生物学	2	2	
生物情報学	2	2	
再生生物学	2	2	
時間生物学	2	2	
動物バイオテクノロジー	2	2	
動物の保全と環境系科目			
環境科学	2	2	
外来動物管理学	2	2	
野生動物管理学	2	2	
保全生物学	2	2	
動物園飼育管理学	2	2	
動物と社会	2	2	
都市動物学	2	2	
動物心理学	2	2	
保全生物学実習	1	1	
動物の採餌と飼料	2	2	
野生動物と飼育動物の感染症学	2	2	

展開領域					
動物学特別講義	1		1		
動物学演習	1	1			
動物学研究Ⅰ	3	3			
動物学研究Ⅱ	3	3			
広域基礎科目					
生物資源科学概論	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅲ 海洋生物学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
専門共通系科目					
海洋生物学概論	2	2		生物機能化学実験 水族生理学実験	
海洋基礎実習Ⅰ	1	1		漁業生産システム学実験 魚病学実験	
海洋基礎実習Ⅱ	1	1		水産利用学実験 食品衛生学実験	
水族館論	2		2	海洋環境学実験 水族生態学実験	
海洋生物展示学	2		2	のうちから4科目以上を修得 すること。	
海洋基礎生物	2		2		
海洋基礎化学	2		2		
海洋基礎物理	2		2		

小型船舶操縦法実習	1		1	
海洋生物展示学実習	1		1	
海洋生物学演習Ⅰ	1	1		
海洋生物学演習Ⅱ	1	1		
海洋生物学実習Ⅰ	1	1		
海洋生物学実習Ⅱ	1	1		
海洋特別講義	2		2	
水産経済学	2		2	
バイオインフォマティクス論	2		2	
水族統計学	2		2	
学外研修	1		1	
海洋生物学研究Ⅰ	3	3		
海洋生物学研究Ⅱ	3	3		
生命科学系科目				
魚類学	2	2		
無脊椎動物学	2	2		
海生ほ乳類学	2		2	
軟骨魚類学	2		2	
生化学	2	2		
生物機能化学実験	1		1	
水族生理学	2		2	
細胞組織学	2		2	
生物機能化学	2		2	
水族生理学実験	1		1	
水族免疫学	2		2	
栄養生理学	2		2	
生産科学系科目				
増養殖学	2	2		
魚病学	2		2	
水族発生学	2		2	
漁業生産システム学実験	1		1	
漁業生産システム学	2		2	

魚病学実験	1		1	
行動生態学	2		2	
水産資源学	2		2	
水族環境学	2		2	
魚類繁殖行動学	2		2	
魚群行動学	2		2	
遺伝育種学	2		2	
利用科学系科目				
水産利用学	2	2		
水産利用学実験	1		1	
食品衛生学実験	1		1	
水産食品化学	2		2	
生物有機化学	2		2	
海洋微生物学	2		2	
食品微生物学	2		2	
分析化学	2		2	
食品加工学	2		2	
ケミカルバイオロジー	2		2	
食品衛生学	2		2	
環境科学系科目				
海洋環境学	2	2		
プランクトン学	2		2	
藻類学	2		2	
海洋環境学実験	1		1	
深海生物学	2		2	
底生生物学	2		2	
マリントキシン	2		2	
水族生態学実験	1		1	
水族生態学	2		2	
海洋環境化学	2		2	
広域基礎科目				
生物資源科学概論	2		2	

生物学概論 I	2		2		
生物学概論 II	2		2		
物理学概論 I	2		2		
物理学概論 II	2		2		
化学概論 I	2		2		
化学概論 II	2		2		
生物学実験	2		2		
職業指導	4		4		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論 I	2		2		
地学概論 II	2		2		
地学実験	2		2		

IV 森林学科						
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考	
共通科目						
森林概論 I	2	2		選択科目の実験，実習，演習のうち，「森林生物・機能関連科目」，「森林共生関連科目」，「バイオマス利用関連科目」の3つの中から1つ以上の関連科目群について2科目以上を修得すること。		
森林概論 II	2	2				
実践森林学	2	2				
森林基礎実習	1	1				
森林フィールド実習	1		1			
森林特別演習 I	1	1				
森林特別演習 II	1	1				
森林特別演習 III	1	1				
森林特別演習 IV	1	1				
森林学研究 I	3	3				
森林学研究 II	3	3				
森林科学英語	2		2			
森林生物・機能関連科目						
森林植物学	2	2				

森 林 生 態 学	2	2		
森 林 微 生 物 学	2	2		
森 林 基 礎 環 境 学	2	2		
森 林 育 成 学	2	2		
森 林 気 象 学	2	2		
森 林 環 境 修 復 学	2		2	
森 林 基 礎 工 学	2		2	
森 林 土 壤 学	2		2	
森 林 動 物 学	2		2	
森 林 昆 虫 学	2		2	
森 林 生 態 学 実 習	1		1	
森 林 微 生 物 学 実 習	1		1	
森 林 病 理 学	2		2	
森 林 生 物 多 様 性 論	2		2	
森 林 環 境 保 全 学	2		2	
森 林 災 害 論	2		2	
き の こ 学	2		2	
森 林 育 成 学 実 習	1		1	
森 林 気 象 学 演 習	1		1	
森 林 生 物 多 様 性 実 習	1		1	
森 林 微 生 物 学 実 験	1		1	
森 林 環 境 保 全 学 演 習	1		1	
樹 木 ・ 木 材 保 存 学	2		2	
樹 木 医 概 論	2		2	
森林共生関連科目				
森 林 管 理 学	2	2		
森 林 政 策 学	2	2		
森 林 計 測 学	2		2	
森 林 環 境 教 育 論	2		2	
森 林 バイオマス生産学	2		2	
森 林 機 械 学	2		2	
森 林 測 量 学	2		2	

森林計測学実習	1		1	
森林測量学実習	1		1	
森林アメニティ論	2		2	
森林ツーリズム論	2		2	
森林ビジネス論	2		2	
森林空間情報学	2		2	
森林空間情報学実習	1		1	
バイオマス利用関連科目				
森林基礎材料学	2	2		
森林基礎成分学	2	2		
木造住宅論	2	2		
森林資源材料学	2		2	
森林資源成分学	2		2	
バイオマス資源利用学	2		2	
森林資源材料学実験	1		1	
森林資源成分学実験	1		1	
インテリアプランニング概論	2		2	
木材構造利用学	2		2	
バイオマス資源利用学実験	1		1	
木材計測学実験	1		1	
広域基礎科目				
生物資源科学概論	2		2	
生物学概論Ⅰ	2		2	
生物学概論Ⅱ	2		2	
物理学概論Ⅰ	2		2	
物理学概論Ⅱ	2		2	
化学概論Ⅰ	2		2	
化学概論Ⅱ	2		2	
生物学実験	2		2	
職業指導	4		4	
化学実験	2		2	
物理学実験	2		2	

地 学 概 論 I	2		2	
地 学 概 論 II	2		2	
地 学 実 験	2		2	

V 環境学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
共通・基礎分野科目					
環 境 の 法 則	2	2		「地理情報リモートセンシング実習Ⅰ，地理情報リモートセンシング実習Ⅱ」，「水環境学実験Ⅰ，水環境学実験Ⅱ」，「土環境学実験Ⅰ，土環境学実験Ⅱ」，「指標生物学実習Ⅰ，指標生物学実習Ⅱ」，「環境の材料と構造実験Ⅰ，環境の材料と構造実験Ⅱ」，「緑地環境学実習Ⅰ，緑地環境学実習Ⅱ」，「環境アセスメント調査Ⅰ，環境アセスメント調査Ⅱ」の中から2単位を選択必修とする。	
環 境 学 概 論	2	2			
生 態 学	2	2			
環境学基礎実験Ⅰ	1	1			
環境学基礎実験Ⅱ	1	1			
自然物質循環学	2	2			
環境計測学	2	2			
環境アセスメント	2	2			
環境計測学実習	1	1			
陸域環境学	2		2		
環境修復学	2	2			
環境学演習Ⅰ	1	1			
環境学演習Ⅱ	1	1			
環境統計学	2		2		
環境のリスクマネジメント	2		2		
専 門 英 語	2		2		
再生可能エネルギー学	2		2		
環境学特別講義	2		2		
環境学演習Ⅲ	1	1			
環境学演習Ⅳ	1	1			
環境学研究Ⅰ	3	3			
環境学研究Ⅱ	3	3			
環境技術者倫理	2		2		
地球環境系科目					

地球環境学	2	2		
大気環境学	2	2		
気象学	2		2	
地球温暖化対策	2		2	
地理情報リモートセンシング実習Ⅰ	1		1	
地理情報リモートセンシング実習Ⅱ	1		1	
自然環境系科目				
植生学	2	2		
生物圏水循環学	2	2		
保全生物学	2	2		
土壌科学分析	2	2		
水質分析法	2	2		
指標生物学	2	2		
土の力学	2		2	
水の流れの科学	2		2	
陸域保全学	2		2	
土壌循環学	2		2	
地域再生学	2		2	
水圏環境学	2		2	
河川生態学	2		2	
環境微生物学	2		2	
湿地環境学	2		2	
水圏環境工学	2		2	
河川環境の防災	2		2	
水圏生物学	2		2	
水環境学実験Ⅰ	1		1	
水環境学実験Ⅱ	1		1	
土環境学実験Ⅰ	1		1	
土環境学実験Ⅱ	1		1	
指標生物学実習Ⅰ	1		1	
指標生物学実習Ⅱ	1		1	
都市環境系科目				

都 市 環 境 学	2	2			
緑 地 環 境 学	2	2			
環 境 計 画 学	2		2		
環 境 の 材 料 と 構 造	2		2		
ラ ン ド ス ケ ー プ デ ザ イ ン	2		2		
都 市 防 災 学	2		2		
環 境 保 全 の 施 工 と 管 理	2		2		
環 境 の 材 料 と 構 造 実 験 I	1		1		
環 境 の 材 料 と 構 造 実 験 II	1		1		
緑 地 環 境 学 実 習 I	1		1		
緑 地 環 境 学 実 習 II	1		1		
環 境 ア セ ス メ ン ト 調 査 I	1		1		
環 境 ア セ ス メ ン ト 調 査 II	1		1		
広域基礎科目					
生 物 資 源 科 学 概 論	2		2		
生 物 学 概 論 I	2		2		
生 物 学 概 論 II	2		2		
物 理 学 概 論 I	2		2		
物 理 学 概 論 II	2		2		
化 学 概 論 I	2		2		
化 学 概 論 II	2		2		
生 物 学 実 験	2		2		
化 学 実 験	2		2		
物 理 学 実 験	2		2		
地 学 概 論 I	2		2		
地 学 概 論 II	2		2		
地 学 実 験	2		2		

VI アグリサイエンス学科					
授 業 科 目	単 位 数	必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	履 修 方 法	備 考
専門共通科目					

専門共通コア科目				
アグリサイエンス概論	2	2		
細胞・発生学	2	2		
生化学	2	2		
農業のすがた	2	2		
分子生物学	2	2		
遺伝学入門	2	2		
ブランド創生学	2	2		
アグリサイエンステクノロジー	2	2		
アグリビジネス・マーケティング論	2	2		
産業動物品種論	2		2	
動物形態学	2		2	
動物生理学	2		2	
植物形態学	2		2	
植物生態学	2		2	
植物生理学	2		2	
作物栽培学	2		2	
農業と環境	2		2	
持続型農業論	2		2	
花文化論	2		2	
飼料作物学	2		2	
生命と技術の倫理	2	2		
生物統計学入門	2	2		
施設園芸学	2		2	
ポストハーベストテクノロジー	2		2	
アグリブランド生産学	2	2		
地域・ブランド農畜産物論	2	2		
作物分子生理学	2		2	
園芸分子生理学	2		2	
フラワー分子生理学	2		2	
草地と放牧	2		2	
スマート農業論	2		2	
				動物性食資源コース，植物性食資源コース，フラワーサイエンスコースを置き，動物性食資源コースでは動物科学基礎実験を，植物性食資源コースとフラワーサイエンスコースでは植物科学基礎実験を必修とする。
				動物性食資源コースでは産業動物品種論，動物生理学，飼料作物学，産業動物管理学，動物遺伝育種学，動物繁殖学，栄養・飼養学，動物バイオテクノロジー，産業動物飼育計画論，動物科学応用実験Ⅰ，動物科学応用実験Ⅱを，植物性食資源コースでは植物形態学，植物生態学，植物生理学，作物学Ⅰ，野菜園芸学，植物遺伝育種学，植物病理学，応用昆虫学，作物学Ⅱ，果樹園芸学，土壌・植物栄養学，植物科学応用実験Ⅰ，植物科学応用実験Ⅱを，フラワーサイエンスコースでは植物形態学，植物生態学，植物生理学，フラワー園芸学Ⅰ，色彩・造形学，フラワー装飾学，フラワー園芸学Ⅱ，花壇庭園装飾学，フラワーサイエンス実験Ⅰ，フラワーサイエンス実験Ⅱを必修とする。

アグリサイエンス特別講義 実験・実習・演習科目	2		2	
ブランド創生フィールドワーク	1	1		
アグリサイエンス基礎実験	1	1		
アグリサイエンス実習Ⅰ	1	1		
アグリサイエンス実習Ⅱ	1	1		
アグリサイエンス演習Ⅰ	1	1		
アグリサイエンス演習Ⅱ	1	1		
アグリサイエンス演習Ⅲ	1	1		
アグリサイエンス演習Ⅳ	1	1		
アグリサイエンス研究Ⅰ	3	3		
アグリサイエンス研究Ⅱ	3	3		
動物性食資源系科目				
専門科目				
産業動物管理学	2		2	
動物遺伝育種学	2		2	
動物繁殖学	2		2	
栄養・飼養学	2		2	
動物バイオテクノロジー	2		2	
産業動物飼育計画論	2		2	
実験・実習系科目				
動物科学基礎実験	1		1	
動物科学応用実験Ⅰ	1		1	
動物科学応用実験Ⅱ	1		1	
植物性食資源系科目				
専門科目				
作物学Ⅰ	2		2	
野菜園芸学	2		2	
植物遺伝育種学	2		2	
植物病理学	2		2	
応用昆虫学	2		2	
作物学Ⅱ	2		2	

果樹園芸学	2	2		
土壌・植物栄養学	2	2		
実験・実習系科目				
植物科学基礎実験	1	1		
植物科学応用実験Ⅰ	1	1		
植物科学応用実験Ⅱ	1	1		
フラワーサイエンス系科目				
専門科目				
フラワー園芸学Ⅰ	2	2		
色彩・造形学	2	2		
フラワー装飾学	2	2		
フラワー園芸学Ⅱ	2	2		
花壇庭園装飾学	2	2		
実験・実習系科目				
フラワーサイエンス実験Ⅰ	1	1		
フラワーサイエンス実験Ⅱ	1	1		
広域基礎科目				
生物資源科学概論	2	2		
生物学概論Ⅰ	2	2		
生物学概論Ⅱ	2	2		
物理学概論Ⅰ	2	2		
物理学概論Ⅱ	2	2		
化学概論Ⅰ	2	2		
化学概論Ⅱ	2	2		
生物学実験	2	2		
職業指導	4	4		
化学実験	2	2		
物理学実験	2	2		
地学概論Ⅰ	2	2		
地学概論Ⅱ	2	2		
地学実験	2	2		

VII 食品開発学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
食品の開発基盤系科目					
食 品 開 発 概 論	2	2		食品開発インターンシップ 食品衛生監視員養成講座 研究者・技術者養成講座 TOEIC対策講座 のうちから1科目を選択必修とする。	
食品開発基礎理論Ⅰ	2	2			
食品開発基礎理論Ⅱ	2	2			
食品開発基礎実験	1	1			
食 品 科 学	2	2			
食 品 開 発 の 歴 史	2	2			
キャリアデザインⅠ	2	2			
食 品 開 発 演 習 Ⅰ	1	1			
キャリアデザインⅡ	2	2			
食 品 開 発 演 習 Ⅱ	1	1			
食 品 開 発 実 習 Ⅰ	1	1			
食 品 開 発 実 習 Ⅱ	1	1			
食品開発インターンシップ	2		2		
食品衛生監視員養成講座	2		2		
研究者・技術者養成講座	2		2		
T O E I C 対 策 講 座	2		2		
フューチャーフードサイエンス	2		2		
食 品 行 政	2		2		
実 験 統 計 学	2		2		
バイオインフォマティクス	2		2		
食 品 開 発 研 究 Ⅰ	3	3			
食 品 開 発 研 究 Ⅱ	3	3			
食品の創造開発系科目					
食 品 素 材 科 学	2		2		
食 品 資 源 利 用 学	2	2			
食品資源利用学実験	1	1			
食 品 加 工 学	2	2			
食 品 加 工 学 実 験	1	1			

乳製品科学	2		2	
発酵食品学	2		2	
冷凍食品学	2		2	
食品テクスチャー理論	2		2	
おいしさの科学	2		2	
食品製造プロセス学	2		2	
調理科学	2		2	
宇宙食開発学	2		2	
ブレッド&スイーツ サイエンス	2		2	
においの科学	2		2	
食品界面科学	2		2	
食品品質管理論	2		2	
食肉の科学	2		2	
食とバイオテクノロジー	2		2	
食品と健康系科目				
食品機能化学	2	2		
食品機能化学実験	1	1		
食品栄養学	2	2		
食品栄養学実験	1	1		
ライフステージと食	2		2	
スポーツ食品科学	2		2	
新食素材開発論	2		2	
食とアレルギー	2		2	
サプリメントの科学	2		2	
食品成分化学	2		2	
食と脳科学	2		2	
食品と安全管理系科目				
食品衛生学	2	2		
食品衛生学実験	1	1		
食品分析学	2	2		
食品分析学実験	1	1		
食と公衆衛生	2		2	

食 品 安 全 学 総 論	2		2		
食 品 添 加 物 論	2		2		
分 析 機 器 概 論	2		2		
食 品 微 生 物 学	2		2		
食 品 パ ッ ケ ー ジ の 科 学	2		2		
食 保 存 の 科 学	2		2		
広域基礎科目					
生 物 資 源 科 学 概 論	2		2		
生 物 学 概 論 I	2		2		
生 物 学 概 論 II	2		2		
物 理 学 概 論 I	2		2		
物 理 学 概 論 II	2		2		
化 学 概 論 I	2		2		
化 学 概 論 II	2		2		
生 物 学 実 験	2		2		
化 学 実 験	2		2		
物 理 学 実 験	2		2		
地 学 概 論 I	2		2		
地 学 概 論 II	2		2		
地 学 実 験	2		2		

Ⅷ 食品ビジネス学科					
授 業 科 目	単 位 数	必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	履 修 方 法	備 考
専門共通系科目					
食 品 ビ ジ ネ ス 基 礎 演 習 I	1	1			
食 品 ビ ジ ネ ス 基 礎 演 習 II	1	1			
食 品 ビ ジ ネ ス 学 入 門	2	2			
調 査 論	2	2			
マ ク ロ 経 済 学	2		2		
食 と 農 の 経 済 史	2		2		
ミ ク ロ 経 済 学	2		2		

メディアリテラシー	2		2	
フィールドリサーチⅠ	1	1		
フィールドリサーチⅡ	1	1		
食品経済統計学	2		2	
海外フードシステム現地研修	2		2	
食農教育実習	2		2	
産業組織論	2		2	
簿記概論	2		2	
食品ビジネス演習Ⅰ	1	1		
食品ビジネス演習Ⅱ	1	1		
計量経済学	2		2	
金融論	2		2	
食品ビジネス演習Ⅲ	1	1		
食品ビジネス演習Ⅳ	1	1		
食品ビジネス研究Ⅰ	3	3		
食品ビジネス研究Ⅱ	3	3		
食料資源・環境系科目				
食の経済学	2	2		
現代農業論	2	2		
資源と環境の経済学	2	2		
食料貿易論	2		2	
農村資源の保全と活用	2		2	
食料政策	2		2	
世界のフードシステム	2	2		
アグリビジネス論	2	2		
地域経済論	2		2	
地域食品資源論	2		2	
食品産業系科目				
食品企業経営学	2	2		
食品産業論	2	2		
流通経済論	2		2	
食品ビジネス戦略論	2		2	

地域マネジメント論	2		2	
食品マーケティング論	2	2		
組織マネジメント論	2		2	
経営分析論	2		2	
食品関係法	2		2	
食品ビジネス特別講義	2		2	
フードサービス論	2		2	
地域食品企業論	2		2	
食品企業と社会的責任	2		2	
食品デザイン論	2		2	
食文化・食品科学系科目				
食生活論	2		2	
食品栄養学	2		2	
調理学	2		2	
食と素材	2		2	
スローフード論	2		2	
食品加工論	2		2	
フードコーディネート論	2		2	
食品の官能評価・鑑別論	2		2	
調理学実習	2		2	
食と農の社会学	2	2		
日本と世界の食文化	2		2	
フードツーリズム論	2		2	
食物学実験	1		1	
フードコーディネート実習	1		1	
フードスペシャリスト論	2		2	
食品衛生管理学	2		2	
食品安全論	2		2	
食品の企画と開発	2		2	
広域基礎科目				
生物資源科学概論	2		2	
世界史概説 I	2		2	

世界史概説Ⅱ	2		2		
法律学概論(国際法を含む)	4		4		
社会学概論Ⅰ	2		2		
社会学概論Ⅱ	2		2		
職業指導	4		4		
日本史概説	2		2		
人文地理学	2		2		
自然地理学	2		2		
地誌学概論	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		
宗教社会学Ⅰ	2		2		
宗教社会学Ⅱ	2		2		

IX 国際共生学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
専門基盤領域					
国際共生学系科目					
国際共生学入門	2	2			
国際共生特別講義	2		2		
グローバルスタディーズⅠ	2		2		
グローバルスタディーズⅡ	2		2		
グローバルスタディーズⅢ	2		2		
グローバルスタディーズⅣ	2		2		
グローバルスタディーズⅤ	2		2		
グローバルスタディーズⅥ	2		2		
国際共生コミュニケーション系科目					
共生の英語Ⅰ	1	1			
共生の英語Ⅱ	1	1			
HospitalityEnglish	1		1		
TOEIC EnglishⅠ	1		1		

中国語講読	1	1	国際共生コミュニケーション系科目のスペイン語講読, スペイン語会話, スペイン語コミュニケーション, スペイン語作文を履修するためには, 教養教育科目言語系科目の初級スペイン語文法A, 初級スペイン語文法B, 初級スペイン語会話A, 初級スペイン語会話Bをすべて修得しなければならない。
中国語会話	1	1	
スペイン語講読	1	1	
スペイン語会話	1	1	
Advanced English Reading	1	1	
TOEIC English II	1	1	
中国語コミュニケーション	1	1	
中国語作文	1	1	
スペイン語コミュニケーション	1	1	
スペイン語作文	1	1	
Business English Communication	1	1	
Advanced English Writing	1	1	
Advanced English Presentation	1	1	
国際共生データ分析系科目			
国際共生情報学	2	2	
国際共生情報学演習	1	1	
生物資源データサイエンス	2	2	
生物資源データサイエンス演習	1	1	
生物資源学系科目			
国際植物資源論	2	2	
国際動物資源論	2	2	
国際バイオ資源論	2	2	
国際環境資源論	2	2	
国際生物資源法規	2	2	
国際共生文化・社会系科目			
世界の飲食文化	2	2	
世界の居住文化	2	2	
歴史と国際共生	2	2	
文化地理学	2	2	
多文化共生論	2	2	
宗教と国際共生	2	2	
産業地理学	2	2	

共生の社会学	2		2	
共生の文化人類学	2		2	
専門応用領域				
国際共生環境系科目				
国際関係論	2		2	
国際政治論	2		2	
環境生態学	2		2	
国際協力論	2		2	
自然環境保全論	2		2	
地球温暖化対策	2		2	
N G O ・ N P O 論	2		2	
環境計画学	2		2	
地球環境と持続可能な開発	2		2	
国際地域共生デザイン論	2		2	
国際共生経済・ビジネス系科目				
ビジネスコミュニケーション論	2		2	
生物資源マーケティング論	2		2	
国際貿易論	2		2	
生物資源ビジネス論	2		2	
生物資源流通論	2		2	
国際経営戦略論	2		2	
国際人材マネジメント論	2		2	
起業と共生	2		2	
国際地域ブランド戦略論	2		2	
国際ツーリズム論	2		2	
総合展開領域				
国際共生フィールドワーク系科目				
国際共生フィールドワーク入門	2	2		
国際共生社会調査論	2	2		
国内フィールドワークⅠ	1		1	
国内フィールドワークⅡ	1		1	
海外フィールドワークⅠ	1		1	

海外フィールドワークⅡ	1		1		
国際共生課題研究・卒業研究系科目					
国際共生学ゼミナールⅠ	1	1			
国際共生学ゼミナールⅡ	1	1			
国際共生学研究Ⅰ	3	3			
国際共生学研究Ⅱ	3	3			
広域基礎科目					
生物資源科学概論	2		2		
世界史概説Ⅰ	2		2		
世界史概説Ⅱ	2		2		
法律学概論(国際法を含む)	4		4		
社会学概論Ⅰ	2		2		
社会学概論Ⅱ	2		2		
日本史概説	2		2		
人文地理学	2		2		
自然地理学	2		2		
地誌学概論	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		
宗教社会学Ⅰ	2		2		
宗教社会学Ⅱ	2		2		

X 獣医保健看護学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基礎動物学					
分子生物学	2	2			
獣医倫理・動物福祉論	2	2			
動物形態機能学Ⅰ	2	2			
動物形態機能学Ⅱ	2	2			
動物生理化学	2	2			
動物免疫学	2	2			

動物繁殖学	2	2		
動物品種論	2	2		
動物栄養学	2	2		
動物行動学	2	2		
実験動物学	2	2		
獣医事法規	2	2		
基礎動物看護学				
獣医保健看護学概論	2	2		
動物微生物学	2	2		
動物薬理学	2	2		
動物病理学	2	2		
動物寄生虫病学	2	2		
公衆衛生学	2	2		
人獣共通感染症学	2	2		
愛護・適正飼養学				
愛玩動物学	2	2		
動物生活環境学	2	2		
人と動物の関係学	2	2		
動物医療コミュニケーション論	2	2		
適正飼養指導論Ⅰ	2	2		
適正飼養指導論Ⅱ	2	2		
ペット関連産業概論	2	2		
臨床動物看護学				
動物内科看護学Ⅰ	2	2		
動物内科看護学Ⅱ	2	2		
動物臨床検査学	2	2		
動物臨床栄養学	2	2		
動物外科看護学Ⅰ	2	2		
動物内科看護学Ⅲ	2	2		
動物臨床薬理学	2	2		
動物臨床看護学総論	2	2		
動物臨床看護学各論Ⅰ	2	2		

動物臨床看護学各論Ⅱ	2	2		
動物臨床看護学各論Ⅲ	2	2		
動物外科看護学Ⅱ	2	2		
動物臨床看護学各論Ⅳ	2	2		
実習				
動物形態機能学実習	1	1		
動物内科看護学実習Ⅰ	1	1		
動物内科看護学実習Ⅱ	1	1		
動物内科看護学実習Ⅲ	1	1		
動物外科看護学実習Ⅰ	1	1		
動物愛護・適正飼養実習	1	1		
動物臨床検査学実習	1	1		
動物外科看護学実習Ⅱ	1	1		
動物看護学総合実習Ⅰ	1	1		
動物看護学総合実習Ⅱ	2	2		
展開領域				
動物保健看護学演習Ⅰ	1	1		
動物保健看護学演習Ⅱ	1	1		
動物保健看護学演習Ⅲ	1	1		
獣医保健看護学研究Ⅰ	2	2		
獣医保健看護学研究Ⅱ	2	2		
応用領域				
外来動物管理学	2	2		
動物生態学	2	2		
野生動物管理学	2	2		
保全生物学	2	2		
再生生物学	2	2		
都市動物学	2	2		
動物心理学	2	2		
動物地理学	2	2		
動物園飼育管理学	2	2		
広域基礎科目				

生物資源科学概論	2		2		
生物学概論 I	2		2		
生物学概論 II	2		2		
物理学概論 I	2		2		
物理学概論 II	2		2		
化学概論 I	2		2		
化学概論 II	2		2		
生物学実験	2		2		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論 I	2		2		
地学概論 II	2		2		
地学実験	2		2		

XI 獣医学科					
授業科目	単位数	必修 単位数	選択 単位数	履修方法	備考
導入・基礎獣医学					
獣医学概論	2	2			
獣医倫理・動物福祉学	2	2			
獣医解剖学 A	2	2			
獣医解剖学 B	2	2			
獣医生理学 A	2	2			
獣医生理学 B	2	2			
獣医生化学 A	2	2			
獣医生化学 B	2	2			
動物遺伝育種学	2	2			
獣医組織・発生学	2	2			
獣医薬理学 A	2	2			
獣医薬理学 B	2	2			
動物行動学	2	2			
実験動物学 A	2	2			

実 験 動 物 学 B	1	1		
放 射 線 生 物 学	1	1		
獣 医 事 法 規	2	2		
病態獣医学				
獣 医 病 理 学 A	2	2		
獣 医 病 理 学 B	2	2		
獣 医 病 理 学 C	1	1		
獣 医 免 疫 学	2	2		
獣 医 微 生 物 学 A	2	2		
獣 医 微 生 物 学 B	2	2		
獣 医 寄 生 虫 病 学 A	2	2		
獣 医 寄 生 虫 病 学 B	2	2		
動 物 感 染 症 学 A	2	2		
動 物 感 染 症 学 B	2	2		
応用獣医学				
魚 病 学 A	2	2		
魚 病 学 B	1	1		
獣 医 公 衆 衛 生 学 総 論	1	1		
食 品 衛 生 学	2	2		
毒 性 学	2	2		
獣 医 疫 学	1	1		
動 物 衛 生 学	2	2		
環 境 衛 生 学	1	1		
人 獣 共 通 感 染 症 学	2	2		
野 生 動 物 学	1	1		
臨床獣医学				
獣 医 内 科 学 総 論	1	1		
獣 医 臨 床 病 理 学	2	2		
獣 医 内 分 泌 代 謝 病 学	1	1		
獣 医 血 液 病 学	1	1		
獣 医 皮 膚 病 学	1	1		
獣 医 外 科 学 / 手 術 学 総 論	2	2		

獸医臨床繁殖学A	2	2		
獸医臨床繁殖学B	2	2		
獸医呼吸循環器病学	2	2		
獸医消化器病学	2	2		
獸医臨床行動学	1	1		
獸医麻醉学	1	1		
獸医軟部組織外科学	2	2		
獸医運動器病学	1	1		
獸医臨床腫瘍学	1	1		
獸医画像診断学A	2	2		
獸医画像診断学B	1	1		
産業動物臨床学A	1	1		
産業動物臨床学B	2	2		
馬臨床学	1	1		
獸医臨床薬理学	1	1		
獸医腎泌尿器病学	1	1		
獸医臨床栄養学	1	1		
獸医神經病学	1	1		
獸医眼科学	1	1		
実習				
獸医解剖学実習A	1	1		
獸医解剖学実習B	1	1		
獸医組織学実習	1	1		
獸医生理学実習	1	1		
獸医生化学実習	1	1		
獸医微生物学実習	1	1		
獸医薬理学実習	1	1		
実験動物学実習	1	1		
獸医病理学実習A	1	1		
獸医病理学実習B	1	1		
獸医寄生虫病学実習	1	1		
毒性学実習	1	1		

動物感染症学実習	1	1		
魚病学実習	1	1		
動物衛生学実習	1	1		
獣医公衆衛生学実習	1	1		
食品衛生学実習	1	1		
小動物内科学実習A	1	1		
小動物内科学実習B	1	1		
小動物外科学実習A	1	1		
小動物外科学実習B	1	1		
獣医臨床繁殖学実習	1	1		
獣医画像診断学実習	1	1		
産業動物臨床実習	1	1		
総合参加型臨床実習	4	4		
展開領域				
獣医事特別演習	1	1		
獣医学外演習	1	1		
専門獣医学演習A	1	1		
専門獣医学演習B	1	1		
総合獣医学A	6	6		
総合獣医学B	6	6		
獣医学研究Ⅰ	3	3		
獣医学研究Ⅱ	3	3		
選択				
分子生物学	2		2	
生物統計学	2		2	
動物品種論	2		2	
牧場実習	1		1	
獣医臨床解剖学	2		2	
エキゾチックアニマル学	2		2	
獣医応用免疫学	2		2	
獣医再生医療学	2		2	
動物園・水族館演習	1		1	

広域基礎科目				
生物資源科学概論	2		2	
生物学概論Ⅰ	2		2	
生物学概論Ⅱ	2		2	
物理学概論Ⅰ	2		2	
物理学概論Ⅱ	2		2	
化学概論Ⅰ	2		2	
化学概論Ⅱ	2		2	
生物学実験	2		2	
化学実験	2		2	
物理学実験	2		2	
地学概論Ⅰ	2		2	
地学概論Ⅱ	2		2	
地学実験	2		2	

5 学芸員課程科目

各学科設置の専門教育科目の他に許可を得て次の科目を修得することができる。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
博物館概論	2	2			
博物館教育論	2	2			
生涯学習概論	2	2			
博物館情報・メディア論	2	2			
博物館実習Ⅰ	1	1			
博物館実習Ⅱ	2	2			
博物館経営論	2	2			
博物館資料論	2	2			
博物館資料保存論	2	2			
博物館展示論	2	2			

第94条の2 生物資源科学部における各学科（生命農学科，生命化学科，動物資源科学科，森林資源科学科，海洋生物資源科学科，生物環境工学科，食品生命学科，国際地域開発学科，応用生物科学科，くらしの生物学科）の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は履修方法に定める単位を含めて，総計124単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

2 教養教育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
言語系科目					
英 語 I	2	2		言語系科目，人文・社会系科目，自然系科目，健康・スポーツ系科目，総合系科目から30単位以上を修得しなければならない。生命農学科は基礎生物学，総合生物学，生命化学科は基礎生物学，基礎化学，化学特論，生命倫理，動物資源科学科は基礎生物学，生物環境工学科は解析学，基礎力学，くらしの生物学科は基礎生物学，総合生物学を必修とする。	
英 語 II	2	2			
英 語 III	2	2			
英 語 IV	2	2			
初級ドイツ語文法	2		2		
初級ドイツ語講読	2		2		
初級ドイツ語会話	2		2		
中級ドイツ語講読	2		2		
検 定 ド イ ツ 語	2		2		
初級フランス語文法	2		2		
初級フランス語会話	2		2		
初級スペイン語文法	2		2		
初級スペイン語会話	2		2		
初級中国語文法	2		2		
初級中国語会話	2		2		
中級中国語文法	1		1		
中級中国語会話	1		1		
初級韓国語文法	2		2		
初級韓国語会話	2		2		
日 本 語 I	2		2		
日 本 語 II	2		2		
人文・社会系科目				言語系科目のうち，外国人留学生は母国語を履修することはできない。英語を母国語とする外国人留学生は，英語Ⅰ，英語Ⅱ，英語Ⅲ，英語Ⅳを除いた科目から8単位以上を修得しなければならない。また，日本語Ⅰ，日本語Ⅱは外国人留学生のみ履修できる。	
日本語表現の基礎	2		2		
日 本 の 文 学	2		2		

哲 学 入 門	2	2		
哲 学 の 現 在	2	2		
倫 理 学 入 門	2	2		
倫 理 学 の 現 在	2	2		
心 理 学 入 門	2	2		
行 動 心 理 学	2	2		
個 性 の 心 理 学	2	2		
文 化 人 類 学 入 門	2	2		
環 境 の 文 化 人 類 学	2	2		
比 較 文 化 論	2	2		
比 較 芸 術 論	2	2		
法 学 入 門	2	2		
日 本 国 憲 法	2	2		
社 会 学 入 門	2	2		
政 治 学 入 門	2	2		
政 治 と 現 代 社 会	2	2		
経 済 学 入 門	2	2		
経 済 と 現 代 社 会	2	2		
地 理 学 入 門	2	2		
歴 史 学 入 門	2	2		
社 会 学 の 現 在	2	2		
現 代 社 会 と 福 祉	2	2		
歴 史 と 現 代 社 会	2	2		
地 理 学 の 現 在	2	2		
自然系科目				
物 理 学 入 門	2	2		
基 礎 力 学	2	2		
基 礎 化 学	2	2		
基 礎 生 物 学	2	2		
基 礎 地 球 科 学	2	2		
統 計 学 入 門	2	2		
推 計 学 入 門	2	2		
解 析 学	2	2		

線形代数	2		2		
物理学演習	1		1		
総合生物学	2		2		
生物学実験	1		1		
化学特論	2		2		
化学実験	1		1		
総合地球科学	2		2		
健康・スポーツ系科目					
スポーツ実技Ⅰ	1	1			
スポーツ実技Ⅱ	1		1		
スポーツ実技Ⅲ	1		1		
スポーツ実技Ⅳ	1		1		
スポーツ科学	2		2		
総合系科目					
アルゴリズム入門	1		1		
ネットワーク入門	1		1		
情報科学	2		2		
科学史	2		2		
科学技術と社会	2		2		
地球環境を考える	2		2		
生命倫理	2		2		
ボランティア論	1		1		
教養講座	2		2		

3 基礎専門科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生物資源科学フィールド実習	1		1		
海外フィールド実習	1		1		
生物資源科学概論	1		1		

4 専門教育科目

全学共通教育科目，基礎専門科目及び専門教育科目のうちから必修科目を含めて，94単位以上を修得しなければならない。また，許可を得て他学科設置の専門

教育科目及び教職課程科目・学芸員課程科目を修得した者については、30単位を超えない範囲で所属学科の専門教育選択科目を修得したものとみなす。

I 生命農学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
植 物 生 理 学	2	2			
植 物 生 態 学	2	2			
食 料 生 産 科 学	2		2		
作 物 生 産 学 I	2	2			
作 物 生 産 学 II	2		2		
果 樹 園 芸 学	2	2			
果 樹 分 子 生 理 学	2		2		
野 菜 園 芸 学	2	2			
野 菜 生 理 機 能 科 学	2		2		
花 き 園 芸 学	2	2			
花 き 分 子 生 理 学	2		2		
植 物 育 種 学	2	2			
土 壌 科 学	2		2		
植 物 栄 養 学	2		2		
植 物 病 理 学	2	2			
応 用 昆 虫 学	2	2			
農 薬 科 学	2		2		
造 園 緑 地 学	2	2			
生 命 農 学 実 験 II	2	2			
生 命 農 学 実 習 I	1	1			
生 命 農 学 実 習 II	2	2			
植 物 環 境 調 節 学	2		2		
園 芸 デ ザ イン 演 習	2		2		
植 物 遺 伝 工 学	2		2		
植 物 医 科 学	2		2		

害虫制御論	2		2	
実験情報解析演習	2		2	
緑地環境計画学	2		2	
農と緑のまちづくり論	2		2	
景観生態学	2		2	
生命農学演習Ⅰ	2	2		
生命農学演習Ⅱ	2	2		
基礎細胞学	2		2	
植物遺伝学	2	2		
植物病原微生物学	2		2	
生命農学実験Ⅰ	2	2		
ランドスケープ演習	2		2	
自然保護政策論	2		2	
緑地工学	2		2	
都市緑化技術論	2		2	
芝草学	2		2	
分子生物学	2		2	
学外実習	1		1	
生命農学概論	2	2		
植物形態・分類学	2		2	
生物化学	2		2	
分子植物成長制御論	2		2	
分子植物育種学	2		2	
昆虫ゲノム医科学	2		2	
生命農学特別講義	2		2	
エコロジカル・デザイン論	2		2	
園芸福祉論	2		2	
農学原論	2		2	
アグリバイオテクノロジー入門	2		2	
植物生命科学	2	2		

作物生理機能科学	2		2		
アグリバイオテクノロジー実験法	2		2		
アグリバイオインフォマティクス論	2		2		
生命農学実験Ⅲ	2	2			
卒業研究	6	6			

Ⅱ 生命化学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生命化学基礎実験	2	2			
生物化学Ⅰ	2	2			
生物化学Ⅱ	2	2			
有機化学	2	2			
生物有機化学	2	2			
物理化学	2	2			
土壌科学	2	2			
植物栄養学	2	2			
酵素化学	2	2			
微生物学	2	2			
栄養化学	2	2			
栄養生化学	2	2			
食品化学	2	2			
分子生物学	2	2			
農薬科学	2		2		
食品機能化学	2	2			
生物有機化学実験	2	2			
微生物学実験	2	2			
栄養生理化学実験	2	2			
食品化学実験	2	2			
発酵化学実験	2	2			
土壌化学実験	2	2			

植物栄養生理学実験	2	2		
食品保蔵学	2	2		
植物病理学	2		2	
応用生物化学	2		2	
肥料動態学	2		2	
環境微生物学	2	2		
生物化学工学	2		2	
飼料学	2		2	
微生物生化学	2	2		
食品衛生学	2	2		
無機化学	2	2		
環境化学	2	2		
植物細胞科学	2		2	
動物細胞科学	2		2	
生命化学概論	2	2		
生命化学フィールド実習	2		2	
植物生理学	2	2		
発酵化学	2	2		
動物生理学	2	2		
作物学	2		2	
土壌生産化学	2		2	
生物統計学	2		2	
バイオインフォマティクス	2		2	
サイエンスプレゼンテーション	2		2	
専門基礎英語	2		2	
専門英語 I	2		2	
専門英語 II	2		2	
生命化学実験法 I	2	2		
生命化学実験法 II	2	2		
生命化学実験法 III	2	2		
生命化学実験法 IV	2	2		

卒業研究	6	6		
------	---	---	--	--

Ⅲ 動物資源科学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
動物遺伝学	2	2			
生物統計学	2	2			
基礎生化学	2	2			
動物資源科学概論	2	2			
動物生理学	2	2			
動物形態学	2	2			
動物生理学実験	1		1		
動物形態学実習	1		1		
動物育種学	2	2			
資源動物論	2		2		
動物育種学実習	1		1		
動物生殖学	2	2			
動物生殖学実験	1		1		
動物応用栄養学	2	2			
動物栄養学実験	1		1		
栄養生理学	2	2			
飼料資源学	2	2			
草地・飼料作物学	2		2		
草地・飼料資源学実習	1		1		
微生物学	2	2			
微生物学実習	1		1		
動物衛生学	2	2			
ミルク科学	2	2			
肉と卵の科学	2	2			
動物性食品機能学	2		2		
動物性食品科学実験	1		1		

食 品 衛 生 学	2		2		
動 物 資 源 経 済 学	2	2			
動 物 資 源 経 済 学 演 習	1		1		
畜 産 経 営 学	2	2			
情 報 処 理 論	2		2		
動 物 関 連 法 規 ・ 政 策	2		2		
畜 産 マーケティング論	2		2		
動 物 資 源 科 学 演 習	1	1			
牧 場 実 習	1		1		
細 胞 ・ 発 生 生 物 学	2		2		
実 験 動 物 学	2		2		
保 全 生 物 学	2		2		
生 命 工 学	2		2		
免 疫 生 物 学	2		2		
産 乳 科 学	2		2		
産 肉 科 学	2		2		
家 禽 学	2		2		
動 物 疾 病 学	2		2		
野 生 動 物 学	2	2			
動 物 園 学	2		2		
動 物 行 動 学	2		2		
アニマルセラピー・動物福祉論	2		2		
化 学 概 論	2	2			
生 殖 生 理 学	2	2			
分 子 生 物 学	2		2		
伴 侶 動 物 学 実 習	1		1		
野 生 動 物 学 実 習	1		1		
動 物 資 源 科 学 インターンシップ	1		1		
動 物 生 態 学	2		2		
動 物 心 理 学	2		2		
伴 侶 動 物 学	2	2			
犬 と 猫 の 科 学	2		2		

化学実験の基礎	2		2		
動物資源科学実験	1	1			
卒業研究	6	6			

IV 森林資源科学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
森林資源科学概論Ⅰ(生物環境系)	2	2			
森林資源科学概論Ⅱ(資源系)	2	2			
森林資源科学実習	2	2			
樹木学	2	2			
森林統計学	2		2		
森林計測学	2		2		
森林計画学	2	2			
造林学	2		2		
造林学実習	1		1		
山地保全学	2		2		
山地保全学演習	2		2		
自然災害論	2	2			
森林利用学	2	2			
森林利用学実習	1		1		
木材加工学	2		2		
木材計測学実験	1		1		
森林土木学	2		2		
森林測量学	2		2		
森林測量学実習	1		1		
森林航測学実習	1		1		
森林生態学	2	2			
森林生態学実習	1		1		
森林GIS	2		2		
木材物理学	2	2			
木材物理学実験	1		1		
環境緑化工学	2		2		

森林土壌科学	2	2	
森林資源化学	2	2	
森林資源化学実験	1		1
材料としての木材	2		2
木質材料学	2		2
森林計測学実習	1		1
バイオマス資源利用学	2		2
バイオマス資源利用学実験	1		1
森林・木材・環境ビジネス論	2		2
森林基礎力学	2		2
森林水文気象学演習	2		2
風致造園学	2		2
建設材料学	2		2
樹病学	2		2
森林動物学	2	2	
森林生物多様性実習	1		1
森林昆虫学	2	2	
森林生物多様性実験	1		1
森林水文気象学	2	2	
風致造園学実習	1		1
建築計画論	2		2
建築設計製図Ⅰ	2		2
建築施工論	2		2
建築法規	2		2
木造住宅論	2	2	
森林リモートセンシング	2		2
森林レクリエーション	2		2
専門英語	2		2
森林微生物学	2	2	
森林環境教育論	2		2
森林資源科学インターンシップ	2		2
木材防腐防虫学	2		2
特別演習Ⅰ	2	2	

特別演習Ⅱ	2	2		
実践森林資源科学	2		2	
夏季演習林実習	1		1	
冬季演習林実習	1		1	
森林海外実習	2		2	
建築設計製図Ⅱ	2		2	
C A D 製 図	1		1	
森林生物の多様性と進化	2		2	
森林圏基礎科学	2		2	
森林政策学	2		2	
森林機械学	2		2	
木造建築構法	2		2	
建築史・保存活用論	2		2	
森林基礎有機化学	2		2	
卒業研究	6	6		

V 海洋生物資源科学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
海洋環境学	2	2		海洋生物資源広域コースと海洋生物資源応用コースを置く。海洋生物資源広域コースは実験科目4科目4単位以上を修得しなければならない。海洋生物資源応用コースは 水族館論 細胞生物学 技術者の倫理入門 特別講義 インターンシップ/学外研修 海洋環境化学 海洋環境保全・修復学 フードビジネス論 海洋法規 を必修とし、 海洋環境分野 生物海洋学 プランクトン学 海洋微生物学 海洋環境学実験 分析化学	
生物海洋学	2		2		
基礎有機化学	2		2		
無脊椎動物学	2	2			
魚類学	2	2			
海生ほ乳類学	2		2		
生化学	2	2			
生理生化学	2		2		
生物機能化学実験	1		1		
魚類生態学	2		2		
水族生態学実験	1		1		
水族育成学	2	2			
水族育成病理学実験	1		1		

水産利用学	2	2		海洋気象学 深海生物学
水産利用学実験	1		1	から3科目以上
海洋生物資源科学概論	2	2		資源生産・管理分野 生物統計学
海洋法規	2		2	魚類生態学 行動生態学
海洋環境学実験	1		1	水族生態学実験 海洋生産学実験
水族生理学	2		2	魚群行動学
水族生理学実験	1		1	潮間帯の生態学 魚類繁殖行動学
水族病理学	2		2	水族の統計解析 から3科目以上
海洋気象学	2		2	増養殖分野
水族の統計解析	2		2	水族栄養学 海生ほ乳類学
増殖環境学	2	2		水族生理学 水族病理学
増殖環境学実験	1		1	遺伝育種学 水族発生学
食品微生物学	2		2	水族生理学実験 水族育成病理学実験
水産食品化学	2		2	増殖環境学実験 水族生体防御学
食品加工学	2		2	分子生態学
食品衛生学	2		2	から4科目以上 資源利用分野
魚群行動学	2		2	食品微生物学 生物機能化学実験
フードビジネス論	2		2	水産利用学実験 水産食品化学
特別講義	2		2	食品衛生学 食品加工学
細胞生物学	2		2	公衆衛生学 生理生化学
分析化学	2		2	基礎有機化学
水族栄養学	2		2	から4科目以上、合計23科目以上 を選択必修とする。ただし、実 験科目4科目4単位以上を含む。
海洋微生物学	2		2	
公衆衛生学	2		2	
海洋生物資源科学演習Ⅰ	2	2		
海洋生物資源科学演習Ⅱ	2	2		
海洋生物資源科学実習Ⅱ	2	2		
海洋基礎生物	2		2	
海洋基礎化学	2		2	
海洋基礎物理	2		2	
海洋基礎実習Ⅰ	1	1		
海洋基礎実習Ⅱ	1	1		

海洋生産学実験	1		1	
生物統計学	2		2	
海洋環境保全・修復学	2		2	
インターンシップ/学外研修	2		2	
遺伝育種学	2		2	
水族発生学	2		2	
水族生体防御学	2		2	
海洋環境化学	2		2	
漁業生産システム学	2	2		
行動生態学	2		2	
水族館論	2		2	
プランクトン学	2		2	
技術者の倫理入門	2		2	
小型船舶操縦法実習	1		1	
海洋生物資源科学実習Ⅰ	2	2		
分子生態学	2		2	
深海生物学	2		2	
潮間帯の生態学	2		2	
魚類繁殖行動学	2		2	
卒業研究	6	6		

VI 生物環境工学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生物環境調節工学	2	2		環境計画コース・生産管理コース・地域環境工学コース（基盤分野・環境分野）の3コースを置き環境計画コースは 測量学Ⅱ 測量学実習Ⅱ 基礎水理学 応用水理学 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ 農地環境整備学 地域環境水文学 土環境学 土質力学 応用数学	
図学	2		2		
土木材料	2		2		
環境空調工学	2		2		
地域環境保全学概論	2	2			
地域環境保全学各論	2		2		
土環境学	2		2		
水環境工学実験	1		1		
農地環境整備学	2		2		

測 量 学 I	2	2	数理情報科学 灌漑排水環境学
測 量 学 II	2	2	土木材料
測 量 学 実 習 I	2	2	の14科目27単位を必修とする。 地域環境工学コースの基盤分野
測 量 学 実 習 II	1	1	では
水資源環境工学	2	2	図学
灌漑排水環境学	2	2	エコロジカルデザイン演習
地域環境水文学	2	2	生物工学
基礎水理学	2	2	地域環境水文学
応用水理学	2	2	土環境学
社会基盤施設工学概論	2	2	測量学II
社会基盤施設工学各論	2	2	測量学実習II
土 木 施 工	2	2	環境化学
土 質 力 学	2	2	大気環境科学
土質・材料工学実験	1	1	環境情報工学
コンクリート工学	2	2	基礎水理学
農村整備計画学	2	2	応用水理学
生物地域環境計画学	2	2	構造力学I
農業施設学	2	2	構造力学II
農業施設環境学実験	1	1	土質力学
農産物流通工学	2	2	応用数学
生物工学	2	2	技術者の物理学
建築計画学	2	2	農地環境整備学
環境建築学	2	2	数理情報科学
建築構造学	2	2	環境情報工学演習
構造力学I	2	2	コンクリート工学
構造力学II	2	2	ベクトル解析
建築施工	2	2	灌漑排水環境学
建築法規	2	2	水環境工学実験
建築環境工学	2	2	土環境工学実験
建築材料	2	2	専門英語
環境エネルギー工学	2	2	生物環境工学インターンシップ
生物生産システム工学	2	2	土木設計製図
			社会基盤施設工学各論
			土木材料
			土質・材料工学実験
			技術者倫理
			の32科目58単位を必修とする。 地域環境工学コースの環境分野
			では
			図学
			エコロジカルデザイン演習
			生物工学
			地域環境水文学
			土環境学
			測量学II
			測量学実習II
			環境化学
			大気環境科学
			環境情報工学
			基礎水理学
			応用水理学
			構造力学I

生物生産システム工学実験	1		1	構造力学Ⅱ
バイオメカトロニクス	2	2		土質力学
機 械 工 学	2		2	応用数学
生物資源プロセス工学	2		2	技術者の物理学
ポストハーベスト工学	2		2	農地環境整備学
建築設計製図Ⅱ	2		2	数理情報科学
建築設計製図Ⅲ	1		1	環境情報工学演習
生物生産原論	2	2		建築設計製図Ⅰ
環境情報工学	2		2	環境建築学
環境情報工学演習	1		1	ベクトル解析
電気・電子工学	2		2	灌漑排水環境学
応 用 数 学	2		2	水環境工学実験
ベクトル解析	2		2	土環境工学実験
数理情報科学	2		2	専門英語
バイオマスエネルギー工学	2		2	生物環境工学インターンシップ
大気環境科学	2		2	地域環境保全学各論
動物生態・共生学	2		2	生物地域環境計画学
基礎生態学	2	2		技術者倫理
エコロジカルデザイン演習	1		1	地域環境GIS演習
生物環境工学インターンシップ	2		2	の32科目58単位を必修とする。
C A D 製 図	1		1	
専 門 英 語	2		2	
技 術 者 倫 理	2		2	
環 境 化 学	2		2	
技術者の物理学	2		2	
地域環境GIS演習	1		1	
フレッシュマンセミナー	1	1		
建築文化史	2		2	
建築設計製図Ⅰ	2		2	
木造建築構法	2		2	
都市計画	2		2	
建築総合設計製図	1		1	
生物環境工学演習Ⅰ	1	1		

生物環境工学演習Ⅱ	1	1			
土環境工学実験	1		1		
土木設計製図	2		2		
機械設計製図	2		2		
生物環境工学特別講義	2		2		
公害防止管理論	2		2		
海外研修	2		2		
野生動物フィールド実習	1		1		
フィールドワーク論	2		2		
食料機械工学	2		2		
バイオメカトロニクス実習	1		1		
リモートセンシング実習	1		1		
卒業研究	6	6			

Ⅶ 食品生命学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基礎物理化学	2	2			
有機化学入門	2		2		
基礎有機化学	2	2			
生物化学入門	2		2		
基礎生物化学	2	2			
食品生命学入門	2		2		
食品学	2	2			
食品化学	2	2			
食品化学・分析学実験	1	1			
食品界面科学	2		2		
食品物性学	2		2		
食品衛生学	2	2			
食品疾病予防学	2		2		
食品衛生学・微生物学実験	3	3			
食品分析学	2	2			
機器分析学	2		2		

食品製造学	2	2		
応用微生物学	2	2		
食品製造学実験	2	2		
食品機能化学	2	2		
食品免疫学	2		2	
食品生物化学・工学実験	3	3		
植物性食品原料学	2		2	
動物性食品原料学	2		2	
食品保蔵学	2		2	
食品化学工学	2	2		
食品生産プロセス論	2		2	
化学工学概論	2		2	
食品工学	2	2		
生物化学工学	2		2	
食品環境化学	2		2	
公衆衛生学	2		2	
食品微生物学	2	2		
食品行政	2		2	
食品栄養化学	2	2		
分子栄養学	2	2		
品質管理論	2		2	
実験統計学	2		2	
バイオテクノロジー概論	2		2	
食品添加物論	2		2	
おいしさの科学	2		2	
食品安全学総論	2	2		
食品成分化学	2		2	
健康と食品	2		2	
発酵醸造学	2		2	
動物性食品製造学	2		2	
総合食品開発講座	2		2	
物理化学入門	2		2	

スポーツ食品科学	2		2	
調理科学	2		2	
分子細胞生物学	2	2		
臨床食品科学	2		2	
食品製造実習	1	1		
基礎食品製造実習Ⅰ	1		1	
食品生命学インターンシップ	1		1	
食品科学英語	2		2	
食文化史	2		2	
技術者倫理	2		2	
植物性食品製造学	2		2	
食品生命学	2	2		
基礎分析化学	2		2	
香りの科学	2		2	
容器包装科学	2		2	
食とアレルギー	2		2	
食品衛生監視員養成講座	2		2	
食品機能解析論	2		2	
基礎食品製造実習Ⅱ	1		1	
基礎食品製造実習Ⅲ	1		1	
卒業研究	6	6		

Ⅷ 国際地域開発学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
国際地域開発学入門	2	2		農業・農村開発コースとグローバルビジネスコースを置き、農業・農村開発コースは、農業技術実習、社会調査法を必修とする。 グローバルビジネスコースは、経済・環境情報処理実習、ファイナンス入門を必修とする。 また、開発課題プログラム、農業分野 熱帯園芸学 農業技術の開発と普及	
環境生態学	2	2			
アジア経済論	2		2		
国際農業開発論	2		2		
グローバルビジネス論	2	2			
国際協力論	2	2			
国際キャリアデザイン	2	2			
熱帯農業論	2		2		

農業経営学	2		2	資源作物学実験
スタディ・スキルズA	2	2		農業生態学
地域研究	2		2	作物と食の文化
経済学の基礎	2	2		熱帯生物資源論
アグリビジネス論	2		2	農業フィールドワーク
農産物流通論	2		2	開発課題プログラム, 環境分野
ファイナンス入門	2		2	環境農学
アカウンティング論	2		2	水と土の保全学
コンピュータリテラシー	2		2	環境保全工学実験・実習
経済・環境情報処理実習	2		2	環境農学実験
農業生態学	2		2	地域環境保全工学
環境農学	2		2	環境経済学
環境農学実験	1		1	環境情報利用学
熱帯資源作物学	2	2		開発課題プログラム, アグリビジネス分野
熱帯生物資源論	2		2	アカウンティング論
熱帯園芸学	2		2	農業経済学
農業フィールドワーク	2		2	農業経営学
アフリカ経済論	2		2	アグリビジネス論
文化地理学	2		2	農村社会学
参加型評価手法 (PCM)	2		2	農産物流通論
開発プランニング論	2		2	開発課題プログラム, 貧困削減分野
地域環境保全工学	2		2	開発プランニング論
農業技術の開発と普及	2		2	アジア経済論
社会調査法	2		2	アフリカ経済論
国際関係論	2		2	ラテンアメリカ経済論
農村社会学基礎	2	2		国際農業開発論
エコツーリズム論	2		2	参加型評価手法 (PCM)
農村社会学	2		2	熱帯農業論
多文化教育論	2		2	開発課題プログラム, 共生分野
開発課題研究	2		2	外国語 (スペイン語, 中国語またはインドネシア語) 中級A
国際地域開発演習 I A	1		1	外国語 (スペイン語, 中国語またはインドネシア語) 中級B
国際地域開発演習 II A	1		1	外国語 (スペイン語, 中国語またはインドネシア語) コミュニケーションII A
				外国語 (スペイン語, 中国語またはインドネシア語) コミュニケーションII B
				文化地理学
				多文化教育論
				エコツーリズム論
				外国語 (スペイン語, 中国語またはインドネシア語) コミュニケーションIII A
				外国語 (スペイン語, 中国語またはインドネシア語) コミュニケーションIII B
				英語インテンシブプログラム分野
				TOEIC対策総合英語 I A
				TOEIC対策総合英語 I B

英語コミュニケーションⅠ	2	2		英語コミュニケーションⅡA
英語コミュニケーションⅡA	1		1	英語コミュニケーションⅡB
英語コミュニケーションⅡB	1		1	TOEIC対策総合英語ⅡA
英語コミュニケーションⅢA	1		1	TOEIC対策総合英語ⅡB
英語コミュニケーションⅢB	1		1	英語コミュニケーションⅢA
英語コミュニケーションⅣA	1		1	英語コミュニケーションⅢB
英語コミュニケーションⅣB	1		1	英語コミュニケーションⅣA
英語コミュニケーションⅣB	1		1	英語コミュニケーションⅣB
スペイン語基礎	2	2		のうちから1分野8単位以上修得 しなければならない。
スペイン語コミュニケーションⅠ	2	2		
スペイン語中級A	1		1	
スペイン語中級B	1		1	
スペイン語コミュニケーションⅡA	1		1	
スペイン語コミュニケーションⅡB	1		1	
スペイン語コミュニケーションⅢA	1		1	
スペイン語コミュニケーションⅢB	1		1	
インドネシア語基礎	2	2		
インドネシア語コミュニケーションⅠ	2	2		
インドネシア語中級A	1		1	
インドネシア語中級B	1		1	
インドネシア語コミュニケーションⅡA	1		1	いずれか一か国語を選 択履修すること。
インドネシア語コミュニケーションⅡB	1		1	
インドネシア語コミュニケーションⅢA	1		1	
インドネシア語コミュニケーションⅢB	1		1	
中国語基礎	2	2		
中国語コミュニケーションⅠ	2	2		
中国語中級A	1		1	
中国語中級B	1		1	
中国語コミュニケーションⅡA	1		1	
中国語コミュニケーションⅡB	1		1	
中国語コミュニケーションⅢA	1		1	
中国語コミュニケーションⅢB	1		1	

専 門 外 書 講 読	2		2	
環 境 経 済 学	2		2	
時 事 英 語 A	1		1	
国際地域開発フィールドワークIA	1		1	
水 と 土 の 保 全 学	2		2	
作 物 と 食 の 文 化	2		2	
環 境 情 報 利 用 学	2		2	
資 源 作 物 学 実 験	1		1	
環境保全工学実験・実習	1		1	
国際地域開発フィールドワークIIA	1		1	
国際地域開発フィールドワークIIIA	1		1	
国際地域開発フィールドワークIVA	1		1	
国際地域開発インターンシップA	1		1	
国際地域開発キャリア研究	2	2		
スタディ・スキルズB	2	2		
国際地域開発フィールドワークIB	1		1	
国際地域開発フィールドワークIIB	1		1	
国際地域開発演習IB	1		1	
国際地域開発フィールドワークIIIB	1		1	
国際地域開発インターンシップB	1		1	
国際地域開発演習IIB	1		1	
国際地域開発フィールドワークIVB	1		1	
経 営 学 の 基 礎	2	2		
時 事 英 語 B	1		1	
農 業 ・ 農 村 協 力 研 修	2		2	
アグリビジネス研修	2		2	
農 業 技 術 実 習	2		2	
農 業 経 済 学	2		2	
ラテンアメリカ経済論	2		2	
TOEIC対策総合英語IA	1		1	

TOEIC対策総合英語ⅠB	1		1		
TOEIC対策総合英語ⅡA	2		2		
TOEIC対策総合英語ⅡB	2		2		
卒業研究	6	6			

Ⅸ 応用生物科学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
応用生物科学トピックス	4	4		免疫生物学 細胞組織形態学 発生再生生物学 発生工学 神経生物学	
基礎遺伝学	2	2			
生物有機化学	2	2			
生物化学入門	2	2		のうちから2科目4単位 植物機能化学	
応用生物科学実験Ⅲ	4	4		植物バイオテクノロジー 植物分子生物学 植物環境科学	
基礎細胞生物学	2	2		のうちから2科目4単位 産業微生物学	
代謝生化学	2	2		微生物生態学	
機器分析学	2		2	微生物バイオテクノロジー 微生物遺伝学	
植物機能化学	2		2	のうちから2科目4単位を選択必修とする。	
応用生物科学実験Ⅳ	4	4			
応用生物科学実験Ⅰ	4	4			
酵素科学	2	2			
免疫生物学	2		2		
核酸・蛋白質概論	2	2			
分子生物学	2	2			
ゲノムダイナミクス	2	2			
生命情報科学	2	2			
微生物生理学	2	2			
応用生物科学実験Ⅱ	4	4			
微生物生態学	2		2		
微生物学概論	2	2			
システム生物学	2		2		
環境バイオテクノロジー	2		2		

植物バイオテクノロジー	2		2	
植 物 生 理 学	2	2		
動物生命科学概論	2	2		
細胞シグナル伝達	2	2		
動 物 生 理 学	2	2		
発 生 工 学	2		2	
微生物バイオテクノロジー	2		2	
実 験 動 物 学	2		2	
応 用 微 生 物 学	2	2		
植 物 環 境 科 学	2		2	
生 物 統 計 学	2		2	
ゼ ミ ナ ー ル	2	2		
特 別 講 義 I	2		2	
特 別 講 義 II	2		2	
産 業 微 生 物 学	2		2	
共 生 生 物 学	2		2	
生化学・分子生物学実験法	2	2		
食 品 衛 生 学	2		2	
細胞組織形態学	2		2	
酵 素 工 学	2		2	
微 生 物 遺 伝 学	2		2	
植 物 科 学 概 論	2	2		
分子細胞機能学	2		2	
バイオメディカルサイエンス	2		2	
ケミカルバイオロジー	2		2	
神 経 生 物 学	2		2	
発 生 再 生 生 物 学	2		2	
植 物 分 子 生 物 学	2		2	
応用生物学演習	2	2		
環 境 衛 生 学	2		2	
食品機器分析学実験	1		1	

卒業研究	6	6		
------	---	---	--	--

X 暮らしの生物学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
暮らしの生物学概論	2	2			
植物生理生態学	2	2			
暮らしの動物学	2	2			
フレッシュマンセミナー	1	1			
緑地環境学	2	2			
基礎栽培学	2	2			
生物有機化学	2	2			
微生物学	2	2			
分子生物学	2	2			
食品栄養科学	2	2			
生き物	2	2			
暮らしの科学実験	1	1			
暮らしの科学実習	1	1			
細胞生物学	2		2		
食と健康科学	2		2		
野菜果樹栽培学	2		2		
生き物飼育論	2		2		
動物科学	2		2		
暮らしの環境デザイン論	2		2		
園芸学実験・実習	1		1		
発酵科学	2		2		
暮らしのバイオテクノロジー	2		2		
食品保存・安全管理学	2		2		
家庭園芸論	2		2		
植物組織細胞培養学	2		2		
まちづくり学	2		2		
応用魚類飼育学	2		2		

応用昆虫飼育学	2		2	
環境緑化実験・実習	1		1	
食品科学実験	1		1	
生き物倫理	2	2		
保全生物学	2		2	
伝統食品論	2		2	
都市農業論	2		2	
機能性農作物論	2		2	
公園緑地利用学	2		2	
ビオトープ管理学	2		2	
愛玩動物飼料学	2		2	
バイオサイエンス実験	1		1	
微生物学実験	1		1	
動物飼育学実験・実習	1		1	
環境修復生物学	2		2	
社会園芸学	2		2	
フラワーデザイン論	2		2	
里地里山学	2		2	
機器分析学	2		2	
公衆衛生学	2		2	
インターンシップ	1		1	
ボランティア活動	1	1		
ゼミナール	2	2		
卒業研究	6	6		

5 教職課程科目

I 生命農学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
[理科]					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		

化 学 概 论 I	2		2		
化 学 概 论 II	2		2		
化 学 实 验	2		2		
生 物 学 概 论 I	2		2		
生 物 学 概 论 II	2		2		
生 物 学 实 验	2		2		
地 学 概 论 I	2		2		
地 学 概 论 II	2		2		
地 学 实 验	2		2		
[農業]					
職 業 指 導	4		4		

II 生命化学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
[理科]					
物 理 学 概 论 I	2		2		
物 理 学 概 论 II	2		2		
物 理 学 实 验	2		2		
化 学 概 论 I	2		2		
化 学 概 论 II	2		2		
化 学 实 验	2		2		
生 物 学 概 论 I	2		2		
生 物 学 概 论 II	2		2		
生 物 学 实 验	2		2		
地 学 概 论 I	2		2		
地 学 概 论 II	2		2		
地 学 实 验	2		2		
[農業]					
職 業 指 導	4		4		

III 動物資源科学科

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
[理科]					
物 理 学 概 論 I	2		2		
物 理 学 概 論 II	2		2		
物 理 学 実 験	2		2		
化 学 概 論 I	2		2		
化 学 概 論 II	2		2		
化 学 実 験	2		2		
生 物 学 概 論 I	2		2		
生 物 学 概 論 II	2		2		
生 物 学 実 験	2		2		
地 学 概 論 I	2		2		
地 学 概 論 II	2		2		
地 学 実 験	2		2		
[農業]					
職 業 指 導	4		4		

IV 森林資源科学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
[理科]					
物 理 学 概 論 I	2		2		
物 理 学 概 論 II	2		2		
物 理 学 実 験	2		2		
化 学 概 論 I	2		2		
化 学 概 論 II	2		2		
化 学 実 験	2		2		
生 物 学 概 論 I	2		2		
生 物 学 概 論 II	2		2		
生 物 学 実 験	2		2		
地 学 概 論 I	2		2		
地 学 概 論 II	2		2		

地 学 实 験	2		2		
[農業]					
職 業 指 導	4		4		

V 海洋生物資源科学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
[理科]					
物 理 学 概 論 I	2		2		
物 理 学 概 論 II	2		2		
物 理 学 实 験	2		2		
化 学 概 論 I	2		2		
化 学 概 論 II	2		2		
化 学 实 験	2		2		
生 物 学 概 論 I	2		2		
生 物 学 概 論 II	2		2		
生 物 学 实 験	2		2		
地 学 概 論 I	2		2		
地 学 概 論 II	2		2		
地 学 实 験	2		2		
[水産]					
職 業 指 導	4		4		

VI 生物環境工学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
[理科]					
物 理 学 概 論 I	2		2		
物 理 学 概 論 II	2		2		
物 理 学 实 験	2		2		
化 学 概 論 I	2		2		
化 学 概 論 II	2		2		

化 学 实 験	2		2		
生 物 学 概 論 I	2		2		
生 物 学 概 論 II	2		2		
生 物 学 实 験	2		2		
地 学 概 論 I	2		2		
地 学 概 論 II	2		2		
地 学 实 験	2		2		

VII 食品生命学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
[理科]					
物 理 学 概 論 I	2		2		
物 理 学 概 論 II	2		2		
物 理 学 实 験	2		2		
化 学 概 論 I	2		2		
化 学 概 論 II	2		2		
化 学 实 験	2		2		
生 物 学 概 論 I	2		2		
生 物 学 概 論 II	2		2		
生 物 学 实 験	2		2		
地 学 概 論 I	2		2		
地 学 概 論 II	2		2		
地 学 实 験	2		2		

VIII 国際地域開発学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
[社会・公民]					
日 本 史 概 説	2		2		
世 界 史 概 説 I	2		2		
世 界 史 概 説 II	2		2		

地理学概論Ⅰ	2		2		
地理学概論Ⅱ	2		2		
法律学概論（国際法を含む）	2		2		
社会学概論Ⅰ	2		2		
社会学概論Ⅱ	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		
宗教社会学Ⅰ	2		2		
宗教社会学Ⅱ	2		2		
[農業]					
職業指導	4		4		

Ⅸ 応用生物科学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
[理科]					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
化学実験	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

6 学芸員課程科目

各学科設置の専門教育科目の他に許可を得て次の科目を修得することができる。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
------	-----	-------	-------	------	----

博物館概論	2	2			
博物館教育論	2	2			
生涯学習概論	2	2			
博物館情報・メディア論	2	2			
博物館実習Ⅰ	1	1			
博物館実習Ⅱ	2	2			
博物館経営論	2	2			
博物館資料論	2	2			
博物館資料保存論	2	2			
博物館展示論	2	2			

第16節 薬学部

第95条 薬学部薬学科における授業科目及びその単位数並びに履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な総単位数は、科目区分ごとに履修方法に定める単位数を含め、総計187単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自 主 創 造 の 基 礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日 本 を 考 え る	2		2		

2 総合教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
基 礎 生 物 学	1	1		必修単位数17単位を修得しなければならない。	
基 礎 化 学	1	1			
基 礎 物 理 学	1	1			
基 礎 数 学	1	1			
情 報 リ テ ラ シ ー	1	1			
物 理 学	2	2			
薬 学 数 学	2	2			
法 学 入 門	2	2			
心 の 探 求	2	2			
医 療 倫 理	2	2			
医 療 と 法	2	2			

3 外国語科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英 語 I	1		1	英語 I・II, 英語会話 I・II, 薬学英語 I～III 及び薬学英語会話 I・II から8単位以上, ドイツ語 I・II, 中国語 I・II 及び韓国語 I・II から2単位以上を含めて合計10単位以上を修得しなければならない。	
英 語 II	1		1		
英 語 会 話 I	1		1		
英 語 会 話 II	1		1		
薬 学 英 語 会 話 I	1		1		
薬 学 英 語 会 話 II	1		1		
薬 学 英 語 I	1		1		
薬 学 英 語 II	1		1		

薬学英語Ⅲ	1		1		
ドイツ語Ⅰ	1		1		
ドイツ語Ⅱ	1		1		
韓国語Ⅰ	1		1		
韓国語Ⅱ	1		1		
中国語Ⅰ	1		1		
中国語Ⅱ	1		1		

4 保健体育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
健康スポーツ科学概論Ⅰ	1		1	健康スポーツ科学概論Ⅰ・Ⅱから1単位以上，健康スポーツ科学実技Ⅰ～Ⅲから1単位以上を含めて合計2単位以上を修得しなければならない。	
健康スポーツ科学概論Ⅱ	1		1		
健康スポーツ科学実技Ⅰ	1		1		
健康スポーツ科学実技Ⅱ	1		1		
健康スポーツ科学実技Ⅲ	1		1		

5 薬学教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
薬学教育A				薬学教育Aから必修単位数148単位，選択単位数2単位，薬学教育Bから必修単位数3単位，選択単位数3単位以上を含めて合計156単位以上を修得しなければならない。	
基礎薬学実習	1	1			
早期臨床体験	1	1			
病気とくすり	2	2			
ヒューマンコミュニケーション	1	1			
化学	1	1			
無機化学	1	1			
有機化学Ⅰ	1	1			
有機化学Ⅱ	2	2			
有機化学Ⅲ	2	2			
薬品分析化学	2	2			
薬用植物学	1	1			
生命科学概論	2	2			
基礎生物化学	2	2			
機能形態学	2	2			
創薬化学系実習Ⅰ	1	1			

創薬化学系実習Ⅱ	1	1		
創薬化学系実習Ⅲ	1	1		
生物系薬学実習Ⅰ	1	1		
生物系薬学実習Ⅱ	1	1		
薬品物理化学Ⅰ	2	2		
薬品物理化学Ⅱ	2	2		
臨床分析化学Ⅰ	1	1		
臨床分析化学Ⅱ	1	1		
分子構造解析	1	1		
生薬学	2	2		
微生物学Ⅰ	2	2		
微生物学Ⅱ	1	1		
生化学	2	2		
分子生物学	2	2		
生理学	2	2		
免疫学Ⅰ	1	1		
免疫学Ⅱ	1	1		
食品安全学	2	2		
薬の効くプロセス	2	2		
衛生薬学実習	1	1		
薬理学実習	1	1		
社会と薬学Ⅰ	2	2		
社会と薬学Ⅱ	1	1		
社会と薬学Ⅲ	2	2		
放射科学	1	1		
天然医薬品化学	1	1		
生物有機化学	2	2		
環境毒性学	2	2		
薬理学Ⅰ	2	2		
薬理学Ⅱ	2	2		
薬理学Ⅲ	2	2		
薬物治療につながる病態Ⅰ	2	2		
薬物治療につながる病態Ⅱ	2	2		
薬物治療につながる病態Ⅲ	2	2		

薬 剂 学 I	2	2		
薬 剂 学 II	2	2		
薬 物 動 態 学 I	2	2		
薬 物 動 態 学 II	2	2		
薬 剂 疫 学	2	2		
薬物動態学・製剤学実習	1	1		
プレ実務実習 I	1	1		
プレ実務実習 II	2	2		
医 薬 品 化 学	2	2		
健康・環境衛生学	2	2		
抗 悪 性 腫 瘍 薬	1	1		
E B M と 薬 物 治 療	2	2		
一 般 用 医 薬 品 学	1	1		
実 務 事 前 学 習 I	2	2		
実 務 事 前 学 習 II	2	2		
実 務 事 前 学 習 III	2	2		
実 務 事 前 学 習 IV	1	1		
漢 方 医 薬 学 概 論	1	1		
分 野 別 統 合 講 義 I	1	1		
分 野 別 統 合 講 義 II	1	1		
分 野 別 統 合 講 義 III	1	1		
分 野 別 統 合 講 義 IV	1	1		
医 薬 品 情 報 学	2	2		
統 合 薬 学	2	2		
薬 学 実 務 実 習	20	20		
卒 業 研 究	8	8		
実 務 薬 学 総 論	2	2		
総 合 講 義	5	5		
総 合 薬 学 研 究	2		2	
総 合 薬 学 演 習	2		2	
薬学教育B				
特色教育入門 I (特色 I ~ III)	1	1		
特色教育入門 II (特色 I ~ III)	2	2		

薬物治療総論（特色Ⅰ）	1		1	
地域薬学概論（特色Ⅱ）	1		1	
経営学入門（特色Ⅲ）	1		1	
実践薬物治療（特色Ⅰ）	1		1	
実践地域薬学（特色Ⅱ）	1		1	
健康科学概論（特色Ⅱ）	1		1	
経営戦略（特色Ⅲ）	1		1	
症例研究（特色Ⅰ）	1		1	
EBMとデータサイエンス（特色Ⅰ）	1		1	
地域医療と薬剤師（特色Ⅱ）	1		1	
健康を支える薬学（特色Ⅱ）	1		1	
医療経営学（特色Ⅲ）	1		1	
薬学教育C				
英語検定Ⅰ	1		1	
英語検定Ⅱ	1		1	
海外語学研修Ⅰ	1		1	
海外語学研修Ⅱ	1		1	
特別講義Ⅰ	2		2	
特別講義Ⅱ	2		2	
特別講義Ⅲ	2		2	
特別講義Ⅳ	2		2	
特別講義Ⅴ	2		2	
特別講義Ⅵ	2		2	
キャリアデザインⅠ	1		1	
キャリアデザインⅡ	1		1	
キャリアデザインⅢ	1		1	
分野別演習講義Ⅰ	1		1	
分野別演習講義Ⅱ	1		1	
分野別演習講義Ⅲ	1		1	
分野別演習講義Ⅳ	1		1	

第95条の2（削除）

第96条（削除）

第97条（削除）

第98条（削除）

第99条（削除）

第100条（削除）

第101条（削除）

第102条（削除）

第103条（削除）

第3章 大学院

第1節 総則

第104条 本大学に、大学院を置く。

2 大学院は、高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

第105条 本大学院の課程は、修士課程、博士課程及び専門職学位課程とする。

2 修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

3 博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

4 専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。

5 本大学院の専門職学位課程に、法科大学院を置き、その目的は、専ら法曹養成のための教育を行うこととする。

6 修士課程の標準修業年限は、2年とする。

7 前項の規定にかかわらず、主として実務の経験を有する者に対して教育を行う場合であって、教育研究上の必要があり、かつ、昼間と併せて夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育上支障を生じないときは、研究科、専攻又は学生の履修上の区分に応じ、標準修業年限を1年とする。

8 前項に該当する研究科、専攻又は学生の履修上の区分は次のとおりとする。

法学研究科政治学専攻1年コース

国際関係研究科国際関係研究専攻1年コース

9 博士課程の標準修業年限は、5年（医学研究科・歯学研究科・松戸歯学研究科・獣医学研究科及び薬学研究科は4年）とする。

10 博士課程は、前期2年及び後期3年の課程に区分し、前期2年の課程はこれを修士課程として取り扱う。医学研究科・歯学研究科・松戸歯学研究科・獣医学研究科及び薬学研究科の博士課程については前期及び後期の区分をしない。

- 11 法務研究科専門職学位課程（法科大学院）の標準修業年限は、3年とする。
- 12 第6項、第7項、第9項及び第11項の規定にかかわらず、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて第106条第14項に規定する在学年限の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。
- 13 第117条第6項の規定により、本大学院に入学する前に修得した単位（学校教育法第102条第1項の規定により入学資格を得た後に、修得した単位に限る。）を本大学院において修得したものとみなす場合であって、当該単位の修得により、本大学院の修士課程又は博士課程（前期及び後期の課程に区分する博士課程における後期の課程を除く）の教育課程の一部を履修したと認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して、1年を超えない範囲で当該学生の在学期間を短縮することができる。ただし、当該課程の在学期間を1年未満に短縮することはできないものとする。

第106条 修士課程は、所定の年限在学し、専攻科目について30単位以上を修得、必要な研究指導を受け、更に修士論文の審査（芸術学研究科、理工学研究科建築学専攻及び生産工学研究科建築工学専攻に限り、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる）及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 修士の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりである。ただし、学術の専攻分野の名称は、学際領域等専門別に区分しがたい分野を専攻した者について授与する。

研究科名	専攻名	専攻分野の名称
法学研究科	公法学専攻 私法学専攻	法学
	政治学専攻	政治学
新聞学研究科	新聞学専攻	新聞学
	哲学専攻 史学専攻 国文学専攻 中国学専攻	文学

文学研究科	英 文 学 専 攻 ド イ ツ 文 学 専 攻 人 文 地 理 学 専 攻	
	社 会 学 専 攻	社 会 学
	教 育 学 専 攻	教 育 学
	心 理 学 専 攻	心 理 学
総合基礎科学研究科	地 球 情 報 数 理 科 学 専 攻 相 関 理 化 学 専 攻	理 学
経済学研究科	経 済 学 専 攻	経 済 学
商学研究科	商 学 専 攻	商 学
	経 営 学 専 攻	
	会 計 学 専 攻	
芸術学研究科	文 芸 学 専 攻	芸 術 学
	映 像 芸 術 専 攻	
	造 形 芸 術 専 攻	
	音 楽 芸 術 専 攻 舞 台 芸 術 専 攻	
国際関係研究科	国 際 関 係 研 究 専 攻	国 際 学
危機管理学研究科	危 機 管 理 学 専 攻	危 機 管 理 学
スポーツ科学研究科	ス ポ ー ツ 科 学 専 攻	ス ポ ー ツ 科 学
理工学研究科	土 木 工 学 専 攻	工 学
	交 通 シ ス テ ム 工 学 専 攻	
	建 築 学 専 攻	
	海 洋 建 築 工 学 専 攻	
	ま ち づ く り 工 学 専 攻	
	機 械 工 学 専 攻	
	精 密 機 械 工 学 専 攻	
	航 空 宇 宙 工 学 専 攻	
	電 気 工 学 専 攻	
	電 子 工 学 専 攻	
物 理 学 専 攻		

	数 学 専 攻 地 理 学 専 攻	理 学
	情 報 科 学 専 攻 物 質 応 用 化 学 専 攻	工 学 又 は 理 学
	量 子 理 工 学 専 攻	理 学 又 は 工 学
生 産 工 学 研 究 科	機 械 工 学 専 攻 電 気 電 子 工 学 専 攻 土 木 工 学 専 攻 建 築 工 学 専 攻 応 用 分 子 化 学 専 攻 マ ネ ジ メ ン ト 工 学 専 攻 数 理 情 報 工 学 専 攻	工 学
工 学 研 究 科	土 木 工 学 専 攻 建 築 学 専 攻 機 械 工 学 専 攻 電 気 電 子 工 学 専 攻 生 命 応 用 化 学 専 攻 情 報 工 学 専 攻	工 学
生 物 資 源 科 学 研 究 科	生 物 資 源 生 産 科 学 専 攻 生 物 資 源 利 用 科 学 専 攻 応 用 生 命 科 学 専 攻 生 物 環 境 科 学 専 攻 生 物 資 源 経 済 学 専 攻	生 物 資 源 科 学
総 合 社 会 情 報 研 究 科	国 際 情 報 専 攻	国 際 情 報
	文 化 情 報 専 攻	文 化 情 報
	人 間 科 学 専 攻	人 間 科 学
全 研 究 科		学 術

3 博士課程は，所定の年限在学し，専攻科目について30単位以上（修士課程を修了した者については，その修得単位を含む）を修得，必要な研究指導を受け，博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし，優れた業績を上げた者については，大学院に3年（修士課程に2年以上在学し当該課程を修了

した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。また、第1項ただし書きの規定による在学期間をもって修士課程を修了した者及び第105条第7項及び第8項の規定による標準修業年限を1年とした修士課程を修了した者にあつては、修士課程における1年の在学期間を含む)以上在学すれば足りるものとする。

4 前項の規定にかかわらず、総合基礎科学研究科における修得すべき単位数は、32単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した30単位を含む)、法学研究科における修得すべき単位数は、34単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した32単位を含む)、文学研究科における修得すべき単位数は、34単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した30単位を含む)、生産工学研究科における修得すべき単位数は、35単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した33単位を含む)、経済学研究科における修得すべき単位数は、36単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した30単位を含む)、商学研究科における修得すべき単位数は、40単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した32単位を含む)、芸術学研究科及び理工学研究科における修得すべき単位数は、40単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した30単位を含む)、総合社会情報研究科における修得すべき単位数は42単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した30単位を含む)、新聞学研究科及び国際関係研究科における修得すべき単位数は、44単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した32単位を含む)、工学研究科における修得すべき単位数は、44単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した30単位を含む)、生物資源科学研究科における修得すべき単位数は47単位以上(修士課程を修了した者については、当該課程で修得した30単位を含む)とする。

5 前2項の規定にかかわらず、第116条第3項第2号から第8号までの規定により、博士課程の後期3年の課程に入学した者又は専門職学位課程を修了し、博士課程の後期3年の課程に入学した者については、大学院(専門職大学院を除く)に3年(法科大学院の課程を修了した者にあつては、2年)以上在学し(法学研究科、総合基礎科学研究科及び生産工学研究科においては2単位以上、文学研究科においては4単位以上、経済学研究科においては6単位以上、商学研究科においては8単位以上、芸術学研究科及び理工学研究科においては10単位以上、新聞学研究科、国際関係研究科及び総合社会情報研究科においては12単位以上、工学研究科においては14単位

以上、生物資源科学研究科においては17単位以上を当該課程で専攻科目について修得し)、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、優れた業績を上げた者については、大学院に1年(標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者にあつては、3年から当該1年以上2年未満の期間を減じた期間)以上在学すれば足りるものとする。

6 博士の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりである。ただし、学術の専攻分野の名称は、学際領域等専門別に区分しがたい分野を専攻した者について授与する。

研究科名	専攻名	専攻分野の名称
法学研究科	公法専攻 私法専攻	法 学
	政治学専攻	政 治 学
新聞学研究科	新聞学専攻	新 聞 学
文学研究科	哲学専攻 日本史専攻 外国史専攻 外国文学専攻 中国文学専攻 英文学専攻 ドイツ文学専攻	文 学
	社会学専攻	社 会 学
	教育学専攻	教 育 学
	心理学専攻	心 理 学
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻 相関理化学専攻	理 学
	経済学専攻	経 済 学
商学研究科	商学専攻 経営学専攻 会計学専攻	商 学
	芸術学専攻	芸 術 学

国際関係研究科	国際関係研究専攻	国際関係
理工学研究科	土木工学専攻 交通システム工学専攻 建築学専攻 海洋建築工学専攻 まちづくり工学専攻 機械工学専攻 精密機械工学専攻 航空宇宙工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻	工 学
	物理学専攻 数学専攻 地理学専攻	理 学
	情報科学専攻 物質応用化学専攻	工学又は理学
	量子理工学専攻	理学又は工学
生産工学研究科	機械工学専攻 電気電子工学専攻 土木工学専攻 建築工学専攻 応用分子化学専攻 マネジメント工学専攻 数理情報工学専攻	工 学
工学研究科	土木工学専攻 建築学専攻 機械工学専攻 電気電子工学専攻 生命応用化学専攻 情報工学専攻	工 学

医学研究科	生理系 病理系 社会医学系 内科系 外科系	医学
歯学研究科	歯学専攻	歯学
松戸歯学研究科	歯学専攻	歯学
生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻 生物資源利用科学専攻 応用生命科学専攻 生物環境科学専攻 生物資源経済学専攻	生物資源科学
獣医学研究科	獣医学専攻	獣医学
薬学研究科	薬学専攻	薬学
総合社会情報研究科	総合社会情報専攻	総合社会文化
全研究科		学術

- 7 博士課程に標準修業年限在学し、所定の単位だけを修得して、課程を修了しない者が、引き続き学生として在学する場合は、第14項に定める在学年限の範囲内において、当該大学院分科委員会の許可を受けなければならない。
- 8 法務研究科専門職学位課程（法科大学院）は、所定の年限在学し、専攻科目について所定の単位を修得し、研究科が別に定める要件を満たした者に専門職学位の学位を授与する。
- 9 前項の規定にかかわらず、第117条第6項の規定により法務研究科専門職学位課程（法科大学院）に入学する前に修得した単位（学校教育法第102条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限り）を法務研究科専門職学位課程（法科大学院）において修得したものとみなす場合であって、当該単位の修得により法務研究科専門職学位課程（法科大学院）の教育課程の一部を履修したと認めるときは、当該単位数、その履修に要した期間その他を勘案し、1年を超えない範囲で法務研究科専門職学位課程（法科大学院）に在学したものとみなすことができる。
- 10 第8項の規定にかかわらず、法務研究科専門職学位課程（法科大学院）において

必要とされる法学の基礎的な学識を有すると認めるもの（以下「法学既修者」という）に関しては、在学期間については1年を超えない範囲で在学し、単位については専門職大学院設置基準第25条に規定された範囲で修得したとみなすことができる。なお、単位の取扱いについては別に定める。

11 前項の規定により、法学既修者について在学したものとみなすことのできる期間は、第9項の規定により在学したとみなす期間と合わせて1年を超えないものとする。

12 第10項の規定により、法学既修者について修得したものとみなすことのできる単位数（専門職大学院設置基準第25条第1項ただし書きの規定により30単位を超えて算入できる単位を除く）は、第117条第8項の規定により修了するために必要な単位数に算入することのできる単位数と合わせて30単位（認定連携法曹基礎課程を修了した者又はこれらの者と同等の学識を有すると認めた者については46単位）（専門職大学院設置基準第21条第1項ただし書きの規定により30単位を超えて算入できる単位を除く）を超えないものとする。

13 専門職学位課程の授与する専門職学位は、次のとおりである。

研究科名	専攻名	専門職学位
法務研究科	法務専攻	法務博士（専門職）

14 大学院における在学年限は、修士課程4年（第105条第7項及び第8項の規定による標準修業年限を1年とした修士課程にあつては2年）、博士後期課程6年とする。ただし、医学研究科・歯学研究科・松戸歯学研究科・獣医学研究科及び薬学研究科の在学年限は8年とする。また、法務研究科専門職学位課程（法科大学院）は6年（第106条第10項の規定が適用される法学既修者は4年）とする。

第107条 本章に規定しない事項については、第1章総則による。

第2節 教員及び運営機構

第108条 本大学院の授業及び指導は、大学院教員資格に該当する本大学の教授がこれを行う。ただし、このうち特別の事情がある場合には、准教授、講師又は助教がこれを担当することができる。

第109条 本大学院の学事管理のため、大学院委員会を置く。

2 大学院委員会は、研究科長をもって組織し、各研究科に共通の重要事項の審議に当たる。

3 大学院委員会は、学長が招集し、その議長となる。

第110条 各研究科に分科委員会を置く。

2 分科委員会は、その科の授業科目を担当する専任教員をもって組織する。

第111条 分科委員会は、研究科長が招集し、その議長となる。

第112条 分科委員会は、総会員の半数以上の出席によって成立する。

第113条 分科委員会は、次の事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- ① 学生の入学及び課程の修了に関すること。
 - ② 学位論文の審査及び学位の授与に関すること。
 - ③ 前2号に掲げる事項のほか、教育研究に関する重要な事項で、分科委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
- 2 前項第3号の事項については、別に定める「学長裁定」による。
- 3 分科委員会は、第1項に規定するもののほか、学長及び研究科長がつかさどる教育研究に関する事項について教育研究上の専門的な観点から審議し、並びに学長及び研究科長の求めに応じ、意見を述べることができる。なお、本大学の諸規程において分科委員会が審議することと定められている事項については、分科委員会はこれを審議し、意見を述べなければならない。
- 4 分科委員会の意見を集約する必要がある場合は、出席者の過半数によるものとする。

第114条 分科委員会における審議とは、論議・検討することを意味し、決定権を含意するものではない。

第115条 大学院の学務は、学長が総轄し、各研究科の学務は、各研究科長がこれを管掌する。

2 研究科長は、当該学部長がこれに当たる。

3 前項の規定にかかわらず、総合社会情報研究科、法務研究科専門職学位課程（法科大学院）の研究科長については、次の各号のとおりとする。

- ① 総合社会情報研究科については、学長又は当該研究科の教授のうちから学長が任命する者がこれに当たる。
- ② 法務研究科専門職学位課程（法科大学院）については、当該研究科の教授のうちから学長が任命する者がこれに当たる。ただし、当該研究科の運営上特に必要と大学が認めた場合には、学長又は当該関連学部の学部長がこれに当たることが

できる。

第3節 入学及び入学資格

第116条 修士課程及び専門職学位課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有し、本大学院の選抜試験に合格した者とする。

- ① 大学を卒業した者
 - ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
 - ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑥ 外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - ⑧ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 前項の規定にかかわらず、大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものであり、かつ、本大学院の選抜試験に合格した者を入学させることができる。
- 3 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有し、本大学院の選抜試験に合格した者とする。
- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者
 - ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑥ 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、修士論文又は特定課題の研究成果の審査と試験の合格に代える審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑧ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 4 医学研究科・歯学研究科及び松戸歯学研究科博士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有し、本大学院の選抜試験に合格した者とする。
- ① 大学医学部又は医科大学を卒業した者
 - ② 大学歯学部又は歯科大学を卒業した者
 - ③ 大学における修業年限6年の獣医学又は薬学を履修する課程を卒業した者
 - ④ 外国において学校教育における18年の課程を修了した者
 - ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者
 - ⑥ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑦ 外国の大学等において、修業年限が5年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑧ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

- ⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの
- 5 前項の規定にかかわらず、大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものであり、かつ、本大学院の選抜試験に合格した者を入学させることができる。
- 6 獣医学研究科博士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有し、本大学院の選抜試験に合格した者とする。
- ① 大学における修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者
 - ② 大学における医学又は歯学を履修する課程を卒業した者
 - ③ 外国において学校教育における18年の課程を修了した者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑥ 外国の大学等において、修業年限が5年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
 - ⑨ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの
- 7 前項の規定にかかわらず、大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものであり、かつ、本大学院の選抜試験に合格した者を入学させることができる。
- 8 薬学研究科博士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有し、本大学院の選抜試験に合格した者とする。
- ① 大学における修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者

- ② 大学における医学又は歯学を履修する課程を卒業した者
 - ③ 外国において学校教育における18年の課程を修了した者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑥ 外国の大学等において、修業年限が5年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑨ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 9 前項の規定にかかわらず、大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものであり、かつ、本大学院の選抜試験に合格した者を入学させることができる。
- 10 本大学院においては、他大学大学院からの編入学及び所属する研究科を変更することはできない。ただし、所属する研究科内において専攻の変更を許可する場合がある。

第4節 教育課程及び履修方法

第117条 本大学院の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導によって行うものとする。

- 2 総合社会情報研究科における授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導は、通信教育により行う。
- 3 各研究科における授業科目・単位数及び研究指導並びに履修方法は次条以下による。
- 4 学生が許可を受け、他の研究科又は他大学大学院において履修した授業科目について修得した単位については、当該学生が在籍する研究科の授業科目の履修により

修得したものとみなすことができる。

- 5 前項の規定により認定することができる単位数は、15単位を超えないものとする。
- 6 学生が本大学院に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位については、当該学生が在籍する研究科の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 7 前項の規定により認定することができる単位数は、15単位を超えないものとする。
- 8 第4項及び第6項により修得したものとみなす単位は、合わせて20単位を超えない範囲（法務研究科専門職学位課程（法科大学院）については、30単位（認定連携法曹基礎課程を修了した者又はこれらの者と同等の学識を有すると認められた者については46単位）（専門職大学院設置基準第21条第1項ただし書きの規定により30単位を超えて算入できる単位を除く）を超えない範囲）で、修了するために必要な単位数に算入することができる。
- 9 各研究科において、教育研究上有益と認めるときは、あらかじめ協議の上、学生が他の研究科、他大学大学院の研究科又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、修士課程の学生について認める場合には、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。
- 10 第4項から第9項までの規定は、学生が各研究科の許可を受けて外国の大学に留学する場合にこれを準用する。

第117条の2 教育上特別の必要がある場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育を行う。

- 2 前項に該当する研究科、専攻は次のとおりとする。

修士課程・博士前期課程

研 究 科	専 攻
法 学 研 究 科	公 法 学 専 攻 私 法 学 専 攻 政 治 学 専 攻
新 聞 学 研 究 科	新 聞 学 専 攻
文 学 研 究 科	社 会 学 専 攻
総 合 基 礎 科 学 研 究 科	地 球 情 報 数 理 科 学 専 攻
経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻

国 際 関 係 研 究 科	国 際 関 係 研 究 専 攻
理 工 学 研 究 科	土 木 工 学 専 攻 交 通 シ ス テ ム 工 学 専 攻 建 築 学 専 攻 海 洋 建 築 工 学 専 攻 ま ち づ くり 工 学 専 攻 機 械 工 学 専 攻 精 密 機 械 工 学 専 攻 航 空 宇 宙 工 学 専 攻 電 気 工 学 専 攻 電 子 工 学 専 攻 情 報 科 学 専 攻 物 質 応 用 化 学 専 攻 物 理 学 専 攻 数 学 専 攻 量 子 理 工 学 専 攻

博士課程・博士後期課程

研 究 科	専 攻
新 聞 学 研 究 科	新 聞 学 専 攻
芸 術 学 研 究 科	芸 術 専 攻
歯 学 研 究 科	歯 学 専 攻

専門職学位課程

研 究 科	専 攻
法 務 研 究 科	法 務 専 攻

第118条 法学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

I 公法学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
基礎科目				必修単位数6単位を含め、合計32単位以上を修得しなければならない。	
法 学 研 究 の 基 礎	2	2			
I 類				専門研究コースは、I 類から16単位以上、III類から2か国語各2単位で4単位以上、計20単位以上を修得しなければならない。	
憲 法 特 殊 講 義 I	2		2		
憲 法 特 殊 講 義 II	2		2		
行 政 法 特 殊 講 義 I	2		2		
行 政 法 特 殊 講 義 II	2		2	総合研究コースは、I 類から16単位以上を修得しなければならない。	
地 方 自 治 法 特 殊 講 義 I	2		2		
地 方 自 治 法 特 殊 講 義 II	2		2		
税 法 特 殊 講 義 I	2		2		
税 法 特 殊 講 義 II	2		2		
国 際 法 特 殊 講 義 I	2		2		
国 際 法 特 殊 講 義 II	2		2		
刑 法 特 殊 講 義 I	2		2		
刑 法 特 殊 講 義 II	2		2		
刑 事 訴 訟 法 特 殊 講 義 I	2		2		
刑 事 訴 訟 法 特 殊 講 義 II	2		2		
刑 事 政 策 特 殊 講 義 I	2		2		
刑 事 政 策 特 殊 講 義 II	2		2		
労 働 法 特 殊 講 義 I	2		2		
労 働 法 特 殊 講 義 II	2		2		
社 会 保 障 法 特 殊 講 義 I	2		2		
社 会 保 障 法 特 殊 講 義 II	2		2		
裁 判 法 特 殊 講 義 I	2		2		

裁判法特殊講義Ⅱ	2		2	
法哲学特殊講義Ⅰ	2		2	
法哲学特殊講義Ⅱ	2		2	
法思想史特殊講義Ⅰ	2		2	
法思想史特殊講義Ⅱ	2		2	
法史学特殊講義Ⅰ	2		2	
法史学特殊講義Ⅱ	2		2	
英米法特殊講義Ⅰ	2		2	
英米法特殊講義Ⅱ	2		2	
独法特殊講義Ⅰ	2		2	
独法特殊講義Ⅱ	2		2	
仏法特殊講義Ⅰ	2		2	
仏法特殊講義Ⅱ	2		2	
外国公法特殊講義Ⅰ	2		2	
外国公法特殊講義Ⅱ	2		2	
Ⅱ類				
公法学特論Ⅰ	2		2	
公法学特論Ⅱ	2		2	
Ⅲ類				
法律学原書研究Ⅰ(英)	1		1	
法律学原書研究Ⅱ(英)	1		1	
法律学原書研究Ⅰ(独)	1		1	
法律学原書研究Ⅱ(独)	1		1	
法律学原書研究Ⅰ(仏)	1		1	
法律学原書研究Ⅱ(仏)	1		1	
Ⅳ類				
合同演習	2		2	
専門演習	4	4		
学位論文				

Ⅱ 私法学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
基礎科目				必修単位数6単位を含め、 合計32単位以上を修得し なければならない。	
法 学 研 究 の 基 礎	2	2			
I 類				専門研究コースは、I 類か ら16単位以上、 IV類から2か国語各2単位 で4単位以上、 計20単位以上を修得しな なければならない。	
民 法 特 殊 講 義 I	2		2		
民 法 特 殊 講 義 II	2		2		
商 法 特 殊 講 義 I	2		2		
商 法 特 殊 講 義 II	2		2		
民 事 訴 訟 法 特 殊 講 義 I	2		2	総合研究コースは、I 類か ら16単位以上を修得しな なければならない。	
民 事 訴 訟 法 特 殊 講 義 II	2		2		
国 際 私 法 特 殊 講 義 I	2		2	知的財産コースは、I 類よ り、	
国 際 私 法 特 殊 講 義 II	2		2	民法特殊講義 I	
国 際 取 引 法 特 殊 講 義 I	2		2	民法特殊講義 II	
国 際 取 引 法 特 殊 講 義 II	2		2	民事訴訟法特殊講義 I	
特 許 ・ 実 用 新 案 法 特 殊 講 義 IA	2		2	民事訴訟法特殊講義 II	
特 許 ・ 実 用 新 案 法 特 殊 講 義 IB	2		2	特許・実用新案法特殊講義 I A	
特 許 ・ 実 用 新 案 法 特 殊 講 義 IIA	2		2	特許・実用新案法特殊講義 I B	
特 許 ・ 実 用 新 案 法 特 殊 講 義 IIB	2		2	特許・実用新案法特殊講義 II A	
意 匠 法 特 殊 講 義 I	2		2	特許・実用新案法特殊講義 II B	
意 匠 法 特 殊 講 義 II	2		2	意匠法特殊講義 I	
商 標 法 特 殊 講 義 I	2		2	意匠法特殊講義 II	
商 標 法 特 殊 講 義 II	2		2	商標法特殊講義 I	
著 作 権 法 特 殊 講 義 I	2		2	商標法特殊講義 II	
著 作 権 法 特 殊 講 義 II	2		2	著作権法特殊講義 I	
不 正 競 争 防 止 法 特 殊 講 義 I	2		2	著作権法特殊講義 II	
不 正 競 争 防 止 法 特 殊 講 義 II	2		2	不正競争防止法特殊講義 I	
知 的 財 産 条 約 特 殊 講 義 I	2		2	不正競争防止法特殊講義 II	
知 的 財 産 条 約 特 殊 講 義 II	2		2	知的財産条約特殊講義 I	
経 済 行 政 法 特 殊 講 義 I	2		2	知的財産条約特殊講義 II	
経 済 行 政 法 特 殊 講 義 II	2		2	のうちから12単位以上、 II類から12単位以上、 計24単位以上を修得しな なければならない。	
労 働 法 特 殊 講 義 I	2		2		

労働法特殊講義Ⅱ	2	2		
金融法特殊講義Ⅰ	2	2		
金融法特殊講義Ⅱ	2	2		
社会保障法特殊講義Ⅰ	2	2		
社会保障法特殊講義Ⅱ	2	2		
裁判法特殊講義Ⅰ	2	2		
裁判法特殊講義Ⅱ	2	2		
英米法特殊講義Ⅰ	2	2		
英米法特殊講義Ⅱ	2	2		
独法特殊講義Ⅰ	2	2		
独法特殊講義Ⅱ	2	2		
仏法特殊講義Ⅰ	2	2		
仏法特殊講義Ⅱ	2	2		
外国私法特殊講義Ⅰ	2	2		
外国私法特殊講義Ⅱ	2	2		
Ⅱ類				
知的財産実務特論ⅠA	2	2		
知的財産実務特論ⅠB	2	2		
知的財産実務特論ⅡA	2	2		
知的財産実務特論ⅡB	2	2		
知的財産政策特論Ⅰ	2	2		
知的財産政策特論Ⅱ	2	2		
知的財産ビジネス特論Ⅰ	2	2		
知的財産ビジネス特論Ⅱ	2	2		
知的財産ビジネス特論Ⅲ	2	2		
知的財産ビジネス特論Ⅳ	2	2		
知的財産ビジネス特論Ⅴ	2	2		
知的財産ビジネス特論Ⅵ	2	2		
Ⅲ類				
私法学特論Ⅰ	2	2		
私法学特論Ⅱ	2	2		
私法学特論Ⅲ	2	2		

私法学特論Ⅳ	2		2		
Ⅳ類					
法律学原書研究Ⅰ(英)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(英)	1		1		
法律学原書研究Ⅰ(独)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(独)	1		1		
法律学原書研究Ⅰ(仏)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(仏)	1		1		
Ⅴ類					
合同演習	2		2		
専門演習	4	4			
学位論文					

Ⅲ 政治学専攻

(1) 2年制コース

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基礎科目				必修単位数6単位を含め、合計32単位以上を修得しなければならない。	
社会科学の基礎	2	2			
Ⅰ類				専門研究コースは、Ⅰ類から16単位以上、Ⅶ類から2か国語各2単位で4単位以上、計20単位以上を修得しなければならない。	
政治理論特殊講義Ⅰ	2		2		
政治理論特殊講義Ⅱ	2		2		
政治哲学特殊講義Ⅰ	2		2		
政治哲学特殊講義Ⅱ	2		2	総合研究コースは、Ⅰ類から16単位以上を修得しなければならない。	
政治思想史特殊講義Ⅰ	2		2		
政治思想史特殊講義Ⅱ	2		2	公共政策コースは、Ⅲ類から公共政策論特論を必修とし、4単位以上、Ⅳ類から4単位以上、Ⅴ類から4単位以上、Ⅵ類から4単位以上、計16単位以上を修得しなければならない。	
日本政治史特殊講義Ⅰ	2		2		
日本政治史特殊講義Ⅱ	2		2		
西洋政治史特殊講義Ⅰ	2		2		
西洋政治史特殊講義Ⅱ	2		2		
国際政治学特殊講義Ⅰ	2		2		
国際政治学特殊講義Ⅱ	2		2		
国際関係論特殊講義Ⅰ	2		2		

国際関係論特殊講義Ⅱ	2	2		
国際協力論特殊講義Ⅰ	2	2		
国際協力論特殊講義Ⅱ	2	2		
地域研究特殊講義Ⅰ	2	2		
地域研究特殊講義Ⅱ	2	2		
行政学特殊講義Ⅰ	2	2		
行政学特殊講義Ⅱ	2	2		
地方自治論特殊講義Ⅰ	2	2		
地方自治論特殊講義Ⅱ	2	2		
政治過程論特殊講義Ⅰ	2	2		
政治過程論特殊講義Ⅱ	2	2		
公共政策論特殊講義Ⅰ	2	2		
公共政策論特殊講義Ⅱ	2	2		
財政学特殊講義Ⅰ	2	2		
財政学特殊講義Ⅱ	2	2		
経済政策特殊講義Ⅰ	2	2		
経済政策特殊講義Ⅱ	2	2		
公共経済学特殊講義Ⅰ	2	2		
公共経済学特殊講義Ⅱ	2	2		
Ⅱ類				
政治学特論Ⅰ	2	2		
政治学特論Ⅱ	2	2		
政治学特論Ⅲ	2	2		
政治学特論Ⅳ	2	2		
Ⅲ類				
公共政策論特論	2	2		
公共経営論特論	2	2		
地方自治論特論	2	2		
行政制度論特論	2	2		
行政組織論特論	2	2		
地方議会論	2	2		

IV類				
政策管理特論	2		2	
政策評価特論	2		2	
政策法務特論	2		2	
危機管理特論	2		2	
人事管理特論	2		2	
V類				
社会政策特論	2		2	
社会保障特論	2		2	
経済政策特論	2		2	
地域政策特論	2		2	
財政政策特論	2		2	
都市政策特論	2		2	
デジタル行政論	2		2	
官民ネットワーク論	2		2	
環境政策特論	2		2	
政策研究特論	2		2	
VI類				
公共政策特殊演習	2		2	
公共政策実務演習	2		2	
社会調査法	2		2	
VII類				
政治学原書研究Ⅰ(英)	1		1	
政治学原書研究Ⅱ(英)	1		1	
政治学原書研究Ⅰ(独)	1		1	
政治学原書研究Ⅱ(独)	1		1	
政治学原書研究Ⅰ(仏)	1		1	
政治学原書研究Ⅱ(仏)	1		1	
VIII類				
合同演習	2		2	
専門演習	4	4		
学位論文				

(2) 1年制コース

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
基礎科目				必修単位数8単位を含め、 合計32単位以上を修得し なければならない。	
社会科学の基礎 I類	2	2			
政治理論特殊講義 I	2		2	III類から公共政策論特論 以外の単位中, 2単位以上, IV類から4単位以上, V類から4単位以上, VI類から4単位以上, 計14単位以上を修得しな なければならない。	
政治理論特殊講義 II	2		2		
政治哲学特殊講義 I	2		2		
政治哲学特殊講義 II	2		2		
政治思想史特殊講義 I	2		2		
政治思想史特殊講義 II	2		2		
日本政治史特殊講義 I	2		2		
日本政治史特殊講義 II	2		2		
西洋政治史特殊講義 I	2		2		
西洋政治史特殊講義 II	2		2		
国際政治学特殊講義 I	2		2		
国際政治学特殊講義 II	2		2		
国際関係論特殊講義 I	2		2		
国際関係論特殊講義 II	2		2		
国際協力論特殊講義 I	2		2		
国際協力論特殊講義 II	2		2		
地域研究特殊講義 I	2		2		
地域研究特殊講義 II	2		2		
行政学特殊講義 I	2		2		
行政学特殊講義 II	2		2		
地方自治論特殊講義 I	2		2		
地方自治論特殊講義 II	2		2		
政治過程論特殊講義 I	2		2		
政治過程論特殊講義 II	2		2		
公共政策論特殊講義 I	2		2		
公共政策論特殊講義 II	2		2		
財政学特殊講義 I	2		2		

財政学特殊講義Ⅱ	2		2	
経済政策特殊講義Ⅰ	2		2	
経済政策特殊講義Ⅱ	2		2	
公共経済学特殊講義Ⅰ	2		2	
公共経済学特殊講義Ⅱ	2		2	
Ⅱ類				
政治学特論Ⅰ	2		2	
政治学特論Ⅱ	2		2	
政治学特論Ⅲ	2		2	
政治学特論Ⅳ	2		2	
Ⅲ類				
公共政策論特論	2	2		
公共経営論特論	2		2	
地方自治論特論	2		2	
行政制度論特論	2		2	
行政組織論特論	2		2	
地方議会論	2		2	
Ⅳ類				
政策管理特論	2		2	
政策評価特論	2		2	
政策法務特論	2		2	
危機管理特論	2		2	
人事管理特論	2		2	
Ⅴ類				
社会政策特論	2		2	
社会保障特論	2		2	
経済政策特論	2		2	
地域政策特論	2		2	
財政政策特論	2		2	
都市政策特論	2		2	
デジタル行政論	2		2	
官民ネットワーク論	2		2	

環境政策特論	2		2		
政策研究特論	2		2		
VI類					
公共政策特殊演習	2		2		
公共政策実務演習	2		2		
社会調査法	2		2		
VII類					
政治学原書研究Ⅰ(英)	1		1		
政治学原書研究Ⅱ(英)	1		1		
政治学原書研究Ⅰ(独)	1		1		
政治学原書研究Ⅱ(独)	1		1		
政治学原書研究Ⅰ(仏)	1		1		
政治学原書研究Ⅱ(仏)	1		1		
VIII類					
合同演習	2		2		
専門演習	4	4			
学位論文					

2 博士後期課程

I 公法学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
特殊研究				必修単位数2単位を修得し, 研究指導のうちから専攻科目を定め, 常時指導教授の研究指導を受けなければならない。	
学術論文特殊研究	2	2			
研究指導					
憲法研究					
行政法研究					
地方自治法研究					
税法研究					
国際法研究					
刑法研究					
刑事訴訟法研究					
刑事政策研究					

社会 保障 法 研 究					
裁 判 法 研 究					
法 哲 学 研 究					
法 思 想 史 研 究					
法 史 学 研 究					
外 国 公 法 研 究					
学 位 論 文					

II 私法学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
特殊研究				必修単位数2単位を修得し、研究指導のうちから専攻科目を定め、常時指導教授の研究指導を受けなければならない。	
学術論文特殊研究	2	2			
研究指導					
民 法 研 究					
商 法 研 究					
著 作 権 法 研 究					
知的財産権法研究					
国際知的財産権法研究					
国 際 私 法 研 究					
民 事 訴 訟 法 研 究					
労 働 法 研 究					
経 済 行 政 法 研 究					
裁 判 法 研 究					
国 際 取 引 法 研 究					
法 社 会 学 研 究					
法 哲 学 研 究					
法 思 想 史 研 究					
法 史 学 研 究					
外 国 私 法 研 究					
不正競争防止法研究					
社会 保障 法 研 究					
学 位 論 文					

Ⅲ 政治学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
特殊研究 学術論文特殊研究 研究指導 政治理論研究 政治哲学研究 政治思想史研究 日本政治史研究 西洋政治史研究 国際政治学研究 国際関係論研究 国際協力論研究 地域研究 行政学研究 地方自治論研究 政治過程論研究 公共政策論研究 財政学研究 経済政策研究 学位論文	2	2		必修単位数2単位を修得し、研究指導のうちから専攻科目を定め、常時指導教授の研究指導を受けなければならない。	

第119条 新聞学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

I 新聞学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
I 類（基幹科目）				必修単位数6単位を含め、合計32単位以上を修得しなければならない。	
ジャーナリズム・メディア研究の基礎	2	2			
ジャーナリズム研究特殊講義 A	2		2	専門研究コースは、I 類より、	
ジャーナリズム研究特殊講義 B	2		2	ジャーナリズム研究特殊講義A～C	
ジャーナリズム研究特殊講義 C	2		2	のうちから4単位以上、	
メディア研究特殊講義 A	2		2	メディア研究特殊講義A～C	
メディア研究特殊講義 B	2		2	のうちから4単位以上、	
メディア研究特殊講義 C	2		2	II 類より、	
II 類（展開科目）				ジャーナリズム特殊研究A～D	
ジャーナリズム特殊研究 A	2		2	ジャーナリズム・メディア特	
ジャーナリズム特殊研究 B	2		2	殊講義A～D	
ジャーナリズム特殊研究 C	2		2	のうちから4単位以上、	
ジャーナリズム特殊研究 D	2		2	ジャーナリズム・メディア特	
メディア特殊研究 A	2		2	殊演習A～D	
メディア特殊研究 B	2		2	のうちから2単位以上、	
メディア特殊研究 C	2		2	III 類から2単位以上、	
メディア特殊研究 D	2		2	IV 類から	
ジャーナリズム・メディア応用研究 A	2		2	母語を除く1か国語の	
ジャーナリズム・メディア応用研究 B	2		2	文献研究 I	
ジャーナリズム・メディア応用研究 C	2		2	文献研究 II	
ジャーナリズム・メディア応用研究 D	2		2	を2単位以上、	
ジャーナリズム・メディア特殊講義 A	2		2	原書研究（英） I	
ジャーナリズム・メディア特殊講義 B	2		2	原書研究（英） II	
ジャーナリズム・メディア特殊講義 C	2		2	を2単位以上、	
ジャーナリズム・メディア特殊講義 D	2		2	計24単位以上を修得しな	
ジャーナリズム・メディア特殊演習 A	1		1	ければならない。	
ジャーナリズム・メディア特殊演習 B	1		1	総合研究コースは、	
				I 類から4単位以上、	
				II 類より、	
				ジャーナリズム特殊研究A～D	
				メディア特殊研究A～D	
				のうちから4単位以上、	
				ジャーナリズム・メディア応	
				用研究A～D	
				ジャーナリズム・メディア特	
				殊講義A～D	
				ジャーナリズム・メディア特	
				殊演習A～D	

ジャーナリズム・メディア特殊演習 C	1		1	のうちから4単位以上, Ⅲ類から2単位以上, Ⅳ類から母語を除く1か国語 の科目を2単位以上, 計16単位以上を修得しな ければならない。
ジャーナリズム・メディア特殊演習 D	1		1	
Ⅲ類 (調査演習科目)				
ジャーナリズム・メディア研究調査演習 A	1		1	
ジャーナリズム・メディア研究調査演習 B	1		1	
新聞学研究所合同演習 A	1		1	
新聞学研究所合同演習 B	1		1	
Ⅳ類 (文献研究)				
文献研究 (英) I	1		1	
文献研究 (英) II	1		1	
文献研究 (中) I	1		1	
文献研究 (中) II	1		1	
文献研究 (日) I	1		1	
文献研究 (日) II	1		1	
文献研究 (独) I	1		1	
文献研究 (独) II	1		1	
文献研究 (仏) I	1		1	
文献研究 (仏) II	1		1	
原書研究 (英) I	1		1	
原書研究 (英) II	1		1	
Ⅴ類 (研究指導)				
論文指導 I	1	1		
論文指導 II	1	1		
論文指導 III	1	1		
論文指導 IV	1	1		
学位論文				

2 博士後期課程

I 新聞学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
ジャーナリズム理論特殊研究 (実証)	2		2	研究指導教員担当の特殊 研究及び特殊演習各2単位 以上, それ以外の特殊研究 及び特殊演習各2単位以 上, 合計12単位以上を修得 しなければならない。	
ジャーナリズム理論特殊研究 (規範)	2		2		
ジャーナリズム理論特殊演習 (実証)	2		2		
ジャーナリズム理論特殊演習 (規範)	2		2		

ジャーナリズム理論特殊演習 (社会)	2		2		
ジャーナリズム制度特殊研究 (比較)	2		2		
ジャーナリズム制度特殊研究 (システム)	2		2		
ジャーナリズム制度特殊演習 (比較)	2		2		
ジャーナリズム制度特殊演習 (システム)	2		2		
ジャーナリズム制度特殊演習 (政策)	2		2		
ジャーナリズム史特殊研究 (比較)	2		2		
ジャーナリズム史特殊研究 (思想)	2		2		
ジャーナリズム史特殊演習 (比較)	2		2		
ジャーナリズム史特殊演習 (思想)	2		2		
ジャーナリズム史特殊演習 (技術)	2		2		
合 同 演 習	2	2			
研 究 指 導	2	2			
学 位 論 文					

第120条 文学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

履修方法に基づき、30単位以上を修得しなければならない。

なお、他専攻、他研究科又は他大学院の授業科目の履修により修得した単位及び本研究科入学前既修得の単位は、10単位を上限として、修了に必要な単位数に算入することができる。

I 哲学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
哲学特殊講義1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
哲学特殊講義2	2		2		
哲学特殊講義3	2		2		
哲学特殊講義4	2		2		
宗教学特殊講義1	2		2		
宗教学特殊講義2	2		2		
宗教学特殊講義3	2		2		
宗教学特殊講義4	2		2		
倫理学特殊講義1	2		2		
倫理学特殊講義2	2		2		
倫理学特殊講義3	2		2		
倫理学特殊講義4	2		2		
美学特殊講義1	2		2		
美学特殊講義2	2		2		
美学特殊講義3	2		2		
美学特殊講義4	2		2		
哲学史特殊講義1	2		2		
哲学史特殊講義2	2		2		
哲学史特殊講義3	2		2		
哲学史特殊講義4	2		2		
宗教史特殊講義1	2		2		
宗教史特殊講義2	2		2		
宗教史特殊講義3	2		2		

宗教史特殊講義 4	2	2		
倫理学史特殊講義 1	2	2		
倫理学史特殊講義 2	2	2		
倫理学史特殊講義 3	2	2		
倫理学史特殊講義 4	2	2		
美学史特殊講義 1	2	2		
美学史特殊講義 2	2	2		
美学史特殊講義 3	2	2		
美学史特殊講義 4	2	2		
哲学特殊研究 1	2	2		
哲学特殊研究 2	2	2		
宗教学特殊研究 1	2	2		
宗教学特殊研究 2	2	2		
倫理学特殊研究 1	2	2		
倫理学特殊研究 2	2	2		
美学特殊研究 1	2	2		
美学特殊研究 2	2	2		
哲学演習 1	1	1		
哲学演習 2	1	1		
哲学演習 3	1	1		
哲学演習 4	1	1		
哲学演習 5	1	1		
哲学演習 6	1	1		
宗教学演習 1	1	1		
宗教学演習 2	1	1		
宗教学演習 3	1	1		
宗教学演習 4	1	1		
宗教学演習 5	1	1		
宗教学演習 6	1	1		
倫理学演習 1	1	1		
倫理学演習 2	1	1		
倫理学演習 3	1	1		
倫理学演習 4	1	1		

倫理学演習 5	1		1		
倫理学演習 6	1		1		
美学演習 1	1		1		
美学演習 2	1		1		
美学演習 3	1		1		
美学演習 4	1		1		
美学演習 5	1		1		
美学演習 6	1		1		
学位論文					

Ⅱ 史学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
日本史特殊講義 1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
日本史特殊講義 2	2		2		
日本史特殊講義 3	2		2		
日本史特殊講義 4	2		2		
日本史特殊講義 5	2		2		
日本史特殊講義 6	2		2		
日本史特殊講義 7	2		2		
日本史特殊講義 8	2		2		
東洋史特殊講義 1	2		2		
東洋史特殊講義 2	2		2		
東洋史特殊講義 3	2		2		
東洋史特殊講義 4	2		2		
西洋史特殊講義 1	2		2		
西洋史特殊講義 2	2		2		
西洋史特殊講義 3	2		2		
西洋史特殊講義 4	2		2		
考古学特殊講義 1	2		2		
考古学特殊講義 2	2		2		
考古学特殊講義 3	2		2		
考古学特殊講義 4	2		2		
歴史学特論 1	2		2		
歴史学特論 2	2		2		

歴史学特論 3	2	2		
歴史学特論 4	2	2		
日本史特殊研究 1	2	2		
日本史特殊研究 2	2	2		
日本史特殊研究 3	2	2		
日本史特殊研究 4	2	2		
日本史特殊研究 5	2	2		
日本史特殊研究 6	2	2		
日本史特殊研究 7	2	2		
日本史特殊研究 8	2	2		
東洋史特殊研究 1	2	2		
東洋史特殊研究 2	2	2		
東洋史特殊研究 3	2	2		
東洋史特殊研究 4	2	2		
西洋史特殊研究 1	2	2		
西洋史特殊研究 2	2	2		
西洋史特殊研究 3	2	2		
西洋史特殊研究 4	2	2		
考古学特殊研究 1	2	2		
考古学特殊研究 2	2	2		
考古学特殊研究 3	2	2		
考古学特殊研究 4	2	2		
歴史学課題研究 1	2	2		
歴史学課題研究 2	2	2		
歴史学課題研究 3	2	2		
歴史学課題研究 4	2	2		
日本史演習 1	2	2		
日本史演習 2	2	2		
日本史演習 3	2	2		
日本史演習 4	2	2		
日本史演習 5	2	2		
日本史演習 6	2	2		
日本史演習 7	2	2		

日本史演習 8	2		2		
東洋史演習 1	2		2		
東洋史演習 2	2		2		
東洋史演習 3	2		2		
東洋史演習 4	2		2		
西洋史演習 1	2		2		
西洋史演習 2	2		2		
西洋史演習 3	2		2		
西洋史演習 4	2		2		
考古学演習 1	2		2		
考古学演習 2	2		2		
考古学演習 3	2		2		
考古学演習 4	2		2		
歴史学演習 1	2		2		
歴史学演習 2	2		2		
歴史学演習 3	2		2		
歴史学演習 4	2		2		
学位論文					

Ⅲ 国文学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
古典文学特殊講義 1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
古典文学特殊講義 2	2		2		
古典文学特殊講義 3	2		2		
古典文学特殊講義 4	2		2		
古典文学特殊講義 5	2		2		
古典文学特殊講義 6	2		2		
近現代文学特殊講義 1	2		2		
近現代文学特殊講義 2	2		2		
近現代文学特殊講義 3	2		2		
近現代文学特殊講義 4	2		2		
日本語学特殊講義 1	2		2		
日本語学特殊講義 2	2		2		
日本語学特殊講義 3	2		2		

古典文学専門演習1	2	2		
古典文学専門演習2	2	2		
古典文学専門演習3	2	2		
古典文学専門演習4	2	2		
古典文学専門演習5	2	2		
古典文学専門演習6	2	2		
近現代文学専門演習1	2	2		
近現代文学専門演習2	2	2		
近現代文学専門演習3	2	2		
近現代文学専門演習4	2	2		
総合研究 1	2	2		
総合研究 2	2	2		
総合研究 3	2	2		
総合研究 4	2	2		
総合研究 5	2	2		
総合研究 6	2	2		
日本語学専門演習1	2	2		
日本語学専門演習2	2	2		
日本語学専門演習3	2	2		
古典文学基礎研究1	2	2		
古典文学基礎研究2	2	2		
古典文学基礎研究3	2	2		
古典文学基礎研究4	2	2		
古典文学基礎研究5	2	2		
古典文学基礎研究6	2	2		
近現代文学基礎研究1	2	2		
近現代文学基礎研究2	2	2		
近現代文学基礎研究3	2	2		
近現代文学基礎研究4	2	2		
日本語学基礎研究1	2	2		
日本語学基礎研究2	2	2		
日本語学基礎研究3	2	2		
日本語教育学特論1	2	2		

日本語教育学特論2	2		2		
日本語教育学特論3	2		2		
日本語教育実習1	3		3		
日本語教育実習2	3		3		
日本語教育学特殊講義1	2		2		
日本語教育学特殊講義2	2		2		
日本語教育学特殊講義3	2		2		
日本語教育学特殊講義4	2		2		
日本語教育学特殊講義5	2		2		
日本語教育学特殊講義6	2		2		
日本語教育学特殊講義7	2		2		
日本語教育学特殊講義8	2		2		
日本語教育学専門演習1	2		2		
日本語教育学専門演習2	2		2		
日本語教育学専門演習3	2		2		
日本語教育学専門演習4	2		2		
日本語教育学専門演習5	2		2		
日本語教育学専門演習6	2		2		
日本語教育学専門演習7	2		2		
日本語教育学専門演習8	2		2		
日本語教育学総合研究1	2		2		
日本語教育学総合研究2	2		2		
日本語教育学総合研究3	2		2		
日本語教育学総合研究4	2		2		
日本語教育学総合研究5	2		2		
日本語教育学総合研究6	2		2		
アカデミック・ライティング(日本語)1	2		2		
アカデミック・ライティング(日本語)2	2		2		
アカデミック・ライティング指導(日本語)1	2		2		
アカデミック・ライティング指導(日本語)2	2		2		
学位論文					

IV 中国学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
---------	-----	------------	------------	---------	-----

中国学概論 1	2	2	30単位以上を修得しなければならない。
中国学概論 2	2	2	
中国学講義 1	2	2	
中国学講義 2	2	2	
中国学特論 1	2	2	
中国学特論 2	2	2	
中国学特殊講義 1	2	2	
中国学特殊講義 2	2	2	
中国学特殊研究 1	2	2	
中国学特殊研究 2	2	2	
中国学応用研究 1	2	2	
中国学応用研究 2	2	2	
中国語学概論 1	2	2	
中国語学概論 2	2	2	
中国語学講義 1	2	2	
中国語学講義 2	2	2	
中国語学特論 1	2	2	
中国語学特論 2	2	2	
中国語学特殊講義 1	2	2	
中国語学特殊講義 2	2	2	
中国語学特殊研究 1	2	2	
中国語学特殊研究 2	2	2	
中国文学概論 1	2	2	
中国文学概論 2	2	2	
中国文学講義 1	2	2	
中国文学講義 2	2	2	
中国文学特論 1	2	2	
中国文学特論 2	2	2	
中国文学特殊講義 1	2	2	
中国文学特殊講義 2	2	2	
中国文学特殊研究 1	2	2	
中国文学特殊研究 2	2	2	
中国文化概論 1	2	2	

中国 文化 概 論 2	2		2		
中国 文化 講 義 1	2		2		
中国 文化 講 義 2	2		2		
中国 文化 特 論 1	2		2		
中国 文化 特 論 2	2		2		
中国 文化 特 殊 講 義 1	2		2		
中国 文化 特 殊 講 義 2	2		2		
中国 文化 特 殊 研 究 1	2		2		
中国 文化 特 殊 研 究 2	2		2		
学 位 論 文					

V 英文学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英米文学特殊講義1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
英米文学特殊講義2	2		2		
英米文学特殊講義3	2		2		
英米文学特殊講義4	2		2		
英語圏文学特殊講義1	2		2		
英語圏文学特殊講義2	2		2		
英語学特殊講義1	2		2		
英語学特殊講義2	2		2		
英語学特殊講義3	2		2		
英語学特殊講義4	2		2		
英語学講義1	2		2		
英語学講義2	2		2		
英語学講義3	2		2		
英語学講義4	2		2		
英米文学特殊研究1	2		2		
英米文学特殊研究2	2		2		
英米文学特殊研究3	2		2		
英米文学特殊研究4	2		2		
英語圏文学特殊研究1	2		2		
英語圏文学特殊研究2	2		2		
英語圏文学特殊研究3	2		2		

英語圏文学特殊研究4	2	2		
英米文学研究1	2	2		
英米文学研究2	2	2		
英米文学研究3	2	2		
英米文学研究4	2	2		
英語学特殊研究1	2	2		
英語学特殊研究2	2	2		
英語学特殊研究3	2	2		
英語学特殊研究4	2	2		
英語学研究1	2	2		
英語学研究2	2	2		
英語学研究3	2	2		
英語学研究4	2	2		
英語学応用研究1	2	2		
英語学応用研究2	2	2		
英米文学演習1	1	1		
英米文学演習2	1	1		
英米文学演習3	1	1		
英米文学演習4	1	1		
英語圏文学演習1	1	1		
英語圏文学演習2	1	1		
英語圏文学演習3	1	1		
英語圏文学演習4	1	1		
英語学特殊演習1	1	1		
英語学特殊演習2	1	1		
英語学特殊演習3	1	1		
英語学特殊演習4	1	1		
英語学演習1	1	1		
英語学演習2	1	1		
英語学演習3	1	1		
英語学演習4	1	1		
アカデミック・ライティング(英語)1	2	2		
アカデミック・ライティング(英語)2	2	2		

アカデミック・ライティング指導 (英語) 1	2		2		
アカデミック・ライティング指導 (英語) 2	2		2		
学 位 論 文					

VI ドイツ文学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
ドイツ文学講義 1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
ドイツ文学講義 2	2		2		
ドイツ文学講義 3	2		2		
ドイツ文学講義 4	2		2		
ドイツ文学講義 5	2		2		
ドイツ文学講義 6	2		2		
ドイツ語学講義 1	2		2		
ドイツ語学講義 2	2		2		
ドイツ語学講義 3	2		2		
ドイツ語学講義 4	2		2		
ドイツ語学講義 5	2		2		
ドイツ語学講義 6	2		2		
ドイツ文化講義 1	2		2		
ドイツ文化講義 2	2		2		
ドイツ文化講義 3	2		2		
ドイツ文化講義 4	2		2		
ドイツ文化講義 5	2		2		
ドイツ文化講義 6	2		2		
ドイツ語教授法講義 1	2		2		
ドイツ語教授法講義 2	2		2		
ドイツ文学研究 1	2		2		
ドイツ文学研究 2	2		2		
ドイツ文学研究 3	2		2		
ドイツ文学研究 4	2		2		
ドイツ文学研究 5	2		2		
ドイツ文学研究 6	2		2		
ドイツ語学研究 1	2		2		
ドイツ語学研究 2	2		2		

ドイツ語学研究3	2		2	
ドイツ語学研究4	2		2	
ドイツ語学研究5	2		2	
ドイツ語学研究6	2		2	
ドイツ文化研究1	2		2	
ドイツ文化研究2	2		2	
ドイツ文化研究3	2		2	
ドイツ文化研究4	2		2	
ドイツ文化研究5	2		2	
ドイツ文化研究6	2		2	
ドイツ語教授法研究1	2		2	
ドイツ語教授法研究2	2		2	
ドイツ文学演習1	1		1	
ドイツ文学演習2	1		1	
ドイツ文学演習3	1		1	
ドイツ文学演習4	1		1	
ドイツ文学演習5	1		1	
ドイツ文学演習6	1		1	
ドイツ語学演習1	1		1	
ドイツ語学演習2	1		1	
ドイツ語学演習3	1		1	
ドイツ語学演習4	1		1	
ドイツ語学演習5	1		1	
ドイツ語学演習6	1		1	
ドイツ文化演習1	1		1	
ドイツ文化演習2	1		1	
ドイツ文化演習3	1		1	
ドイツ文化演習4	1		1	
ドイツ文化演習5	1		1	
ドイツ文化演習6	1		1	
ドイツ語教授法演習1	1		1	
ドイツ語教授法演習2	1		1	
学位論文				

Ⅶ 社会学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【社会学コース科目】				社会学コース及び社会福祉学コースを置く。	
(理論研究領域)					
マスコミ社会学理論基礎研究	2		2	社会学コースは、社会学コース科目を30単位以上修得しなければならない。	
知識社会学理論基礎研究	2		2		
社会学原理基礎研究	2		2	社会福祉学コースは、社会福祉学コース科目(必修単位数12単位を含む)を30単位以上修得しなければならない。	
社会学的・質的調査の基礎研究	2		2		
文化人類学・社会学理論基礎研究	2		2		
文化社会学理論基礎研究	2		2		
マスコミ社会学理論応用研究	2		2		
知識社会学理論応用研究	2		2		
社会学学説応用研究	2		2		
社会学的・質的調査の応用研究	2		2		
文化人類学・社会学理論応用研究	2		2		
文化社会学理論応用研究	2		2		
マスコミ社会学理論基礎演習	1		1		
知識社会学理論基礎演習	1		1		
社会学原理基礎演習	1		1		
社会学的・質的調査の基礎演習	1		1		
文化人類学・社会学理論基礎演習	1		1		
文化社会学理論基礎演習	1		1		
マスコミ社会学理論応用演習	1		1		
知識社会学理論応用演習	1		1		
社会学学説応用演習	1		1		
社会学的・質的調査の応用演習	1		1		
文化人類学・社会学理論応用演習	1		1		
文化社会学理論応用演習	1		1		
(実証研究領域)					
家族社会学実証基礎研究	2		2		
都市・地域・映像社会学研究	2		2		
データサイエンス基礎研究	2		2		

都市社会学実証基礎研究	2	2		
家族社会学実証基礎演習	1	1		
都市・地域・映像社会学演習	1	1		
データサイエンス基礎演習	1	1		
都市社会学実証基礎演習	1	1		
家族社会学実証応用研究	2	2		
都市・地域社会調査論	2	2		
データサイエンス応用研究	2	2		
都市社会学実証応用研究	2	2		
家族社会学実証応用演習	1	1		
都市・地域社会調査演習	1	1		
データサイエンス応用演習	1	1		
都市社会学実証応用演習	1	1		
老年社会学基礎研究	2	2		
老年社会学応用研究	2	2		
老年社会学基礎演習	1	1		
老年社会学応用演習	1	1		
社会学基礎研究	2	2		
社会学基礎演習	1	1		
社会学応用研究	2	2		
社会学応用演習	1	1		
(応用研究領域)				
産業社会学応用基礎研究	2	2		
メディア社会応用基礎研究	2	2		
社会問題論応用基礎研究	2	2		
社会情報論基礎研究	2	2		
産業社会学応用基礎演習	1	1		
メディア社会応用基礎演習	1	1		
社会問題論応用基礎演習	1	1		
社会情報論基礎演習	1	1		
産業社会学応用特殊研究	2	2		
メディア社会応用特殊研究	2	2		
社会問題論応用特殊研究	2	2		

災害情報論特殊研究	2		2		
産業社会学応用特殊演習	1		1		
メディア社会応用特殊演習	1		1		
社会問題論応用特殊演習	1		1		
災害情報論特殊演習	1		1		
【社会福祉学コース科目】					
社会福祉研究法1	2	2			
社会福祉研究法2	2	2			
社会福祉歴史基礎研究	2		2		
社会福祉政策論基礎研究	2		2		
ソーシャルワーク実践理論基礎研究	2		2		
医療ソーシャルワーク基礎研究	2		2		
地域福祉政策研究	2		2		
高齢者福祉基礎研究	2		2		
児童家庭福祉基礎研究	2		2		
障害者福祉基礎研究	2		2		
社会福祉特殊基礎研究1	2		2		
社会福祉特殊基礎研究2	2		2		
社会福祉歴史応用研究	2		2		
社会福祉政策論応用研究	2		2		
ソーシャルワーク実践理論応用研究	2		2		
医療ソーシャルワーク応用研究	2		2		
コミュニティワーク研究	2		2		
高齢者福祉応用研究	2		2		
児童家庭福祉応用研究	2		2		
障害者福祉応用研究	2		2		
社会福祉特殊応用研究1	2		2		
社会福祉特殊応用研究2	2		2		
社会福祉総合研究1	2	2			
社会福祉総合研究2	2	2			
社会福祉総合研究3	2	2			
社会福祉総合研究4	2	2			
学位論文					

Ⅷ 教育学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【教育学コース科目】				教育学コース及び体育学コースを置く。	
教育哲学特論1	2		2		
教育哲学特論2	2		2		
日本教育史特論1	2		2		
日本教育史特論2	2		2		
日本教育史特論3	2		2		
日本教育史特論4	2		2		
外国教育史特論1	2		2		
外国教育史特論2	2		2		
外国教育史特論3	2		2		
外国教育史特論4	2		2		
教育社会学特論1	2		2		
教育社会学特論2	2		2		
教育行政学特論1	2		2		
教育行政学特論2	2		2		
社会教育学特論1	2		2		
社会教育学特論2	2		2		
教育方法学特論1	2		2		
教育方法学特論2	2		2		
教育方法学特論3	2		2		
教育方法学特論4	2		2		
比較教育学特論1	2		2		
比較教育学特論2	2		2		
学校論研究1	2		2		
学校論研究2	2		2		
教育内容特論1	2		2		
教育内容特論2	2		2		
学術情報論研究1	2		2		

學術情報論研究 2	2	2		
教育哲學研究 1	2	2		
教育哲學研究 2	2	2		
外國教育史研究 1	2	2		
外國教育史研究 2	2	2		
教育社會學研究 1	2	2		
教育社會學研究 2	2	2		
教育行政學研究 1	2	2		
教育行政學研究 2	2	2		
社會教育學研究 1	2	2		
社會教育學研究 2	2	2		
比較教育學研究 1	2	2		
比較教育學研究 2	2	2		
教育內容論研究 1	2	2		
教育內容論研究 2	2	2		
教育學研究法 1	2	2		
教育學研究法 2	2	2		
特定課題研究 1	4	4		
特定課題研究 2	4	4		
教育學特論 1	2	2		
教育學特論 2	2	2		
教育學特論 3	2	2		
教育學特論 4	2	2		
教育學特殊研究 1	2	2		
教育學特殊研究 2	2	2		
教育學特殊研究 3	2	2		
教育學特殊研究 4	2	2		
教育學特殊研究 5	2	2		
教育學特殊研究 6	2	2		
教育學應用演習 1	1	1		

教育学応用演習2	1		1		
教育学応用演習3	1		1		
教育学応用演習4	1		1		
【体育学コース科目】					
体育学研究方法特論1	2	2			
体育学研究方法特論2	2	2			
体育・スポーツ教育学特論	2		2		
保健体育科授業実践論	2		2		
スポーツ社会学特論	2		2		
スポーツ運動学特論	2		2		
スポーツメンタルトレーニング特論	2		2		
体育・スポーツ史特論	2		2		
スポーツ医学特論	2		2		
スポーツ生理学特論	2		2		
スポーツ心理学特論	2		2		
スポーツ栄養学特論	2		2		
スポーツリハビリテーション特論	2		2		
バイオメカニクス特論	2		2		
メンタルマネジメント特論	2		2		
コーチング原論	2		2		
測定スポーツコーチング特論1	2		2		
測定スポーツコーチング特論2	2		2		
評定スポーツコーチング特論1	2		2		
評定スポーツコーチング特論2	2		2		
判定スポーツコーチング特論1	2		2		
判定スポーツコーチング特論2	2		2		
判定スポーツコーチング特論3	2		2		
判定スポーツコーチング特論4	2		2		
判定スポーツコーチング特論5	2		2		
スポーツ教育学演習	2		2		

保健体育科授業実践演習	2		2		
スポーツ社会学演習	2		2		
スポーツ運動学演習	2		2		
スポーツマネジメント演習	2		2		
体育・スポーツ史演習	2		2		
スポーツ医学演習	2		2		
スポーツ生理学演習	2		2		
スポーツ心理学演習	2		2		
スポーツ栄養学演習	2		2		
スポーツリハビリテーション演習	2		2		
バイオメカニクス演習	2		2		
測定評価学演習	2		2		
コーチング学演習	2		2		
測定スポーツコーチング演習1	2		2		
測定スポーツコーチング演習2	2		2		
評定スポーツコーチング演習1	2		2		
評定スポーツコーチング演習2	2		2		
判定スポーツコーチング演習1	2		2		
判定スポーツコーチング演習2	2		2		
判定スポーツコーチング演習3	2		2		
判定スポーツコーチング演習4	2		2		
判定スポーツコーチング演習5	2		2		
教育実践インターンシップ1	1		1		
教育実践インターンシップ2	1		1		
学位論文					

Ⅸ 心理学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【コース共通科目】				心理科学コース及び臨床心理学コースを置く。	
心理学研究法特論	2		2		

生理心理学特論	2	2	
認知心理学特論	2	2	心理科学コースは、コース共通科目及び心理科学コース科目を30単位以上修得しなければならない。
社会心理学特論	2	2	
環境心理学特論	2	2	
心理統計法研究	2	2	
発達心理学特論	2	2	
教育心理学特論	2	2	臨床心理学コースは、コース共通科目及び臨床心理学コース科目を20単位以上修得しなければならない。ただし、臨床心理学コース科目及び公認心理師に関する科目のうち、
人格心理学特論	2	2	心理臨床実践1
健康心理学特論	2	2	心理臨床実践2
臨床社会心理学特論	2	2	臨床心理実習1（心理実践実習A）
老年心理学特論	2	2	臨床心理学特論1
障害者・障害児心理学特論	2	2	臨床心理学特論2
家族心理学特論	2	2	臨床心理査定演習1（心理的アセスメントに関する理論と実践）
人間関係学特論	2	2	臨床心理査定演習2
精神医学特論2	2	2	臨床心理面接特論1（心理支援に関する理論と実践）
臨床心理学研究法特論	2	2	臨床心理面接特論2
保健医療分野に関する理論と支援の展開	2	2	臨床心理基礎実習1
福祉分野に関する理論と支援の展開	2	2	臨床心理基礎実習2
教育分野に関する理論と支援の展開	2	2	臨床心理実習1
			臨床心理実習2
			を必修とする。

犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	2		
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2	2		
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2	2		
心の健康教育に関する理論と実践	2	2		
【心理科学コース科目】				
心理的アセスメントに関する理論と実践(心理アセスメント演習)	2	2		
心理支援に関する理論と実践(心理支援演習)	2	2		
【臨床心理学コース科目】				
精神医学特論1	2	2		
投映法特論	2	2		
心理療法特論	2	2		
学校臨床心理学特論	2	2		
臨床心理学特論1	2	2		
臨床心理学特論2	2	2		
臨床心理査定演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	2		
臨床心理査定演習2	2	2		
臨床心理面接特論1(心理支援に関する理論と実践)	2	2		
臨床心理面接特論2	2	2		
臨床心理基礎実習1	1	1		

臨床心理基礎実習2	1		1		
臨床心理実習1	1		1		
臨床心理実習2	1		1		
臨床心理学特別実習1	1		1		
臨床心理学特別実習2	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)1	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)2	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)3	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)4	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)5	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)6	1		1		
心理臨床実践1	1		1		
心理臨床実践2	1		1		
心理臨床実践3	1		1		
学位論文					

〔公認心理師に関する科目〕

授業科目	時間数	必修時間数	選択時間数	履修方法	備考
臨床心理実習1(心理実践実習A)	220		220	臨床心理学コースのみ履修することができる。	
臨床心理実習1(心理実践実習B)	230		230		
心理実践実習C	450		450	心理科学コースのみ履修することができる。	
心理実践実習指導	90		90		

X 人文地理学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自然環境の研究Ⅰ	4		4	左記のうちから、30単位以上を選択履修しなければならない。	
自然環境の研究Ⅱ	4		4		
人文地理学史及び研究法	4	4			
人文地理学特殊講義Ⅰ	4		4		
人文地理学特殊講義Ⅱ	4		4		
地 方 研 究 Ⅰ	4		4		
地 方 研 究 Ⅱ	4		4		
人文地理学特殊演習	4	4			
野 外 実 習	4	4			
論 文 指 導	1		1		
学 位 論 文					

2 博士後期課程

I 哲学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
哲 学 研 究 1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
哲 学 研 究 2	2	2			
学 位 論 文					

II 日本史専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
日 本 史 研 究 1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
日 本 史 研 究 2	2	2			
学 位 論 文					

III 外国史専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
外 国 史 研 究 1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
外 国 史 研 究 2	2	2			
学 位 論 文					

IV 国文学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考

国文学研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
国文学研究2	2	2			
学位論文					

V 中国学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
中国学研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
中国学研究2	2	2			
学位論文					

VI 英文学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英文学研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
英文学研究2	2	2			
学位論文					

VII ドイツ文学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
ドイツ学研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
ドイツ学研究2	2	2			
学位論文					

VIII 社会学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
社会学研究1	2		2	選択単位数4単位以上を修得しなければならない。	
社会学研究2	2		2		
社会福祉学研究1	2		2		
社会福祉学研究2	2		2		
学位論文					

IX 教育学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
教育学研究1	2		2	選択単位数4単位以上を修得しなければならない。	
教育学研究2	2		2		
体育学研究1	2		2		

体育学研究 2 学位論文	2		2		
-----------------	---	--	---	--	--

X 心理学専攻

授業科目	単位数	必修 単位数	選択 単位数	履修方法	備考
心理科学研究 1	2		2	選択単位数4単位以上を修得しなければならない。	
心理科学研究 2	2		2		
臨床心理科学研究 1	2		2		
臨床心理科学研究 2	2		2		
学位論文					

第121条 総合基礎科学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

履修方法に基づき、30単位以上を修得しなければならない。

なお、他専攻、他研究科又は他大学院の授業科目の履修により修得した単位及び本研究科入学前既修得の単位は、10単位を上限として、修了に必要な単位数に算入することができる。

I 地球情報数理科学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
地球情報数理科学特論Ⅰ	2	2		必修単位数4単位を含め、合計30単位以上を修得しなければならない。	
地球情報数理科学特論Ⅱ	2	2			
地球物理学特論Ⅰ	2		2	A群、B群、C群及びD群のいずれかを選択し、特別研究Ⅰ、Ⅱの8単位、特別講究Ⅰ～Ⅳの4単位を修得しなければならない。	
地球物理学特論Ⅱ	2		2		
地球生物学特論	2		2		
環境情報特論	2		2		
地質科学特論Ⅰ	2		2		
地質科学特論Ⅱ	2		2		
地球物質科学Ⅰ	2		2		
地球物質科学Ⅱ	2		2		
地球化学特論Ⅰ	2		2		
地球化学特論Ⅱ	2		2		
水圏科学特論Ⅰ	2		2		
水圏科学特論Ⅱ	2		2		
気圏科学特論Ⅰ	2		2		
気圏科学特論Ⅱ	2		2		
地球環境特別演習	2		2		
コンピュータ科学特論Ⅰ	2		2		
コンピュータ科学特論Ⅱ	2		2		
コンピュータ科学特論Ⅲ	2		2		
ソフトウェア科学特論Ⅰ	2		2		
ソフトウェア科学特論Ⅱ	2		2		
ソフトウェア科学特論Ⅲ	2		2		
数理情報科学特論Ⅰ	2		2		

数理情報科学特論Ⅱ	2	2	
数理情報科学特論Ⅲ	2	2	
数理情報科学特論Ⅳ	2	2	
代数学特論Ⅰ	2	2	
代数学特論Ⅱ	2	2	
幾何学特論Ⅰ	2	2	
幾何学特論Ⅱ	2	2	
解析学特論Ⅰ	2	2	
解析学特論Ⅱ	2	2	
確率統計特論Ⅰ	2	2	
確率統計特論Ⅱ	2	2	
数学教育学特論Ⅰ	2	2	
数学教育学特論Ⅱ	2	2	
数学教育学特論Ⅲ	2	2	
数学教育学特論Ⅳ	2	2	
数学特別講義Ⅰ	2	2	
数学特別講義Ⅱ	2	2	
現代数学概論Ⅰ	2	2	
現代数学概論Ⅱ	2	2	
現代数学概論Ⅲ	2	2	
特別講義	2	2	
地球環境特別研究Ⅰ	4	4	A群
地球環境特別研究Ⅱ	4	4	
地球環境特別講究Ⅰ	1	1	
地球環境特別講究Ⅱ	1	1	
地球環境特別講究Ⅲ	1	1	
地球環境特別講究Ⅳ	1	1	
情報科学特別研究Ⅰ	4	4	
情報科学特別研究Ⅱ	4	4	
情報科学特別講究Ⅰ	1	1	
情報科学特別講究Ⅱ	1	1	
情報科学特別講究Ⅲ	1	1	
情報科学特別講究Ⅳ	1	1	

情報数理特別研究 I	4		4	}	C群	
情報数理特別研究 II	4		4			
情報数理特別講究 I	1		1			
情報数理特別講究 II	1		1			
情報数理特別講究 III	1		1			
情報数理特別講究 IV	1		1			
基礎数理特別研究 I	4		4	}	D群	
基礎数理特別研究 II	4		4			
基礎数理特別講究 I	1		1			
基礎数理特別講究 II	1		1			
基礎数理特別講究 III	1		1			
基礎数理特別講究 IV	1		1			
学 位 論 文						

II 相関理化学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
相 関 理 化 学 特 論	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
相 対 性 理 論 特 論	2		2		
統 計 物 理 学 特 論	2		2	A群, B群及びC群のいずれかを選択し, 特別研究 I ~ IVの8単位, 特別講究 I ~ IVの4単位を修得しなければならない。	
原 子 核・プ ラ ズ マ 特 論	2		2		
凝 縮 系 物 理 学 特 論	2		2		
固 体 ス ペ ク ト ロ ス コ ピ ー	2		2		
複 雑 系 科 学 特 論	2		2		
生 物 分 子 モ ー タ ー 科 学 特 論	2		2		
物 性 物 理 学 特 論	2		2		
レ ー ザ ー・電 子 光 学 特 論	2		2		
量 子 力 学 特 論	2		2		
超 伝 導 科 学 特 論	2		2		
生 物 エ ネ ル ギ ー 科 学 特 論	2		2		
ナ ノ サ イ エ ン ス 特 論	2		2		
錯 体 化 学 特 論	2		2		
生 命 情 報 学 特 論	2		2		
光 化 学 反 応 特 論	2		2		
物 性 化 学 特 論	2		2		

分子物性特論	2	2	
分子細胞生物学実験特論	2	2	
バイオ分析化学特論	2	2	
反応有機化学特論	2	2	
有機金属化学特論	2	2	
触媒化学特論	2	2	
生体分子化学特論	2	2	
天然機能分子化学特論	2	2	
動物生理学特論	2	2	
生態環境化学特論	2	2	
糖質化学特論	2	2	
タンパク質化学特論	2	2	
動物遺伝生理学特論	2	2	
構造無機化学特論	2	2	
物理有機化学特論	2	2	
量子化学特論	2	2	
電子化学特論	2	2	
現代生態学特論	2	2	
細胞内ダイナミクス特論	2	2	
特別講義 I	2	2	
特別講義 II	2	2	
物理学特別研究 I	2	2	A群
物理学特別研究 II	2	2	
物理学特別研究 III	2	2	
物理学特別研究 IV	2	2	
物理学特別講究 I	1	1	
物理学特別講究 II	1	1	
物理学特別講究 III	1	1	
物理学特別講究 IV	1	1	
生命科学特別研究 I	2	2	B群
生命科学特別研究 II	2	2	
生命科学特別研究 III	2	2	
生命科学特別研究 IV	2	2	
生命科学特別講究 I	1	1	

生命科学特別講究Ⅱ	1		1	}	C群
生命科学特別講究Ⅲ	1		1		
生命科学特別講究Ⅳ	1		1		
化学特別研究Ⅰ	2		2		
化学特別研究Ⅱ	2		2		
化学特別研究Ⅲ	2		2		
化学特別研究Ⅳ	2		2		
化学特別講究Ⅰ	1		1		
化学特別講究Ⅱ	1		1		
化学特別講究Ⅲ	1		1		
化学特別講究Ⅳ	1		1		
学位論文					

2 博士後期課程

I 地球情報数理科学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
サイエンスコミュニケーション 固体地球科学特別研究 流体地球科学特別研究 地球環境特別研究 コンピュータ科学特別研究 数理情報科学特別研究 ソフトウェア科学特別研究 代 数 学 特 別 研 究 幾 何 学 特 別 研 究 解 析 学 特 別 研 究 学 位 論 文	2	2		必修単位数2単位を修得し、専攻科目を定め、当該学科目の指導教授による研究指導を受けなければならない。	

II 相関理化学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
サイエンスコミュニケーション 数理物理学特別研究 物性科学特別研究 複雑系科学特別研究	2	2		必修単位数2単位を修得し、専攻科目を定め、当該学科目の指導教授による研究指導を受けなければならない。	

分子機能化学特別研究				
分子制御化学特別研究				
分子創製化学特別研究				
生理科学特別研究				
進化・生態学特別研究				
分子細胞生物学特別研究				
学位論文				

第122条 経済学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

履修方法に基づき、30単位以上を修得しなければならない。

なお、他専攻、他研究科又は他大学院の授業科目の履修により修得した単位及び本研究科入学前既修得の単位は、10単位を上限として、修了に必要な単位数に算入することができる。

経済学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
経済理論部門				経済コース、金融コース、公共経済コース、経営コース、会計コース、税法コースを置き、それぞれ必修単位数8単位を含め、合計30単位以上を修得しなければならない。	
マクロ経済理論	2		2		
上級マクロ経済理論Ⅰ	2		2		
上級マクロ経済理論Ⅱ	2		2		
ミクロ経済理論	2		2		
上級ミクロ経済理論Ⅰ	2		2		
上級ミクロ経済理論Ⅱ	2		2		
ゲーム理論Ⅰ	2		2		
ゲーム理論Ⅱ	2		2		
行動経済学Ⅰ	2		2		
行動経済学Ⅱ	2		2		
経済成長論Ⅰ	2		2		
経済成長論Ⅱ	2		2		
計量経済学Ⅰ	2		2		
計量経済学Ⅱ	2		2		
組織の経済学Ⅰ	2		2		
組織の経済学Ⅱ	2		2		
数理科学・情報部門					
統計学Ⅰ	2		2		
統計学Ⅱ	2		2		
経済統計学Ⅰ	2		2		
経済統計学Ⅱ	2		2		
経営情報論Ⅰ	2		2		

経営情報論Ⅱ	2	2	会計コースは、会計学部門並びに各コースに指定された特殊講義ⅠA～ⅠEのうちから14単位以上を修得しなければならない。	
情報処理論Ⅰ	2	2		
情報処理論Ⅱ	2	2		
経済史・経済学史部門				
日本経済史Ⅰ	2	2	税法コースは、租税・法律部門並びに各コースに指定された特殊講義ⅠA～ⅠEのうちから14単位以上を修得しなければならない。	
日本経済史Ⅱ	2	2		
西洋経済史Ⅰ	2	2		
西洋経済史Ⅱ	2	2		
経済学史Ⅰ	2	2		
経済学史Ⅱ	2	2		
経済思想史Ⅰ	2	2		
経済思想史Ⅱ	2	2		
応用経済部門				
国際経済論Ⅰ	2	2		
国際経済論Ⅱ	2	2		
開発経済論Ⅰ	2	2		
開発経済論Ⅱ	2	2		
比較経済体制論Ⅰ	2	2		
比較経済体制論Ⅱ	2	2		
景気循環論Ⅰ	2	2		
景気循環論Ⅱ	2	2		
国際貿易論Ⅰ	2	2		
国際貿易論Ⅱ	2	2		
労働経済論Ⅰ	2	2		
労働経済論Ⅱ	2	2		
人口経済論Ⅰ	2	2		
人口経済論Ⅱ	2	2		
産業組織論Ⅰ	2	2		
産業組織論Ⅱ	2	2		
日本経済論Ⅰ	2	2		
日本経済論Ⅱ	2	2		
中国経済論Ⅰ	2	2		
中国経済論Ⅱ	2	2		

空間経済学 I	2	2		
空間経済学 II	2	2		
公共経済部門				
経済政策論 I	2	2		
経済政策論 II	2	2		
公共経済学 I	2	2		
公共経済学 II	2	2		
社会保障論 I	2	2		
社会保障論 II	2	2		
福祉経済論 I	2	2		
福祉経済論 II	2	2		
公共政策論 I	2	2		
公共政策論 II	2	2		
財政学 I	2	2		
財政学 II	2	2		
環境経済論 I	2	2		
環境経済論 II	2	2		
交通経済論 I	2	2		
交通経済論 II	2	2		
法と経済学 I	2	2		
法と経済学 II	2	2		
都市経済学 I	2	2		
都市経済学 II	2	2		
金融部門				
金融論 I	2	2		
金融論 II	2	2		
国際金融論 I	2	2		
国際金融論 II	2	2		
金融工学 I	2	2		
金融工学 II	2	2		
金融システム論 I	2	2		
金融システム論 II	2	2		
クレジットリスクマネジメント I	2	2		

クレジットリスクマネジメントⅡ	2	2		
コーポレートファイナンスⅠ	2	2		
コーポレートファイナンスⅡ	2	2		
経営学部門				
国際経営論Ⅰ	2	2		
国際経営論Ⅱ	2	2		
中小企業論Ⅰ	2	2		
中小企業論Ⅱ	2	2		
基礎経営学Ⅰ	2	2		
基礎経営学Ⅱ	2	2		
経営学 AⅠ	2	2		
経営学 AⅡ	2	2		
経営学 BⅠ	2	2		
経営学 BⅡ	2	2		
経営学 CⅠ	2	2		
経営学 CⅡ	2	2		
経営戦略論Ⅰ	2	2		
経営戦略論Ⅱ	2	2		
経営組織論Ⅰ	2	2		
経営組織論Ⅱ	2	2		
生産管理論Ⅰ	2	2		
生産管理論Ⅱ	2	2		
人的資源管理論Ⅰ	2	2		
人的資源管理論Ⅱ	2	2		
経営史Ⅰ	2	2		
経営史Ⅱ	2	2		
マーケティング論Ⅰ	2	2		
マーケティング論Ⅱ	2	2		
会計学部門				
会計学Ⅰ	2	2		
会計学Ⅱ	2	2		
管理会計論Ⅰ	2	2		
管理会計論Ⅱ	2	2		

財務會計論 A I	2	2		
財務會計論 A II	2	2		
財務會計論 B I	2	2		
財務會計論 B II	2	2		
財務會計論 C I	2	2		
財務會計論 C II	2	2		
監查論 I	2	2		
監查論 II	2	2		
原価計算論 I	2	2		
原価計算論 II	2	2		
金融會計論 I	2	2		
金融會計論 II	2	2		
公會計論 I	2	2		
公會計論 II	2	2		
租税・法律部門				
商法 I	2	2		
商法 II (企業法)	2	2		
法人税法 I	2	2		
法人税法 II	2	2		
所得税法 I	2	2		
所得税法 II	2	2		
資産税法	2	2		
国際課税	2	2		
消費税法	2	2		
国税通則法	2	2		
国税徴収法	2	2		
地方税法	2	2		
税務會計	2	2		
租税法総論	2	2		
企業取引課税	2	2		
国税争訟	2	2		
共通				
外国書研究 I	2	2		

外国書研究Ⅱ	2		2	修得できる単位数は10 単位までとする。
特殊講義ⅠA	2		2	
特殊講義ⅠB	2		2	
特殊講義ⅠC	2		2	
特殊講義ⅠD	2		2	
特殊講義ⅠE	2		2	
特殊講義ⅡA	2		2	
特殊講義ⅡB	4		4	
演習	8	8		
学位論文				

2 博士後期課程

履修方法に基づき、6単位以上を修得しなければならない。

経済学専攻

授業科目	単位数	必修 単位数	選択 単位数	履修方法	備考
専攻分野				専攻分野から専攻科目2単位、当該学科目担当の指導教授による特別演習2単位及び特別研究指導Ⅰ2単位の合計6単位以上を修得しなければならない。	
理論経済学研究	2		2		
統計学研究	2		2		
経済学研究	2		2		
経済政策論研究	2		2		
財政学研究	2		2		
金融論研究	2		2		
経営学研究	2		2		
会計学研究	2		2		
商学研究	2		2		
税法研究	2		2		
情報科学研究	2		2		
演習・特別指導					
特別演習	2	2			
特別研究指導Ⅰ	2	2			
特別研究指導Ⅱ	2		2		
特別研究指導Ⅲ	2		2		
学位論文					

第123条 商学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

履修方法に基づき、32単位以上を修得しなければならない。

なお、他専攻、他研究科又は他大学院の授業科目の履修により修得した単位及び本研究科入学前既修得の単位は、10単位を上限として、修了に必要な単位数に算入することができる。

I 商学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
商学(総論)特殊講義 A	2		2	外国文献研究2単位及び商学演習4単位を含め、合計32単位以上を修得しなければならない。 外国文献研究は、外国文献研究(英)を必修とするが、日本語を母語としない場合に限り、外国文献研究(日)を修得することができる。 リサーチ・メソドロジーA又はリサーチ・メソドロジーBのうち、いずれかを修得しなければならない。	
商学(総論)特殊講義 B	2		2		
マーケティング論特殊講義 A	2		2		
マーケティング論特殊講義 B	2		2		
サービス・マーケティング特殊講義 A	2		2		
サービス・マーケティング特殊講義 B	2		2		
マーケティング・マネジメント特殊講義 A	2		2		
マーケティング・マネジメント特殊講義 B	2		2		
グローバル・マーケティング特殊講義 A	2		2		
グローバル・マーケティング特殊講義 B	2		2		
エリア・マーケティング特殊講義 A	2		2		
エリア・マーケティング特殊講義 B	2		2		
消費者行動論特殊講義 A	2		2		
消費者行動論特殊講義 B	2		2		
ブランド・マネジメント特殊講義 A	2		2		
ブランド・マネジメント特殊講義 B	2		2		
商業史特殊講義(Ⅰ)A	2		2		
商業史特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
商業史特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
商業史特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
金融史特殊講義 A	2		2		
金融史特殊講義 B	2		2		
産業経済論特殊講義 A	2		2		

産業経済論特殊講義 B	2		2	
協同組合論特殊講義 A	2		2	
協同組合論特殊講義 B	2		2	
社会保障論特殊講義 A	2		2	
社会保障論特殊講義 B	2		2	
貿易論特殊講義 A	2		2	
貿易論特殊講義 B	2		2	
戦略マーケティング特殊講義 A	2		2	
戦略マーケティング特殊講義 B	2		2	
物流論特殊講義 A	2		2	
物流論特殊講義 B	2		2	
マーケティング・コミュニケーション論特殊講義 A	2		2	
マーケティング・コミュニケーション論特殊講義 B	2		2	
マーケティング・リサーチ特殊講義 A	2		2	
マーケティング・リサーチ特殊講義 B	2		2	
観光マーケティング特殊講義 A	2		2	
観光マーケティング特殊講義 B	2		2	
国際ビジネス論特殊講義 A	2		2	
国際ビジネス論特殊講義 B	2		2	
金融論特殊講義 A	2		2	
金融論特殊講義 B	2		2	
企業金融論特殊講義 A	2		2	
企業金融論特殊講義 B	2		2	
金融機関論特殊講義 A	2		2	
金融機関論特殊講義 B	2		2	
証券市場論特殊講義 A	2		2	
証券市場論特殊講義 B	2		2	
国際金融論特殊講義 A	2		2	
国際金融論特殊講義 B	2		2	
保険論特殊講義 A	2		2	
保険論特殊講義 B	2		2	
商学演習	4	4		

関連科目				
マクロ経済学特殊講義 A	2		2	
マクロ経済学特殊講義 B	2		2	
ミクロ経済学特殊講義 A	2		2	
ミクロ経済学特殊講義 B	2		2	
財政学特殊講義 A	2		2	
財政学特殊講義 B	2		2	
リサーチ・メソドロジーA	2		2	
リサーチ・メソドロジーB	2		2	
外国文献研究(英)	2		2	
外国文献研究(日)	2		2	
外国文献研究(独)	2		2	
外国文献研究(仏)	2		2	
外国文献研究(中)	2		2	
ワークショップ A	2		2	
ワークショップ B	2		2	
フィールド・スタディ A	2		2	
フィールド・スタディ B	2		2	
学位論文				

II 経営学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
経営学特殊講義(Ⅰ)A	2		2	外国文献研究2単位及び経営学演習4単位を含め、合計32単位以上を修得しなければならない。 外国文献研究は、外国文献研究(英)を必修とするが、日本語を母語としない場合に限り、外国文献研究(日)を修得することができる。 リサーチ・メソドロジーA又はリサーチ・メソドロジーBのうち、いずれかを修得しなければならない。	
経営学特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
経営学特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
経営学特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
企業形態論特殊講義 A	2		2		
企業形態論特殊講義 B	2		2		
企業倫理論特殊講義 A	2		2		
企業倫理論特殊講義 B	2		2		
経営経済学特殊講義 A	2		2		
経営経済学特殊講義 B	2		2		
経営学説史特殊講義 A	2		2		

経営学説史特殊講義 B	2	2		
産業・組織心理学特殊講義 A	2	2		
産業・組織心理学特殊講義 B	2	2		
経営管理論特殊講義(Ⅰ)A	2	2		
経営管理論特殊講義(Ⅰ)B	2	2		
経営管理論特殊講義(Ⅱ)A	2	2		
経営管理論特殊講義(Ⅱ)B	2	2		
経営戦略論特殊講義 A	2	2		
経営戦略論特殊講義 B	2	2		
生産管理論特殊講義 A	2	2		
生産管理論特殊講義 B	2	2		
人的資源管理論特殊講義(Ⅰ)A	2	2		
人的資源管理論特殊講義(Ⅰ)B	2	2		
人的資源管理論特殊講義(Ⅱ)A	2	2		
人的資源管理論特殊講義(Ⅱ)B	2	2		
経営財務論特殊講義 A	2	2		
経営財務論特殊講義 B	2	2		
情報マネジメント論特殊講義 A	2	2		
情報マネジメント論特殊講義 B	2	2		
テクノロジー・マネジメント特殊講義A	2	2		
テクノロジー・マネジメント特殊講義B	2	2		
経営分析論特殊講義 A	2	2		
経営分析論特殊講義 B	2	2		
経営史特殊講義 A	2	2		
経営史特殊講義 B	2	2		
経営組織論特殊講義(Ⅰ)A	2	2		
経営組織論特殊講義(Ⅰ)B	2	2		
経営組織論特殊講義(Ⅱ)A	2	2		
経営組織論特殊講義(Ⅱ)B	2	2		
経営組織論特殊講義(Ⅲ)A	2	2		
経営組織論特殊講義(Ⅲ)B	2	2		
ベンチャー企業経営論特殊講義 A	2	2		

ベンチャー企業経営論特殊講義 B	2		2		
中小企業経営論特殊講義 A	2		2		
中小企業経営論特殊講義 B	2		2		
グローバル・マネジメント論特殊講義 A	2		2		
グローバル・マネジメント論特殊講義 B	2		2		
医療経営管理論特殊講義 A	2		2		
医療経営管理論特殊講義 B	2		2		
経営学演習	4	4			
関連科目					
マクロ経済学特殊講義 A	2		2		
マクロ経済学特殊講義 B	2		2		
ミクロ経済学特殊講義 A	2		2		
ミクロ経済学特殊講義 B	2		2		
財政学特殊講義 A	2		2		
財政学特殊講義 B	2		2		
リサーチ・メソドロジーA	2		2		
リサーチ・メソドロジーB	2		2		
外国文献研究(英)	2		2		
外国文献研究(日)	2		2		
外国文献研究(独)	2		2		
外国文献研究(仏)	2		2		
外国文献研究(中)	2		2		
ワークショップ A	2		2		
ワークショップ B	2		2		
フィールド・スタディ A	2		2		
フィールド・スタディ B	2		2		
学位論文					

Ⅲ 会計学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
財務会計論特殊講義(I)A	2		2	外国文献研究2単位及び会計学演習4単位を含め、合計32単位以上を修得しなければならない。	
財務会計論特殊講義(I)B	2		2		
財務会計論特殊講義(II)A	2		2		

財務会計論特殊講義(Ⅱ)B	2		2	外国文献研究は,外国文献研究(英)を必修とするが,日本語を母語としない場合に限り,外国文献研究(日)を修得することができる。 リサーチ・メソドロジーA又はリサーチ・メソドロジーBのうち,いずれかを修得しなければならない。
制度会計論特殊講義(Ⅰ)A	2		2	
制度会計論特殊講義(Ⅰ)B	2		2	
制度会計論特殊講義(Ⅱ)A	2		2	
制度会計論特殊講義(Ⅱ)B	2		2	
簿記論特殊講義(Ⅰ)A	2		2	
簿記論特殊講義(Ⅰ)B	2		2	
簿記論特殊講義(Ⅱ)A	2		2	
簿記論特殊講義(Ⅱ)B	2		2	
原価計算論特殊講義(Ⅰ)A	2		2	
原価計算論特殊講義(Ⅰ)B	2		2	
原価計算論特殊講義(Ⅱ)A	2		2	
原価計算論特殊講義(Ⅱ)B	2		2	
管理会計論特殊講義(Ⅰ)A	2		2	
管理会計論特殊講義(Ⅰ)B	2		2	
管理会計論特殊講義(Ⅱ)A	2		2	
管理会計論特殊講義(Ⅱ)B	2		2	
税務会計論特殊講義(Ⅰ)A	2		2	
税務会計論特殊講義(Ⅰ)B	2		2	
税務会計論特殊講義(Ⅱ)A	2		2	
税務会計論特殊講義(Ⅱ)B	2		2	
監査論特殊講義(Ⅰ)A	2		2	
監査論特殊講義(Ⅰ)B	2		2	
監査論特殊講義(Ⅱ)A	2		2	
監査論特殊講義(Ⅱ)B	2		2	
財務諸表分析論特殊講義A	2		2	
財務諸表分析論特殊講義B	2		2	
国際会計論特殊講義A	2		2	
国際会計論特殊講義B	2		2	
会計学演習	4	4		
関連科目				
マクロ経済学特殊講義A	2		2	
マクロ経済学特殊講義B	2		2	

ミクロ経済学特殊講義 A	2		2		
ミクロ経済学特殊講義 B	2		2		
財政学特殊講義 A	2		2		
財政学特殊講義 B	2		2		
リサーチ・メソドロジーA	2		2		
リサーチ・メソドロジーB	2		2		
外国文献研究(英)	2		2		
外国文献研究(日)	2		2		
外国文献研究(独)	2		2		
外国文献研究(仏)	2		2		
外国文献研究(中)	2		2		
ワークショップ A	2		2		
ワークショップ B	2		2		
フィールド・スタディ A	2		2		
フィールド・スタディ B	2		2		
学 位 論 文					

2 博士後期課程

履修方法に基づき、8単位を修得しなければならない。

I 商学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
関連科目				必修単位数8単位を修得し、研究指導教員担当の特殊研究による研究指導を受けなければならない。	
理論構築特殊研究A	2	2			
理論構築特殊研究B	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究A	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究B	2	2			
商学特殊研究					
商業史特殊研究					
マーケティング特殊研究					
貿易論特殊研究					
物流論特殊研究					
金融論特殊研究					
保険論特殊研究					

流通システム論特殊研究					
学位論文					

Ⅱ 経営学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
関連科目				必修単位数8単位を修得し、研究指導教員担当の特殊研究による研究指導を受けなければならない。	
理論構築特殊研究A	2	2			
理論構築特殊研究B	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究A	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究B	2	2			
経営学特殊研究					
人的資源管理論特殊研究					
経営組織論特殊研究					
中小企業経営論特殊研究					
企業形態論特殊研究					
企業倫理論特殊研究					
経営管理論特殊研究					
経営史特殊研究					
経営分析論特殊研究					
学位論文					

Ⅲ 会計学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
関連科目				必修単位数8単位を修得し、研究指導教員担当の特殊研究による研究指導を受けなければならない。	
理論構築特殊研究A	2	2			
理論構築特殊研究B	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究A	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究B	2	2			
財務会計論特殊研究					
管理会計論特殊研究					
税務会計論特殊研究					
監査論特殊研究					
財務諸表分析論特殊研究					
学位論文					

第124条 芸術学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

I 文芸学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 理 論 部 門					
文 芸 学 特 論 I	4		4	左記のうちから,分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。	
文 芸 学 特 論 II	4		4		
哲 学 特 論	4		4		
芸 術 心 理 学 特 論	4		4		
文 芸 情 報 学 特 論	4		4		
マ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	4		4		
メ デ ィ ア 論	4		4		
文 芸 史 特 論	4		4		
芸 術 社 会 学 特 論	4		4		
文 芸 表 現 特 論	4		4		
B 研 究 ・ 創 作 部 門					
外 国 文 芸 特 殊 研 究	4		4	} 1科目選択必修	
日 本 文 芸 特 殊 研 究	4		4		
文 芸 創 作 特 殊 研 究	4		4		
外 国 文 芸 特 論 I	4		4		
外 国 文 芸 特 論 II	4		4		
日 本 文 芸 特 論 I	4		4		
日 本 文 芸 特 論 II	4		4		
文 芸 創 作 特 論 I	4		4		
文 芸 創 作 特 論 II	4		4		
C 関 連 領 域 部 門					
芸 術 学 特 論	4		4		
リ サ ー チ 特 殊 研 究 I	2		2		
リ サ ー チ 特 殊 研 究 II	2		2		
映 画 史 特 論	4		4		
放 送 史 特 論	4		4		

日本美術史特論Ⅰ	2		2		
日本美術史特論Ⅱ	2		2		
西洋美術史特論Ⅰ	2		2		
西洋美術史特論Ⅱ	2		2		
日本音楽史特論	4		4		
西洋音楽史特論	4		4		
演劇史特論	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2		2		
連携理論研究Ⅱ	2		2		
連携表現研究Ⅰ	2		2		
連携表現研究Ⅱ	2		2		
学位論文・作品・制作					

Ⅱ 映像芸術専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 理論部門					
映像特論	4		4	左記のうちから,分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。	
写真史特論	4		4		
映画史特論	4		4		
放送史特論	4		4		
映像構成特論	4		4		
映像技術特論	4		4		
映像音響特論	4		4		
映像教育研究	4		4		
B 演習・実習部門					
映像表現研究Ⅰ	4		4	1科目選択必修	
写真特殊研究Ⅰ	4		4		
映画特殊研究Ⅰ	4		4		
放送特殊研究Ⅰ	4		4		
映像メディア特殊研究Ⅰ	4		4		
映像作品特殊研究Ⅰ	4		4		
映像技術特殊研究Ⅰ	4		4		

映像表現研究Ⅱ	2		2		
写真特殊研究Ⅱ	2		2		
映画特殊研究Ⅱ	2		2		
放送特殊研究Ⅱ	2		2		
映像メディア特殊研究Ⅱ	2		2		
映像作品特殊研究Ⅱ	2		2		
映像技術特殊研究Ⅱ	2		2		
C 関連領域部門					
芸術学特論	4	4			
リサーチ特殊研究Ⅰ	2		2		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2		2		
文芸学特論Ⅰ	4		4		
文芸学特論Ⅱ	4		4		
哲学特論	4		4		
芸術心理学特論	4		4		
文芸情報学特論	4		4		
マスコミュニケーション論	4		4		
メディア論	4		4		
文芸史特論	4		4		
芸術社会学特論	4		4		
造形特論	4		4		
建築造形特論	4		4		
デザイン史特論Ⅰ	2		2		
デザイン史特論Ⅱ	2		2		
建築デザイン史特論Ⅰ	2		2		
建築デザイン史特論Ⅱ	2		2		
日本美術史特論Ⅰ	2		2		
日本美術史特論Ⅱ	2		2		
西洋美術史特論Ⅰ	2		2		
西洋美術史特論Ⅱ	2		2		
音楽芸術特論Ⅰ	4		4		
音楽芸術特論Ⅱ	4		4		
日本音楽史特論	4		4		

西洋音楽史特論	4		4		
情報音楽特論	4		4		
音楽心理学特論	4		4		
舞台芸術特論	4		4		
演劇史特論	4		4		
民俗芸能特論	4		4		
舞踊史特論	4		4		
古典劇特論	4		4		
映像文献原典講読	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2		2		
連携理論研究Ⅱ	2		2		
連携表現研究Ⅰ	2		2		
連携表現研究Ⅱ	2		2		
学位論文・作品・制作					

Ⅲ 造形芸術専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考	
A 理論部門						
造形特論	4		4	左記のうちから,分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。ただし,デザイン実務研究は修了に必要な単位数に算入しない。		
建築造形特論	4		4			
日本美術史特論Ⅰ	2		2			
日本美術史特論Ⅱ	2		2			
西洋美術史特論Ⅰ	2		2			
西洋美術史特論Ⅱ	2		2			
デザイン史特論Ⅰ	2		2			
デザイン史特論Ⅱ	2		2			
建築デザイン史特論Ⅰ	2		2			
建築デザイン史特論Ⅱ	2		2			
美術教育研究Ⅰ	2		2			
美術教育研究Ⅱ	2		2			
B 演習・実習部門						

造形芸術研究Ⅰ(絵画・版画)	4	4	1科目選択必修
造形芸術研究Ⅰ(彫刻・地域芸術)	4	4	
造形芸術研究Ⅰ(デザイン)	4	4	
造形理論研究Ⅰ	4	4	
造形芸術研究Ⅱ(絵画・版画)	2	2	1科目選択必修
造形芸術研究Ⅱ(彫刻・地域芸術)	2	2	
造形芸術研究Ⅱ(デザイン)	2	2	
造形理論研究Ⅱ	2	2	
絵画特殊研究Ⅰ	2	2	
絵画特殊研究Ⅱ	2	2	
版画特殊研究Ⅰ	2	2	
版画特殊研究Ⅱ	2	2	
彫刻特殊研究Ⅰ	2	2	
彫刻特殊研究Ⅱ	2	2	
デザイン特殊研究Ⅰ	2	2	
デザイン特殊研究Ⅱ	2	2	
デザイン特殊研究Ⅲ	2	2	
絵画作品研究Ⅰ	2	2	
絵画作品研究Ⅱ	2	2	
版画作品研究Ⅰ	2	2	
版画作品研究Ⅱ	2	2	
彫刻作品研究Ⅰ	2	2	
彫刻作品研究Ⅱ	2	2	
デザイン作品研究Ⅰ	2	2	
デザイン作品研究Ⅱ	2	2	
デザイン作品研究Ⅲ	2	2	
デザイン作品研究Ⅳ	2	2	
アートプロジェクト研究	2	2	
デザイン実務研究	4	4	
C 関連領域部門			
芸術学特論	4	4	
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	2	
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	2	

文芸学特論 I	4		4		
哲学特論	4		4		
文芸情報学特論	4		4		
映像特論	4		4		
写真史特論	4		4		
映画史特論	4		4		
放送史特論	4		4		
音楽芸術特論 I	4		4		
日本音楽史特論	4		4		
西洋音楽史特論	4		4		
情報音楽特論	4		4		
音楽心理学特論	4		4		
舞台芸術特論	4		4		
演劇史特論	4		4		
民俗芸能特論	4		4		
古典劇特論	4		4		
芸術心理学特論	4		4		
芸術社会学特論	4		4		
造形文献原典講読	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究 I	2		2		
連携理論研究 II	2		2		
連携表現研究 I	2		2		
連携表現研究 II	2		2		
学位論文・作品・制作					

IV 音楽芸術専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論部門					
音楽芸術特論 I	4		4	左記のうちから,分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。	
音楽芸術特論 II	4		4		
日本音楽史特論	4		4		
西洋音楽史特論	4		4		

情報音楽特論	4		4	
音楽教育特論	4		4	
音楽心理学特論	4		4	
B 演習・実習部門				
作曲特殊研究	4		4	} 1科目選択必修
声楽特殊研究	4		4	
器楽特殊研究	4		4	
音楽学研究	4		4	
音楽教育研究	4		4	
情報音楽研究	4		4	
音楽理論研究Ⅰ	2		2	
音楽理論研究Ⅱ	2		2	
音楽表現研究Ⅰ	2		2	
音楽表現研究Ⅱ	2		2	
音楽作品研究	2		2	
指揮研究	2		2	
C 関連領域部門				
芸術学特論	4	4		
リサーチ特殊研究Ⅰ	2		2	
リサーチ特殊研究Ⅱ	2		2	
造形特論	4		4	
映像特論	4		4	
映像構成特論	4		4	
映像音響特論	4		4	
放送史特論	4		4	
演劇史特論	4		4	
舞踊史特論	4		4	
民俗芸能特論	4		4	
日本美術史特論Ⅰ	2		2	
日本美術史特論Ⅱ	2		2	
西洋美術史特論Ⅰ	2		2	
西洋美術史特論Ⅱ	2		2	
文芸史特論	4		4	

哲 学 特 論	4		4		
音楽文献原典講読	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2		2		
連携理論研究Ⅱ	2		2		
連携表現研究Ⅰ	2		2		
連携表現研究Ⅱ	2		2		
学位論文・作品・制作					

V 舞台芸術専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A 理論・歴史部門				左記のうちから,分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。	
舞台芸術特論	4		4		
演劇史特論	4		4		
舞踊史特論	4		4		
民俗芸能特論	4		4		
古典劇特論	4		4		
応用演劇特論	4		4		
アート・マネジメント特論	4		4		
B 演習・実習部門					
舞台表現研究	4		4		
舞踊特殊研究	4		4		
戯曲特殊研究	4		4		
舞台演出特殊研究	4		4		
舞台美術特殊研究	4		4		
古典演劇特殊研究	4		4		
民俗芸能特殊研究	4		4		
応用演劇特殊研究	4		4		
C 関連領域部門				1科目選択必修	
芸術学特論	4	4			
リサーチ特殊研究Ⅰ	2		2		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2		2		
メディア論	4		4		

映像特論	4		4		
造形特論	4		4		
音楽芸術特論Ⅰ	4		4		
音楽芸術特論Ⅱ	4		4		
映画史特論	4		4		
放送史特論	4		4		
映像音響特論	4		4		
音楽心理学特論	4		4		
演劇文献原典講読	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2		2		
連携理論研究Ⅱ	2		2		
連携表現研究Ⅰ	2		2		
連携表現研究Ⅱ	2		2		
学位論文・作品・制作					

2 博士後期課程

I 芸術専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論・歴史研究領域				A理論・歴史研究領域から必修単位を含めて4単位以上、B表現研究領域から2単位以上及びC特定研究領域4単位の合計10単位以上を履修しなければならない。	
芸術学特殊研究	2	2			
映像理論特殊研究	2		2		
写真史特殊研究	2		2		
映画史特殊研究	2		2		
写真技術特殊研究	2		2		
映像技術特殊研究	2		2		
造形理論特殊研究	2		2		
美術史特殊研究	2		2		
デザイン史特殊研究	2		2		
文芸理論特殊研究	2		2		
文芸史特殊研究	2		2		
舞台芸術理論特殊研究	2		2		
演劇史特殊研究	2		2		

メディア・コミュニケーション特殊研究	2		2	
音楽理論特殊研究	2		2	
音楽史特殊研究	2		2	
芸術教育特殊研究	2		2	
B 表現研究領域				
映像表現特別研究	2		2	
造形表現特別研究	2		2	
文芸表現特別研究	2		2	
舞台表現特別研究	2		2	
音楽表現特別研究	2		2	
C 特定研究領域				
芸術研究特別演習	4	4		
学位論文				

第125条 国際関係研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

国際関係研究専攻

(1) 標準コース

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
国際関係分野				国際関係分野, 国際文化分野からそれぞれ4単位以上合計32単位以上を履修しなければならない。	
国際関係論関連					
国際関係研究A1	2		2		
国際関係研究A2	2		2		
国際関係研究B1	2		2		
国際関係研究B2	2		2		
国際関係研究C1	2		2		
国際関係研究C2	2		2		
安全保障研究1	2		2		
安全保障研究2	2		2		
戦略論研究1	2		2		
戦略論研究2	2		2		
地域研究A1	2		2		
地域研究A2	2		2		
地域研究B1	2		2		
地域研究B2	2		2		
地域研究C1	2		2		
地域研究C2	2		2		
国際関係法関連					
国際法研究A1	2		2		
国際法研究A2	2		2		
国際法研究B1	2		2		

国際法研究 B 2	2	2		
国際私法研究 1	2	2		
国際私法研究 2	2	2		
比較法研究 1	2	2		
比較法研究 2	2	2		
国際経済関連				
国際経済研究 A 1	2	2		
国際経済研究 A 2	2	2		
国際経済研究 B 1	2	2		
国際経済研究 B 2	2	2		
国際経済研究 C 1	2	2		
国際経済研究 C 2	2	2		
地域経済研究 A 1	2	2		
地域経済研究 A 2	2	2		
地域経済研究 B 1	2	2		
地域経済研究 B 2	2	2		
地域経済研究 C 1	2	2		
地域経済研究 C 2	2	2		
国際貿易研究 1	2	2		
国際貿易研究 2	2	2		
国際経営研究 A 1	2	2		
国際経営研究 A 2	2	2		
国際経営研究 B 1	2	2		
国際経営研究 B 2	2	2		
国際金融研究 1	2	2		
国際金融研究 2	2	2		
国際投資研究 1	2	2		

国際投資研究2	2	2		
地域産業振興研究1	2	2		
地域産業振興研究2	2	2		
国際環境・資源関連				
国際環境研究1	2	2		
国際環境研究2	2	2		
国際資源研究1	2	2		
国際資源研究2	2	2		
国際協力関連				
国際協力研究1	2	2		
国際協力研究2	2	2		
国際開発研究1	2	2		
国際開発研究2	2	2		
国際IT・情報関連				
情報管理研究1	2	2		
情報管理研究2	2	2		
国際IT戦略研究1	2	2		
国際IT戦略研究2	2	2		
国際文化分野				
地域文化関連				
地域文化研究A1	2	2		
地域文化研究A2	2	2		
地域文化研究B1	2	2		
地域文化研究B2	2	2		
地域文化研究C1	2	2		
地域文化研究C2	2	2		
地域文化研究D1	2	2		

地域文化研究 D 2	2	2		
地域文化研究 E 1	2	2		
地域文化研究 E 2	2	2		
地域文化研究 F 1	2	2		
地域文化研究 F 2	2	2		
地域文化研究 G 1	2	2		
地域文化研究 G 2	2	2		
地域文化研究 H 1	2	2		
地域文化研究 H 2	2	2		
比較文化関連				
比較文化研究 A 1	2	2		
比較文化研究 A 2	2	2		
比較文化研究 B 1	2	2		
比較文化研究 B 2	2	2		
比較文化研究 C 1	2	2		
比較文化研究 C 2	2	2		
比較文化研究 D 1	2	2		
比較文化研究 D 2	2	2		
比較文化研究 E 1	2	2		
比較文化研究 E 2	2	2		
比較文化研究 F 1	2	2		
比較文化研究 F 2	2	2		
国際表象文化関連				
国際表象文化研究A1	2	2		
国際表象文化研究A2	2	2		
国際表象文化研究B1	2	2		
国際表象文化研究B2	2	2		

国際表象文化研究C1	2		2		
国際表象文化研究C2	2		2		
比較社会関連					
比較社会研究A1	2		2		
比較社会研究A2	2		2		
比較社会研究B1	2		2		
比較社会研究B2	2		2		
比較社会研究C1	2		2		
比較社会研究C2	2		2		
比較社会研究D1	2		2		
比較社会研究D2	2		2		
比較社会研究E1	2		2		
比較社会研究E2	2		2		
翻訳学関連					
翻訳理論1	2		2		
翻訳理論2	2		2		
翻訳法1	2		2		
翻訳法2	2		2		
外国文献研究A1	2		2		
外国文献研究A2	2		2		
外国文献研究B1	2		2		
外国文献研究B2	2		2		
外国文献研究C1	2		2		
外国文献研究C2	2		2		
特別講座I	2		2		
特別講座II	2		2		
研究指導I	4	4			
研究指導II	4	4			

学 位 論 文					
---------	--	--	--	--	--

(2) 1年コース

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
国際関係分野				国際関係分野, 国際文化分野からそれぞれ4単位以上合計32単位以上を履修しなければならない。	
国際関係論関連					
国際関係研究A1	2		2		
国際関係研究A2	2		2		
国際関係研究B1	2		2		
国際関係研究B2	2		2		
国際関係研究C1	2		2		
国際関係研究C2	2		2		
安全保障研究1	2		2		
安全保障研究2	2		2		
戦略論研究1	2		2		
戦略論研究2	2		2		
地域研究A1	2		2		
地域研究A2	2		2		
地域研究B1	2		2		
地域研究B2	2		2		
地域研究C1	2		2		
地域研究C2	2		2		
国際関係法関連					
国際法研究A1	2		2		
国際法研究A2	2		2		
国際法研究B1	2		2		
国際法研究B2	2		2		
国際私法研究1	2		2		

国際私法研究 2	2	2		
比較法研究 1	2	2		
比較法研究 2	2	2		
国際経済関連				
国際経済研究 A 1	2	2		
国際経済研究 A 2	2	2		
国際経済研究 B 1	2	2		
国際経済研究 B 2	2	2		
国際経済研究 C 1	2	2		
国際経済研究 C 2	2	2		
地域経済研究 A 1	2	2		
地域経済研究 A 2	2	2		
地域経済研究 B 1	2	2		
地域経済研究 B 2	2	2		
地域経済研究 C 1	2	2		
地域経済研究 C 2	2	2		
国際貿易研究 1	2	2		
国際貿易研究 2	2	2		
国際経営研究 A 1	2	2		
国際経営研究 A 2	2	2		
国際経営研究 B 1	2	2		
国際経営研究 B 2	2	2		
国際金融研究 1	2	2		
国際金融研究 2	2	2		
国際投資研究 1	2	2		
国際投資研究 2	2	2		
地域産業振興研究 1	2	2		

地域産業振興研究2	2	2		
国際環境・資源関連				
国際環境研究1	2	2		
国際環境研究2	2	2		
国際資源研究1	2	2		
国際資源研究2	2	2		
国際協力関連				
国際協力研究1	2	2		
国際協力研究2	2	2		
国際開発研究1	2	2		
国際開発研究2	2	2		
国際IT・情報関連				
情報管理研究1	2	2		
情報管理研究2	2	2		
国際IT戦略研究1	2	2		
国際IT戦略研究2	2	2		
国際文化分野				
地域文化関連				
地域文化研究A1	2	2		
地域文化研究A2	2	2		
地域文化研究B1	2	2		
地域文化研究B2	2	2		
地域文化研究C1	2	2		
地域文化研究C2	2	2		
地域文化研究D1	2	2		
地域文化研究D2	2	2		
地域文化研究E1	2	2		

地域文化研究 E 2	2	2		
地域文化研究 F 1	2	2		
地域文化研究 F 2	2	2		
地域文化研究 G 1	2	2		
地域文化研究 G 2	2	2		
地域文化研究 H 1	2	2		
地域文化研究 H 2	2	2		
比較文化関連				
比較文化研究 A 1	2	2		
比較文化研究 A 2	2	2		
比較文化研究 B 1	2	2		
比較文化研究 B 2	2	2		
比較文化研究 C 1	2	2		
比較文化研究 C 2	2	2		
比較文化研究 D 1	2	2		
比較文化研究 D 2	2	2		
比較文化研究 E 1	2	2		
比較文化研究 E 2	2	2		
比較文化研究 F 1	2	2		
比較文化研究 F 2	2	2		
国際表象文化関連				
国際表象文化研究A1	2	2		
国際表象文化研究A2	2	2		
国際表象文化研究B1	2	2		
国際表象文化研究B2	2	2		
国際表象文化研究C1	2	2		
国際表象文化研究C2	2	2		

比較社会関連				
比較社会研究A1	2		2	
比較社会研究A2	2		2	
比較社会研究B1	2		2	
比較社会研究B2	2		2	
比較社会研究C1	2		2	
比較社会研究C2	2		2	
比較社会研究D1	2		2	
比較社会研究D2	2		2	
比較社会研究E1	2		2	
比較社会研究E2	2		2	
翻訳学関連				
翻訳理論1	2		2	
翻訳理論2	2		2	
翻訳法1	2		2	
翻訳法2	2		2	
外国文献研究A1	2		2	
外国文献研究A2	2		2	
外国文献研究B1	2		2	
外国文献研究B2	2		2	
外国文献研究C1	2		2	
外国文献研究C2	2		2	
特別講座I	2		2	
特別講座II	2		2	
研究指導I	4	4		
研究指導II	4	4		
学位論文				

国際関係研究専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
国際関係分野				国際関係分野, 国際文化分野からそれぞれ4単位以上合計12単位以上を履修し, 指導教授の特別指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを受けなければならない。	
国際関係特別研究	4		4		
国際政治特別研究	4		4		
地域統合特別研究	4		4		
国際経済特別研究	4		4		
日米経済特別研究	4		4		
国際貿易特別研究	4		4		
国際経営特別研究	4		4		
国際金融特別研究	4		4		
国際開発協力特別研究	4		4		
国際環境・資源特別研究	4		4		
国際文化分野					
日米関係史特別研究	4		4		
西洋文化特別研究	4		4		
東洋文化特別研究	4		4		
日英比較文化・文学特別研究	4		4		
日米比較文化・文学特別研究	4		4		
日独比較文化・文学特別研究	4		4		
日仏比較文化・文学特別研究	4		4		
日本比較文化・文学特別研究	4		4		
異文化コミュニケーション特別研究	4		4		
特別研究指導Ⅰ					
特別研究指導Ⅱ					
特別研究指導Ⅲ					
学 位 論 文					

第125条の2 危機管理学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 修士課程

危機管理学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
基盤科目				必修を含め、指導人材コースはコア科目から8単位以上及び発展科目から12単位以上、実務コースはコア科目から8単位以上及び発展科目から コンプライアンス実務特講 レピュテーションリスク実務特講 国際人道支援実務特講 地域防災連携実務特講 から6単位以上選択必修とし、12単位以上、 合計32単位以上を修得しなければならない。	
危機管理学方法論1(リスクリテラシー)	2	2			
危機管理学方法論2(比較研究・外書)	2	2			
アカデミック・ライティング&リサーチ	2	2			
研 究 倫 理	2	2			
リーガルマインド	2		2		
講義科目					
コア科目					
危機管理法制1(企業・取引)	2		2		
危機管理法制2(企業・組織)	2		2		
危機管理法制3(企業・経済)	2		2		
危機管理法制4(行政・国家)	2		2		
危機管理法制5(行政・地域)	2		2		
危機管理法制6(行政・国際)	2		2		
発展科目					
リスクコミュニケーション特講	2		2		
リスク・政策分析特講	2		2		
情報戦略特講	2		2		
防災・減災政策特講	2		2		
リスク心理特講	2		2		
企業リスクマネジメント特講	2		2		
リスクファイナンス法特講	2		2		
ロジスティクス法特講	2		2		
企業広報特講	2		2		
社会安全・治安維持特講	2		2		

犯罪・刑事司法特講	2		2		
テロリズム対策特講	2		2		
災害救援・官民協力特講	2		2		
コンプライアンス実務特講	2		2		
レピュテーションリスク実務特講	2		2		
国際人道支援実務特講	2		2		
地域防災連携実務特講	2		2		
統合演習科目					
危機管理学研究演習Ⅰ	1	1			
危機管理学研究演習Ⅱ	1	1			
危機管理学研究演習Ⅲ	1	1			
危機管理学研究演習Ⅳ	1	1			

第125条の3 スポーツ科学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 修士課程

スポーツ科学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
基本科目				必修を含め、合計30単位以上を修得しなければならない。	
スポーツ科学総論1	2	2			
スポーツ科学総論2	2	2			
スポーツ科学研究法	2	2			
専門科目					
スポーツ科学分野					
バイオメカニクス特論	2		2		
運動生理学特論	2		2		
スポーツ栄養学特論	2		2		
スポーツリハビリテーション特論	2		2		
スポーツ医学特論	2		2		
コーチング学特論	2		2		
トレーニング学特論	2		2		
スポーツ心理学特論	2		2		
スポーツ社会学特論	2		2		
関連分野					
スポーツ統計学特論	2		2		
スポーツ英語演習Ⅰ	2		2		
スポーツ英語演習Ⅱ	2		2		
スポーツマネジメント特論	2		2		
研究指導					
特 別 研 究 Ⅰ	4	4			
特 別 研 究 Ⅱ	4	4			

第126条 理工学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

I 土木工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
土木工学基礎特論	2	2		特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中、必修科目2単位、A群から2単位以上及びB群から8単位以上を含め14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
(A群)					
公共政策特論	2		2	} このうちから、2単位以上を修得しなければならない。	
設計事業特論	2		2		
建設事業特論	2		2		
(B群)					
計算力学演習Ⅰ	1		1	} このうちから、8単位以上を修得しなければならない。	
計算力学演習Ⅱ	1		1		
固体の有限要素法演習	1		1		
地震応答解析演習	1		1		
地震応答解析法	2		2		
耐震設計法	2		2		
固体の連続体力学と有限要素法	2		2		
コンクリート材料の特性	2		2		
土質力学特論	2		2		
土質動力学特論	2		2		
土木計画数理特論	2		2		
都市計画特論	2		2		
都市交通計画特論	2		2		
水理学・流体力学演習	1		1		
応用水理学演習	1		1		

基礎水理学特論	2	2	
水理学特論	2	2	
河川水理学特論	2	2	
海岸流体力学特論	2	2	
環境解析学特論	2	2	
環境反応学特論	2	2	
風工学特論	2	2	
構造同定と振動制御	2	2	
構造メンテナンス工学	2	2	
コンクリート構造の設計検証と維持管理	2	2	
構造デザイン論	2	2	
コンクリートの耐久性と維持管理マネジメント	2	2	
ジオシンセティックス材料	2	2	
地盤防災特論	2	2	
地盤工学特論	2	2	
土木地質学特論	2	2	
社会資本制度特論	2	2	
インフラ整備政策特論	2	2	
交通プロジェクト評価特論	2	2	
港湾・空港政策特論	2	2	
海岸・港湾工学特論	2	2	
環境技術・低炭素事業論	2	2	
水環境学特論	2	2	
空間情報工学特論	2	2	
土木工学特別演習	2	2	
土木構造学特別研究	6	6	
土質力学特別研究	6	6	
土木計画学特別研究	6	6	
河海工学特別研究	6	6	
環境工学特別研究	6	6	
土木材料特別研究	6	6	
学位論文			

このうちから、いずれか
6単位を修得しなければ
ならない。

Ⅱ 交通システム工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
				特別研究6単位を含めて30 単位以上を修得しなければ ならない。 ただし、特別研究以外の単 位中、各領域から必修科目 2単位を含め6単位以上、演 習1又は演習2のいずれか2 単位を修得しなければなら ない。	
(交通システム施設工学領域)					
エンジニアリング基礎特論	2	2		} 必修科目2単位を含め6 単位以上を修得しなけ ればならない。	
構 造 工 学 特 論	2		2		
交通地盤工学特論	2		2		
コンクリート工学特論	2		2		
交通施設メンテナンス工学特論	2		2		
エンジニアリングセンシング技術特論	2		2		
(交通システム計画・工学領域)					
インフラ整備政策特論	2		2	} 必修科目2単位を含め6 単位以上を修得しなけ ればならない。	
交通プロジェクト評価特論	2		2		
交通システム政策特論	2		2		
Transportation Systems Analysis and Planning	2		2		
交 通 流 理 論	2		2		
交通システム工学特論	2		2		
都市交通計画特論	2		2		
空間情報システム工学特論	2		2		
社 会 環 境 通 論	2		2		
交通環境工学特論	2		2		
データ処理プロファイリング特論	2		2		
交通システム計画・工学特論	2	2			
Academic Writing and Presentation for Engineers I	2		2		
Academic Writing and Presentation for Engineers II	2		2		
交通システム施設工学演習A	1		1		} 演習1
交通システム施設工学演習B	1		1		

交通システム計画・工学演習A	1		1	} 演習2	
交通システム計画・工学演習B	1		1		
交通システム施設工学特別研究	6		6	} このうちから,いずれか 6単位を修得しなければ ならない。	
交通システム計画・工学特別研究	6		6		
学 位 論 文					

Ⅲ 建築学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
建 築 設 計 特 論 I	2		2	特別研究6単位を含めて30 単位以上を修得しなければ ならない。 ただし,特別研究以外の単 位中14単位以上は左記の 授業科目から修得しなけれ ばならない。また,建築 学インターンシップにつ いては修了に必要な単位 数に算入しない。	
建 築 設 計 特 論 II	2		2		
建 築 設 計 特 論 III	2		2		
建 築 デ ザ イン	4		4		
建築学プロジェクト	4		4		
建 築 設 計 演 習	2		2		
建築設計ワークショップ	2		2		
建 築 計 画 特 論 I	2		2		
建 築 計 画 特 論 II	2		2		
建 築 計 画 特 論 III	2		2		
サステイナブルデザイン特論	2		2		
建 築 史 意 匠 特 論	2		2		
近代建築史特論	2		2		
建築保存修復学特論	2		2		
都 市 計 画 特 論	2		2		
都市居住環境特論	2		2		
都 市 再 生 特 論	2		2		
都市デザイン特論	2		2		
建築環境工学特論I	2		2		
建築環境工学特論II	2		2		
建築環境工学特論III	2		2		
建築環境工学特論IV	2		2		
建築設備計画演習	2		2		
建 築 構 造 特 論 I	2		2		
建 築 構 造 特 論 II	2		2		

建築構造特論Ⅲ	2		2		
建築構造特論Ⅳ	2		2		
建築材料特論Ⅰ	2		2		
建築材料特論Ⅱ	2		2		
建築基礎構造特論	2		2		
構造動力学特論Ⅰ	2		2		
構造動力学特論Ⅱ	2		2		
鉄筋コンクリート工学特論Ⅰ	2		2		
鉄筋コンクリート工学特論Ⅱ	2		2		
空間構造デザイン特論Ⅰ	2		2		
空間構造デザイン特論Ⅱ	2		2		
建築構造計画演習Ⅰ	2		2		
建築構造計画演習Ⅱ	2		2		
建築構造設計演習	2		2		
司法と建築	2		2		
建築学特別講義	2		2		
建築学インターンシップ	4		4		
建築学特別演習	4		4		
建築計画特別研究	6		6	このうちから、いずれか6単位を修得すること。	
建築設計特別研究	6		6		
環境工学特別研究	6		6		
建築構造学特別研究	6		6		
学位論文・制作					

IV 海洋建築工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(環境系科目群)					
海洋環境工学特論Ⅰ(海洋物理環境)	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。ただし、特別研究以外の単位中、必修科目2単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。また、海洋建築工学インターンシップⅠ・Ⅱ及び海洋工学特論Ⅰ～Ⅳについては修了に必要な単位数に算入しない。	
海洋環境工学特論Ⅱ(海洋化学生物環境)	2		2		
海洋環境マネジメント特論	2		2		
海洋システム工学特論	2		2		
海洋計測工学特論	2		2		
水波工学特論	2		2		

(計 画 系 科 目 群)				
海洋建築計画特論	2		2	
海洋建築デザイン特論	2		2	
海洋建築ユニバーサルデザイン特論	2		2	
ウォーターフロント計画特論	2		2	
親水環境計画特論	2		2	
港湾空間計画特論	2		2	
海洋空間利用計画特論	2		2	
沿岸防災計画特論	2		2	
(構 造 系 科 目 群)				
海洋建築構造工学特論Ⅰ(構造システム工学)	2		2	
海洋建築構造工学特論Ⅱ(地震リスク評価)	2		2	
耐震構造設計特論	2		2	
コンクリート構造工学特論	2		2	
応答制御構造設計特論	2		2	
地盤基礎工学特論	2		2	
浮体工学特論	2		2	
海洋構造物建設特論	2		2	
海洋構造物設計特論	2		2	
沿岸構造物設計特論	2		2	
(総 合 科 目 群)				
海洋建築工学特別講義Ⅰ	2		2	
海洋建築工学特別講義Ⅱ	2		2	
海洋建築技術者倫理	2		2	
海洋建築プロジェクトマネジメント	2		2	
計算工学特論Ⅰ	2		2	
計算工学特論Ⅱ	2		2	
海洋建築情報システム工学特論	2		2	
海洋工学特論Ⅰ	2		2	
海洋工学特論Ⅱ	2		2	
海洋工学特論Ⅲ	2		2	
海洋工学特論Ⅳ	2		2	
海洋建築工学インターンシップⅠ	3		3	

海洋建築工学インターンシップⅡ	3		3	このうちから、いずれか6単位を修得しなければならない。
海洋建築特別演習	2	2		
海洋環境工学特別研究	6		6	
海洋空間利用計画特別研究	6		6	
海洋建築構造工学特別研究	6		6	
海洋建築工学特別研究	6		6	
学位論文				

V まちづくり工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
まちづくり政策特論	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中、必修科目4単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
プロジェクトマネジメント特論	2		2		
都市デザイン特論	2		2		
市街地整備特論	2		2		
地域・都市経営特論	2		2		
環境心理学特論	2		2		
まちづくり特別講義	2		2		
環境まちづくり特論	2		2		
治水とまちづくり特論	2		2		
防災まちづくり特論	2		2		
景観まちづくり特論	2		2		
観光まちづくり特論	2		2		
景観・観光行政特論	2		2		
歴史まちづくり特論	2		2		
社会と福祉まちづくり特論	2		2		
健康・医療とまちづくり特論	2		2		
福祉と支援テクノロジー特論	2		2		
まちづくりプロジェクト演習	1		1		
インターンシップ	1		1		
まちづくり工学特別演習Ⅰ	2	2			
まちづくり工学特別演習Ⅱ	2	2			

都市・地域マネジメント工学特別研究	6		6	このうちから、いずれか6単位を修得しなければならない。	
環境・防災まちづくり工学特別研究	6		6		
景観・観光まちづくり工学特別研究	6		6		
健康・福祉まちづくり工学特別研究	6		6		
学位論文					

VI 機械工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
応用弾性学特論Ⅰ	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
応用弾性学特論Ⅱ	2		2		
弾 塑 性 学 Ⅰ	2		2		
弾 塑 性 学 Ⅱ	2		2		
塑性力学特論Ⅰ	2		2		
塑性力学特論Ⅱ	2		2		
機械力学特論	2		2		
振動工学特論Ⅰ	2		2		
振動工学特論Ⅱ	2		2		
生産工学特論Ⅰ	2		2		
生産工学特論Ⅱ	2		2		
塑性加工学特論Ⅰ	2		2		
塑性加工学特論Ⅱ	2		2		
工 作 法 特 論	2		2		
熱 工 学 特 論 Ⅰ	2		2		
熱 工 学 特 論 Ⅱ	2		2		
熱 工 学 特 論 Ⅲ	2		2		
熱 工 学 特 論 Ⅳ	2		2		
機械工学特別講義Ⅰ	2		2		
機械工学特別講義Ⅱ	2		2		
自動車工学特論Ⅰ	2		2		
自動車工学特論Ⅱ	2		2		
自動車工学特論Ⅲ	2		2		
流体工学特論Ⅰ	2		2		
流体工学特論Ⅱ	2		2		
流体工学特論Ⅲ	2		2		

静 肅 工 学 特 論	2		2			
数 値 流 体 力 学	2		2			
混 相 流 体 力 学	2		2			
制 御 工 学 特 論	2		2			
機 械 材 料 I	2		2			
機 械 材 料 II	2		2			
熱 機 関 特 論 I	2		2			
熱 機 関 特 論 II	2		2			
応 用 数 学 I	2		2			
応 用 数 学 II	2		2			
エンジニアリング・プレゼンテーション・スキルI	2		2			
エンジニアリング・プレゼンテーション・スキルII	2		2			
機 械 工 学 演 習	2		2			
弾 塑 性 学 特 別 研 究	6		6	このうちから、いずれか6単位を修得すること。		
熱 工 学 特 別 研 究	6		6			
流 体 工 学 特 別 研 究	6		6			
工 作 法 特 別 研 究	6		6			
熱 機 関 特 別 研 究	6		6			
自 動 車 工 学 特 別 研 究	6		6			
機 械 力 学 特 別 研 究	6		6			
金 属 材 料 特 別 研 究	6		6			
学 位 論 文						

Ⅶ 精密機械工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
精 密 計 測 特 論 I	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
精 密 計 測 特 論 II	2		2		
制 御 工 学 特 論	2		2		
シ ス テ ム 工 学 特 論 I	2		2		
シ ス テ ム 工 学 特 論 II	2		2		
ロ ボ ッ ト 制 御 工 学 特 論 I	2		2		
ロ ボ ッ ト 制 御 工 学 特 論 II	2		2		
ロ ボ ッ ト シ ス テ ム 特 論 I	2		2		
ロ ボ ッ ト シ ス テ ム 特 論 II	2		2		

人間工学特論 I	2	2	
人間工学特論 II	2	2	
エネルギー変換工学特論 I	2	2	
エネルギー変換工学特論 II	2	2	
薄板構造力学特論	2	2	
材料加工学特論 I	2	2	
材料加工学特論 II	2	2	
微小機械設計特論 I	2	2	
微小機械設計特論 II	2	2	
マイクロシステム特論 I	2	2	
マイクロシステム特論 II	2	2	
半導体集積回路特論 I	2	2	
半導体集積回路特論 II	2	2	
物質工学特論 I	2	2	
物質工学特論 II	2	2	
安全設計工学特論	2	2	
情報素子特論	2	2	
音波工学特論	2	2	
応用数学 I	2	2	
応用数学 II	2	2	
有限要素法	2	2	
精密機械工学特別講義	2	2	
計測工学特別研究	6	6	このうちから、いずれか6単位を修得しなければならない。
制御工学特別研究	6	6	
人間工学特別研究	6	6	
熱流体工学特別研究	6	6	
機械加工学特別研究	6	6	
微小機械設計特別研究	6	6	
マイクロシステム特別研究	6	6	
電子・機能性材料特別研究	6	6	
精密工学特別研究	6	6	
学位論文			

Ⅷ 航空宇宙工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
応 用 数 学 I	2		2	特別研究6単位を含めて30 単位以上を修得しなければ ならない。 ただし、特別研究以外の単 位中14単位以上は左記の 授業科目から修得しなけ ればならない。	
応 用 数 学 II	2		2		
流 体 力 学 特 論 I	2		2		
流 体 力 学 特 論 II	2		2		
流 体 力 学 特 論 III	2		2		
流 体 力 学 特 論 IV	2		2		
流 体 力 学 特 論 V	2		2		
宇 宙 推 進 シ ス テ ム	2		2		
最 適 化 手 法 I	2		2		
最 適 化 手 法 II	2		2		
応 用 流 体 力 学 特 論 I	2		2		
応 用 流 体 力 学 特 論 II	2		2		
応 用 流 体 力 学 特 論 III	2		2		
航 空 宇 宙 推 進 工 学 特 論 I	2		2		
航 空 宇 宙 推 進 工 学 特 論 II	2		2		
航 空 宇 宙 推 進 工 学 特 論 III	2		2		
安 全 工 学 特 論	2		2		
宇 宙 機 力 学 特 論	2		2		
航 空 宇 宙 制 御 論 I	2		2		
航 空 宇 宙 制 御 論 II	2		2		
航 空 宇 宙 制 御 論 III	2		2		
航 空 原 動 機	2		2		
飛 行 力 学 特 論	2		2		
柔 軟 構 造 解 析	2		2		
シ ス テ ム 工 学 特 論	2		2		
破 壊 力 学	2		2		
極 限 環 境 材 料 学	2		2		
宇 宙 機 シ ス テ ム 工 学	2		2		
航 空 宇 宙 材 料 工 学 特 論	2		2		
航 空 宇 宙 材 料 強 度 学	2		2		

宇宙航行力学	2		2	このうちから、いずれか6単位を修得しなければならない。
宇宙科学	2		2	
宇宙環境工学	2		2	
航空宇宙工学特別研究	6		6	
流体工学特別研究	6		6	
制御工学特別研究	6		6	
熱工学特別研究	6		6	
構造工学特別研究	6		6	
学位論文				

Ⅸ 電気工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電気機器特論	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
パワーエレクトロニクス特論	2		2		
制御工学特論	2		2		
現代制御特論	2		2		
エネルギー工学特論	2		2		
電力システム	2		2		
エネルギー環境工学特論	2		2		
列車制御特論	2		2		
電子デバイス特論	2		2		
機能デバイス特論	2		2		
メディカルエレクトロニクス	2		2		
計測工学特論	2		2		
画像処理特論	2		2		
電子回路CAD特論	2		2		
コンピュータグラフィックス	2		2		
回路とシステム特論	2		2		
信号処理特論	2		2		
情報工学特論	2		2		
電磁理論特論	2		2		
電磁波工学特論	2		2		
光エレクトロニクス特論	2		2		

光センシング特論	2		2		
量子エレクトロニクス	2		2		
音響工学特論	2		2		
超音波工学特論	2		2		
物性科学特論	2		2		
応用物性工学特論	2		2		
量子デバイス工学特論	2		2		
超伝導特論	2		2		
レーザー工学特論	2		2		
放電プラズマ工学特論	2		2		
先端科学技術特論	2		2		
電気工学特別講義	2		2		
エネルギー・制御特別研究	6		6	このうちから、いずれか 6単位を修得しなければ ならない。	
通信・情報・音響特別研究	6		6		
材料・エレクトロニクス特別研究	6		6		
学位論文					

X 電子工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電気・電子回路特論	2		2	特別研究6単位を含めて30 単位以上を修得しなければ ならない。 ただし、特別研究以外の単 位中14単位以上は左記の 授業科目から修得しなけ ればならない。	
符号理論特論	2		2		
パターン認識特論	2		2		
オートマトン論	2		2		
電子計測工学特論	2		2		
制御基礎論	2		2		
制御工学特論	2		2		
電磁波工学特論	2		2		
宇宙通信システム工学	2		2		
マイクロ波素子	2		2		
磁気工学特論	2		2		
磁気物性工学特論	2		2		
電子材料特論Ⅰ	2		2		
電子材料特論Ⅱ	2		2		

半導体集積回路Ⅰ	2		2		
半導体集積回路Ⅱ	2		2		
量子エレクトロニクス	2		2		
光システム	2		2		
情報通信システム特論	2		2		
画像工学特論	2		2		
通信理論特論	2		2		
通信制御特論	2		2		
システム工学特論	2		2		
電子システム工学	2		2		
信頼性工学	2		2		
メディカルエレクトロニクス	2		2		
音波工学特論	2		2		
光工学特論	2		2		
情報ネットワーク特論	2		2		
コンピュータシステム特論	2		2		
情報・記憶素子特論	2		2		
電子物理計測・分析	2		2		
回路・制御工学特別研究	6		6	} このうちから、いずれか 6単位を修得しなければ ならない。	
電子材料・デバイス工学特別研究	6		6		
情報工学特別研究	6		6		
通信・光工学特別研究	6		6		
学位論文					

X I 情報科学専攻

授業科目	単位数	必修 単位数	選択 単位数	履修方法	備考
情報論	2		2	特別研究6単位を含めて30 単位以上を修得しなければ ならない。 ただし、特別研究以外の単 位中14単位以上は左記の 授業科目から修得しなけ ればならない。	
数値解析特論	2		2		
シミュレーション特論	2		2		
オートマトン論	2		2		
システム工学特論	2		2		

符号理論特論	2	2	
言語理論	2	2	
データベース	2	2	
画像工学特論	2	2	
パターン認識特論	2	2	
人工知能 I	2	2	
人工知能 II	2	2	
人工心システム特論 I	2	2	
人工心システム特論 II	2	2	
組込システム特論	2	2	
情報・記憶素子特論	2	2	
光工学特論	2	2	
コンピュータシステム特論	2	2	
ソフトウェア工学特論	2	2	
情報通信システム特論	2	2	
情報ネットワーク特論	2	2	
情報メディア論	2	2	
コンピュータグラフィックス	2	2	
メディカルエレクトロニクス	2	2	
生体情報科学	2	2	
マン・マシンシステム	2	2	
交通情報応用工学	2	2	
情報科学特別講義	2	2	
情報処理・ソフトウェア工学特別研究	6	6	このうちから,いずれか 6単位を修得しなければ ならない。
組込みシステム・システム工学特別研究	6	6	
情報メディア・ネットワーク特別研究	6	6	
知能・情報システム特別研究	6	6	
学位論文			

X II 物質応用化学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考	
(物 質 化 学 領 域)				特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中、必修科目6単位、各領域から4単位以上合計12単位以上、応用化学特別講義Ⅱ～Ⅳのうちから2単位以上、修得しなければならない。 このうちから、4単位以上を修得しなければならない。		
無機化学特論Ⅰ	2		2			
無機化学特論Ⅱ	2		2			
物理化学特論Ⅰ	2		2			
物理化学特論Ⅱ	2		2			
有機機能材料特論	2		2			
有機物質化学特論	2		2			
有機合成化学特論	2		2			
(応 用 化 学 領 域)					このうちから、4単位以上を修得しなければならない。	
無機材料化学特論	2		2			
分析化学特論Ⅰ	2		2			
分析化学特論Ⅱ	2		2			
資源環境工学特論	2		2			
エネルギー資源化学特論	2		2			
化学工学特論Ⅰ	2		2			
化学工学特論Ⅱ	2		2			
化学工学特論Ⅲ	2		2			
高分子合成化学特論	2		2			
高分子構造特論	2		2			
高分子物性特論	2		2			
環境化学特論	2		2			
(生 命 化 学 領 域)				このうちから、4単位以上を修得しなければならない。		
生化学特論	2		2			
有機応用化学特論	2		2			
資源天然物化学特論	2		2			
微生物生理学	2		2			
生体高分子特論	2		2			
細胞生物学特論	2		2			

応用化学特別講義Ⅰ	2	2		このうちから、2単位以上を修得しなければならない。
応用化学特別講義Ⅱ	2		2	
応用化学特別講義Ⅲ	2		2	
応用化学特別講義Ⅳ	2		2	
応用化学特別演習Ⅰ	2	2		このうちから、いずれか6単位を修得しなければならない。
応用化学特別演習Ⅱ	2	2		
物質化学特別研究	6		6	
応用化学特別研究	6		6	
生命化学特別研究	6		6	
学位論文				

XⅢ 物理学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
素粒子物理学Ⅰ	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中、必修科目4単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
素粒子物理学Ⅱ	2		2		
量子力学特論Ⅰ	2		2		
量子力学特論Ⅱ	2		2		
一般相対論Ⅰ	2		2		
一般相対論Ⅱ	2		2		
原子核物理学Ⅰ	2		2		
原子核物理学Ⅱ	2		2		
原子核反応論特論Ⅰ	2		2		
原子核反応論特論Ⅱ	2		2		
統計物理学特論Ⅰ	2		2		
統計物理学特論Ⅱ	2		2		
多体問題特論Ⅰ	2		2		
多体問題特論Ⅱ	2		2		
物性物理学特論Ⅰ	2		2		
物性物理学特論Ⅱ	2		2		
超伝導特論Ⅰ	2		2		
超伝導特論Ⅱ	2		2		

低温物理学特論	2		2		
プラズマ物理学特論 I	2		2		
プラズマ物理学特論 II	2		2		
高温プラズマ加熱特論 I	2		2		
高温プラズマ加熱特論 II	2		2		
量子物理学	2		2		
電磁力学	2		2		
統計力学	2		2		
固体電子論 I	2		2		
固体電子論 II	2		2		
科学史特論 I	2		2		
科学史特論 II	2		2		
場の理論特論 I	2		2		
場の理論特論 II	2		2		
非線形物理学	2		2		
宇宙物理学特論 I	2		2		
宇宙物理学特論 II	2		2		
天体物理学特論 I	2		2		
天体物理学特論 II	2		2		
高エネルギー宇宙物理学特論 I	2		2		
高エネルギー宇宙物理学特論 II	2		2		
磁気流体力学 I	2		2		
磁気流体力学 II	2		2		
数理情報学特論	2		2		
生物物理学特論 I	2		2		
生物物理学特論 II	2		2		
量子ビーム科学特論 I	2		2		
量子ビーム科学特論 II	2		2		
物理学講究 I	2	2			
物理学講究 II	2	2			

場の理論特別研究	6		6	このうちから、いずれか6単位を修得しなければならない。
量子ビーム科学特別研究	6		6	
物性物理学理論特別研究	6		6	
プラズマ物理学特別研究	6		6	
物性物理学実験特別研究	6		6	
生物物理学特別研究	6		6	
科学史特別研究	6		6	
宇宙物理学特別研究	6		6	
数理情報学特別研究	6		6	
学位論文				

XIV 数学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
解析学特論 I A	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中、必修科目4単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
解析学特論 I B	2		2		
解析学特論 II A	2		2		
解析学特論 II B	2		2		
解析学特論 III A	2		2		
解析学特論 III B	2		2		
幾何学特論 I A	2		2		
幾何学特論 I B	2		2		
幾何学特論 II A	2		2		
幾何学特論 II B	2		2		
代数学特論 I A	2		2		
代数学特論 I B	2		2		
代数学特論 II A	2		2		
代数学特論 II B	2		2		
応用数学特論 I A	2		2		
応用数学特論 I B	2		2		
応用数学特論 II A	2		2		
応用数学特論 II B	2		2		
応用数学特論 III A	2		2		

応用数学特論ⅢB	2		2		
確率及び統計学特論A	2		2		
確率及び統計学特論B	2		2		
応用解析学特論A	2		2		
応用解析学特論B	2		2		
計算数学特論A	2		2		
計算数学特論B	2		2		
数学特別演習A	2	2			
数学特別演習B	2	2			
応用数学特別研究	6		6	このうちから、いずれか6単位を修得しなければならない。	
幾何学特別研究	6		6		
解析学特別研究	6		6		
代数学特別研究	6		6		
学位論文					

XV 地理学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自然地理学特論Ⅰ	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中、調査法1又は調査法2のいずれか4単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
自然地理学特論Ⅱ	2		2		
自然環境変遷学特論Ⅰ	2		2		
自然環境変遷学特論Ⅱ	2		2		
人文地理学特論Ⅰ	2		2		
人文地理学特論Ⅱ	2		2		
歴史地理学特論Ⅰ	2		2		
歴史地理学特論Ⅱ	2		2		
経済地理学特論Ⅰ	2		2		
経済地理学特論Ⅱ	2		2		
産業地理学特論Ⅰ	2		2		
産業地理学特論Ⅱ	2		2		
自然災害科学特論Ⅰ	2		2		
自然災害科学特論Ⅱ	2		2		
社会地理学特論Ⅰ	2		2		
社会地理学特論Ⅱ	2		2		
文化地理学特論Ⅰ	2		2		

文化地理学特論Ⅱ	2	2	
観光地理学特論Ⅰ	2	2	
観光地理学特論Ⅱ	2	2	
地域景観特論Ⅰ	2	2	
地域景観特論Ⅱ	2	2	
地誌学特論Ⅰ	2	2	
地誌学特論Ⅱ	2	2	
比較地域特論Ⅰ	2	2	
比較地域特論Ⅱ	2	2	
地理情報科学特論Ⅰ	2	2	
地理情報科学特論Ⅱ	2	2	
地理情報技術特論Ⅰ	2	2	
地理情報技術特論Ⅱ	2	2	
環境地理学特論Ⅰ	2	2	
環境地理学特論Ⅱ	2	2	
環境情報科学特論Ⅰ	2	2	
環境情報科学特論Ⅱ	2	2	
気候環境学特論Ⅰ	2	2	
気候環境学特論Ⅱ	2	2	
地球科学特論Ⅰ	2	2	
地球科学特論Ⅱ	2	2	
プロセス地形学特論Ⅰ	2	2	
プロセス地形学特論Ⅱ	2	2	
人文地理学特別講義	2	2	
自然地理学特別講義	2	2	
地理情報科学特別講義	2	2	
人文地理学調査法Ⅰ	2	2	} 調査法1
人文地理学調査法Ⅱ	2	2	
自然地理学調査法Ⅰ	2	2	} 調査法2
自然地理学調査法Ⅱ	2	2	
自然地理学特別研究	6	6	} このうちから,いずれか 6単位を修得しなければ ならない。
人文地理学特別研究	6	6	
地理情報科学特別研究	6	6	

学 位 論 文					
---------	--	--	--	--	--

XVI 量子理工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
量 子 力 学 I	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし、特別研究以外の単位中、必修科目4単位及び先端科学技術特論・量子科学フロンティアのいずれか2単位を含め14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
量 子 力 学 II	2		2		
統 計 物 理 学 I	2		2		
統 計 物 理 学 II	2		2		
力 学 特 論	2		2		
電 磁 気 学 特 論	2		2		
計 測 工 学 特 論	2		2		
量 子 力 学 特 論 I	2		2		
量 子 力 学 特 論 II	2		2		
素 粒 子 物 理 学 I	2		2		
素 粒 子 物 理 学 II	2		2		
場 の 理 論 特 論 I	2		2		
場 の 理 論 特 論 II	2		2		
加 速 器 科 学 I	2		2		
加 速 器 科 学 II	2		2		
放 射 線 科 学	2		2		
マ イ ク ロ 波 物 理 学	2		2		
X 線 光 学	2		2		
核 融 合 特 論	2		2		
原 子 力 エ ネ ル ギ ー 工 学	2		2		
プ ラ ズ マ 科 学	2		2		
原 子 光 学 特 論	2		2		
量 子 情 報 科 学	2		2		
量 子 光 学	2		2		
光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	2		2		
非 線 形 物 理 学	2		2		
計 算 機 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン I	2		2		
計 算 機 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン II	2		2		

先端科学技術特論	2		2	} このうちから、2単位以上を修得しなければならない。
量子科学フロンティア	2		2	
量子理工学講究Ⅰ	2	2		} このうちから、いずれか6単位を修得しなければならない。
量子理工学講究Ⅱ	2	2		
加速器・放射線科学特別研究	6		6	
プラズマ・核融合科学特別研究	6		6	
素粒子論・量子論特別研究	6		6	
量子物性科学特別研究	6		6	
非線型数値シミュレーション特別研究	6		6	
学位論文				

2 博士後期課程

I 土木工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
土木工学特別講義	2	2		} 必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
土木構造学特別研究	8		8		
土質力学特別研究	8		8	} このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
土木計画学特別研究	8		8		
河海工学特別研究	8		8		
環境工学特別研究	8		8		
土木材料特別研究	8		8		
学位論文					

II 交通システム工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
交通システム工学特別講義	2	2		} 必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
交通システム施設工学特別研究	8		8		
交通システム計画・工学特別研究	8		8	} このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
学位論文					

Ⅲ 建築学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
建 築 学 特 別 講 義	2	2		必修科目2単位及び特別 研究8単位を修得しな ければならない。 } このうちから、いずれか 8単位を修得しなけれ ばならない。	
建 築 計 画 特 別 研 究	8		8		
環 境 工 学 特 別 研 究	8		8		
建 築 構 造 学 特 別 研 究	8		8		
学 位 論 文					

Ⅳ 海洋建築工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
海 洋 建 築 工 学 特 別 講 義	2	2		必修科目2単位及び特別 研究8単位を修得しな ければならない。 } このうちから、いずれか 8単位を修得しなけれ ばならない。	
海 洋 環 境 工 学 特 別 研 究	8		8		
海 洋 空 間 利 用 計 画 特 別 研 究	8		8		
海 洋 建 築 構 造 工 学 特 別 研 究	8		8		
海 洋 建 築 工 学 特 別 研 究	8		8		
学 位 論 文					

Ⅴ まちづくり工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
ま ち づ くり 工 学 特 別 講 義	2	2		必修科目2単位及び特別 研究8単位を修得しな ければならない。 } このうちから、いずれか 8単位を修得しなけれ ばならない。	
都 市 ・ 地 域 マ ネ ジ メ ン ト 工 学 特 別 研 究	8		8		
環 境 ・ 防 災 ま ち づ くり 工 学 特 別 研 究	8		8		
景 観 ・ 観 光 ま ち づ くり 工 学 特 別 研 究	8		8		
健 康 ・ 福 祉 ま ち づ くり 工 学 特 別 研 究	8		8		
学 位 論 文					

Ⅵ 機械工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考

機械工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。 このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
弾塑性学特別研究	8		8		
熱工学特別研究	8		8		
流体工学特別研究	8		8		
工作法特別研究	8		8		
熱機関特別研究	8		8		
自動車工学特別研究	8		8		
機械力学特別研究	8		8		
金属材料特別研究	8		8		
学位論文					

VII 精密機械工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
精密機械工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。 このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
計測工学特別研究	8		8		
制御工学特別研究	8		8		
人間工学特別研究	8		8		
熱流体工学特別研究	8		8		
機械加工学特別研究	8		8		
微小機械設計特別研究	8		8		
マイクロシステム特別研究	8		8		
電子・機能性材料特別研究	8		8		
精密工学特別研究	8		8		
学位論文					

VIII 航空宇宙工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
航空宇宙工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	

航空宇宙工学特別研究	8		8	このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
流体工学特別研究	8		8		
制御工学特別研究	8		8		
熱工学特別研究	8		8		
構造工学特別研究	8		8		
学位論文					

IX 電気工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電気工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
エネルギー・制御特別研究	8		8	このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
通信・情報・音響特別研究	8		8		
材料・エレクトロニクス特別研究	8		8		
学位論文					

X 電子工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電子工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
回路・制御工学特別研究	8		8	このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
電子材料・デバイス工学特別研究	8		8		
情報工学特別研究	8		8		
通信・光工学特別研究	8		8		
学位論文					

XI 情報科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
情報科学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
情報処理・ソフトウェア工学特別研究	8		8	このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
組込みシステム・システム工学特別研究	8		8		
情報メディア・ネットワーク特別研究	8		8		
知能・情報システム特別研究	8		8		
学位論文					

学 位 論 文					
---------	--	--	--	--	--

X II 物質応用化学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
物質応用化学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。 このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
物質化学特別研究	8		8		
応用化学特別研究	8		8		
生命化学特別研究	8		8		
学 位 論 文					

X III 物理学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
物理学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。 このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
場の理論特別研究	8		8		
量子ビーム科学特別研究	8		8		
物性物理学理論特別研究	8		8		
プラズマ物理学特別研究	8		8		
物性物理学実験特別研究	8		8		
生物物理学特別研究	8		8		
科学史特別研究	8		8		
宇宙物理学特別研究	8		8		
数理情報学特別研究	8		8		
学 位 論 文					

X IV 数学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
数学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。 このうちから、いずれか8単位を修得しなければならない。	
応用数学特別研究	8		8		
幾何学特別研究	8		8		
解析学特別研究	8		8		
代数学特別研究	8		8		

学 位 論 文					
---------	--	--	--	--	--

X V 地理学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
地 理 学 特 別 講 義	2	2		必修科目2単位及び特別 研究8単位を修得しなけ ればならない。 } このうちから、いずれか 8単位を修得しなければ ならない。	
自然地理学特別研究	8		8		
人文地理学特別研究	8		8		
地理情報科学特別研究	8		8		
学 位 論 文					

X VI 量子理工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
量子理工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別 研究8単位を修得しなけ ればならない。 } このうちから、いずれか 8単位を修得しなければ ならない。	
加速器・放射線科学特別研究	8		8		
プラズマ・核融合科学特別研究	8		8		
素粒子論・量子論特別研究	8		8		
量子物性科学特別研究	8		8		
非線型数値シミュレーション特別研究	8		8		
学 位 論 文					

第127条 生産工学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

履修方法に基づき、33単位以上を修得しなければならない。

I 生産工学系科目（各専攻共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
横 断 科 目				必修単位数 5 単位以上, 選択単位数は, 横断科目から 6 単位以上, 計13単位以上修得しなければならない。	
電磁気・モーター技術特講	2		2		
インフラメンテナンス特講	2		2		
地球環境特講	2		2		
医療工学特講	2		2		
データサイエンス特講	2		2		
産業社会論特講	2		2		
生産技術マネジメント特講	2		2		
リスクマネジメント特講	2		2		
エネルギーマネジメント特講	2		2		
基 盤 科 目					
技術者英語特講	1	1			
応用数理特講	2		2		
応用物理学特講	2		2		
物性化学特講	2		2		
実 習 科 目					
生産工学特別演習Ⅰ	2	2			
生産工学特別演習Ⅱ	2	2			
生産工学特別実習	2		2		

II 機械工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
応 用 数 学 Ⅰ	2		2	必修単位数 6 単位以上, 選択単位数14単位以上, 計20単位以上修得しなければならない。上記単位数に, 他専攻の専攻科目を 6 単位まで算入することができる。	
応 用 数 学 Ⅱ	2		2		
機械力学特講Ⅰ	2		2		
機械力学特講Ⅱ	2		2		

構造力学特講	2		2		
弾性学特講Ⅰ	2		2		
弾性学特講Ⅱ	2		2		
計算力学特講	2		2		
熱力学特講Ⅰ	2		2		
熱力学特講Ⅱ	2		2		
伝熱工学特講	2		2		
流体工学特講Ⅰ	2		2		
流体工学特講Ⅱ	2		2		
機械材料学特講	2		2		
機械加工学特講	2		2		
材料加工学特講	2		2		
制御工学特講Ⅰ	2		2		
制御工学特講Ⅱ	2		2		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
機械工学特別研究Ⅰ	3	3			
機械工学特別研究Ⅱ	3	3			
学位論文					

Ⅲ 電気電子工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電気電子数学特講	2		2	必修単位数6単位以上， 選択単位数14単位以上， 計20単位以上修得しなければならぬ。上記単位数に，他専攻の専攻科目を6単位まで算入することができる。	
電磁場論特講	2		2		
回路網理論特講	2		2		
電子回路特講	2		2		
磁気物性工学特講	2		2		
ナノ半導体デバイス特講	2		2		
エネルギー変換特講	2		2		
制御工学特講	2		2		
電気音響工学特講	2		2		
非破壊検査工学特講	2		2		
照明工学特講	2		2		

光電子工学特講	2		2		
電磁波工学特講	2		2		
ワイヤレス通信工学特講	2		2		
システム工学特講	2		2		
ロボット工学特講	2		2		
人工知能特講	2		2		
イメージ工学特講	2		2		
超音波工学特講	2		2		
車両駆動エレクトロニクス特講	2		2		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
電気電子工学特別研究Ⅰ	3	3			
電気電子工学特別研究Ⅱ	3	3			
学位論文					

IV 土木工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
構造力学特講	2		2	必修単位数6単位以上， 選択単位数14単位以上， 計20単位以上修得しなければならぬ。上記単位数に，他専攻の専攻科目を6単位まで算入することができる。	
構造工学特講	2		2		
耐震工学特講	2		2		
水理学特講	2		2		
水工学特講	2		2		
環境マネジメント工学特講	2		2		
土質力学特講	2		2		
地盤工学特講	2		2		
道路工学特講	2		2		
コンクリート工学特講	2		2		
鉄筋コンクリート工学特講	2		2		
資源システム工学	2		2		
土木システム計画学	2		2		
建設マネジメント	2		2		
地域社会論	2		2		
国土情報工学特講	2		2		

横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
土木工学特別研究Ⅰ	3	3			
土木工学特別研究Ⅱ	3	3			
学位論文					

V 建築工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
建 築 史 特 講	2		2	必修単位数6単位以上， 選択単位数14単位以上， 計20単位以上修得しなければならぬ。上記単位数に，他専攻の専攻科目を6単位まで算入することができる。ただし，インターンシップⅠ～Ⅱについては，修了に必要な単位数に算入しない。	
建築構造学特講Ⅰ	2		2		
建築構造学特講Ⅱ	2		2		
建築構造学特講Ⅲ	2		2		
建築構造学特講Ⅳ	2		2		
建築材料学特講	2		2		
建築施工特講	2		2		
建築計画特講	2		2		
都市地域空間計画特講	2		2		
建築デザイン特講	2		2		
建築環境工学特講	2		2		
建築設備特講	2		2		
建築マネジメント特講	2		2		
大学院スタジオ演習Ⅰ	2		2		
大学院スタジオ演習Ⅱ	2		2		
大学院スタジオ演習Ⅲ	2		2		
大学院スタジオ演習Ⅳ	2		2		
インターンシップⅠ	4		4		
インターンシップⅡ	4		4		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
建築工学特別研究Ⅰ	3	3			
建築工学特別研究Ⅱ	3	3			
学位論文・制作					

VI 応用分子化学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
無機材料物性学	2		2	必修単位数6単位以上, 選択単位数14単位以上, 計20単位以上修得しな ければならない。上記単位数 に,他専攻の専攻科目を6 単位まで算入することが できる。	
高分子工学特講	2		2		
機能性無機材料	2		2		
高分子材料化学特講	2		2		
分析化学特講	2		2		
資源利用化学	2		2		
有機反応論	2		2		
応用分子化学特講Ⅰ	2		2		
応用分子化学特講Ⅱ	2		2		
光機能性物質化学	2		2		
流体熱力学物性	2		2		
分子生物化学	2		2		
遺伝子工学	2		2		
微生物生産工学	2		2		
生体機能化学	2		2		
高分子物性特講	2		2		
分離システム工学	2		2		
化学安全工学	2		2		
有機金属化学	2		2		
有機元素化学	2		2		
化学プラント工学	2		2		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
応用分子化学特別研究Ⅰ	3	3			
応用分子化学特別研究Ⅱ	3	3			
学 位 論 文					

Ⅶ マネジメント工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
販売流通管理特講	2		2	必修単位数6単位以上, 選択単位数14単位以上, 計20単位以上修得しなけ	
情報システム論特講	2		2		

組織行動論特講	2		2	ればならない。上記単位数に、他専攻の専攻科目を6単位まで算入することができる。
情報工学特講	2		2	
U X 特講	2		2	
開発・生産・流通システム特講	2		2	
生産管理特講	2		2	
品質管理特講	2		2	
品質工学特講	2		2	
人間工学特講	2		2	
安全人間工学特講	2		2	
戦略・マーケティング工学特講	2		2	
感性工学特講	2		2	
デザインエンジニアリング特講	2		2	
環境マネジメントシステム特講	2		2	
人間・機械システム特講	2		2	
ビジネスシミュレーション特講	2		2	
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1	
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1	
マネジメント工学特別研究Ⅰ	3	3		
マネジメント工学特別研究Ⅱ	3	3		
学位論文				

VIII 数理情報工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
応用数学特講	2		2	必修単位数6単位以上、 選択単位数14単位以上、 計20単位以上修得しなければ ならない。上記単位数に、 他専攻の専攻科目を6 単位まで算入することができる。	
メディアデザイン工学特講	2		2		
数値解析特講	2		2		
数理計画法特講	2		2		
固体力学特講	2		2		
流体力学特講	2		2		
計算力学特講	2		2		
数値計算法特講	2		2		

ダイナミックシステム特講	2		2	
応用代数学特講	2		2	
統計解析特講	2		2	
振動学特講	2		2	
非線形振動学特講	2		2	
情報理論特講	2		2	
情報数学特講	2		2	
情報論理特講	2		2	
インタラクティブシステム特講	2		2	
メディアシステム工学特講	2		2	
複雑知能システム特講	2		2	
アルゴリズム特講	2		2	
インタラクションデザイン特講	2		2	
セマンティック・ウェブ特講	2		2	
画像解析特講	2		2	
情報ネットワーク特講	2		2	
知能工学特講	2		2	
情報セキュリティ特講	2		2	
アルゴリズムックデザイン特講	2		2	
人間・空間センシング特講	2		2	
機械学習特講	2		2	
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1	
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1	
数理情報工学特別研究Ⅰ	3	3		
数理情報工学特別研究Ⅱ	3	3		
学位論文				

2 博士後期課程

履修方法に基づき、2単位以上を修得しなければならない。

I 機械工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
機械工学特別特講 弾性学特別研究 機械力学特別研究 熱・流体工学特別研究 生産加工学特別研究 学 位 論 文	2	2		必修単位数2単位修得しなければならない。 弾性学特別研究 機械力学特別研究 熱・流体工学特別研究 生産加工学特別研究 のうち、いずれかの研究指導を受けなければならない。	

II 電気電子工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
電気電子工学特別講義 電気エネルギーシステム工学特別研究 電子情報通信工学システム特別研究 学 位 論 文	2	2		必修単位数2単位修得しなければならない。 電気エネルギーシステム工学特別研究 電子情報通信工学システム特別研究 のうち、いずれかの研究指導を受けなければならない。	

III 土木工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
土木工学特別特講 構造工学特別研究 水工学特別研究 地盤工学特別研究 建設材料学特別研究 計画・施工特別研究 学 位 論 文	2	2		必修単位数2単位修得しなければならない。 構造工学特別研究 水工学特別研究 地盤工学特別研究 建設材料学特別研究 計画・施工特別研究 のうち、いずれかの研究指導を受けなければならない。	

IV 建築工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
建築工学特別特講 建築構造学特別研究	2	2		必修単位数2単位修得しなければならない。	

建築材料学特別研究				建築構造学特別研究	
建築設計計画特別研究				建築材料学特別研究	
建築環境工学特別研究				建築設計計画特別研究	
学位論文				建築環境工学特別研究	
				のうち、いずれかの研究指導を受けなければならない。	

V 応用分子化学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
応用分子化学特別総論	2	2		必修単位数2単位修得しなければならない。	
高分子工学特別研究				高分子工学特別研究	
応用生化学特別研究				応用生化学特別研究	
有機応用化学特別研究				有機応用化学特別研究	
化学工学特別研究				化学工学特別研究	
無機応用化学特別研究				無機応用化学特別研究	
学位論文				のうち、いずれかの研究指導を受けなければならない。	

VI マネジメント工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
マネジメント工学特別特講	2	2		必修単位数2単位修得しなければならない。	
生産・品質工学特別研究				生産・品質工学特別研究	
流通・経営戦略特別研究				流通・経営戦略特別研究	
安全・人間工学特別研究				安全・人間工学特別研究	
経営・情報システム特別研究				経営・情報システム特別研究	
学位論文				のうち、いずれかの研究指導を受けなければならない。	

VII 数理情報工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
数理情報工学特別特講	2	2		必修単位数2単位修得しなければならない。	
数理工学特別研究				数理工学特別研究	
情報工学特別研究				情報工学特別研究	
計算工学特別研究				計算工学特別研究	
メディアデザイン工学特別研究				メディアデザイン工学特別研究	
学位論文				のうち、いずれかの研究指導を受けなければならない。	

第128条 工学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

履修方法に基づき、30単位以上を修得しなければならない。

なお、他専攻の授業科目の履修により修得した単位は、10単位を上限として修了に必要な単位数に算入することができる。

I 工学系科目（各専攻共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【技術者共通科目】				必修単位数14単位を修得しなければならない。	
ロハス工学特論	2	2			
LOHAS Engineering	2		2	ただし、インターナショナル・エンジニアリングコース履修者は、上記の履修方法によらず、	
【研究関連科目】				LOHAS Engineering,	
工学セミナーⅠ	2	2		Seminar in Engineering I,	
工学セミナーⅡ	2	2		Seminar in EngineeringⅡ,	
工学特別研究Ⅰ	4	4		Research in Engineering I,	
工学特別研究Ⅱ	4	4		Research in EngineeringⅡ,	
学 位 論 文				Master's Thesis	
Seminar in Engineering I	2		2	を必修とし、14単位を修得しなければならない。	
Seminar in EngineeringⅡ	2		2		
Research in Engineering I	4		4		
Research in EngineeringⅡ	4		4		
Master's Thesis					

II 土木工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から8単位、	
構造工学特論	2		2	技術者応用科目(A, B, C分野)のうち、専攻分野から4	
水理学特論	2		2	単位以上、専攻以外の分野	
有限要素解析特論	2		2	から2単位以上を含めて8単	
地盤工学特論	2		2	位以上、合計16単位以上を	
【技術者応用科目】				修得しなければならない。	
A 地盤・構造・防災分野				ただし、インターナショナル・エンジニアリングコース	

岩盤工学特論	2	2	履修者は、上記の履修方法によらず、 Structural Engineering, Concrete and Road Engineering, Water Quality Control Engineering, Hydrology and River Engineering, Geotechnical Engineering, History of Civil Engineering を必修とし、12単位を修得しなければならない。
社会インフラメンテナンス工学特論	2	2	
コンクリート構造学特論	2	2	
道路工学特論	2	2	
B 環境分野			
水質保全工学特論	2	2	
水文・河川工学特論	2	2	
水環境工学特論	2	2	
環境水理学特論	2	2	
C 地域・交通計画分野			
土木史特論	2	2	
交通工学特論	2	2	
E インターナショナル分野			
Structural Engineering	2	2	
Concrete and Road Engineering	2	2	
Water Quality Control Engineering	2	2	
Hydrology and River Engineering	2	2	
Geotechnical Engineering	2	2	
History of Civil Engineering	2	2	

Ⅲ 建築学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から6単位以上を修得しなければならない。 ただし、インターナショナル・エンジニアリングコース履修者は、上記の履修方法によらず、 Seismic Design of RC Buildings, Finite Element Method for Engineers, Advanced Building Materials, Building Materials and Sustainability を必修とし、8単位を修得しなければならない。	
建築設計計画特論Ⅰ	2		2		
都市計画特論	2		2		
建築環境工学特論	2		2		
建築材料学特論Ⅰ	2		2		
構造設計工学特論Ⅰ	2		2		
構造解析特論Ⅰ	2		2		
建築設備防災特論	2		2		
【技術者応用科目】					
建築意匠特論	2		2		

建築設計計画特論Ⅱ	2		2		
地域計画特論	2		2		
住環境学特論	2		2		
建築マネジメント特論	2		2		
建築材料学特論Ⅱ	2		2		
構造設計工学特論Ⅱ	2		2		
構造解析特論Ⅱ	2		2		
建築史特論	2		2		
建築職業倫理特論	2		2		
Seismic Design of RC Buildings	2		2		
Finite Element Method for Engineers	2		2		
Advanced Building Materials	2		2		
Building Materials and Sustainability	2		2		
【インターンシップ科目】					
建築設計計画特別実習	3		3		
建築構造設計特別実習	3		3		
インターンシップⅠ	4		4		
インターンシップⅡ	4		4		

Ⅳ 機械工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から6単位以上を修得しなければならない。	
材料力学特論	2		2	ただし、国際・エンジニアリングコース履修者は、上記の履修方法によらず、 Material Science, Solid Mechanics, Advanced Topics in Fluid Dynamics, Impact and Cellular Biomechanics を必修とし、8単位を修得しなければならない。	
熱工学特論	2		2		
流体力学特論	2		2		
機械力学特論	2		2		
機械材料特論	2		2		
材料加工学特論	2		2		
制御工学特論	2		2		
先端機械工学特論	2		2		
【技術者応用科目】					
材料強度学特論	2		2		

トライボロジー特論	2		2		
数値流体力学特論	2		2		
バイオメカニクス特論	2		2		
機械システム設計特論	2		2		
医用機械工学特論	2		2		
エネルギー変換工学特論	2		2		
流体可視化情報特論	2		2		
機能創成加工学特論	2		2		
Material Science	2		2		
Solid Mechanics	2		2		
Advanced Topics in Fluid Dynamics	2		2		
Impact and Cellular Biomechanics	2		2		

V 電気電子工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から8単位以上を修得しなければならない。	
電 磁 気 学 特 論	2		2		
電 子 回 路 特 論	2		2		
量 子 工 学 特 論	2		2		
制 御 工 学 特 論	2		2		
半 導 体 デ バ イ ス 特 論	2		2		
情 報 通 信 ネットワーク特論	2		2		
【技術者応用科目】					
パワーエレクトロニクス特論	2		2		
電気エネルギー発生工学特論	2		2		
光通信デバイス特論	2		2		
通 信 工 学 特 論	2		2		
映像メディア工学特論	2		2		
電 磁 波 工 学 特 論	2		2		
生体電子計測特論	2		2		
量子フォトニクス特論	2		2		
数 値 解 析 特 論	2		2		

VI 生命応用化学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から6単位以上を修得しなければならない。	
生体無機化学特論	2		2		
糖質化学特論	2		2		
光物理化学特論	2		2		
生命分子工学特論	2		2		
有機材料化学特論	2		2		
分光分析化学特論	2		2		
医用分子工学特論	2		2		
分子細胞遺伝学特論	2		2		
【技術者応用科目】					
無機材料化学特論	2		2		
高分子合成化学特論	2		2		
化学工学物性特論	2		2		
生物有機化学特論	2		2		
応用生物工学特論	2		2		
計算化学特論	2		2		
有機金属化学特論	2		2		

VII 情報工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から8単位以上を修得しなければならない。	
情報数学特論	2		2		
オペレーティングシステム特論	2		2		
情報通信特論Ⅰ	2		2		
データベース工学特論	2		2		
アルゴリズムとデータ構造特論	2		2		
オートマトンと言語特論	2		2		
【技術者応用科目】					
ネットワーク工学特論	2		2		
情報通信特論Ⅱ	2		2		
ソフトウェア工学特論	2		2		

知能情報処理特論	2		2		
コンピュータビジョン特論	2		2		
環境リモートセンシング特論	2		2		
デジタル形状処理特論	2		2		
画像信号処理特論	2		2		
システムアーキテクチャ設計特論	2		2		
情報共有とナレッジマネジメント特論	2		2		
数値解析法特論	2		2		
情報ネットワーク特論	2		2		

2 博士後期課程

履修方法に基づき、14単位を修得しなければならない。

I 土木工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【コースワーク科目】				必修単位数14単位を修得 しなければならない。	
土木工学特別講義	2	2			
【研究関連科目】					
土木工学セミナーⅠ	2	2			
土木工学セミナーⅡ	2	2			
土木工学特別研究Ⅰ	4	4			
土木工学特別研究Ⅱ	4	4			
学 位 論 文					

II 建築学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【コースワーク科目】				必修単位数14単位を修得 しなければならない。	
建築学特別講義	2	2			
【研究関連科目】					
建築学セミナーⅠ	2	2			
建築学セミナーⅡ	2	2			
建築学特別研究Ⅰ	4	4			
建築学特別研究Ⅱ	4	4			
学 位 論 文					

Ⅲ 機械工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【コースワーク科目】 機械工学特別講義	2	2		必修単位数14単位を修得しなければならない。	
【研究関連科目】 機械工学セミナーⅠ	2	2			
機械工学セミナーⅡ	2	2			
機械工学特別研究Ⅰ	4	4			
機械工学特別研究Ⅱ	4	4			
学 位 論 文					

Ⅳ 電気電子工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【コースワーク科目】 電気電子工学特別講義	2	2		必修単位数14単位を修得しなければならない。	
【研究関連科目】 電気電子工学セミナーⅠ	2	2			
電気電子工学セミナーⅡ	2	2			
電気電子工学特別研究Ⅰ	4	4			
電気電子工学特別研究Ⅱ	4	4			
学 位 論 文					

Ⅴ 生命応用化学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【コースワーク科目】 生命応用化学特別講義	2	2		必修単位数14単位を修得しなければならない。	
【研究関連科目】 生命応用化学セミナーⅠ	2	2			
生命応用化学セミナーⅡ	2	2			
生命応用化学特別研究Ⅰ	4	4			
生命応用化学特別研究Ⅱ	4	4			
学 位 論 文					

VI 情報工学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
【コースワーク科目】				必修単位数14単位を修得 しなければならない。	
情報工学特別講義	2	2			
【研究関連科目】					
情報工学セミナーⅠ	2	2			
情報工学セミナーⅡ	2	2			
情報工学特別研究Ⅰ	4	4			
情報工学特別研究Ⅱ	4	4			
学 位 論 文					

第129条 医学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士課程

履修方法に基づき、30単位以上を修得しなければならない。

I 生理系

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(主 科 目)				それぞれ選択により,主科目16単位以上,副科目10単位以上,選択科目4単位以上を含め,合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
形 態 生 理 学	16		16		
機 能 生 理 学	16		16		
分 子 細 胞 生 理 学	16		16		
神 経 科 学	16		16		
発 生 生 殖 医 学	16		16		
宇 宙 医 学	16		16		
宇 宙 航 空 環 境 医 学	16		16		
薬 理 学	16		16		
細胞再生・移植医学	16		16		
遺伝子・ゲノム医学	16		16		
(副 科 目)					
形 態 生 理 学	10		10		
機 能 生 理 学	10		10		
分 子 細 胞 生 理 学	10		10		
神 経 科 学	10		10		
発 生 生 殖 医 学	10		10		
宇 宙 医 学	10		10		
宇 宙 航 空 環 境 医 学	10		10		
薬 理 学	10		10		
細胞再生・移植医学	10		10		
遺伝子・ゲノム医学	10		10		
形 態 病 理 学	10		10		
免 疫 細 胞 学	10		10		

人工臓器・移植医学	10	10		
腫瘍科学	10	10		
感染制御科学	10	10		
病態代謝学	10	10		
中毒学	10	10		
分子病態学	10	10		
分子細胞免疫・アレルギー学	10	10		
衛生・公衆衛生学	10	10		
環境医学	10	10		
医療管理学	10	10		
法医学	10	10		
健康科学・スポーツ医学	10	10		
呼吸器内科学	10	10		
血液内科学	10	10		
膠原病リウマチ学	10	10		
循環器内科学	10	10		
腎臓内科学	10	10		
内分泌代謝内科学	10	10		
糖尿病内科学	10	10		
消化器内科学	10	10		
感染症内科学	10	10		
小児科学	10	10		
循環器小児科学	10	10		
新生児小児科学	10	10		
神経内科学	10	10		
皮膚科学	10	10		
精神医学	10	10		
放射線治療学	10	10		
放射線診断学	10	10		
臨床検査診断学	10	10		

総合診療学	10	10		
リハビリテーション医学	10	10		
呼吸器外科学	10	10		
消化器外科学	10	10		
循環器外科学	10	10		
乳腺内分泌外科学	10	10		
小児外科学	10	10		
整形外科学	10	10		
産婦人科学	10	10		
耳鼻咽喉科学	10	10		
眼科	10	10		
泌尿器科学	10	10		
脳神経外科学	10	10		
麻酔科学	10	10		
救急医学	10	10		
再建外科学	10	10		
(選択科目)				
実験医学序論(1)	1	1		
実験医学序論(2)	1	1		
実験動物学	1	1		
機器分析学	1	1		
生物統計学	1	1		
社会医学概論	1	1		
細胞生物学	1	1		
病態生物学	1	1		
医学医療総論	1	1		
放射線基礎科学	1	1		
がんの生物学	1	1		
腫瘍病理診断学概論	1	1		
がん患者の緩和ケア	1	1		
がん化学療法概論	1	1		
E B M 実践法	1	1		

医療倫理学	1		1		
臨床心理学	1		1		
医療安全管理学	1		1		
臨床研究・教育・指導法	1		1		
ヒトの自然科学認識論(概論)	1		1		
医学英語	1		1		

Ⅱ 病理系

履修方法に基づき、30単位以上を修得しなければならない。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(主科目)				それぞれ選択により、主科目16単位以上、副科目10単位以上、選択科目4単位以上を含め、合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
形態病理学	16		16		
免疫細胞学	16		16		
人工臓器・移植医学	16		16		
腫瘍科学	16		16		
感染制御科学	16		16		
病態代謝学	16		16		
中毒学	16		16		
分子病態学	16		16		
分子細胞免疫・アレルギー学	16		16		
(副科目)					
形態生理学	10		10		
機能生理学	10		10		
分子細胞生理学	10		10		
神経科学	10		10		
発生生殖医学	10		10		
宇宙医学	10		10		
宇宙航空環境医学	10		10		
薬理学	10		10		
細胞再生・移植医学	10		10		
遺伝子・ゲノム医学	10		10		

形態病理学	10	10		
免疫細胞学	10	10		
人工臓器・移植医学	10	10		
腫瘍科学	10	10		
感染制御科学	10	10		
病態代謝学	10	10		
中毒学	10	10		
分子病態学	10	10		
分子細胞免疫・アレルギー学	10	10		
衛生・公衆衛生学	10	10		
環境医学	10	10		
医療管理学	10	10		
法医学	10	10		
健康科学・スポーツ医学	10	10		
呼吸器内科学	10	10		
血液内科学	10	10		
膠原病リウマチ学	10	10		
循環器内科学	10	10		
腎臓内科学	10	10		
内分泌代謝内科学	10	10		
糖尿病内科学	10	10		
消化器内科学	10	10		
感染症内科学	10	10		
小児科学	10	10		
循環器小児科学	10	10		
新生児小児科学	10	10		
神経内科学	10	10		
皮膚科学	10	10		
精神医学	10	10		
放射線治療学	10	10		

放射線診断学	10	10	
臨床検査診断学	10	10	
総合診療学	10	10	
リハビリテーション医学	10	10	
呼吸器外科学	10	10	
消化器外科学	10	10	
循環器外科学	10	10	
乳腺内分泌外科学	10	10	
小児外科学	10	10	
整形外科学	10	10	
産婦人科学	10	10	
耳鼻咽喉科学	10	10	
眼科学	10	10	
泌尿器科学	10	10	
脳神経外科学	10	10	
麻酔科学	10	10	
救急医学	10	10	
再建外科学	10	10	
造血器腫瘍学	5	5	} がんに特化した専門医 養成プログラム選択者 のみ履修可能
がん薬物動態学	5	5	
放射線腫瘍治療学	5	5	
(選択科目)			
実験医学序論(1)	1	1	
実験医学序論(2)	1	1	
実験動物学	1	1	
機器分析学	1	1	
生物統計学	1	1	
社会医学概論	1	1	
細胞生物学	1	1	
病態生物学	1	1	
医学医療総論	1	1	
放射線基礎科学	1	1	

が ん の 生 物 学	1		1		
腫瘍病理診断学概論	1		1		
がん患者の緩和ケア	1		1		
がん化学療法概論	1		1		
E B M 実 践 法	1		1		
医 療 倫 理 学	1		1		
臨 床 心 理 学	1		1		
医 療 安 全 管 理 学	1		1		
臨床研究・教育・指導法	1		1		
ヒトの自然科学認識論（概論）	1		1		
医 学 英 語	1		1		

Ⅲ 社会医学系

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(主 科 目)				それぞれ選択により，主科目16単位以上，副科目10単位以上，選択科目4単位以上を含め，合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
衛生・公衆衛生学	16		16		
環 境 医 学	16		16		
医 療 管 理 学	16		16		
法 医 学	16		16		
健康科学・スポーツ医学	16		16		
(副 科 目)					
形 態 生 理 学	10		10		
機 能 生 理 学	10		10		
分 子 細 胞 生 理 学	10		10		
神 経 科 学	10		10		
発 生 生 殖 医 学	10		10		
宇 宙 医 学	10		10		
宇 宙 航 空 環 境 医 学	10		10		
薬 理 学	10		10		
細胞再生・移植医学	10		10		
遺伝子・ゲノム医学	10		10		

形態病理学	10	10		
免疫細胞学	10	10		
人工臓器・移植医学	10	10		
腫瘍科学	10	10		
感染制御科学	10	10		
病態代謝学	10	10		
中毒学	10	10		
分子病態学	10	10		
分子細胞免疫・アレルギー学	10	10		
衛生・公衆衛生学	10	10		
環境医学	10	10		
医療管理学	10	10		
法医学	10	10		
健康科学・スポーツ医学	10	10		
呼吸器内科学	10	10		
血液内科学	10	10		
膠原病リウマチ学	10	10		
循環器内科学	10	10		
腎臓内科学	10	10		
内分泌代謝内科学	10	10		
糖尿病内科学	10	10		
消化器内科学	10	10		
感染症内科学	10	10		
小児科学	10	10		
循環器小児科学	10	10		
新生児小児科学	10	10		
神経内科学	10	10		
皮膚科学	10	10		
精神医学	10	10		
放射線治療学	10	10		
放射線診断学	10	10		

臨床検査診断学	10	10		
総合診療学	10	10		
リハビリテーション医学	10	10		
呼吸器外科学	10	10		
消化器外科学	10	10		
循環器外科学	10	10		
乳腺内分泌外科学	10	10		
小児外科学	10	10		
整形外科学	10	10		
産婦人科学	10	10		
耳鼻咽喉科学	10	10		
眼科学	10	10		
泌尿器科学	10	10		
脳神経外科学	10	10		
麻酔科学	10	10		
救急医学	10	10		
再建外科学	10	10		
(選択科目)				
実験医学序論(1)	1	1		
実験医学序論(2)	1	1		
実験動物学	1	1		
機器分析学	1	1		
生物統計学	1	1		
社会医学概論	1	1		
細胞生物学	1	1		
病態生物学	1	1		
医学医療総論	1	1		
放射線基礎科学	1	1		
がんの生物学	1	1		
腫瘍病理診断学概論	1	1		
がん患者の緩和ケア	1	1		
がん化学療法概論	1	1		

E B M 実 践 法	1		1		
医 療 倫 理 学	1		1		
臨 床 心 理 学	1		1		
医 療 安 全 管 理 学	1		1		
臨床研究・教育・指導法	1		1		
ヒトの自然科学認識論（概論）	1		1		
医 学 英 語	1		1		

IV 内科系

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(主 科 目)				それぞれ選択により，主科目16単位以上，副科目10単位以上，選択科目4単位以上を含め，合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
呼 吸 器 内 科 学	16		16		
血 液 内 科 学	16		16		
膠 原 病 リ ウ マ チ 学	16		16		
循 環 器 内 科 学	16		16		
腎 臓 内 科 学	16		16		
内 分 泌 代 謝 内 科 学	16		16		
糖 尿 病 内 科 学	16		16		
消 化 器 内 科 学	16		16		
感 染 症 内 科 学	16		16		
小 児 科 学	16		16		
循 環 器 小 児 科 学	16		16		
新 生 児 小 児 科 学	16		16		
神 經 内 科 学	16		16		
皮 膚 科 学	16		16		
精 神 医 学	16		16		
放 射 線 治 療 学	16		16		
放 射 線 診 断 学	16		16		
臨 床 検 査 診 断 学	16		16		
総 合 診 療 学	16		16		

リハビリテーション医学	16	16		
(副 科 目)				
形 態 生 理 学	10	10		
機 能 生 理 学	10	10		
分 子 細 胞 生 理 学	10	10		
神 經 科 学	10	10		
発 生 生 殖 医 学	10	10		
宇 宙 医 学	10	10		
宇 宙 航 空 環 境 医 学	10	10		
薬 理 学	10	10		
細 胞 再 生 ・ 移 植 医 学	10	10		
遺 伝 子 ・ ゲ ノ ム 医 学	10	10		
形 態 病 理 学	10	10		
免 疫 細 胞 学	10	10		
人 工 臓 器 ・ 移 植 医 学	10	10		
腫 瘍 科 学	10	10		
感 染 制 御 科 学	10	10		
病 態 代 謝 学	10	10		
中 毒 学	10	10		
分 子 病 態 学	10	10		
分 子 細 胞 免 疫 ・ ア レ ル ギ ー 学	10	10		
衛 生 ・ 公 衆 衛 生 学	10	10		
環 境 医 学	10	10		
医 療 管 理 学	10	10		
法 医 学	10	10		
健 康 科 学 ・ ス ポ ー ツ 医 学	10	10		
呼 吸 器 内 科 学	10	10		
血 液 内 科 学	10	10		
膠 原 病 リ ウ マ チ 学	10	10		
循 環 器 内 科 学	10	10		
腎 臓 内 科 学	10	10		

内分泌代謝内科学	10	10	
糖尿病内科学	10	10	
消化器内科学	10	10	
感染症内科学	10	10	
小児科学	10	10	
循環器小児科学	10	10	
新生児小児科学	10	10	
神経内科学	10	10	
皮膚科学	10	10	
精神医学	10	10	
放射線治療学	10	10	
放射線診断学	10	10	
臨床検査診断学	10	10	
総合診療学	10	10	
リハビリテーション医学	10	10	
呼吸器外科学	10	10	
消化器外科学	10	10	
循環器外科学	10	10	
乳腺内分泌外科学	10	10	
小児外科学	10	10	
整形外科学	10	10	
産婦人科学	10	10	
耳鼻咽喉科学	10	10	
眼科学	10	10	
泌尿器科学	10	10	
脳神経外科学	10	10	
麻酔科学	10	10	
救急医学	10	10	
再建外科学	10	10	
造血器腫瘍学	5	5	} がんに特化した専門医 養成プログラム選択者 のみ履修可能
がん薬物動態学	5	5	
放射線腫瘍治療学	5	5	

(選 択 科 目)				
実 験 医 学 序 論(1)	1		1	
実 験 医 学 序 論(2)	1		1	
実 験 動 物 学	1		1	
機 器 分 析 学	1		1	
生 物 統 計 学	1		1	
社 会 医 学 概 論	1		1	
細 胞 生 物 学	1		1	
病 態 生 物 学	1		1	
医 学 医 療 総 論	1		1	
放 射 線 基 礎 科 学	1		1	
が ん の 生 物 学	1		1	
腫瘍病理診断学概論	1		1	
がん患者の緩和ケア	1		1	
がん化学療法概論	1		1	
E B M 実 践 法	1		1	
医 療 倫 理 学	1		1	
臨 床 心 理 学	1		1	
医 療 安 全 管 理 学	1		1	
臨床研究・教育・指導法	1		1	
ヒトの自然科学認識論(概論)	1		1	
医 学 英 語	1		1	

V 外科系

履修方法に基づき、30単位以上を修得しなければならない。

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(主 科 目)					
呼 吸 器 外 科 学	16		16	それぞれ選択により、主科目16単位以上、副科目10単位以上、選択科目4単位以上を含め、合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
消 化 器 外 科 学	16		16		
循 環 器 外 科 学	16		16		
乳 腺 内 分 泌 外 科 学	16		16		
小 児 外 科 学	16		16		

整 形 外 科 学	16	16		
産 婦 人 科 学	16	16		
耳 鼻 咽 喉 科 学	16	16		
眼 科 学	16	16		
泌 尿 器 科 学	16	16		
脑 神 經 外 科 学	16	16		
麻 醉 科 学	16	16		
救 急 医 学	16	16		
再 建 外 科 学	16	16		
(副 科 目)				
形 態 生 理 学	10	10		
機 能 生 理 学	10	10		
分 子 細 胞 生 理 学	10	10		
神 經 科 学	10	10		
発 生 生 殖 医 学	10	10		
宇 宙 医 学	10	10		
宇 宙 航 空 環 境 医 学	10	10		
薬 理 学	10	10		
細 胞 再 生 ・ 移 植 医 学	10	10		
遺 伝 子 ・ ゲ ノ ム 医 学	10	10		
形 態 病 理 学	10	10		
免 疫 細 胞 学	10	10		
人 工 臓 器 ・ 移 植 医 学	10	10		
腫 瘍 科 学	10	10		
感 染 制 御 科 学	10	10		
病 態 代 謝 学	10	10		
中 毒 学	10	10		
分 子 病 態 学	10	10		
分 子 細 胞 免 疫 ・ ア レ ル ギ ー 学	10	10		
衛 生 ・ 公 衆 衛 生 学	10	10		

環 境 医 学	10	10		
医 療 管 理 学	10	10		
法 医 学	10	10		
健康科学・スポーツ医学	10	10		
呼 吸 器 内 科 学	10	10		
血 液 内 科 学	10	10		
膠 原 病 リ ウ マ チ 学	10	10		
循 環 器 内 科 学	10	10		
腎 臓 内 科 学	10	10		
内 分 泌 代 謝 内 科 学	10	10		
糖 尿 病 内 科 学	10	10		
消 化 器 内 科 学	10	10		
感 染 症 内 科 学	10	10		
小 児 科 学	10	10		
循 環 器 小 児 科 学	10	10		
新 生 児 小 児 科 学	10	10		
神 經 内 科 学	10	10		
皮 膚 科 学	10	10		
精 神 医 学	10	10		
放 射 線 治 療 学	10	10		
放 射 線 診 断 学	10	10		
臨 床 検 査 診 断 学	10	10		
総 合 診 療 学	10	10		
リハビリテーション医学	10	10		
呼 吸 器 外 科 学	10	10		
消 化 器 外 科 学	10	10		
循 環 器 外 科 学	10	10		
乳 腺 内 分 泌 外 科 学	10	10		
小 児 外 科 学	10	10		
整 形 外 科 学	10	10		

産婦人科学	10	10		
耳鼻咽喉科学	10	10		
眼科学	10	10		
泌尿器科学	10	10		
脳神経外科学	10	10		
麻酔科学	10	10		
救急医学	10	10		
再建外科学	10	10		
(選択科目)				
実験医学序論(1)	1	1		
実験医学序論(2)	1	1		
実験動物学	1	1		
機器分析学	1	1		
生物統計学	1	1		
社会医学概論	1	1		
細胞生物学	1	1		
病態生物学	1	1		
医学医療総論	1	1		
放射線基礎科学	1	1		
がんの生物学	1	1		
腫瘍病理診断学概論	1	1		
がん患者の緩和ケア	1	1		
がん化学療法概論	1	1		
E B M 実践法	1	1		
医療倫理学	1	1		
臨床心理学	1	1		
医療安全管理学	1	1		
臨床研究・教育・指導法	1	1		
ヒトの自然科学認識論(概論)	1	1		
医学英語	1	1		

第130条 歯学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士課程

歯学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
口腔構造機能学分野				各分野の中から主科目20単位以上，副科目4単位以上，選択科目のうちから必修科目2単位を含め6単位以上，合計30単位以上を履修し，学位論文を提出しなければならない。	
(主 科 目)					
解 剖 学	20		20		
発 生 ・ 組 織 学	10		10		
口 腔 解 剖 学	10		10		
口 腔 生 理 学	10		10		
生 理 学	10		10		
歯 科 薬 理 学	10		10		
薬 理 学	10		10		
口 腔 外 科 学	20		20		
歯 科 矯 正 学	20		20		
歯 科 麻 酔 学	20		20		
(副 科 目)					
解 剖 学	4		4		
発 生 ・ 組 織 学	4		4		
口 腔 解 剖 学	4		4		
口 腔 生 理 学	4		4		
口 腔 生 化 学	4		4		
口 腔 病 理 学	4		4		
感 染 症 免 疫 学	4		4		
歯 科 薬 理 学	4		4		
歯 科 理 工 学	4		4		
口 腔 外 科 学	4		4		
総 義 歯 補 綴 学	4		4		
局 部 床 義 歯 学	4		4		
ク ラ ウ ン ・ ブ リ ッ ジ 学	4		4		
歯 科 放 射 線 学	4		4		

歯科麻酔学	4		4	
口腔内科学	4		4	
その他許可を得た科目	4		4	
(選択科目)				
衛生学	4		4	
保存修復学	4		4	
歯内療法学	4		4	
歯周病学	4		4	
歯科矯正学	4		4	
小児歯科学	4		4	
摂食機能療法学	4		4	
統合科目 I	4		4	
総合特別講義	2	2		
その他許可を得た科目	4		4	
応用口腔科学分野				
(主科目)				
口腔生化学	10		10	
生化学	10		10	
口腔病理学	10		10	
病理学	10		10	
歯科理工学	20		20	
保存修復学	20		20	
歯内療法学	20		20	
歯周病学	20		20	
総義歯補綴学	20		20	
局部床義歯学	20		20	
クラウン・ブリッジ学	20		20	
(副科目)				
口腔解剖学	4		4	
口腔生理学	4		4	
口腔生化学	4		4	
感染症免疫学	4		4	
口腔病理学	4		4	

歯科薬理学	4		4	
歯科理工学	4		4	
保存修復学	4		4	
歯内療法学	4		4	
歯周病学	4		4	
総義歯補綴学	4		4	
局部床義歯学	4		4	
クラウン・ブリッジ学	4		4	
その他許可を得た科目	4		4	
(選択科目)				
発生・組織学	4		4	
口腔衛生学	4		4	
口腔外科学	4		4	
歯科矯正学	4		4	
口腔内科学	4		4	
歯科放射線学	4		4	
摂食機能療法学	4		4	
統合科目Ⅱ	4		4	
総合特別講義	2	2		
その他許可を得た科目	4		4	
口腔健康科学分野				
(主科目)				
感染症免疫学	20		20	
口腔衛生学	10		10	
衛生学	10		10	
歯科法医学	10		10	
法医学	10		10	
歯科放射線学	20		20	
小児歯科学	20		20	
口腔内科学	20		20	
摂食機能療法学	20		20	
(副科目)				
発生・組織学	4		4	

口腔解剖学	4		4	
口腔生理学	4		4	
口腔生化学	4		4	
口腔病理学	4		4	
感染症免疫学	4		4	
歯科薬理学	4		4	
歯科理工学	4		4	
口腔衛生学	4		4	
歯科法医学	4		4	
口腔外科学	4		4	
保存修復学	4		4	
歯内療法学	4		4	
歯周病学	4		4	
歯科放射線学	4		4	
小児歯科学	4		4	
歯科麻酔学	4		4	
口腔内科学	4		4	
摂食機能療法学	4		4	
その他許可を得た科目	4		4	
(選択科目)				
病理学	4		4	
総義歯補綴学	4		4	
局部床義歯学	4		4	
クラウン・ブリッジ学	4		4	
統合科目Ⅲ	4		4	
総合特別講義	2	2		
その他許可を得た科目	4		4	

第131条 松戸歯学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士課程

歯学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
発育発達全身疾患学系				所属する学系のうちから、専攻科目を定め、同一専攻科目のⅠ～Ⅳの4科目24単位以上、演習科目から3科目3単位以上、共通科目のうちから必修科目を含め3科目3単位以上、合計30単位以上を修得の上、学位論文を提出しなければならない。	
小児歯科学Ⅰ	6		6		
小児歯科学Ⅱ	6		6		
小児歯科学Ⅲ	6		6		
小児歯科学Ⅳ	6		6		
歯科矯正学Ⅰ	6		6		
歯科矯正学Ⅱ	6		6		
歯科矯正学Ⅲ	6		6		
歯科矯正学Ⅳ	6		6		
障害者歯科学Ⅰ	6		6		
障害者歯科学Ⅱ	6		6		
障害者歯科学Ⅲ	6		6		
障害者歯科学Ⅳ	6		6		
歯科麻酔学Ⅰ	6		6		
歯科麻酔学Ⅱ	6		6		
歯科麻酔学Ⅲ	6		6		
歯科麻酔学Ⅳ	6		6		
医科病態学Ⅰ	6		6		
医科病態学Ⅱ	6		6		
医科病態学Ⅲ	6		6		
医科病態学Ⅳ	6		6		
口腔病態制御学系					
歯周治療学Ⅰ	6		6		
歯周治療学Ⅱ	6		6		
歯周治療学Ⅲ	6		6		
歯周治療学Ⅳ	6		6		
生化学・分子生物学Ⅰ	6		6		
生化学・分子生物学Ⅱ	6		6		

生化学・分子生物学Ⅲ	6	6		
生化学・分子生物学Ⅳ	6	6		
微生物学・免疫学Ⅰ	6	6		
微生物学・免疫学Ⅱ	6	6		
微生物学・免疫学Ⅲ	6	6		
微生物学・免疫学Ⅳ	6	6		
薬理学・歯科薬理学Ⅰ	6	6		
薬理学・歯科薬理学Ⅱ	6	6		
薬理学・歯科薬理学Ⅲ	6	6		
薬理学・歯科薬理学Ⅳ	6	6		
衛生学Ⅰ	6	6		
衛生学Ⅱ	6	6		
衛生学Ⅲ	6	6		
衛生学Ⅳ	6	6		
組織細胞再生学系				
組織・発生学Ⅰ	6	6		
組織・発生学Ⅱ	6	6		
組織・発生学Ⅲ	6	6		
組織・発生学Ⅳ	6	6		
生理学Ⅰ	6	6		
生理学Ⅱ	6	6		
生理学Ⅲ	6	6		
生理学Ⅳ	6	6		
歯内療法学Ⅰ	6	6		
歯内療法学Ⅱ	6	6		
歯内療法学Ⅲ	6	6		
歯内療法学Ⅳ	6	6		
先端材料修復学系				
歯科生体材料学Ⅰ	6	6		
歯科生体材料学Ⅱ	6	6		
歯科生体材料学Ⅲ	6	6		
歯科生体材料学Ⅳ	6	6		
保存修復学Ⅰ	6	6		
保存修復学Ⅱ	6	6		

保存修復學 III	6	6		
保存修復學 IV	6	6		
口腔顎腦再建學系				
有床義齒補綴學 I	6	6		
有床義齒補綴學 II	6	6		
有床義齒補綴學 III	6	6		
有床義齒補綴學 IV	6	6		
顎機能・冠橋義齒補綴學 I	6	6		
顎機能・冠橋義齒補綴學 II	6	6		
顎機能・冠橋義齒補綴學 III	6	6		
顎機能・冠橋義齒補綴學 IV	6	6		
解剖學 I	6	6		
解剖學 II	6	6		
解剖學 III	6	6		
解剖學 IV	6	6		
顎顏面・口腔外科學 I	6	6		
顎顏面・口腔外科學 II	6	6		
顎顏面・口腔外科學 III	6	6		
顎顏面・口腔外科學 IV	6	6		
病態診斷檢查學系				
齒科臨床檢查醫學 I	6	6		
齒科臨床檢查醫學 II	6	6		
齒科臨床檢查醫學 III	6	6		
齒科臨床檢查醫學 IV	6	6		
放射線學 I	6	6		
放射線學 II	6	6		
放射線學 III	6	6		
放射線學 IV	6	6		
口腔診斷學 I	6	6		
口腔診斷學 II	6	6		
口腔診斷學 III	6	6		
口腔診斷學 IV	6	6		
口腔病理學 I	6	6		
口腔病理學 II	6	6		

口腔病理学Ⅲ	6		6	
口腔病理学Ⅳ	6		6	
共通科目				
研究安全倫理	1	1		
リサーチデザイン	1	1		
電子顕微鏡学	1		1	
生物統計学	1		1	
画像科学	1		1	
基礎医化学	1		1	
研究手法	1		1	
実験動物学	1		1	
演習科目				
歯学特別演習Ⅰ	1		1	
歯学特別演習Ⅱ	1		1	
歯学特別演習Ⅲ	1		1	
歯学特別演習Ⅳ	1		1	

第132条 生物資源科学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。ただし、他専攻の授業科目は、許可を得て、10単位を超えない範囲で履修することができる。

1 博士前期課程

I 生物資源生産科学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
生物資源科学特論 I	4	4		左記のうちから、必修科目を含め30単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、5分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源科学特論 II	4		4		
(植物生産科学分野)					
植物資源生産学特講	2		2		
植物保護学特講	2		2		
植物資源生産学演習	1		1		
植物保護学演習	1		1		
(動物生産科学分野)					
動物資源生産学特講	2		2		
動物資源開発学特講	2		2		
動物資源生産学演習	1		1		
動物資源開発学演習	1		1		
(水圏生物生産科学分野)					
水圏生物資源学特講	2		2		
水圏生物生産学特講	2		2		
水圏生物資源学演習	1		1		
水圏生物生産学演習	1		1		
(森林生産科学分野)					
森林資源生産学特講	2		2		
森林資源管理学特講	2		2		
森林資源生産学演習	1		1		
森林資源管理学演習	1		1		
(生産環境工学分野)					
生物環境調節工学特講	2		2		
生産・流通環境工学特講	2		2		
生物環境調節工学演習	1		1		

生産・流通環境工学演習	1		1	
生物資源生産科学特別講義 I	4	4		
生物資源生産科学特別研究 I	10	10		
学 位 論 文				

II 生物資源利用科学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
生物資源科学特論 I	4	4		左記のうちから、必修科目を含め30単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源科学特論 II (生物資源利用学分野)	4		4		
生物資源利用学特講 I	2		2		
生物資源成分機能学特講	2		2		
生物資源利用学演習 I	1		1		
生物資源成分機能学演習 (生物資源利用化学分野)	1		1		
生物資源利用化学特講 I	2		2		
生物有機化学特講	2		2		
生物資源利用化学演習 I	1		1		
生物有機化学演習 (微生物利用学分野)	1		1		
微生物利用学特講	2		2		
微生物学特講	2		2		
微生物利用学演習	1		1		
微生物学演習 (食品科学分野)	1		1		
食品成分化学特講	2		2		
食品製造科学特講	2		2		
食品成分化学演習	1		1		
食品製造科学演習	1		1		
生物資源利用科学特別講義 I	4	4			
生物資源利用科学特別研究 I	10	10			
学 位 論 文					

Ⅲ 応用生命科学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
生物資源科学特論Ⅰ	4	4		左記のうちから、必修科目を含め30単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源科学特論Ⅱ (生体分子科学分野)	4		4		
分子生物学特講	2		2		
生体分子化学特講	2		2		
分子生物学演習	1		1		
生体分子化学演習	1		1		
(細胞生物科学分野)					
細胞生物学特講	2		2		
細胞遺伝育種学特講	2		2		
細胞生物学演習	1		1		
細胞遺伝育種学演習	1		1		
(生体機能科学分野)					
生体機能学特講	2		2		
生体制御学特講	2		2		
生体機能学演習	1		1		
生体制御学演習	1		1		
(分子生態科学分野)					
分子生態学特講	2		2		
資源生命工学特講	2		2		
分子生態学演習	1		1		
資源生命工学演習	1		1		
応用生命科学特別講義Ⅰ	4	4			
応用生命科学特別研究Ⅰ	10	10			
学 位 論 文					

Ⅳ 生物環境科学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
生物資源科学特論Ⅰ	4	4		左記のうちから、必修科目を含め30単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。	
生物資源科学特論Ⅱ (ストレス耐性科学分野)	4		4		

環境ストレス生理学特講	2		2	ならない。ただし、4分野のうち1分野を選択必修とする。
環境修復生物学特講	2		2	
環境ストレス生理学演習	1		1	
環境修復生物学演習	1		1	
(環境計画学分野)				
緑地環境計画学特講	2		2	
地域環境計画学特講	2		2	
緑地環境計画学演習	1		1	
地域環境計画学演習	1		1	
(環境創造保全学分野)				
環境創造学特講	2		2	
環境生態学特講	2		2	
環境創造学演習	1		1	
環境生態学演習	1		1	
(環境情報科学分野)				
環境資源情報学特講	2		2	
環境保全情報学特講	2		2	
環境資源情報学演習	1		1	
環境保全情報学演習	1		1	
生物環境科学特別講義Ⅰ	4	4		
生物環境科学特別研究Ⅰ	10	10		
学位論文				

V 生物資源経済学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
生物資源科学特論Ⅰ	4	4		左記のうちから、必修科目を含め30単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源科学特論Ⅱ	4		4		
(生物資源・食品経済学分野)					
生物資源経済学特講	2		2		
食品産業論特講	2		2		
生物資源経済学演習	1		1		
食品産業論演習	1		1		
(食品流通・経営学分野)					

生物資源経営学特講	2		2		
マーケティング特講	2		2		
生物資源経営学演習	1		1		
マーケティング演習	1		1		
(国際食料資源経済学分野)					
国際資源経済論特講	2		2		
国際フードシステム論特講	2		2		
国際資源経済論演習	1		1		
国際フードシステム論演習	1		1		
(国際地域開発学分野)					
国際農業開発論特講	2		2		
農村開発論特講	2		2		
国際農業開発論演習	1		1		
農村開発論演習	1		1		
生物資源経済学特別講義 I	4	4			
生物資源経済学特別研究 I	10	10			
学位論文					

2 博士後期課程

I 生物資源生産科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(植物生産科学分野)				左記のうちから、必修科目を含め17単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、5分野のうち1分野を選択必修とする。	
植物生産科学特講	2		2		
植物生産科学演習	1		1		
(動物生産科学分野)					
動物生産科学特講	2		2		
動物生産科学演習	1		1		
(水圏生物生産科学分野)					
水圏生物生産科学特講	2		2		
水圏生物生産科学演習	1		1		
(森林生産科学分野)					
森林生産科学特講	2		2		
森林生産科学演習	1		1		

(生産環境工学分野)					
生産環境工学特講	2		2		
生産環境工学演習	1		1		
生物資源生産科学特別講義Ⅱ	4	4			
生物資源生産科学特別研究Ⅱ	10	10			
学位論文					

Ⅱ 生物資源利用科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(生物資源利用工学分野)				左記のうちから、必修科目を含め17単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源利用学特講Ⅱ	2		2		
生物資源利用学演習Ⅱ	1		1		
(生物資源利用化学分野)					
生物資源利用化学特講Ⅱ	2		2		
生物資源利用化学演習Ⅱ	1		1		
(微生物利用科学分野)					
微生物利用科学特講	2		2		
微生物利用科学演習	1		1		
(食品科学分野)					
食品科学特講	2		2		
食品科学演習	1		1		
生物資源利用科学特別講義Ⅱ	4	4			
生物資源利用科学特別研究Ⅱ	10	10			
学位論文					

Ⅲ 応用生命科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(生体分子科学分野)				左記のうちから、必修科目を含め17単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生体分子科学特講	2		2		
生体分子科学演習	1		1		
(細胞生物科学分野)					
細胞生物科学特講	2		2		
細胞生物科学演習	1		1		
(生体機能科学分野)					

生体機能科学特講	2		2		
生体機能科学演習 (分子生態科学分野)	1		1		
分子生態科学特講	2		2		
分子生態科学演習	1		1		
応用生命科学特別講義Ⅱ	4	4			
応用生命科学特別研究Ⅱ	10	10			
学 位 論 文					

Ⅳ 生物環境科学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(ストレス耐性科学分野)				左記のうちから、必修科目を含め17単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、4分野のうち1分野を選択必修とする。	
ストレス耐性科学特講	2		2		
ストレス耐性科学演習	1		1		
(環境計画学分野)					
環境計画学特講	2		2		
環境計画学演習	1		1		
(環境創造保全学分野)					
環境創造保全学特講	2		2		
環境創造保全学演習	1		1		
(環境情報科学分野)					
環境情報科学特講	2		2		
環境情報科学演習	1		1		
生物環境科学特別講義Ⅱ	4	4			
生物環境科学特別研究Ⅱ	10	10			
学 位 論 文					

Ⅴ 生物資源経済学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
(生物資源・食品経済学分野)				左記のうちから、必修科目を含め17単位以上を修得した上、学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源・食品経済学特講	2		2		
生物資源・食品経済学演習	1		1		
(食品流通・経営学分野)					
食品流通・経営学特講	2		2		

食品流通・経営学演習 (国際食料資源経済学分野)	1		1	
国際食料資源経済学特講	2		2	
国際食料資源経済学演習 (国際地域開発学分野)	1		1	
国際地域開発学特講	2		2	
国際地域開発学演習	1		1	
生物資源経済学特別講義Ⅱ	4	4		
生物資源経済学特別研究Ⅱ	10	10		
学 位 論 文				

第133条 獣医学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士課程

獣医学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
獣医比較形態学分野				6分野のうち1分野の特別講義，特別演習，特別研究計12単位，獣医学特論6単位及び他分野から12単位以上合計30単位以上を選択履修し，学位論文を提出しなければならない。	
獣医比較形態学特別講義	2		2		
獣医比較形態学特別演習	5		5		
獣医比較形態学特別研究	5		5		
獣医比較機能学分野					
獣医比較機能学特別講義	2		2		
獣医比較機能学特別演習	5		5		
獣医比較機能学特別研究	5		5		
獣医感染制御学分野					
獣医感染制御学特別講義	2		2		
獣医感染制御学特別演習	5		5		
獣医感染制御学特別研究	5		5		
獣医疾病予防学分野					
獣医疾病予防学特別講義	2		2		
獣医疾病予防学特別演習	5		5		
獣医疾病予防学特別研究	5		5		
獣医病態制御学分野					
獣医病態制御学特別講義	2		2		
獣医病態制御学特別演習	5		5		
獣医病態制御学特別研究	5		5		
獣医病態情報学分野					
獣医病態情報学特別講義	2		2		
獣医病態情報学特別演習	5		5		
獣医病態情報学特別研究	5		5		
獣 医 学 特 論	6	6			

第134条 薬学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士課程

薬学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
医 療 薬 学 特 論 I	1	1		必修単位28単位以上, 選択科目2単位以上, 計30単位以上を修得し学位論文を提出しなければならない。	
医 療 薬 学 特 論 II	1	1			
病 態 科 学 特 論 I	1	1			
病 態 科 学 特 論 II	1	1			
解 析 学 特 論	1	1			
生 命 科 学 特 論	1	1			
製 剤 設 計 学 特 論	1	1			
臨 床 薬 物 動 態 学 特 論	1	1			
創 薬 化 学 特 論	1	1			
アカデミック・ライティング	1	1			
天 然 薬 物 化 学 特 論	1		1		
環 境 衛 生 学 特 論	1		1		
病 院 実 務 実 習	6		6		
実 践 薬 学 分 野 研 究	2		2		
応 用 薬 学 分 野 研 究	2		2		
基 礎 薬 学 分 野 研 究	2		2		
薬 学 特 別 研 究	18	18			
学 位 論 文					

第135条 総合社会情報研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

各専攻共に専攻の授業科目及び共通科目から、必修科目を含めて30単位以上を修得しなければならない。ただし、そのうち、8単位以上を面接授業で修得しなければならない。

各専攻ともに、他専攻の授業の選択科目を履修した場合、4単位を上限に修了に必要な単位数に加算することができる。

I 国際情報専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
国 際 情 報 論 特 講	4	4			
現 代 政 治 学 特 講	4		4		
国 際 法 特 講	4		4		
国 際 政 治 論 特 講	4		4		
多 文 化 共 生 論	4		4		
国 際 関 係 論 特 講	4		4		
行 政 論 特 講	4		4		
危 機 管 理 論 特 講	4		4		
組 織 倫 理 論 特 講	4		4		
日 本 政 治 史 論 特 講	4		4		
都 市 計 画 論 特 講	4		4		
地 方 共 生 論 特 講	4		4		
知 的 財 産 論 特 講	4		4		
国 際 メ デ ィ ア 論 特 講	4		4		
日 中 比 較 社 会 論 特 講	4		4		
経 済 理 論 特 講	4		4		
国 際 経 済 政 策 論 特 講	4		4		
グ ローバル 経 営 戦 略 論 特 講	4		4		
現 代 ファイナンス論特講	4		4		
ア カウンティング論特講	4		4		
マ ー ケ ティング論特講	4		4		
人 材 マ ネ ジ メ ン ト 論 特 講	4		4		

多国籍企業論特講	4		4		
流通ビジネス論特講	4		4		
ビジネス法特講	4		4		
ファミリービジネス論特講	4		4		
ファミリーガバナンス論特講	4		4		
事業承継論特講	4		4		
事業創造論特講	4		4		
地方創生・振興論特講	4		4		
ローカルビジネス論特講	4		4		
特別研究	6	6			
学位論文					

Ⅱ 文化情報専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
文化情報論特講	4	4			
比較文学特講	4		4		
世界文学特講	4		4		
翻訳論特講	4		4		
メディア文化論特講	4		4		
日本文化論特講Ⅰ	4		4		
日本文化論特講Ⅱ	4		4		
アジア文化論特講	4		4		
英語圏文化論特講	4		4		
言語教育学特講	4		4		
言語教育研究特講	4		4		
言語学特講	4		4		
異文化間コミュニケーション論特講	4		4		
社会言語学特講	4		4		
第二言語習得論特講	4		4		
言語教育工学特講	4		4		
言語教育デザイン論特講	4		4		
日本語学特講	4		4		
日本語教育方法論特講	4		4		
日本語教育研究法特講	4		4		

英 語 学 特 講	4		4	
英語教育方法論特講	4		4	
特 別 研 究	6	6		
学 位 論 文				

Ⅲ 人間科学専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
人 間 科 学 特 講	4	4			
社 会 哲 学 特 講	4		4		
哲 学 史 特 講	4		4		
宗 教 哲 学 特 講	4		4		
科 学 哲 学 特 講	4		4		
生 命 倫 理 学 特 講	4		4		
社 会 思 想 史 特 講	4		4		
心 理 学 史 特 講	4		4		
心 理 学 研 究 法 特 講	4		4		
認 知 心 理 学 特 講	4		4		
社 会 心 理 学 特 講	4		4		
産 業 ・ 組 織 心 理 学 特 講	4		4		
臨 床 心 理 学 特 講	4		4		
医 療 心 理 学 特 講	4		4		
行 動 分 析 学 特 講	4		4		
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 心 理 学 特 講	4		4		
生 涯 学 習 論 特 講	4		4		
学 校 教 育 学 特 講	4		4		
教 育 心 理 学 特 講	4		4		
教 育 臨 床 学 特 講	4		4		
生 徒 指 導 論 特 講	4		4		
教 育 評 価 論 特 講	4		4		
健 康 科 学 特 講	4		4		
安 全 学 特 講	4		4		
人 間 工 学 特 講	4		4		
環 境 生 理 学 特 講	4		4		
ス ポ ー ツ 運 動 学 特 講	4		4		

スポーツ医学特講	4		4		
スポーツ心理学特講	4		4		
コーチング学特講	4		4		
特別研究	6	6			
学位論文					

IV 共通科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
調査分析特講	4		4		
統計基礎 I	2		2		
統計基礎 II	2		2		
ゲーム理論	2		2		

- ① 各専攻における授業方法は、指定教材等による授業、面接授業及びメディアを利用して行う授業のいずれかにより又はこれらの併用により行う。
- ② 指定教材等による授業は、研究課題を設け、次の方法で指導する。
 - (1) 教材は、必要に応じてシラバス等で指定する。
 - (2) 研究指導書は、各授業科目により必要に応じて配布する。
 - (3) 学生は所定の研究課題について、報告書（レポート）を提出し、研究指導を受け、合格しなければならない。
 - (4) 報告書（レポート）に対しては、担当教員が添削し、講評を行った上返送する。
 - (5) 研究課題の質疑は所定の通信手段をもって行う。
- ③ 面接授業は、所定の施設において行う。実施する時期、場所及び科目等については、別に定める。
- ④ メディアを利用して行う授業は、指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段により行う。
- ⑤ 各授業科目を履修した者は、指定の時期及び場所において、当該授業科目の試験又はスクーリング試験を受けなければならない。

2 博士後期課程

12単位以上を修得しなければならない。

I 総合社会情報専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(国際情報分野)					

現代政治学特殊研究	4	4		
国際法特殊研究	4	4		
国際政治論特殊研究	4	4		
危機管理論特殊研究	4	4		
日本政治史論特殊研究	4	4		
国際メディア論特殊研究	4	4		
開発政策論特殊研究	4	4		
日中比較社会論特殊研究	4	4		
経済理論特殊研究	4	4		
国際経済政策論特殊研究	4	4		
国際経営論特殊研究	4	4		
流通経営論特殊研究	4	4		
ファミリービジネス論特殊研究	4	4		
(文化情報分野)				
比較文学特殊研究	4	4		
翻訳論特殊研究	4	4		
日本文化特殊研究	4	4		
アジア文化特殊研究	4	4		
言語教育学特殊研究	4	4		
言語学特殊研究	4	4		
異文化間コミュニケーション論特殊研究	4	4		
第二言語習得論特殊研究	4	4		
言語教育方法論特殊研究	4	4		
(人間科学分野)				
社会哲学特殊研究	4	4		
宗教哲学特殊研究	4	4		
生命倫理特殊研究	4	4		
近現代哲学特殊研究	4	4		
社会思想史特殊研究	4	4		
教育思想史特殊研究	4	4		
比較心理学特殊研究	4	4		
産業・組織心理学特殊研究	4	4		
行動分析学特殊研究	4	4		

教育学特殊研究	4		4		
教育認識論特殊研究	4		4		
健康科学特殊研究	4		4		
特別研究指導					
学位論文					

- ① 授業方法は、指定教材等による授業、面接授業及びメディアを利用して行う授業のいずれかにより又はこれらの併用により行う。
- ② 指定教材等による授業は、研究課題を設け、次の方法で指導する。
 - (1) 教材は、必要に応じてシラバス等で指定する。
 - (2) 研究指導書は、各授業科目により必要に応じて配布する。
 - (3) 学生は所定の研究課題について、報告書（レポート）を提出し、研究指導を受け、合格しなければならない。
 - (4) 報告書（レポート）に対しては、担当教員が添削し、講評を行った上返送する。
 - (5) 研究課題の質疑は所定の通信手段をもって行う。
- ③ 面接授業は、所定の施設において行う。実施する時期、場所及び科目等については、別に定める。
- ④ メディアを利用して行う授業は、指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段により行う。

第136条 法務研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 専門職学位課程

I 法務専攻

科目区分ごとに履修方法で定めた単位数のほか、②法律実務基礎科目（修得すべき単位数12単位を除く）、③基礎法学・隣接科目（修得すべき単位数4単位を除く）及び④展開・先端科目（修得すべき単位数12単位を除く）のうちから6単位以上を含め、96単位以上を修得しなければならない。

① 法律基本科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
公法系				必修単位数46単位のほか、	
憲法基礎演習	1	1		公法系演習Ⅰ	
憲法Ⅰ	2	2		公法系演習Ⅱ	
憲法Ⅱ	2	2		公法系演習Ⅲ	
行政法	2	2		のうちから4単位以上、	
憲法総合	2	2		民事法系演習Ⅰ	
行政法総合	2	2		民事法系演習Ⅱ	
公法系演習Ⅰ	2		2	民事法系演習Ⅲ	
公法系演習Ⅱ	2		2	のうちから4単位以上、	
公法系演習Ⅲ	2		2	民事法系演習Ⅳ	
民事系				民事法系演習Ⅴ	
民法基礎演習	2	2		のうちから2単位以上、	
民法Ⅰ	2	2		民事法系演習Ⅵ	
民法Ⅱ	2	2		民事法系演習Ⅶ	
民法Ⅲ	2	2		のうちから2単位以上、	
民法Ⅳ	2	2		刑事法系演習Ⅰ	
民法Ⅴ	2	2		刑事法系演習Ⅱ	
会社法	2	2		刑事法系演習Ⅲ	
民事訴訟法	2	2		のうちから4単位以上、計	
民法総合Ⅰ	2	2		16単位以上を含め、合計	
民法総合Ⅱ	2	2		62単位以上を修得しな	
商法総合	2	2		ければならない。	

民事訴訟法総合	2	2		
民事法系演習Ⅰ	2		2	
民事法系演習Ⅱ	2		2	
民事法系演習Ⅲ	2		2	
民事法系演習Ⅳ	2		2	
民事法系演習Ⅴ	2		2	
民事法系演習Ⅵ	2		2	
民事法系演習Ⅶ	2		2	
刑事系				
刑法基礎演習	1	1		
刑 法 Ⅰ	2	2		
刑 法 Ⅱ	2	2		
刑事訴訟法	2	2		
刑法総合	2	2		
刑事訴訟法総合	2	2		
刑事法系演習Ⅰ	2		2	
刑事法系演習Ⅱ	2		2	
刑事法系演習Ⅲ	2		2	

② 法律実務基礎科目

授 業 科 目	単位数	必修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
法 曹 倫 理	2	2		必修単位数10単位を含め、 合計12単位以上を修得し なければならない。	
要件事実と事実認定の基礎	2	2			
刑事事実認定論	2	2			
民事訴訟実務の基礎	2	2			
刑事訴訟実務の基礎	2	2			
法 情 報 調 査	2		2		
法 文 書 作 成	2		2		
クリニック・ローヤリング	2		2		
エクスターンシップ	2		2		
企 業 法 務	2		2		

③ 基礎法学・隣接科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
基礎法学科目				選択単位数4単位以上を修得しなければならない。	
法 哲 学	2		2		
法 制 史	2		2		
英 米 法	2		2		
独 法	2		2		
隣接科目					
立 法 学	2		2		
政 治 学	2		2		
会 計 学	2		2		

④ 展開・先端科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
労 働 法 I	2		2	選択単位数のうち、 労働法 I 労働法 II 労働法演習 経済法 経済法演習 国際公法 国際私法 I 国際私法 II 国際私法演習 知的財産法 I 知的財産法 II 知的財産法演習 租税法 租税法演習 倒産法 I 倒産法 II 倒産法演習 環境法 環境法演習 のうちから4単位以上を含 め、合計12単位以上修得し なければならない。	
労 働 法 II	2		2		
労 働 法 演 習	2		2		
経 済 法	2		2		
経 済 法 演 習	2		2		
国 際 公 法	2		2		
国 際 私 法 I	2		2		
国 際 私 法 II	2		2		
国 際 私 法 演 習	2		2		
国 際 取 引 法	2		2		
知 的 財 産 法 I	2		2		
知 的 財 産 法 II	2		2		
知 的 財 産 法 演 習	2		2		
租 税 法	2		2		
租 税 法 演 習	2		2		
民事執行法・民事保全法	2		2		
倒 産 法 I	2		2		
倒 産 法 II	2		2		
倒 産 法 演 習	2		2		
事 業 再 生 法	2		2		

事業再生法演習	2		2	
消費者法	2		2	
保険法	2		2	
金融商品取引法	2		2	
環境法	2		2	
環境法演習	2		2	
法医学	2		2	
医療と法	2		2	
医療紛争論	2		2	
地方自治法	2		2	
情報法	2		2	
経済刑法	2		2	
外書講読	2		2	

第5節 科目等履修生・聴講生・特別聴講学生及び研究生

第137条 大学院修士課程及び大学院専門職学位課程の授業科目中の1科目又は数科目の履修を希望する者に対して、科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生の出願手続等については、別に定める。

第138条 科目等履修生は、履修した授業科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には、所定の単位を与えることができる。

第139条 大学院修士課程の授業科目中の1科目又は数科目の聴講を希望する者に対して、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生の出願手続等については、別に定める。

第140条 国内又は国外の他の大学院の学生が大学院研究科の授業科目の履修を希望するときは、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生の出願手続等については、別に定める。

第141条 各研究科において、特殊な事項に関する研究に従事しようとする者に対して、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生の出願手続等については、別に定める。

第142条 国内又は国外の他の大学院の学生が各研究科において、特殊な事項に関する研究に従事しようとするときは、特別研究学生として入学を許可することがある。

2 特別研究学生の出願手続等については、別に定める。

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和2年4月1日施行の学則については、第20条から第22条、第25条、第28条から第30条、第34条、第36条、第40条、第51条、第77条、第105条、第106条（第2項、第4項、第5項及び第6項を除く）及び第116条は、入学年度にかかわらず、この規定を適用する。
- 3 工学部土木工学科、建築学科、生命応用化学科及び情報工学科の収容定員は、第12条の規定にかかわらず、令和4年度から令和6年度までの間、次のとおりとする。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
土木工学科	610	620	630
建築学科	730	740	750
生命応用化学科	610	580	550
情報工学科	730	740	750

- 4 医学部医学科の毎年入学定員及び収容定員は、第12条の規定にかかわらず、「地域の医師確保等の観点からの令和4年度医学部入学定員の増加について（令和3年8月16日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」、「地域の医師確保等の観点からの令和5年度医学部入学定員の増加について（令和4年8月29日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」及び「地域の医師確保等の観点からの令和6年度医学部入学定員の増加について（令和5年8月8日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、令和6年度から令和11年度までの間、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
毎年入学定員	135	120	120	120	120	120
収容定員	755	755	755	755	750	735

- 5 生物資源科学部各学科（獣医学科を除く）の収容定員は、第12条の規定にかかわらず、令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
バイオサイエンス学科	210	420	630
動物学	136	272	408
海洋生物学	146	292	438
森林学	120	240	360

環 境 学 科	130	260	390
アグリサイエンス学科	140	280	420
食 品 開 発 学 科	146	292	438
食 品 ビ ジ ネ ス 学 科	554	564	574
国 際 共 生 学 科	146	292	438
獣 医 保 健 看 護 学 科	80	160	240
生 命 農 学 科	390	260	130
生 命 化 学 科	390	260	130
動 物 資 源 科 学 科	408	272	136
森 林 資 源 科 学 科	390	260	130
海 洋 生 物 資 源 科 学 科	408	272	136
生 物 環 境 工 学 科	390	260	130
食 品 生 命 学 科	408	272	136
国 際 地 域 開 発 学 科	390	260	130
応 用 生 物 科 学 科	378	252	126
く ら し の 生 物 学 科	240	160	80

- 6 危機管理学部危機管理学科の学位に付記する専攻分野の名称は、令和3年度以前の入学者については、従前の例による。
- 7 教育公務員特例法等の一部を改正する法律（平成28年11月28日法律第87号）附則第五条（教育職員免許法の一部改正に伴う経過措置）の適用を受けない者は、教職課程に関して、本学則の適用を受けるものとする。
- 8 平成30年度以前から在学する学生については、教職課程の履修に関して、本学則に定める授業科目を履修する必要があると認められる場合、本学則に定める授業科目を履修することができるものとする。
- 9 令和元年度以前から在学する学生については、文理学部社会教育主事コースの履修に関しては、本学則に定める授業科目を履修する必要があると認められる場合、本学則に定める授業科目を履修することができるものとする。

別表 1 の 1

<p style="text-align: center;">教育研究上の目的（大学）</p>
<p>法学部 第一部</p>
<p>法律の知識を基礎として、高水準の実践的な専門教育と国際的教養人としての教養教育に努め、高い倫理観と優れた人格を備えた法律的なものの考え方ができる人材を養成する。また、高度な職業意識と専門的な能力を兼ね備えた人材を養成する。 (法律学科)</p> <p>社会全般に対する広範な知識をもとに、自ら問題を摘示する能力、いわゆるリーガルマインドと称される論理的思考能力、問題解決能力を身につけ、グローバル化が進み、価値観が多様化する現代社会の中で生起する様々な問題に対して、一定のルールに従い解決する能力を発揮することができる人材を養成する。 (政治経済学科)</p> <p>現代社会において必要不可欠な政治・経済・法律に関する幅広い知識と理論を基礎として、自分独自の視点で問題を見きわめる能力や論理的・批判的な思考能力、社会に存在する諸問題を解決していく能力、そして自己を省察する能力を身につけ、国や地方の公共団体、民間企業、NGO/NPO、マスメディア、そして国際的なフィールドなど、社会のあらゆる場面において実践的な能力を発揮することができる人材を養成する。 (新聞学科)</p> <p>法律学、政治学などの知識を踏まえ、新聞学（ジャーナリズム・メディア・情報・コミュニケーションに関わる学際領域）の基礎理論を把握し、グローバル化、ネットワーク化する現代社会を理解するための思考法を身につけ、専門的学知を用いて真理を探究することのできる能力と、人間社会の相互理解や自由と平等に寄与する能力を涵養し、研究者やジャーナリスト、情報の誠実で責任ある担い手となる人材を養成する。 (経営法学科)</p> <p>経営と法に関する確固たる知識と世界に発信できる語学力・コミュニケーション能力に基づいて、国内外の経営活動・企業活動の発展に貢献することの重要性と必要性を認識し、自らの考えを述べる力と力を涵養することによって、企業が直面する様々な課題に対処することができる力を身につけ、国内外の経営活動・企業活動における経営と法に関する体系的知識を修得し、実務的観点に立って問題を解決することができる人材を養成する。 (公共政策学科)</p> <p>公共政策、行政、法律、政治、経済の知識を基礎として、公共に関わる分野、国及び自治体の機能、政策の分析方法・技法に関する知識・理解の上に、公共政策の立案・実施や政策効果の分析に係る能力を身につけ、国及び地方の行政組織で活躍する公務員、公共・公益分野を中心とする民間企業や「新しい公共」の担い手となる諸団体（NPO法人、福祉団体、学校・教育機関など）でリーダーシップを発揮できる人材を養成する。</p>
<p>法学部 第二部</p>
<p>(法律学科)</p> <p>社会全般に対する広範な知識をもとに、自ら問題を摘示する能力、いわゆるリーガルマインドと称される論理的思考能力、問題解決能力を身につけ、グローバル化が進み、価値観が多様化する現代社会の中で生起する様々な問題に対して、一定のルールに従い解決する能力を発揮することができる人材を養成する。</p>

文 理 学 部

文理学部は、人文学をはじめ社会科学や理学に関する幅広い学問領域をカバーし、「文と理」の横断、融合を目指した教育を基本として、各学科による個々の専門に応じた教育・研究を行う。そのために、

①学際的な専門知 (Interdisciplinary Expertise)

②学びと教えの循環 (“Peer to Peer” Learning)

③他者への想像力 (Imagination for Others)

の3つの柱を組み合わせた教育・研究を通して、グローバル化した21世紀を生きぬき、自由でしなやかに社会をリードすることができる多様性とアイデンティティ (Diversity and Identities) を形成する。

これにより、専門的な知識や技術とともに、境界を超えた柔軟で学際的な思考と創造力、そして対等に開かれた学びのネットワークを通じて、既成概念を超えた新しい協働の場を作り、正解のない困難な課題に立ち向かうことのできる創造的かつ実践的な知の担い手としての人材を養成する。

(哲学科)

哲学・倫理学・美学・宗教学の理論と方法を学ぶことを通じて、人間の価値と文化的実践に関わる総合的・体系的な研究を行う。特に、古今の哲学者の著作や資料を厳密に読み解くことを基本としながら、思想全般にわたる幅広い知識を身につけて、鋭い思考力と複眼的なものの見方を養う。それによって、多様化する現代社会の中で自ら問題を発見し、分析して解決することができる人材を養成する。

(史学科)

現代社会の様々な問題を解決するためには、過去の経緯を踏まえることが必要である。ゼミナール制を基本とした充実した教育環境の下で、歴史及びその研究法を習得し、歴史的視点と、より正確な歴史像把握の方法を身に付け、豊かな現代社会の構築に寄与する人材を養成する。

(国文学科)

日本語学・日本文学の各分野における多角的で総合的な研究に基づく教育のもと、中学校・高等学校等の国語科・書道科教員をはじめとして、日本語・日本文学・日本文化に関する深い知識と、それらを駆使した優れた思考力、対話力、文章力、プレゼンテーション能力をもった、社会的に有為な人材を養成する。

(中国語中国文学科)

本学科では、「読む・書く・聞く・話す」などすべての面で実用にたえる中国語の教育を行う。さらに、長い歴史と広い領域にわたる多様な中国文化を理解し、東アジアを主とする国際社会で活躍できる人材を養成する。

(英文学科)

高度な英語運用能力と英米文学及び英語学の知識に基づく豊かな教養を備え、国際社会の場をはじめ各方面で活躍できる能力を持つ人材を養成する。具体的には、コミュニケーション中心の科目群の学修を通して社会に十分通用する英語運用能力を身に付けさせ、英米の文学・文化・言語の専門知識に裏打ちされた多様な価値観を持つ、個性豊かな人材を養成する。

(ドイツ文学科)

1959 (昭和34) 年の学科創設以来の研究と教育の蓄積を活かし、ドイツ語力を基盤にしたドイツ、オーストリア、スイスなどのドイツ語圏の文学・言語学・文化についての専門的な指導を行い、また実用ドイツ語力を身に付けられるようドイツ語ネイティブ教員による授業を多数開講するほか、ドイツ語技能検定試験や海外語学研修も単位認定をする形で受験・参加を奨励し、国際的な広い視野と豊かな感性並びに柔軟な判断力を備えた有為な人材を養成する。

(社会学科)

1920（大正9）年の学科創設以来、「文と理」の横断・融合を目指す文理学部の中で、自然科学と異なる問題意識から出発した社会科学において独自の特徴を有する社会学の強みを活かし、理論と実証と実践のいずれをも重視する学風を築き上げてきた。このような伝統の下で、グローバル化する現代社会における問題や課題を見だし、その解決に力を発揮することで、自由でしなやかな社会の構想を具体化する人材の養成を目指す。具体的には、①社会学の理論・学説と方法を深く学び身に付け、②社会学的な思考力や想像力を培い、③現実社会を的確に調査・分析し考察する力を高め、④企画立案と課題解決のための力を養成する。

（社会福祉学科）

社会福祉のあり方は、社会の変化や人々の価値観の多様化、その時々を経済情勢などに対応することが求められる。また、社会福祉の主体は、行政機関、非営利団体、地域の組織や住民、社会的企業など多岐にわたる。

こうした社会の状況を踏まえつつ、社会福祉学の理念や制度、社会福祉の実践（ソーシャルワーク）を融合した教育研究を実現することで、変化・多様化するニーズに柔軟に対応し、さまざまな主体との協働によって、人々が幸せに生活することができる福祉社会の創造に貢献できる人材の養成を目的とする。

このため、多彩な福祉専門領域の教育研究を通じて、社会福祉の理論や相談援助に関する価値・知識・技術を体系的に学ぶとともに、それぞれの学生のキャリア形成も見据えつつ、社会問題の解決を目指した多様な分野の理論や実践に触れることで、高い専門性、豊かな人間性と福祉マインド、地域における協働を通じた社会問題の解決に取り組む実践力を育む。

（教育学科）

教育については、原理的かつ総合的に学習することにより、教職をはじめとする多様な分野において活躍し得る人材を養成する。研究については、教育に関する幅広い視野と問題意識をもつ多くの教員を擁し、各分野における最前線の研究活動を通じて、その成果を学生に還元する。

（体育学科）

体育・スポーツ・健康を取り巻く様々な学問領域における最先端の研究成果を活かしながら、優れた運動技能と高度な科学的知識・技術及び実践力を備えた、活力あふれる人間性豊かな専門家を養成する。

（心理学科）

基礎と応用の両領域で、バランスのとれた心理学の知識を身に付け、社会貢献ができる人材育成を目標にしている。また、公認心理師コースにおいては、医療・福祉・教育・司法・産業等の領域で心理学的な専門的支援を担う公認心理師として活躍できる人材を養成することを目標にしている。そのために、「人間のこころ」を科学的に理解する心理学的知識や方法を習得し、実社会に応用できる力を身に付け、自身で能動的に考え、行動する能力を育成する。そして、「社会の中で役に立つ心理学」を実践する人材を養成する。

（地理学科）

自然地理学、地理情報学、人文地理学、地誌学の4つの分野において、実験や野外実習を通じて地域調査の方法を身につけるとともに、GIS やリモートセンシングなどを用いた分析・問題解決能力を養成する。とくに、環境保全計画や災害対策、産業立地計画、地域政策、シンクタンク、観光業界、中学・高等学校の教育職などの諸分野で活躍できる人材を養成する。

（地球科学科）

気象学、水圏科学、地球化学、地質学、地球物理学などの地球科学的な知識と技術に基づき、自然災害問題や地球環境問題の具体的な課題に対処できる基礎的能力をもった人材や、幅広い地球科学的教養を身に付け社会の様々な領域で活躍できる人材を養成する。

（数学科）

抽象的な数学から実際に役立つ応用数学まで幅広い数学の教育・研究を行っている。抽象的な数学を学ぶことから発想力や、正確な論理を展開する力を習得し、応用数学を学ぶことから直ちに社会に役立つ数学の運用力を習得することで、教員や柔軟性と応用力を備えた即戦力となる人材を養成する。

(情報科学科)

情報科学に関連する知識・技術を基礎から指導することにより、物事を論理的に分析・理解し、原理的側面から問題解決を行う能力と新しい情報技術に対応できる能力を養う。また、新しい情報技術を創出し、情報社会の発展に寄与できる資質を養成する。

(物理学科)

現代の先端科学技術の発展に十分対処できる基礎的・専門的な学力・知識を備えた科学技術者を養成し、企業、教育・研究機関、産業界に人材を提供する。科学の基礎である物理学を学ぶことによって、技術力、計算力、思考力及び判断力を養い、未来の科学技術及び産業界の発展に貢献できる能力を養成する。また、理科の教員を養成し、次世代の教育に貢献する。

(生命科学科)

人間社会が直面している健康と医療・エネルギー・食糧・環境・自然再生などの問題は、生命科学と密接に関連している。そこで、分子から生態系にいたる様々なレベルで、生物の「生きる」メカニズムを体系的に学ぶことによって、このような諸問題に対応できる人材を養成する。また、理科の教員を養成し、次世代の教育に貢献する。

(化学科)

21世紀における資源やエネルギー源の枯渇、食糧不足、人口問題、環境問題など、人類が繁栄するために解決しなければならない諸問題に対して、化学が果たす役割は大きい。このようなニーズに応えるため、化学のみならず他の分野との境界領域に踏み込める基礎的な知識と力量を身に付け、関連分野でも活躍できる化学技術者・研究者を養成する。また、理科の教員を養成し、次世代の教育に貢献する。

経済学部

自立した個人の自主的な努力を原則に、教職員と学生が一体になって、変化する経済的社会的環境に対し、人間としての生きる力、愛する力、考える力を養い、その全人格的能力を自由かつ多様に伸長することを図る。そのことを通して、経済諸現象を経済・経営・会計の諸分野で分析できる能力を養い、国際的視野を持って高度情報化時代に対応できる健全かつ高度な専門職業人・社会人を養成する。

(経済学科)

経済学を系統的かつ体系的に学ぶために、基礎的教養・知識を修得しつつ、近代経済学の基礎理論を理解し、これを土台に、専門的能力を養成することによって、経済現象を経済学的に分析し、論理的に叙述する力を涵養し、変化の激しい経済社会に常に対応できる豊かな教養と専門知識を備えた人材を養成する。

(産業経営学科)

経済及び経営の専門的基礎力と広い視野からの社会的基礎力を養い、これを土台に、応用力を身に付けることによって、柔軟で倫理観にあふれたビジネスリーダーを養成するとともに、ビジネス社会における各組織の中で、主体的に問題を発見し、その解決のための諸方法を展開できる人材を養成する。

(金融公共経済学科)

現代経済のインフラストラクチュアともいべき金融システム、公共システムを対象として、系統的な近代経済学の知識、特にミクロ経済理論を応用して現実の金融、公共経済の働きを理解する能力の習得や、金融部門、公共部門での交渉力、企画立案能力の獲得をねらった、高度で実践的な教育サービスを提供する。そのことを通して、今後のわが国の成長や発展に大きく寄与する、知識と実務能力、金融技術、政策立案技術を備えた人材を養成する。

商学部

激しく変動する市場経済の下でビジネスを行うには商品、人的資源、資金、情報にかかわる知識と実践的技能の習得が必要である。そのため、実学としてビジネスの理論を学修するとともに、幅広い教養に裏打ちされた職に就く力（就職力）を身に付け、国内だけでなく広く世界を視野に入れて、営利企業、非営利組織、行政で活躍できる専門能力、人間力をもった人材を養成する。

(商業学科)

商業学は、グローバル化や IT 化などの時代の変化に対応して進化をとげつつある。ビジネス・経済にかかわる専門的な知識を基に、マーケティング、流通、貿易、金融、ビジネス法務など多様な科目群を総合的・体系的に学ぶとともに、実践への応用力を養い、激動する市場環境に対応できる的確な判断力、問題解決能力を備えた人材を養成する。

(経営学科)

21 世紀は、市場化が従来の社会、行政領域などに一層進むと予想される。市場経済の担い手は企業組織を中心とするが、これらに加えて多様な非営利組織など様々な特定の組織が参加することになる。これら市場化の進展に対応する各種の事業組織の創設、組織化、運営、評価などを専門的に行う人材を養成する。

(会計学科)

企業の経営活動の動きを貨幣額、物量という側面から把握した情報を、経営管理に役立て、株主などのステークホルダーに企業成果などの財務内容を開示する役割を果たすのが、会計の中心的役割である。このため、社会における会計学の意義と役割を認識し、国際的な視野で、会計学の理論と実践に関する専門的知識を習得し、ビジネス社会をリードできる人材を養成する。また同時に、公認会計士や税理士を目指す職業会計人も養成する。

芸 術 学 部

芸術総合学部としての特徴と伝統を保持するとともに、21 世紀における芸術の持つ社会的先導性にかんがみ、学科の各々の専門教育をさらに充実・発展させ、同時に、学科の垣根を越えた総合的なカリキュラムを展開することで、芸術・文化全般にわたる広い視野を持った人材を養成する。

(写真学科)

撮影・プリント、展示などの実践技術および写真史・写真作品研究、写真芸術などの表現まで徹底した基礎教育を行い、技術・応用力をもった創造性を兼ね備えた人材を養成する。その上に、社会や諸芸術に対する自己の考えを有する社会に貢献できる写真家、写真研究者などのスペシャリストを養成する。

(映画学科)

デジタル技術の進歩で新たな時代を迎えた映像文化を、理論・評論、映像、脚本、監督、撮影・録音、演技分野で、「芸術創造」と「情報伝達」の両面から探求し、高度な専門知識と技術を身に付けた創作者、技術者、研究者などの映画・映像のスペシャリストを養成する。

(美術学科)

美術にかかわる諸分野の専門家を養成する。多様化する芸術の現状を見据え、創作と理論、歴史研究や作品研究、表現技術の習得をしながら、作家としての自立を模索していく。また、自己の外側の世界に積極的に関心を持ち、視野を広げ創造を喚起して、自分自身の表現の主題を明確にしていく。

(音楽学科)

従来の音楽専門教育に加え、幅広い視野と教養を身に付けさせる教育を行っている。演奏や創作といった音楽教育もさることながら、時代に即した諸関連芸術分野の習得によって、次世代の音楽芸術を担う人材を養成する。

(文芸学科)

文章芸術の持つ精神的及び文化的な意義を考究し、かつ自らその実践者、すなわち創作者となるよう指導、督励することが教育・研究の主目的である。現代の広範なメディア状況のなかで、文芸創作から社会・文化評論、ジャーナリズム、広告など、文章を通じた多様な表現現場において、第一線で活躍できる創造力豊かな人材を養成する。

(演劇学科)

「理論と実践」「基礎と応用」「専門と総合」のバランスに配慮したカリキュラム体系、並びに学生の個性・習熟度に応じた教育体制を整備し、現代社会における演劇・舞台芸術の役割についての高い見識と、その新しい可能性をひらいていくための技術・創造力を兼ね備えた人材を養成する。

(放送学科)

多様化する情報、進化する放送技術の中で、学生個々の感性を刺激し、魅力的で独創的な作品を創作することによって、自由に自己表現できる人材を養成する。併せて、放送メディアに関する専門知識と情報伝達技術を身に付け、放送について深く理解し、理論的に考察できる人材、独創的で豊かな発想力をもつ人材、さらに放送を基盤とした多様なメディアに対応できる有能な人材を養成する。

(デザイン学科)

少人数教育を基本とし、感性豊かな創造力を育み、新しい時代への視野と洞察力を養う。学生一人ひとりの個性を伸ばし、実践的なデザイン創作活動と斬新な研究からデザインの価値を生み出し、文化の質の向上を導くことで社会に貢献する人材を養成する。

国際関係学部

日本大学の教育理念「自主創造」を実践するとともに、国際社会で活躍するために必要な問題解決能力、社会の各分野で提言できる政策能力、高いコミュニケーション能力を兼ね備えた、国際交流や国際社会の様々な分野で活躍できる人材を養成する。

(国際総合政策学科)

国際交流や国際社会の様々な分野で、困難な問題に対しても、高度な意志決定ができる人材を養成する。国際人として欠かすことのできない英語をはじめとした外国語能力を向上させるために基礎教育を徹底して行う。総合的な教養力を養うとともに、国際関係、国際ビジネス、グローバルスタディ、グローバル観光の4つの履修コースを柱として、国際実務に必要な専門知識とスキルを養成する。

(国際教養学科)

多文化共生社会において、異文化理解を深めるための専門知識と英語を中心とした外国語の実践的な運用能力のある人材を養成する。様々な国・地域における高度な文化的専門知識を養うとともに、国際文化、国際コミュニケーション、グローバルスタディ、グローバル観光の4つの履修コースを柱として、実務に耐える応用力を養成する。

危機管理学部

グローバル化した現代社会を取り巻く様々な危機と向き合い、人々の生命や生活を守る強い信念と高い志を基に、リーガルマインド（法を用いて紛争や問題を解決する能力）とリスクリテラシー（危機管理能力）とを融合させた学識をもって主体的に行動し、日本の秩序の維持と国民の安全、さらには世界の平和の実現に向けて問題解決を実践する人材を養成する。

(危機管理学科)

現代社会で発生する多様な問題に対して、国、地方公共団体、民間企業、メディア、NGO、国際機関などそれぞれの職場において平常時から危機管理の観点を持って主体的に関わり、自然災害、事故、事件や紛争など危機の現場においてリーガルマインドとリスクリテラシーを用いて危機管理を実践するために必要な広い教養と専門知識を備えた人材を養成する。

スポーツ科学部

スポーツに関連する多様な学問領域における最先端の研究成果を活かしながら、スポーツ経験を基盤とする優れたスポーツ技能と科学的知識を備えた世界的レベルの競技者や、人間性豊かな反省的実践家の養成により、広く社会貢献することを教育研究上の目的とする。

(競技スポーツ学科)

「競技スポーツにおける実践力のある反省的実践家の養成」を教育理念に掲げ、教養教育と専門教育の両面から総合的・学際的な教育を行い、国内のみならず、国際的競技会で活躍できる優秀なスポーツ選手の育成や、競技スポーツ分野で活躍できる反省的実践家の指導者を養成する。

理 工 学 部

理工学部の教育理念「自由闊達な精神、豊かな創造性及び旺盛な探究心を持ち、人類の平和と福祉に貢献できる、誇りある人材を養成する」に基づき、理学と工学の連携下、先端技術の創成と情報化・国際化に対応できる教養・基礎教育と、理論と応用を体系的に修得できる実践的な専門教育を実施する。これにより豊かな人間力（教養と高い倫理観）とともに、質の高い学士力を培い、個性・特色ある人材を養成する。

(土木工学科)

心身ともに健全な文化人、土木工学のどの分野にとっても必要な基礎知識を身に付けた土木技術者、進路により適した応用能力を身に付けた土木技術者、伝統を引継ぎ、実社会で多方面に活躍する実践的な土木技術者を養成する。

(交通システム工学科)

高い倫理観を持ち、地球環境の維持と公共の福祉の向上を理解し、歴史や文化に配慮して、持続可能な美しい地域社会の構築と運営に貢献できる交通・建設エンジニア及び交通・都市・環境マネージャーを養成する。そのために、安全かつ快適で豊かな社会の形成に資する交通システムの創造や整備、維持管理、運営、経営を行う総合力と専門能力を養うための教育と研究を行う。

(建築学科)

人類の未来につながる理想的な環境の創出に寄与できる、幅広い視野と豊かな創造性を持つ人材を養成する。このことから、基礎的な建築教育と専門的な素養を深める教育の両方の実施を基本とし、研究者、建築家、建築構造設計者、環境・設備技術者、建築工事監理技術者、建築生産管理技術者、不動産企画・開発者等を目指す学生に対応する教育プログラムを実施する。

(海洋建築工学科)

建築学の基礎知識を修得するとともに、海洋及び沿岸域の環境を理解し、防災安全に優れ多様な立地環境に適合できる建築構造、快適かつ自然環境や景観に配慮した都市・建築計画などの海洋建築工学の専門知識を学ぶ。これらの学問を十分に活用し、高い倫理観を持って人と地球環境に優しい建築物や都市空間を計画・設計・施工できる建築家・技術者を養成する。

(まちづくり工学科)

大都市から山間部や沿岸地域まで幅広い地域を対象として、そこに暮らす人々のニーズを把握したうえで将来像を提案し、それを実現に向かわせるまちづくりの専門家、技術者を養成する。そのために、まちを創造・整備する工学的技術に加え、景観・観光・福祉といった学際的専門分野を理解することで持続可能なまちづくり理論を修得するとともに、演習等を通じてまちづくりの実践的な思考と技術を養うための教育と研究を展開する。

(機械工学科)

機械工学はものづくりを通して、人間生活を豊かにするための総合的な学問である。その機械工学を構成している自然法則の基礎的な理論や概念に立脚し、高度情報化した社会のニーズに応えることのできる創造性豊かな技術者を養成する。

(精密機械工学科)

機械工学に加え電気・電子工学を基礎として、ロボティクスやメカトロニクスに代表される自動化技術、計測制御技術、及びマイクロマシンやマイクロシステムに代表される超微細加工技術、集積化技術を包含した先端の技術分野の研究を行い、さらに新しい技術分野の展開にも対応できる、創造力がありものづくりに強く、骨太で人間性豊かな、かつ環境・福祉にも関心を持つ研究者・技術者を養成する。

(航空宇宙工学科)

航空宇宙工学は、航空機や宇宙機のような大規模で複雑なシステムを対象とし、最先端技術の開発が求められる先駆性、宇宙環境のような極限条件下での高度な信頼性・安全性が求められる極限性、様々な分野の最先端技術が複合的に組み合わせられた総合性を特徴とする。このような特徴を有する航空宇宙工学の修得を通じて、自啓自発の精神を持ち、科学・技術の発展に貢献できる技術者を養成する。

(電気工学科)

豊かな感性と創造性を育むことを理念とし、電気工学を網羅する「エネルギー、エレクトロニクス、情報・通信」を修得することにより、自由な発想と学際的視野も持つ、科学技術の未来を拓く研究者、生活を豊かにする優れた技術者を養成する。

(電子工学科)

電子工学分野の豊富な知識と技術を有し、広い視野に立って科学と自然を理解し、意欲的に課題を発見して解決する能力、並びにコミュニケーション能力や応用力を備え、日々進展する最先端電子工学をリードできる高度な専門性をもつ人材を養成する。

(応用情報工学科)

情報工学の確かな基礎力を有し、ソフトウェアのみならずハードウェアのスキルを身に付け、意欲的に課題を発見して解決する能力、並びにリーダシップ・コミュニケーション能力を備え、情報処理・ネットワーク・組込システムをはじめとする情報技術の世界で将来を担う人材を養成する。

(物質応用化学科)

化学技術の向上は人々の生活を豊かにすることを目標にしており、そのために限りある資源・エネルギーを有効に使い、地球環境を守るための新しい物質変換やエネルギー再生システムの開発が必要である。これを目指し、必要な基礎知識と基礎技術を身に付け、外部に開かれた柔軟な発想によって、新しい物質や技術を開発できる化学技術者を養成する。

(物理学科)

物理学の思考方法を体得し、科学を論理的に考える力、応用力を持ち、学究に対する世界に通じるフロンティア精神を有する次世代の最先端を切り拓く、科学・技術の創成に貢献する人材を養成する。このために、物理学の基本法則の理解と実験による体験を重視し、学生個々が持つ能力を引き出し、広い視野を持ち、未知なる問題を創造的に解決する能力を身に付けさせる教育研究を行う。

(数学科)

現代のあらゆる科学技術の根幹をなす数学と、コンピュータ科学の基礎理論を学ぶことを通して、真理を重んじ追究する数理科学者を養成する。知的活動の真髄である数学のことばを身に付け、情報化された社会が必要とする高度な数理技術・情報処理技術に柔軟に対応でき、夢と目的意識を持つ人材を育てるプログラムを提供する。幅広い教育を実践する能力のある、中学校・高等学校の優秀な教員を養成することも、大切な教育目的である。

生産工学部

幅広い教養と経営管理能力を持ち、学生個々の個性・能力を生かして人類の幸福と安全を実現するために考え行動し、社会に貢献できる技術者を養成する。

このために、技術の進歩に対応できる基礎学力と応用能力、及び技術の社会と自然に及ぼす効果と影響について多面的に考える能力を培う。

(機械工学科)

機械工学は生産活動の基盤を支える学問であり、我々の生活を豊かにしてきた。近年、“機械”は人間や自然環境との調和を図ることが重要視され、長期的、広域的視野を持った技術者が必要とされている。このような背景から、機械の面白さやものづくりの楽しさを体感した経験を持ち、ものの作り方や使われ方を知り、自分が作りたいものを具体化して社会の理解を得ながら、ものづくりの現場をグローバルな視点からマネジメントできる人材を養成する。

(電気電子工学科)

産業構造の変革と高度情報化社会の進展に伴って、電気電子工学の進歩は著しく、また多様化している。これに対応できるように基礎学力と専門領域の知識を身に付け、さらに経営・管理工学を学び、実験・実習を通じて問題解決能力が高く、創造性豊かで、しかも経営能力も有する技術者を養成する。

(土木工学科)

土木分野に関する理論・現象を実験・実習・設計を通して習得するとともに、実社会における生産実習（企業体験）と経営や安全管理の基礎を学び、専門職の実務に対応できる基本能力を備えた技術者を養成する。さらに、習得した知識の集大成として、土木分野の課題を探究・創造・解決するプロセスを学び、土木技術者としての総合能力を養成する。

(建築工学科)

建築の基礎となる、「計画」、「構造」、「環境・設備」、「材料・施工」の総合的知識を持ち、高い倫理観のみならず、国際感覚、問題解決能力、応用能力、創造力、さらには発表能力・対話能力に重点をおいて、徹底的に教育指導をし、国際化が進む社会の要請に応えうる、そして経営能力も有する人材を養成する。

(応用分子化学科)

地球上に存在する物質は、わずか100種類ほどの元素の組み合わせによって成り立っている。これらの物質を対象に、豊かで安全な社会を維持させるために資源と環境を調和させながら、材料の無限の可能性を追求する教育研究を行っている。これによって、物質的な学問知識に加え、必要な特性を持つ素材を生み出す「分子デザイン能力」、環境に優しいものづくりのための「グリーンケミストリー」の概念、及び技術者としての倫理観を備え、製品化に向けた計画から生産するまでの「マネジメント能力」を身に付けた化学技術者を養成する。

(マネジメント工学科)

自然・社会・人間科学などの科学技術を応用した工学的知識をベースに、健全な企業経営の推進，自然・社会環境の向上，人にやさしい製品やシステムの開発・設計そして運用などにかかわる工学的理論や方法論を教育研究し，経済社会の活動を効果的に進めるため，グローバル化にも対応した経営・管理技術を身に付けた人材を養成する。

(数理情報工学科)

IT（情報技術）並びに ICT（情報通信技術）が，既存の生産活動並びにビジネスの仕組みを大きく変えるエンジンであるという認識に立ち，インターネットの活用法，各種プログラミング技法，ソフトウェア構築法などの情報処理能力，並びにシステム工学・数理工学に裏付けられた問題発見・解決能力を習得した人材を養成する。

(環境安全工学科)

地球規模の視野を持ち，持続発展可能な社会の実現のために工学分野を複合的に学び，環境共生とエネルギーに関する知識と応用能力及び技術が社会と自然に及ぼす効果と影響について，サステイナブル（持続可能）な視点から考え行動できる総合能力を有する技術者を養成する。

(創生デザイン学科)

自然科学をベースとする工学知識や技術，芸術を基礎とする感覚や技法，その両方を駆使して人と人工物の理想的な関係を築くことこそがデザインであると捉え，これを実践できる人材を育成することを目標とする。これを実現するために，統合された理論的なデザインの方法である「デザイン思考」の重要なステップ「共感」「問題定義」「創造」「プロトタイピング」「テスト」をカリキュラムに取り入れ，社会全般を見渡して，新しい商品やしくみを提案したり，開発できるデザイン・エンジニアを養成する。

工 学 部

基礎教育の徹底により，工学の基礎力を修得し，自主的に考察し判断できる発想力及び解析能力を培う。さらに，工業技術が社会と環境に及ぼす影響を理解することにより，高い倫理観をもって調和のとれた持続可能な社会の実現に貢献できる人間性豊かな技術者を養成する。

また，教育研究活動を通じて地球環境の保護と健康的な生活に工学の立場から寄与し，その成果を社会と地域に還元する。

(土木工学科)

社会基盤や環境の保全と防災力の向上，資源の循環など，これからの社会システムの基本とすべき事柄を正しく認識した上で，ものづくりに関する基礎技能，自然環境との共生を図る意識及び高い倫理観を有し，社会基盤の整備に実践的に従事できる人間性豊かな技術者を養成する。

(建築学科)

建築学に関する幅広い知識と，専門性の高い技術，さらに創造力豊かな芸術性を修得して，広く地域社会に通用する協調性のある人間性を身に付けるとともに，建築が果たすべき社会的使命としての倫理観や責任感を持った，実践力や指導力のある建築技術者，建築士，デザイナー，研究者，公務員，教員などの人材を養成する。

(機械工学科)

機械工学の基礎と専門分野の知識と技術の修得に重点を置き，機械と人間，社会，自然との関係を深く理解し，地球環境保護，エネルギー・資源再利用などの課題に対応でき，健康で持続可能な暮らしを実現するための知識を身に付けた機械エンジニアを養成する。

(電気電子工学科)

電気電子技術に関して社会貢献できる能力と物事を総合的に判断し得る能力を養うと共に、課題解決のためのチームワーク力と論理的思考力を身に付けることによって、今後の社会環境の変化により生じる新たな要望に対して良識ある倫理観をもって対応でき、かつ国際的視野に立って活躍するために必要なコミュニケーション能力に秀でた第一線で活躍できる情報通信・電気・電子分野の技術者を養成する。
(生命応用化学科)

21世紀を切り開く持続可能な社会システムの実現を目指し、生命・材料・環境等に関わる化学の応用分野の幅広い知識及び実験技術を修得し、高い倫理観と問題解決能力を有する人材を育成することで、生命や環境に配慮した化学製品や医薬品などの開発・生産・普及活動及び環境保全・リサイクル活動等に従事・貢献できる応用化学・環境化学・生命化学の技術者、教員、公務員、研究者等を養成する。

(情報工学科)

情報社会の基盤づくりに貢献できる技術者となるために、自然科学の知識を基礎として、プログラミング、ネットワーク、計算機システム、メディア処理、情報解析などの情報処理に関する基礎技術を修得し、問題を論理的に分析し目標の実現を図る論理的思考能力と実務処理能力を身に付け、他者との的確なコミュニケーション能力を有する人材を養成する。

医 学 部

医学を修める者の社会的責務を自覚し、常に自ら考え研鑽し、豊かな知識・教養に基づき社会に貢献する高い人間力を有する医師を育てる。さらに高い倫理感のもとに、論理的・批判的思考力を有し、世界へ発信できる学際的視野を持った研究者、豊かな個性を引き出し、次世代リーダーを育成する熱意ある教育者の育成を目的とする。

(医学科)

すべての人を平等に愛し、自己犠牲・献身を惜しまない心を持ち、医学・医療の道を通じて社会に貢献する者に相応しい資質と能力を備えた人材を育成する。

歯 学 部

歯学部的前身である東洋歯科医学校の創設者である佐藤運雄先生の唱えた「歯学を口腔に止めず、常に全身と関連づけて学ぶ」という医学的歯学を校是とした教育を基盤としている。さらに、人間教育としては、師による人格の教化と切磋琢磨を基本としている。

また、医療人として、生涯にわたり自己の資質の向上に努め、社会に有為なスキルの高い歯科医師を養成する。

(歯学科)

専門的知識や的確な医療技術と豊かな人間性を有する歯科医師を養成する。すなわち、幅広い教養と総合的な判断力の上に立って、常に最新の科学的情報を基にして問題を探究する能力の高揚と、診療に際して患者本位の歯科医療に携わることのできるスキルを備えた歯科医師を養成する。

松 戸 歯 学 部

口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし、それを具現化した「オーラルサイエンス（口腔科学）」の学びを礎に、自主創造の能力を養い、豊かな知識と教養に基づく高い倫理観を持ち、論理的かつ批判的思考を用いた問題解決力と省察力を有し、歯科医療と歯科保健を通して生涯にわたり社会に貢献できる人材を育成する。

(歯学科)

口腔と全身の健康維持，増進に寄与するために，社会の多様なニーズに対応できる高い職業倫理を備え，あらゆる職種と協働し，地域医療と地域保健に貢献できる歯科医師を育成する。

生物資源科学部

今日，世界は食糧問題や環境問題をはじめ新興感染症など，多くの解決すべき問題を抱えている。生物資源科学部は，「生産・利用科学」，「生命科学」，「環境科学」の3分野を基軸として，自然や生物との共生を図り，人間活動を重視した教育研究を行っている。対象とする生物資源は，これらの問題を解決し，持続可能な社会を実現させる上で必須である。これらの教育と研究を通して，グローバルな視点を持ち，課題を主体的に解決できる能力，優れた科学技術を備えた人間性豊かな人材を養成する。

(バイオサイエンス学科)

生物が持つ多様な情報・物質・機能を最大限に活用するためのバイオサイエンスに関する豊富な知識と，ITやAIを融合した先端的バイオテクノロジーを応用して様々な課題を主体的に解決し，持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成する。

(動物学科)

幅広い動物学の教育研究活動を通して，生態系の重要な要素としての動物の地位と動物が有する様々な潜在能力を理解し，近年の環境問題の解決から動物が有する特異的能力の人類の文化的な生活への応用を考え，実践できる人材を養成する。動物学が包含する専門分野のスペシャリスト養成のみならず，多様化する社会の幅広い分野に対応できる，優れた思考力・応用力・適応力を有した動物学に関するジェネラリストを養成する。

(海洋生物学科)

海洋生物と海洋環境の持続的な維持・管理，生物資源としての海洋生物の効率的な生産及び利用を中心に，関連する生命科学，生産科学，利用科学及び環境科学分野の知識・技術を身につけた人材を養成する。さらに，海洋生物とこれを取り巻く環境の保全や人類の豊かな生活の調和を創造できる能力を持った人材を養成する。

(森林学科)

森林環境とその管理に関わる諸問題を解決するために，森林及び自然環境に関する幅広い基礎知識を持ち，論理的な思考と現場での応用力を備えた人材の養成を目標としている。さらに，これらの豊富な知識，持続可能な森林の利用に関する技術を駆使して，環境に配慮した森林の活用，循環型社会の実現に貢献できる人材を養成する。

(環境学科)

地球環境や地域環境，生態系が日常の暮らしと調和した社会を創造できる人材や，バイオマスエネルギー開発など生物環境を科学的な観点から考察して，環境条件を持続させながら都市や社会を発展させることができる人材を養成する。

(アグリサイエンス学科)

世界に通用する次世代の高品質な農産物の生産及びブランド化を目的としたアグリビジネスに関する幅広い知識，高度な専門技術を身につけた人材を養成する。

(食品開発学科)

新たな食品を創造するために，最先端の食品製造，並びに食品の栄養・機能を理解し，健康の維持・増進に役立ち，おいしくて安全な食品を開発することができる技術者・研究者を養成する。また，食品産業界を牽引し，国民の健康増進にも貢献できる人材の養成を行う。

(食品ビジネス学科)

日本と世界の食料問題の解決と新たな食の創造に関する諸問題に貢献し、フードシステム、フードビジネスのリーダーとなるべき人材の育成を目指している。すなわち、食品に関する生産、加工、流通、消費に至るフードシステム形成の理論と技術教育を重視し、食品に関する科学及び技術を総合的に学び、「食」の専門家として社会に貢献できる人材を養成する。

(国際共生学科)

グローバル化・多様化の時代に不可欠な「多角的な視点から共生を図ることができる知識・思考力を備えた人材の育成」を学科の教育理念に掲げ、教養教育と専門教育の両面から総合的・学際的な教育を行い、かつ高度な専門的研究も行う。これによって、共生に関する知識・思考力を活かして国内外の生物資源を扱う産業分野で活躍できる人材、国際交流・国際協力に貢献できる人材を養成する。

(獣医保健看護学科)

愛玩動物の診療補助、適正な飼養、疾病の予防、リハビリテーション、公衆衛生など、動物の健康管理や看護に必要な専門知識と技術を幅広く修得し、獣医師と協働して実践的に活躍できる愛玩動物看護師を養成する。

(獣医学科)

獣医学は、動物医療を根幹として、動物の健康維持・増進を図るとともに、ヒトの健康と福祉に貢献することを目的としている。その達成のために、生命活動のメカニズムの探求や疾病の診断・治療・予防はもとより、公衆衛生、野生動物の保護及び環境保全など幅広い領域に対し、社会のニーズに応えることができる知識と技術を有した獣医師を養成する。

(生命農学科)

生産科学、生命科学、環境科学の3分野を体系的に教育し、農学を基盤として植物を中心とした分子生物学から生態学を含めた生命現象に関して、体系的な教育と先端的研究を行っている。特に、農学の中心となる生命科学分野を重点的に展開し、さらに緑地環境科学の分野を利用した技術が習得でき、それらの知識と技術を持った未来の農を担う人材を育成する。

(生命化学科)

動物・植物・微生物など全ての生命体とそれらを取り巻く資源、食料、環境などの多彩な分野に関して、化学的な視点に立って基礎から応用へと結びつける教育・研究を行う。豊富な実験実習と演習を通して高い技術力と実践能力を身につけ、また、化学的視点に立った講義を通して生命に係わる多様な問題に対応できる論理的な思考能力を養い、社会に貢献できる研究者、技術者を養成する。

(動物資源科学科)

動物が有する種々の能力及び機能に関する研究と教育を推進し、それらを応用して人類社会のために貢献することを目的としている。この目的を達成するために、学科の教育・研究の分野を動物生命科学、動物生産科学、動物環境科学及びそれらの学際領域としている。この教育・研究をとおして、多様化する社会の幅広い分野においても対応し得る応用力と思考力を有した人材を養成する。

(森林資源科学科)

森林環境、森林資源管理などにかかわる諸問題について、基礎知識を持ち、論理的な思考と現場での応用力と設計力を備え、専門家としての倫理観を持った人材の育成を目標としている。すなわち、森林及び自然環境を学ぶとともに、人類の共通財産としての持続可能な資源の利用方法を習得し、森林を活用した新たな循環型社会の実現に貢献できる人材を養成する。

(海洋生物資源科学科)

海洋生物資源の持続的かつ有効な維持管理を図るとともに効率的な生産及び利用に関連する生命科学，資源生産学並びに環境科学分野の知識を広く修める教育に重点を置いている。すなわち，幅広い教養と社会全体を見渡せる総合的判断力と，海洋生物環境の保全と人類の豊かな生活の調和を創造でき，かつ国際的にも通用する人材を養成する。

(生物環境工学科)

自然のシステムを活用し，生物資源を適切に利用した生産，生活環境の創造とその応用技術を多面的に学習することを基本としている。すなわち，水・土環境や地域環境，環境配慮型土木的技術，生態系と調和した計画・設計を可能とする環境配慮型建築を創造できる人材やバイオマスエネルギー開発など生物環境を工学的な観点から創造できる人材を養成する。

(食品生命学科)

新たな食品を創造する最先端の研究を展開し，基礎となる食品科学と生命科学とのかかわりを理解し，健康維持に役立ち，安全な食品を創造開発できる教育・研究を行う。また，食と生命に関する豊かな知識を持つ人材の養成に力を入れている。さらに，豊富な実験・実習を通じ実践的な知識を持ち，食品産業界を担っていく新しい知識と技術を兼ね備え，社会に貢献できる技術者，研究開発者を養成する。

(国際地域開発学科)

開発途上国の第一次産業を中心とした経済・社会開発，農業技術協力を含む農村開発，環境保全などの分野での人材の養成を目指す。さらに，問題解決能力，コミュニケーション能力及び国際感覚などを身に付け，農業・農村開発分野の専門家，国際機関の職員や現地進出企業など国内外で世界平和や国際貢献に尽力できる実践力を備えた人材を養成する。

(応用生物科学科)

生命体やそれを取り巻く環境について，基礎から応用まで広い分野の研究と教育を行なっている。近年，微生物・植物・動物のゲノム解析に基づく生命科学の生物産業への応用研究が社会から期待されており，この社会の要望に応えるようバイオサイエンスの専門的知識・技術を幅広く習得し，社会で実践的に活躍できる人材を養成する。

(くらしの生物学科)

「生産・利用科学」「生命科学」「環境科学」の3つの分野を総合的かつ横断的に教授し，生物学に関する幅広い専門知識や技術を修得させるとともに地域との協働をはじめとした実践的な教育を実施して，優れたコミュニケーション能力，マネジメント能力を修得させ，自ら判断し，安全で安心な生活や持続型社会の創造に積極的に貢献できる生き抜く力を持った人材を養成する。

薬 学 部

「人類の保健，医療及び福祉に貢献する新しい薬学を創造する」という理念に基づいて，高度医療社会のニーズに応える医療薬学に重点を置いた特色ある教育・研究を推進し，医療人としての倫理観と高い専門性を備え，人の健康と医療の向上に貢献できる自主創造の気風を身に付けた薬剤師を養成する。

(薬学科)

薬学教育6年制の課程において，医薬品の安全かつ有効な活用，創薬科学，健康と環境に関する教育・研究を実践し，確かな薬学の基礎を身に付け，独創性と応用力並びに医療人としての心を育て，医療の担い手としての実践力を備えた薬剤師を養成する。

別表 1 の 2

教育研究上の目的（大学院）
法 学 研 究 科
<p>社会科学を主な研究対象とし、現代における多様な社会現象を、高度な学理をもって法学・政治学的に究明するとともに、幅広い教養を身につけた専門性豊かな研究者の養成、社会の要請に応えた高度専門職業人の養成をなし、社会人の再教育によるキャリアアップを目指すための高度な教育を提示する。</p>
<p>（公法学専攻／博士前期課程）</p>
<p>公法に関連する多様な講座を配し、国家（立法・行政・司法）組織、地方自治体ならびに国際組織において活躍し得る人材の専門知識を向上すべく、公法等の理解と応用する能力を養成する。さらに、高等教育機関や研究機関において、公法分野の専門的研究を志す者、その他公法分野に関する専門的職業を志す者に対して、その実現に不可欠な教育を提示する。</p>
<p>（公法学専攻／博士後期課程）</p>
<p>公法分野に係る専門的教育により、将来、研究者又は高度な専門的職業に従事する志をもつ者に対して、専門的知識の修得のために必要な研究指導を行い、研究成果としての論文作成の指導を行う。</p>
<p>（私法学専攻／博士前期課程）</p>
<p>大学教育で学んだ専門知識を更に確実なものとし、これを応用しうる教育を行う。修了後には研究者、公務員、税理士あるいは一般企業の法務業務に携わる法律専門職として活躍し得る人材を養成する。このために法の歴史的発展や比較法の研究による法制度の理解を図り、法解釈の手法とその実践を試み、判例研究などの方法を通じての生きた法を理解する教育・研究を行う。</p>
<p>（私法学専攻／博士後期課程）</p>
<p>研究者として活躍し得る人材、これに準ずる専門職に従事する人材を養成する。この目的の達成のために研究対象とする法の立法過程の研究、外国法の研究もしくは判例研究などを通じての法の運用状態を調査することを支援し、研究成果としての論文作成の指導を行う。</p>
<p>（政治学専攻／博士前期課程）</p>
<p>政治学を中心に隣接領域の多様な学科目を設置し、高度な専門知識と独創性を有する研究者を養成する。また、広い視野と高い専門知識を備えた高度専門職業人、政治に造形の深い市民の養成をなす。</p>
<p>（政治学専攻／博士後期課程）</p>
<p>有為な人材が研究者への第一歩を踏み出し、本格的な研究者に育つために必要な深化した専門的教育を行い、研究成果としての論文作成の指導を行う。また、教育機関及び研究機関に従事するにふさわしい、幅広い視野、深い学識、高度な専門性を備えた人材を養成する。</p>
新聞学研究科
<p>高度情報化された民主的社会におけるジャーナリズム及びメディアの公共的な重要性に鑑み、新聞学のより専門的な知識及び実践能力の涵養に努め、もって民主主義及び民主的社会の発展に資するという理念に基づき、新聞学に関する優れた研究・開発能力を持つ研究者、教員を養成すること及び新聞学に基づく高度な専門的知識・能力を持つ人材を養成する。</p>
<p>（新聞学専攻／博士前期課程）</p>

現代社会における多種多様なジャーナリズム及びメディア現象を解明するため、理論、制度及び歴史の研究を基軸として、批判的思考力に裏打ちされた専門知及び実践知の涵養と修得を目指す。このため、様々な課題の中で、新たな公共性原理に基づくジャーナリズム及びメディア秩序の再構築を重要な課題として指導を行う。

(新聞学専攻／博士後期課程)

高度情報化された民主的社会におけるジャーナリズム及びメディアの公共的な重要性に鑑み、新聞学のより専門的な知職及び実践能力の涵養に努め、もって民主主義及び民主的社会の発展に資するという理念に基づき、停滞なき進展、変貌を遂げている新知識基盤社会において、新聞学に基づく高度専門職業人として、現在及び将来に出現する諸問題に有効かつ適切に対応できる人材、新聞学に基づく高度な専門的知識の開発と蓄積によって培われた洞察力、分析力及び問題解決能力を有した人材、博士号取得後、単に教育・研究機関に奉職するのみならず、企業、行政、教育及び国際機関における中核なポジションで活躍できる人材を養成することを目的とする。

文学研究科

人文科学・社会科学の学問をそれぞれの学問的な特性を尊重しつつ、理論的な探求から実証的研究、先端的な実験・実習までをとり込んだ創造的かつ実践的なカリキュラムを用意し、言語と人間、歴史と文化、心と身体といった普遍的なテーマについて思索を積み重ね、社会的貢献度の高い研究者・教育者など、ゆたかな知性と感性を持った人材を養成する。

(哲学専攻／博士前期課程)

哲学・宗教学・倫理学・美学の各分野を柱にした講義と演習によって学識を養い、人材を養成する。

(哲学専攻／博士後期課程)

専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、個人指導を中心に、さらに深い研究能力を身につけ、人材を養成する。

(史学専攻／博士前期課程)

日本史・東洋史・西洋史・考古学に分かれ、自己の研究を深め、学識豊かな人材を養成する。

(日本史専攻／博士後期課程)

日本史、または、考古学の分野において、自己の研究課題についてさらに専門的に研究し、それぞれが研究者として自立できるように指導し、より高度な学識を持った人材を養成する。

(外国史専攻／博士後期課程)

東洋史、または、西洋史の分野において、自己の研究課題についてさらに専門的に研究し、それぞれが研究者として自立できるように指導し、より高度な学識を持った人材を養成する。

(国文学専攻／博士前期課程)

日本文学と日本語学の、上代から現代までを研究対象とし、実証的な研究及び最新の理論に基づく研究をし、人材を養成する。

(国文学専攻／博士後期課程)

専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、さらに高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を養い、人材を養成する。

(中国学専攻／博士前期課程)

中国及び中国語圏の言語と文化について、古代から現代までを研究対象とし、文献学的な実証研究及び先進的な理論に基づく研究、及び専門的かつ多様な学識とその運用能力の修得、養成を図る教育を行い、高度な学識と広い視野に立ち、柔軟で自立的な判断力を持つ中国学の専門家を養成する。

(中国学専攻／博士後期課程)

中国学に関する専門的で幅広い教養の上に立ち、専攻領域においてさらに高度な研究能力を養い、研究の発展に必要な学識をいっそう深め、人文科学の発展に寄与し得る、自立した研究活動を行うことができる中国学の専門的研究者を養成する。

(英文学専攻／博士前期課程)

英米文学・英語学・英語教育の各分野に関する講義と演習を通して学識を養い、その研究の基礎を築き、各方面で活躍できる専門家を養成する。

(英文学専攻／博士後期課程)

専攻分野について、研究者として自立した研究活動を行い、さらに高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を深め、人材を養成する。

(ドイツ文学専攻／博士前期課程)

ドイツ語圏の文学・文化・語学の研究及び高度なドイツ語力の養成を目的とし、柔軟な判断力を備えたドイツ研究の専門家を養成する。

(ドイツ文学専攻／博士後期課程)

専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、さらに高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を養い、人材を養成する。

(社会学専攻／博士前期課程)

社会学コースでは、現代のさまざまな社会現象を分析・解明することを主たる研究目的とし、社会福祉学コースでは、社会保障及び社会福祉問題等の解決・調整を図ることを主たる目的とする。本専攻では、それぞれの学問分野を柱に、幅広い知識と視野を身に付けた人材を養成する。

(社会学専攻／博士後期課程)

専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、さらに高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を養い、人材を養成する。

(教育学専攻／博士前期課程)

教育学及び体育学の学問分野を柱に、基礎的研究能力を有する研究者の養成を目指すとともに、高度な専門知識をもった人材を養成する。

(教育学専攻／博士後期課程)

専攻分野について研究者として高度な研究能力をもつ、研究活動を自立的に遂行しうる優れた研究者を養成する。

(心理学専攻／博士前期課程)

心理科学及び臨床心理学の学問分野を柱に、基礎から応用まで幅広く学べるカリキュラムで研究を行い、心理科学コースでは心理科学の研究者や科学的視点をもつ公認心理師として、臨床心理学コースでは公認心理師及び臨床心理士として社会に貢献できる人材を養成する。

(心理学専攻／博士後期課程)

専攻分野について研究者として高度な研究能力をもつ、研究活動を自立的に遂行しうる優れた研究者を養成する。

総合基礎科学研究科

本研究科の目標は自然と人間との共生という理念のもとに、地球に優しい科学・技術の探求と確立を目指すところにある。本研究科は、以下の2専攻から構成され、多彩な境界領域で接する両専攻が横断的に結ばれているところに特色があり、それぞれの学問領域を融合させた総合的な教育・研究を通じて、以下に記した特色ある人材の養成を目指している。

- 1 専門分野に対して、深い学識と優れた思考力を持つ人材の養成
- 2 専門分野や関連分野を幅広く理解し、それらを柔軟に応用できる人材の養成
- 3 新しい社会や産業の動向を迅速に解析し、広範な知識と能力を発揮できる人材の養成
- 4 学際的学問領域の学習を通じて、新しい学問の芽を育てる創造性豊かな人材の養成
- 5 国際的視野と見識で新しい科学技術の問題を正視できる人材の養成

(地球情報数理科学専攻／博士前期課程)

研究科の目的に沿うべく、本専攻においては、地球環境部門、情報科学部門、基礎数理部門を主な研究部門とし、これら3部門の複合化を目指している。

(地球情報数理科学専攻／博士後期課程)

研究科の目的に沿うべく、本専攻は、地球環境部門、情報科学部門、基礎数理部門から成り、3部門の複合化を目指し、3部門が学際的に協力し合うことを目標としている。

地球環境部門：地球を構成する物質の研究に基礎を置くと同時に、地球各圏の相互関係の解明を目指す

情報科学部門：コンピュータ科学・ソフトウェア科学・数理情報科学における、様々な課題の解決を目指す

基礎数理部門：情報科学、地球科学と関連させながら、基礎数学の側面から数理科学の発展を目指す

(相関理化学専攻／博士前期課程)

研究科の目的に沿うべく、本専攻は、物理学、化学及び生命科学という幅広い自然科学分野におけるさまざまな対象の構造・相互作用・反応・機能等に関し、基礎と応用の両面から理論的・実験的研究と教育を行う。

本専攻は、物理学部門、化学部門及び生命科学部門の3部門からなり、それぞれの部門が学際的に相互に補完するように構成されている。

(相関理化学専攻／博士後期課程)

研究科の目的に沿うべく、高度な知識と技能をもつ研究者の養成を行う。

物理学部門：理論的・実験的に物理現象の統一的解明を目指す

化学部門：「化学」の領域は大変に広く、種々の物質や現象の化学的解明を目指す

生命科学部門：様々な生命現象を対象とし、分子レベルから生態系レベルでの解明を目指す

経済学研究科

経済学及びその関連学術分野（経営・会計・情報等）における専門的な理論並びに応用の研究を進めるとともに、学术界や実業界においてプロフェッショナルとして求められる高度の専門知識・能力を備えた人材を養成する。このため、①研究者の養成、②高度専門職業人の養成、③社会人の職業的再教育・実務的専門知識の涵養を3本柱とし、加えて、学生の資格取得ニーズにも積極的支援を行う。

(経済学専攻／博士前期課程)

経済学及びその関連学術分野における、①専門学識の教授及び研究能力の涵養を通じた研究者の養成、②資格取得を含め目的に沿った専門知識・能力の涵養を通じた高度専門職業人の養成、③社会人の職業的再教育・実務的専門知識の涵養を3本柱としており、加えて、学生の資格取得ニーズにも積極的支援を行う。

(経済学専攻／博士後期課程)

経済学及びその関連学術分野において、研究者又はその他の高度な専門性が求められる職業に従事する者に対し、適切な指導を通じ、高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を涵養する。

商学研究科

商学、経営学、会計学の分野において先進的な研究を担うことのできる研究者の養成と、これらの分野における高度の専門的知識を身につけた専門職業人を養成することを使命としている。先人が構築した知の伝統を正しく継承し、鋭い問題意識をもって新たな知のフロンティアを切り開いていく優れた研究者を養成すると共に、実務界において高度な専門的知識と真に創造的な問題解決能力を基礎にリーダーシップを発揮できる人材を養成する。

(商学専攻／博士前期課程)

マーケティング、流通、金融など幅広い分野について網羅するので、応用経済学の理論と手法を活かして、それぞれの分野における理論的・実践的課題に応える研究を行う。いずれの分野でも現実の動きは激しいが、その追跡に終始することなく、先行研究を丹念に渉猟し理解するよう指導する。それが研究者としての、また社会における指導的役割を担う人材としての不可欠な素養だからである。

(商学専攻／博士後期課程)

各自が選んだテーマについての専門的知識を深め、自立した研究者として学術的研究を進めていく能力を身につけさせる。そのためにも、内外の文献を探索し理解する能力を身につけると共に、指導教員との真剣な討議、学会での研究報告などが必要である。与えられた時間を十分に活用することによって、独創的な研究成果が得られるものとする。

(経営学専攻／博士前期課程)

営利組織である企業だけでなく、非営利組織である病院、NPO、公共部門をも対象として、経営戦略、組織と管理、財務管理、人的資源管理、販売管理、生産管理など経営の諸領域について、理論的かつ実践的な研究を行う。とくに、グローバルな視野に立ち、変動する環境の変化に迅速に対応しうる経営上の専門能力を有する人材、及び研究者をめざす人材を養成する。

(経営学専攻／博士後期課程)

経営学の最新の理論的成果を吸収しつつ、自立した研究者として学術研究を進展させることのできる人材を養成する。そのために、指導教授の下で、綿密な文献研究やフィールドワークを含む分析技法の習得を基盤として、独創的な研究成果を内外の学会で発表するとともに、学会機関誌などへ掲載するよう指導する。

(会計学専攻／博士前期課程)

会計学、原価計算、監査などを中心としており、各分野のコアを形成する理論をさまざまな角度から探究するとともに、会計実践及び会計実務に役立つ最新の会計問題の解明も十分視野に入れた研究を進める。研究者の方向あるいは会計専門家としての方向のいずれに進んでも、対応できる資質と判断力を身につけさせる。

(会計学専攻／博士後期課程)

将来研究者として自立できるようにするための研究指導を行う。その目的に向かって、各自の選択した研究テーマに即して先行研究を十分に渉猟し、かつ独創的な観点から鋭い分析力と理論構築を可能とする研究指導を行っている。また、研究成果を定期的にチェックするために研究発表の機会を与えて、研究に対するサポート体制も整えている。

芸術学研究科

21世紀の芸術は、すべての領域における融合を必然としている。芸術の現状を視野に置きながら、芸術の理論と歴史の研究と想像力を養い、併せて専門及び学際的課題を含む応用領域の研究を行っている。専門分野の更なる研究と創作等を行うとともに、隣接領域の芸術と触れ合い、広い視野をもって芸術を理解することで、幅広い知識と技術を持った、次代の芸術をリードする人材を養成する。

(文芸学専攻／博士前期課程)

現代文学を研究・創作の両面から考え、隣接ジャンルとの関係で幅広くとらえて文学の未来を探らせる。文学のみならず広義の文化研究の領域でも新研究を求めていく。そのためのあらゆる試みを可能にして、文壇・論壇・学界の新しい担い手を養成する。

(映像芸術専攻／博士前期課程)

今日の情報環境の中で役割が拡大してきている写真、映画、TV等各専門領域・専門分野の深化・総合化を図る。映像の各分野の歴史研究や作品研究、さらに各メディアの総合化の実験、他の芸術領域との統合を図るなど、高度な創作活動、理論的研究を通じて、より新しく専門的な表現実験に意欲的に取り組む人材、専門的な教育研究に従事する人材の養成と新たな総合的研究領域の形成を図る。

(造形芸術専攻／博士前期課程)

デザイン、美術、美学美術史の分野における専門家を養成する。創作研究、作品分析研究、歴史研究を多角的に追求し、平面、立体、映像等表現の伝統的及び現代的技法を習得する。芸術の根源的な営為への想像力を馳せる力を養う一方で、文献学の基礎的方法も学ぶ。国際的な視野を持ち、社会との連携も視野に入れつつ、IT時代に即応した先端的表現領域や、造形関連分野境界領域での表現の独創性も追求する。

(音楽芸術専攻／博士前期課程)

音楽は、芸術文化の中で重要な部分を形成するばかりでなく、社会がますます複雑化し、多様化するにつれて、演劇、舞踊、映画、放送などといった諸分野との結びつきも、さらに密接になってきている。文化の国際化にともなう、まったく新しい形の活動も、めざましい。現実を見据え、いっそう高度な演奏、創作、研究を実践し、あるいは教育に当たることのできる人材を養成する。

(舞台芸術専攻／博士前期課程)

演劇の実践教育及びその芸術表現を基盤に、戯曲、演出、舞台美術の空間表現と、演技、舞踊など身体表現の教育研究を主眼とする。ことに、映像メディアを活用した身体表現や創作実験の場の提供による表現など創造的研究を行う。従来 of 西洋演劇を中心にした学問体系のみならず日本の伝統芸能、民俗芸術等を基盤として、これらの歴史研究、調査研究を実施し、高度な専門知識と実践的能力を有する人材を養成する。

(芸術専攻／博士後期課程)

近年の芸術は、異なった分野・領域の芸術が、先端的なメディア等を介在しながらクロスし、さらに密接な関係が成立している。専門の分野をより深く研究することを目的としつつ、どの分野からでも自らの研究に必要な他分野も研究し、新たな表現と理論の開発にも有効に機能するよう、芸術の学問と創作研究を確立し、自立した研究活動と高度な専門的活動に従事するに必要な高度な表現研究能力と豊かな学識を持った人材を養成する。

国際関係研究科

現在、国際社会はグローバル化が進行する一方で、地域格差の拡大・民族対立や紛争・環境破壊など様々な問題が深刻化し、複雑な事態に直面している。国際関係研究科では、問題解決の糸口を探ると同時に、グローバリズムとリージョナリズムの調和を図り、これまでの価値観や研究手法にとらわれず、学際的な視点と柔軟な発想から、諸問題に対しダイナミックにアプローチできる研究者を養成するとともに、国際交流や国際援助を活動の場とする高度専門職業人を養成する。

(国際関係研究専攻／博士前期課程)

世界の各地域における諸問題に対し、政治・経済・法律・開発・環境・情報等の視点から研究を行う「国際関係」部門と、各国の文化・文学の比較や異文化間コミュニケーション等の文化的フィールドから研究を行う「国際文化」部門の双方の領域を視野に入れ、総合的・学際的なアプローチを試みることにより、専攻分野における研究能力を養い、専門性を要する職業等に必要な高度の能力を持つ人材を養成する。

(国際関係研究専攻／博士後期課程)

世界が直面している諸問題は、政治・経済・文化等の複雑な要因から構成されており、これらの問題に対しては、社会科学・人文科学の成果を結集した総合的・学際的研究が必要である。このような認識のもとに新領域の国際関係研究を確立し、地域研究を行い、国際関係に精通した研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有し、国際社会に貢献できる人材を養成する。

危機管理学研究科

災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機に、法学を中核とし、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した危機管理学の学識を適用して的確に対処し、翻ってレジリエントな社会の創造に貢献する、指導的人材及び高度専門職業人を養成する。

(危機管理学専攻／修士課程)

拡大するグローバルな危機と、ローカルな社会課題と向き合い、社会・自然環境の劇的な変化に対応しつつ、世界に指針を示し、リーダーシップを発揮できる危機管理人材へのニーズに応じて、①危機や社会課題を学術的に探求し、危機管理を解明し普及させる指導的人材、及び②危機管理の実践的知識とを有する高度専門職業人として、危機管理の適用法を立案し、実践することのできる有為な人材を養成する。

スポーツ科学研究科

スポーツ科学に関する研究を通して諸問題を認識するとともに、課題を概念化しそれを解決していく反省的实践家として、競技スポーツにおける課題解決能力を高め、国内外からの知見から競技力向上に関する高度な専門性を身につけ、グローバルにスポーツ科学研究を実践できる能力を持った人材を養成する。

(スポーツ科学専攻／修士課程)

スポーツ科学専攻では、競技スポーツの諸課題に対応するスポーツ科学の高度な専門的知識を修得し、スポーツ科学の研究成果を競技スポーツの現場において実践できる能力を持った人材を養成する。

理工学研究科

自然環境を護り、社会倫理を尊び、学術の理論及び技術の深奥を究め、世界の平和と人類の福祉に貢献できる高度な専門的能力を有する人材を養成する。

(土木工学専攻／博士前期課程)

人間生活を支える基盤施設とそのシステムの建設とマネジメントに関する理論と応用を学び、自然環境との調和や資源の有効活用に努め、快適な社会を提供できる、広い視野と自由な精神をもったシビルエンジニアにして、実践的な専門性を要する職業に必要な高度の能力ないし研究能力を有する人材を養成する。

(土木工学専攻／博士後期課程)

人間生活を支える基盤施設とそのシステムの建設とマネジメントに関する理論と応用を学び、自然環境との調和や資源の有効活用に努め、快適な社会を提供できる、広い視野と自由な精神をもったシビルエンジニアにして、研究者として自立して研究活動を行うことができ、高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力とその基礎となる豊かな学識を有する人材を養成する。

(交通システム工学専攻／博士前期課程)

交通・都市・環境の調和と共生が実現できる地域社会の構築と運営のために、情報化社会に即したシステムティックに、かつ、専門的な視野に立つ教育・研究を行い、広く人類の福祉に貢献し得る交通工学及び社会基盤工学分野の研究者・技術者を養成する。

(交通システム工学専攻／博士後期課程)

交通・都市・環境の調和と共生が実現できる地域社会の構築と運営のために、情報化社会に即したシステムティックに、かつ、専門的な視野に立つ高度な教育・研究を行い、広く人類の福祉に貢献し得る交通工学及び社会基盤工学分野の学識豊かな研究者・技術者を養成する。

(建築学専攻／博士前期課程)

国際的な視野、公正な倫理観、豊かな創造性あるいは芸術性を備え、環境に調和した持続的都市・安全で美しく機能的な建築空間の構築に貢献できる、高度な専門的能力を有するプランナー・デザイナー及び技術者を養成する。

(建築学専攻／博士後期課程)

国際的な視野、公正な倫理観を持ち、高度な専門的業務に従事するために必要な豊かな学識と自立して研究活動を行うことのできる能力を備え、環境に調和した持続的都市・安全で美しく機能的な建築空間の創造に貢献できる人材を養成する。

(海洋建築工学専攻／博士前期課程)

建築工学と海洋工学が融合した海洋建築工学のより高度な知識を修得するとともに、海洋及び沿岸域の環境評価、防災安全に優れ多様な立地環境に適合できる建築構造、快適かつ自然環境や景観に配慮した建築物や都市空間・海洋空間の利用・計画・設計・施工に貢献できる、倫理観の高い研究者・技術者を養成する。

(海洋建築工学専攻／博士後期課程)

建築工学と海洋工学が融合した海洋建築工学のより高度な知識に基づき、海洋及び沿岸域の環境評価、防災安全に優れ多様な立地環境に適合できる建築構造、快適かつ自然環境や景観に配慮した建築物や都市空間・海洋空間を利用・計画・設計・施工に貢献できる、倫理観の高い自立した研究者・技術者を養成する。

(まちづくり工学専攻／博士前期課程)

土木工学・建築学・都市工学・造園学という既存の学問とともに、景観学・観光学・福祉工学・防災工学・環境学・情報学といった学際的学問を融合した教育・研究を推進することによって、まちづくり分野の指導的立場に立つとともに、国際的にも活躍できるような高度な専門的能力を有する技術者（まちづくりプランナー、まちづくりデザイナー、まちづくりプロデューサー）及び研究者を養成する。

(まちづくり工学専攻／博士後期課程)

土木工学・建築学・都市工学・造園学といった既存の学問を基盤として、景観学・観光学・福祉工学・防災工学・環境学・情報学といったまちづくり分野における学際的学問を包含しつつ、自立して研究活動を推進することにより、まちづくり分野の学問の深淵に臨み、持続可能なまちづくりを実現することのできる技術と能力及び豊かな感性と学識並びに経験を備えた研究者・技術者・教育者を養成する。

(機械工学専攻／博士前期課程)

人間生活を環境と安全の側面から豊かにするために、機械工学と自然科学の基礎理論を総合的に使って、社会のニーズに応える創造性豊かな「ものづくりとそのための研究」ができる技術者を養成する。弾塑性学，熱工学，流体工学，工作法，熱機関，自動車工学，機械力学，金属材料のいずれかの分野において，学部の学生と研究グループを組んで自由闊達な議論をしながら，研究計画を立て問題を解決できる能力を養い，現象に対する観察能力，調査能力，問題点の発見能力，指導力，協調性，説明能力，報告書作成能力をもつ人材を養成する。

(機械工学専攻／博士後期課程)

人間生活を環境と安全の側面から豊かにするために、機械工学と自然科学の基礎理論を総合的に使って、社会のニーズに応える創造性豊かな「ものづくりとそのための研究」ができる高度な研究者・技術者を養成する。弾塑性学，熱工学，流体工学，工作法，熱機関，自動車工学，機械力学，金属材料のいずれかの分野において，主体的に選定した研究テーマの下で，研究計画を立て問題を解決し，現象に対する観察能力，調査能力，問題点の発見能力，指導力，協調性，説明能力，報告書作成能力を養い，自立して研究を遂行できる人材を養成する。

(精密機械工学専攻／博士前期課程)

機械工学に加えて電気・電子工学を基礎として、知的メカトロニクスやロボティクスに代表される自動化技術，微細加工，マイクロマシン (MEMS)，などの分野における高度な専門知識と研究能力を養う。また，広い視野に立った豊かな学識を有し，高度な専門性のある業務や新技術の展開に対応でき，人間性豊かな創造力のある技術者・研究者を養成する。

(精密機械工学専攻／博士後期課程)

機械工学に加えて電気・電子工学を基礎として、知的メカトロニクスやロボティクスに代表される自動化技術，微細加工，マイクロマシン (MEMS)，などの分野における高度な専門知識と研究能力を養う。また，広い視野に立った豊かな学識を有し，自立して研究活動を行い，かつ高度な専門性のある業務に従事できる人間性豊かな創造力のある技術者・研究者を養成する。

(航空宇宙工学専攻／博士前期課程)

先駆性，極限性，総合性を特徴とする航空宇宙工学の修得を通じて，自啓自発の精神を持ち，科学・技術の発展に貢献できる技術者を養成する。また，技術者倫理を含む人間形成に必要な素養を身に付けることで，世界の平和，人類の福祉及び地球環境の保護に貢献できる高度な技術者を養成する。

(航空宇宙工学専攻／博士後期課程)

先駆性，極限性，総合性を特徴とする航空宇宙工学の修得を通じて，自啓自発の精神を持ち，科学・技術の発展に貢献できる技術者を養成する。また，技術者倫理を含む人間形成に必要な素養を身に付けることで，世界の平和，人類の福祉及び地球環境の保護に貢献できる高度な技術者を養成する。さらに，深淵な専門知識を修め，自立して研究を遂行し，将来の国際的研究指導者として活躍し得る研究者を養成する。

(電気工学専攻／博士前期課程)

電気工学が関わる諸分野において、基礎から応用に渡る幅広い研究を行う科学技術の担い手として、改革の時代に柔軟に対応できる豊かな学識と電気工学に関する基礎的な専門能力及び国際的に活躍することのできる実力を備えた研究者・技術者を養成する。

(電気工学専攻／博士後期課程)

未来社会を根底で支える電気工学が関わる諸分野において、先端的な幅広い研究を行う科学技術の担い手として、改革の時代に柔軟に対応できる豊かな学識と電気工学に関する高度な専門能力を有する自己啓発的な人材及び国際的に活躍することのできる実力を備えた研究者・技術者を養成する。

(電子工学専攻／博士前期課程)

回路・制御，材料・素子，通信・光，情報工学にまたがる幅広い電子技術の基礎知識を関連付けながら，最新のトピックスや技術動向を学び，電子基礎，電子工学，電子材料，通信工学，情報処理に関わる先端的テーマを掲げる研究を遂行することによって，研究開発，専門業務に携わることのできる技術力，語学・発表能力を備えた未来志向の研究者・技術者を養成する。

(電子工学専攻／博士後期課程)

電子基礎，電子工学，電子材料，通信工学，情報処理の諸分野において，世界に先駆ける先端的テーマを掲げる研究を計画・遂行・完成することによって，次世代の広範な電子技術を駆使，発展させる独創的研究開発，高度な専門業務を遂行するに十分な学識と能力を備えた研究者・技術者を養成する。

(情報科学専攻／博士前期課程)

数理科学，計算機技術を駆使し，次世代の情報科学及び広範な工学分野の発展のために，独創的な研究，開発，高度な専門業務を遂行する能力を備えた研究者・技術者を養成する。

(情報科学専攻／博士後期課程)

豊かな学識をもって，次世代の情報科学及び広範な工学分野の発展を担う，独創性と創造性に秀でた研究者，高度技術者を養成する。

(物質応用化学専攻／博士前期課程)

国際的視野に立ち，創造的な研究開発能力を発揮できる科学技術者を養成する。

(物質応用化学専攻／博士後期課程)

化学に関する独創的・国際的な研究開発能力ならびに時代の変化に対応できる豊かな学識と高い倫理観を有し，化学技術の進歩を推進するための自律的な行動力とコミュニケーション能力をもった指導者となりえる人材を養成する。

(物理学専攻／博士前期課程)

現代科学・技術の様々な分野において基礎となる物理学の専門知識と論理的な思考法，科学・技術の課題の解決法を修得し，豊かな人間性，国際性，社会倫理観を身に付けた人材を養成する。

(物理学専攻／博士後期課程)

物理学の高度で最新の専門知識と思考法を修得し，科学者としての社会倫理観を身に付け，現代科学・技術の様々な分野における研究課題を解決する能力，自立して研究を進める能力，新しい分野を切り開く応用力をもつ人材を養成する。

(数学専攻／博士前期課程)

現代数学の幅広い分野から，個々の学生の志望，性格に適したテーマを選択し，論理的な分析力，発表力を体得した数学応用者，教育者，研究者を養成する。

(数学専攻／博士後期課程)

現代数学の幅広い分野から、個々の学生の自主的な選択のもとに主題を定め、数学の深い知識、論理的分析力、発表力を涵養し、学界及び産業界にて活躍できる人材を養成する。

(地理学専攻／博士前期課程)

地形や気候を扱う自然地理学、農山村や都市を対象とする人文地理学、GIS（地理情報システム）を中核とする地理情報科学、環境地理学、これらを統合する地誌学などの分野において、実務的技術を修得して、実験実習やフィールドワークを重視した研究を行うことのできる、創造性豊かで実践的かつ高度な研究能力を備えた研究者、教育者、実務者などを養成する。

(地理学専攻／博士後期課程)

地理学の各専攻分野において豊かな学識を有し、研究者として自立して研究活動を行うことのできる高度な研究能力を備えた人材を養成する。

(量子理工学専攻／博士前期課程)

現代物理学の根幹となっている量子力学に基づき、加速器科学・素粒子論・場の理論・物性科学・エネルギー科学・情報科学・生命科学などの量子科学を考究するとともに、その工学的・学際的領域への応用力を培う教育を行う。これら量子科学の根底的理解を通じて、従来の枠を越えた新しい科学技術に対応できる能力を養い、社会に貢献できる技術者及び研究者となる人材を養成する。

(量子理工学専攻／博士後期課程)

現代物理学の根幹となっている量子力学に基づき、加速器科学・素粒子論・場の理論・物性科学・エネルギー科学・情報科学・生命科学などの量子科学を考究するとともに、その工学的・学際的領域に応用・展開する力を培う教育を行う。これら量子科学の根底的理解を通じて、従来の枠を越えた新しい科学技術を創造できる豊かな能力を養い、率先して社会に貢献できる技術者及び研究者を養成する。

生産工学研究科

技術革新に適応する生産工学の先進教育と研究活動の場を提供して、高度な実践的・創造的な能力を備えた指導的な技術者・研究者を養成する。

(機械工学専攻／博士前期課程)

他分野の技術との融合により急速に進歩する機械工学の技術者養成のために、専門的な研究指導と学際的な教育を合わせて行う。特に、飛躍的に発展を遂げつつある科学技術に対応できる柔軟で斬新な発想力、創造性豊かな能力及び協調性を身につけた高度の技術者・研究者を養成する。

(機械工学専攻／博士後期課程)

広い知識と深い探求心を養い、将来社会で認められる研究者への道を切り開くことができる人材養成を目的とする。特に、各大学院生がこれまでに培った発想力、創造性、協調性等を基に、これらをさらに飛躍させるための斬新で独創的な研究に対する指導を通じて能力養成を行う。また、その成果を広く関連の学協会に問い、社会において高い評価が得られる研究者を養成する。

(電気電子工学専攻／博士前期課程)

さらに一歩進んだ電気・電子・情報通信工学に係る学問を探求できる広い視野と深い学識を備え、論理的思考と創造力を基礎として新しい技術的領域に寄与できる技術者と研究者を養成する。

(電気電子工学専攻／博士後期課程)

広い視野と電気・電子・情報通信工学に係る深い学識を備え、自らの創造力により課題を設定し、目標に向かって計画的に研究・開発を遂行できる能力を備えた研究者を養成する。

(土木工学専攻／博士前期課程)

土木技術をはじめ地球環境や生態系の保存，安心・安全な地域社会や市民生活などについて高度な専門的知識を教授する。そしてこれらの学識と，教員の個別指導による研究活動を通じて，国際的視野に立ち，企業等において技術的課題に挑戦できる指導的技術者を養成するとともに，研究者として自立できる人材開発をする。

(土木工学専攻／博士後期課程)

土木工学分野における高度かつ複合的な研究課題に取り組めるように，指導教員の指導のもとで，土木工学の専門家として論理的な現象把握による研究遂行能力とともに独創的研究能力を持つ人材を養成する。

(建築工学専攻／博士前期課程)

実学教育の理念に根ざし，建築工学に関わる専門的基礎知識，及び一般教養を基にして，社会の要請に十分応え得る建築技術者・デザイナーを養成するために，優れた総合能力と高度な実学的専門知識を，建築分野の各領域の研究を通し習得する。

(建築工学専攻／博士後期課程)

より高度，かつ普遍性を有する建築工学に関わる専門的知見を，創造的な学術研究を通し明らかにすることにより，建築工学分野の実学的発展に資すると共に，建築界において指導的かつ実践能力に優れた人材を養成する。

(応用分子化学専攻／博士前期課程)

化学の専門知識を体系的に身につけるとともに，物質の物理化学的性質及び化学反応を分子論に基づいて理解し，グリーンケミストリーを基礎とした機能性材料の創出，化学プロセス及び化学計測システムの開発に携わることのできる研究者・技術者を養成する。また，化学及びその関連領域における諸問題の解決に積極的に取り組み，産業界等で活躍することのできる上級化学技術者として必要な社会性・国際性を養う。

(応用分子化学専攻／博士後期課程)

化学及びその関連分野に関する広範かつ高度な学識を備え，精密合成，化学計測などの先端技術を駆使して，研究を自立して論理的に行うことのできる第一線の化学研究者を養成する。また，新しい機能性材料や化学技術の開発を国際的視野から先導的に推進する能力，問題解決のための優れた計画・設計能力，そして化学技術が社会や地球環境に及ぼす影響を判断できる高い倫理観を身につける。

(マネジメント工学専攻／博士前期課程)

高品質の製品やサービスを効率よく生産・提供する方法を研究し，開発から生産，流通，廃棄に至る一貫した管理技術を修得させる。また品質や生産の管理だけでなく，組織の意思決定のプロセスにおける最適化や情報獲得の技術も教育する。企業や組織，社会システムや地球環境も含め，人が関わるあらゆるシステムを最適にマネージするための技術を研究・教育し，新しい産業社会に対応できる管理能力を備えた技術者を養成する。

(マネジメント工学専攻／博士後期課程)

物及びサービスの企画・開発から生産，流通，廃棄に至る一貫したプロセスを最適化する方法，さらにこの最適化を可能にするための組織の構造と運用技術を研究・教育する。最適化の観点とは，それらの過程及び結果から人間の受ける精神的・肉体的ストレスが低く，地球環境の持続可能性が高いことである。多様な価値観を調和させ，プロセスの最適化を達成するための問題発見・問題解決ができる自立した研究者・教育者を養成する。

(数理情報工学専攻／博士前期課程)

情報化時代に適応する数理情報工学の先進的教育・研究を通して、様々な問題に共通する数理的な構造を解明し、さらに問題解決のための数理的な手法と情報工学の活用について学ぶ。これによって、情報化社会における生産に関連したあらゆる場面で、高度に進化したシステムを扱うことのできる新しいタイプの実践的な能力を備えた技術者、教育者を養成する。

(数理情報工学専攻／博士後期課程)

情報化時代に適応する数理情報工学の先進的教育・研究を通して、現代社会における高度で困難な問題の数理的な構造を解明し、情報工学を活用した数理的な手法を開発する。そのために、数理工学と情報工学を活用して、情報化社会における生産に関連したあらゆる場面で、高度に進化したシステムを扱い、問題を解決することができる新しいタイプの創造的な技術者、研究者、教育者を養成する。

工 学 研 究 科

学問や科学技術の深奥を究め、人類の福祉向上及び人と自然が共生できる豊かな社会の構築に貢献でき、幅広い知識を有する、高度専門職業人及び工学研究者を育成し、もって社会からの負託に応える。

(土木工学専攻／博士前期課程)

社会資本の整備が一段落を迎えた土木工学において、今後は構造物の構築以外に、維持管理、環境や気候変動に伴う災害制御などの分野に社会の要請が高まっている。そこで、基礎的知識を技術者専門科目において修得した上に、さらにより高度な技術者応用科目をも加えることにより、これらの要求に対応可能な実践的な人材を育成する。

(土木工学専攻／博士後期課程)

本課程では、環境保全・整備や防災等に関する社会からの様々な要請に応えられるよう、多分野にわたる特別研究（地盤・構造・コンクリート系、環境・水理系、計画系）を設置している。これらの研究を通じて高度な知識を修得すると共に、実践的に技術指導可能な、また、自立して研究可能な技術者、研究者を育成する。

(建築学専攻／博士前期課程)

安心して暮らせる豊かな生活環境の創造に向けて、学部で修得した教養及び建築学の基礎的な知識をもとに、建築学の各専門分野についてより高度な知識を修得すると共に、建築学の多様な研究や設計の課題に対して自ら探求してまとめ上げる力を養い、社会の要請に適応できる優れた人材を育成する。

(建築学専攻／博士後期課程)

建築学の各専門領域における最新の学術的動向を踏まえて、国内外に通用する企画力や応用力を養うと共に、建築構造学の研究、防災や新材料の研究、建築人間工学の研究、都市環境に関する研究、建築歴史・意匠の研究など、広範な専門領域から独創的な研究課題を自ら深耕して、社会の要請に適応できる自立した研究者、技術者を育成する。

(機械工学専攻／博士前期課程)

高度な機械工学の基礎を修得すると共に、さらにその発展分野であるロボティクス、環境・エネルギー、ナノテクノロジー、バイオメディカル、福祉工学など機械工学の最先端分野についても学修する。また、MOT、技術者倫理などを学ぶことにより、社会の発展と人類の福祉とに貢献できる技術者、研究者を育成する。

(機械工学専攻／博士後期課程)

高度な機械工学の基礎を修得すると共に、さらにその発展分野であるロボティクス、環境・エネルギー、ナノテクノロジー、バイオメディカル、福祉工学など機械工学の最先端分野についても学修する。また、研究、学位論文作成などを通じて、自立して研究できる技術者、研究者、教育者を育成する。

(電気電子工学専攻／博士前期課程)

人類社会における電気の貢献は計り知れないし、その役割も多岐にわたることから、これからの未来社会においては電気の技術革新が重要となる。このため、技術の発展と進歩によって優れた人材が求められているので、高度な電気電子の知識の修得を通じて、新しい分野を開拓する科学技術の担い手となり得る想像力と独創性が豊かで自己啓発的な精神を持ち、社会の発展に貢献でき、自立した技術者を育成する。

(電気電子工学専攻／博士後期課程)

博士後期課程では電気の先端的な研究を通じて、世界に貢献できる優れた博士論文をまとめるための研究計画と実行、及び洞察力を養うことを目的に、高度な電気電子の知識の修得のみならず新しい分野を開拓するフロンティア精神に富み、科学技術の担い手となり得る想像力と独創性豊かで自己啓発的な精神を持ち、社会の発展に貢献できる自立した研究者を育成する。

(生命応用化学専攻／博士前期課程)

21世紀を切り開く社会システムの実現へ向け、国際的な視野に立ち、化学の専門知識を体系的に身につけると共に、環境に配慮した化学製品の開発・生産・普及活動及び環境保全・リサイクル活動などに従事し、循環型で持続可能な社会の実現に貢献できる柔軟で斬新な発想力・創造力及び協調性を身につけた高度な応用化学技術者を育成する。

(生命応用化学専攻／博士後期課程)

21世紀を切り開く社会システムの実現へ向け、国際的な視野に立ち、化学の専門知識を体系的に身につけると共に、環境に配慮した化学製品の開発・生産・普及活動及び環境保全・リサイクル活動などに従事し、循環型で持続可能な社会の実現に貢献できる柔軟で斬新な発想力・想像力及び協調性を身につけ、自立して研究を遂行できる研究者を育成する。

(情報工学専攻／博士前期課程)

情報システムと情報処理に関する先進的な教育・研究を通じて、論理的に物事を考える習慣をつけると共に、他者との的確なコミュニケーションを図りながら、問題を正しく認識し、その解決に向けて努力することができる技術者を育成する。また、情報技術者としての責任と義務を自覚し、高度な情報システムを扱うことができ、もって、人類社会並びに情報工学とその周辺技術の発展に貢献できることを目的とする。

(情報工学専攻／博士後期課程)

情報システムと情報処理に関する先進的な教育・研究を通じて、論理的に物事を考える習慣をつけると共に、他者との的確なコミュニケーションを図りながら、問題の本質をとらえ、その解決に向けて努力することができる自立した研究者を育成する。また、情報技術者としての責任と義務を自覚し、高度な情報システムを開発することができ、もって、人類社会並びに情報工学とその周辺技術の発展に貢献できることを目的とする。

医学研究科

「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道を開く」姿勢を持って、独創性の高い研究を行い、人類の知の体系に貢献する医学研究者及び研究指導者を養成する。統合的学科科目や臨床系の教員が担当する基礎系学科科目などを配置し、新たな学際的研究にも対応できる専攻科目体系を構築し、多様化の進む医学研究に対応する教員組織の充実を図り、国際的に通用する高度な先進的医学研究を推進し、大学院教育の充実を図る。

(生理系／博士課程)

生理系の各専攻は生命現象の本質を研究することを目的として設置されている。研究を進めるために採られる方法は様々であるが、できるだけ多くの研究方法を理解して有機的に応用することによって、より成果の上がるよう努めている。また得られる成果が医療面でも利用され、人類の福祉と幸福に寄与できるよう考慮されている。なお、本系の修了者には将来研究指向の医師ばかりでなく、研究指導者や大学等の教員となりうる人材を養成する。

(病理系／博士課程)

病理系の研究分野は形態病理学より始まり、微生物学、免疫学、腫瘍学、病態代謝学、臨床応用に直接関連した人工臓器・移植医学まで病理系に特化した専門性を有する研究内容を有している。従って、病理系研究課程を通して育成される人材は、将来その分野の指導的役割を發揮することが求められると共に、当該分野における専門性を広く基礎並びに臨床医学の発展に還元できる能力と使命感とを有する人材を養成する。

(社会医学系／博士課程)

社会・環境と健康・疫病との関係を理解し、社会的に役立つ研究を行なうために、疫学的手法（公衆衛生）・実験的手法（環境医学）などを研究に応用する能力を身につけさせる。

また、医療制度の現況を把握し、医療経営の基本となる医療の質と効率を定量的に評価し、医療事故の現状と予防対策を構築できる人材を育てる。その他に裁判と関連する親子鑑定・個人識別・法医解剖の必要性を認識し、実践できる人材を養成する。

(内科系／博士課程)

内科系医学はあらゆる疾患の病態解明、診断法・予防法・内科的治療法の確立を図ることが中心をなす。日々医療を取り巻く状況が変化する中で、ますます高度化・複雑化する内科学の各分野の基礎研究を通して、医科学の進歩に対応し、科学的に明確な根拠に基づいた質の高い優れた各分野の医療を実践できる専門医と、高度な水準の医学研究に基づきより深い科学的洞察力及び研究マインドと指導力とを兼ね備えた研究指導者を養成する。

(外科系／博士課程)

外科系医学は疾病に対して観血的手技を用いて人体の恒常性の回復を図ることが中心をなす。したがって、外科系医学においては疾患の病態のみならず観血的侵襲そのものによる病態生理の探究が求められる。さらに、損なわれた臓器または組織の機能の回復・代替補填を図るための生理学、薬理学的対応及び人工臓器・組織にわたる広範な知識が必要である。大学院課程では斯かる外科系医学に求められる臨床、基礎的研究を行う人材を養成する。

歯 学 研 究 科

歯科医学の教育・研究活動に必要な深い教養と高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識とともに、歯科医学の発展に寄与しうる教育・研究を指導する能力を養うことを目的とする。

専攻分野の教育者及び研究者として自立した活動を行い、さらに歯科医学教育・先端的歯科診療等の指導に従事するために必要な深い教養と高度の研究能力の養成及びその基盤となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(歯学専攻／博士課程)

多岐にわたる歯科医学の高度にしてより幅広い知識と先進的医療技術を有す教育者及び研究者の育成を図るべく、口腔構造機能学分野、応用口腔科学分野、口腔健康科学分野の3分野を設置している。これらは、歯科基礎系と歯科臨床系を融合した分野であり、学際領域の推進により複数の教員による指導体制のもとに、教育及び臨床に直結した歯学研究、専門医養成することを目的とする。

松戸歯学研究科

歯科医学の進歩に伴い、これまでの不可逆的な治療から、予防あるいは再生治療へと変わりつつある。それらの変化に的確に対応し、科学する能力を持った臨床医を育てること、未来の歯科医学を担う教育・研究指導者を養成する。

また、情報を整合的に解釈して診療にフィードバックできる臨床医あるいは研究者を養成する。

(歯学専攻／博士課程)

歯科医療の様々な問題に対して、科学的アプローチを行い、解決を導き出す能力を持った研究者を養成する。また最先端の研究成果の取り込みを行うことにより、それらの情報を歯科医療の現場にフィードバックし、口腔疾患の診断、治療、予防に役立てることができるような臨床医、未来の歯科医学を担う教育・研究者を養成する。

生物資源科学研究科

優れた研究者と高度の専門技術者の育成に主眼を置き、充実した教育研究指導体制の下で、基礎科学を応用領域にまで発展し得る力量を備えた人材を養成する。特に新しい産業構造・社会の変化に迅速に対応出来る総合的な知識と創造性豊かな人材、また国際的視野で新しい科学・技術上の問題を総合的に解決出来る見識豊かな人材などの養成を教育・研究指導の目的とする。

(生物資源生産科学専攻／博士前期課程)

植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、森林生産科学、生産環境工学の各分野から構成される生物資源生産科学に関する知識を教授する。また、生物生産に関わる事項について生物資源と生物環境の両面から総合的に捉え、生物資源を持続的、かつ有効に管理・活用するための研究指導を行ない、広い視野から問題点を把握し、応用力を発揮しうる人材の養成を目指す。

(生物資源生産科学専攻／博士後期課程)

生物資源生産に関わる各分野での基礎・応用研究をさらに発展させ、高度な問題解決能力と創造力に富んだ専門技術者と優れた研究能力を発揮できる専門の研究者の養成を目指す。

(生物資源利用科学専攻／博士前期課程)

生物資源利用学、生物資源利用化学、微生物利用科学、食品科学の4分野から構成される生物資源利用に関する知識を教授する。また、生物資源の利用に関わる課題や生物資源を有効利用する技術の開発を研究課題として、広い視野から問題点を把握し、その解決の取り組みにあたって応用力を発揮しうる人材の養成を目指す。

(生物資源利用科学専攻／博士後期課程)

生物資源利用に関わる諸問題について各分野から総合的に捉えた講義と研究指導を行なう。生物資源を有効に利活用できる技術の開発を可能にする専門技術者と優れた研究能力と広い視野をもち、問題を把握し、応用力を発揮して解決できる有能な研究者を養成する。

(応用生命科学専攻／博士前期課程)

生命工学的手法による生物及び生体機能の開発・応用と、環境に配慮した新たな生物資源の創製に関する基礎ならびに応用研究の手法・技術を指導し、当該分野における研究能力、または高度の専門性を要する職業等に必要な能力を有する人材を養成する。特に本課程では、生体分子科学、細胞生物科学、生体機能科学、分子生態科学の各分野に関わる講義と演習を行い、これらの専門分野の総合的学習による広い視野に立った学識を教授する。

(応用生命科学専攻／博士後期課程)

生体分子科学分野では生体分子の動態と生物学的機能、細胞生物科学分野では細胞機能の解明及び遺伝子資源の継続的利用、生体機能科学分野では生体諸機能の発現と制御、分子生態科学分野では環境中における生物機能の解析、開発、利用に関する学識の教授と、研究を指導する。これにより各分野において自立して研究活動を行い、また高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力と豊かな学識を有する人材を養成する。

(生物環境科学専攻／博士前期課程)

ストレス耐性科学、環境計画学、環境創造保全学、環境情報科学の4分野から構成される生物環境科学に関わる講義・演習を通して、専門分野の基礎・応用的手法・技術を習得させる。もって人類の環境との共生・保全に貢献することができるような研究能力、または高度な専門性を要する職業等に必要な能力を備えた有為な人材を養成する。

(生物環境科学専攻／博士後期課程)

生物環境科学に関する基礎的能力、すなわち環境を構成する自然的側面と人為的側面との関係を分析する知識・手法に基づき、環境に関わる情報・解析科学、シミュレーション、計画学さらには環境倫理学を含む総合的で高度な研究へと発展させる。また、豊かな学識と優れた研究能力と専門技術を備えるのみならず、国内外の環境との共生のための環境政策に関わる提言能力をも有する人材を養成する。

(生物資源経済学専攻／博士前期課程)

生物資源・食品経済学、食品流通・経営学、国際食料資源経済学、国際地域開発学の各分野から構成される生物資源経済学を学ぶことで、国内外における生物資源、特に生産・流通・消費に関する研究手法や理論を習得し、この分野の研究能力と専門技術を備えた農業、食品産業及び国際協力分野における優秀な人材を養成する。

(生物資源経済学専攻／博士後期課程)

専門性に富みかつ高度な知識を学び、国内外における生物資源、特に生産・流通・消費に関する理論や実態を研究することで、この分野の優れた研究能力を持つ研究者や、高度な専門技術を備えた国際協力分野におけるリーダーとなりうる人材を養成する。

獣医学研究科

「獣医比較形態学」、「獣医比較機能学」、「獣医感染制御学」、「獣医疾病予防学」、「獣医病態制御学」、「獣医病態情報学」の6つの分野において、高度で専門的な知識、実践的な技術並びに理論感を有し、創造性豊かで国際的に貢献できる人材の養成を行なう。

(獣医学専攻／博士課程)

臨床系は、主として動物病院及び医科学を活用し、そこに保有するMRI、X線CT、放射線治療器など最先端の医療機器を用いて、高度の医療技術と知識を持った獣医療専門家を育成する。応用系は、動物医科学センターを主な教育研究の場として、感染症の診断・メカニズムの解明や疾病制御・予防に関する最新の知識の教授と高度な技術の習得によって、専門性を有した応用獣医学と臨床獣医学に貢献できる人材を育成する。基礎系においては生命科学に関する質の高い基礎研究の指導を通して能力の高い人材を養成する。

薬学 研究科

ライフサイエンスを中心とした基礎科学の発展に伴って疾病の解明が進み、医療における診断、治療技術も著しく高度化している。また、高齢人口の増加など社会構造の変化により、医療に貢献できる薬学が一層求められている。このような多岐に亘る社会的要請に応え、薬学分野における高度な専門知識と技術を涵養し、独創的な研究活動を通じて国際的な競争力及び自立して研究を遂行し発展させる能力を修得させ、将来、医療の分野で指導的役割を果たす質の高い薬学研究者・薬剤師を養成することを目的とする。

(薬学専攻／博士課程)

医療に関連した臨床的な課題を対象とする研究領域を中心とした広範な専門的知識と技術を涵養し、自ら研究課題を解決できる能力及び高度な医療を担うための能力を修得させ、将来、指導的立場で活躍し、社会に貢献できる人材を養成する。

総合社会情報研究科 (通信制)

科学技術の革新、社会制度の変革、知的パラダイムの転換等が急進展する状況下、現代社会の種々の活動領域で、高度な専門的かつ総合的な認識力・判断力をもってそれぞれの専門分野で指導的立場に立つ職業人の養成、及び既成の枠を超えて諸科学間の有機的な関連を獲得できる独創的な学問研究者の育成を目指す。ITの特性を最大限に生かして各人のグレードアップを図り、学際性と専門性との両立を可能にする教育を目的とする。

(国際情報専攻／博士前期課程)

国際化・グローバル化を特質とする現代において、国際情勢の帰趨と世界の中の日本のあり方に対する広い視野と鋭敏な感覚を持ち、経営・経済・政治・行政・国際関係・言論等の分野で指導的、先端的な役割を演ずる人材を育てる。企業経営、ファミリービジネス、国際経済・金融、国際マクロ経済等の領域と、国際協力、国際政治・関係等の領域を周到にカバーしながら、国際社会の現実的動態、国際社会と日本との連関等に関する学問的認識の獲得を教育の目的とする。

(文化情報専攻／博士前期課程)

多様な文化に対する適正な理解だけでなく、時代・地域・社会を超えて伝播し、変容を遂げる文化の可変的・動的的特質についても十分な理解に至るよう、近年の学際的・超域的な文化研究の成果をもって教授する。21世紀のさらなるグローバル化の時代にあって、修得した識見を国内外に発信し、あるいは教授することで、教育、メディア、翻訳、コミュニケーション等の様々な領域で社会への還元を果たし得る文化エキスパートの養成を教育の目的とする。

(人間科学専攻／博士前期課程)

政治・社会から教育・宗教にいたる諸領域において、現代社会の根本的なニーズに対応し人間存在の基本問題について十全の認識・洞察をもった問題解決型の人材を育成することがねらいである。哲学、教育学、心理学、医療・健康科学及びスポーツ科学の5つの領域・分野に亘って周到な注意を払うことによって、人間存在の現代的意義を理解しながら、各人の専門分野についての学問的認識を深化させることを教育の目的とする。

(総合社会情報専攻／博士後期課程)

世界や社会の状況が大きな変貌を遂げ、また精神的、知的な枠組みが急激に転換しつつある中で、それぞれの専門領域において、総合性と専門性とを兼ね備えた高度な知見に立って主導的役割を演じる社会的職業人及び学問研究者の養成を目的とする。1つの専攻を国際情報、文化情報及び人間科学の3つの「分野」に分け、高度な専門性を追求しながら、他分野の諸科学にも周到な注意を払い、専門性に見合う総合性の樹立を目指す。

法務研究科（法科大学院）

本研究科の目的は、法学の理論・知識をふまえた法律実務処理の基礎的能力のみならず、人間に対する深い洞察力、健全な社会常識を備えた法曹の育成にある。倫理観、正義感の涵養を通じて、市民から信頼され、また企業活動のコンプライアンス等に通じた法律実務家を養成するとともに、総合大学の総合力、多様性を活かし、医療・環境・知的財産等の専門分野への道を開くことを目指す。

（法務専攻（専門職学位課程））

理論と実務が密接に連携した双方向教育を展開し、法律基本科目の十分な理解、法律実務科目の習得の上に、多様な法的問題に柔軟に対応でき、法化社会の実現に資する専門性の高い法曹を養成する。

(昼)	生産工学部	260,000	1,100,000②	1年 80,000② 2年 90,000② 3年 100,000② 4年 100,000②	1～4年次 各220,000②		
	工学部	260,000	1,100,000②	1年 80,000② 2～4年 100,000②	1～4年次 各220,000②		
	医学部	1,000,000	2,500,000②	1年 350,000 2～6年 各350,000②	1～6年次 各1,500,000②	1年次 1,000,000 2～6年次各 1,000,000②	
	歯学部	600,000	3,500,000②		1～6年次 各1,200,000②	1年次 1,600,000② 2～3年次各 600,000②	
	松戸歯学部	600,000	3,500,000②		1～6年次 各800,000②	1年次 2,000,000② 2年次 1,000,000②	
	生物資源科学部	食品ビジネス 国際共生 国際地域開発	260,000	850,000②	100,000②	1～4年次 各170,000②	
		獣医	260,000	1,500,000②	300,000②	1～6年次 各350,000②	
		その他の学科	260,000	1,050,000②	150,000②	1～4年次 各200,000②	
	薬学部	400,000	1,400,000②		1～6年次 各650,000②		
	学部(夜)	法学部	160,000	470,000②		1～4年次 各100,000②	

- (備考) 1 金額の単位は円
- 2 金額はすべて年額。ただし◎印は入学初年度のみ納入
- 3 ○印の中の数字は分納回数
- 4 この表は、令和5年4月の入学者から適用する。

別表2の2

項目		◎入学金	授 業 料	実 験 実 習 料		施設設備資金	教 育 充 実 料
研究科 (課程)							
大 学 院	法 学 研 究 科 (博士前期・後期)	200,000	580,000②			前期1～2年次 各150,000② 後期1～3年次	
	(政治学専攻前期1 年コース)	200,000	850,000②			150,000②	
	新 聞 学 研 究 科 (博士前期・後期)	200,000	580,000②			150,000②	
	文 学 研 究 科 (博士前期・後期)	200,000	580,000②	教育学専攻 15,000② 心理学専攻 60,000②		前期1～2年次 各150,000② 後期1～3年次	
	総合基礎科学研究科 (博士前期・後期)	200,000	700,000②		80,000②	各300,000②	
	経 済 学 研 究 科 (博士前期・後期)	200,000	730,000②			前期1～2年次 各170,000② 後期1～3年次	
	商 学 研 究 科 (博士前期・後期)	200,000	580,000②			前期1～2年次 各150,000② 後期1～3年次	
	芸 術 学 研 究 科 (博士前期)	200,000	文芸 600,000② 映像 680,000② 造形 710,000② 音楽 710,000② 舞台 680,000②	文芸学専攻 40,000② 映像芸術専攻 100,000② 造形芸術専攻 90,000② 音楽芸術専攻 110,000② 舞台芸術専攻 70,000②		1～2年次 各200,000②	
			(博士後期)	200,000	700,000②		1～3年次 各200,000②
	国 際 関 係 研 究 科 (博士前期・後期)	200,000	博士前期 750,000② 博士後期 700,000②			前期1～2年次 各200,000② 後期1～3年次	
		(前期1年コース)	200,000	1,100,000②		200,000②	
	危 機 管 理 学 研 究 科 (修士)	200,000	580,000②			1～2年次 各150,000②	
	ス ポ ー ツ 科 学 研 究 科 (修士)	200,000	580,000②		15,000②	1～2年次 各150,000②	
	理 工 学 研 究 科 (博士前期・後期)	200,000	博士前期 750,000② 博士後期 630,000②	数 学 専 攻 40,000② そ の 他 の 専 攻 80,000②		前期1～2年次 各300,000② 後期1～3年次	
	地 理 学 専 攻 (博士前期・後期)	200,000	620,000②		50,000②	前期1～2年次 各200,000② 後期1～3年次	
	生 産 工 学 研 究 科 (博士前期・後期)	200,000	博士前期 700,000② 博士後期 630,000②		80,000②	前期1～2年次 各300,000② 後期1～3年次	
工 学 研 究 科 (博士前期・後期)	200,000	博士前期 700,000② 博士後期 630,000②		80,000②	前期1～2年次 各300,000② 後期1～3年次		

医学研究科 (博士)	200,000	700,000②		◎500,000	
歯学研究科 (博士)	200,000	800,000②		◎400,000	
松戸歯学研究科 (博士)	200,000	700,000②		◎500,000	
生物資源科学研究科 (博士前期・後期)	200,000	800,000②		前期1～2年次 各200,000② 後期1～3年次	
生物資源経済学専攻	200,000	700,000②		前期1～2年次 各100,000② 後期1～3年次	
獣医学研究科 (博士)	200,000	850,000②		1～4年次 各200,000②	
薬学研究科 (博士)	200,000	600,000②		◎500,000	
総合社会情報研究科 (博士前期)	200,000	645,000②		1～2年次 各150,000②	
(博士後期)	200,000	600,000②		1～3年次 各150,000②	
法務研究科 (専門職学位)	250,000	980,000②		1～3年次 各100,000②	

(備考) 1 金額の単位は円

2 金額はすべて年額。ただし◎印は入学初年度のみ納入

3 ○印の中の数字は分納回数

4 この表は、令和5年4月の入学者から適用する。

別表 3

証明手数料

種 類	摘 要	金 額 (円)	備 考
在 学 証 明 書	1通につき	100	
成 績 証 明 書	〃	200	
卒 業 証 明 書	〃	200	
卒 業 見 込 証 明 書	〃	100	
身 上 証 明 書	〃	100	
人 物 調 査 書	〃	100	
健 康 診 断 書	〃	100	
英文証明書 (オリジナル)	〃	600	
英文証明書 (コ ピ ー)	〃	200	
教員免許状取得見込証明書	〃	100	
教 職 単 位 証 明 書	〃	100	

日本大学通信教育部学則

第1節 総則

第1条 本大学通信教育部は、大学通信教育設置基準により、大学教育の機会均等を強化して、文化の進展に寄与することを、その主たる目的及び使命とする。

第2条 通信教育を行うため、本大学法学部・文理学部・経済学部及び商学部にそれぞれの通信教育課程を置き、これを次の専攻部門に分ける。

学 部 名	専 攻 部 門
法 学 部	法 律 学 科 政 治 経 済 学 科
文 理 学 部	文 学 専 攻 { 国 文 学 哲 学 専 攻 英 文 学 史 学 専 攻
経 済 学 部	経 済 学 科
商 学 部	商 業 学 科

2 本大学通信教育課程の学生を正科生・科目履修生・特修生の3種とする。

3 本大学通信教育課程における学生の定員は、次のとおりである。

学 部	専 攻 部 門	毎年入学定員	収容定員
法 学 部	法 律 学 科 政 治 経 済 学 科	3,000	12,000
文 理 学 部	文 学 専 攻 哲 学 専 攻 史 学 専 攻	3,000	12,000
経 済 学 部	経 済 学 科	1,500	6,000
商 学 部	商 業 学 科	1,500	6,000

4 第1項に定める学部及び専攻部門の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、別表1に定める。

第2節 通信教育部の組織

第3条 通信教育課程を実施するために、通信教育部を置く。

2 通信教育課程の授業は、本大学の通学課程並びに通信教育課程の教員が担当する。ただし、必要があるときは、通信教育学務委員会の審議を経て、その他の適任者に

担当させることができる。

3 通信教育部に、通信教育学務委員会（以下「委員会」という）を置く。

- ① 委員会の構成に関する事項は、別に定める。
- ② 委員会は、次の事項を審議する。
 - (1) 通信教育課程の実施における重要な事項に関すること。
 - (2) 法学部・文理学部・経済学部及び商学部の教授会から委任された別に定める事項に関すること。
- ③ 通信教育部長は、前号の審議結果を関係学部へ報告する。
- ④ 委員会は、通信教育部長が招集し、その議長となる。
- ⑤ 委員会における審議とは、論議・検討することを意味し、決定権を含意するものではない。

第4条 通信教育部に事務局を置き、通信教育課程に関する事務を取り扱う。

第5条 本学則に、規定しない事項については、日本大学学則第1章総則による。

第3節 教育課程及び履修方法

第6条 通信教育課程における授業科目及び単位数並びに履修方法は、次のとおりである。

法学部の卒業に必要な総単位数は、履修方法に指定された単位を含めて、1から5の授業科目区分より総計124単位以上を修得しなければならない。

文理学部各専攻とも卒業に必要な総単位数は、履修方法に指定された単位数を含めて、1から5の授業科目区分より総計124単位以上を修得しなければならない。

経済学部の卒業に必要な総単位数は、124単位である。このうち20単位は総合教育科目から、8単位は外国語科目から、2単位は保健体育科目から、82単位は専門教育科目及び選択コース科目から修得しなければならない。また、その他に12単位を自由選択科目として総合教育科目、外国語科目、専門教育科目及び選択コース科目の中から修得しなければならない。

商学部の卒業に必要な総単位数は、124単位である。このうち20単位は総合教育科目から、8単位は外国語科目から、2単位は保健体育科目から、82単位は専門教育科目及び選択コース科目から修得しなければならない。また、その他に12単位を自由選択科目として総合教育科目、外国語科目、専門教育科目及び選択コース科目の中から修得しなければならない。

1 総合教育科目（各学科共通）

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
哲 学	4		4	左記の中から20単位以上を修得しなければならない。	
倫 理 学	4		4		
倫 理 学	4		4		
宗 教 学	4		4		
歴 史 学	4		4		
文 化 史	4		4		
美 術 史	4		4		
文 学	4		4		
法学 (日本国憲法2 単位を含む)	4		4		
社 会 学	4		4		
政 治 学	4		4		
経 済 学	4		4		
数 学	4		4		
生 物 学	4		4		
心 理 学	4		4		
統 計 学	4		4		
科 学 史	4		4		
総 合 科 目 I	2		2		
総 合 科 目 II	2		2		
総 合 科 目 III	2		2		
総 合 科 目 IV	2		2		
総 合 科 目 V	2		2		
総 合 科 目 VI	2		2		

2 外国語科目 (各学科共通)

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
1英語科目				外国語科目のうち1外国語科目から8単位を選択必修とする。ただし、文学専攻(英文学)は英語科目から10単位を必修とする。なお、文学専攻(英文学)以外の外国人(日本語を母語としない者)については日本語科目8単位を必修とする。	
英 語 I	2		2		
英 語 II	2		2		
英 語 III	2		2		
英 語 IV	2		2		
英 語 V	2		2		

英 語 基 礎	2		2		
実 用 英 語 検 定	2		2		
T O E I C	2		2		
T O E F L	2		2		
2ドイツ語科目					
ド イ ツ 語 I	2		2		
ド イ ツ 語 II	2		2		
ド イ ツ 語 III	2		2		
ド イ ツ 語 IV	2		2		
3フランス語科目					
フ ラ ン ス 語 I	2		2		
フ ラ ン ス 語 II	2		2		
フ ラ ン ス 語 III	2		2		
フ ラ ン ス 語 IV	2		2		
4中国語科目					
中 国 語 I	2		2		
中 国 語 II	2		2		
中 国 語 III	2		2		
中 国 語 IV	2		2		
5日本語科目					
日 本 語 I	2		2	} 外国人(日本語を母語としない者)のみ履修できる。	
日 本 語 II	2		2		
日 本 語 III	2		2		
日 本 語 IV	2		2		

3 保健体育科目 (各学科共通)

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
保 健 体 育 講 義 I	1		1	} 1科目選択必修	
保 健 体 育 講 義 II	1		1		
体 育 実 技 I	1		1	} 1科目選択必修	
体 育 実 技 II	1		1		

4 専門教育科目

法学部

I 法律学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
I 類				I～V類より，必修科目 44単位，選択必修科目8単 位，計52単位以上を修得し なければならない。 選択科目は，選択コース科 目を含めた中から42単位 以上修得しなければならない。	
法 哲 学	4		4		
日 本 法 制 史	4		4		
II 類		4		} 1科目選択必修	
憲 法	4	4			
行 政 法 I	4		4		
行 政 法 II	4		4		
税 法	4		4		
労 働 法	4		4		
国 際 法	4		4		
国 際 私 法	4		4		
知 的 財 産 権 法	4		4		
III 類				} 1科目選択必修	
民 法 I	4	4			
民 法 II	4	4			
民 法 III	4	4			
民 法 IV	4	4			
民 法 V	4	4			
刑 法 I	4	4			
刑 法 II	4	4			
商 法 I	4	4			
商 法 II	4	4			
商 法 III	4	4			
民 事 訴 訟 法	4		4		
刑 事 訴 訟 法	4		4		
IV 類					
政 治 学 原 論	4		4		
経 済 学 原 論	4		4		
経 済 政 策 学	4		4		
行 政 学	4		4		

財 政 学	4		4		
国 際 政 治 学	4		4		
国 際 経 済 論	4		4		
V 類					
法 学 特 殊 講 義 I	4		4		
法 学 特 殊 講 義 II	4		4		
卒 業 論 文	4		4		

II 政治経済学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
I 類				I 類からは必修科目8単位, 選択必修科目8単位を含めて, 計24単位以上を修得しなければならない。	
政 治 学 原 論	4		4	} 1科目選択必修	
政 治 思 想 史	4		4		
日 本 政 治 史	4		4	} 1科目選択必修	
東 洋 政 治 史	4		4		
西 洋 政 治 史	4		4		
外 交 史	4		4		
行 政 学	4	4			
地 方 自 治 論	4		4		
比 較 政 治 学	4		4		
国 際 政 治 学	4	4			
国 際 関 係 論	4		4		
政治学特殊講義 I	4		4		
政治学特殊講義 II	4		4		
II 類				II 類からは必修科目4単位, 選択必修科目12単位を含めて, 計20単位以上を修得しなければならない。	
経 済 学 原 論	4	4			
経 済 学 説 史	4		4	} 1科目選択必修	
日 本 経 済 史	4		4		
西 洋 経 済 史	4		4		

財 政 学	4	4	} 1科目選択必修
租 税 論	4	4	
金 融 論	4	4	
経 済 政 策	4	4	} 1科目選択必修
社 会 政 策	4	4	
労 働 経 済 論	4	4	
国 際 経 済 論	4	4	
経済学特殊講義Ⅰ	4	4	
経済学特殊講義Ⅱ	4	4	
Ⅲ 類			Ⅲ類からは選択必修科目8 単位以上を修得しなければ ならない。 選択科目は, 選択コース科 目を含めた中から42単位 以上修得しなければならない。
憲 法	4	4	} 2科目選択必修
行 政 法 Ⅰ	4	4	
行 政 法 Ⅱ	4	4	
民 法 Ⅰ	4	4	
民 法 Ⅱ	4	4	
民 法 Ⅲ	4	4	
民 法 Ⅳ	4	4	
民 法 Ⅴ	4	4	
労 働 法	4	4	
国 際 法	4	4	
国 際 私 法	4	4	
知的財産権法	4	4	
Ⅳ 類			
卒 業 論 文	4	4	

文理学部

Ⅰ 文学専攻 (ア国文学 イ英文学)					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考

漢 文 学 I	4		4	
漢 文 学 II	2		2	
国 語 音 声 学	4		4	
文 章 表 現 法	4		4	
文 章 表 現 演 習	2		2	
卒 業 論 文	8	8		
イ (英文学)				(イ)を 選択の場合は必修科目及び選択必修科目を含めて、56単位以上を修得しなければならない。 選択科目は、選択コース科目を含めた中から36単位以上を修得しなければならない。
英 語 学 概 説	4		4	} 2科目選択必修
英 語 文 学 概 説	4		4	
西 洋 古 典	4		4	
イギリス文学史 I	4	4		
イギリス文学史 II	4	4		
アメリカ文学史	4	4		
英 語 史	4	4		
英 文 法	4	4		
英 作 文 I	2	2		
英 作 文 II	2	2		
英 語 音 声 学	4	4		
スピーチコミュニケーションI	2		2	} 1科目選択必修
スピーチコミュニケーションII	2		2	
新 聞 英 語	2		2	
放 送 英 語	2		2	
英 米 事 情 I	2		2	
英 米 事 情 II	2		2	
異文化間コミュニケーション概論	2		2	
英 語 学 特 殊 講 義	4		4	} 1科目選択必修
英米文学特殊講義	4		4	
英 語 学 演 習 I	2		2	} 3科目選択必修
英 語 学 演 習 II	2		2	
英 語 学 演 習 III	2		2	

英米文学演習Ⅰ	2		2	}	
英米文学演習Ⅱ	2		2		
英米文学演習Ⅲ	2		2		
英語音声学演習	2		2		
近代小説演習	2		2		
現代小説演習Ⅰ	2		2		
現代小説演習Ⅱ	2		2		
卒業論文	8	8			

Ⅱ 哲学専攻					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
哲学基礎講読	4	4		必修科目及び選択必修科目を含めて、56単位以上を修得しなければならない。 選択科目は、選択コース科目を含めた中から38単位以上を修得しなければならない。 } 3科目選択必修 } 2科目選択必修 } 2科目選択必修	
宗教学基礎講読	4	4			
倫理学基礎講読	4	4			
日本思想史Ⅰ	4		4		
日本思想史Ⅱ	4		4		
東洋思想史Ⅰ	4		4		
東洋思想史Ⅱ	4		4		
西洋思想史Ⅰ	4		4		
西洋思想史Ⅱ	4		4		
哲学概論	4	4			
宗教学概論	4	4			
倫理学概論	4	4			
哲学特殊講義	4		4		
宗教学特殊講義	4		4		
倫理学特殊講義	4		4		
科学哲学	4		4		
哲学演習Ⅰ	2		2		
哲学演習Ⅱ	2		2		
倫理学演習Ⅰ	2		2		
倫理学演習Ⅱ	2		2		
宗教学演習Ⅰ	2		2		
宗教学演習Ⅱ	2		2		

現代思想演習Ⅰ	2		2)	
現代思想演習Ⅱ	2		2		
卒業論文	8	8			

Ⅲ 史学専攻					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
				必修科目及び選択必修科目を含めて、56単位以上を修得しなければならない。 選択科目は、選択コース科目を含めた中から38単位以上を修得しなければならない。	
日本史入門	4	4	4	} 3科目選択必修	
東洋史入門	4		4		
西洋史入門	4		4		
考古学入門	4		4		
史学概論	4		4	} 3科目選択必修	
日本史概説	4		4		
東洋史概説	4		4		
西洋史概説	4		4		
考古学概説	4		4	} 4科目選択必修	
日本史特講Ⅰ	4		4		
日本史特講Ⅱ	4		4		
日本史特講Ⅲ	4		4		
東洋史特講Ⅰ	4		4		
東洋史特講Ⅱ	4		4		
東洋史特講Ⅲ	4		4		
西洋史特講Ⅰ	4		4		
西洋史特講Ⅱ	4	4	} 4科目選択必修		
西洋史特講Ⅲ	4	4			
考古学特講Ⅰ	4	4	} 4科目選択必修		
考古学特講Ⅱ	4	4			
日本史演習Ⅰ	2		2)	
日本史演習Ⅱ	2		2		

東洋史演習Ⅰ	2		2	} 2科目選択必修	
東洋史演習Ⅱ	2		2		
西洋史演習Ⅰ	2		2		
西洋史演習Ⅱ	2		2		
考古学演習Ⅰ	2		2		
考古学演習Ⅱ	2		2		
古文書学	4		4		
卒業論文	8	8			

経済学部

経済学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
経済学概論	4	4		必修科目は、12単位を修得しなければならない。選択科目は、選択コース科目を含めた中から70単位以上を修得しなければならない。	
経済原論	4	4			
経済学史	4		4		
計量経済学	4		4		
価格理論	4		4		
産業組織論	4		4		
経済史総論	4	4			
日本経済史	4		4		
西洋経済史	4		4		
経済政策総論	4		4		
農業経済論	4		4		
工業経済論	4		4		
国際経済論	4		4		
日本経済論	4		4		
アメリカ経済論	4		4		
中国経済論	4		4		
経済開発論	4		4		
経済地理学	4		4		
財政学総論	4		4		
地方財政論	4		4		
租税論	4		4		

貨幣経済論	4		4	
金融論	4		4	
国際金融論	4		4	
経済統計学	4		4	
社会政策論	4		4	
労働経済論	4		4	
民法	4		4	
商法	4		4	
労働法	4		4	
情報概論	4		4	
特殊講義	2又は4		2又は4	
卒業論文	4		4	

商学部

商業学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
商学部門				選択必修科目は、商学部門・経済学部門・法学部門及び特殊部門の特殊講義や外国書講読から48単位以上を修得しなければならない。 選択科目は、選択コース科目を含めた中から34単位以上を修得しなければならない。	
商学総論	4		4		
マーケティング	4		4		
貿易論	4		4		
金融機関論	4		4		
交通論	4		4		
海運港湾論	4		4		
保険総論	4		4		
損害保険論	4		4		
証券市場論	4		4		
広告論	4		4		
商品学	4		4		
経済地理	4		4		
市場調査論	4		4		
国際金融論	4		4		
商業政策	4		4		
商業英語 I	2		2		

商業英語Ⅱ	2		2	
流通経済論	4		4	
製品計画論	4		4	
観光事業論	4		4	
商業史	4		4	
経営学部門				
経営学	4		4	
経営管理論	4		4	
中小企業論	4		4	
会計学部門				
簿記論Ⅰ	4		4	
簿記論Ⅱ	4		4	
会計学	4		4	
原価計算論	4		4	
経済学部門				
経済原論	4		4	
金融論	4		4	
国際経済論	4		4	
特殊部門				
情報管理論	4		4	
外国書講読	2		2	
特殊講義	2又は4		2又は4	
卒業論文	4		4	
法学部門				
民法	4		4	
商法	4		4	
税法	4		4	

5 選択コース科目（各学科共通）

各コースとも許可を得て履修することができる。

I 司書教諭コース

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学校経営と学校図書館	2		2		

学校図書館メディアの構成	2		2		
学習指導と学校図書館	2		2		
読書と豊かな人間性	2		2		
情報メディアの活用	2		2		

II 学芸員コース

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
生涯学習論	2		2		
博物館概論	2		2		
博物館経営論	2		2		
博物館資料論	2		2		
博物館資料保存論	2		2		
博物館展示論	2		2		
博物館教育論	2		2		
博物館情報・メディア論	2		2		
博物館実習Ⅰ	1		1		
博物館実習Ⅱ	2		2		
博物館実習Ⅲ	1		1		
民 俗 学	4		4		
文 化 人 類 学	4		4		

III 教職コース

法学部

I 法律学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
日 本 史 概 論	4		4		
東 洋 史 概 論	4		4		
西 洋 史 概 論	4		4		
人 文 地 理 学 概 論	4		4		
自 然 地 理 学 概 論	4		4		
地 誌 学 概 論	4		4		
哲 学 概 論	4		4		
倫 理 学 概 論	4		4		

II 政治経済学科					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
日 本 史 概 論	4		4		
東 洋 史 概 論	4		4		
西 洋 史 概 論	4		4		
人 文 地 理 学 概 論	4		4		
自 然 地 理 学 概 論	4		4		
地 誌 学 概 論	4		4		
哲 学 概 論	4		4		
倫 理 学 概 論	4		4		

文理学部

I 文学専攻（ア国文学）					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
ア（国文学）					
漢 字 書 法	2		2		
か な 書 法	2		2		

II 哲学専攻					
授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
地 理 学 概 論	4		4		
地 誌 学	4		4		
法 学 通 論	4		4		
政 治 学 概 論	4		4		
経 済 学 概 論	4		4		
商 法	4		4		
労 働 法	4		4		
国 際 法	4		4		
国 際 経 済 論	4		4		
日 本 史 概 説	4		4		
東 洋 史 概 説	4		4		
西 洋 史 概 説	4		4		

Ⅲ 史学専攻					
授業科目	単位数	必修 単位数	選択 単位数	履修方法	備考
地理学概論	4		4		
人文地理学概論	4		4		
自然地理学概論	4		4		
地誌学	4		4		
哲学概論	4		4		
宗教学概論	4		4		
倫理学概論	4		4		
法学通論	4		4		
政治学概論	4		4		
経済学概論	4		4		
商法	4		4		
労働法	4		4		

経済学部

経済学科					
授業科目	単位数	必修 単位数	選択 単位数	履修方法	備考
日本史概説	4		4		
外国史概説	4		4		
人文地理学概論	4		4		
自然地理学概論	4		4		
地誌学	4		4		
法律学概論 (国際法を含む)	4		4		
国際政治論	4		4		
哲学概論	4		4		
倫理学概論	4		4		

商学部

商業学科					
授業科目	単位数	必修 単位数	選択 単位数	履修方法	備考

職業指導	4		4	
------	---	--	---	--

第7条 教科及び教職に関する科目（各教科の指導法に関する科目，教諭の教育の基礎的理解に関する科目等）は，中学校及び高等学校の教員免許状を必要とする教職コース履修者のために設けられたものであって，その授業科目の種類及び単位数は，次のとおりである。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
国語科教育法Ⅰ	2	2		必修を含め，中学校36単位以上，高等学校28単位以上を履修しなければならない。ただし，高等学校（英語）は32単位以上を履修しなければならない。 各教科教育法については，当該の1教科教育法を必修するものとする。各教科教育法Ⅲ・Ⅳは，中学校に必修。ただし，中学校（社会）の場合は，社会科・地理歴史科教育法Ⅰ，社会科・地理歴史科教育法Ⅱ，社会科・公民科教育法Ⅰ及び社会科・公民科教育法Ⅱを必修とする。また，高等学校（地理歴史）の場合は，社会科・地理歴史科教育法Ⅰ及び社会科・地理歴史科教育法Ⅱを必修とする。また，高等学校（公民）の場合は，社会科・公民科教育法Ⅰ及び社会科・公民科教育法Ⅱを必修とする。	高等学校は，「大学が独自に設定する科目」の選択科目
国語科教育法Ⅱ	2	2			
国語科教育法Ⅲ	2		2		
国語科教育法Ⅳ	2		2		
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2		2		
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2		2		
社会科・公民科教育法Ⅰ	2		2		
社会科・公民科教育法Ⅱ	2		2		
英語科教育法Ⅰ	2	2			
英語科教育法Ⅱ	2	2			
英語科教育法Ⅲ	2	2			
英語科教育法Ⅳ	2	2			
商業科教育法Ⅰ	2	2			
商業科教育法Ⅱ	2	2			
教育原論	2	2			
現代教職論	2	2			
教育制度論	2	2			
教育の社会学	2	2			
発達と学習	2	2			
特別支援教育概論	1	1			
教育課程論	2	2			
道徳教育の理論と方法	2		2	中学校必修	
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2			

教育方法・ICT活用論	2	2		
生徒指導・進路指導論	2	2		
教育相談	2	2		
教育実習Ⅰ	4		4	} 1科目選択必修。ただし、 中学校は教育実習Ⅰ必修
教育実習Ⅱ	2		2	
教育実習事前・事後指導	1	1		
教職実践演習(中・高)	2	2		

第7条の2 本大学通信教育課程において、取得できる中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状の免許教科の種類は、次の表に掲げるとおりとする。

学 部 名	専 攻 部 門	免許教科の種類	
		中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状
法 学 部	法 律 学 科 政 治 経 済 学 科	社会 社会	地理歴史 公民 地理歴史 公民
文 理 学 部	文 学 専 攻 (国文学) 文 学 専 攻 (英文学) 哲 学 専 攻 史 学 専 攻	国語 英語 社会 社会	国語 英語 公民 地理歴史
経 済 学 部	経 済 学 科	社会	地理歴史 公民
商 学 部	商 業 学 科		商業

第4節 履修規定

第8条 各学部の通信教育課程を卒業するためには、第3節教育課程及び履修方法に従って、所定の単位数を修得しなければならない。

2 卒業に必要な単位のうち、30単位以上は面接授業又はメディアを利用して行う授業で修得しなければならない。

3 卒業論文提出者は、前各項の単位修得のほかに、総合面接試問に合格しなければならない。

4 保健体育科目のうち実技については、それぞれの地域において、他の大学、教育委員会等が開催する体育事業等のうち本学が適当と認めるものに参加することにより履修することができるものとし、別に定める規定により単位を与える。

5 通信教育課程の授業については、45時間の学習活動に相当する教材の履修をもって1単位とする。

第9条 中学校教諭（国語科，英語科，社会科）の普通免許状，高等学校教諭（国語科，英語科，地理歴史科，公民科，商業科）の普通免許状を得ようとするものは，教育職員免許法（昭和24年法律第147号）の規定によって，教科及び教職に関する科目を，第3節教育課程及び履修方法の中から選択するものとする。

第10条 通信による1学年間の履修単位は，30単位を基準とする。

第5節 指導

第11条 通信教育課程における教育は，(1)教材，(2)学習指導書，(3)報告課題の添削指導，(4)質疑応答，(5)面接授業及びその他によって行うものとする。

2 教材は，毎年30単位以上，4年間に124単位以上を配付する。

3 学習指導書は，各授業科目について必要に応じて作成し，教材とともに配付する。

4 各教材については，報告課題及び必要に応じて自由研究課題を設け，次の方法で指導する。

① 学生は所定の報告課題について，解答報告を提出し，学習指導を受け，合格しなければならない。

② 解答に対しては，担当教授又は指導教員が添削し，批評採点を行った上返送する。

③ 自由研究課題は，解答の提出を必要としない。

5 配付された教材については，質疑することができる。ただし，質疑は所定の質問票をもってしなければならない。質問票による質問に対しては，指導教員が解答を作成し，返送する。

6 面接授業は，本学の校舎又は本学が指定する施設において，通算1学年分に相当する期間行うものとする。面接授業実施に関する時期，場所，科目，その他については，そのつどこれを定める。

7 メディアを利用して行う授業は，指定した受講期間内にインターネットその他双方向の通信手段により行う。

第6節 学年・入学・在学・転籍・休学・復学・留学・退学及び除籍

第12条 1学年は，4月から翌年3月まで又は10月から翌年9月までとする。

2 入学の時期は，原則として4月1日又は10月1日とする。

第13条 本大学通信教育課程に入学することのできる者は，日本大学学則第17条に該当する資格を持つものとする。

第14条 編入学とは，他の種類の学校を卒業した者が，教育課程の一部を省いて途中

から履修すべく本大学通信教育課程に入学することをいう。ただし、大学を卒業した者又は大学に1年以上在学した者が、教育課程の一部を省いて途中から履修すべく本大学通信教育課程に入学する場合も編入学とする。

2 本大学通信教育課程に編入学することのできる者は、日本大学学則第21条第2項に該当する資格を持つものとする。

3 編入学者の取扱いについては、別に定める規定による。

第15条 入学は、書類選考によって許可する。ただし、必要に応じて面接考査を行うことがある。

第16条 入学を志願する者は、所定の手続によって願出のものとする。

第17条 入学を許可された者は、所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

第18条 再入学とは、病気その他やむを得ない事由によって退学した者が、当該学部等に再び入学することをいう。

2 病気その他やむを得ない事由によって退学した者が、その事由が解消し、当該学部等に再入学を志望したときは、退学前に在籍していた学部学科等の収容定員に余裕があり、かつ在学生の学修に支障がないと認めた場合に限り、選考の上再入学を許可することがある。

3 再入学者の取扱いについては、別に定める規定による。

第19条 修業年限とは、本大学通信教育課程の教育課程を修了するために必要な期間のことをいう。

2 在学年限とは、本大学通信教育課程において学生の身分を有することができる期間のことをいう。

3 修業年限は最低4年とし、在学年限は12年とする。

4 編入学・再入学・転部・転科及び転籍後の在学年限は、別に定める規定による。

第20条 (削除)

第21条 (削除)

第22条 転部とは、所属する学部とは異なる学部（通信教育部内を含む）へ異動することをいう。

2 転科とは、所属する学部の異なる学科へ異動することをいう。

3 転籍とは、通信教育課程を有する学部において、同一学部の通学課程と通信教育課程の間を異動することをいう。なお、通学課程と通信教育課程の間で異なる学部

への異動については、転部とする。

4 転部・転科及び転籍する者の取扱いについては、別に定める規定による。

第23条 (削除)

第24条 休学とは、病気その他やむを得ない事由により、修学できない状態のことをいう。

2 復学とは、休学期間満了によって、再び修学することをいう。

3 休学しようとする者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で願い出て、その許可を得て原則として入学年次を除き、休学することができる。

4 休学期間は、1年とし、通算して在学年限の半数を超えることができない。

5 休学者は、その事由が解消された場合、保証人連署で願い出て、許可を得て復学することができる。

第25条 休学者は、学年の始めでなければ復学することができない。

第26条 休学期間は、在学年数に算入する。

第26条の2 留学とは、各学部の通信教育課程が教育上有益と認めたときは、休学することなく、外国の大学において、許可を得て一定期間修学することをいう。

2 留学の期間は、修業年数に算入する。

第27条 退学とは、在学の中途において在籍関係を解除することをいう。退学には、その手続により、次のものがある。

① 病気その他やむを得ない事由による、学生の意志に基づく願い出によるもの。

ただし、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で退学願を提出して、許可を受けなければならない。

② 学生が死亡したことによる、保証人からの届出によるもの

③ 第28条に基づく除籍によるもの

④ 第49条第2項に基づく懲戒によるもの

第28条 除籍とは、学生の帰すべき事由により在籍関係を強制的に解除し、退学させることをいう。

2 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍することができる。

① 故なくして授業料の納付を怠った者

② 在学年限を超えた者

第7節 試験

第29条 各授業科目を履修した者は、指定の時期及び場所において、その授業科目の

科目修得試験を受けなければならない。

第30条 合格した授業科目については、その授業科目所定の単位を与え、又願出によってその授業科目の合格証明書を与える。

第31条 不合格の授業科目については、一定期間後、再試験を受けることができる。

第8節 卒業及び学士の学位

第32条 4年以上在学し、所定の授業科目及び単位を修得して、卒業資格を得た者には学士の学位を授与する。

第33条 前条の学位に付記する専攻分野は次のとおりとする。

学部名	専攻部門	専攻分野の名称
法学部	法律学科 政治経済学科	法学
文理学部	文学専攻 { 国文学 英文学 哲学専攻 史学専攻	文学
経済学部	経済学科	経済学
商学部	商業学科	商学

第34条 卒業審査に不合格となった者は、指示に従って再審査を受けることができる。

第9節 学費

第35条 授業料その他所定の学費は、学年の始めに納付するものとする。

第36条 授業料を分納しようとする者は、事由を述べた書面により保証人と連署で願出なければならない。

第37条 授業料及び面接授業等に必要な費用は、別表2のとおりとする。

第38条 試験料、卒業論文審査料その他各種の手数料等については、別表3のとおりとする。

第39条 既納の学費は、いかなる事由があっても返還しない。

第39条の2 停学を命ぜられた学生は、停学期間中も授業料を納付しなければならない。

2 休学及び留学を許可された学生の休学及び留学期間中の学費の取扱いについては、別に定める。

第10節 科目履修生

第40条 本大学通信教育課程の授業科目の一部を履修しようとする者があるときは、
収容定員に余裕のある場合に限り、科目履修生として入学を許可することができる。

第41条 科目履修生となることのできる者は、大学入学資格を有する者で選考に合格
した者とする。

第42条 科目履修生が履修した授業科目について、第29条の科目修得試験を受けこれ
に合格した場合は、その授業科目の所定の単位を与える。

第43条 科目履修生として在学した年数は、第32条の在学年数として認めない。

第44条 科目履修生の在学年数は1年とする。ただし、願い出により更に1年継続し
て在学を許可することができる。

2 科目履修生の授業料等は、別表2のとおりとする。

3 科目履修生が継続して在学する場合は、別に定める継続履修費、補助教材費を納
めなければならない。

第45条 科目履修生に関し、この節に規定されていない事項はすべて他の節の規定に
よる。

第11節 特修生

第46条 第13条による入学資格のない者は、特修生として入学を許可する。

2 特修生の授業料等は、別表2のとおりとする。

第47条 特修生として本大学通信教育課程の総合教育科目の中から16単位以上、外国
語4単位を修得した者は、別に定める規定により選考の上、正科生に転ずることが
できる。

2 正科生に転じた者が特修生として既に修得した総合教育科目、外国語科目・保健
体育科目の単位については、卒業の要件となる単位として認定することができる。

3 前各項の取扱いは、本大学の通信教育課程のみに適用されるもので、正科生に転
じた者が本大学の通学課程に転籍又は他大学への転学はできない。

4 特修生として、在学した年数は第32条の在学年数として認めない。

第48条 特修生の在学年数は1年とする。ただし、願い出により更に1年継続して在
学を許可することができる。

第12節 賞罰

第49条 人物及び学業成績が優秀な者には、選考の上、授業料を免除し又は奨学金を
支給することがある。

2 その他の賞罰については、日本大学学則第1章第14節による。

附 則

1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。

2 教育公務員特例法等の一部を改正する法律（平成28年11月28日法律第87号）附則第五条（教育職員免許法の一部改正に伴う経過措置）の適用を受けない者は、教職課程に関して、本学則の適用を受けるものとする。

3 平成30年度以前から在籍する学生については、教職課程の履修に関して、本学則に定める授業科目を履修する必要があると認められる場合、本学則に定める授業科目を履修することができるものとする。

別表1

教 育 研 究 上 の 目 的 (大学)
法 学 部 (通信教育課程)
<p>法律の知識を基礎として、高水準の実践的な専門教育と国際的教養人としての教養教育に努め、高い倫理観と優れた人格を備えた法律的なものの考え方ができる人材を養成する。また、高度な職業意識と専門的な能力を兼ね備えた人材を養成する。 (法律学科)</p> <p>ますます多元化・グローバル化していく社会では、これまでリーガルマインドと称されてきた一定のルールに従いもめごとを解決する能力が、法律家のみならず我々社会人にとって必要不可欠である。このような能力を生かし、社会の様々な領域で中核的存在として活躍する人材を養成する。 (政治経済学科)</p> <p>現代社会を理解する上で不可欠な政治・経済・法律などの幅広い知識を基礎に、独自の視点、問題解明能力、判断力などを育成することを通じて、政治の担い手をはじめ、国や地方の公共団体、民間企業、NGO、マスコミ、さらには国際社会などの分野で実践的能力を発揮するリーダーとなる人材を養成する。</p>
文 理 学 部 (通信教育課程)
<p>「文と理の融合」を教育理念に掲げ、教養教育と専門教育の両面から総合的・学際的な教育を行い、かつ高度な専門的研究も行う。また、時代や社会のニーズに応えられる教養教育、語学教育、情報教育の充実を図り、かつ特色ある専門教育により、総合的な学力または専門的な学力を有する人材を養成する。 (文学専攻 国文学)</p> <p>日本語・日本文学・書学の各分野における多角的で総合的な研究に基づく教育を目的とし、中・高等学校等の国語科教員をはじめとして、日本語・日本文学・日本文化に関する深い知識と、それらを駆使した優れた思考力、対話力、文章力、プレゼンテーション能力をもった、社会的に有為な人材を養成する。 (文学専攻 英文学)</p>

高度な英語運用能力と英米文学及び英語学の知識に基づく豊かな教養を備え、国際社会の場をはじめ各方面で活躍できる能力を持つ人材を養成する。具体的には、コミュニケーション中心の科目の学修を通して、社会に十分通用する英語運用能力を身に付けさせ、英米の文学・文化・言語の専門知識に裏打ちされた多様な価値観を持つ、個性豊かな人材を養成する。

(哲学専攻)

哲学・宗教学・倫理学の理論と方法を学ぶことを通じて、人間の価値と文化的実践に関わる総合的・体系的研究を行う。特に、古今の哲学者の著作を厳密に読解することを基本としながら、思想全般にわたる幅広い知識を身に付ける。それによって、多様化する現代社会の中で自ら問題を発見し、分析して解決する鋭い思考力と複眼的なもの見方をもった人材を養成する。

(史学専攻)

現代社会の様々な問題を解決するためには、過去の経緯を踏まえることが必要である。入門科目・概説科目・特講科目・演習科目を基本に歴史及びその研究法を習得し、歴史的視点と、より正確な歴史像把握の方法を身に付け、豊かな現代社会の構築に寄与する人材を養成する。

経 済 学 部 (通信教育課程)

自立した個人の自主的な努力を原則に、変化する経済的社会的環境に対し、人間としての生きる力、愛する力、考える力を養い、その全人格的能力を自由かつ多様に伸長することを図る。そのことを通じて、経済諸現象を経済・経営・会計の諸分野で分析できる能力を養い、国際的視野を持って高度情報化時代に対応できる健全かつ高度な専門職業人・社会人を養成する。

(経済学科)

経済学を系統的かつ体系的に学ぶために、基礎的教養・知識を修得しつつ、経済学の基礎理論を理解し、これを土台に、専門的能力を養成することによって、経済現象を経済学的に分析し、論理的に叙述する力を涵養し、変化の激しい経済社会に常に対応できる豊かな教養と専門知識を備えた人材を養成する。

商 学 部 (通信教育課程)

激しく変動する市場経済の下でビジネスを行うには、商品、人的資源、資金、情報にかかわる知識と実践的技能の習得が必要である。そのため、実学としてビジネスの理論を学修するとともに、幅広い教養に裏打ちされた職に就く力(就職力)を身に付け、国内だけでなく広く世界を視野に入れて、営利企業、非営利組織、行政で活躍できる専門能力、人間力をもった人材を養成する。

(商業学科)

商業学は、グローバル化やIT化など新しい時代の変化に対応して進化をとげつつある。ビジネス・経済にかかわる専門的な知識を基に、マーケティング、流通、貿易、金融、ビジネス法務など多様な科目を総合的・体系的に学ぶとともに、実践への応用力を養い、激動する市場環境に対応できる的確な判断力、問題解決能力を備えた人材を養成する。

別表 2

項	目	摘	要	金	額	備	考
入	学	金	入	学	時	の	み
						30,000	
授	業	料	(正	科	生	・
			特	修	生)
			年			額	
						100,000	
授	業	料	(科	目	履	修
			生)
			1			単	位
						5,000	

- 備考 1 金額の単位は円とする。
- 2 面接授業料等については、別に定めるところによる。
- 3 この表は、平成27年度入学者から適用する。

別表 3

種 類	摘 要	金 額 (円)	備 考
卒 業 論 文 審 査 料		10,000	
総 合 面 接 試 問 料		10,000	
証 明 手 数 料			
在 学 証 明 書	1通につき	300	
成 績 証 明 書	〃	300	
卒 業 証 明 書	〃	300	
卒 業 見 込 証 明 書	〃	300	
人 物 調 査 書	〃	300	
修 了 証 明 書	〃	300	
教員免許状取得見込証明書	〃	300	
単 位 修 得 証 明 書	〃	300	
面 接 授 業 出 席 証 明 書	〃	300	
英文証明書 (オリジナル)	〃	1,000	
〃 (コ ピ ー)	〃	500	

日本大学短期大学部学則

第1章 総 則

第1節 目的及び使命

第1条 本短期大学部は、日本大学建学の精神にのっとり、一般教養との密接な関連の基に、科学的で実際的な専門教育を施し、善良な社会人を育成することを、目的及び使命とする。

第2節 組織

第2条 本短期大学部は、次の学科をもって組織する。

学 科 名
ビジネス教養学科 食物栄養学科 建築・生活デザイン学科 ものづくり・サイエンス総合学科

2 本短期大学部専攻科は、次のとおりである。

専 攻 名
食物栄養専攻

3 第1項に定める学科及び第2項に定める専攻科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、別表1に定める。

第3節 教職員及び教授会

第3条 本短期大学部の教員を分けて教授・准教授・講師・助教及び助手とする。

2 教職員に関する規定は、別に定める。

第4条 本短期大学部に教授会を置き、各学科所在地の地域性を考慮して、次の区分により構成するものとする。

- ① 三 島 ビジネス教養学科，食物栄養学科
- ② 船 橋 建築・生活デザイン学科，ものづくり・サイエンス総合学科

2 教授会は、構成区分ごとの専任教授全員，3名以内の専任准教授代表並びに事務局長をもって組織する。

3 短期大学部次長及び学科長は、所属学部にかかわらず当該区分の専任教授とみなす。

- 4 3名以内の専任准教授代表は、構成区分ごとに選出するものとする。
- 5 事務局長は、当該区分を担当する当該関連学部事務局長をもって充てる。
- 第5条 教授会は、当該区分担当の短期大学部次長が招集し、その議長となる。
- 第6条 教授会は、総会員の半数以上の出席によって成立する。
- 第7条 議長は、議事録を作成し、出席者中2名の署名押印を得るものとする。
- 第8条 教授会は、次の事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- ① 学生の入学及び卒業に関すること。
- ② 学位の授与に関すること。
- ③ 前2号に掲げる事項のほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項。

- 2 前項第3号の事項については、別に定める「学長裁定」による。
- 3 教授会は、第1項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について教育研究上の専門的な観点から審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

なお、本大学の諸規程において教授会が審議することと定められている事項については、教授会はこれを審議し、意見を述べなければならない。

- 4 教授会の意見を集約する必要がある場合は、出席者の過半数によるものとする。

第9条 教授会における審議とは、論議・検討することを意味し、決定権を含意するものではない。

第4節 学生定員

第10条 本短期大学部学生の定員は、次のとおりである。

学 科	毎年入学定員	収容定員
ビ ジ ネ ス 教 養 学 科	100	200
食 物 栄 養 学 科	100	200
建 築 ・ 生 活 デ ザ イ ン 学 科	102	204
も の づ く り ・ サ イ エ ン ス 総 合 学 科	78	156
計	380	760

- 2 本短期大学部専攻科の学生定員は、次のとおりである。

専 攻	毎年入学定員	収容定員
食 物 栄 養 専 攻	20	40

第5節 学年・学期及び休業日

第11条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第12条 学期は、次のとおりとする。ただし、事情によって異なる場合がある。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から3月31日まで

第12条の2 1年間の授業期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則とする。

第13条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日でも特に授業又は試験を行うことがある。

- ① 日曜日
- ② 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ③ 日本大学創立記念日（10月4日）
- ④ 春季休業 3月11日から3月31日まで
- ⑤ 夏季休業 7月11日から9月10日まで
- ⑥ 冬季休業 12月21日から翌年1月10日まで

2 休業日の変更及び臨時の休業については、そのつどこれを定める。

第6節 入学・在学・休学・復学・留学・退学及び除籍

第14条 入学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

第15条 本短期大学部に、入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を持ち、本短期大学部の選抜試験に合格した者とする。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)
- ③ 外国において、学校教育による12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者

⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）

⑦の2 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

⑧ その他本短期大学部において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

第16条 入学を志願する者は、各学科所定の手続によって願出するものとする。

第17条 入学の選抜試験に合格した者は、所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

第18条 修業年限とは、本短期大学部の教育課程を修了するために必要な期間のことをいう。

2 在学年限とは、本短期大学部において学生の身分を有することができる期間のことをいう。

3 修業年限は、最低2年とし、在学年限は、4年とする。

4 前項の規定にかかわらず、学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて在学年限の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

第19条 （削除）

第20条 休学とは、病気その他やむを得ない事由により、3か月以上修学できない状態のことをいう。

2 復学とは、休学期間満了によって、再び修学することをいう。

3 休学しようとする者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で願出、その許可を得て原則として入学年度を除き、休学することができる。ただし、入学年度の後学期については、修学困難な事由の場合は認めることがある。

4 休学期間は、1学期又は1年とし、通算して在学年限の半数を超えることができない。

5 休学者は、その事由が解消された場合、保証人連署で願出、許可を得て復学することができる。

6 休学者は、学期の始めでなければ復学することができない。

7 休学期間は、在学年数に算入する。

第21条 (削除)

第22条 留学とは、本短期大学部が教育上有益と認めたときは、休学することなく、外国の大学において、許可を得て一定期間修学することをいう。

2 留学の期間は、修業年数に算入する。

第23条 退学とは、在学の中途において在籍関係を解除することをいう。退学には、その手続により、次のものがある。

① 病気その他やむを得ない事由による、学生の意志に基づく願出によるもの。

ただし、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で退学願を提出して、許可を受けなければならない。

② 学生が死亡したことによる、保証人からの届出によるもの

③ 第25条に基づく除籍によるもの

④ 第50条及び第51条に基づく懲戒によるもの

2 第32条に基づく年度のGPAが1.50未満で、修学指導の結果、改善が見込まれないと判断した場合は、退学勧告を行う。

第24条 再入学とは、病気その他やむを得ない事由によって退学した者が、当該学科に再び入学することをいう。

2 病気その他やむを得ない事由によって退学した者が、その事由が解消し、当該学科に再入学を志望したときは、退学前に在籍していた学科の定員に余裕があり、かつ、在学生の学修に支障がないと認めた場合に限り、選考の上再入学を許可することがある。この場合には、既修の授業科目の全部又は一部の再履修を命ずることがある。

3 再入学できる者は、次の各号に該当するものとする。

① 本短期大学部に原則として1年以上在学し、再入学しようとする学科が定める単位数を修得している者

② 病気その他やむを得ない事由で退学した者

③ 人物及び在学中の成績が妥当な者

4 除籍によって退学になった者については、事情勘案の上、前項に準じて再入学を認めることができる。

5 再入学の学科については、原則として退学時の学科とする。

- 6 再入学を願い出た者については、学科の所定の手続によって願い出るものとする。
- 7 再入学の選考に合格した者は、学科の所定の期日までに手続を完了しなければならない。
- 8 再入学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。
- 9 再入学の年次は、退学時の学年次を原則とするが、修得単位数等の事情により年次を下げて許可することができる。また、学年末の退学者については、修得単位数等の事情により年次を上げて入学を許可することができる。
- 10 再入学者の在学年限は、許可された再入学年次に応じ、第18条第3項に定める在学年限から再入学年次数を控除し、それに1を加えて得た年数とする。
- 11 再入学者は、再入学年次の教育課程によって履修するものとする。ただし、学則変更等の事情により再入学前の入学年度の教育課程によることができる。
- 12 退学前の既修単位は認定する。ただし、教育課程等の変更により、退学前の既修単位が認定されないことがある。

第25条 除籍とは、学生の帰すべき事由により在籍関係を強制的に解除し、退学させることをいう。

- 2 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍することができる。
 - ① 故なくして学費の納付を怠った者
 - ② 故なくして欠席が長期にわたる者
 - ③ 在学年限を超えた者

第26条 (削除)

第27条 (削除)

第7節 履修規定、卒業及び短期大学士の学位

第28条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- ① 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で短期大学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ② 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で短期大学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ③ 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して短

期大学部が定める時間の授業をもって1単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第29条 前条に規定する講義、演習、実験、実習又は実技による授業は、文部科学大臣が別に定めるところによって、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第30条 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって、これを定める。ただし、授業科目によっては、その他の方法で査定することができる。

- 2 試験には、平常試験・定期試験・追試験及び再試験がある。

- ① 平常試験とは、当該授業科目履修者を対象に授業科目担当教員が学期の途中に適宜行う試験のことをいう。

- ② 定期試験とは、当該授業科目履修者を対象に大学の定めた試験期間中に行う試験のことをいう。定期試験は学期末又は学年末に行う。

- ③ 追試験とは、やむを得ない事由のため定期試験を受けることのできなかつた者のために行う試験のことをいう。

- ④ 再試験とは、受験の結果不合格となった者のために行う試験のことをいう。

- 3 追試験及び再試験は、当該学科において必要と認めたときに限り、これを行う。

第31条 修学についての所定の条件を備えていない者は、受験資格を失うことがある。

第32条 学業成績の判定は、S、A、B、C、D及びEの6種をもってこれを表し、S（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）、E（履修登録したが成績を示さなかつたもの）をもって表し、S、A、B、Cを合格、D、Eを不合格とする。合格した授業科目については、所定の単位数が与えられる。

- 2 第1項の学業成績の学修結果を総合的に判断する指標として、総合平均点（Grade Point Average、以下「GPA」という）を用いることができる。

- 3 前項に定めるGPAは、学業成績のうち、Sにつき4、Aにつき3、Bにつき2、Cにつき1、D及びEにつき0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、総履修単位数（P又はNとして表示された科目を除く）で除して算出する。GPAは、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで有効とする。

- 4 第1項の規定にかかわらず、履修登録後、所定の中止手続を取ったものはP、修得単位として認定になったものはNと表示する。

- 5 GPA算出の対象科目は、卒業要件単位数に含まれる授業科目（単位認定科目としてNと表示された科目を除く）とする。
- 6 GPAは、学期のGPA、年度のGPA及び入学時からの累積のGPAとする。
- 7 通年科目は、学期のGPA算出の際には、後学期のGPAに算入する。
- 8 授業科目を再履修した場合、累積のGPA算出の際には、直近の履修による学業成績及び単位数のみを算入するものとし、以前の学業成績及び単位数は算入しない。
- 9 試験において不正行為を行った場合は、処分を受けた条件に基づき、評価をE、評価点はなしとして取り扱う。

第33条 各学科を卒業するために必要な最低単位数は、第2章教育課程及び履修方法に定めるところによる。

- 2 学生が許可を受けて他の短期大学、専門職短期大学、大学又は専門職大学で履修した授業科目の単位については、当該学生が在籍する学科の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 3 前項の規定は、学生が許可を受けて外国の短期大学又は大学に留学する場合、外国の短期大学又は大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の短期大学又は大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。
- 4 学生が許可を受けて行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修は、当該学生が在籍する学科の授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 5 学生が本短期大学部に入学する前に短期大学、専門職短期大学、大学又は専門職大学で履修した授業科目について修得した単位については、当該学生が在籍する学科の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 6 学生が本短期大学部に入学する前に行った第4項に規定する学修は、当該学生が在籍する学科の授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 7 第2項及び第5項により修得したものとみなす単位並びに第4項及び第6項により与えることのできる単位は、合わせて30単位を超えない範囲で、卒業に必要な単位数に算入することができる。この場合において、第3項により当該学生が在籍する学科の授業科目の履修により修得したものとみなす単位数と合わせるときは、45

単位を超えないものとする。

第33条の2 第29条に規定する授業によって修得した単位は、30単位を超えない範囲で、卒業するために必要な単位数に算入することができる。

第34条 第18条に定める修業年限に達し、所定の授業科目及び単位を修得し、卒業した者に短期大学士の学位を授与する。

第34条の2 前条の学位に付記する専攻分野の名称は次のとおりとする。

学 科 名	専攻分野の名称
ビ ジ ネ ス 教 養 学 科	商 経 学
食 物 栄 養 学 科	栄 養 学
建 築 ・ 生 活 デ ザ イ ン 学 科	工 学
も の づ く り ・ サ イ エ ン ス 総 合 学 科	工 学 又 は 理 学

第34条の3 栄養士については別に定めるところによる。

第8節 学費及び貸給費

第35条 授業料その他所定の学費は、別表2に定めるところにより納付するものとする。

2 再入学の学費の取扱いについては、別に定める。

3 休学及び留学を許可された学生の休学及び留学期間中の学費の取扱いについては、別に定める。

第36条 授業料を分納しようとする者は、事由を具して保証人連署で願い出るものとする。

第37条 証明手数料等については別表3の定めるところにより納付するものとする。

第38条 既納の学費は、返還しない。

第38条の2 停学を命ぜられた学生は、停学期間中も授業料を納付しなければならない。

第39条 学業人物ともに優秀な学生であって、学費支弁の方法のない者には、学費を減免し、又は貸与・給付することがある。

2 減免・貸給費については、別に定める。

第9節 委託生・科目等履修生・聴講生・特別聴講学生及び外国人留学生

第40条 国又は公共団体から、一定の在学期間と履修科目とを定めて、入学を願い出た者に対しては、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

第41条 委託生の入学資格については、第15条の規定を準用する。

第42条 委託生は、その履修した授業科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には、願い出によって単位取得証明書を与える。

第43条 委託生として2年以上在学し、所属学科における所定の単位を取得した者には卒業証書を授与する。

第44条 委託生の授業料その他本短期大学部に納付するために必要な費用は、委託者が納付するものとする。

第45条 各学科において、1科目又は数科目の履修を希望する者に対して、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生は、履修した授業科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には、所定の単位を与えることができる。

3 科目等履修生の出願手続等は、別に定める。

第46条 各学科において、1科目又は数科目の聴講を希望する者に対して、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講を希望する者が出願手続等は、別に定める。

第46条の2 国内又は国外の他の短期大学、専門職短期大学、大学又は専門職大学の学生が本短期大学部の授業科目の履修を希望するときは、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生の出願手続等は、別に定める。

第47条 外国人留学生の入学及び再入学については、第6節の規定を準用する。ただし、特別に選考を行い入学を許可することができる。

2 外国人留学生については、学修の必要に応じて第2章に掲げる授業科目の一部に代え又はこれに加えて日本語科目及び日本事情に関する科目（以下日本語科目等という）を開設することができる。

3 前項に定める日本語科目等の授業科目については、当該教授会がこれを審議する。

4 帰国生についても第1項及び第2項の規定を準用することができる。

第48条 委託生及び外国人留学生に関して、本節各条に規定しない事項については、本短期大学部学生に関する規定を準用する。

第10節 賞罰

第49条 人物及び学業成績が優秀な者には、授賞することがある。

2 授賞に関する規定は、別に定める。

第50条 学生が本大学の規則・命令に背き若しくは大学の秩序を乱し、又は学生とし

ての本分に反する行為があった場合にはその情状によって懲戒を行うことがある。

第51条 懲戒は、退学・停学及び訓告の3種とする。

2 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

- ① 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- ② 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- ③ 正当の理由がなくて出席常でない者
- ④ 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

3 停学とは、一定期間、授業の受講及び施設設備の利用等を禁止し、その他の課外活動等についても禁止することをいう。

4 訓告とは、文書で戒めることをいう。

5 懲戒の手續に関する規定は、別に定める。

第11節 寄宿舍

第52条 寄宿舍に関する規定は、別に定める。

第2章 教育課程及び履修方法

第1節 ビジネス教養学科

第53条 ビジネス教養学科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。履修方法に指定された50単位に加えて、さらに総合教育科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目（許可を得て履修した他学科設置の専門教育科目を含む）から任意に12単位以上を選択履修し、合計62単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2 基礎科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
キャリアデザイン	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	

3 総合教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
哲 学	2		2	10単位以上を修得しなければならない。	
日 本 近 現 代 史	2		2		
世 界 近 現 代 史	2		2		
文 学	2		2		
文 章 表 現	2		2		
法 学	2		2		
日 本 国 憲 法	2		2		
社 会 学	2		2		
心 理 学	2		2		
経 済 学	2		2		
数 理 の 世 界	2		2		
生 命 の 科 学	2		2		

調 査 統 計 論	2		2	
-----------	---	--	---	--

4 外国語科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英 語 I	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
英 語 II	2	2			
英 語 III	2		2		
英 語 IV	2		2		
海 外 語 学 実 習	2		2		

5 保健体育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
スポーツ科学と健康	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
ス ポ ー ツ 総 合	1		1		

6 専門教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
経 済 学 原 論	4	4		必修単位数8単位を含めて、30単位以上を修得しなければならない。	
経 済 史	2		2		
財 政 学	2		2		
国 際 関 係 論	2		2		
商 学 総 論	2		2		
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2		2		
消 費 者 行 動 論	2		2		
流 通 シ ス テ ム 論	2		2		
マ ス メ デ ィ ア 論	2		2		
金 融 ビ ジ ネ ス 論	2		2		
税 法	2		2		
経 営 学 総 論	4		4		
国 際 経 営 論	2		2		
経 営 史	2		2		
地 域 産 業 論	2		2		
ビ ジ ネ ス 法 務 基 礎	2		2		
簿 記 論	4		4		

経営法規	2		2	
会計学	2		2	
原価計算論	2		2	
情報処理実習Ⅰ	1	1		
情報処理実習Ⅱ	1	1		
情報処理概論	2		2	
ビジネス文書Ⅰ	1		1	
ビジネス文書Ⅱ	1		1	
インターンシップ	2		2	
ビジネスマナー	2		2	
コミュニケーションとプレゼンテーション	2		2	
ビジネス英語Ⅰ	1		1	
ビジネス英語Ⅱ	1		1	
ホスピタリティ産業論	2		2	
観光ビジネス論	2		2	
観光法規	2		2	
国内観光地理	2		2	
海外観光地理	2		2	
国内観光実務	2		2	
海外観光実務	2		2	
国際関係論入門	2		2	
国際文化論入門	2		2	
ジェンダー論	2		2	
現代社会論	2		2	
基礎ゼミナール	2	2		
特殊講義Ⅰ	2		2	
特殊講義Ⅱ	2		2	

第2節 食物栄養学科

第54条 食物栄養学科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。履修方法に指定された52単位に加えて、さらに総合教育科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目（許可を得て履修した他学科設置の専門教育科目を含む）から任意に10単位以上を選択履修し、合計62単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2 基礎科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
キャリアデザイン	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	

3 総合教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
哲 学	2		2	6単位以上を修得しなければならない。	
日 本 近 現 代 史	2		2		
世 界 近 現 代 史	2		2		
文 学	2		2		
文 章 表 現	2		2		
法 学	2		2		
日 本 国 憲 法	2		2		
社 会 学	2		2		
心 理 学	2		2		
経 済 と 流 通	2		2		
数 学 I	2		2		
数 学 II	2		2		
生 物 学	2		2		
化 学	2		2		
統 計 学 I	2		2		
統 計 学 II	2		2		

4 外国語科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
英 語 I	1		1	2単位以上を修得しなければならない。	
英 語 II	1		1		
英 語 III	1		1		

英 語 IV	1		1		
海 外 語 学 実 習	2		2		

5 保健体育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	履 修 方 法	備 考
スポーツ科学と健康	2		2		
ス ポ ー ツ 総 合	1		1		

6 専門教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	履 修 方 法	備 考
公 衆 衛 生 学	2	2		}	
社 会 福 祉 概 論	2		2		
解 剖 生 理 学	2	2			
解 剖 生 理 学 実 験	1		1		
栄 養 生 化 学	2		2		
栄 養 生 化 学 実 験	1		1		
病 理 学 概 論	2		2		
疾 病 学 概 論	2		2		
基 礎 食 品 学	2	2			
応 用 食 品 学	2		2		
食 品 学 実 験	1		1		
食 品 衛 生 学	2		2		
食 品 衛 生 学 実 験	1		1		
基 礎 栄 養 学	2	2			
応 用 栄 養 学	2		2		
栄 養 学 実 習	1		1		
臨 床 栄 養 学	2		2		
臨 床 栄 養 学 実 習	1		1		
健 康 管 理 概 論	2		2		
栄 養 教 育 論	2	2			
栄 養 教 育 実 習	1		1		
実 践 栄 養 教 育 論	2		2		
実 践 栄 養 教 育 実 習	1		1		
公 衆 栄 養 学	2		2		

必修単位数12単位を含めて、合計40単位以上を修得しなければならない。

調 理 学	2	2		
調理学基礎実習	1		1	
調理学応用実習	1		1	
調理科学実験	1		1	
食事計画演習	1		1	
給食経営管理論	2		2	
給食管理実習Ⅰ	1		1	
給食管理実習Ⅱ	1		1	
給食管理実習Ⅲ	1		1	
食品分析論	2		2	
バイオテクノロジー論	2		2	
フードコーディネータ論	2		2	
フードスペシャリスト論	2		2	
特 殊 講 義	2		2	
情報処理実習Ⅰ	1		1	
情報処理実習Ⅱ	1		1	
栄養情報処理演習	1		1	
卒 業 研 究	2		2	

第55条 栄養士養成施設として、指定されている食物栄養学科における履修方法は、別に定めるところによる。

第3節 建築・生活デザイン学科

第56条 建築・生活デザイン学科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な単位数は、科目区分ごとに履修方法で定めた単位数（補充教育科目を除く）を含め、総計62単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2 総合教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考

〈教養教育部門〉				8単位以上を修得しなければならない。 言語教育部門から3単位以上を修得しなければならない。
歴史学	2		2	
市民生活と法	2		2	
経済学入門	2		2	
日本国憲法	2		2	
ことばと文化	2		2	
哲学	2		2	
日本語表現の基礎	1		1	
スポーツⅠ	1		1	
スポーツⅡ	1		1	
スポーツ健康科学	2		2	
技術者倫理	2		2	
現代物理学	2		2	
科学技術と人間	2		2	
地理学	2		2	
〈言語教育部門〉				
基礎英語 A	1		1	
基礎英語 B	1		1	
中級英語 A	1		1	
中級英語 B	1		1	
実用英語Ⅰ	1		1	
実用英語Ⅱ	1		1	

3 専門教育科目

分野別専門教育部門を置き、その下にデザイン系及びエンジニアリング系の各専門分野を配置し、卒業判定時において修得単位数が最大である専門分野をもって主専攻分野とする。ただし、修得単位数が最大である専門分野が複数ある場合は、申請された専門分野をもって主専攻分野とする。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
入門ゼミナール	1	1		必修単位数9単位を含め、合計32単位以上を修得しなければならない。	
基礎ゼミナール	1	1			

総合ゼミナール	1	1		ただし、許可を得てものづくり・サイエンス総合学科において履修した専門教育科目について修得した単位は、6単位を超えない範囲で、当該学生が在籍する学科の専門教育科目選択科目の履修により修得したものとみなす。
卒業研究	2	2		
＜共通基礎教育部門＞				
情報リテラシ	1		1	
微分積分Ⅰ	2		2	
微分積分Ⅱ	2		2	
行列と行列式	2		2	
線形代数	2		2	
数学演習Ⅰ	1		1	
数学演習Ⅱ	1		1	
微分方程式Ⅰ	2		2	
微分方程式Ⅱ	2		2	
数理統計Ⅰ	2		2	
数理統計Ⅱ	2		2	
物理Ⅰ	2		2	
物理Ⅱ	2		2	
物理演習	1		1	
物理実験Ⅰ	1		1	
物理実験Ⅱ	1		1	
化学の基礎	2		2	
入門化学実験	2		2	
＜共通専門教育部門＞				
建築・生活デザインの基礎	2	2		A デザイン系分野、B エンジニアリング系分野のいずれか1分野のうちから10単位以上を修得し、共通専門教育部門（必修科目を除く）の修得単位を含め、14単位以上を修得しなければならない。
建築デザインスタジオⅠ	2	2		
建築計画の基礎	2		2	
建築構法の基礎	2		2	
建築環境の基礎	2		2	
建築総合プロジェクト	2		2	
＜分野別専門教育部門＞				
A デザイン系分野				
欧米の建築史	2		2	
現代建築論	2		2	
日本・アジアの建築史	2		2	

建 築 計 画 I	2	2		
建 築 計 画 II	2	2		
ランドスケープデザイン	2	2		
建 築 法 規	2	2		
都 市 デ ザ イ ン	2	2		
建築デザインスタジオII	2	2		
建築デザインスタジオIII	2	2		
建築ユニバーサルデザイン	2	2		
インテリアデザインの基礎	2	2		
イ ン テ リ ア 計 画	2	2		
造形デザイン演習	1	1		
メディアデザイン演習	1	1		
C A D 演 習	1	1		
B エンジニアリング系分野				
建 築 力 学 I	2	2		
建 築 力 学 II	2	2		
建築力学演習 I	1	1		
建築力学演習 II	1	1		
建築材料力学 I	2	2		
建築材料力学 II	2	2		
地 盤 工 学	2	2		
デ ー タ 解 析	2	2		
情 報 処 理	1	1		
建築情報処理	1	1		
建 築 材 料 I	2	2		
建 築 材 料 II	2	2		
建築基礎実験	1	1		
建 築 実 験 I	1	1		
建 築 実 験 II	1	1		
建築各種構法	2	2		
建築施工法&リノベーション	2	2		

建 築 気 候	2		2		
環 境 工 学 演 習 I	1		1		
環 境 工 学 演 習 II	1		1		
建 築 音 環 境	2		2		
建 築 設 備	2		2		
水 理 学 I	2		2		
水 理 学 II	2		2		
水 理 学 演 習 I	1		1		
水 理 学 演 習 II	1		1		
地 盤 力 学 I	2		2		
地 盤 力 学 II	2		2		
地 盤 力 学 演 習 I	1		1		
地 盤 力 学 演 習 II	1		1		
<キャリア・職業教育部門>					
建築キャリアデザイン	1		1		
ものづくりインターンシップ	1		1		

4 補充教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
理 数 基 礎 演 習 A	1		1		
理 数 基 礎 演 習 B	1		1		
理 数 総 合 演 習 A	1		1		
理 数 総 合 演 習 B	1		1		

第4節 ものづくり・サイエンス総合学科

第57条 ものづくり・サイエンス総合学科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。卒業に必要な単位数は、科目区分ごとに履修方法で定めた単位数（補充教育科目を除く）を含め、総計62単位以上を修得しなければならない。

1 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
自 主 創 造 の 基 礎	2	2		必修単位数2単位を修得し	

日本を考える	2		2	なければならない。	
--------	---	--	---	-----------	--

2 総合教育科目

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
〈教養教育部門〉					
歴 史 学	2		2	8単位以上を修得しなければならない。	
市 民 生 活 と 法	2		2		
経 済 学 入 門	2		2	言語教育部門から3単位以上を修得しなければならない。	
日 本 国 憲 法	2		2		
こ と ば と 文 化	2		2		
哲 学	2		2		
日 本 語 表 現 の 基 礎	1		1		
ス ポ ー ツ I	1		1		
ス ポ ー ツ II	1		1		
ス ポ ー ツ 健 康 科 学	2		2		
技 術 者 倫 理	2		2		
現 代 物 理 学	2		2		
科 学 技 術 と 人 間	2		2		
地 理 学	2		2		
〈言語教育部門〉					
基 礎 英 語 A	1		1		
基 礎 英 語 B	1		1		
中 級 英 語 A	1		1		
中 級 英 語 B	1		1		
実 用 英 語 I	1		1		
実 用 英 語 II	1		1		

3 専門教育科目

- ① 分野別専門教育部門（機械工学分野，電気電子工学分野，情報科学分野，応用化学分野，物理学分野，数学分野，総合科学分野）のうちから，卒業判定時において修得単位数が最大である専門分野をもって主専攻分野とする。ただし，修得単位数が最大である専門分野が複数ある場合は，申請された専門分野をもって主専攻分野とする。
- ② 第34条の2に定める学位に付記する専攻分野の名称は，機械工学分野，電気電

子工学分野，情報科学分野及び応用化学分野は工学とし，物理学分野，数学分野及び総合科学分野は理学とする。

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
入 門 ゼ ミ ナ ー ル	1	1		必修単位数6単位を含め，合計32単位以上を修得しなければならない。 ただし，許可を得て建築・生活デザイン学科において履修した専門教育科目について修得した単位は，6単位を超えない範囲で，当該学生が在籍する学科の専門教育科目選択科目の履修により修得したものとみなす。 分野別専門教育部門(A 機械工学分野，B 電気電子工学分野，C 情報科学分野，D 応用化学分野，E 物理学分野，F 数学分野，G 総合科学分野)のいずれか1分野のうちから10単位以上，共通基礎教育部門の修得単位を含め，16単位以上を修得しなければならない。 ただし，E分野の応用物理学実験Ⅰ，応用物理学実験Ⅱの修得単位については，B分野及びC分野の専門教育科目の履修により修得したものとみなすことができる。 E分野の電磁気学Ⅰ，電磁気学Ⅱ，電磁気学演習Ⅰ，電磁気学演習Ⅱの修得単位については，B分野の専門教育科目の履修により修得したものとみなすことができる。 キャリア・職業教育部門の修得単位については，G分野の専門教育科目の履修により修得したものとみなすことができる。	
基 礎 ゼ ミ ナ ー ル	1	1			
発 展 ゼ ミ ナ ー ル	1	1			
総 合 ゼ ミ ナ ー ル	1	1			
卒 業 研 究	2	2			
〈共通基礎教育部門〉					
情 報 リ テ ラ シ	1		1		
微 分 積 分 Ⅰ	2		2		
微 分 積 分 Ⅱ	2		2		
行 列 と 行 列 式	2		2		
線 形 代 数	2		2		
数 学 演 習 Ⅰ	1		1		
数 学 演 習 Ⅱ	1		1		
微 分 方 程 式 Ⅰ	2		2		
微 分 方 程 式 Ⅱ	2		2		
数 理 統 計 Ⅰ	2		2		
数 理 統 計 Ⅱ	2		2		
物 理 Ⅰ	2		2		
物 理 Ⅱ	2		2		
物 理 演 習	1		1		
物 理 実 験 Ⅰ	1		1		
物 理 実 験 Ⅱ	1		1		
化 学 の 基 礎	2		2		
入 門 化 学 実 験	2		2		
〈分野別専門教育部門〉					
A 機械工学分野					
材 料 力 学 Ⅰ	2		2		
材 料 力 学 Ⅱ	2		2		
流 体 力 学 Ⅰ	2		2		

流体力学Ⅱ	2	2		
機械要素Ⅰ	2	2		
機械要素Ⅱ	2	2		
機械工作法Ⅰ	2	2		
機械工作法Ⅱ	2	2		
機械材料	2	2		
機械製図の基礎	1	1		
基礎機械設計製図Ⅰ	2	2		
基礎機械設計製図Ⅱ	1	1		
機械設計製図Ⅰ	2	2		
機械設計製図Ⅱ	2	2		
機械工作実習Ⅰ	2	2		
機械工作実習Ⅱ	2	2		
機械工学実験	2	2		
機械力学演習	1	1		
材料力学演習Ⅰ	1	1		
材料力学演習Ⅱ	1	1		
流体力学演習Ⅰ	1	1		
流体力学演習Ⅱ	1	1		
熱力学演習	1	1		
B 電気電子工学分野				
回路理論Ⅰ	2	2		
回路理論Ⅱ	2	2		
回路網の解析	2	2		
回路の応答	2	2		
電子回路Ⅰ	2	2		
電子回路Ⅱ	2	2		
電気計測Ⅰ	2	2		
電気計測Ⅱ	2	2		
電気機器	2	2		
基礎電子物性	2	2		
電子物性工学	2	2		
基礎電気電子実験	2	2		

C 情報科学分野			
情報数理入門	2	2	
論理回路	2	2	
コンピュータハードウェア基礎	2	2	
コンピュータシステム序論	2	2	
プログラミング基礎	2	2	
プログラミング I	2	2	
プログラミング II	2	2	
Java プログラミング	2	2	
数値解析	2	2	
数値シミュレーション	2	2	
コンピュータグラフィックス	2	2	
情報ネットワーク基礎	2	2	
情報セキュリティ基礎	2	2	
情報基礎実験	2	2	
D 応用化学分野			
化学 III	2	2	
生命科学概論	2	2	
有機化学 I	2	2	
有機化学 II	2	2	
有機化学 III	2	2	
高分子科学	2	2	
無機化学 I	2	2	
無機化学 II	2	2	
無機化学 III	2	2	
分析化学 I	2	2	
分析化学 II	2	2	
物理化学 I	2	2	
物理化学 II	2	2	
基礎化学工学	2	2	
生命科学 I	2	2	
生命科学 II	2	2	
生命科学 III	2	2	

生命有機化学	2	2		
バイオマテリアル	2	2		
分子生物学	2	2		
分析化学・無機化学実験	3	3		
物理化学・化学工学実験	3	3		
高分子・有機化学実験	3	3		
生物化学実験	3	3		
E 物理学分野				
物理学	2	2		
物理学演習	1	1		
力学 I	2	2		
力学 II	2	2		
力学演習 I	1	1		
力学演習 II	1	1		
電磁気学 I	2	2		
電磁気学 II	2	2		
電磁気学演習 I	1	1		
電磁気学演習 II	1	1		
量子力学 I	2	2		
量子力学 II	2	2		
量子力学演習	1	1		
熱力学	2	2		
相対論	2	2		
応用物理学実験 I	2	2		
応用物理学実験 II	2	2		
F 数学分野				
数学通論 I	2	2		
数学通論 II	2	2		
数学通論 III	2	2		
数学通論 IV	2	2		
解析学基礎論	2	2		
微分積分学 I	4	4		
微分積分学 II	4	4		
代数学幾何学 I	4	4		

代数学幾何学Ⅱ	4		4		
代数学幾何学Ⅲ	4		4		
代数学Ⅰ	2		2		
代数学Ⅱ	2		2		
G 総合科学分野					
情報活用演習Ⅰ	1		1		
情報活用演習Ⅱ	1		1		
多変量解析	2		2		
ベクトル解析	2		2		
ベクトル解析演習	1		1		
複素関数論	2		2		
化学Ⅰ	2		2		
化学Ⅱ	2		2		
応用化学実験	2		2		
<キャリア・職業教育部門>					
キャリアデザイン	2		2		
危険物管理入門	2		2		
工学スキル演習A	1		1		
工学スキル演習B	1		1		

4 補充教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
理数基礎演習A	1		1		
理数基礎演習B	1		1		
理数総合演習A	1		1		
理数総合演習B	1		1		
基礎工学演習Ⅰ	1		1		
基礎工学演習Ⅱ	1		1		

第5節 (削除)

第58条 (削除)

第59条 (削除)

第60条 (削除)

第3章 専攻科

第1節 総則

第61条 本短期大学部に、専攻科を置く。

2 専攻科は、短期大学部における一般的並びに専門的教育の基礎の上に、更に精深な学術の理論及び応用を教授し、その研究を指導することを目的とする。

第62条 専攻科の修業年限は、2年とする。2年を超えて在学しようとする者は、関係学科長の許可を得なければならない。ただし、4年を超えて在学することはできない。

第63条 専攻科に2年以上在学して、所定の課程を修了したと認められる者には、修了証書を授与する。

第64条 本章に規定しない事項については、第1章総則による。

第2節 教員及び運営機構

第65条 専攻科学生の研究指導は、本短期大学部の教員がこれに当たる。

第66条 専攻科の学事は、教授会において、これを管理する。

第67条 専攻科の学務は、学長が総轄し、関係学科長がこれを管掌する。

第3節 入学及び入学資格

第68条 専攻科に入学できる者は、次の資格を有し、本短期大学部の検定に合格した者とする。

- ① 短期大学を卒業した者
- ② 大学に編入学することができる基準を満たす高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等科を含む）の専攻科の課程を修了した者
- ③ 大学に編入学することができる基準を満たす専修学校の専門課程を修了した者
- ④ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑥ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑦ 本専攻科において、短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

第69条 (削除)

第4節 教育課程及び履修方法

第70条 食物栄養専攻における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
A群 講義科目				専門科目A群,B群から必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。	
栄 養 学 特 論	4	4			
ライフステージ栄養学特論	2		2		
解 剖 生 理 学 特 論	4	4			
生 化 学 特 論	2		2		
病 理 学 特 論	2		2		
疾 病 学 特 論	2		2		
臨 床 栄 養 学 特 論	4	4			
実践臨床栄養学特論	2		2		
食 品 学 特 論	4	4			
食 品 機 能 特 論	2		2		
調 理 科 学 特 論	4	4			
バイオテクノロジー特論	2		2		
公衆栄養学特論	2		2		
公衆衛生学特論	2	2			
食 品 衛 生 学 特 論	2		2		
栄 養 教 育 特 論	2	2			
栄養カウンセリング特論	2		2		
給食経営管理特論	2		2		
健 康 科 学 特 論	2	2			
食 文 化 特 論	2		2		
社 会 福 祉 特 論	2		2		
食 品 産 業 特 論	2		2		
統 計 解 析 特 論	2		2		
B群 演習実験実習科目					
解剖生理学特別実験	1	1			
臨床栄養学特別実習Ⅰ (校内実習)	1	1			

臨床栄養学特別実習Ⅱ (校外実習)	2	2		
調理学特別実習	1	1		
栄養教育特別実習Ⅰ (校内実習)	1	1		
栄養教育特別実習Ⅱ (校外実習)	1		1	
栄養情報処理特別演習	1	1		
情報処理特別演習	1		1	
外国文献講読	1	1		
特別研究	4	4		
特殊講義(専攻科)	2	2		特殊講義(専攻科)は2年次に履修し,学修レポートを作成しなければならない。

附 則

- この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 令和2年4月1日施行の学則については、第18条、第20条、第23条から第25条、第30条、第32条、第35条、第47条及び第51条は、入学年度にかかわらず、この規定を適用する。
- 第34条、第34条の2の短期大学士の学位に関する規定は平成17年10月1日から適用する。
- 建築・生活デザイン学科の収容定員は、第10条の規定にかかわらず、令和6年度は、次のとおりとする。

	令和6年度
建築・生活デザイン学科	212

- ものづくり・サイエンス総合学科の収容定員は、第10条の規定にかかわらず、令和6年度は、次のとおりとする。

	令和6年度
ものづくり・サイエンス総合学科	148

別表 1

教育研究上の目的（短期大学部）
<p>（ビジネス教養学科）</p> <p>外国語の能力及び社会人としての基礎的な教養を幅広く学習するとともに，異文化理解やコミュニケーションスキルを身に付ける。経済学・商学・国際関係学を中心に，情報処理学・観光・会計実務・マナーなど，ビジネス環境において即戦力となる人材養成のための専門教育分野に加え，急激に変化する社会に対応し，将来へのキャリア・パスを自主創造し人間関係を築くことのできる教養を持った人材を養成する。</p>
<p>（食物栄養学科）</p> <p>活力のある社会を実現する上で欠かせない健全な食生活による健康の維持・増進を担える人材を養成するため，幅広い教養を身に付けるとともに，栄養と健康に関する専門知識と技術を習得する。さらに地域社会に密着した食と健康の問題に栄養士及び管理栄養士として取り組み，将来，人々の豊かな食生活と健康の実現に貢献できる教育を行う。</p>
<p>（建築・生活デザイン学科）</p> <p>都市から建築・インテリアまで，日常生活の舞台となる地球・地域環境や生活環境について，工学的観点・デザインの側面・社会的視点など幅広い見地から関心を育み，建築・生活デザインに関する知識及び技術を授け，問題意識を培うことにより，快適で安全な建築・住空間と都市の創造に取り組む設計者・技術者など，持続的発展可能な社会の構築に対し，自ら学び，考え，創造する姿勢・習慣を備えた人材を養成する。</p>
<p>（ものづくり・サイエンス総合学科）</p> <p>知識基盤社会における多様な学習機会並びに基礎づくりの場を提供するとともに，高等教育のファーストステージとしての役割・機能を積極的に果たし，社会の一員としての自律性，倫理性，公共性を育み，知的活動及び社会生活に必要な基礎的・汎用的能力を培い，幅広い教養と機械工学分野，電気電子工学分野，情報科学分野，応用化学分野，物理学分野，数学分野及び総合科学分野のうち一分野に関する専門的知識・技能を有し，技術革新により産業構造が急速に変化する中，社会の様々な分野において活躍し得る，自ら学び，考え，物事に取り組む姿勢，習慣を備えた積極的な人材を養成する。</p>
<p>（食物栄養専攻）</p> <p>栄養士養成課程で修得した知識と技術を基とし，自主性，自律性を重んじ，より高度な専門知識に加えて実践的な技能と応用力を修得することを目的とする。</p> <p>また，深く真理を探究して新たな栄養学の知見を創造し，その成果を広く社会に還元することにより，社会の発展に寄与・貢献できる人材を養成する。</p>

別表 2 の 1

学 科		項 目			
		◎入学金	授 業 料	実験実習料	施 設 設 備 資 金
短	ビジネス教養学科	260,000	650,000②		1・2年次 各 150,000②
	食物栄養学科	260,000	700,000②	150,000②	1・2年次 各 150,000②
大	建築・生活デザイン学科	260,000	920,000②	100,000②	1・2年次 各 220,000②
	ものづくり・サイエンス総合学科	260,000	920,000②	100,000②	1・2年次 各 220,000②

- (備考)
- 1 金額の単位は円
 - 2 金額はすべて年額。ただし、◎印は入学初年度のみ納入
 - 3 ○印の中の数字は分納回数
 - 4 この表は、令和4年4月の入学者から適用する。

別表 2 の 2

専 攻		項 目			
		◎入学金	授 業 料	実験実習料	施 設 設 備 資 金
専攻科	食物栄養専攻	260,000	700,000②	150,000②	1・2年次各 150,000②

- (備考)
- 1 金額の単位は円
 - 2 金額はすべて年額。ただし、◎印は入学初年度のみ納入
 - 3 ○印の中の数字は分納回数
 - 4 この表は、平成27年4月の入学者から適用する。

別表 3

証明手数料

種 類	摘 要	金額 (円)	備 考
在 学 証 明 書	1 通につき	100	
成 績 証 明 書	〃	200	
卒 業 証 明 書	〃	200	
卒 業 見 込 証 明 書	〃	100	
身 上 証 明 書	〃	100	
人 物 調 査 書	〃	100	
健 康 診 断 書	〃	100	
英文証明書 (オリジナル)	〃	600	
英文証明書 (コピー)	〃	200	

日本大学医学部附属看護専門学校学則

昭和55年4月1日制定

昭和55年12月5日改正

昭和56年4月1日施行

昭和57年7月16日改正

昭和58年4月1日施行

昭和59年4月6日改正

昭和59年4月1日施行

昭和60年7月5日改正

昭和60年10月18日改正

昭和61年4月1日施行

昭和61年7月4日改正

昭和62年4月1日施行

昭和63年9月16日改正

昭和64年4月1日施行

平成元年9月8日改正

平成2年4月1日施行

平成3年9月6日改正

平成4年4月1日施行

平成6年7月1日改正

平成7年4月1日施行

平成7年7月7日改正

平成8年4月1日施行

平成8年11月1日改正

平成9年4月1日施行

平成9年10月3日改正

平成10年4月1日施行

平成10年7月3日改正

平成11年4月1日施行

平成12年1月21日改正

平成12年4月1日施行
平成12年12月1日改正
平成13年4月1日施行
平成14年9月6日改正
平成15年4月1日施行
平成15年9月5日改正
平成16年4月1日施行
平成16年5月7日改正
平成17年4月1日施行
平成17年4月1日改正
平成18年6月2日改正
平成19年4月1日施行
平成20年6月6日改正
平成21年4月1日施行
平成23年2月4日改正
平成23年4月1日施行
平成24年5月14日改正
平成25年4月1日施行
平成26年9月1日改正
平成27年4月1日施行
平成30年2月2日改正
平成30年4月1日施行
令和3年8月27日施行
令和4年4月1日施行

第1章 総則

第1条 本校は，日本大学医学部附属看護専門学校と称し，東京都板橋区大谷口上町71番12号に置く。

第2条 本校は，保健師助産師看護師法第21条第2号及び学校教育法第124条に規定する学校として，看護師となるために必要な専門の知識及び技術を授けることを目的とする。

第3条 本校に次の課程及び学科を置く。

看護専門課程

看護学科（三年課程昼間）

第2章 修業年限・学年・学期及び休業日

第4条 本校の修業年限は、3年とし、通算して6年を超えて在学することはできない。

第5条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第6条 学期は次のとおりとする。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

第7条 休業日は、次のとおりとする。

- ① 日曜日
- ② 国民の祝日に関する法律で規定する日
- ③ 日本大学創立記念日（10月4日）
- ④ 春季休業（3月25日から3月31日まで）
- ⑤ 夏季休業（7月25日から8月25日まで）
- ⑥ 冬季休業（12月25日から1月7日まで）

2 臨時の休業日その他の変更については、そのつど学校長が定める。

第3章 学生定員及び教職員組織

第8条 本校の学生定員は、次のとおりとする。

入学定員 80名

総定員 240名

第9条 本校には、次の教職員を置く。

- ① 校長 1名
- ② 副校長 1名
- ③ 主事 1名
- ④ 専任教員 8名以上（うち1名は教務主任としほかに教務副主任を置くことができる）
- ⑤ 教員（兼任） 40名以上
- ⑥ 校医 1名
- ⑦ 事務員 1名以上

第4章 教員会

第10条 本校教員会は、第9条第1号から第4号の教員をもって組織する。ただし、校長が必要と認めるときは、その他の日本大学医学部教職員を陪席として出席させることができる。

第11条 教員会は、校長が招集してその議長となり、学籍の異動（入学・編入学・休学・転学・退学・除籍・進級・卒業等）、教務、厚生、補導及びその他学生に関する重要な事項について審議する。

第5章 入学・編入学・休学・復学・転学・退学及び除籍

第12条 入学の時期は、毎年4月とする。

第13条 本校に入学することのできる者は、次の各号の一に該当し、本校の選抜試験に合格した者とする。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- ③ 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者

第14条 入学志願者は、次の書類に所定の検定料を添えて指定期日までに提出しなければならない。

- ① 入学願書
- ② 出身学校長の調査書
- ③ その他本校が必要と定めた書類

第15条 入学者選抜試験は、次の各号について行う。

- ① 学力試験
- ② 人物考査

第16条 入学を許可された者は、保証人1名が署名した保証書に所定の学費を添えて、指定の期間内に提出しなければならない。

2 保証人は、独立した生計を営む者であり、在学中の学生の身上に関する一切の事からについてその責任を負うことができる者とする。

3 保証人が死亡又は事故により責務を尽くすことができない場合は、速やかに新たな保証人を定め校長に届け出なければならない。また学生及び保証人が本籍・住所・氏名等を変更した場合も速やかに届出を要する。

第17条 当該学年に欠員のある場合は、編入学を認めることがある。

第18条 編入学を希望する者は、第14条に規定する書類のほかに編入学を認めた学

校の証明書及び調査書を提出しなければならない。

第19条 編入学を希望する者については、第15条に準ずる試験を行い、編入学の可否を決定する。

第20条 欠席する場合は、所定の欠席届を校長に提出しなければならない。

2 病気による欠席が5日以上にわたるときは医師の診断書の添付を要する。

第21条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3か月以上出席することのできない者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で所属の校長に願い出て、その許可を得て原則として入学年度を除き、休学することができる。ただし、入学年度の後学期については、修学困難な事由の場合は認めることがある。

2 休学期間は、当該学年の終わりまでとし、なお、休学を要する者は、許可を得て更に1年以内の休学ができる。

3 休学期間は卒業するまで2年を超えることはできない。

4 休学期間は修業年限に算入しない。

第22条 休学者が復学を希望するときは、その旨校長に願い出て、許可を得なければならない。なお、復学の時期は学年の始めとする。

第23条 学生が転学又は退学を希望するときは、その理由を記した願書を保証人連署の上提出し、校長の許可を受けなければならない。

第24条 次の各号に該当する者は、これを除籍することができる。

- ① 故なくして2か月以上授業料の納付を怠った者
- ② 学力劣等又は欠席が長期にわたり、成業の見込みがないと認められた者
- ③ 疾病あるいはその他の事由により将来看護師として不適當であると認められた者
- ④ 第4条に規定する在学期間を超えた者

第6章 教育課程及び単位数

第25条 教育課程及び単位数は、別表のとおりとする。

2 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。また、教育上必要と認められる場合には、修得すべき単位の一部の修得について、これに相当する授業時間の履修をもって代えることができる。

- ① 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で定めた時間の授業

をもって1単位とする。

② 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で定めた時間の授業をもって1単位とする。

③ 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行うについては、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して定めた時間をもって1単位とする。

第26条 本校の始業及び終業の時刻は、次のとおりとする。

授業は午前9時から午後5時まで、実習は午前8時から午後4時までとする。

第7章 学習の評価・既修の学修の成果・課程修了の認定及び称号授与

第27条 学業成績は、学科目ごとに行う試験その他によって評価する。

2 学業成績の判定は、A、B、C及びDの4種をもってこれを表し、A（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）をもって表し、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。

3 合格した授業科目については、単位を与える。

第28条 保健師助産師看護師学校養成所指定規則別表三備考二に掲げる学校等において既に履修した授業科目について、個々の既修の学習内容を評価し、本校における教育内容に相当するものと認められる場合には、本校の授業科目の履修とみなすことができる。

2 前項の規定は、社会福祉士及び介護福祉士法第40条第2項第1号の規定に該当する者の社会福祉士介護福祉士学校職業能力開発校養成施設指定規則別表第四に定める基礎分野について準用する。

3 前2項により授業科目の履修とみなすことができる単位は、課程の修了に必要な単位数の2分の1を超えないものとする。

第29条 校長は、所定の年限在学し、全課程を修了したと認めた者に卒業証書を授与する。

第30条 前条の規定により、看護専門課程看護学科を修了した者には、専門士（医療専門課程）の称号を授与する。

第8章 賞罰

第31条 人物及び学業成績が優秀な者には授賞することがある。

2 授賞に関する規定は別に定める。

第32条 次の各号の一に該当する者に対しては、その情状によって懲戒を行うこと

がある。

- ① 性行不良で改しゅんの見込みがないと認められる者
- ② 学校の規則若しくは命令に背き，学内の秩序を乱した者
- ③ その他学生としての本分に反する行為のあった者

第33条 懲戒は，訓告，停学及び退学の3種とする。

第9章 入学検定料及び学費

第34条 入学試験に際しては入学検定料を徴収する。またその合格者は，入学時入学金を納入しなければならない。

第35条 入学検定料は20,000円・入学金は60,000円・授業料は年額480,000円・実習料は60,000円とする。

2 学費は，所定の時期に納入しなければならない。

第36条 授業料を分納しようとする者は，事由を述べた書面により，保証人連署で願い出るものとする。

第37条 いったん納入した学費は原則として返還しない。

第38条 休学した学生に対する休学期間中の学費の取扱いについては，別に定める。

2 停学を命ぜられた学生は，停学期間中も授業料を納付しなければならない。

第10章 (削除)

第39条 (削除)

第40条 (削除)

第11章 宿舍

第41条 (削除)

第42条 学生寮の管理運営に関する規定は，別に定める。

第12章 健康管理

第43条 学校は，学生の健康保持のために定期健康診断を行う。

附 則

1 この学則は，令和4年4月1日から施行する。

別表

区分		科 目	授 業	備 考
			単 位	
基礎分野	科学的基盤 の科学的思考	論 理 的 思 考 演 習	1	
		自 然 科 学	1	
		情 報 科 学	1	
	人間と生活・社会の理解	生 命 と 倫 理	1	
		文 学	1	
		社 会 学	1	
		心 理 学	1	
		人 間 関 係 論	1	
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	1	
		英 語	1	
		医 用 英 語	1	
		教 育 学	1	
		健 康 と ス ポ ー ツ	1	
家 族 と 生 活	1			
専門	人体の構造と機能	解 剖 学 I	1	
		解 剖 学 II	1	
		生 理 学 I	1	
		生 理 学 II	1	
		生 化 学	1	
		栄 養 学	1	
		生 活 と 形 態 機 能	1	
		薬 理 学	1	
		病 理 学	1	

基礎分野	と回復の促進 疾病の成り立ち	検 査 ・ 治 療 論	1	
		病 態 生 理 学 I	1	
		病 態 生 理 学 II	1	
		病 態 生 理 学 III	1	
		病 態 生 理 学 IV	1	
		病 態 生 理 学 V	1	
		微 生 物 学	1	
	社会 健康支援と 保障制度	医 療 概 論	1	
		公 衆 衛 生 学	2	
		社 会 福 祉	2	
		関 係 法 規	1	
	基礎 看護 学	基 礎 看 護 学 概 論 I	1	
		基 礎 看 護 学 概 論 II	1	
		看 護 の 基 本 と な る 技 術 I	1	
看 護 の 基 本 と な る 技 術 II		1		
看 護 の 基 本 と な る 技 術 III		1		
生 活 を 整 え る 技 術 I		1		
生 活 を 整 え る 技 術 II		1		
生 活 を 整 え る 技 術 III		1		
診 療 に 伴 う 技 術		1		
臨 床 看 護 技 術 I		1		
臨 床 看 護 技 術 II		1		
地域・ 在宅看護		地 域 ・ 在 宅 看 護 概 論 I	1	
		地 域 ・ 在 宅 看 護 概 論 II	1	
	地 域 と 生 活	1		
	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 看 護 の 方 法 I	1		
	地 域 ・ 在 宅 看 護 論 看 護 の 方 法 II	1		

専 門 分 野	論	地域・在宅看護論看護の方法Ⅲ	1	
	成人看護学	成人看護学概論	1	
		成人看護学看護の方法Ⅰ	1	
		成人看護学看護の方法Ⅱ	1	
		成人看護学看護の方法Ⅲ	1	
		成人看護学看護の方法Ⅳ	1	
		成人看護学看護の方法Ⅴ	1	
		老年看護学	老年看護学概論Ⅰ	1
	老年看護学概論Ⅱ		1	
	老年看護学看護の方法Ⅰ		1	
	老年看護学看護の方法Ⅱ		1	
	小児看護学	小児看護学概論Ⅰ	1	
		小児看護学概論Ⅱ	1	
		小児看護学看護の方法Ⅰ	1	
		小児看護学看護の方法Ⅱ	1	
	母性看護学	母性看護学概論	1	
		母性看護学看護の方法Ⅰ－1	1	
		母性看護学看護の方法Ⅰ－2	1	
		母性看護学看護の方法Ⅱ	1	
	精神看護学	精神看護学概論Ⅰ	1	
		精神看護学概論Ⅱ	1	
		精神看護学看護の方法Ⅰ	1	
		精神看護学看護の方法Ⅱ	1	
	看護の統合と実	災害看護	1	
		国際看護	1	
		看護管理	1	
		医療安全	1	

臨地実習	ケース・スタディ	1	
	基礎看護学実習Ⅰ	1	
	基礎看護学実習Ⅱ	2	
	地域・在宅看護論実習	2	
	成人看護学実習Ⅰ	3	
	成人看護学実習Ⅱ	3	
	老年看護学実習	4	
	小児看護学実習	2	
	母性看護学実習	2	
	精神看護学実習	2	
	統合実習	2	
卒業に必要な単位数		103	

日本大学歯学部附属歯科技工専門学校学則

昭和29年4月1日制定

昭和45年10月19日改正

昭和46年12月3日改正

昭和49年1月18日改正

昭和49年12月6日改正

昭和50年12月5日改正

昭和51年6月11日改正

昭和51年10月22日改正

昭和51年12月3日改正

昭和52年5月21日改正

昭和54年7月6日改正

昭和59年4月6日改正

平成元年10月27日改正

平成3年9月6日改正

平成4年7月3日改正

平成5年7月2日改正

平成6年9月9日改正

平成7年1月13日改正

平成7年7月7日改正

平成8年4月1日施行

平成9年1月17日改正

平成9年4月1日施行

平成15年7月4日改正

平成16年4月1日施行

平成18年6月2日改正

平成19年4月1日施行

平成23年11月4日改正

平成24年4月1日施行

平成26年9月1日改正

平成27年4月1日施行

平成30年2月2日改正

平成30年4月1日施行

平成31年4月1日施行

第1章 総則

(名称)

第1条 本校の名称を，日本大学歯学部附属歯科技工専門学校とする。

(目的)

第2条 本校は，本大学の目的及び使命にもとづき，歯科技工士法（昭和30年法律第168号）第2条に規定する歯科技工士を養成することを目的とする。

(位置)

第3条 本校の位置を，東京都千代田区神田駿河台一丁目8番地13に置く。

(課程・学科及び修業年限)

第4条 本校の課程は歯科技工専門課程，学科は歯科技工士学科とする。

2 本校の修業年限は3年とし，在学年数は，6年を超えることはできない。

(定員・学級数)

第5条 本校の学生定員は，各学年それぞれ35名とする。

2 学級は，各学年1学級とする。

(自己点検・評価)

第6条 本校は，その教育の一層の充実を図り，本校の目的及び社会的使命を達成するため，本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の実施に関し，必要な事項は別に定める。

第2章 教育課程

(教育課程)

第7条 学科目の授業時間数の単位数への換算は，次の基準による。

- ① 講義科目については，15時間から30時間までの範囲で本校が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ② 実習科目については，30時間から45時間までの範囲で本校が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ③ 講義，演習，実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行う場合

については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本校が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 学科目及び各学年授業時間数並びに単位数は、次のとおりとする。

学 科 目			全学年		第1学年		第2学年		第3学年	
			時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	医学英語	30	2	30	2				
		造形美術学	15	1	15	1				
		情報科学	15	1	15	1				
		基礎科学	15	1			15	1		
専門基礎分野	歯科技工と歯科医療	歯科技工管理学	15	1			15	1		
		基礎歯科技工学	30	2	30	2				
	歯科材料・歯科加工技術	歯科理工学	75	5	30	2	30	2	15	1
		歯科理工学実習	90	2	90	2				
	歯・口腔の構造と機能	口腔顎顔面解剖学	30	2	30	2				
		口腔顎顔面解剖学演習	60	2	30	1	30	1		
		口腔顎顔面解剖学実習	90	2	45	1	45	1		
		顎口腔機能学	30	2	15	1	15	1		
専門分野	有床義歯技工学		90	6	30	2	30	2	30	2
	有床義歯技工学実習		270	6	90	2	180	4		
	歯冠修復技工学		75	5	30	2	30	2	15	1
	歯冠修復技工学実習		360	8	180	4	180	4		
	矯正歯科技工学		15	1			15	1		
	矯正歯科技工学実習		45	1					45	1
	小児歯科技工学		15	1			15	1		
	小児歯科技工学実習		45	1					45	1
歯科技工学実習		495	11			90	2	405	9	
歯科技工学演習		60	2					60	2	
合 計			1965	65	660	25	690	23	615	17

3 授業時間は、原則として午後3時00分から午後9時15分までとする。

第3章 教職員組織及び教員会

(教職員)

第8条 本校に、次の教職員を置く。

- ① 校 長 1名 (ほかに副校長1名を置くことができる)

- ② 教務主任 1名
- ③ 専任教員 4名以上（うち副教務主任1名を置くことができる）
- ④ 講師 20名以上
- ⑤ 校医 1名
- ⑥ 事務職員 1名以上

2 校長は、校務を処理し、所属教職員を監督する。

（教員会及び審議事項）

第9条 本校に教員会を置き、校長・副校長・教務主任及び専任教員をもって組織する。ただし、校長が必要と認めたときは、その他の歯学部教職員を出席させることができる。

2 教員会は、校長が招集してその議長となり次の事項を審議する。

- ① 学籍の異動（入学・休学・復学・退学・除籍・進級・卒業等）に関すること。
- ② 教務に関すること。
- ③ 厚生・補導に関すること。
- ④ 学則の改廃に関すること。
- ⑤ その他教育上必要なこと。

第4章 学年・学期及び休業日

（学年）

第10条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

（学期）

第11条 学期は、次のとおりとする。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

（休業日）

第12条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日でも特に授業又は試験を行うことがある。

- ① 日曜日
- ② 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ③ 日本大学創立記念日（10月4日）
- ④ 春季休業 3月25日から3月31日まで
- ⑤ 夏季休業 7月21日から8月31日まで

- ⑥ 冬季休業 12月21日から翌年1月7日まで
2 休業日の変更及び臨時の休業日については、そのつど定める。

第5章 入学・休学及び退学

(入学の時期)

第13条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第14条 本校に入学することのできる者は、次の各号の一に該当し、本校の選抜試験に合格した者とする。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者
- ③ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(出願手続)

第15条 入学志願者は、次の書類に入学検定料を添え、指定された期日までに提出しなければならない。

- ① 所定の入学願書
- ② 出身高等学校長の調査書又は資格試験合格成績証明書

(入学試験)

第16条 入学志願者に対しては、筆記試験及び面接を行う。

(入学手続)

第17条 入学試験に合格した者は、所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

(保証人)

第18条 保証人は、独立した生計を営む成年者であり、在学中の学生の身上に係る一切の事柄について、その責任を負うことができる者とする。

- 2 保証人が適当でない認められるときは、変更させることがある。

(改姓名・住所変更等)

第19条 学生及び保証人が転籍・転居又は氏名変更したとき、その他一身上に変動があった場合は、7日以内に届け出なければならない。

(欠席)

第20条 学生が病気その他の事故により欠席した場合は、その事由を明記して5日以

内に届け出なければならない。

- 2 疾病による欠席が7日以上に及ぶ場合には、医師の診断書を添えなければならない。

(休学)

第21条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3か月以上出席できない者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で所属の校長に願い出て、その許可を得て原則として入学年度を除き、休学することができる。ただし、入学年度の後学期については、修学困難な事由の場合は認めることがある。

- 2 休学期間は、当該学年の終わりまでとし、なお、休学を要する者は、許可を得て更に1年以内の休学ができる。

- 3 休学期間は、修業年限に算入しない。

(復学)

第22条 休学者が復学する場合は、学年の始めとし、保証人連署の復学願を提出して許可を受けなければならない。休学の事由が疾病による場合は、医師の復学可能の証明書を添えなければならない。

(退学)

第23条 病気その他やむを得ない事由のため、退学しようとする者は、その事実を証明する書類を添え、所属の校長に退学届を提出して、許可を受けなければならない。

(再入学)

第24条 正当な理由で退学したものが、再入学を希望したときは、選考の上許可することがある。

- 2 再入学に関する規定は、別に定める。

(除籍)

第25条 故なくして3か月以上学費の納付を怠った者は、これを除籍することができる。

- 2 故なくして欠席が長期にわたる者は、これを除籍することができる。

第6章 学習の評価・進級・卒業及び称号の授与

(学習の評価)

第26条 学習の評価は、毎学期の終わりに実施する試験と平常の学習状況を統合して行う。ただし、学科目によっては、その他の方法で評価することができる。

- 2 学習の評価は、優・良・可及び不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、

良は70点以上79点以下、可は60点以上69点以下、不可は59点以下とし、優・良・可を合格、不可を不合格とする。合格した授業科目については、所定の単位数が与えられる。

(受験資格)

第27条 試験を受けるためには、次の条件を備えなければならない。

- ① 当該学年の実施総授業時間の3分の2以上に出席すること。
- ② 所定の実習を完了すること。

(進級)

第28条 第7条に定める各学年の学科目を履修し、試験に合格した者には、進級を認める。

- 2 各学科目及び実習に係る出席時間数が第7条に定める時間数に満たない者については、必要な補習を行った上、進級を認める。

(卒業)

第29条 第4条第2項に定める修業年限以上在学し、所定の課程を修了した者には卒業を認める。

- 2 各学科目及び実習に係る出席時間数が第7条に定める時間数に満たない者については、必要な補習を行った上、卒業を認める。
- 3 卒業を認めた者には、卒業証書を授与する。

(称号の授与)

第30条 前条により、歯科技工専門課程歯科技工士学科を修了した者には、専門士(医療専門課程)の称号を授与する。

第7章 入学検定料及び学費

(入学検定料及び学費)

第31条 授業料等は次のとおりとし、所定の期限までに納入しなければならない。

入学検定料	20,000円(入学手続時)
入学金	300,000円(2回に分納)
授業料	500,000円(2回に分納)
実習料	150,000円

- 2 休学した学生に対する学費については、別に定める。
- 3 証明手数料等については、別に定める。

(納入金の不還付)

第32条 既納の学費は、いかなる事由があっても返還しない。ただし、入学手続き時及び休学时納入金の取扱いについては、別に定める。

第8章 賞罰

(表彰)

第33条 人物及び学業成績優秀な者には、授賞することがある。

(懲戒)

第34条 学生が本校の規則・命令に背き若しくは学校の秩序を乱し、又は学生としての本分に反する行為のあった場合にその情状によって懲戒を行うことがある。

2 懲戒は、退学・停学及び訓告の3種とする。

3 前項の退学は次の各号の一に該当するものについて行う。

- ① 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- ② 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- ③ 正当な理由がなくて出席が常でない者
- ④ 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第9章 服装

(服装)

第35条 服装は、本校の学生としてふさわしいものを着用すること。

2 実習室及び病院内においては、実習着を着用しなければならない。

第10章 健康診断

(健康診断)

第36条 健康診断は、毎年1回別に定めるところにより実施する。

附 則

1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。

日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校学則

昭和33年4月1日制定

昭和45年10月16日改正

昭和49年1月18日改正

昭和49年12月6日改正

昭和50年12月5日改正

昭和51年6月11日改正

昭和51年10月22日改正

昭和51年12月3日改正

昭和52年5月21日改正

昭和53年7月14日改正

昭和54年7月6日改正

昭和59年4月6日改正

昭和60年9月20日改正

昭和61年9月19日改正

平成元年10月27日改正

平成3年9月6日改正

平成4年7月3日改正

平成6年7月1日改正

平成6年11月4日改正

平成7年1月13日改正

平成7年7月7日改正

平成9年1月17日改正

平成9年4月1日施行

平成18年1月20日改正

平成19年4月1日施行

平成24年2月3日改正

平成24年4月1日施行

平成26年9月1日改正

平成27年4月1日施行

平成30年2月2日改正

平成30年4月1日施行

第1章 総則

(名称)

第1条 本校の名称を、日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校とする。

(目的)

第2条 本校は、本大学の目的及び使命にもとづき、歯科衛生士法（昭和23年法律第204号）第2条に規定する歯科衛生士を養成することを目的とする。

(位置)

第3条 本校の位置を、東京都千代田区神田駿河台一丁目8番地13に置く。

(課程・学科及び修業年限)

第4条 本校の課程は歯科衛生専門課程、学科は歯科衛生士学科とする。

2 本校の修業年限は昼間3年とし、在学年数は、6年を超えることができない。

(定員・学級数)

第5条 本校の学生定員は、各学年それぞれ40名とする。

2 学級は、各学年1学級とする。

(自己点検・評価)

第6条 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第2章 教育課程

(教育課程)

第7条 学科目の授業時間数の単位数への換算は、次の基準による。

- ① 講義科目については、15時間から30時間までの範囲で本校が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ② 実験・実習科目については、30時間から45時間までの範囲で本校が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ③ 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本校が定める時間の授業をもって1単位とする。

④ 臨地実習については、45時間の実習をもって1単位とする。

2 学科目及び各学年単位数は、次のとおりとし全ての学科目を必修とする。

学 科 目		単位数	第1学年	第2学年	第3学年
			単位数	単位数	単位数
基礎分野	生 物	2	2		
	化 学	2	2		
	医 療 倫 理	1	1		
	心 理 学	2	2		
	教 育 方 法 論	1		1	
	医 療 情 報 リ テ ラ シ ー	1	1		
	M e d i c a l E n g l i s h	1	1		
専 門 基 礎 分 野	解 剖 学	2	2		
	組 織 発 生 学	1	1		
	生 理 学 ・ 口 腔 生 理 学	2	2		
	口 腔 解 剖 学	2	2		
	生 化 学	2	2		
	微 生 物 学 ・ 口 腔 微 生 物 学	2	2		
	病 理 学 ・ 口 腔 病 理 学	2	2		
	薬 理 学 ・ 歯 科 薬 理 学	2	2		
	衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学	1	1		
	口 腔 衛 生 学	2	2		
	地 域 保 健 学	1		1	
	歯 科 衛 生 統 計	1		1	
	衛 生 行 政 ・ 社 会 福 祉	2	2		
	歯 科 衛 生 学 総 論	2	2		
	保 存 修 復 学	1	1		
	歯 内 療 法 学	1	1		
	歯 周 治 療 学	1	1		
	歯 科 補 綴 学	2		2	
	小 児 歯 科 学	1		1	
	歯 科 矯 正 学	1		1	
	歯 科 放 射 線 学	1	1		

専 門 分 野	口 腔 内 科 学	1	1		
	口 腔 外 科 学	2		2	
	全 身 管 理 学	1		1	
	看 護 保 健 論	1		1	
	口腔機能リハビリテーション	1		1	
	母 子 歯 科 保 健 論 I	2		2	
	母 子 歯 科 保 健 論 II	2		2	
	母 子 歯 科 保 健 論 III	1		1	
	成 人 歯 科 保 健 論 I	2	1	1	
	成 人 歯 科 保 健 論 II	1		1	
	成 人 歯 科 保 健 論 III	1		1	
	高 齢 者 歯 科 保 健 論 I	1		1	
	高 齢 者 歯 科 保 健 論 II	1		1	
	高 齢 者 援 助 論	2		1	1
	スペシャルニーズ歯科保健論	1		1	
	歯 科 保 健 支 援 論	3	2	1	
	歯 科 補 助 技 術 論	4	3	1	
	歯 科 保 健 予 防 技 術 論	3	2	1	
	健 康 生 活 支 援	2	1	1	
	臨 床 実 習	20		10	10
地 域 保 健 実 習	2			2	
関 連 分 野	隣 接 医 学	2		2	
	総 合 口 腔 保 健 学 演 習	4			4
	特 別 研 究	4			4
	研 究 の 基 礎	1		1	
	キ ャ リ ア デ ザ イン	1			1
合 計	108	45	41	22	

3 授業時間は、午前9時から午後5時までとする。

第3章 教職員組織及び教員会

(教職員)

第8条 本校に、次の教職員を置く。

- ① 校 長 1名 (ほかに副校長1名を置くことができる。)

- ② 教務主任 1名
- ③ 専任教員 4名以上（うち教務副主任1名を置くことができる。）
- ④ 講師 30名以上
- ⑤ 校医 1名
- ⑥ 事務職員 1名以上

2 校長は、校務を処理し、所属教職員を監督する。

（教員会及び審議事項）

第9条 本校に教員会を置き、校長・副校長・教務主任及び専任教員をもって組織する。ただし、校長が必要と認めたときは、その他の歯学部教職員を出席させることができる。

2 教員会は、校長が招集してその議長となり次の事項を審議する。

- ① 学籍の異動（入学・休学・復学・退学・除籍・進級・卒業等）に関すること。
- ② 教務に関すること。
- ③ 厚生・補導に関すること。
- ④ 学則の改廃に関すること。
- ⑤ その他教育に必要なこと。

第4章 学年・学期及び休業日

（学年）

第10条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

（学期）

第11条 学期は、次のとおりとする。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

（休業日）

第12条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日でも特に授業又は試験を行うことがある。

- ① 日曜日
- ② 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ③ 日本大学創立記念日（10月4日）
- ④ 春季休業 3月25日から3月31日まで
- ⑤ 夏季休業 7月21日から8月31日まで

- ⑥ 冬季休業 12月21日から翌年1月7日まで
2 休業日の変更及び臨時の休業日については、そのつど定める。

第5章 入学・休学及び退学

(入学の時期)

第13条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第14条 本校に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する女子で、本校の選抜試験に合格した者とする。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者
- ③ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(出願手続)

第15条 入学志願者は、次の書類に入学検定料を添え、指定された期日までに提出しなければならない。

- ① 所定の入学願書
- ② 出身高等学校長の調査書又は資格試験合格成績証明書

(入学試験)

第16条 入学志願者に対しては、筆記試験及び面接を行う。

(入学手続)

第17条 入学試験に合格した者は、所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

(保証人)

第18条 保証人は、独立した生計を営む成年者であり、在学中の学生の身上に係る一切の事柄について、その責任を負うことができる者とする。

- 2 保証人が適当でないと認められるときは、変更させることがある。

(改姓名・住所変更等)

第19条 学生及び保証人が転籍・転居又は氏名変更したとき、その他一身上に変動があった場合は、7日以内に届け出なければならない。

(欠席)

第20条 学生が病気その他の事故により欠席した場合は、その事由を明記して保証

人連署の上5日以内に届け出なければならない。

- 2 疾病による欠席が7日以上に及ぶ場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(休学)

第21条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3か月以上出席できない者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で所属の校長に願い出て、その許可を得て原則として入学年度を除き、休学することができる。ただし、入学年度の後学期については、修学困難な事由の場合は認めることがある。

- 2 休学期間は、当該学年の終わりまでとし、なお、休学を要する者は、許可を得て更に1年以内の休学ができる。

- 3 休学期間は、修業年限に算入しない。

(復学)

第22条 休学者が復学する場合は、学年の始めとし、保証人連署の復学願を提出して許可を受けなければならない。休学の事由が疾病による場合は、医師の復学可能の証明書を添えなければならない。

(退学)

第23条 病気その他やむを得ない事由のため、退学しようとする者は、その事実を証明する書類を添え、所属の校長に退学届を提出して、許可を受けなければならない。

(再入学)

第24条 正当な理由で退学した者が、再入学を希望したときは、選考の上許可することがある。

- 2 再入学に関する規定は、別に定める。

(除籍)

第25条 故なくして3か月以上学費の納付を怠った者は、これを除籍することができる。

- 2 故なくして欠席が長期にわたる者は、これを除籍することができる。

第6章 試験・進級・卒業及び称号の授与

(試験)

第26条 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって、これを定める。ただし、授業科目によっては、その他の方法で査定することができる。

2 試験には定期試験・追試験・再試験及び卒業試験等がある。定期試験は学期末又は学年末に行う。追試験は、病気その他やむを得ない理由により定期試験を受けることのできなかつた者のために行い、再試験は、定期試験の成績評価が59点以下の者について行う。

(受験資格)

第27条 試験を受けるためには、次の条件を備えなければならない。

- ① 各学期実施授業の65%以上に出席すること。
- ② 所定の実習を完了すること。

(成績評価)

第28条 学業成績の判定は、優・良・可及び不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、良は70点以上79点以下、可は60点以上69点以下、不可は59点以下とし、優・良・可を合格、不可を不合格とする。

(進級)

第29条 第7条に定める各学年の学科目を履修し、試験に合格した者には、進級を認める。

2 各学科目及び実習の出席が65%に満たない者については、必要な補習を行った上、進級を認める。

(卒業)

第30条 第4条第2項に定める修業年限以上在学し、所定の課程を修了した者には卒業を認める。

2 各学科目及び実習の出席が65%に満たない者については、必要な補習を行った上、卒業を認める。

3 卒業を認めた者には、卒業証書を授与する。

(称号の授与)

第31条 前条により、歯科衛生専門課程歯科衛生士学科を修了した者には、専門士(医療専門課程)の称号を授与する。

第7章 入学検定料及び学費

(入学検定料及び学費)

第32条 授業料等は、次のとおりとし、所定の期限までに納入しなければならない。

入学検定料	20,000円
入学金	250,000円(入学手続時)

授 業 料	700,000円（2回に分納）
実 習 料	50,000円（2回に分納）
施設設備資金	50,000円（2回に分納）

- 2 休学した学生に対する学費については、別に定める。
- 3 証明手数料等については、別に定める。

（納入金の不還付）

第33条 既納の学費は、いかなる事由があっても返還しない。ただし、入学手続き時及び休学时納入金の取扱いについては、別に定める。

第8章 賞罰

（表彰）

第34条 人物及び学業成績優秀な者には、授賞することがある。

（懲戒）

第35条 学生が本校の規則・命令に背き若しくは学校の秩序を乱し、又は学生としての本分に反する行為のあった場合にその情状によって懲戒を行うことがある。

- 2 懲戒は、退学・停学及び訓告の3種とする。
- 3 前項の懲戒は次の各号の一に該当する者について行う。
 - ① 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - ② 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - ③ 正当な理由がなくて出席が常でない者
 - ④ 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第9章 服装

（服装）

第36条 服装は、本校の学生としてふさわしいものを着用すること。

- 2 実習室及び病院内においては、実習着を着用しなければならない。

第10章 健康診断

（健康診断）

第37条 健康診断は、毎年1回別に定めるところにより実施する。

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。

日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校学則

昭和49年4月1日制定

昭和50年12月5日改正

昭和51年4月1日施行

昭和51年9月21日改正

昭和52年4月1日施行

昭和51年12月3日改正

昭和52年4月1日施行

昭和53年7月14日改正

昭和54年4月1日施行

昭和54年7月6日改正

昭和55年4月1日施行

昭和57年12月17日改正

昭和58年4月1日施行

昭和61年9月19日改正

昭和62年4月1日施行

平成2年1月19日改正

平成2年4月1日施行

平成3年10月18日改正

平成4年4月1日施行

平成4年7月3日改正

平成5年4月1日施行

平成6年12月2日改正

平成5年4月1日施行

平成6年12月2日改正

平成7年4月1日施行

平成7年4月14日改正

平成7年4月1日施行

平成7年7月7日改正

平成8年4月1日施行

平成15年7月4日改正
平成16年4月1日施行
平成17年5月6日改正
平成18年4月1日施行
平成25年12月12日改正
平成26年4月1日施行
平成26年9月1日改正
平成27年4月1日施行
平成30年2月2日改正
平成30年4月1日施行

第1章 総則

(目的)

第1条 本校は、日本大学の目的及び使命に基づき歯科衛生士法（昭和23年法律第204号）第2条に規定する歯科衛生士を養成することを目的とする。

(名称)

第2条 本校は、日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校という。

(位置)

第3条 本校は、千葉県松戸市栄町西2丁目870番1に置く。

(課程・学科及び修業年限・在学年数)

第4条 本校の課程・学科及び修業年限は、次のとおりとする。

歯科衛生専門課程 歯科衛生士科 昼間3年

2 在学年数は、6年を超えることはできない。

(定員・学級数)

第5条 本校の学生定員は、各学年それぞれ40名とする。ただし、学級は各学年1学級とする。

第2章 教育課程及び授業単位数

(教育課程及び授業単位数)

第6条 本校の学科目の授業時間数の単位数の換算は、次のとおりとする。

- ① 講義科目については、15時間から30時間までの範囲で本校が定める時間の授業時間をもって1単位とする。
- ② 実験・実習・実技科目については、30時間から45時間までの範囲で本校が定

める時間の授業をもって1単位とする。

③ 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行う場合については、その組み合わせに応じ、前各号に規定する基準を考慮し本校が定める時間の授業をもって1単位とする。

④ 臨床・臨地実習については、45時間の実習をもって1単位とする。

2 学科課程及び各学年授業単位数は、次のとおりとする。

学 科 目		必 修 単 位 数	選 択 単 位 数	第1学年	第2学年	第3学年	履 修 方 法
基 礎 分 野	科学的思考の 基盤 人間と生活	自 主 創 造	1		1		
		基 礎 心 理 学	1		1		
		行 動 心 理 学	1			1	
		臨 床 行 動 科 学	1			1	
		健 康 社 会 学	1		1		
		生 物 学	2		2		
		化 学	2		2		
		歯 科 診 療 英 会 話	1		1		
		保 健 体 育	1		1		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と 機能	解 剖 学	1		1		
		臨 床 医 学 概 論	1				1
		生 理 学	2		2		
	歯・口腔の構造 と機能	口 腔 解 剖 学	1		1		
		口 腔 解 剖 学 演 習	1		1		
		歯 の 解 剖 学	1		1		
		口 腔 生 理 学	2		2		
		口 腔 組 織 ・ 発 生 学	2		2		
	疾病の成り立 ちと回復の促 進	病 理 学 ・ 口 腔 病 理 学	2		2		
		微 生 物 学 ・ 口 腔 微 生 物 学	2		2		
		生 化 学 ・ 口 腔 生 化 学	2		2		
		薬 理 学 ・ 歯 科 薬 理 学	2		2		
	歯・口腔の健康 と予防に関する 人間と社会 の仕組み	口 腔 衛 生 学 I	2		2		
		口 腔 衛 生 学 II	1		1		
		衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学	2		2		

		歯科衛生統計	1				1
		衛生行政・社会福祉	1				1
専 門 分 野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論Ⅰ	2		2		
		歯科衛生士概論Ⅱ	2		2		
	臨床歯科医学	保存修復学	1			1	
		歯内療法学	1			1	
		歯周治療学	1			1	
		歯科補綴学	2			2	
		口腔外科学・インプラント学	2			2	
		小児歯科学	1			1	
		歯科矯正学	1			1	
		歯科放射線学	1			1	
		高齢者歯科学	1			1	
		障害者歯科学Ⅰ	1			1	
		障害者歯科学Ⅱ	1			1	
		口腔機能発達学	2				2
	歯科予防処置論	歯科予防処置論Ⅰ	2		2		
		歯科予防処置論Ⅱ	4		4		
		歯科予防処置論Ⅲ	2			2	
		歯科予防処置論Ⅳ	2			2	
	歯科保健指導論	歯科保健指導論Ⅰ	1		1		
		歯科保健指導論Ⅱ	2		2		
		歯科保健指導論Ⅲ	2			2	
		歯科保健指導論Ⅳ	3			3	
		歯科保健指導論Ⅴ	2				2
		臨床栄養学	1		1		
	歯科診療補助論	歯科診療補助論Ⅰ	2		2		
		歯科診療補助論Ⅱ	2		2		
		歯科診療補助論Ⅲ	1			1	
		歯科診療補助論Ⅳ	1			1	
歯科診療補助論Ⅴ		2				2	
臨床検査学		1			1		
看護学・生体管理学		2			2		
社会保険		1				1	

	臨床・臨地実習	臨床実習Ⅰ(ポリクリ)	3			3	
		臨床実習Ⅱ	10			10	
		臨床実習Ⅲ	9				9
その他の分野	統合演習		12				12
	課題研究		1				1
選択必修分野	医療コミュニケーション学Ⅰ			2	2		
	医療コミュニケーション学Ⅱ			2	2		
	医療コミュニケーション学Ⅲ			2	2		
	医療コミュニケーション学Ⅳ			2	2		
	医療コミュニケーション学Ⅴ			2	2		
	健康管理学Ⅰ			2	2		
	健康管理学Ⅱ			2	2		
	健康管理学Ⅲ			2	2		
専門歯科衛生士学			4			4	
合計			124	8	66	42	36

8単位以上を選択履修

第3章 教職員及び教員会

(教職員)

第7条 本校に、次の教職員を置く。

- ① 校長 1名
- ② 副校長 1名
- ③ 教務主任 1名以上
- ④ 専任教員 3名以上
- ⑤ 講師 30名以上
- ⑥ 校医 1名以上
- ⑦ 事務職員 1名以上

2 校長は、校務を処理し、所属教職員を監督する。

(教員会)

第8条 本校に教員会を置き、校長、副校長、教務主任及び専任教員並びに学部長、事務局長をもって組織する。ただし、校長が必要と認めたときは、その他松戸歯学部教職員を出席させることができる。

(招集)

第9条 教員会は、校長が招集してその議長となる。

(定足数)

第10条 教員会は、総会員の半数以上の出席によって成立し、出席者の過半数で議決する。

(審議事項)

第11条 教員会は、次の事項を審議する。

- ① 学則の制定改廃に関する事。
- ② 教育課程及びその担任に関する事。
- ③ 学籍の異動に関する事。
- ④ 試験に関する事。
- ⑤ 厚生、補導に関する事。
- ⑥ その他教育上重要な事。

第4章 学年・学期及び休業日

(学年)

第12条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第13条 学期は、次のとおりとする。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から3月31日まで

(休業日)

第14条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日でも特に授業又は試験を行うことがある。

- ① 日曜日
- ② 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ③ 日本大学創立記念日（10月4日）
- ④ 春季休業 3月11日から3月31日まで
- ⑤ 夏季休業 7月15日から9月10日まで
- ⑥ 冬季休業 12月21日から翌年1月9日まで

2 休業日の変更及び臨時の休業日については、そのつどこれを定める。

第5章 入学・在学・休学・退学及び除籍等

(入学の時期)

第15条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第16条 本校に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を持つ女子で、本校の選抜試験に合格した者とする。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- ② 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(出願手続)

第17条 入学志願者は、次の書類に入学検定料を添え、所定の期日までに願出のものとする。

- ① 入学願書
- ② 入学資格を証明する書類（出身学校長の調査書又は高等学校卒業程度認定試験合格（見込）成績証明書等）

(入学試験)

第18条 入学志願者に対する選抜試験は、別に定める方法により行うものとする。

(入学手続)

第19条 入学を許可された者は、保証人連署の誓約書に住民票記載事項証明書及び入学金・授業料を添え、所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

(保証人)

第20条 保証人は、独立した生計を営む成年者であり、在学中の学生の身上に係る一切の事柄についてその責を負うことのできる者でなければならない。

- 2 保証人が適当でないと認められるときは、変更させることがある。
- 3 保証人が死亡又は事故により、その資格を失った場合は、その事由が発生した日から7日以内に新たな保証人を定め校長に届け出なければならない。また、保証人が本籍、住所及び氏名を変更したとき、その他一身上に変動があった場合も、その事由が発生した日から7日以内に校長あて届け出るものとする。

(改姓・住所変更等)

第21条 学生が本籍、住所及び氏名を変更したとき、その他一身上に変動があった場合はその事由が発生した日から7日以内に校長あて届け出なければならない。

(欠席)

第22条 病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、その事由を明記して7日以内に届け出なければならない。

2 病気による欠席が7日以上に及ぶ場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(休学)

第23条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3か月以上出席することのできない者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で所属の校長に願い出て、その許可を得て原則として入学年度を除き、休学することができる。ただし、入学年度の後学期については、修学困難な事由の場合は認めることがある。

2 休学期間は、当該学年の終わりまでとし、なお、休学を要する者は、許可を得て更に1年以内の休学ができる。

3 休学期間は、修業年数に算入しない。

(復学)

第24条 休学者は、学年の始めでなければ復学することができない。なお、休学の事由が病気による場合は、医師の診断書等の証明書を添え願い出るものとする。

(転学)

第25条 学生が転学しようとするときは、その事由を明らかにし、保証人連署で校長に願い出て許可を受けなければならない。

(聴講生)

第26条 本校の授業科目中の1科目又は数科目の聴講を希望する者に対して、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生に関する規定は、別に定める。

(編入学)

第27条 他の学校から本校に編入学を願い出た者については、選考の上、学年の始めに編入学を許可することがある。

2 編入学に関する規定は、別に定める。

(退学)

第28条 病気その他やむを得ない事由により、退学しようとする者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署で校長に退学願を提出して許可を受けなければならない。

(除籍)

第29条 故なくして3か月以上学費の納付を怠った者は、これを除籍することができる。

- 2 故なくして欠席が、長期にわたる者は、これを除籍することができる。
(再入学)

第30条 正当な理由で退学した者が、再入学を志望したときは、選考の上許可することがある。

- 2 再入学に関する規定は、別に定める。

第6章 試験

(試験)

第31条 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって、これを定める。ただし、授業科目によっては、その他の方法で査定することができる。

- 2 試験には平常試験、定期試験、追試験及び再試験がある。定期試験は学期末又は学年末に行い、追試験はやむを得ない事故のため定期試験を受けることのできなかった者のために行い、再試験は受験の結果不合格となった者のために行う。
- 3 追試験及び再試験は、本校において必要と認めたとときに限り、これを行う。

(受験資格)

第32条 試験を受けるためには、本校が指定する義務（各学期の学納金の納付，年度始めの定期健康診断の受診，授業への必要出席回数等）を完遂していない場合，受験できない。

(成績評価)

第33条 学業成績の判定は、優・良・可及び不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上，良は70点以上，可は60点以上，不可は59点以下とし、優・良・可を合格，不可を不合格とする。

第7章 進級・卒業及び称号授与

(進級)

第34条 第6条に定められた所定の学科目を履修し、試験に合格した者は進級させる。

(卒業の認定及び卒業証書授与)

第35条 第4条に定めた修業年限に達し、全課程を修了したと認めた者には教員会の議を経て、校長が卒業を認定する。

- 2 校長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(称号授与)

第36条 前条の規定により歯科衛生専門課程歯科衛生士科を修了した者には，専門士（医療専門課程）の称号を授与する。

第8章 学費

(学費)

第37条 授業料その他所定の学費は，次のとおり納付する。

入 学 検 定 料	20,000円
-----------	---------

区 分	学費等内訳	
	前学期分	後学期分
入 学 金 (入学時のみ)	250,000円	
授 業 料 (毎 年)	350,000円	350,000円
施設設備資金 (3年間)	50,000円	50,000円

(休学・停学期間中の学費)

第38条 休学を許可された学生の休学期間中の学費の取扱いは別に定める。

2 停学を命ぜられた学生は，停学期間中も授業料を納付しなければならない。

(納入金の不還付)

第39条 既納の学費は，いかなる理由があっても返還しない。

ただし，入学手続時及び前条第1項に当たる場合は，この限りでない。

第9章 賞罰

(授賞)

第40条 人物及び学業成績が優秀な者には，授賞することがある。

2 授賞に関する規定は，別に定める。

(懲戒)

第41条 学生が本校の規則・命令に背き若しくは学校の秩序を乱し，又は学生としての本分に反する行為があった場合には，その情状によって懲戒を行うことがある。

(懲戒の種類)

第42条 懲戒は，退学・停学及び訓告の3種とする。

2 前項の退学は次の各号の一に該当する者について行う。

① 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

- ② 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- ③ 正当な理由がなくて出席常でない者
- ④ 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。